

2022 燃 建 発 第 13 号

2023 年 2 月 28 日

原子力規制委員会 殿

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 108

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

MOX 燃料加工施設に関する設計及び  
工 事 の 計 画 の 認 可 申 請 書

核原料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 16 条の 2 第 1 項の規定に基づき,別紙のとおり MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請をいたします。

本書類の記載内容のうち ■■■■内の記載事項は、商業機密又は核不拡散に係る情報に属するものであり、公開できません。

# 別紙

## 一 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 日本原燃株式会社  
住 所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 108  
代表者の氏名 代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

## 二 加工施設を設置する事業所の名称及び所在地

名 称 再処理事業所  
所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

## 三 加工施設の区分並びに設計及び工事の方法

区 分 成形施設 被覆施設 組立施設 核燃料物質の貯蔵施設 放射  
性廃棄物の廃棄施設 その他の加工施設  
設計及び工事の計画 別添 I 及び別添 II のとおり

## 四 工事工程表

別添 III のとおり

## 五 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム

別添 IV のとおり

## 六 分割の理由

## (1) 分割の理由

本申請の申請範囲は、事業変更許可申請書における変更内容のうち、新規規制基準への適合及びその他設計変更に係る MOX 燃料加工施設（以下「本施設」という。）の変更であり、本施設が建設工事の段階であること及び建設工事に時間を要することを踏まえ、建設工事の工程を考慮し、段階的に工事を実施することが効率的であるため、工事の工程に合わせて申請範囲を 4 つの時期に分割し、新規申請及び変更申請に区分することで、計 7 申請に分割して申請する。

本申請の申請範囲を第 1 表に示す。

なお、今後の進捗に応じて、分割申請の各申請回次の申請内容を変更する可能性がある。

第1表 分割申請計画

申請種別	申請時期	申請回次	施設区分及び設備区分																				申請計画													
			ハ 成形施設	ニ 被覆施設	ホ 組立施設	ヘ 核燃料物質の貯蔵施設	ト 放射性廃棄物の廃棄施設			チ 放射線管理施設	リ その他の加工施設												2020年度	2021年度	2022年度		2023年度									
							気体廃棄物の廃棄設備	液体廃棄物の廃棄設備	固体廃棄物の廃棄設備		火災防護設備	照明設備	所内電源設備(電気設備)	補機駆動用燃料補給設備	拡散抑制設備	水供給設備	緊急時対策所	通信連絡設備	核燃料物質の検査設備	核燃料物質の計量設備	主要な実験設備	溢水防護設備			警報関連設備	冷却水設備	給排水衛生設備	空調用設備	窒素循環関係設備	水素・アルゴンガス用設備	その他ガス設備	選別・保管設備	荷役設備	下期	-	上期
新規制基準への適合	第1回	2項変更	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽						
	第2回	2項変更	●	●	●	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-	-				▽			
		1項新規	●	●	●	●	●	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	●	-	●	-	-				▽			
	第3回	2項変更	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-					▽		
		1項新規	●	-	-	-	●	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	●	-	●	●				▽		
	第4回	2項変更	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						▽	
		1項新規	-	-	-	●	-	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	-	-	-	●	-	●	●	-	-	-	●	-						▽

注記 \*1: 主配管(海洋放出管理系(燃料加工建屋の排水口から再処理施設との取合点までの範囲))が対象。

# 基本設計方針及び工事の方法

## 目 次

### I-1 基本設計方針

#### 第1章 共通項目

#### 第2章 個別項目

### I-2 工事の方法

# I - 1 基本設計方針



## 目 次

	ページ
第1章 共通項目*	
1. 核燃料物質の臨界防止	基-1-1
1.1 安全機能を有する施設の臨界防止	基-1-1
1.2 臨界事故の拡大防止に関する設計	基-1-7
2. 地盤	基-1-8
3. 自然現象等	基-1-10
3.1 地震による損傷の防止	基-1-10
3.2 津波による損傷の防止	基-1-55
3.3 外部からの衝撃による損傷の防止	基-1-56
4. 閉じ込めの機能	基-1-75
4.1 閉じ込め	基-1-75
4.2 核燃料物質等による汚染の防止	基-1-77
4.3 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備	基-1-78
5. 火災等による損傷の防止	基-1-80
6. 加工施設内における溢水による損傷の防止	基-1-92
7. 遮蔽	基-1-96
8. 設備に対する要求	基-1-97
8.1 安全機能を有する施設	基-1-97
8.2 重大事故等対処設備	基-1-100
8.3 材料及び構造	基-1-124
8.4 搬送設備	基-1-128
8.5 警報設備等	基-1-129
9. その他	基-1-131
9.1 加工施設への人の不法な侵入等の防止	基-1-131
9.2 安全避難通路等	基-1-132
第2章 個別項目*	
1. 成形施設	基-2-1
2. 被覆施設	基-2-2
3. 組立施設	基-2-5
4. 核燃料物質の貯蔵施設	基-2-7
5. 放射性廃棄物の廃棄施設	基-2-10
5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針	基-2-10

5.2	換気設備	基-2-20
6.	放射線管理施設	次回以降申請
7.	その他の加工施設	基-2-22
7.1	非常用設備	基-2-22
7.1.1	火災防護設備	基-2-22
7.1.2	照明設備	次回以降申請
7.1.3	所内電源設備(電気設備)	次回以降申請
7.1.4	補機駆動用燃料補給設備	次回以降申請
7.1.5	拡散抑制設備	次回以降申請
7.1.6	水供給設備	次回以降申請
7.1.7	緊急時対策所	次回以降申請
7.1.8	通信連絡設備	次回以降申請
7.2	核燃料物質の検査設備及び計量設備	基-2-31
7.2.1	核燃料物質の検査設備	基-2-31
7.2.2	核燃料物質の計量設備	次回以降申請
7.3	主要な実験設備	次回以降申請
7.4	その他の主要な事項	基-2-33
7.4.1	溢水防護設備	基-2-33
7.4.2	警報関連設備	基-2-34
7.4.3	冷却水設備	基-2-35
7.4.4	給排水衛生設備	基-2-35
7.4.5	空調用設備	基-2-35
7.4.6	窒素循環関係設備	基-2-36
7.4.7	水素・アルゴンガス用設備	次回以降申請
7.4.8	その他ガス設備	基-2-36
7.4.9	選別・保管設備	次回以降申請
7.4.10	荷役設備	次回以降申請

注記 \* : 変更前に記載する基本設計方針のうち、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可された箇所を下線で示す。

第1-1表	成形施設の主要設備リスト	基-2-37
第1-2表	被覆施設の主要設備リスト	基-2-41
第1-3表	組立施設の主要設備リスト	基-2-47
第1-4表	核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト	基-2-49
第1-5表	放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト	基-2-59

第 1-7-1-1 表	火災防護設備の主要設備リスト	基-2-142
第 1-7-2-1 表	核燃料物質の検査設備の主要設備リスト	基-2-181
第 1-7-4-2 表	警報関連設備の主要設備リスト	基-2-189

注記： 第 1-1 表，第 1-2 表，第 1-3 表，第 1-4 表，第 1-5 表，第 1-7-1-1 表，第 1-7-2-1 表，第 1-7-4-2 表以外の主要設備リストについては，次回以降の申請にて示す。

変 更 前	変 更 後
<p>第1章 共通項目</p> <p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p>1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計</p> <p>MOX燃料加工施設は、臨界安全性を高めるため、主要な工程を乾式で構成する設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設は、通常時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作を想定した場合においても、核燃料物質が臨界に達するおそれがないよう以下の設計とする。</p> <p>(1) 臨界管理の対象とする核燃料物質</p> <p>MOX燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、プルトニウム富化度60%以下、プルトニウム中のプルトニウム-240含有率17%以上及びウラン中のウラン-235含有率1.6%以下のウラン・プルトニウム混合酸化物、ウラン中のウラン-235含有率5%以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり、このうちウラン・プルトニウム混合酸化物、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器に対して単一ユニット、複数ユニットを設定し、臨界管理を行う設計とする。</p> <p>(2) 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>核燃料物質の取扱い上の一つの単位を単一ユニットとし、これに、核的制限値(臨界管理を行う体系の未臨界確保のために設定する値)を設定する。単一ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、形状寸法、質量、減速材、同位体組成、プルトニウム富化度等の制限及び中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せによって核的に制限することにより臨界を防止する設計とする。</p> <p>a. 核燃料物質を収納する単一ユニットとしての設備・機器のうち、その形状寸法を制限し得るものについては、その形状寸法について適切な核的制限値を設ける設計とする。</p> <p>b. 形状寸法管理が困難な設備・機器及び単一ユニットとしてのグローブボックスについては、取り扱う核燃料物質自体の質量について適切な核的制限値を設ける設計とする。この場合、誤操作等を考慮しても工程内の核燃料物質が上記の核的制限値を超えないよう、信頼性の高いインターロックにより、核的制限値以下であることが確認されなければ次の工程に進めない設計とする。</p> <p>c. 核燃料物質の収納を考慮していない設備・機器のうち、核燃料物質が入るおそれのある設備・機器についても上記a.又はb.を満足する設計とする。</p> <p>d. 核的制限値を設定するに当たっては、取り扱う核燃料物質のプルトニウム富化度、同位体組成、密度、幾何学的形状、減速条件、中性子吸収材を考慮し、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して裕度を見込む。</p> <p>また、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p>

変更前	変更後
<p>コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものを用いる。</p> <p>単一ユニットに対しては、臨界計算コードにより中性子実効増倍率を計算し、未臨界(中性子実効増倍率が0.95以下)となる核的制限値を設定する。</p> <p>(3) 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p>二つ以上の単一ユニットが存在する複数ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、核的に安全な配置とした単一ユニット相互の間隔の維持及び単一ユニット相互間における中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せにより、最も厳しい状態においても臨界に達しない設計とする。</p> <p>a. 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保することにより、核的に安全な配置とする設計とする。</p> <p>b. 核的に安全な配置を定めるに当たっては、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して裕度を見込む。</p> <p>また、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものを用いる。</p> <p>複数ユニットに対しては、臨界計算コードにより中性子実効増倍率を計算し、未臨界(中性子実効増倍率が0.95以下)となるように単一ユニットの配置を設定する。</p> <p>(4) 核的制限値の維持・管理及び単一ユニット間距離の維持</p> <p>a. 核的制限値の維持・管理</p> <p>核的制限値の維持・管理については、形状寸法管理及び質量管理により、起こるとは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しない設計とする。</p> <p>(a) 形状寸法管理</p> <p>形状寸法管理は、核燃料物質を取り扱う設備・機器の構造又は機構により核的制限値を維持する設計とする。</p> <p>(b) 質量管理</p> <p>質量管理は、各単一ユニットの核燃料物質の在庫量を常時把握するとともに、核燃料物質を搬送する容器を識別し、それにより搬送する核燃料物質の質量、形態等を把握する設計とする。単一ユニットへの核燃料物質の搬送においては、核的制限値以下であることが確認されなければ搬入が許可されないインターロックを設ける設計とする。</p> <p>b. 単一ユニット間距離の維持</p> <p>単一ユニット間距離の維持については、以下に示す設計とすることにより、起こるとは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しない設計とする。</p> <p>(a) 核燃料物質を収納する設備・機器の設置に当たっては、通常時に作用している荷重に対して発生する変形が過大とならないように構造強度を持つ構造材を用いて固定する設計とする。なお、固定することが困難な設備・機器の場合は、設備・機器の周囲にユニット相互間</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>の間隔を維持するための剛構造物を取り付ける又は移動範囲を制限する設計とする。</p> <p>また、核燃料物質を取り扱う容器は、通常の取扱条件において容易に変形しない構造材を用いる設計とする。</p> <p>(b) 核燃料物質を不連続的に取り扱う(バッチ処理)施設においては、核燃料物質を次の工程に移動させようとしても、核燃料物質を受け入れる工程が核的制限値を満足する状態にならなければ、移動することができない設計とする。</p> <p>(c) 単一ユニット間距離を維持するため、核燃料物質を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</p> <p>(5) 臨界事故を防止するために必要な設備</p> <p>臨界事故を防止するために必要な設備として臨界の発生を検知することができる設備を設置する設計とする。</p> <p>臨界を検知する設備の設計方針については、第1章 共通項目の「8.5 警報設備等」に示す。</p> <p>1.1.2 成形施設の臨界防止</p> <p>1.1.2.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>成形施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定することから、単一ユニットは、貯蔵容器受設備、原料粉末受払設備、原料 MOX 粉末缶取出設備、一次混合設備、二次混合設備、分析試料採取設備、スクラップ処理設備、圧縮成形設備、焼結設備、研削設備、ペレット検査設備、研削設備及びペレット検査設備の各設備・機器に設定する。</p> <p>単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が 0.95 以下となるように体数又は質量を設定する。</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p>	

変更前					変更後
形態		設定条件			核的制限値
取扱単位		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度*1	含水率*2	
混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	—	0.5%以下	1体
	MOX粉末-1	60%以下	—	1.5%以下	35.0kg・Pu* *3
	MOX粉末-2	33%以下	—	2.5%以下	45.0kg・Pu*
	MOX粉末-3	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*
	MOX粉末-4	18%以下	—	0.5%以下	83.0kg・Pu*
	ペレット-1	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*
	ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu*
	ペレット-3	60%以下	—	3.5%以下	7.50kg・Pu* *4

注記 \*1：核分裂性プルトニウム富化度（％）  

$$= ((\text{プルトニウム-239 質量} + \text{プルトニウム-241 質量}) / (\text{プルトニウム質量} + \text{ウラン質量})) \times 100$$
 以下同じ。

\*2：含水率（％）＝（水分質量／（MOX 質量＋水分質量））×100 以下同じ。

\*3：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241 及びウラン-235 の総称とし、kg・Pu\*は、その合計質量とする。以下同じ。

\*4：二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。

1.1.2.2 複数ユニットの臨界安全設計  
複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が 0.95 以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。

1.1.3 被覆施設の臨界防止  
1.1.3.1 単一ユニットの臨界安全設計  
被覆施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定することから、単一ユニットは、スタック編成設備、スタック乾燥設備、挿入溶接設備、燃料棒検査設備、燃料棒収容設備及び燃料棒解体設備の各設備・機器に設定する。  
単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が 0.95 以下となるように質量、平板厚さ又は段数を設定する。

変更前					変更後				
各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。									
形態		設定条件			核的制限値				
取扱単位		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率					
ペレット-2		18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu* <sup>*1</sup>				
BWR燃料棒		17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm				
PWR燃料棒		18%以下	11.6%以下	0.1%以下					
ウラン燃料棒		(5%以下) <sup>*2</sup>	—	0.1%以下					
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段				
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下					
	ウラン燃料棒	(5%以下) <sup>*2</sup>	—	0.1%以下					
注記 *1：二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。									
*2：ウラン中のウラン-235含有率を示す。									
1.1.3.2 複数ユニットの臨界安全設計									
複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。									
1.1.4 組立施設の臨界防止									
1.1.4.1 単一ユニットの臨界安全設計									
組立施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定することから、燃料集合体組立設備、燃料集合体洗浄設備、燃料集合体検査設備、燃料集合体組立工程搬送設備及び梱包・出荷設備の各設備・機器に設定する。									
単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように段数又は体数を設定する。									
各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。									



変 更 前					変 更 後				
形態		設定条件			核的制限値				
取扱単位		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率					
貯蔵マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段				
	PWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下					
	ウラン 燃料棒	(5%以下)* <sup>1</sup>	—	0.1%以下					
組立マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段				
	PWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下					
	ウラン 燃料棒	(5%以下)* <sup>1</sup>	—	0.1%以下					
BWR 燃料集合体		11%以下* <sup>2</sup>	6.1%以下* <sup>2</sup>	0.1%以下	1 体				
PWR 燃料集合体		14%以下* <sup>2</sup>	9.1%以下* <sup>2</sup>	0.1%以下					

注記 \*1：ウラン中のウラン-235 含有率を示す。  
\*2：燃料集合体平均（燃料集合体中の MOX 燃料棒の平均）

1.1.4.2 複数ユニットの臨界安全設計  
複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が 0.95 以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。

1.1.5 核燃料物質の貯蔵施設の臨界防止  
1.1.5.1 複数ユニットの臨界安全設計  
貯蔵施設の臨界管理のために、単一ユニットである貯蔵単位の集合を複数ユニットとし、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が 0.95 以下となるように配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。  
貯蔵施設の複数ユニットは、貯蔵容器一時保管設備、原料 MOX 粉末缶一時保管設備、粉末一時保管設備、ペレット一時保管設備、スクラップ貯蔵設備、製品ペレット貯蔵設備、燃料棒貯蔵設備のうち燃料棒貯蔵棚及び燃料集合体貯蔵設備とする。  
なお、燃料棒貯蔵設備のうち、貯蔵マガジン入出庫装置及びウラン燃料棒収容装置には、臨界管理のために単一ユニットを設定する。

変更前	変更後																								
<p>1.1.6 その他の加工施設の臨界防止</p> <p>1.1.6.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>核燃料物質の検査設備の分析設備の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように質量を設定する。</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="382 653 1442 840"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="2">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-3</td> <td>60%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>7.50kg・Pu*<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>MOX溶液</td> <td>60%以下</td> <td>—*<sup>*2</sup></td> <td>0.50kg・Pu*<sup>*1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。 *2：最適減速条件</p> <p>実験設備の小規模試験設備の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように質量を設定する。</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="382 1243 1442 1386"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="2">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-3</td> <td>60%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>7.50kg・Pu*<sup>*1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。</p> <p>1.1.6.2 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。</p> <p>1.2 臨界事故の拡大防止に関する設計</p> <p style="text-align: center;">—</p>	形態	設定条件		核的制限値	プルトニウム富化度	含水率	ペレット-3	60%以下	3.5%以下	7.50kg・Pu* <sup>*1</sup>	MOX溶液	60%以下	—* <sup>*2</sup>	0.50kg・Pu* <sup>*1</sup>	形態	設定条件		核的制限値	プルトニウム富化度	含水率	ペレット-3	60%以下	3.5%以下	7.50kg・Pu* <sup>*1</sup>	<p>1.2 臨界事故の拡大防止に関する設計</p> <p>MOX燃料加工施設では、臨界事故の発生が想定されないことから、臨界事故の拡大を防止するための設備は設置しない。</p>
形態		設定条件			核的制限値																				
	プルトニウム富化度	含水率																							
ペレット-3	60%以下	3.5%以下	7.50kg・Pu* <sup>*1</sup>																						
MOX溶液	60%以下	—* <sup>*2</sup>	0.50kg・Pu* <sup>*1</sup>																						
形態	設定条件		核的制限値																						
	プルトニウム富化度	含水率																							
ペレット-3	60%以下	3.5%以下	7.50kg・Pu* <sup>*1</sup>																						

変 更 前	変 更 後
<p>2. 地盤</p> <p><u>安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設は、地震力が作用した場合においても当該施設を十分に支持することができる地盤（当該地盤に設置する建物・構築物を含む。「2. 地盤」では以下同様。）に設置する。</u></p> <p><u>なお、以下の項目における建物・構築物とは、建物、構築物及び土木構造物の総称とする。</u></p> <p>2.1 安全機能を有する施設の地盤</p> <p><u>地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）及びそれらを支持する建物・構築物については、自重及び通常時の荷重等に加え、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動<math>S_s</math>」という。）による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</u></p> <p><u>また、上記に加え、基準地震動<math>S_s</math>による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>耐震重要施設以外の建物・構築物については、自重及び通常時の荷重等に加え、耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</u></p> <p><u>耐震重要施設の建物・構築物は、地震発生に伴う地殻変動によって生じる支持地盤の傾斜及び撓み並びに地震発生に伴う建物・構築物間の不等沈下、液状化及び揺すり込み沈下といった周辺地盤の変状により、その安全機能が損なわれるおそれがない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>耐震重要施設の建物・構築物は、将来活動する可能性のある断層等の露頭がない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>Sクラスの施設及びそれらを支持する建物・構築物の地盤の接地圧に対する支持力の許容限界については、自重及び通常時の荷重等と基準地震動<math>S_s</math>による地震力との組み合わせにより算定される接地圧が、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく地盤の極限支持力度に対して、適切な余裕を有するよう設計する。</u></p> <p><u>また、上記のうち、Sクラスの施設の建物・構築物の地盤にあっては、自重及び通常時の荷重等と弾性設計用地震動<math>S_d</math>による地震力又は静的地震力との組み合わせにより算定される接地圧について、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく地盤の短期許容支持力度を許容限界とする。</u></p> <p><u>Bクラス及びCクラスの施設の地盤においては、自重及び通常時の荷重等と、静的地震力及び動的地震力（Bクラスの共振影響検討に係るもの）との組み合わせにより算定される接地圧に対して、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく地盤の短期許容支持力度を許容限界とする。</u></p>	<p>2. 地盤</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>2.2 重大事故等対処施設の地盤</p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備を支持する建物・構築物については、自重及び通常時の荷重等に加え、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</u></p> <p><u>また、上記に加え、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物については、自重及び通常時の荷重等に加え、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度分類のクラスに適用される地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備を支持する建物・構築物は、地震発生に伴う地殻変動によって生じる支持地盤の傾斜及び撓み並びに地震発生に伴う建物・構築物間の不等沈下、液状化及び揺すり込み沈下といった周辺地盤の変状により、重大事故に至るおそれのある事故（設計基準事故を除く。）又は重大事故（以下「重大事故等」という。）に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備を支持する建物・構築物は、将来活動する可能性のある断層等の露頭がない地盤として、事業（変更）許可を受けた地盤に設置する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備を支持する建物・構築物の地盤の接地圧に対する支持力の許容限界については、自重及び通常時の荷重等と基準地震動S<sub>s</sub>による地震力との組み合わせにより算定される接地圧が、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく地盤の極限支持力度に対して、妥当な余裕を有するよう設計する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物及び機器・配管系の地盤においては、自重及び通常時の荷重等と、静的地震力及び動的地震力（Bクラスの施設の機能を代替する常設重大事故等対処設備の共振影響検討に係るもの）との組合せにより算定される接地圧に対して、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく地盤の短期許容支持力度を許容限界とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>3. 自然現象等</p> <p>3.1 地震による損傷の防止</p> <p>3.1.1 耐震設計</p> <p>(1) 耐震設計の基本方針</p> <p><u>MOX 燃料加工施設は、次の方針に基づき耐震設計を行う。</u></p> <p><u>なお、以下の項目における建物・構築物とは、建物、構築物及び土木構造物の総称とする。</u></p> <p>a. <u>安全機能を有する施設</u></p> <p>(a) <u>安全機能を有する施設は、地震の発生によって生ずるおそれがある安全機能の喪失及びそれに続く放射線による公衆への影響を防止する観点から、施設の安全機能が喪失した場合の影響の相対的な程度(以下「耐震重要度」という。)に応じて、Sクラス、Bクラス又はCクラスに分類し、それぞれの耐震重要度に応じた地震力に十分耐えられる設計とする。</u></p> <p>(b) <u>耐震重要施設((a)においてSクラスに分類する施設をいう。)は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動(事業(変更)許可を受けた基準地震動(以下「基準地震動S<sub>s</sub>」という。))による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p>(c) <u>Sクラスの施設は、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p><u>建物・構築物については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、建物・構築物全体としての変形能力(耐震壁のせん断ひずみ等)が終局耐力時の変形に対して十分な余裕を有し、部材・部位ごとのせん断ひずみ・応力等が終局耐力時のせん断ひずみ・応力等に対して、適切な安全余裕を有する設計とする。</u></p> <p><u>機器・配管系については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、その施設に要求される機能を保持する設計とし、塑性域に達するひずみが生じる場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設に要求される機能に影響を及ぼさない、また、動的機器等については、基準地震動S<sub>s</sub>による応答に対してその設備に要求される機能を保持する設計とする。なお、動的機能が要求される機器については、当該機器の構造、動作原理等を考慮した評価を行い、既往の研究等で機能維持の確認がなされた機能確認済加速度等を超えていないことを確認する。</u></p> <p><u>また、Sクラスの施設は、事業(変更)許可を受けた弾性設計用地震動(以下「弾性設計用地震動S<sub>d</sub>」という。)による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対しておおむね弾性状態に留まる範囲で耐えられる設計とする。</u></p> <p><u>建物・構築物については、弾性設計用地震動S<sub>d</sub>による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力により発生する応力に対して、建築基準法等の安全上適切と認められる規格及び基準による許容応力度を許容限界とする。</u></p>	<p>3. 自然現象等</p> <p>3.1 地震による損傷の防止</p> <p>3.1.1 耐震設計</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p><u>機器・配管系については、弾性設計用地震動S<sub>d</sub>による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力による応答が全体的におおむね弾性状態に留まる設計とする。</u></p> <p><u>(d) Sクラスの施設について、静的地震力は、水平地震力と鉛直地震力が同時に不利な方向の組合せで作用するものとする。</u></p> <p><u>また、基準地震動S<sub>s</sub>及び弾性設計用地震動S<sub>d</sub>による地震力は、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定するものとする。</u></p> <p><u>(e) Bクラス及びCクラスの施設は、静的地震力に対しておおむね弾性状態に留まる範囲で耐えられる設計とする。また、Bクラスの施設のうち、共振のおそれのある施設については、その影響についての検討を行う。検討に用いる地震動は、弾性設計用地震動S<sub>d</sub>に2分の1を乗じたものとする。当該地震動による地震力は、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定するものとする。</u></p> <p><u>(f) 耐震重要施設は、耐震重要度の下位のクラスに属する施設の波及的影響によって、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>(g) 耐震重要施設については、周辺地盤の変状により、その安全機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p><b>b. 重大事故等対処施設</b></p> <p><u>(a) 重大事故等対処施設について、安全機能を有する施設の耐震設計における動的地震力又は静的地震力に対する設計方針を踏襲し、重大事故等対処施設の構造上の特徴、重大事故等時における運転状態及び重大事故等の状態で施設に作用する荷重等を考慮し、適用する地震力に対して重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設について、施設の各設備が有する重大事故等に対処するために必要な機能及び設置状態を踏まえて、常設耐震重要重大事故等対処設備、常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備に分類し、それぞれの設備分類に応じて設計する。</u></p> <p><u>(b) 常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p><u>建物・構築物については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、建物・構築物全体としての変形能力(耐震壁のせん断ひずみ等)が終局耐力時の変形に対して十分な余裕を有し、部材・部位ごとのせん断ひずみ・応力等が終局耐力時のせん断ひずみ・応力等に対して、妥当な安全余裕を有する設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>機器・配管系については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、その施設に要求される機能を保持する設計とし、塑性域に達するひずみが生じる場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設に要求される機能に影響を及ぼさない設計とする。また、動的機器等については、基準地震動S<sub>s</sub>による応答に対して、その設備に要求される機能を保持する設計とする。なお、動的機能が要求される機器については、当該機器の構造、動作原理等を考慮した評価を行い、既往の研究等で機能維持の確認がなされた機能確認済加速度等を超えていないことを確認する。</u></p> <p>(c) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設に適用する基準地震動S<sub>s</sub>による地震力は、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定するものとする。</u></p> <p>(d) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度に適用される地震力に十分耐えることができる設計とする。</u></p> <p><u>また、代替する安全機能を有する施設がない常設重大事故等対処設備は、安全機能を有する施設の耐震設計における耐震重要度の分類の方針に基づき、重大事故等対処時の使用条件を踏まえて、当該設備の機能喪失により放射線による公衆への影響の程度に応じて分類し、その地震力に対し十分に耐えることができる設計とする。</u></p> <p>(e) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、Bクラス及びCクラスの施設、常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設、可搬型重大事故等対処設備の波及的影響によって、その重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(f) <u>緊急時対策所の耐震設計の基本方針については、「(6) 緊急時対策所」に示す。</u></p> <p>(g) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設については、周辺地盤の変状により、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p>	

変更前	変更後
<p>(2) <u>耐震設計上の重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類</u></p> <p>a. <u>安全機能を有する施設の耐震設計上の重要度分類</u>  <u>安全機能を有する施設の耐震重要度を以下のとおり分類する。</u></p> <p>(a) <u>Sクラスの施設</u>  <u>自ら放射性物質を内蔵している施設、当該施設に直接関係しておりその機能喪失により放射性物質を外部に放散する可能性のある施設、放射性物質を外部に放散する可能性のある事態を防止するために必要な施設及び放射性物質が外部に放散される事故発生の際に外部に放散される放射性物質による影響を低減させるために必要となる施設であって、環境への影響が大きいもの。</u>  <u>イ. MOX を非密封で取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等であって、その破損による公衆への放射線の影響が大きい施設</u>  <u>ロ. 上記イ.に関連する設備・機器で放射性物質の外部への放散を抑制するための設備・機器</u>  <u>ハ. 上記イ.及びロ.の設備・機器の機能を確保するために必要な施設</u></p> <p>(b) <u>Bクラスの施設</u>  <u>安全機能を有する施設のうち、機能喪失した場合の影響がSクラスに属する施設と比べ小さい施設。</u>  <u>イ. 核燃料物質を取り扱う設備・機器又はMOX を非密封で取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等であって、その破損による公衆への放射線の影響が比較的小さいもの(ただし、核燃料物質が少ないか又は収納方式によりその破損による公衆への放射線の影響が十分小さいものは除く。)</u>  <u>ロ. 放射性物質の外部への放散を抑制するための設備・機器であってSクラス以外の設備・機器</u></p> <p>(c) <u>Cクラスの施設</u>  <u>Sクラスに属する施設及びBクラスに属する施設以外の一般産業施設又は公共施設と同等の安全性が要求される施設。</u>  <u>上記に基づく耐震設計上の重要度分類を第3.1.1-1表に示す。</u>  <u>なお、同表には当該施設を支持する建物・構築物の支持機能が維持されることを確認する地震動及び波及的影響を考慮すべき施設に適用する地震動についても併記する。</u></p>	



変 更 前	変 更 後
<p>b. <u>重大事故等対処施設の設備分類</u></p> <p><u>重大事故等対処施設について、施設の各設備が有する重大事故等に対処するために必要な機能及び設置状態を踏まえて、以下の設備分類に応じた設計とする。</u></p> <p>(a) <u>常設重大事故等対処設備</u></p> <p><u>重大事故に至るおそれがある事故及び重大事故が発生した場合において、対処するために必要な機能を有する設備であって常設のもの。</u></p> <p>イ. <u>常設耐震重要重大事故等対処設備</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備であって、耐震重要施設に属する設計基準事故に対処するための設備が有する機能を代替するもの。</u></p> <p>ロ. <u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備であって、上記イ. 以外のもの。</u></p> <p><u>上記に基づく重大事故等対処施設の設備分類について第3.1.1-2表に示す。</u></p> <p><u>なお、同表には、重大事故等対処設備を支持する建物・構築物の支持機能が損なわれないことを確認する地震力についても併記する。</u></p> <p>(3) <u>地震力の算定方法</u></p> <p><u>耐震設計に用いる設計用地震力は、以下の方法で算定される静的地震力及び動的地震力とする。</u></p> <p>a. <u>静的地震力</u></p> <p><u>安全機能を有する施設に適用する静的地震力は、Sクラス、Bクラス及びCクラスの施設に適用することとし、それぞれの耐震重要度に応じて以下の地震層せん断力係数及び震度に基づき算定する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設については、常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設に、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度に適用される地震力を適用する。</u></p> <p>(a) <u>建物・構築物</u></p> <p><u>水平地震力は、地震層せん断力係数<math>C_i</math>に、次に示す施設の耐震重要度に応じた係数を乗じ、さらに当該層以上の重量を乗じて算定するものとする。</u></p> <p><u>Sクラス 3.0</u></p> <p><u>Bクラス 1.5</u></p> <p><u>Cクラス 1.0</u></p> <p><u>ここで、地震層せん断力係数<math>C_i</math>は、標準せん断力係数<math>C_0</math>を0.2以上とし、建物・構築物の振動特性、地盤の種類等を考慮して求められる値とする。</u></p>	

変更前	変更後
<p><u>また、必要保有水平耐力の算定においては、地震層せん断力係数<math>C_i</math>に乘じる施設の耐震重要度に応じた係数は、耐震重要度の各クラスともに1.0とし、その際に用いる標準せん断力係数<math>C_0</math>は1.0以上とする。</u></p> <p><u>Sクラスの施設については、水平地震力と鉛直地震力が同時に不利な方向の組合せで作用するものとする。鉛直地震力は、震度0.3以上を基準とし、建物・構築物の振動特性及び地盤の種類等を考慮し、高さ方向に一定として求めた鉛直震度より算定する。</u></p> <p><u>(b) 機器・配管系</u></p> <p><u>耐震重要度の各クラスの地震力は、上記(a)に示す地震層せん断力係数<math>C_i</math>に施設の耐震重要度に応じた係数を乗じたものを水平震度とし、当該水平震度及び上記(a)の鉛直震度をそれぞれ20%増しとした震度より求めるものとする。</u></p> <p><u>Sクラスの施設については、水平地震力と鉛直地震力は同時に不利な方向の組合せで作用するものとする。ただし、鉛直震度は高さ方向に一定とする。</u></p> <p><u>上記(a)及び(b)の標準せん断力係数<math>C_0</math>等の割増し係数については、耐震性向上の観点から、一般産業施設及び公共施設の耐震基準との関係を考慮して設定する。</u></p> <p><u>b. 動的地震力</u></p> <p><u>安全機能を有する施設について、Sクラスの施設の設計に適用する動的地震力は、基準地震動<math>S_s</math>及び弾性設計用地震動<math>S_d</math>から定める入力地震動を適用する。</u></p> <p><u>Bクラスの施設のうち共振のおそれのある施設については、上記Sクラスの施設に適用する弾性設計用地震動<math>S_d</math>に2分の1を乗じたものから定める入力地震動を適用する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設については、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設に基準地震動<math>S_s</math>による地震力を適用する。</u></p> <p><u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設のうち、Bクラスに属する施設の機能を代替する施設であって共振のおそれのある施設については、「b. 動的地震力」に示す共振のおそれのあるBクラス施設に適用する地震力を適用する。</u></p> <p><u>なお、重大事故等対処施設のうち、安全機能を有する施設の基本構造と異なる施設については、適用する地震力に対して、要求される機能及び構造健全性が維持されることを確認するため、当該施設の構造を適切にモデル化した上での地震応答解析、加振試験等を実施する。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設の動的解析においては、地盤の諸定数も含めて材料のばらつきによる変動幅を適切に考慮する。</u></p>	

変更前	変更後
<p><u>動的地震力は、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定する。水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響確認に当たっては、水平1方向及び鉛直方向地震力を組み合わせた既往の耐震計算への影響が考えられる施設、設備の部位を抽出し、建物・構築物の3次元応答性状及びそれによる機器・配管系への影響を考慮した上で、既往の方法を用いた耐震性に及ぼす影響を評価する。</u></p> <p>(a) <u>入力地震動</u></p> <p><u>地質調査の結果によれば、重要なMOX燃料加工施設の設置位置周辺は、新第三紀の鷹架層が十分な広がりをもって存在することが確認されている。</u></p> <p><u>解放基盤表面は、この新第三紀の鷹架層のS波速度が0.7km/s以上を有する標高約-70mの位置に想定することとする。</u></p> <p><u>基準地震動S<sub>s</sub>及び弾性設計用地震動S<sub>d</sub>は、解放基盤表面で定義する。</u></p> <p><u>建物・構築物の地震応答解析モデルに対する入力地震動は、解放基盤表面からの地震波の伝播特性を適切に考慮した上で、必要に応じ2次元FEM解析又は1次元波動論により、地震応答解析モデルの入力位置で評価した入力地震動を設定する。また、必要に応じて地盤の非線形応答に関する動的変形特性を考慮することとし、地盤のひずみに応じた地盤物性値を用いて作成する。非線形性の考慮に当たっては、地下水排水設備による地下水位の低下状態を踏まえ評価する。</u></p> <p><u>地盤条件を考慮する場合には、地震動評価で考慮した敷地全体の地下構造との関係や対象建物・構築物の直下又は周辺の地質・速度構造の違いにも留意する。</u></p> <p><u>また、必要に応じ敷地における観測記録による検証や最新の科学的・技術的知見を踏まえ、地質・速度構造等の地盤条件を設定する。</u></p> <p><u>Bクラスの施設及びBクラス施設の機能を代替する常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設のうち共振のおそれがあり、動的解析が必要なものに対しては、弾性設計用地震動S<sub>d</sub>に2分の1を乗じたものを用いる。</u></p> <p>(b) <u>動的解析法</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p><u>動的解析に当たっては、対象施設の形状、構造特性、振動特性等を踏まえ、地震応答解析手法の適用性及び適用限界等を考慮のうえ、適切な解析法を選定するとともに、建物・構築物に応じて十分な調査に基づく適切な解析条件を設定する。動的解析は、原則として、時刻歴応答解析法を用いて求めるものとする。</u></p> <p><u>また、3次元応答性状等の評価は、線形解析に適用可能な周波数応答解析法による。</u></p> <p><u>建物・構築物の動的解析に当たっては、建物・構築物の剛性はそれらの形状、構造特性、振動特性、減衰特性を十分考慮して評価し、集中質点系に置換した解析モデルを設定する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>動的解析には、建物・構築物と地盤の相互作用及び埋込み効果を考慮するものとし、解析モデルの地盤のばね定数は、基礎版の平面形状、地盤の剛性等を考慮して定める。地盤の剛性等については、必要に応じて地盤の非線形応答を考慮することとし、地盤のひずみに応じた地盤物性値に基づくものとする。設計用地盤定数の設定に当たっては、地盤の構造特性の考慮として、地震動評価で考慮した敷地全体の地下構造との関係や対象建物・構築物の直下又は周辺の地質・速度構造の違いにも留意し、原則として、弾性波試験によるものを用いる。</u></p> <p><u>地盤－建物・構築物連成系の減衰定数は、振動エネルギーの地下逸散及び地震応答における各部のひずみレベルを考慮して定める。</u></p> <p><u>基準地震動 <math>S_s</math> 及び弾性設計用地震動 <math>S_d</math> に対する応答解析において、主要構造要素がある程度以上弾性範囲を超える場合には、実験等の結果に基づき、該当する建物部分の構造特性に応じて、その弾塑性挙動を適切に模擬した復元力特性を考慮した応答解析を行う。</u></p> <p><u>また、Sクラスの施設を支持する建物・構築物及び常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設を支持する建物・構築物の支持機能を検討するための動的解析において、当該施設を支持する建物・構築物の主要構造要素がある程度以上弾性範囲を超える場合には、その弾塑性挙動を適切に模擬した復元力特性を考慮した応答解析を行う。</u></p> <p><u>地震応答解析に用いる材料定数については、地盤の諸定数も含めて材料のばらつきによる変動幅を適切に考慮する。また、材料のばらつきによる変動が建物・構築物の振動性状や応答性状に及ぼす影響として考慮すべき要因を選定した上で、選定された要因を考慮した動的解析により設計用地震力を設定する。</u></p> <p><u>建物・構築物の動的解析においては、地下水排水設備による地下水位の低下を考慮して適切な解析手法を選定する。ここで、地震時の地盤の有効応力の変化に応じた影響を考慮する場合は、有効応力解析を実施する。有効応力解析に用いる液状化強度特性は、敷地の原地盤における代表性及び網羅性を踏まえた上で保守性を考慮して設定することを基本とする。</u></p> <p><u>動的解析に用いる解析モデルは、周辺施設も含めた地震観測網により得られた観測記録を用いた検討及び詳細な3次元FEMを用いた解析により振動性状の把握を行い、解析モデルの妥当性の確認を行う。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>建物・構築物のうち土木構造物の動的解析に当たっては、構造物と地盤の相互作用を考慮できる連成系の地震応答解析手法を用いる。地震応答解析手法は、地盤及び構造物の地震時における非線形挙動の有無や程度に応じて、線形、等価線形又は非線形解析のいずれかによる。地盤の地震応答解析モデルは、構造物と地盤の動的相互作用を考慮できる有限要素法を用いる。構造物の地震応答解析に用いる減衰定数については、地盤と構造物の非線形性を考慮して適切に設定する。</u></p> <p><u>地震力については、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定する。</u></p> <p>ロ. 機器・配管系</p> <p><u>動的解析による地震力の算定に当たっては、地震応答解析手法の適用性、適用限界等を考慮のうえ、適切な解析法を選定するとともに、解析条件として考慮すべき減衰定数、剛性等の各種物性値は、適切な規格及び基準又は試験等の結果に基づき設定する。</u></p> <p><u>機器については、形状、構造特性等を考慮して、代表的な振動モードを適切に表現できるように質点系モデル、有限要素モデル等に置換し、設計用床応答曲線を用いたスペクトルモーダル解析法又は時刻歴応答解析法により応答を求める。</u></p> <p><u>また、時刻歴応答解析法及びスペクトルモーダル解析法を用いる場合は地盤物性等のばらつきを適切に考慮する。スペクトルモーダル解析法には地盤物性等のばらつきを考慮した床応答曲線を用いる。</u></p> <p><u>配管系については、適切なモデルを作成し、設計用床応答曲線を用いたスペクトルモーダル解析法により応答を求める。</u></p> <p><u>スペクトルモーダル解析法及び時刻歴応答解析法の選択に当たっては、衝突・すべり等の非線形現象を模擬する観点又は既往研究の知見を取り入れ実機の挙動を模擬する観点で、建物・構築物の剛性及び地盤物性のばらつきへの配慮をしつつ時刻歴応答解析法を用いる等、解析対象とする現象、対象設備の振動特性・構造特性等を考慮し適切に選定する。</u></p> <p><u>また、設備の3次元的な広がりや踏まえ、適切に応答を評価できるモデルを用い、水平2方向及び鉛直方向の応答成分について適切に組み合わせるものとする。</u></p> <p><u>なお、剛性の高い機器・配管系は、その設置床面の最大床応答加速度の1.2倍の加速度を静的に作用させて地震力を算定する。</u></p> <p>c. 設計用減衰定数</p> <p><u>地震応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準に基づき、設備の種類、構造等により適切に選定するとともに、試験等で妥当性を確認した値も用いる。</u></p> <p><u>なお、建物・構築物の地震応答解析に用いる鉄筋コンクリートの減衰定数の設定については、既往の知見に加え、既施設の地震観測記録等により、その妥当性を検討する。</u></p> <p><u>また、地盤と土木構造物の連成系地震応答解析モデルの減衰定数については、地中構造物としての特徴、同モデルの振動特性を考慮して適切に設定する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(4) <u>荷重の組合せと許容限界</u></p> <p><u>耐震設計における荷重の組合せと許容限界は、以下によるものとする。</u></p> <p><u>また、耐震設計においては、安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能である閉じ込め機能、プロセス量等の維持機能、臨界防止機能、支援機能、火災防護機能、遮蔽機能、気密性、換気機能、支持機能、操作場所及びアクセスルートの保持機能等を維持する設計とする。</u></p> <p><u>上記の機能のうち、遮蔽機能、気密性、支持機能、操作場所及びアクセスルートの保持機能等については、安全機能を有する施設の耐震重要度及び重大事故等対処施設の設備分類に応じた地震力に対して、当該機能が要求される施設の構造強度を確保することで、機能が維持できる設計とする。</u></p> <p><u>閉じ込め機能、プロセス量等の維持機能、臨界防止機能、支援機能、火災防護機能、換気機能等については、構造強度を確保するとともに、当該機能が要求される各施設の特性に応じて許容限界を適切に設定する。</u></p> <p>a. <u>耐震設計上考慮する状態</u></p> <p><u>地震以外に設計上考慮する状態を以下に示す。</u></p> <p>(a) <u>安全機能を有する施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>通常時の状態</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設が運転している状態。</u></p> <p>(ロ) <u>設計用自然条件</u></p> <p><u>設計上基本的に考慮しなければならない自然条件(積雪、風)。</u></p> <p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>通常時の状態</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設が運転している状態。</u></p> <p>(ロ) <u>設計基準事故時の状態</u></p> <p><u>当該状態が発生した場合には MOX 燃料加工施設から多量の放射性物質が放出するおそれがあるものとして安全設計上想定すべき事象が発生した状態。</u></p> <p>(b) <u>重大事故等対処施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>通常時の状態</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設が運転している状態。</u></p> <p>(ロ) <u>重大事故等時の状態</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設が、重大事故に至るおそれがある事故又は重大事故の状態で、重大事故等対処施設の機能を必要とする状態。</u></p> <p>(ハ) <u>設計用自然条件</u></p> <p><u>設計上基本的に考慮しなければならない自然条件(積雪、風)。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>通常時の状態</u> MOX 燃料加工施設が運転している状態。</p> <p>(ロ) <u>設計基準事故時の状態</u> 当該状態が発生した場合には MOX 燃料加工施設から多量の放射性物質が放出するおそれがあるものとして安全設計上想定すべき事象が発生した状態。</p> <p>(ハ) <u>重大事故等時の状態</u> MOX 燃料加工施設が、重大事故に至るおそれがある事故又は重大事故の状態で、重大事故等対処施設の機能を必要とする状態。</p> <p>b. <u>荷重の種類</u></p> <p>(a) <u>安全機能を有する施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>MOX 燃料加工施設のおかれている状態にかかわらず通常時に作用している荷重、すなわち固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧</u></p> <p>(ロ) <u>地震力、積雪荷重及び風荷重</u> ただし、通常時に作用している荷重には、機器・配管系から作用する荷重が含まれるものとし、地震力には、地震時土圧、地震時水圧及び機器・配管系からの反力が含まれるものとする。</p> <p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>通常時に作用している荷重</u></p> <p>(ロ) <u>設計基準事故時の状態で施設に作用する荷重</u></p> <p>(ハ) <u>地震力</u> ただし、各状態において施設に作用する荷重には、通常時に作用している荷重、すなわち自重等の固定荷重が含まれるものとする。また、屋外に設置される施設については、建物・構築物に準じる。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(b) <u>重大事故等対処施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>MOX燃料加工施設のおかれている状態にかかわらず通常時に作用している荷重, すなわち固定荷重, 積載荷重, 土圧及び水圧</u></p> <p>(ロ) <u>重大事故等時の状態で施設に作用する荷重</u></p> <p>(ハ) <u>地震力, 積雪荷重及び風荷重</u></p> <p>ただし, <u>通常時及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重には, 機器・配管系から作用する荷重が含まれるものとし, 地震力には, 地震時土圧, 地震時水圧及び機器・配管系からの反力が含まれるものとする。</u></p> <p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>通常時に作用している荷重</u></p> <p>(ロ) <u>設計基準事故時の状態で施設に作用する荷重</u></p> <p>(ハ) <u>重大事故等時の状態で施設に作用する荷重</u></p> <p>(ニ) <u>地震力</u></p> <p>ただし, <u>各状態において施設に作用する荷重には, 通常時に作用している荷重, すなわち自重等の固定荷重が含まれるものとする。また, 屋外に設置される施設については, 建物・構築物に準じる。</u></p> <p>c. <u>荷重の組合せ</u></p> <p><u>地震力と他の荷重との組合せについては, 「3.3 外部からの衝撃による損傷の防止」で設定している風及び積雪による荷重を考慮し, 以下のとおり設定する。</u></p> <p>(a) <u>安全機能を有する施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>Sクラスの建物・構築物については, 通常時に作用している荷重(固定荷重, 積載荷重, 土圧及び水圧), 積雪荷重及び風荷重と基準地震動<math>S_s</math>による地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>(ロ) <u>Sクラス, Bクラス及びCクラスの建物・構築物については, 通常時に作用している荷重(固定荷重, 積載荷重, 土圧及び水圧), 積雪荷重及び風荷重と基準地震動<math>S_s</math>以外の地震動による地震力又は静的地震力とを組み合わせる。</u></p> <p><u>この際, 通常時に作用している荷重のうち, 土圧及び水圧について, 基準地震動<math>S_s</math>による地震力又は弾性設計用地震動<math>S_d</math>による地震力と組み合わせる場合は, 当該地震時の土圧及び水圧とする。</u></p>	



変 更 前	変 更 後
<p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>Sクラスの機器・配管系については、通常時に作用している荷重及び設計基準事故時に生じる荷重と基準地震動<math>S_s</math>による地震力、弾性設計用地震動<math>S_d</math>による地震力又は静的地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>(ロ) <u>Bクラスの機器・配管系については、通常時に作用している荷重と共振影響検討用の地震動による地震力又は静的地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>(ハ) <u>Cクラスの機器・配管系については、通常時に作用している荷重と静的地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>なお、屋外に設置される施設については、建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</p> <p>(b) <u>重大事故等対処施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重、風荷重及び基準地震動<math>S_s</math>による地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>(ロ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重、風荷重及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重のうち、地震によって引き起こされるおそれがある事象によって作用する荷重と基準地震動<math>S_s</math>による地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>(ハ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重、風荷重及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重のうち、地震によって引き起こされるおそれがない事象による荷重は、その事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力(基準地震動<math>S_s</math>又は弾性設計用地震動<math>S_d</math>による地震力)と組み合わせる。この組合せについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(ニ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重, 積載荷重, 土圧及び水圧), 積雪荷重及び風荷重と, 弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力とを組み合わせる。</u></p> <p><u>この際, 通常時に作用している荷重のうち, 土圧及び水圧について, 基準地震動S sによる地震力又は弾性設計用地震動S dによる地震力と組み合わせる場合は, 当該地震時の土圧及び水圧とする。</u></p> <p>ロ. 機器・配管系</p> <p>(イ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系については, 通常時に作用している荷重と基準地震動S sによる地震力を組み合わせる。</u></p> <p>(ロ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系については, 通常時に作用している荷重, 設計基準事故時の状態及び重大事故等時の状態で施設に作用している荷重のうち, 地震によって引き起こされるおそれがある事象によって作用する荷重と基準地震動S sによる地震力を組み合わせる。重大事故等が地震によって引き起こされるおそれがある事象であるかについては, 安全機能を有する施設の耐震設計の考え方にに基づき設定する。</u></p> <p>(ハ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系については, 通常時に作用している荷重, 設計基準事故時の状態及び重大事故等時の状態で施設に作用している荷重のうち, 地震によって引き起こされるおそれがない事象による荷重は, 基準地震動S s又は弾性設計用地震動S dによる地震力と組み合わせる。</u></p> <p>(ニ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系については, 通常時に作用している荷重と弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力を組み合わせる。</u></p> <p><u>なお, 屋外に設置される施設については, 建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(c) <u>荷重の組合せ上の留意事項</u></p> <p>イ. <u>安全機能を有する施設のうち耐震重要度の異なる施設を支持する建物・構築物の当該部分の支持機能を確認する場合においては、支持される施設の耐震重要度に応じた地震力と通常時に作用している荷重とを組み合わせる。</u></p> <p>ロ. <u>安全機能を有する施設のうち機器・配管系の設計基準事故(以下本項目では「事故」という。)時に生じる荷重については、地震によって引き起こされるおそれのある事故によって作用する荷重及び地震によって引き起こされるおそれのない事故であっても、いったん事故が発生した場合、長時間継続する事故による荷重は、その事故の発生確率、継続時間及び地震動の超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力と組み合わせる。</u></p> <p>ハ. <u>安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設に適用する動的地震力は、水平2方向及び鉛直方向について適切に組み合わせるものとする。</u></p> <p>ニ. <u>積雪荷重については、屋外に設置されている安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設のうち、積雪による受圧面積が小さい施設や、通常時に作用している荷重に対して積雪荷重の割合が無視できる施設を除き、地震力との組合せを考慮する。</u></p> <p>ホ. <u>風荷重については、屋外の直接風を受ける場所に設置されている安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設のうち、風荷重の影響が地震荷重と比べて相対的に無視できないような構造、形状及び仕様の施設においては、地震力との組合せを考慮する。</u></p> <p>ヘ. <u>荷重として考慮する水圧のうち地下水圧については、地下水排水設備による地下水位の低下を踏まえた設計用地下水位に基づき設定する。</u></p> <p>ト. <u>設備分類の異なる重大事故等対処施設を支持する建物・構築物の当該部分の支持機能を確認する場合においては、支持される施設の設備分類に応じた地震力と通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重並びに積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</u></p> <p>チ. <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系の、通常時に作用している荷重、設計基準事故時の状態及び重大事故等時の状態で施設に作用している荷重のうち、地震によって引き起こされるおそれがない事象による荷重と、基準地震動 <math>S_s</math> 又は弾性設計用地震動 <math>S_d</math> による地震力との組合せについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>d. <u>許容限界</u></p> <p><u>各施設の地震力と他の荷重とを組み合わせた状態に対する許容限界は、以下のとおりとし、安全上適切と認められる規格及び基準又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</u></p> <p>(a) <u>安全機能を有する施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>Sクラスの建物・構築物</u></p> <p>i. <u>基準地震動<math>S_s</math>による地震力との組合せに対する許容限界</u></p> <p><u>建物・構築物全体としての変形能力(耐震壁のせん断ひずみ等)が終局耐力時の変形に対して十分な余裕を有し、部材・部位ごとのせん断ひずみ・応力等が終局耐力時のせん断ひずみ・応力等に対して、<u>妥当な安全余裕を有することとする。</u></u></p> <p><u>なお、終局耐力とは、建物・構築物に対する荷重又は応力を漸次増大していくとき、その変形又はひずみが著しく増加するに至る限界の最大耐力とし、既往の実験式等に基づき適切に定めるものとする。</u></p> <p>ii. <u>弾性設計用地震動<math>S_d</math>による地震力又は静的地震力との組合せに対する許容限界</u></p> <p><u>Sクラスの建物・構築物については、地震力に対しておおむね弾性状態に留まるように、発生する応力に対して、<u>建築基準法等の安全上適切と認められる規格及び基準による許容応力度を許容限界とする。</u></u></p> <p>(ロ) <u>Bクラス及びCクラスの建物・構築物</u></p> <p><u>上記(イ) ii. による許容応力度を許容限界とする。</u></p> <p>(ハ) <u>建物・構築物の保有水平耐力</u></p> <p><u>建物・構築物(土木構造物を除く。)については、当該建物・構築物の保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して、<u>耐震重要度に応じた適切な安全余裕を有していることを確認する。</u></u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>ロ. <u>機器・配管系</u></p> <p>(イ) <u>Sクラスの機器・配管系</u></p> <p>i. <u>基準地震動S<sub>s</sub>による地震力との組合せに対する許容限界</u>  <u>塑性域に達するひずみが生じる場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限度に応力、荷重を制限する値を許容限界とする。</u></p> <p>ii. <u>弾性設計用地震動S<sub>d</sub>による地震力又は静的地震力との組合せに対する許容限界</u>  <u>発生する応力に対して、応答が全体的におおむね弾性状態に留まるように、降伏応力又はこれと同等の安全性を有する応力を許容限界とする。</u></p> <p>(ロ) <u>Bクラス及びCクラスの機器・配管系</u>  <u>上記(イ) ii. による応力を許容限界とする。</u></p> <p>(b) <u>重大事故等対処施設</u></p> <p>イ. <u>建物・構築物</u></p> <p>(イ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物</u>  <u>上記(a)イ.(イ) i. を適用する。</u></p> <p>(ロ) <u>常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物</u>  <u>上記(a)イ.(ロ)を適用する。</u></p> <p>(ハ) <u>設備分類の異なる重大事故等対処施設を支持する建物・構築物</u>  <u>上記(イ)を適用するほか、建物・構築物は、変形等に対してその支持機能が損なわれない設計とする。なお、当該施設を支持する建物・構築物の支持機能が損なわれないことを確認する際の地震力は、支持される施設に適用される地震力とする。</u></p> <p>(ニ) <u>建物・構築物の保有水平耐力</u>  <u>建物・構築物については、当該建物・構築物の保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して、重大事故等対処施設が代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度に応じた適切な安全余裕を有していることを確認する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>ロ. 機器・配管系</u></p> <p><u>(イ) 常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系</u> <u>上記(a)ロ.(イ) i. を適用する。</u></p> <p><u>(ロ) 常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大</u> <u>事故等対処施設の機器・配管系</u> <u>上記(a)ロ.(ロ)を適用する。</u></p> <p><u>(5) 設計における留意事項</u></p> <p><u>a. 主要設備等, 補助設備, 直接支持構造物及び間接支持構造物</u> <u>主要設備等, 補助設備及び直接支持構造物については, 耐震重要度に応じた地震力に十分耐</u> <u>えられる設計とするとともに, 安全機能を有する施設のうち, 耐震重要施設に該当する設備は,</u> <u>基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u> <u>また, 間接支持構造物については, 支持する主要設備等又は補助設備の耐震重要度に適用す</u> <u>る地震動による地震力に対して支持機能が損なわれない設計とする。</u></p> <p><u>b. 波及的影響に対する考慮</u> <u>耐震重要施設は, 耐震重要度の下位のクラスに属する施設の波及的影響によって, その安全</u> <u>機能が損なわれないものとする。</u> <u>評価に当たっては, 以下の4つの観点をもとに, 敷地全体を俯瞰した調査・検討を行い, 各</u> <u>観点より選定した事象に対する波及的影響の評価により波及的影響を考慮すべき施設を抽出</u> <u>し, 耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。</u> <u>波及的影響の評価に当たっては, 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力を適用す</u> <u>る。なお, 地震動又は地震力の選定に当たっては, 施設の配置状況, 使用時間を踏まえて適切</u> <u>に設定する。また, 波及的影響の確認においては水平2方向及び鉛直方向の地震力が同時に作</u> <u>用する場合に影響を及ぼす可能性のある施設, 設備を選定し評価する。</u> <u>ここで, 下位クラス施設とは, 耐震重要施設以外の MOX 燃料加工施設内にある施設(資機材</u> <u>等含む。)をいう。</u> <u>波及的影響を防止するよう現場を維持するため, 機器設置時の配慮事項等を保安規定に定め</u> <u>て, 管理する。</u> <u>なお, 原子力施設の地震被害情報をもとに, 4つの観点以外に検討すべき事項がないか確認</u> <u>し, 新たな検討事項が抽出された場合には, その観点を追加する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(a) <u>設置地盤及び地震応答性状の相違に起因する相対変位又は不等沈下による影響</u></p> <p>イ. <u>不等沈下</u> 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して不等沈下により、耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。</p> <p>ロ. <u>相対変位</u> 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力による下位クラス施設と耐震重要施設の相対変位により、耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。</p> <p>(b) <u>耐震重要施設と下位クラス施設との接続部における相互影響</u> 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、耐震重要施設に接続する下位クラス施設の損傷により、耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。</p> <p>(c) <u>建屋内における下位クラス施設の損傷、転倒及び落下による耐震重要施設への影響</u> 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、建屋内の下位クラス施設の損傷、転倒及び落下により、耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。</p> <p>(d) <u>建屋外における下位クラス施設の損傷、転倒及び落下による耐震重要施設への影響</u> 耐震重要施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、建屋外の下位クラス施設の損傷、転倒及び落下により、耐震重要施設の安全機能への影響がないことを確認する。 なお、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設に対する波及的影響については、「耐震重要施設」を「常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設」に、「耐震重要度の下位のクラスに属する施設」を「常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設以外の施設」に、「安全機能」を「重大事故等に対処するために必要な機能」に読み替えて適用する。</p> <p>c. <u>建物・構築物への地下水の影響</u> 耐震設計において地下水位の低下を期待する建物・構築物は、周囲の地下水を排水し、基礎スラブ底面レベル以深に地下水位を維持できるよう地下水排水設備(サブドレンポンプ、水位検出器等)を設置する。 また、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して、必要な機能が保持できる設計とするとともに、非常用電源設備からの給電が可能な設計とする。</p> <p>d. <u>一関東評価用地震動(鉛直)</u> 基準地震動<math>S_s - C4</math>は、水平方向の地震動のみであることから、水平方向と鉛直方向の地震力を組み合わせた影響評価を行う場合には、工学的に水平方向の地震動から設定した鉛直方向の評価用地震動(以下「一関東評価用地震動(鉛直)」という。)による地震力を用いて、水平方向と鉛直方向の地震力を組み合わせた影響が考えられる施設に対して、許容限界の範囲内に留まることを確認する。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(6) 緊急時対策所</p> <p><u>緊急時対策所については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。緊急時対策建屋については、耐震構造とし、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、遮蔽機能を確保する設計とする。</u></p> <p><u>また、緊急時対策所の居住性を確保するため、鉄筋コンクリート構造とし、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、緊急時対策建屋の換気設備の性能とあいまって十分な気密性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>なお、地震力の算定方法及び荷重の組合せと許容限界については、「(3) 地震力の算定方法」及び「(4) 荷重の組合せと許容限界」に示す建物・構築物及び機器・配管系を適用する。</u></p> <p>(7) 地震による周辺斜面の崩壊に対する設計方針</p> <p><u>耐震重要施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設については、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力により周辺斜面の崩壊の影響がないことが確認された場所に設置する。</u></p> <p><u>なお、耐震重要施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設周辺においては平坦な造成地であることから、地震力に対して、施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能に重大な影響を与えるような崩壊を起こすおそれのある斜面はない。</u></p>	





第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類 (2/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>①</sup>				補修設備 <sup>②</sup>		直接支持構造物 <sup>③</sup>		間接支持構造物 <sup>④⑤</sup>		被災影響を考慮すべき設備 <sup>⑥</sup>	
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	検査用地震動 <sup>⑦</sup>
S	1) MOXを非密封で取り扱う設備・機器を収容するグローブボックス及びグローブボックスと同等の用い込み機能を必要とする設備・機器であった、その取組による公衆への放射線の影響が大きい施設 (つづき)	成形施設	ベレット加工工程のグローブボックス プレス装置 (粉砕回収部) グローブボックス グリーンベレット移送機グローブボックス 空焼炉ベレット回収装置グローブボックス 焼結炉ベレット取出装置グローブボックス 排ガス処理装置グローブボックス (上部)	S S S S S			S	燃料加工 建屋	検査用 地震動 <sup>⑦</sup>	S <sub>s</sub>	プレス装置 (粉砕回収部) プレス装置 (プレス部) グリーンベレット移送装置 空焼炉ベレット回収装置 焼結炉ベレット取出装置 排ガス処理装置グローブボックス (上部) 焼結炉ベレット回収装置 研究的装置 研究的回収装置 外観検査装置 焼結炉ベレット回収装置 ベレット保管容器搬送装置 回収粉末容器搬送装置	S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub>	
		検査設備 <sup>⑧</sup> 排ガス処理装置 貯蔵施設のグローブボックス	S S	非常用所内電源設備 <sup>⑨</sup>	S	設備・機器の 支持構造物	S	燃料加工 建屋	S <sub>s</sub>				
		貯蔵施設	原料MOX粉末計一時保管装置グローブボックス 粉末一時保管装置グローブボックス ベレット一時保管期グローブボックス 焼結炉ベレット受渡装置グローブボックス スクラップ作機棚グローブボックス スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス 製品ベレット作機棚グローブボックス ベレット保管容器受渡装置グローブボックス	S S S S S S S			燃料加工 建屋	S <sub>s</sub>	原料MOX粉末計一時保管装置 粉末一時保管装置 ベレット一時保管期 焼結炉ベレット受渡装置 スクラップ作機棚 スクラップ保管容器受渡装置 製品ベレット作機棚 ベレット保管容器受渡装置	S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub> S <sub>s</sub>			

変更後

変更なし

第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類 (3/16)

耐震クラス	クラス別施設	施設名	主要設備等 <sup>4)</sup>		補強設備 <sup>5)</sup>		直接支持構造物 <sup>6)</sup>		間接支持構造物 <sup>4a)</sup>		波及影響を考慮すべき設備 <sup>7)</sup>	
			適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲
S	1) MOXを非密封で取り扱う設備・機器を取付けるグローブボックス及びグローブボックスと同様の閉じ込め機能を必要とする設備・機器であって、その設置による公衆への放射線の影響が大きい施設 (ツブキ)	その他加工設備の附属施設	適用範囲	S	適用範囲	S	適用範囲	S	適用範囲	S <sub>h</sub>	適用範囲	S <sub>h</sub> S <sub>h</sub>
			小規模冷却設備のグローブボックス 小規模炉内混合処理グローブボックス 小規模プレンス処理グローブボックス 小規模放射線処理グローブボックス 小規模燃料棒検査処理グローブボックス 燃料棒検査処理グローブボックス 小規模冷却設備 小規模放射線処理 小規模燃料棒検査処理	非密封内 電機設備 <sup>8)</sup>	S	設備・機器の 支持構造物	S	燃料加工 建築	S <sub>h</sub>	適用範囲	適用範囲	小規模炉内混合処理 小規模プレンス処理 小規模放射線処理 燃料棒検査処理
	2) 上記1) に関係する設備・機器から放射性物質が漏えいした場合に、その影響の拡大を防止するための施設	—		S								
	3) 上記1) に関係する設備・機器で放射性物質の外部への放出を抑制するための設備・機器	放射性核素の廃棄物の廃棄施設	適用範囲	S	非常用所内 電機設備 <sup>8)</sup>	S	設備・機器の 支持構造物	S	燃料加工 建築	S <sub>h</sub>	適用範囲	
			工程排気フィルタユニット グローブボックス排気設備 工程排気設備のうち、安全上重要な施設 のグローブボックスからグローブボックス排気設備までの配管及び安全上重要な施設のグローブボックスの給気配管のうち、グローブボックスの閉じ込め機能確保に必要な配管 グローブボックス排気フィルタ <sup>9)</sup> グローブボックス排気フィルタユニット	S			設備・機器の 支持構造物	S	燃料加工 建築	S <sub>h</sub>		

変更後

変更なし

第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類 (4/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>4)</sup>			補修設備 <sup>5)</sup>		直接支持構造物 <sup>6)</sup>		間接支持構造物 <sup>6)</sup>		波及影響を考慮すべき設備 <sup>7)</sup>
		施設名	適用範囲	耐震クラス <sup>4)</sup>	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	
S	4) その他の施設 加工施設	火災防範設備 クローブボックス風防装置 クローブボックス消火装置 <sup>4)</sup> 延焼防止タンク <sup>4)</sup> ピストンタンク <sup>4)</sup> 水素・アルゴン混合ガス設備 <sup>4)</sup>	S S S S S	非常用室内 電源設備 <sup>5)</sup>	S	設備・機器の 支持構造物	S	燃料加工 建屋	S <sub>1</sub>	適用範囲	適用範囲

変更前

変更後

変更なし

第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類 (5/16)

		変更前										変更後											
耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>※</sup>		補助設備 <sup>※</sup>		直接支持構造物 <sup>※</sup>		間接支持構造物 <sup>※</sup>		波及的影響を考慮すべき設備 <sup>※</sup>		耐震クラス		補助設備 <sup>※</sup>		直接支持構造物 <sup>※</sup>		間接支持構造物 <sup>※</sup>		波及的影響を考慮すべき設備 <sup>※</sup>			
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	設備・機器の支持構造物	耐震クラス	適用範囲	設備・機器の支持構造物	耐震クラス	適用範囲	燃料加工 建屋	貯蔵容器 輸送用 道	耐震クラス	適用範囲	燃料加工 建屋	貯蔵容器 輸送用 道	耐震クラス	適用範囲	燃料加工 建屋	貯蔵容器 輸送用 道
B	<p>1) 核燃料物質を取り扱う設備・機器又はMOSを非密封で取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス及びグローブボックスと同等の用じ込み機能を必要とする設備・機器であって、その破損による公衆への放射線の影響が比較的小さいもの(ただし、核燃料物質が少くないか又は収納方式によりその破損による公衆への放射線の影響が十分小さいものは除く。)</p>	成形施設	ベレット加工工程のグローブボックス 排ガス処理装置グローブボックス (下部) ベレット立位検査装置グローブボックス <sup>※</sup> ベレット保管容器搬送装置グローブボックス <sup>※</sup> 受塵ピット 受塵天井クレーン 保管室クレーン 貯蔵容器受入設備 貯蔵容器検査装置 河川運送台車	B B B B B B B			設備・機器の支持構造物	B			燃料加工 建屋	S <sub>1</sub>											
		変更なし																					









第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類 (9/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>注1)</sup>			補助設備 <sup>注2)</sup>		直接支持構造物 <sup>注3)</sup>		間接支持構造物 <sup>注4)</sup>		波及影響を考慮すべき設備 <sup>注5)</sup>	
		施設名	適用範囲	耐震クラス <sup>注6)</sup>	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	耐震クラス	適用範囲
B	1) 燃料貯蔵庫を取り扱う設備・機器又はMOXを非密封で取り扱う設備・機器を収納するクローブボックス及びクローブボックスと同等の閉じ込め機能を必要とする設備・機器であって、その破壊による公衆への放射線の影響が比較的小さいもの(ただし、後述の放射線による公衆への放射線の影響が十分小さいものを除く。) (フツキ)	組立施設	燃料集合体組立設備 マシニング・輸送装置 燃料集合体組立装置 燃料集合体検査設備 燃料集合体検査装置 燃料集合体第1検査装置 燃料集合体第2検査装置 燃料集合体搬送台 燃料集合体組立工程搬送設備 組立クレーン リフト 梱包・出荷設備 再燃焼包クレーン 燃料ホルダ取付装置 容器搬送装置 梱包スクリュー 容器検査装置	B B B B B B B B B B B B B B				B B B B B B				
		貯蔵施設	一時保管センター <sup>注7)</sup> 原料MOX粉末H-一時保管設備 原料MOX粉末H-一時保管装置 <sup>注8)</sup> 原料MOX粉末H-一時保管搬送装置 ウラン貯蔵設備 ウラン貯蔵庫 粉末一時保管設備 粉末一時保管装置 <sup>注9)</sup> 粉末一時保管搬送装置 ペレット一時保管装置 ペレット一時保管庫 <sup>注10)</sup> 燃料ポット入庫装置 燃料ポット受取装置	B B B B B B B B B B B B B				B B B B B B				

変更前

変更後

変更なし

第3.1.1-1表 耐震設計上の重要度分類(10/16)

		変更前						変更後			
耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>※1</sup>		補助設備 <sup>※2</sup>		直接支障施設物 <sup>※3</sup>		間接支障施設物 <sup>※4</sup>		被災影響を考慮すべき設備 <sup>※5</sup>	
		施設名	適用範囲	耐震クラス <sup>※6</sup>	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲		
B	1) 燃料物質を扱う装置・機器又はMOXを非密封で取り扱う装置・機器を収容するグローブボックス及びグローブボックスと同等の閉じ込め機能を必要とする装置・機器であって、その運用による公衆への放射線の影響が比較的小さいもの(ただし、燃料物質が放射性物質又は放射性物質によりその運用による公衆への放射線の影響が計小小さいものは除く。)(フツキ)	貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備 スクラップ貯蔵設備 <sup>※7</sup> スクラップ保管容器入庫設備 スクラップ保管容器搬送装置 製品・ベレット貯蔵設備 <sup>※8</sup> 製品・ベレット保管容器入庫設備 ベレット保管容器搬送装置 燃料棒貯蔵設備 <sup>※9</sup> 燃料棒貯蔵設備 <sup>※10</sup> 貯蔵マージン入庫設備 燃料集合体貯蔵設備 <sup>※11</sup> 燃料集合体貯蔵容器 <sup>※12</sup> 燃料貯蔵グローブボックス 受取装置/グローブボックス 分析装置/グローブボックス 分析装置/処理装置 <sup>※13</sup> 分析装置/処理装置 <sup>※14</sup> 小規模発電設備 小規模貯蔵混合装置 小規模プレス装置 小規模乾燥装置 資料保管装置	B B			設備・機器の支障施設物	B	燃料加工 建屋	適用範囲	検査用 地盤 <sup>※15</sup>
		その他の加工施設	分析装置/グローブボックス 受取装置/グローブボックス 分析装置/グローブボックス 分析装置/処理装置 <sup>※13</sup> 分析装置/処理装置 <sup>※14</sup> 小規模発電設備 小規模貯蔵混合装置 小規模プレス装置 小規模乾燥装置 資料保管装置	B B B B B B B B B B B B B B B B		設備・機器の支障施設物	B	燃料加工 建屋		検査用 地盤 <sup>※15</sup>	
						設備・機器の支障施設物	B	燃料加工 建屋		検査用 地盤 <sup>※15</sup>	

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類 (11/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>※</sup>			制御設備 <sup>※</sup>		直接支持構造物 <sup>※</sup>		間接支持構造物 <sup>※</sup>		波及的影響を考慮すべき設備 <sup>※</sup>	
		施設名	適用範囲	耐震クラス <sup>※</sup>	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲
B	2) 放射性物質の外部への放出を抑制するための設備・機器でかつ S クラス以外の設備・機器	放射性廃棄物の廃棄施設	グローブボックス非気設備 グローブボックス非気設備のうち、BクラスのグローブボックスからSクラスのグローブボックス非気設備に属するまでの範囲及びBクラスのグローブボックスの系気圏のうち、フィルタまでの範囲 窒素循環設備 <sup>※</sup> 窒素循環システム (窒素循環装置) を備える回路 窒素循環ファン 窒素循環システム	B  B B B			設備・機器の支持構造物	B	燃料加工建築	S <sub>1</sub>		

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類 (12/16)

		変更前										変更後												
耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等*		補助設備*		直接支持構造物*		間接支持構造物**		設及的影響を考慮すべき 設備**		施設 地階階	施設 地階階	耐震 クラス	施設 地階階	耐震 クラス	施設 地階階	耐震 クラス	施設 地階階	耐震 クラス	施設 地階階			
		施設名	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	設備・機器の 支持構造物	耐震 クラス	適用範囲	燃料加工 建屋											燃料加工 建屋		
C	Sクラスに属する施設 及びBクラスに属する 施設以外の一般業務施 設又は公共施設と同等 の安全性が要求される 施設	成形施設	適用範囲 原料粉末受入工程のオープンポートボックス 外置型脱粉機オープンポートボックス 円筒型脱粉機オープンポートボックス ウラン粉末圧入機オープンポートボックス ウラン受入設備 ウラン粉末回収機 ウラン粉末受入設備 原料粉末受入設備 外置型脱粉機 ウラン粉末圧入機 二次混合設備 ウラン粉末秤量・分装機	C C C C C C C C	適用範囲	耐震 クラス	設備・機器の 支持構造物	C	燃料加工 建屋	燃料加工 建屋	S	適用範囲	設及的影響を考慮すべき 設備**	施設 地階階										
		被覆施設	適用範囲 燃料加工工程のグローブボックス 溶融炉前処理設備/ロープボックス 燃料加工工程のオープンポートボックス 被覆型脱粉機オープンポートボックス 燃料移送機 (燃料供給部) オープンポート ボックス 燃料移送機 (燃料供給部) オープンポート ボックス 燃料移送機 (燃料供給部) オープンポートボックス 燃料移送機 (燃料供給部) オープンポートボックス 溶融炉前処理設備オープンポートボックス 押入溶融設備 被覆型脱粉機 被覆型脱粉機 燃料移送機 (燃料供給部) 燃料移送機 (燃料供給部) 燃料移送機 (燃料供給部) 溶融炉前処理設備	C C C C C C C C C C C C C C C C C C	適用範囲	耐震 クラス	設備・機器の 支持構造物	C	燃料加工 建屋	燃料加工 建屋	S	適用範囲	設及的影響を考慮すべき 設備**	施設 地階階										
		組立施設	適用範囲 燃料混合機組立設備 スケルトン組立設備 梱包・出荷設備 保管室天井クレーン	C C	適用範囲	耐震 クラス	設備・機器の 支持構造物	C	燃料加工 建屋	燃料加工 建屋	S	適用範囲	設及的影響を考慮すべき 設備**	施設 地階階										

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類 (13/16)

耐震クラス	クラス別施設	施設名	主要設備等*		補助設備**		直接支持構造物**		間接支持構造物***		波及影響を考慮すべき設備***	
			適用範囲	重要度クラス	適用範囲	重要度クラス	適用範囲	重要度クラス	適用範囲	重要度クラス	適用範囲	重要度クラス
C	Sクラスに属する施設及びBクラスに属する施設以外の一般産業施設又は公共施設と同等の安全性が要求される施設 (つぎ)	貯蔵施設	ウラン貯蔵設備 ウラン粉末出入仕庫設備 燃料貯蔵設備 ウラン燃料材料及び貯蔵	C	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲
		放射性廃棄物の廃棄施設	建屋排気設備 工程室排気設備 工業室排気設備のうち、Sクラス以外の範囲 グローブボックス排気設備 グローブボックス排気設備のうち、Sクラス及びBクラス以外の範囲 放射線遮蔽設備 給気設備 排気設備 低レベル廃液処理設備のオープンポートボックス 高レベル廃液処理設備のオープンポートボックス 低レベル廃液処理設備 検査槽 除染槽 ろ過処理設備 吸着処理設備	C C C C C C C C C C C C C C	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲
			補給水処理系 放出口設備 第1放出口設備 第1海洋放出口 主排水 (海洋放出口処理系 (燃料加工建屋の排水口から再処理施設との取合点までの範囲)) 主排水 (海洋放出口処理系 (燃料加工建屋の排水口から再処理施設との取合点までの範囲))	C C C C	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	適用範囲	

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類(14/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等*		補助設備*		耐震クラス	間接支持構造物**	波及影響を考慮すべき設備**	
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲			適用範囲	検査用 地震動**
C	Sクラスに属する施設及びBクラスに属する施設以外の一般産業施設又は公共施設と同等の安全性が要求される施設 (つづき)	放射線管理施設 理施設 その他の加工施設	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	検査用 地震動**
		放射線管理施設		C	非常用形や増設設備 第1非常用ディーゼル発電機	C	設備・機器の支持構造物	適用範囲	適用範囲
		火災防煙設備		C		C	設備・機器の支持構造物		
		火災防煙設備のうち、Sクラス以外の範囲		C		C			
		受電用昇降機		C		C			
		通風設備		C		C			
		分析設備のうち、Bクラス以外の範囲		C		C			
		計量設備		C		C			
		クローム・フッ素・タングステン負圧・濃縮設備		C		C			
		海水処理設備		C		C			
		冷却水設備		C		C			
		結晶水酸化設備		C		C			
		空調用冷水機設備		C		C			
		燃料油供給設備		C		C			
		蒸気発生設備		C		C			
		蒸気発生設備のうち、冷却水設備		C		C			
		水素・アルゴン混合ガス設備		C		C			
		アルゴンガス設備		C		C			
		水素ガス設備		C		C			
		非管理区域の排気設備		C		C			
		荷役設備		C		C			
		送風機・保管理設備		C		C			
		ヘリウムガス設備		C		C			
		酸味ガス設備		C		C			
		圧縮空気供給設備		C		C			

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類(15/16)

注記

- \*1：主要設備等とは、当該機能に直接的に関連する設備及び構築物をいう。
- \*2：補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備等の補助的役割をもつ設備をいう。
- \*3：直接支持構造物とは、主要設備等、補助設備に直接取り付けられる支持構造物、又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。
- \*4：間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物)をいう。
- \*5：建屋遮蔽(燃料加工建屋)及び同道遮蔽(貯蔵容器搬送用同道)は、Bクラスとする。また、燃料加工建屋は、弾性設計用地震動による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対しておおよそ弾性範囲に留まるとともに、基準地震動による地震力に対して構造物全体として変形能力について十分な余裕を有するように設計する。
- \*6：波及的影響を考慮すべき設備とは、下位の耐震クラスに属するものの破損によって上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼすおそれのある設備であり、主要設備等に適用される地震力により、上位分類に属するものに波及的影響を及ぼさないように設計する。
- \*7：Sクラスの設備・機器、Bクラスの設備・機器及びCクラスの設備・機器は、その機能上Sクラス、Bクラス又はCクラスに該当する部分とする。
- \*8：S<sub>s</sub>：基準地震動S<sub>s</sub>による地震力。  
 S<sub>B</sub>：耐震Bクラス施設に適用される地震力又は静的地震力。  
 S<sub>C</sub>：耐震Cクラス施設に適用される静的地震力。
- \*9：地下3階から地下2階に搬送する一部のグローブボックスを除く。
- \*10：焼結炉内部温度高による過加熱防止回路を含む。焼結炉に関連する焼結炉内部温度高による過加熱防止回路は、加熱の停止に必要な範囲をSクラスとする。
- \*11：非常用炉内電源設備は、非常用発電機、燃料油貯蔵タンク、非常用直流電源設備、非常用無停電電源装置、高圧母線及び低圧母線で構成する。非常用発電機は、発電機能を維持するために必要な範囲をSクラスとする。
- \*12：小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路及び小規模焼結処理装置への冷却水流量低下による加熱停止回路を含む。小規模焼結処理装置に関する小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路及び小規模焼結処理装置への冷却水流量低下による加熱停止回路は、加熱の停止に必要な範囲をSクラスとする。
- \*13：排気機能の維持に必要な回路を含む。
- \*14：安全上重要な施設のグローブボックスに付随するもの。
- \*15：安全上重要な施設のグローブボックスの消火に関する範囲。

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-1 表 耐震設計上の重要度分類 (16/16)

- \*16：安全上重要な施設のグローブボックスの排気系に設置するもの。
- \*17：安全上重要な施設のグローブボックスの給気系に設置するもの。
- \*18：混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路及び混合ガス濃度異常遮断弁（焼結炉系、小規模焼結処理系）。
- \*19：\*9で除いたグローブボックス。
- \*20：ゲートを含む。
- \*21：一時保管ピット、原料MOX粉末缶一時保管装置、粉末一時保管装置、ペレット一時保管棚、スクラップ貯蔵棚、製品ペレット貯蔵棚、燃料棒貯蔵棚及び燃料集合体貯蔵チャンネルは、Bクラスの設備・機器であるが、基準地震動に対する地震力に対して過大な変形等が生じないように設計する。  
燃料集合体貯蔵装置のうち、二重管の外管。
- \*22：分析済焼結処理装置のうち、Sクラスのグローブボックスを循環する経路については、基準地震動による地震力に対してその機能を保持する設計とする。
- \*23：窒素循環設備のうち、Sクラスのグローブボックスを循環する経路については、基準地震動による地震力に対してその機能を保持する設計とする。
- \*24：排気筒はCクラスであるが、燃料加工建屋へ波及的影響を与えないよう、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保される設計とする。
- \*25：溢れ防止設備の緊急遮断弁については、加速度大による緊急遮断弁作動回路を含む。
- \*26：燃料加工建屋内の当該設備の配管は、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保される設計とする。
- \*27：燃料加工建屋内の当該設備の配管のうち、緊急遮断弁により保有水の流出を防止する範囲は、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保される設計とする。
- \*28：\*18以外。

変更前

変更後

変更なし





第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備 (主要設備) の設備分類 (2/9)

系統機能	設備		代替する機能を有する施設 [(1)内は、設計基準対象の設備を兼ねる設備 及びその補償重要度分類]		設備分類		間接支持構造物	建物・ 構造物	
	設備 名称	構成する機器	設備	補償重要 度分類	設備分類				
					分類	分類			
核燃料物 質の漏洩 なる火災 の消火	ローブ ボックス 排気 設備	グループボックス排気ダクト グループボックス給気フィルタ グループボックス排気フィルタ 予備混合装置A(ローブボックス) 均一化混合装置A(ローブボックス) 混合装置A(ローブボックス) 回収粉末処理・混合装置A(ローブボ ックス) 添加剤混合装置A(ローブボ ックス) 添加剤混合装置B(ローブボ ックス) フレックス装置A(フレックス ボックス) フレックス装置B(フレックス ボックス)	グループボックス排気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋	SS	—
			グループボックス給気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋		
			グループボックス排気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋		
			予備混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			均一化混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			回収粉末処理・混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			添加剤混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			添加剤混合装置B(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			フレックス装置A(フレックス ボックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			フレックス装置B(フレックス ボックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				

変更前

第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備 (主要設備) の設備分類 (2/9)

系統機能	設備		代替する機能を有する施設 [(1)内は、設計基準対象の設備を兼ねる設備 及びその補償重要度分類]		設備分類		間接支持構造物	建物・ 構造物	
	設備 名称	構成する機器	設備	補償重要 度分類	設備分類				
					分類	分類			
核燃料物 質の漏洩 なる火災 の消火	ローブ ボックス 排気 設備	グループボックス排気ダクト グループボックス給気フィルタ グループボックス排気フィルタ 予備混合装置A(ローブボックス) 均一化混合装置A(ローブボックス) 混合装置A(ローブボックス) 回収粉末処理・混合装置A(ローブボ ックス) 添加剤混合装置A(ローブボ ックス) 添加剤混合装置B(ローブボ ックス) フレックス装置A(フレックス ボックス) フレックス装置B(フレックス ボックス)	グループボックス排気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋	SS	—
			グループボックス給気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋		
			グループボックス排気設備	(S)	常設重要重大事故等対処設備	機器・配管等の 支持構造物	燃材加工 建屋		
			予備混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			均一化混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			回収粉末処理・混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			添加剤混合装置A(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			添加剤混合装置B(ローブボ ックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			フレックス装置A(フレックス ボックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				
			フレックス装置B(フレックス ボックス)	(S)	常設重要重大事故等対処設備				

変更後

第3.1.1-2表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類(3/9)

系統機能 (つづき)	設備		代替する機能を有する各機器を有する施設 ( )内は、設計基準対象の設備を指し示す設備 及びその重要度区分	設備分類 分類	直接対構造物		間接対構造物	建物・ 構造物
	設備 名称	構成する機器			重要度 区分	重要度 区分		
炉心冷却 系による 炉心冷却 材の注の ための水 源確保	水中給 設備	第1貯水槽	—	—	—	—	第1保管 庫・貯水 所	○
			—	—	—	—	第2保管 庫・貯水 所	○

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備 (主要設備) の設備分類 (4/9)

系統機能 (フラス)	電源設備		代替する機能を有する安全機能を有する施設 (C) フラス, 設計基準対象の設備を指す設備 (受電用設備)	設備 及ヒその重要度(重要度分類)	設備分類		直達対象建築物	間接対象建築物		建物・構築物						
	設備名称	構成する機器			重要度分類	分類		機器・配管等の支持構造物	ユーティリティビル 屋							
											設備	分類				
常設重大事故等対処設備による発電	受電用設備	受電用設備	(受電用設備)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋	—	—						
		受電変圧器									常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋	—	
	高圧母線	非常用電源線の 6.9kV 非常用主母線		(高圧母線)	(C)*	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋	—	—				
		ユーティリティ線の 6.9kV 常用主母線											常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋
	制御線	ユーティリティ線の 6.9kV 運転子制御用主母線			(高圧母線)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋	—	—			
		第 2 ユーティリティ線の 6.9kV 運転子制御用主母線												常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備
	制御線	第 2 ユーティリティ線の 6.9kV 常用主母線				(高圧母線)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	ユーティリティビル 屋	—	—		
		制御線の 6.9kV 非常用母線													常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物
	使用済燃料の受入れ施設及び前溜施設	使用済燃料の受入れ施設及び前溜施設の 6.9kV 常用母線					(高圧母線)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	使用済燃料受入れ・前溜施設	—	—	
		使用済燃料の受入れ施設及び前溜施設の 6.9kV 非常用母線														常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備
	低レベル廃棄物の貯蔵庫	使用済燃料の受入れ施設及び前溜施設の 6.9kV 運転子制御用母線						(高圧母線)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	低レベル廃棄物貯蔵庫	—	—
		低レベル廃棄物の貯蔵庫の 6.9kV 運転子制御用母線														
	燃料加工設備	燃料加工設備の 6.9kV 運転子制御用母線							(高圧母線)	(C)	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	燃料加工設備	—
燃料加工設備の 6.9kV 常用母線		常設重要度重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物													
燃料加工設備	燃料加工設備の 6.9kV 非常用母線	(高圧母線)	(S)							常設重要度重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設重要度重大事故等対処設備	常設重要度重大事故等対処設備	燃料加工設備	Ss	—
	燃料加工設備の 6.9kV 非常用母線			常設重要度重大事故等対処設備												

注記 \* : 本設備は再処理施設において IS クラスとしており, MOX 燃料加工施設においては使用する C クラス施設とのみ稼働するため, C クラスとする。

変更前

変更後

変更なし

第3.1.1-2表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類(5/9)

系統機能	設備		設備名称	設備	階層重要度分類	設備分類		直接支持構造物		間接支持構造物		目的・構築物				
	構成する機器	構成する機器				分類	分類	機器・配管等の支持構造物	機器・配管等の支持構造物	制御建屋	静的耐力		静的耐力			
緊急最大事故等対処設備による発電	制御建屋の400V非常用母線	制御建屋の400V非常用母線	低圧母線	(仮印線)	(C)*	(C)	常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	制御建屋	静的耐力	—					
	制御建屋の400V運転予備母線	制御建屋の400V運転予備母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	制御建屋	静的耐力	—
制御建屋の受入口施設及び貯蔵施設の400V非常用母線	低レベル燃焼物処理建屋の400V運転予備母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋	(仮印線)	(C)	(C)	常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	低レベル燃焼物処理建屋	静的耐力	—					
	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	Ss	—
	燃料加工建屋の400V運転予備母線	燃料加工建屋の400V運転予備母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	静的耐力	—
	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	静的耐力	—
制御建屋の受入口施設及び貯蔵施設の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋	(仮印線)	(S)	(C)	常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	Ss	—					
	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	静的耐力	—
制御建屋の受入口施設及び貯蔵施設の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋	(仮印線)	(C)	(C)	常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	Ss	—					
	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線										常設機器重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	静的耐力	—
制御建屋の受入口施設及び貯蔵施設の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋	(仮印線)	S	S	常設機器重要重大事故等対処設備	—	基礎	Ss	—					
	燃料加工建屋の400V非常用母線	燃料加工建屋の400V非常用母線										常設機器重要重大事故等対処設備	—	基礎	Ss	—

注記 \*：本設備は炉内設備としてSクラスとされているが、MOX燃料加工施設においては使用するCクラス施設とのみ構成するため、Cクラスとする。

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備 (主要設備) の設備分類 (6/9)

系統機能	設備		設備分類	備置重要度分類	設備	設備分類	直接支持構造物	間接支持構造物	建物・構造物
	設備名称	構成する機器							
放射性物質の濃度及び線量の測定	放射線監視設備	排気モニタ	排気モニタリング設備	(C)	(放射線監視設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	—	—
		排気筒	排気筒	(C)	(気体状態監視) 排気筒	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	支持基礎	静的耐震力
		グローブボックス排気ダクト	グローブボックス排気ダクト	(C)	(気体状態監視) グローブボックス排気設備	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋	静的耐震力
		工程監視排気ダクト	工程監視排気ダクト	(C)	(気体状態監視) 工程監視排気設備	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	—	—
燃料分析設備	燃料分析設備	燃焼モニタリング設備	燃焼モニタリング設備	(C)	(燃焼モニタリング設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	燃料加工建屋	静的耐震力
		燃焼モニタリングホスト	燃焼モニタリングホスト	(C)	(燃焼モニタリング設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	燃料加工建屋	静的耐震力
		ガスモニタ	ガスモニタ	(C)	(燃焼モニタリング設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	燃料加工建屋	静的耐震力
		放射線管理分析用設備	放射線管理分析用設備	(C)	(放射線管理分析用設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	燃料加工建屋 分析建屋	静的耐震力
風塵その他気象条件の測定	環境管理設備	気象観測設備	気象観測設備	(C)	(環境管理設備)	常時監視重要重大事故等対処設備 以外の常設重大事故等対処設備	—	環境管理建屋	静的耐震力

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類 (7/9)

系統機能	緊急時対策		設備	代替する機能を有する安全機能を有する施設 (( )内は、設計し同等対象の設備を兼ねる設備 及びその重要度分類)		耐震重要 度分類	設備分類		直接支持構造物	間接支持構造物		建物・ 構築物
	設備 名称	構成する機器		設備	分類		緊急時対 策建屋	緊急時対 策建屋				
居住性を 確保する ための設 備	緊急時 対策建 屋	構成する機器 緊急時対策建屋の通風設備	—	S	—	—	—	—	—	緊急時対 策建屋	Ss	○
	緊急時 対策換 気設 備	緊急時対策建屋送風機 緊急時対策建屋排風機 緊急時対策建屋フルタイムユニット 緊急時対策建屋圧入ユニット 緊急時対策建屋換気設備ダクト・ダ ンパ 緊急時対策建屋圧入ユニット配管・ 弁 対策本部管理計 有線伝送計 緊急時対策建屋 電源設備	—	S	—	機器・配管等の 支持構造物	—	—	緊急時対 策建屋	Ss	—	—
緊急時対 策建屋の 電源設備	緊急時 対策建 屋 電源設 備	構成する機器 緊急時対策建屋用発電機 緊急時対策建屋高圧系統 6.9kV 緊急時対策建屋用母線 緊急時対策建屋配電系統 400V 緊急時対策建屋母線 燃料油配管・弁 燃料油貯蔵設備 燃料油配管設備 燃料油貯蔵設備	—	C	—	—	—	—	緊急時対 策建屋	Ss	—	—
							—	—	—	—	—	—

変更前

変更後

変更なし

第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類 (8/9)

系統機能	設備		代替する機能名有する各設備を兼ねる施設 ( )内は、設計基準対象の設備を兼ねる設備 及びその備置重要度分類	備置重要 度分類	設備分類	直接支持構造物		間接支持構造物		建物・ 構造物
	設備 名称	構成する機器				機器・配 管等の支 持構造物	機器・配 管等の支 持構造物	機器・配 管等の支 持構造物	機器・配 管等の支 持構造物	
再処理事 業所内の 通信設備	所内通 信設備 設備	構成する機器	通信設備 (ヘーミングノブ装置、所内携帯電話、専用 回線電話、ファクシミリ)	(C)	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機器・配 管等の支 持構造物	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機材加工 建屋	相対能力	—
		ヘーミングノブ装置						機材加工 建屋		
再処理事 業所内の 通信設備	所内通 信設備 設備	所内携帯電話	通信設備 (ヘーミングノブ装置、所内携帯電話、専用 回線電話、ファクシミリ)	(C)	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機器・配 管等の支 持構造物	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機材加工 建屋	相対能力	—
		専用回線電話						機材加工 建屋		
		ファクシミリ						機材加工 建屋		
		無線中継サーバ						機材加工 建屋		
再処理事 業所内の 通信設備	所内通 信設備 設備	通信設備のケーブル	通信設備 (ヘーミングノブ装置、所内携帯電話、専用 回線電話)	(C)	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機器・配 管等の支 持構造物	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機材加工 建屋	相対能力	—
		情報伝送装置						機材加工 建屋		
		情報表示装置						機材加工 建屋		
		データ収録装置(機材加工建屋)						機材加工 建屋		
再処理事 業所内の 通信設備	所内通 信設備 設備	データ表示装置(機材加工建屋)	データ収録装置(機材加工建屋) (データ表示装置(機材加工建屋))	(C)	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機器・配 管等の支 持構造物	常設重要重大事故等対処設備 以外の常設重要重大事故等対処設備	機材加工 建屋	相対能力	—
		データ表示装置(機材加工建屋)						機材加工 建屋		

変更前

変更後

変更なし



第 3.1.1-2 表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類（9/9）

系統機能		設備		代替する機能を有する設備 （（1）中土、設計基準対象の設備を指し示す設備 及びその重要度分類）	設備分類		直接対象構造物	間接対象構造物		建物・ 構造物
		設備 名称	構成する機器		重要 度分類	分類		機器・配 管等の支 持構造物	機器・配 管等の支 持構造物	
再処理事 業所内の 通信設備	通信設備	情報伝 送設備	グループボックス温度監視装置	グループボックス温度 監視装置	(S)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	Ss	—
			グループボックス負圧・温度監視設 備	グループボックス負圧・温度監視設備	(C)	常設重要構造物 以外の常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
			燃料加工建屋情報制御計装設備用屋 内伝送系統	燃料加工建屋データ収集装置 用伝送系統	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	Ss	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	Ss	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	Ss	—
			燃料加工建屋データ収集装置	燃料加工建屋データ収集装置	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	燃料加工 建屋	静向地震力	—
再処理事 業所内の 通信設備	通信設備	情報伝 送設備	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—
			総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	総合原子力防災ネットワークIP電話 FAX	(C)	常設重要構造物	機器・配 管等の支 持構造物	緊急時対 策建屋	静向地震力	—

変更後

変更なし

変 更 前	変 更 後
<p>3.2 津波による損傷の防止</p> <p><u>安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設は、津波によりその安全機能又は重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。</u></p> <p><u>設計上考慮する津波から防護する施設は、事業許可基準規則等に基づき安全機能を有する施設のうち耐震重要施設及び重大事故等対処施設とし、これらの施設に大きな影響を及ぼすおそれがある津波に対して必要な機能が損なわれないよう、耐震重要施設及び重大事故等対処施設のうち常設重大事故等対処設備は津波による影響を受けない位置に設置し、また、可搬型重大事故等対処設備は津波による影響を受けない位置に保管する設計とする。</u></p> <p><u>設計上考慮する津波から防護する施設以外の安全機能を有する施設については、津波に対して機能を維持すること若しくは津波による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>上記施設のうち液体廃棄物の廃棄設備の海洋放出管については、津波により損傷した場合の措置として、必要に応じて廃液の発生量低減のための工程停止を行ったうえで適切な修理を行うことにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと及び廃液の発生量低減のため必要に応じて工程停止を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>なお、可搬型重大事故等対処設備の使用時の据え付け場所に係る設計方針については、第1章 共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」における「8.2.4 環境条件等」に示す。</u></p> <p><u>耐震重要施設及び重大事故等対処施設のうち常設重大事故等対処設備(これらの施設に波及的影響を及ぼして必要な機能を損なわせるおそれがある施設を含む)を設置する敷地並びに可搬型重大事故等対処設備を保管する敷地は、標高約50mから約55m及び海岸からの距離約4kmから約5kmの地点に位置しており、事業(変更)許可においては、断層のすべり量が既往知見を大きく上回る波源を想定した場合でも、より厳しい評価となるように設定した標高40mの敷地高さへ津波が到達する可能性はなく、また、汀線部から沖合約3kmまで敷設する海洋放出管から建屋への逆流に関しては、海洋放出管に関連する建屋が標高約55mの敷地に設置されることから津波が流入するおそれはないことを確認している。</u></p> <p><u>したがって、津波によって、安全機能を有する施設の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれはない。</u></p>	<p>3.2 津波による損傷の防止</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>3.3 外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>(1) 外部からの衝撃による損傷の防止に係る設計方針</p> <p>安全機能を有する施設は、敷地内又はその周辺の自然環境を基に想定される風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害の自然現象(地震及び津波を除く。)又は地震及び津波を含む組合せに遭遇した場合において、自然現象そのものがもたらす環境条件及びその結果としてMOX燃料加工施設で生じ得る環境条件においても、その安全機能が損なわれないよう、防護措置及び運用上の措置を講ずる設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設は、敷地内又はその周辺の状況を基に想定され、MOX燃料加工施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。)(以下「人為事象」という。)として、飛来物(航空機落下)、爆発、近隣工場等の火災(危険物を搭載した車両及び船舶の火災を含む)、有毒ガス、電磁的障害及び再処理事業所内における化学物質の漏えいに対して、その安全機能が損なわれないよう、防護措置及び運用上の措置を講ずる設計とする。</p> <p>外部からの衝撃に対する影響評価並びに安全機能を損なうおそれがある場合の防護措置及び運用上の措置においては、波及的影響を及ぼして安全機能を損なわせるおそれがある施設についても考慮する。</p> <p>また、想定される自然現象(地震及び津波を除く。)及び人為事象に対しては、安全機能を有する施設が安全機能を損なわないために必要な重大事故等対処設備への措置を含める。</p> <p>想定される自然現象(地震及び津波を除く。)及び人為事象の発生により、MOX燃料加工施設に重大な影響を及ぼすおそれがあると判断した場合は、工程停止、送排風機の停止等、MOX燃料加工施設への影響を軽減するための措置を講ずることを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>(2) 外部からの衝撃に対する防護設計に係る荷重等の設定</p> <p>国内外の規格・基準類、敷地周辺の気象観測所における観測記録、敷地周辺の環境条件等を考慮し、防護設計に係る荷重等の条件を設定する。</p> <p>(3) 異種の自然現象の組合せ、事故時荷重との組合せ</p> <p>自然現象及び人為事象の組合せについては、地震、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災等を考慮し、複数の事象が重畳することで影響が増長される組合せとして、積雪及び風(台風)、積雪及び竜巻、積雪及び火山の影響(降下火砕物)、積雪及び地震、風(台風)及び火山の影響(降下火砕物)並びに風(台風)及び地震の組合せを、施設の形状及び配置に応じて考慮する。</p> <p>組み合わせる積雪深については、敷地付近における最深積雪を用いて垂直積雪量190cmとし、建築基準法に定められた平均的な積雪荷重を与えるための係数を考慮する。ただし、火山の影響(降下火砕物)と組み合わせる場合の積雪深は、降下火砕物による荷重の特徴を踏まえ、「青森県建築基準法施行細則」に定められた六ヶ所村の垂直積雪量150cmとする。また、組み合わせる風速の大きさについては、建築基準法を準用して設定する。</p> <p>最新の科学的技術的知見を踏まえ、安全上重要な施設は、当該安全上重要な施設に大きな影響を</p>	<p>3.3 外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>及ぼすおそれがあると想定される自然現象(地震を除く。)により当該安全上重要な施設に作用する衝撃及び設計基準事故時に生ずる応力を、それぞれの因果関係及び時間的变化を考慮して適切に組み合わせた条件においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>具体的には、建屋によって安全上重要な施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると想定される自然現象(地震を除く。)の影響を防止することにより、設計基準事故が発生した場合でも、自然現象(地震を除く。)による影響を受けない設計とする。</p> <p>したがって、安全上重要な施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると想定される自然現象(地震を除く。)による衝撃と設計基準事故時の荷重は重なることのない設計とする。</p> <p>(4) 新知見の収集、安全機能等の必要な機能を損なわないための運用上の措置</p> <p>外部衝撃による損傷の防止の設計条件等に係る新知見の収集を実施するとともに、新知見が得られた場合に影響評価を行うこと、外部衝撃に対する防護措置との組合せにより安全機能を損なわないための運用上の措置を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>なお、自然現象及び人為事象のうち、風(台風)、凍結、高温、降水、積雪、落雷、生物学的事象、塩害、有毒ガス、電磁的障害及び再処理事業所内における化学物質の漏えいに対する設計方針については「3.3.1 竜巻、森林火災、火山の影響、地震及び津波以外の自然現象並びに航空機落下、爆発及び近隣工場等の火災以外の人為事象」の設計方針に基づく設計とする。また、自然現象及び人為事象のうち、竜巻に対する設計方針については「3.3.2 竜巻」、森林火災、爆発及び近隣工場等の火災に対する設計方針については「3.3.3 外部火災」、火山の影響に対する設計方針については「3.3.4 火山の影響」並びに飛来物(航空機落下)の設計方針については「3.3.5 航空機落下」の設計方針に基づく設計とする。</p> <p>3.3.1 竜巻、森林火災、火山の影響、地震及び津波以外の自然現象並びに航空機落下、爆発及び近隣工場等の火災以外の人為事象</p> <p>(1) 防護すべき施設及び設計方針</p> <p>想定される自然現象(竜巻、森林火災、火山の影響、地震及び津波を除く。)(以下、3.3.1項では、「自然現象」という。)又は人為事象(航空機落下、爆発及び近隣工場等の火災を除く。)(以下、3.3.1項では、「人為事象」という。)から防護する施設(以下「外部事象防護対象施設」という。)は、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な機能を有する構築物、系統及び機器を対象とする。外部事象防護対象施設及びそれらを収納する建屋(以下「外部事象防護対象施設等」という。)は、自然現象又は人為事象に対し、機械的強度を有すること等により、外部事象防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、想定される自然現象及び人為事象の影響により外部事象防護対象施設等に波及的影響を及ぼして安全機能を損なわせるおそれがある施設の影響を考慮した設計とする。</p> <p>外部事象防護対象施設等以外の安全機能を有する施設は、自然現象又は人為事象に対して機</p>	<p>3.3.1 竜巻、森林火災、火山の影響、地震及び津波以外の自然現象並びに航空機落下、爆発及び近隣工場等の火災以外の人為事象</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p>

変更前	変更後
<p>能を維持すること若しくは損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと又はそれらを組み合わせることにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>(2) 防護設計に係る荷重等の設定</p> <p>想定される自然現象及び人為事象そのものがもたらす環境条件並びにその結果としてMOX燃料加工施設で生じ得る環境条件を考慮し、防護設計に係る荷重等の条件を設定する。</p> <p>(3) 自然現象及び人為事象に対する防護対策</p> <p>外部事象防護対象施設等は、以下の自然現象及び人為事象に係る設計方針に基づき機械的強度を有すること等により、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>a. 自然現象に対する防護対策</p> <p>(a) 風(台風)</p> <p>外部事象防護対象施設は、建築基準法に基づき算出する風荷重に対して機械的強度を有する設計とする又は機械的強度を有する建屋内に収納することで安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(b) 凍結</p> <p>外部事象防護対象施設は、敷地付近の気象観測所での日最低気温の観測記録を考慮して、建屋内に収納するとともに、給気加熱等の凍結防止措置を講ずることにより、凍結に対して安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(c) 高温</p> <p>外部事象防護対象施設は、敷地付近の気象観測所での日最高気温の観測記録を考慮して、高温に対して要求される機能を維持する設計とすることにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(d) 降水</p> <p>外部事象防護対象施設は、敷地付近の気象観測所での観測記録を考慮して、降水量を設定し、降水による浸水に対し、排水溝及び敷地内排水路によって敷地外へ排水するとともに、外部事象防護対象施設を収納する建屋の貫通部の止水処理をすること等により、雨水が当該建屋に浸入することを防止することで、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(e) 積雪</p> <p>外部事象防護対象施設は、敷地付近で観測された最深積雪を考慮した積雪荷重に対し、機械的強度を有する建屋内に収納するとともに、閉塞に対し、外気取入口に防雪フードを設置すること等により、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>なお、気体廃棄物の廃棄設備等の給気系で給気を加熱することにより、雪の取り込みによる閉塞を防止し、外部事象防護対象施設が安全機能を損なわない設計とする。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(f) <u>生物学的事象</u> 外部事象防護対象施設は、鳥類、昆虫類及び小動物の侵入を防止又は抑制するため、外部事象防護対象施設を収納する建屋の外気取入口にバードスクリーンを、気体廃棄物の廃棄設備等の外気を直接取り込む設備にフィルタを設置すること等により、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(g) <u>落雷</u> 外部事象防護対象施設は、再処理事業所及びその周辺における最大の雷撃電流の観測値に対し安全余裕を見込んで、想定する雷撃電流を270kAとし、その落雷に対して、「原子力発電所の耐雷指針」(JEAG4608)、「建築基準法」及び「消防法」に基づき、日本産業規格に準拠した避雷設備を設置することにより安全機能を損なわない設計とする。また、接地系と避雷設備を接続することにより、接地抵抗の低減及び雷撃に伴う接地系の電位分布の平坦化を考慮することにより安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(h) <u>塩害</u> 外部事象防護対象施設は、塩害に対し、気体廃棄物の廃棄設備等の給気系への除塩フィルタの設置、外気を直接取り込む非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系のうちフィルタまでの範囲における防食処理等の腐食防止対策により、受電開閉設備は、碍子部分の絶縁性の維持対策により、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>b. <u>人為事象に対する防護対策</u></p> <p>(a) <u>有毒ガス</u> 外部事象防護対象施設は、再処理事業所内及びその周辺で発生する有毒ガスに対して安全機能を損なわない設計とする。 また、想定される有毒ガスが発生した場合の運用上の措置として、中央監視室等の運転員に対する影響を想定し、以下を保安規定に定めて、管理する。 ・気体廃棄物の廃棄設備の給気設備等の停止を含まない全ての加工工程の停止(以下「全工程停止」という。)及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること ・給気系統上の手動ダンパを閉止すること ・施設の監視が適時実施できるように資機材を確保すること 再処理事業所内における化学物質の漏えいにより発生する有毒ガスについては、「(c) 再処理事業所内における化学物質の漏えい」に対する設計方針として示す。</p> <p>(b) <u>電磁的障害</u> 外部事象防護対象施設は、電磁的障害に対して安全機能を損なわない設計とする。外部事象防護対象施設の安全機能を維持するために必要な計装制御系は、日本産業規格に基づいたノイズ対策を行うとともに、電氣的及び物理的な独立性を持たせることにより、安全機能を損なわない設計とする。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(c) <u>再処理事業所内における化学物質の漏えい</u>  <u>外部事象防護対象施設は、想定される再処理事業所内における化学物質の漏えいに対し、安全機能を損なわない設計とする。</u>  <u>また、漏えいした化学物質の反応等により有毒ガスが発生した場合に、中央監視室等の運転員に対する影響を想定し、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること</u></li> <li>・<u>給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li> <li>・<u>施設の監視が適時実施できるように資機材を確保すること</u></li> </ul> <p>c. <u>必要な機能を損なわないための運用上の措置</u>  <u>自然現象及び人為事象に関する設計条件等に係る新知見の収集並びに自然現象及び人為事象に対する防護措置との組合せにより安全機能を損なわないための運用上の措置として、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>定期的に自然現象に係る気象条件等の新知見の収集を実施するとともに、新知見が得られた場合に影響評価を行うこと</u></li> <li>・<u>除雪を適宜実施すること</u></li> <li>・<u>有毒ガス又は再処理事業所内における化学物質の漏えいによる影響を防止するため、全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること</u></li> <li>・<u>有毒ガス又は再処理事業所内における化学物質の漏えいの影響を防止するため、給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li> <li>・<u>有毒ガス又は再処理事業所内における化学物質の漏えいの影響を防止するため、施設の監視が適時実施できるように資機材を確保すること</u></li> </ul>	

変 更 前	変 更 後
<p>3.3.2 竜巻</p> <p>(1) 防護すべき施設及び設計方針</p> <p><u>安全機能を有する施設は、事業(変更)許可を受けた想定される竜巻(以下「設計竜巻」という。)が発生した場合においても、作用する設計荷重に対してその安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>設計竜巻から防護する施設(以下「竜巻防護対象施設」という。)としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な機能を有する構築物、系統及び機器を対象とする。竜巻防護対象施設及びそれらを収納する建屋(以下「竜巻防護対象施設等」という。)は、竜巻に対し、機械的強度を有すること等により、竜巻防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、その施設の倒壊等により竜巻防護対象施設等に波及的影響を及ぼして安全機能を損なわせるおそれがある施設(以下「竜巻防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設」という。)の影響及び竜巻の随件事象による影響を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>竜巻防護対象施設等以外の安全機能を有する施設は、竜巻及びその随件事象に対して機能を維持すること若しくは竜巻及びその随件事象による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>(2) 防護設計に係る荷重の設定</p> <p><u>竜巻に対する防護設計を行うための設計竜巻は事業(変更)許可を受けた最大風速100m/sとし、設計荷重は、風圧力による荷重、気圧差による荷重及び飛来物による衝撃荷重を組み合わせた設計竜巻荷重並びに安全機能を有する施設に通常時に作用している荷重、運転時荷重及びその他竜巻以外の自然現象による荷重を適切に組み合わせたもの(以下「設計荷重(竜巻)」という。)を設定する。</u></p> <p><u>風圧力による荷重及び気圧差による荷重は、設計竜巻の特性値に基づいて設定する。</u></p> <p><u>飛来物による衝撃荷重としては、事業(変更)許可を受けた設計飛来物である鋼製材(長さ4.2m×幅0.3m×奥行き0.2m、質量135kg、最大水平速度51m/s、最大鉛直速度34m/s)が衝突する場合の荷重を設定する。</u></p> <p><u>さらに、設計飛来物に加えて、竜巻の影響を考慮する施設の設置状況及びその他環境状況を考慮し、評価に用いる飛来物の衝突による荷重を設定する。</u></p> <p><u>鋼製材よりも運動エネルギー又は貫通力が大きくなる資機材等の設置場所及び障害物の有無を考慮し、固定、固縛又は建屋収納並びに車両の入構管理及び退避を実施することにより、飛来物とならない設計とする。</u></p> <p><u>また、設計飛来物による衝撃荷重を上回ると想定される再処理事業所外からの飛来物は、飛来距離を考慮すると竜巻防護対象施設等に到達するおそれはないことから、衝撃荷重として考慮す</u></p>	<p>3.3.2 竜巻</p> <p>変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p><u>る必要のあるものはない。</u></p> <p>(3) <u>竜巻に対する影響評価及び竜巻防護対策</u></p> <p>a. <u>竜巻に対する影響評価及び竜巻防護対策</u></p> <p><u>竜巻に対する防護設計において、竜巻防護対象施設は、設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する建屋により防護すること等により、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>建屋内の竜巻防護対象施設は、設計荷重(竜巻)に対して竜巻防護対象施設を収納する建屋内に設置することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>竜巻防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、設計荷重(竜巻)に対して、構造強度評価を実施し、構造健全性を維持することにより、建屋内の竜巻防護対象施設が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、設計飛来物の衝突に対して、貫通及び裏面剥離の発生により竜巻防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>工程室排気設備等の建屋内の施設で外気と繋がっている竜巻防護対象施設は、気圧差による荷重に対して、構造強度評価を実施し、構造健全性を維持し、安全機能を損なわないよう、要求される機能を維持する設計とする。</u></p> <p><u>開口部からの設計飛来物の侵入により、建屋内に収納されるが防護が期待できない竜巻防護対象施設は、設計飛来物の衝突による影響に対して、強度の確保等により機能が損なわれることを防止する設計又は配置上の考慮により安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>竜巻防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設のうち、破損に伴う倒壊又は転倒による機械的影響を及ぼし得る施設は、設計荷重(竜巻)に対して、構造強度評価を実施し、当該施設の倒壊又は転倒により、周辺の竜巻防護対象施設等に波及的影響を及ぼさない設計とする。竜巻防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設のうち、当該施設が機能喪失に陥った場合に竜巻防護対象施設も機能喪失させる機能的影響を及ぼし得る施設は、設計荷重(竜巻)に対し、必要な機能を維持する設計とする。</u></p> <p>b. <u>竜巻随件事象に対する設計方針</u></p> <p><u>過去の他地域における竜巻被害状況及びMOX燃料加工施設の配置から、竜巻随件事象として火災、溢水及び外部電源喪失を想定し、これらの事象が発生した場合においても、竜巻防護対象施設が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>竜巻随件事象のうち火災に対しては、火災源と竜巻防護対象施設の位置関係を踏まえて熱影響を評価した上で、竜巻防護対象施設の安全機能に影響を与えない設計とする。竜巻随件事象としての火災による影響は外部火災及び内部火災に対する防護設計に包絡されるため、「3.3.3 外部火災」の「(b) 近隣の産業施設の火災及び爆発に対する防護対策」及び「5. 火災等による損傷の防止」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>竜巻随件事象のうち溢水に対しては、溢水源と竜巻防護対象施設の位置関係を踏まえた影響評価を行った上で、竜巻防護対象施設の安全機能に影響を与えない設計とする。竜巻随件事象</u></p>	

変更前	変更後
<p><u>としての溢水による影響は溢水に対する防護設計に包絡されるため、「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」の「6.3.4 その他の溢水」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>竜巻随件事象のうち外部電源喪失に対しては、外部電源喪失が生じたとしても非常用所内電源設備の安全機能を確保する設計とし、非常用所内電源設備による電源供給を可能とすることで竜巻防護対象施設の安全機能を維持する設計とする。</u></p> <p>c. <u>必要な機能を損なわないための運用上の措置</u></p> <p><u>竜巻に関する設計条件等に係る新知見の収集及び竜巻に関する防護措置との組合せにより安全機能を損なわないための運用上の措置として、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>・設計竜巻の特性値、竜巻と同時に発生する自然現象等について、定期的に新知見の確認を行い、新知見が得られた場合に評価を行うこと</u></li> <li><u>・竜巻により MOX 燃料加工施設に影響を及ぼすおそれが予見される場合は、全工程停止に加え、グローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、工程室排風機後の排気系統のダンパを閉止すること</u></li> <li><u>・資機材等の固定、固縛又は建屋収納並びに車両の入構管理及び退避を行うこと</u></li> </ul>	

変 更 前	変 更 後
<p>3.3.3 外部火災</p> <p>(1) 防護すべき施設及び設計方針</p> <p><u>安全機能を有する施設は、想定される外部火災において、最も厳しい火災が発生した場合においても、防火帯の設置、離隔距離の確保及び建屋による防護等により、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>その上で、外部火災により発生する火炎及び輻射熱からの直接的影響並びにばい煙及び有毒ガスの二次的影響によってその安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>外部火災から防護する施設(以下「外部火災防護対象施設」という。)としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な機能を有する構築物、系統及び機器を対象とする。外部火災防護対象施設及びそれらを収納する建屋(以下「外部火災防護対象施設等」という。)は、外部火災の直接的影響及び二次的影響に対し、機械的強度を有すること等により、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、外部火災防護対象施設等に波及的影響を及ぼして安全機能を損なわせるおそれがある施設の影響を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>外部火災防護対象施設等以外の安全機能を有する施設については、外部火災に対して機能を維持すること、若しくは外部火災による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと、防火帯の外側に位置する設備に対し事前散水により延焼防止を図ること又はそれらを適切に組み合わせることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと及び防火帯の外側に位置する設備に対し事前散水により延焼防止を図ることを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>(2) 防護設計に考慮する外部火災に係る事象の設定</p> <p><u>外部火災としては、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」を参考として、森林火災、近隣の工場、石油コンビナート等特別防災区域、危険物貯蔵所及び高圧ガス貯蔵施設(以下「近隣の産業施設」という。)の火災及び爆発並びに航空機墜落による火災を対象とする。</u></p> <p><u>また、外部火災防護対象施設へ影響を与えるおそれのある敷地内に存在する屋外の危険物貯蔵施設及び可燃性ガスボンベ(以下「危険物貯蔵施設等」という。)については、外部火災源としての影響及び外部火災による影響を考慮する。</u></p> <p><u>さらに、近隣の産業施設の火災と森林火災の重畳並びに航空機墜落による火災と敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発との重畳を考慮する。</u></p> <p><u>これら火災の二次的影響として、火災に伴い発生するばい煙及び有毒ガスを考慮する。</u></p> <p>(3) 外部火災に対する防護対策</p> <p>a. 外部火災の直接的影響に対する防護対策</p>	<p>3.3.3 外部火災</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>(a) 森林火災に対する防護対策</p> <p><u>自然現象として想定される森林火災については、敷地への延焼防止を目的として、MOX 燃料加工施設の敷地周辺の植生を確認し、作成した植生データ及び敷地の気象条件等を基に、MOX 燃料加工施設への影響が厳しい評価となるように解析条件を設定し、森林火災シミュレーション解析コードを用いて求めた最大火線強度(9128kW/m)から算出される、事業(変更)許可を受けた防火帯(幅 25m 以上)を敷地内に設ける設計とする。</u></p> <p><u>防火帯は延焼防止機能を損なわない設計とし、防火帯内には原則として可燃物となるものは設置しない設計とする。ただし、防火帯に可燃物を含む機器等を設置する場合には、延焼防止機能を損なわないよう必要最小限とするとともに、不燃性シートで覆う等の対策を施す設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保及び建屋による防護により、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>建屋内の外部火災防護対象施設は、外部火災に対して損傷の防止が図られた燃料加工建屋内に設置することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災からの輻射強度の影響に対する評価として、外部火災防護対象施設を収納する燃料加工建屋は、防火帯の外縁(火炎側)から危険距離を上回る離隔距離を確保することで、建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。外壁表面温度がコンクリートの圧縮強度を維持できる温度域の上限(以下「コンクリートの許容温度」という。)となる離隔距離を危険距離として設定する。</u></p> <p><u>建屋の外気取入口から空気を取り込む設備である、非常用所内電源設備の非常用発電機に流入する空気の森林火災による温度上昇に対する温度評価は、輻射熱の影響が厳しい石油備蓄基地火災の熱影響評価に包絡されるため、「(b) 近隣の産業施設の火災及び爆発に対する防護対策」に基づく設計とする。</u></p> <p>(b) 近隣の産業施設の火災及び爆発に対する防護対策</p> <p><u>人為事象として想定される近隣の産業施設の火災及び爆発として、石油備蓄基地の火災並びに敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発の影響については、離隔距離の確保及び建屋による防護により、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地周辺を通行する危険物を搭載した車両による火災及び爆発については、危険物の貯蔵量が多く、外部火災防護対象施設までの距離が近い敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発の評価に包絡されるため、敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発に対する設計方針において示す。</u></p> <p><u>また、敷地内において、危険物を搭載したタンクローリ火災が発生した場合の影響については、燃料等の補充時は監視人が立会を実施することで、万一の火災発生時は速やかな消火活動を可能とすることにより、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>船舶の火災については、危険物の貯蔵量が多く外部火災防護対象施設までの距離が近い敷地近傍の石油備蓄基地火災の影響に包絡されることから、石油備蓄基地の火災に対する設計方針において示す。</u></p> <p><u>石油備蓄基地の火災に対して、外部火災防護対象施設を収納する燃料加工建屋は危険距離を上回る離隔を確保することで、建屋外壁の表面温度をコンクリート許容温度以下とし、建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>建屋の外気取入口から空気を取り込む設備である非常用所内電源設備の非常用発電機は、外気取入口から流入する空気の温度が石油備蓄基地火災の熱影響によって上昇したとしても、空気温度を非常用所内電源設備の非常用発電機の設計上の最高使用温度以下とすることで、非常用所内電源設備の非常用発電機の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>石油備蓄基地火災と森林火災の重畳に対しては、それぞれの輻射強度を考慮し、外部火災防護対象施設を収納する建屋外壁の温度をコンクリートの許容温度以下とすることで、建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発に対しては、敷地内に複数存在する危険物貯蔵施設等の中から、貯蔵量、配置状況及び外部火災防護対象施設を収納する建屋への距離を考慮し、外部火災防護対象施設に火災及び爆発の影響を及ぼすおそれがあるものを選定する。</u></p> <p><u>敷地内の危険物貯蔵施設等の火災においては、敷地内の危険物貯蔵施設ごとに外部火災防護対象施設を収納する建屋が受ける輻射強度を算出し、この輻射強度に基づき算出される外部火災防護対象施設を収納する建屋の外壁表面温度をコンクリートの許容温度以下とすることで、建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設の危険物貯蔵施設等は、着火源を排除するとともに可燃性ガスが漏えいした場合においても滞留しない構造とすることで爆発を防止する設計とする。また、高圧ガス保安法に基づき設置される MOX 燃料加工施設の危険物貯蔵施設等は、爆発時に発生する爆風や飛来物が上方向に開放される構造として設計する。</u></p> <p><u>その上で、敷地内の危険物貯蔵施設等の爆発を想定し、ガス爆発の爆風圧が 0.01MPa となる危険限界距離を求め、危険限界距離を上回る離隔距離を確保することで外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>(c) 航空機墜落による火災に対する防護対策</u></p> <p><u>航空機墜落による火災については、対象航空機が外部火災防護対象施設を収納する燃料加工建屋の直近に墜落する火災を想定し、建屋による防護により建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>航空機墜落による火災は建屋直近で発生を想定しており建屋外壁表面温度がコンクリート許容温度を超えることが想定されるため、輻射強度の影響に対する評価として、外部火災防護対象施設を収納する建屋の外壁及び建屋内の温度上昇を考慮した場合においても、</u></p>	

変更前	変更後
<p><u>建屋内の外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>航空機墜落による火災と敷地内の危険物貯蔵施設等の火災の重畳として、航空機が敷地内の危険物貯蔵施設等に直撃し、危険物及び航空機燃料による重畳火災が発生することを想定する。上記の危険物及び航空機燃料による重畳火災を想定した場合の外部火災防護対象施設を収納する建屋が受ける輻射強度は、建屋の直近における航空機墜落による火災を想定した場合の輻射強度よりも小さいことから、航空機墜落による火災に対する設計方針に基づくことで、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>航空機墜落による火災と敷地内の危険物貯蔵施設等の爆発が重畳した場合の爆風圧に対しては、ガス爆発の爆風圧が0.01MPaとなる危険限界距離を求め、危険限界距離を上回る離隔距離を確保することで外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(d) <u>MOX燃料加工施設の危険物貯蔵施設等への火災及び爆発に対する防護対策</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設の危険物貯蔵施設等への火災及び爆発に対する防護対策については、森林火災及び近隣の産業施設の火災の影響を想定しても、MOX燃料加工施設の危険物貯蔵施設等の貯蔵物の温度を許容温度以下とすることで、MOX燃料加工施設の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発を防止する設計とする。また、近隣の産業施設の爆発の影響を想定しても、爆風圧が0.01MPaとなる危険限界距離を算出し、危険限界距離を上回る離隔距離を確保する設計とする。上記設計により、MOX燃料加工施設の危険物貯蔵施設等が、外部火災防護対象施設を収納する建屋へ影響を与えない設計とする。</u></p> <p>b. <u>外部火災の二次的影響に対する防護対策</u></p> <p>(a) <u>ばい煙の影響に対する防護対策</u></p> <p><u>外部火災の二次的影響であるばい煙による影響については、外気を取り込む設備・機器である気体廃棄物の廃棄設備等に適切な防護対策を講じることで、外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備の給気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系は、フィルタを設置することで、安全機能を損なわない設計とするとともに、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備及び非管理区域換気空調設備の送風機の停止及び手動ダンパの閉止の措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>また、外気から取り入れた建屋内の空気を機器内に取り込む機構を有する外部火災防護対象施設である焼結設備の制御盤等は、上記フィルタを設置することで、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>外部火災防護対象施設の非常用所内電源設備の非常用発電機については、ばい煙の侵入に対して、フィルタを設置することで、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、ばい煙が侵入したとしてもばい煙が流路に溜まりにくい構造とし、ばい煙により閉塞しない設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(b) <u>有毒ガスの影響に対する防護対策</u>  <u>発生した有毒ガスが中央監視室等に到達するおそれがある場合に、運転員に対する影響を想定し、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること</u></li> <li>・<u>給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li> <li>・<u>施設の監視が適時実施できるように資機材を確保すること</u></li> </ul> <p>c. <u>必要な機能を損なわないための運用上の措置</u>  <u>外部火災に関する設計条件等に係る新知見の収集及び防護措置との組合せにより安全機能を損なわないための運用上の措置として、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>外部火災の評価の条件及び新知見について、定期的の確認を行い、評価条件の大きな変更又は新知見が得られた場合に評価を行うこと</u></li> <li>・<u>延焼防止機能を損なわないために、防火帯の維持管理を行うとともに、防火帯内には原則として可燃物となるものは設置せず、可燃物を含む機器等を設置する場合には、必要最小限として不燃性シートで覆う等の対策を行うこと</u></li> <li>・<u>危険物を搭載したタンクローリ火災が発生した場合の影響については、万一の火災発生時に速やかな消火活動が可能となるよう、燃料補充時は監視人が立会を実施すること</u></li> <li>・<u>ばい煙による影響に対し、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系は、送風機の停止の措置を講ずること</u></li> <li>・<u>有毒ガスによる影響については、中央監視室等の運転員に対する影響を想定し、全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること及び施設の監視が適時実施できるように、資機材を確保すること</u></li> <li>・<u>ばい煙及び有毒ガスによる影響に対して給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li> </ul>	

変 更 前	変 更 後
<p>3.3.4 火山の影響</p> <p>(1) 防護すべき施設及び設計方針</p> <p><u>安全機能を有する施設は、MOX燃料加工施設の運用期間中においてMOX燃料加工施設の安全機能に影響を及ぼし得る火山事象として、事業(変更)許可を受けた降下火砕物の特性を考慮し、降下火砕物の影響を受ける場合においても、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物から防護する施設(以下「降下火砕物防護対象施設」という。)としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な機能を有する構築物、系統及び機器を対象とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設及びそれらを収納する建屋(以下「降下火砕物防護対象施設等」という。)は、降下火砕物の影響に対し、機械的強度を有すること等により、降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼして安全機能を損なわせるおそれがある施設(以下「降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設」という。)の影響を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設等以外の安全機能を有する施設については、降下火砕物に対して機能を維持すること若しくは降下火砕物による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること及び安全上支障のない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>(2) 防護設計における降下火砕物の特性及び荷重の設定</p> <p><u>設計に用いる降下火砕物は、事業(変更)許可を受けた層厚55cm、密度1.3g/cm<sup>3</sup>(湿潤状態)と設定する。</u></p> <p><u>また、降下火砕物に対する防護設計を行うために、施設に作用する荷重として、降下火砕物を湿潤状態とした場合における荷重、通常時に作用している荷重、運転時荷重及び火山と同時に発生し得る自然現象による荷重を組み合わせた設計荷重(火山)を設定する。</u></p> <p><u>火山と同時に発生し得る自然現象による荷重については、火山と同時に発生し得る自然現象が与える影響を踏まえた検討により、風(台風)及び積雪による荷重を考慮する。</u></p> <p>(3) 降下火砕物に対する防護対策</p> <p><u>降下火砕物に対する防護設計においては、降下火砕物の特性による直接的影響として静的負荷、粒子の衝突、閉塞、磨耗、腐食、大気汚染及び絶縁低下並びに間接的影響として外部電源喪失及びアクセス制限の影響を評価し、降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>a. 直接的影響に対する防護対策</p> <p>(a) 構築物への静的負荷</p>	<p>3.3.4 火山の影響</p> <p>変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p><u>降下火砕物防護対象施設は、設計荷重(火山)に対して構造健全性を維持する燃料加工建屋内に設置することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、設計荷重(火山)に対して、構造強度評価を実施し、構造健全性を維持することにより、建屋内の降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設は、設計荷重(火山)に対して、構造強度評価を実施し、構造健全性を維持することにより、周辺の降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>なお、降下火砕物が長期的に堆積しないよう当該施設に堆積する降下火砕物の除去を適切に行うことから、降下火砕物による荷重を短期に生じる荷重として設定する。</u></p> <p>(b) <u>構造物への粒子の衝突</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋及び降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設は、構造物への降下火砕物の粒子の衝突の影響により、建屋内の降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>なお、粒子の衝突の影響は、竜巻の設計飛来物の影響に包絡されるため「3.3.2 (3) a. 竜巻に対する影響評価及び竜巻防護対策」に示す基本設計方針に基づく設計とする。</u></p> <p>(c) <u>換気系、電気系及び計装制御系に対する機械的影響(閉塞)</u></p> <p><u>建屋内の降下火砕物防護対象施設及び降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設は、降下火砕物を含む空気による流路の閉塞の影響に対して降下火砕物が侵入し難い設計とすることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、外気取入口に防雪フードを設置すること等により、降下火砕物が侵入し難い構造とする。</u></p> <p><u>また、降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設である非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統等にフィルタを設置し、設備内部又は建屋内部に降下火砕物が侵入し難い設計とする。</u></p> <p><u>さらに、非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統は、降下火砕物用フィルタの追加設置等のさらなる降下火砕物対策を実施できるよう設計する。</u></p> <p><u>降下火砕物がフィルタに付着した場合でもフィルタの交換又は清掃が可能な構造とすることで、降下火砕物により閉塞しない設計とする。</u></p> <p>(d) <u>換気系、電気系及び計装制御系に対する機械的影響(磨耗)</u></p> <p><u>建屋内の降下火砕物防護対象施設及び降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設は、降下火砕物による磨耗の影響に対して降下火砕物が侵入し難い設計とすることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、外気取入口に防雪フードを設け、降下火砕物が侵入し難い構造とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>また、降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設である非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統等にフィルタを設置し、設備内部又は建屋内部に降下火砕物が侵入し難い設計とする。</u></p> <p><u>さらに、非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統は、降下火砕物用フィルタの追加設置等のさらなる降下火砕物対策を実施できるよう設計する。</u></p> <p><u>降下火砕物がフィルタに付着した場合でもフィルタの交換又は清掃が可能な構造とすることで、降下火砕物により磨耗しない設計とする。</u></p> <p><u>(e) 構造物、換気系、電気系及び計装制御系に対する化学的影響(腐食)</u></p> <p><u>イ. 構造物の化学的影響(腐食)</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋は、降下火砕物に含まれる腐食性のあるガスによる化学的影響(腐食)に対して短期での腐食が発生しない設計とすることにより、建屋内の降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設は、降下火砕物に含まれる腐食性のあるガスによる化学的影響(腐食)に対して短期での腐食が発生しない設計とすることにより、周辺の降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、外壁塗装及び屋上防水を実施することにより、短期での腐食が発生しない設計とすることで、建屋内の降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼし得る施設は、塗装若しくは腐食し難い金属の使用又は外壁塗装及び屋上防水により、短期での腐食が発生しない設計とすることで、周辺の降下火砕物防護対象施設等に波及的影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>また、降下火砕物堆積後の長期的な腐食の影響については、堆積した降下火砕物の除去後に点検し、必要に応じて修理を行うこと並びに日常的な保守及び修理を行うことにより、建屋内の降下火砕物防護対象施設の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ロ. 換気系、電気系及び計装制御系に対する化学的影響(腐食)</u></p> <p><u>建屋内の降下火砕物防護対象施設及び降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設は、降下火砕物に含まれる腐食性のあるガスによる化学的影響(腐食)に対して短期での腐食が発生しない設計とすることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、外気取入口に防雪フードを設け、降下火砕物が侵入し難い構造とする。</u></p> <p><u>降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設である非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統等にフィルタを設置し、設備内部又は建屋内部に降下火砕物が侵入し難い設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設である非常用所内電源設備の非常用発電機等は、塗装又は腐食し難い金属を用いることにより短期での腐食が発生</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>しない設計とする。</u></p> <p><u>また、降下火砕物堆積後の長期的な腐食の影響については、堆積した降下火砕物の除去後に点検し、必要に応じて修理を行うこと並びに日常的な保守及び修理を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(f) <u>敷地周辺の大気汚染</u></p> <p><u>敷地周辺の大気汚染に対して、中央監視室等の運転員に対する影響を想定し、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>・全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX 燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること</u></li> <li><u>・給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li> <li><u>・監視盤等により施設の監視が適時実施できるように、資機材を確保すること</u></li> </ul> <p>(g) <u>電気系及び計装制御系の絶縁低下</u></p> <p><u>外気から取り入れた建屋内の空気を機器内に取り込む機構を有する降下火砕物防護対象施設は、降下火砕物による絶縁低下の影響により、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>降下火砕物防護対象施設を収納する建屋である燃料加工建屋は、外気取入口に防雪フードを設け、降下火砕物が侵入し難い構造とする。</u></p> <p><u>降下火砕物の影響を受ける可能性がある、降下火砕物を含む空気の流路となる降下火砕物防護対象施設にフィルタを設置し、建屋内部に降下火砕物が侵入し難い設計とすることにより、外気から取り入れた建屋内の空気を機器内に取り込む機構を有する降下火砕物防護対象施設である焼結設備の制御盤等の安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>b. <u>間接的影響に対する防護対策</u></p> <p><u>降下火砕物による間接的影響である7日間の外部電源喪失及び敷地内外での交通の途絶によるアクセス制限事象に対し、MOX 燃料加工施設の安全性を維持するために必要となる電源の供給が継続できるよう、非常用発電機の燃料を貯蔵する設備及び移送する設備は降下火砕物の影響を受けないよう設置することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、火災による閉じ込め機能の不全を防止するために必要な安全上重要な施設へ7日間の電力を供給する措置を講ずることを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>c. <u>必要な機能を損なわないための運用上の措置</u></p> <p><u>火山に関する設計条件等に係る新知見の収集及び火山に関する防護措置との組合せにより安全機能を損なわないための運用上の措置として、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>・定期的に新知見の確認を行い、新知見を得られた場合に評価すること</u></li> <li><u>・火山活動のモニタリングを行い、評価時からの状態の変化の検知により評価の根拠が維持されていることを確認すること</u></li> <li><u>・降下火砕物が長期的に堆積しないよう当該施設に堆積する降下火砕物の除去を適切に行うこと</u></li> </ul>	

変 更 前	変 更 後
<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>降灰時には、降下火砕物による閉塞及び磨耗を防止するために、換気設備の停止又はフィルタの交換若しくは清掃を行うこと</u></li><li>・<u>降灰時には、非常用所内電源設備の非常用発電機の給気系統に対するフィルタの追加設置等を行うこと</u></li><li>・<u>堆積した降下火砕物の除去後に点検し、必要に応じて修理を行うこと並びに日常的な保守及び修理を行うこと</u></li><li>・<u>敷地周辺の大気汚染による影響を防止するため、全工程停止及びグローブボックス排風機以外の送排風機を停止し、MOX燃料加工施設を安定な状態に移行する措置を講ずること</u></li><li>・<u>敷地周辺の大気汚染による影響を防止するため、給気系統上の手動ダンパを閉止すること</u></li><li>・<u>敷地周辺の大気汚染による影響を防止するため、監視盤等により施設の監視が適時実施できるように、資機材を確保すること</u></li><li>・<u>外部電源喪失及び敷地内外での交通の途絶によるアクセス制限事象による影響を防止するため、火災による閉じ込め機能の不全を防止するために必要な安全上重要な施設へ7日間の電力を供給する措置を講ずること</u></li></ul>	

変 更 前	変 更 後
<p>3.3.5 航空機落下</p> <p><u>三沢対地訓練区域で訓練飛行中の航空機が施設に墜落する可能性は極めて小さいが、墜落することを想定したときに、公衆に対して過度の放射線被ばくを及ぼすおそれのある施設を建物・構築物で防護する等安全確保上支障のないようにする。この建物・構築物は航空機に対して貫通が防止でき、かつ、航空機による衝撃荷重に対して健全性が確保できるように設計する。安全上重要な施設については原則として防護対象とする。防護方法としては、建物の外壁及び屋根により建物・構築物全体を適切に防護する方法を基本とし、建物・構築物内部に設置されている施設の安全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>上記の防護設計を踏まえ、MOX燃料加工施設への航空機落下確率が防護設計の要否を判断する基準を超えないことを評価して事業(変更)許可を受けている。設工認申請時に、事業(変更)許可申請時から、防護設計の要否を判断する基準を超えるような航空路の変更等がないことを確認していることから、安全機能を有する施設に対して追加の防護措置その他適切な措置を講ずる必要はない。なお、定期的に航空路の変更等の状況を確認し、追加の防護措置の要否を判断することを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>(1) 防護設計条件</p> <p><u>建物・構築物の防護設計においては、三沢対地訓練区域で多く訓練飛行を行っている航空機のうち、F-16C/DとF-4EJ改を包絡する条件として、航空機の総重量20t、速度150 m/sとしたF-16相当の航空機による衝撃荷重を設定する。</u></p> <p><u>荷重はすべての方向の壁及び屋根等に対して直角に作用するものとする。</u></p> <p><u>貫通限界厚さの算定については、F-4EJ改の2基のエンジン(重量1.745t/基、吸気口部直径0.992m)と等価な重量、断面積を有するエンジンとし、エンジンの重量3.49t、エンジン吸気口部直径1.403m、エンジンの衝突速度155m/sを用いる。</u></p> <p>(2) 防護設計</p> <p><u>航空機衝突時の建物・構築物の損傷の評価においては、比較的硬いエンジンの衝突による貫通等の局所的な破壊と、機体全体の衝突による鉄筋コンクリート版の全体的な破壊という二つの現象を考慮する。防護設計を行う建物・構築物は、エンジンの衝突による貫通を防止でき、航空機全体の衝突荷重によるコンクリートの圧縮破壊及び鉄筋の破断による版の全体的な破壊を防止できる構造とする。</u></p> <p><u>外壁等に設けられた開口部のうち開口面積の大きいものは、堅固な壁等による迷路構造(建屋内壁による防護)により開口内部を直接見込めない構造とすることによって防護する設計とする。</u></p> <p><u>なお、航空機墜落に伴う搭載燃料の燃焼による火災に対して、十分な耐火性能を有する鉄筋コンクリート版により、防護対象とする施設を防護する設計とする。</u></p> <p><u>航空機墜落に伴う搭載燃料の燃焼による火災に係る設計方針については、「3.3.3 外部火災(3)a.(c) 航空機墜落による火災に対する防護対策」に示す。</u></p>	<p>3.3.5 航空機落下</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>4. 閉じ込めの機能</p> <p>4.1 閉じ込め</p> <p>(1) 閉じ込めに係る基本方針</p> <p><u>安全機能を有する施設は、放射性物質を限定された区域に適切に閉じ込める設計とする。</u></p> <p><u>核燃料物質及び核燃料物質によって汚染された物(以下「核燃料物質等」という。)は、混合酸化物貯蔵容器、燃料棒等に封入した状態で取り扱うか、MOX 粉末、グリーンペレット、ペレットについてはグローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)で、ウラン粉末は取扱量、取扱形態に応じてグローブボックス又はオープンポートボックスで、放射性廃棄物のサンプリング試料等の汚染のおそれのある物品はフードで取り扱う設計とする。</u></p> <p>(2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針</p> <p><u>グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。</u></p> <p><u>また、グローブボックスは、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。</u></p> <p><u>グローブボックスは、給気口及び排気口を除き密閉できる設計とする。</u></p> <p><u>MOX 粉末を取り扱うグローブボックスは、以下の設計を講じる。</u></p> <p>a. <u>粉末容器の落下又は転倒により閉じ込め機能を損なわないよう、内装機器及び内装機器の架台による干渉や容器を取り扱う機器とパネルの間の距離の確保により、落下又は転倒した粉末容器が、グローブボックスのパネルに直接衝突することがない設計とする。</u></p> <p>b. <u>グローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>なお、グローブボックス内及びグローブボックス近傍の飛散物の発生防止に係る設計方針については、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」の「8.1.3 内部発生飛散物に対する考慮」に基づくものとする。</u></p> <p>(3) 核燃料物質等の漏えいに対する措置等に係る設計方針</p> <p><u>核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため、核燃料物質等の漏えいに対する措置等として、以下の設計を講じる。</u></p> <p>a. <u>核燃料物質等を取り扱う設備は、内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じる設計とする。</u></p> <p>b. <u>液体廃棄物を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続する構造により核燃料物質等が漏えいし難い設計とする。</u></p> <p>c. <u>核燃料物質等を取り扱う設備は、核燃料物質等を含まない流体を取り扱う設備への核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</u></p>	<p>4. 閉じ込めの機能</p> <p>4.1 閉じ込め</p> <p>(1) 閉じ込めに係る基本方針</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p> <p>(2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p> <p>(3) 核燃料物質等の漏えいに対する措置等に係る設計方針</p> <p>核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため、核燃料物質等の漏えいに対する措置等として、以下の設計を講じる。</p> <p>a. 核燃料物質等を取り扱う設備は、内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じる設計とする。</p> <p>b. 液体廃棄物を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続する構造により核燃料物質等が漏えいし難い設計とする。</p> <p>c. 核燃料物質等を取り扱う設備は、核燃料物質等を含まない流体を取り扱う設備への核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</p>

変更前	変更後
<p>なお、核燃料物質等を取り扱う設備のうち、気体廃棄物を取り扱う設備の逆流防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</p> <p>d. <u>放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックス及びオープンポートボックスは、貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合においても漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とするとともに、グローブボックス及びオープンポートボックス底部を漏えい液受皿構造とすることにより、グローブボックス及びオープンポートボックスに放射性物質を含む液体を閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス及びオープンポートボックス外に漏えいし難い設計とする。</u></p> <p>(4) <u>核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る設計方針</u></p> <p><u>核燃料物質等が漏えいした場合においても、工程室(非密封のMOXを取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等を直接収納する部屋及び当該部屋から廊下への汚染拡大防止を目的として設ける部屋並びにそれらの部屋を介してのみ出入りする部屋をいう。以下同じ。)及び燃料加工建屋内に保持することができる設計とする。</u></p> <p><u>工程室は工程室排気設備、燃料加工建屋は建屋排気設備にて排気し、燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u></p> <p><u>なお、負圧順序の達成に必要な起動順序に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</u></p> <p><u>グローブボックス等内の気圧が設定値以上になった場合は、警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合又はそのおそれがある場合に、建屋内及び工程室内はダストモニタ、エアスニファ及び放射線サーベイ機器により漏えいを検知できるよう、放射線監視設備を設ける設計とする。また、MOX 燃料加工施設から周辺環境へ放射性気体廃棄物を放出する排気筒には、MOX 燃料加工施設外への核燃料物質等の漏えいを検知できるよう、排気モニタを設置する設計とする。</u></p> <p><u>なお、放射線監視設備に係る設計方針については、第2章 個別項目の「6.放射線管理施設」に示す。</u></p> <p><u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合は、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備等の停止を含まない加工工程のうち任意の工程の停止(以下「工程停止」という。)、気体廃棄物の廃棄設</u></p>	<p>なお、核燃料物質等を取り扱う設備のうち、気体廃棄物を取り扱う設備の逆流防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</p> <p>d. 放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックス及びオープンポートボックスは、貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合においても漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とするとともに、グローブボックス及びオープンポートボックス底部を漏えい液受皿構造とすることにより、グローブボックス及びオープンポートボックスに放射性物質を含む液体を閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス及びオープンポートボックス外に漏えいし難い設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス及びオープンポートボックスからの漏えい防止に係る漏えい検知器の設計方針については、第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>e. MOX 粉末を取り扱うグローブボックスを循環する経路は、MOX 粉末の漏えいを防止するため、地震に対して経路が維持できる設計とする。</p> <p>なお、MOX 粉末を取り扱うグローブボックスを循環する経路に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</p> <p>(4) <u>核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る設計方針</u></p> <p><u>核燃料物質等が漏えいした場合においても、工程室(非密封のMOXを取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等を直接収納する部屋及び当該部屋から廊下への汚染拡大防止を目的として設ける部屋並びにそれらの部屋を介してのみ出入りする部屋をいう。以下同じ。)及び燃料加工建屋内に保持することができる設計とする。</u></p> <p><u>工程室は工程室排気設備、燃料加工建屋は建屋排気設備にて排気し、燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u></p> <p><u>なお、負圧順序の達成に必要な起動順序に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</u></p> <p><u>グローブボックス等内の気圧が設定値以上になった場合は、警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>なお、負圧異常時の警報発報に係る設計方針については、第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</u></p> <p><u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合又はそのおそれがある場合に、建屋内及び工程室内はダストモニタ、エアスニファ及び放射線サーベイ機器により漏えいを検知できるよう、放射線監視設備を設ける設計とする。また、MOX 燃料加工施設から周辺環境へ放射性気体廃棄物を放出する排気筒には、MOX 燃料加工施設外への核燃料物質等の漏えいを検知できるよう、排気モニタを設置する設計とする。</u></p> <p><u>なお、放射線監視設備に係る設計方針については、第2章 個別項目の「6.放射線管理施設」に示す。</u></p> <p><u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合は、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備等の停止を含まない加工工程のうち任意の工程の停止(以下「工程停止」という。)、気体廃棄物の廃棄設</u></p>

変更前	変更後
<p><u>備の建屋排風機，工程室排風機，送風機及び窒素循環ファン並びに非管理区域換気空調設備(以下「送風機」という。)を停止する措置等により漏えいの拡大を防止することを保安規定に定めて，管理する。</u></p> <p><u>液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合，漏えい検知器により検知し，警報を発する設計とするとともに，貯槽等に内包される廃液の全量に対して，堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。</u></p> <p>(5) <u>その他の閉じ込めに係る設計方針</u></p> <p><u>グローブボックス排気設備，工程室排気設備及び建屋排気設備は，以下の設計を講じる。</u></p> <p>a. <u>排風機は予備機を設け，故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。</u></p> <p><u>なお，故障時の排風機の切り替えによる核燃料物質等の漏えい防止及び漏えい拡大防止に係る設計方針については，第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</u></p> <p>b. <u>核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで，周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに，設計基準事故時においても可能な限り負圧維持，漏えい防止及び逆流防止の機能が確保される設計とし，公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう，事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。</u></p> <p><u>なお，高性能エアフィルタの段数に係る設計方針については，第2章 個別項目の「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</u></p> <p><u>燃料加工建屋の床面下には，敷地外に管理されずに排出される排水が流れる排水路を設置しない設計とする。</u></p> <p><u>技術基準規則第十条第1項第二号にある「六ふっ化ウランを取り扱う設備」は，MOX 燃料加工施設に設置しない。</u></p> <p>4.2 <u>核燃料物質等による汚染の防止</u></p> <p><u>核燃料物質等による汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は，除染が容易で，腐食しにくい樹脂系塗料等の材料によって仕上げる設計とする。</u></p>	<p>備の建屋排風機，工程室排風機，送風機及び窒素循環ファン並びに非管理区域換気空調設備(以下「送風機」という。)を停止する措置等により漏えいの拡大を防止することを保安規定に定めて，管理する。</p> <p>液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合，漏えい検知器により検知し，警報を発する設計とするとともに，貯槽等に内包される廃液の全量に対して，堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。</p> <p>なお，漏えい拡大防止に係る漏えい検知器の設計方針については，第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>(5) その他の閉じ込めに係る設計方針</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p> <p>4.2 核燃料物質等による汚染の防止</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p>4.3 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備</p> <p>—</p>	<p>4.3 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備</p> <p>MOX 燃料加工施設の事業(変更)許可において想定している重大事故は、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失であり、露出した MOX 粉末を取り扱い、火災源となる潤滑油を有するグローブボックス(以下「重大事故の発生を仮定するグローブボックス」という。)で火災が発生し、設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が、外的事象の「地震」又は内的事象の「動的機器の多重故障」で喪失することにより火災が継続し、核燃料物質等が火災により発生する気流によって気相中へ移行し、大気中へ放射性物質が放出されることである。</p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の対処では、火災の継続時間に応じて、外部への放射性物質の総放出量が増加するため、速やかに火災の確認及び消火を実施することにより、外部への放射性物質の放出を低減させる。</p> <p>また、火災の影響を受けた MOX 粉末の外部への放出経路を速やかに遮断する対策を実施することにより、外部への放射性物質の放出を低減させる。</p> <p>上記対策後、核燃料物質等を回収するための作業環境を確保するため、核燃料物質等の閉じ込める機能を回復させるための対策を実施し、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認した後に核燃料物質の回収作業を実施する。</p> <p>MOX 燃料加工施設は、上記の核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失に対処するため、核燃料物質等の飛散又は漏えいを防止し、飛散又は漏えいした核燃料物質等を回収するとともに、核燃料物質等を閉じ込める機能を回復するために必要な重大事故等対処設備を設ける設計とする。</p> <p>閉じ込める機能の喪失に対処するための設備は、重大事故の発生を仮定するグローブボックス、代替火災感知設備、代替消火設備、外部放出抑制設備、工程室放射線計測設備及び代替グローブボックス排気設備で構成する。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスは、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合においても、グローブボックスからの核燃料物質等の漏えいを一定程度抑制できる設計とする。</p> <p>なお、重大事故の発生を仮定するグローブボックスの設計方針については、第 2 章 個別項目の「1. 成形施設」に示す。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能の喪失を確認した場合、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災を速やかに確認するとともに、核燃料物質等の飛散又は漏えいの原因となる火災を速やかに消火するために必要な重大事故等対処設備として、代替火災感知設備及び代替消火設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、代替火災感知設備及び代替消火設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「7.1.1 火災防護設備」に示す。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失し、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内において火災が発生及び継続した場合、火災の影響を受けた</p>

変更前	変更後
	<p>MOX 粉末がグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行し、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備が外部への放出経路となり得ることから、速やかに放出経路を遮断するために必要な重大事故等対処設備として、外部放出抑制設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、外部放出抑制設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p> <p>核燃料物質等の回収については、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認した後に実施するものとし、回収作業時の MOX 粉末の舞い上りを考慮してサイクロン集塵機等の設備は用いず、ウエス等の資機材により MOX 粉末を回収することから、核燃料物質等を回収するために必要な重大事故等対処設備は設けない。ただし、回収作業に着手する判断として、工程室内雰囲気が安定した状態であることを確認するために必要な重大事故等対処設備として、工程室放射線計測設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、工程室放射線計測設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「6.1.2 代替モニタリング設備」に示す。</p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の回復は、核燃料物質等の回収の一環として、設計基準対象の施設であるグローブボックス排風機の復旧等に時間を要することが想定されるため、可搬型排風機付フィルタユニット等をグローブボックス排気設備に接続し、工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保することで工程室内の MOX 粉末を回収する際の作業環境を確保する。これらの可搬型排風機付フィルタユニット等により工程室内の MOX 粉末を回収する際の作業環境を確保するために必要な重大事故等対処設備として、代替グローブボックス排気設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、代替グローブボックス排気設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>5. 火災等による損傷の防止</p> <p>5.1 火災等による損傷の防止に対する基本設計方針</p> <p>5.1.1 安全機能を有する施設</p> <p><u>安全機能を有する施設は、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発による影響から防護する設備(以下「火災防護上重要な機器等」という。)として、安全機能を有する施設のうち、その機能の喪失により公衆に対し過度の放射線被ばくを及ぼすことのないよう、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な施設の安全機能を有する構築物、系統及び機器を抽出するとともに、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するための構築物、系統及び機器のうち、安全上重要な施設を除いたもの(以下「放射性物質貯蔵等の機器等」という。)を抽出する。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等を収納する燃料加工建屋に、耐火壁(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)、天井及び床(以下「耐火壁」という。)によって囲われた火災区域を設定する。燃料加工建屋の火災区域は、火災防護上重要な機器等の配置を考慮して設定する。</u></p> <p><u>屋外の火災防護上重要な機器等を設置する区域については、周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p> <p><u>火災区画は、燃料加工建屋内及び屋外で設定した火災区域を火災防護上重要な機器等の配置を考慮して、耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて細分化して設定する。</u></p> <p><u>火災区域又は火災区画のファンネルには、他の火災区域又は火災区画からの煙の流入防止を目的として、煙等流入対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設の火災区域又は火災区画における火災防護対策に当たっては、米国の「放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準」(以下「NFPA801」という。)を参考にMOX 燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>具体的な対策については「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(以下「火災防護審査基準」という。)及び「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」(以下「内部火災影響評価ガイド」という。)を参考として火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時の異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外からの放射性物質の放出を防止するために以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</u></p>	<p>5. 火災等による損傷の防止</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(1) <u>グローブボックス排風機</u></p> <p>(2) <u>上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</u></p> <p><u>なお、火災防護上重要な機器等以外の安全機能を有する施設を含め MOX 燃料加工施設は、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>5.1.2 <u>重大事故等対処施設</u></p> <p><u>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設を収納する建屋の火災区域は、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して設定する。</u></p> <p><u>屋外の重大事故等対処施設を設置する区域については、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p> <p><u>火災区画は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設のうち常設のものに対して火災区域及び火災区画を設定し、火災区域及び火災区画における火災防護対策に当たっては、「NFPA801」を参考に MOX 燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>具体的な対策については「火災防護審査基準」及び「内部火災影響評価ガイド」を参考として MOX 燃料加工施設の特徴及びその重要度を踏まえ、火災及び爆発の発生防止並びに火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>ただし、重大事故等対処設備のうち、動的機器の故障等の機能喪失の要因となる事象(以下「内的事象」という。)を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備は、関連する工程を停止することにより重大事故に至らずその機能を必要としないため、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>なお、重大事故等対処設備のうち、可搬型のものに対する火災防護対策については、火災防護計画に定めて実施する。</u></p> <p>5.1.3 <u>火災防護計画</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設全体を対象とした火災防護対策を実施するため、火災防護計画を策定する。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等を火災及び爆発から防護するため、火災及び爆発の発生防止、火災</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>の早期感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減の3つの深層防護の概念に基づき、必要な運用管理を含む火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設については、火災及び爆発の発生防止並びに火災の早期感知及び消火に必要な運用管理を含む火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>その他施設については、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備のうち、可搬型のものに対する火災防護対策については、火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>敷地及び敷地周辺で想定される自然現象並びに人為事象による火災及び爆発(以下「外部火災」という。)については、安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設を外部火災から防護するための運用等についての火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>5.2 火災及び爆発の発生防止</p> <p>5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>MOX 燃料加工施設の火災及び爆発の発生を防止するため、MOX 燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策及び空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</u></p> <p><u>なお、MOX 燃料加工施設の分析設備で取り扱う化学薬品等は少量であることから、化学的制限値の設定は不要とする。</u></p> <p><u>水素ガスを使用する焼結炉及び小規模焼結処理装置(以下「焼結炉等」という。)は燃料加工建屋に受け入れる水素・アルゴン混合ガス中の水素最高濃度(9.0vol%)を設定する。</u></p> <p><u>焼結炉等に供給する水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度が9.0vol%を超えないよう、以下の対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(1) <u>エネルギー管理建屋に設置する水素・アルゴン混合ガスの製造系統と燃料加工建屋への供給系統とを物理的に分離する設計とする。</u></p> <p>(2) <u>燃料加工建屋で使用する水素・アルゴン混合ガスは、水素濃度を9.0vol%以下に調整し、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填する設計とする。</u></p> <p>(3) <u>エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填した水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度を確認した上で、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器を燃料加工建屋への供給系統に接続する設計とする。</u></p> <p><u>さらに、燃料加工建屋への供給系統の接続口は、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器以外が接続できない設計とする。</u></p> <p>(4) <u>燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を確認し、万一、水素濃度が9.0vol%を超える場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。</u></p> <p><u>また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、温度制御機器により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。</u></p> <p><u>なお、焼結炉等は、水素・アルゴン混合ガスにより焼結ペレットを還元させることを目的としており、可燃性ガスを燃焼させずに炉内を加熱する設計とするが、焼結炉等の加熱を停止する場合は、可燃性ガスの供給を自動的に停止する設計とする。</u></p> <p><u>分析試薬については、少量ではあるが可燃性試薬及び引火性試薬を含む多種類の分析試薬を取り扱うため、保管及び取扱いに係る火災及び爆発の発生防止対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>安全上重要な施設及び重大事故等対処施設のうち、MOX 粉末を取り扱うグローブボックス内を窒素雰囲気とすることで、火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</u></p> <p>5.2.2 MOX 燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画に対して火災及び爆発の発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気、漏えい検出対策及び接地対策、電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止における発火性物質又は引火性物質に対する火災及び爆発の発生防止対策は、火災区域又は火災区画に設置する潤滑油又は燃料油を内包する設備に加え、MOX 燃料加工施設で取り扱う物質として、水素を内包する設備及び分析試薬を取り扱う設備を対象とする。</u></p> <p><u>なお、分析試薬については、「5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止」に示す分析試薬に対する対策と同様の設計とする。</u></p> <p><u>潤滑油又は燃料油を内包する設備(以下「油内包設備」という。)は、溶接構造又はシール構造により漏えい防止対策を講ずる設計とするとともに、オイルパン又は堰を設置し、漏えいした潤滑油又は燃料油が拡大することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>油内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は隔離による配置上の考慮を行う設計とする。</u></p> <p><u>油内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気又は自然換気を行う設計とする。</u></p> <p><u>発火性物質又は引火性物質を貯蔵する機器は、運転に必要な量に留めて貯蔵する設計とする。</u></p> <p><u>水素を内包する設備(以下「可燃性ガス内包設備」という。)は、溶接構造等により可燃性ガスの漏えいを防止する設計とする。</u></p> <p><u>可燃性ガス内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は離隔による配置上の考慮を行う設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止における可燃性ガスに対する換気のため、可燃性ガス内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気を行う設計とする。</u></p> <p><u>このうち、蓄電池を設置する火災区域は、機械換気を行うことにより、水素濃度を燃焼限界濃度以下とするよう設計する。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である 4vol% の 4 分の 1 以下で中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、蓄電池が無停電電源装置等を設置している室と同じ室に収納する場合は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」(SBA G 0603)に適合するよう、鋼板製筐体に収納し、水素ガス滞留を防止するため蓄電池室を機械換気により排気することで火災又は爆発を防止する設計とする。</u></p> <p><u>蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>焼結炉等は工程室内に設置するが、排ガス処理装置を介して、グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機による機械換気を行う設計とすることで、万一の工程室内への漏えいに対しても、水素・アルゴン混合ガスが滞留しない設計とする。</u></p> <p><u>水素・アルゴン混合ガスを内包する焼結炉等に水素・アルゴン混合ガスを供給し、高温状態でグリーンペレットを焼結することから、これらの系統及び機器を設置する工程室に水素ガス漏えい検知器を設置し、中央監視室及び制御第 1 室並びに制御第 4 室(以下「中央監視室等」という。)に警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止における防爆及び接地対策として、火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質を内包する設備は、溶接構造の採用、機械換気等により、「電気設備に関する技術基準を定める省令」第六十九条及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気とならない設計とするとともに、発火性物質又は引火性物質を内包する設備からの漏えいを考慮し、漏えいの可能性のある機器を設置する室の電気接点を有する機器は、防爆構造とする設計とし、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p><u>水素・アルゴン混合ガスを取り扱う系統及び機器のうち、漏電により着火源となるおそれのある機器及び静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止のため、火災区域における現場作業において、可燃性の蒸気が滞留しないように建屋の送風機及び排風機による機械換気により滞留を防止する設計とする。</u></p> <p><u>また、火災区域における現場作業において、有機溶剤を使用する場合は必要量以上持ち込まない運用とし、可燃性の蒸気が滞留するおそれがある場合は、換気、通風又は拡散の措置を行うこ</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>とを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止のため、可燃性の微粉が滞留するおそれがある設備として燃料棒解体設備の燃料棒解体装置の切断機は、燃料棒の切断時にジルカロイ粉末が発生しないよう、燃料棒(被覆管端栓部)は押切機構の切断機(パイプカッタ)を用いて切断し、ペレットを抜き取った後の燃料棒(被覆管部)は押切機構の切断機(鉄筋カッタ)を用いて切断を行うことによって、可燃性の微粉による火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止のため、発火源への対策として火花の発生を伴う設備は、発生する火花が発火源となることを防止する設計とするとともに、周辺に可燃性物質を保管しないことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>また、高温となる設備は、高温部を断熱材、耐火材で覆うこと又は冷却することにより、可燃性物質との接触及び可燃性物質の加熱を防止する設計とする。</u></p> <p><u>焼結炉等及びスタック乾燥装置は、運転中は温度監視を行うとともに、温度制御機器により温度制御を行う設計とする。</u></p> <p><u>廃棄物の保管にあたり、放射性物質を含んだフィルタ類及びその他の雑固体は、処理を行うまでの間、金属製容器に封入し、保管する設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止のため、空気の混入防止対策として、焼結炉等、水素・アルゴン混合ガスを使用する機器の接続部は、溶接構造又はフランジ構造により空気が混入することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>また、水素・アルゴン混合ガスを受け入れる配管には、逆止弁を設置し、配管が破断した場合に空気が焼結炉等内に混入することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>焼結炉は、出入口に入口真空置換室及び出口真空置換室を設け、容器を出し入れする際に置換室を水素・アルゴン混合ガス雰囲気置換し、焼結炉内にグローブボックス雰囲気が混入することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>焼結時の焼結炉内への空気の混入を監視するため酸素濃度計を設置し、空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに、中央監視室及び制御第1室に警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>小規模焼結処理装置は、容器を炉内へ装荷し、炉蓋を閉じた後、炉内雰囲気を水素・アルゴン混合ガス雰囲気に置換する設計とする。</u></p> <p><u>また、焼結時は炉内へ空気が混入することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>焼結時の小規模焼結処理装置内への空気の混入を監視するため酸素濃度計を設置し、空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに、中央監視室等に警報を発する設計とする。</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止のため、電気系統は、機器の損壊、故障及びその他の異常を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障の影響を局所化するとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p>	



変 更 前	変 更 後
<p><u>電気室は、電源供給のみに使用する設計とする。</u></p> <p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>MOX 燃料加工施設の建物は、耐火構造又は不燃性材料で造られたものとするとともに、必要に応じて防火壁の設置その他の適切な防火措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計若しくは代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災及び爆発に起因して、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>なお、焼結炉等の炉体及び閉じ込めの境界を構成する部材は、耐熱性を有する材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のうち、機器、配管、ダクト、ケーブルトレイ、電線管及び盤の筐体並びにこれらの支持構造物の主要な構造材は、金属材料又はコンクリートを使用する設計とする。</u></p> <p><u>放射性物質を内包するグローブボックス等のうち、閉じ込め機能を喪失することで MOX 燃料加工施設の安全性を損なうおそれのあるものについては、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、配管等のパッキン類は、その機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難であるため、金属で覆われた狭隘部に設置し直接火炎に晒されることのない設計とする。</u></p> <p><u>また、金属に覆われたポンプ及び弁の駆動部の潤滑油並びに金属に覆われた機器内部のケーブルは、発火した場合でも他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に延焼しないことから、不燃性材料又は難燃性材料ではない材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に対する保温材は、平成 12 年建設省告示第 1400 号に定められたもの又は建築基準法で不燃性材料として定められたものを使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する建屋の建屋内装材は、建築基準法に基づく不燃性材料若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料又は消防法に基づく防災物品若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、塗装は当該場所における環境条件を考慮したものとする。管理区域の床及び壁は、耐汚染性、除染性、耐摩耗性等を考慮したコーティング剤を不燃性材料であるコンクリート表面に塗布すること、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらないこと、燃料加工建屋内に設置する火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設には不燃性材料又は難燃性材料を使用し、周</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>辺における可燃性物質を管理することから、難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>また、中央監視室等及び緊急時対策建屋の対策本部室の床面は、消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認したカーペットを使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及びグローブボックス(安全上重要な施設)内機器並びに重大事故等対処施設に使用するケーブルには、実証試験により延焼性(米国電気電子工学学会規格 IEEE383又は IEEE1202 垂直トレイ燃焼試験)及び自己消火性(UL1581 垂直燃焼試験)を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、機器等の性能上の理由から実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルをやむを得ず使用する場合には、金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護又は専用の電線管に敷設等の措置を講じた上で、難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認し、使用する設計とすることで、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のうち、換気設備のフィルタは、不燃性材料又は「JACA No. 11A(空気清浄装置用材燃焼性試験方法指針(公益社団法人日本空気清浄協会))」により難燃性を満足する難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のうち、建屋内に設置する変圧器及び遮断器は絶縁油を内包しない乾式を使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に使用する遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>なお、可燃性の遮蔽材を使用する場合は、不燃性材料又は難燃性材料で覆う設計とする。</u></p> <p>5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>MOX 燃料加工施設に対する自然現象として、地震、津波、落雷、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を考慮する。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等は、考慮する自然現象のうち、火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷及び地震について、これらの現象によって火災及び爆発が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等に対して火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象のうち落雷による火災及び爆発の発生を防止するため、建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等は、耐震重要度分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とするとともに、加工施設の技術基準に関する規則に従い、耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設は、考慮する自然現象のうち、火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷、地震、竜巻(風(台風)を含む。)及び森林火災について、これらの現象によって火災及び爆発</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設に対して火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象のうち、落雷による火災及び爆発の発生を防止するため、建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設を収納する各構築物に設置する避雷設備は、接地系と接続することにより、接地抵抗の低減及び雷撃に伴う構内接地系の電位分布の平坦化を図る設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設は、重大事故等対処施設の設備分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とするとともに、加工施設の技術基準に関する規則に従い、耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設は、竜巻(風(台風)を含む。)の影響により火災及び爆発が発生することがないように、竜巻防護対策を行う設計とする。</u></p> <p><u>森林火災については、防火帯により、重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止を講ずる設計とする。</u></p> <p>5.3 <u>火災の感知、消火</u></p> <p><u>火災の感知及び消火は、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、グローブボックス内に対しても、早期に火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>火災感知設備及び消火設備は、「5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止」で抽出した自然現象に対して、火災感知及び消火の機能、性能が維持できる設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等に係る火災感知設備及び消火設備については、火災区域及び火災区画に設置した火災防護上重要な機器等が地震による火災を想定する場合には耐震重要度分類に応じて、機能を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設に係る火災感知設備及び消火設備については、火災区域及び火災区画に設置した重大事故等対処施設が地震による火災を想定する場合には重大事故等対処施設の設備分類に応じて、機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>5.4 <u>火災及び爆発の影響軽減</u></p> <p>5.4.1 <u>火災及び爆発の影響軽減対策</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設の火災防護上重要な機器等を設置する火災区域又は火災区画及び隣接する火災区域又は火災区画における火災及び爆発による影響を軽減するため、以下の対策を講ずる設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備に対する影響軽減対策</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、以下のいずれかの系統分離によって、火災の影響を軽減するための対策を講ずる設計とする。</p> <p>a. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、隔壁等で系統間を分離する設計とする。</p> <p>b. 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、水平距離間には仮置きするものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p> <p>c. 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルを1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p> <p>(2) 中央監視室の火災及び爆発の影響軽減</p> <p>a. 中央監視室制御盤内の火災影響軽減対策</p> <p>中央監視室に設置する火災防護上の系統分離対策を講じる制御盤及びそのケーブルについては、火災及び爆発の影響軽減のための措置を講ずる設計と同等の設計として、不燃性筐体による系統別の分離対策、高感度煙感知器の設置、常駐する運転員による消火活動等により、上記(1)と同等な設計とする。</p> <p>中央監視室の制御盤は、実証試験結果に基づき、異なる系統の制御盤を系統別に個別の不燃性の筐体で造る盤とすることで分離する設計とする。</p> <p>中央監視室には異なる原理の火災感知器を設置するとともに、制御盤内における火災を速やかに感知し、安全機能への影響を防止できるよう高感度煙感知器を設置する設計とする。</p> <p>中央監視室内の火災感知器により火災を感知した場合、運転員は、制御盤周辺に設置する消火器を用いて早期に消火を行うことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>b. 中央監視室床下の影響軽減対策</p> <p>中央監視室の床下に敷設する互いに相違する系列のケーブルに関しては、3時間以上の耐火能力を有する耐火隔壁で互いの系列間を分離する設計とする。</p> <p>(3) 換気設備に対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>火災区域境界を貫通する換気ダクトには3時間耐火性能を有する防火ダンパ及び延焼防止ダンパを設置することで、他の区域からの火災及び爆発の影響が及ばない設計とする。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>ただし、放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域は、放射性物質による汚染のおそれのある区域を常時負圧にすることで閉じ込め機能を維持する動的な閉じ込め設計とするため、耐火壁を貫通するダクトについては、鋼板ダクトにより、3時間耐火境界となるよう排気系統を形成する設計とする。</p> <p>(4) 火災発生時の煙に対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>運転員が駐在する中央監視室等の火災及び爆発の発生時の煙を換気設備により排気するため、建築基準法に基づく容量を確保する設計とする。</p> <p>また、電気ケーブルが密集する火災区域に該当する中央監視室等床下、引火性液体を取り扱う非常用発電機室及び危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所については、固定式消火設備により、早期に消火する設計とする。</p> <p>(5) 油タンクに対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>火災区域又は火災区画に設置する油タンクのうち、放射性物質を含まないMOX燃料加工施設で使用する油脂類のタンクは、ベント管により屋外へ排気する設計とする。</p> <p>(6) 焼結炉等に対する爆発の影響軽減対策</p> <p>MOX燃料加工施設では爆発の発生は想定されないが、万一、爆発が発生した場合の影響軽減対策として、焼結炉等における爆発の発生を検知し、検知後は排気経路に設置したダンパを閉止する設計とする。</p> <p>5.4.2 MOX燃料加工施設の安全確保</p> <p>(1) MOX燃料加工施設の安全機能の確保対策</p> <p>a. 火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定した設計</p> <p>MOX燃料加工施設内の火災又は爆発によって、当該火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定しても、MOX燃料加工施設の安全性が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 設計基準事故に対処するための機器に単一故障を想定した設計</p> <p>MOX燃料加工施設内の火災又は爆発によって設計基準事故が発生する場合は、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても「5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策」で実施する火災防護対策により異常状態が収束できる設計とする。</p> <p>(2) 火災影響評価</p> <p>a. 火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定した設計に対する評価</p> <p>火災区域又は火災区画における設備等の設置状況を踏まえた可燃性物質の量等を基に、想定されるMOX燃料加工施設内の火災又は爆発を考慮しても、安全上重要な施設の安全機能が維持できることで、MOX燃料加工施設の安全性が損なわれないことを、火災影響評価にて確認する。</p>	

変 更 前	変 更 後
<p>(a) <u>隣接火災区域に影響を与えない火災区域に対する火災伝播評価</u></p> <p><u>当該火災区域又は火災区画内に設置する全機器の動的機能喪失を想定しても、MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備の系統分離対策を考慮することにより、火災防護上の系統分離対策を講じる設備の安全機能に影響を与えないことを確認する。</u></p> <p><u>また、火災防護上の系統分離対策を講じる設備以外の安全上重要な施設が機能喪失するおそれのある火災区域又は火災区画は、当該火災区域又は火災区画における最も過酷な単一の火災を想定して、火災力学ツール(以下「FDTs」という。)を用いた火災影響評価を実施し、安全上重要な施設が機能を喪失しないことを確認することで、MOX 燃料加工施設の安全性が損なわれないことを確認する。</u></p> <p>(b) <u>隣接火災区域に火災の影響を与える火災区域に対する火災伝播評価</u></p> <p><u>当該火災区域又は火災区画内の火災に伴う当該火災区域又は火災区画及び隣接火災区域又は火災区画の2区画内に設置する全機器の動的機能喪失を想定しても、MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備の系統分離対策を考慮することにより、火災防護上の系統分離対策を講じる設備の安全機能に影響を与えないことを確認する。</u></p> <p><u>また、火災防護上の系統分離対策を講じる設備以外の安全上重要な施設が機能喪失するおそれのある隣接2区域(区画)において、当該火災区域又は火災区画における最も過酷な単一の火災を想定して、「FDTs」を用いた火災影響評価を実施し、安全上重要な施設が機能を喪失しないことを確認することで、MOX 燃料加工施設の安全性が損なわれないことを確認する。</u></p> <p>b. <u>設計基準事故に対処するための機器に単一故障を想定した設計に対する評価</u></p> <p><u>火災又は爆発によって設計基準事故が発生する可能性があるため、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても、異常状態を収束できることを火災影響評価にて確認する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>6. <u>加工施設内における溢水による損傷の防止</u></p> <p>6.1 <u>溢水から防護する設備及び設計方針</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、MOX燃料加工施設内における溢水の発生によりその安全機能を損なうおそれがある場合において、防護措置その他の適切な措置を講じることにより、溢水に対して安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ここで、安全機能を有する施設のうち、安全評価上機能を期待する安全上重要な機能を有する構築物、系統及び機器を溢水から防護する設備(以下「溢水防護対象設備」という。)とし、これらの設備が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>溢水防護対象設備以外の安全機能を有する施設は、溢水による損傷を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理の対応を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>溢水防護対象設備が溢水により安全機能を損なわない設計であることを確認するために、MOX燃料加工施設内において発生が想定される溢水の影響を評価(以下「溢水評価」という。)する。</u></p> <p><u>なお、溢水評価の条件に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>6.2 <u>考慮すべき溢水事象</u></p> <p><u>溢水評価では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を想定する。</u></p> <p>(1) <u>溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</u></p> <p>(2) <u>MOX燃料加工施設内で生じる異常状態(火災を含む。)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水等の放水による溢水」という。)</u></p> <p>(3) <u>地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</u></p> <p>(4) <u>その他の要因(地下水の流入、地震以外の自然現象、誤操作等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</u></p>	<p>6. 加工施設内における溢水による損傷の防止</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>6.3 溢水源及び溢水量の設定</p> <p>6.3.1 想定破損による溢水</p> <p>想定破損による溢水は、1系統における単一の機器の破損を想定し、溢水源となり得る機器は流体を内包する配管とし、配管の破損箇所を溢水源として設定する。</p> <p>また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。</p> <p>配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さと同配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック(以下「貫通クラック」という。)」を想定する。</p> <p>ただし、配管破損の想定に当たって、詳細な応力評価を実施する場合は、発生応力と許容応力の比による応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。</p> <p>高エネルギー配管については、ターミナルエンド部を除き、発生応力が許容応力の0.8倍を超える場合は「完全全周破断」、0.4倍を超え0.8倍以下であれば「貫通クラック」を想定し、0.4倍以下であれば破損は想定しない。</p> <p>また、低エネルギー配管については、発生応力が許容応力の0.4倍を超える場合は「貫通クラック」を想定し、0.4倍以下であれば破損は想定しない。</p> <p>応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>溢水源として設定する配管の破損箇所は溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定制並びに現場又は中央監視室からの隔離(運転員の状況確認及び隔離操作を含む。)により漏えい停止するまでの時間を適切に考慮し、想定する破損箇所からの流出量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。</p> <p>なお、手動による漏えいの停止のために現場等を確認し操作することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>6.3.2 消火水等の放水による溢水</p> <p>消火水等の放水による溢水は、燃料加工建屋内において、水を使用する消火設備である屋内消火栓及び連結散水装置からの放水を溢水源として設定する。</p> <p>消火水等の放水による溢水量については、消火設備からの単位時間当たりの放水量と放水時間から設定する。</p> <p>6.3.3 地震起因による溢水</p> <p>地震起因による溢水については、耐震Sクラス機器は基準地震動<math>S_s</math>による地震力によって破損は生じないことから、流体を内包する系統のうち、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対する耐震</p>	



変更前	変更後
<p><u>性が確認されていない耐震B, Cクラスに属する系統を溢水源として設定する。</u></p> <p><u>ただし, 耐震B, Cクラスであっても基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して耐震性が確保されるものについては, 溢水源として設定しない。</u></p> <p><u>溢水量の算出に当たっては, 溢水が生じるとした機器について, 溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなるように評価する。</u></p> <p><u>溢水源となる系統については全保有水量を考慮した上で, 流体を内包する機器のうち, 基準地震動S<sub>s</sub>によって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し, その影響を評価する。</u></p> <p><u>この場合において, 溢水源となる配管は, 破損形状を完全全周破断とし, 溢水源となる容器は, 全保有水量を溢水量として設定する。</u></p> <p>6.3.4 その他の溢水</p> <p><u>その他の溢水については, 地震以外の自然現象やその波及的影響に伴う溢水, 溢水防護区画内にて発生が想定されるその他の漏えい事象を想定する。</u></p> <p><u>具体的には, 地下水の流入, 降水のようなMOX燃料加工施設への直接的な影響と, 飛来物等による屋外タンク等の破損のような間接的な影響, 機器ドレン, 機器損傷(配管以外), 人的過誤及び誤作動を想定し, 各事象において溢水源及び溢水量を設定する。</u></p> <p>6.4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p><u>溢水評価に当たっては, 溢水防護区画を以下のとおり設定する。</u></p> <p>(1) <u>溢水防護対象設備が設置されている区画</u></p> <p>(2) <u>中央監視室等</u></p> <p>(3) <u>運転員が, 溢水が発生した区画を特定するためにアクセスする又は必要により隔離等の操作が必要な設備にアクセスする通路部</u></p> <p><u>溢水防護区画は, 壁, 扉, 堰, 床段差等又はそれらの組合せによって他の区画と分離される区画として設定する。</u></p> <p><u>溢水評価に当たっては, 溢水の影響を受けて, 溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ及び溢水防護区画を構成する壁, 扉, 堰, 床段差等の設置状況を踏まえ, 溢水防護区画内の水位が最も高くなるように, より厳しい結果を与える溢水経路を設定する。</u></p> <p><u>また, 消火活動により区画の防水扉及び水密扉を開放する場合は, 開放した防水扉及び水密扉からの消火水の伝播を考慮する。</u></p> <p><u>防水扉及び水密扉については, 扉の閉止運用を保安規定に定めて, 管理する。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>6.5 燃料加工建屋内で発生する溢水に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>6.5.1 没水の影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p><u>想定した溢水源から発生する溢水量，溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し，溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なわないことを評価する。</u></p> <p><u>また，壁(貫通部止水処置を含む。)，防水扉，水密扉，堰及び床ドレン逆止弁の設置等の対策を行うことにより，溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>6.5.2 被水の影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p><u>想定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水，消火水等による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水に対し，影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が安全機能を損なわないことを評価する。</u></p> <p><u>また，保護構造を有する設計，溢水防護板の設置等の対策により，溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>消火水等の放水による溢水に対しては，溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において水を放水する屋内消火栓及び連結散水装置は用いず，放水しない消火手段を採用することにより，被水の影響が発生しない設計とする。</u></p> <p><u>なお，水を用いる消火活動を行う場合には，水を用いる消火活動による被水の影響を最小限に止めるため，溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として保安規定に定めて，管理する。</u></p> <p>6.5.3 蒸気影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p><u>想定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を確認するために，空調条件や解析区画を設定して解析を実施し，溢水防護対象設備が蒸気の影響により安全機能を損なわないことを評価する。</u></p> <p><u>また，自動で漏えい蒸気を隔離する自動検知・遠隔隔離システムの設置等の対策，溢水防護対象設備への蒸気曝露試験又は机上評価による健全性の確認により，溢水防護対象設備が蒸気の影響により安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>6.6 燃料加工建屋外で発生する溢水に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p><u>燃料加工建屋外で発生を想定する溢水が，溢水防護区画に流入しないことを評価する。</u></p> <p><u>また，燃料加工建屋外で発生を想定する溢水に対しては，燃料加工建屋外で発生を想定する溢水による影響を評価する上で期待する範囲を境界とした燃料加工建屋内への流入を壁(貫通部止水処置を含む。)，扉，堰等により防止する設計とすることにより，溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>7. 遮蔽</p> <p>安全機能を有する施設は、周辺監視区域外の線量及び放射線業務従事者の被ばく線量が、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」（以下「線量告示」という。）に定められた線量限度を超えないことはもとより、公衆の被ばく線量及び放射線業務従事者が立ち入る場所における線量を合理的に達成できる限り低くするため、以下の遮蔽等の対策を講ずる設計とする。</p> <p>(1) 安全機能を有する施設は、通常時の MOX 燃料加工施設からの直接線及びスカイシャイン線による周辺監視区域外の線量が、線量告示で定められた線量限度を超えないようにするとともに、合理的に達成できる限り低くなるよう、遮蔽その他適切な措置を講ずる設計とする。</p> <p>(2) 安全機能を有する施設は、管理区域その他 MOX 燃料加工施設内の人が立ち入る場所における外部被ばく及び内部被ばくによる線量を低減できるよう、遮蔽その他適切な措置を講ずる設計とする。</p> <p>a. 遮蔽その他適切な措置としては、放射線業務従事者の作業性等を考慮し、遮蔽及び機器を配置する設計とするとともに、遠隔操作を可能とし、放射性物質の漏えい防止対策及び換気を行うことにより、所要の放射線防護上の措置を講ずる設計とする。</p> <p>なお、遠隔操作の設計については、第 2 章 個別項目の「1. 成形施設」、「2. 被覆施設」、「3. 組立施設」、「7.9 核燃料物質の検査設備」及び「7.11 主要な実験設備」に示す。また、放射性物質の漏えい防止対策については、第 1 章 共通項目の「4. 閉じ込めの機能」に基づくものとし、換気の設計については、第 2 章 個別項目の「5.3 換気設備」に示す。</p> <p>b. 遮蔽設備は、放射線を遮蔽するための壁、床及び天井（以下「建屋壁遮蔽」という。）、遮蔽扉、遮蔽蓋、グローブボックス遮蔽並びに補助遮蔽から構成する。</p> <p>c. MOX 燃料加工施設内の遮蔽設計に当たっては、放射線業務従事者の立入頻度及び立入時間を考慮し、遮蔽設計の基準となる線量率を設定するとともに、管理区域を線量率に応じて適切に区分し、区分ごとの遮蔽設計の基準となる線量率を満足するよう遮蔽設備を設計する。</p> <p>d. 建屋壁遮蔽に開口部又は貫通部がある場合で、開口部又は貫通部により遮蔽設計の基準となる線量率を超えるおそれのある場合には、以下に示すような放射線漏えい防止措置を講じ、遮蔽設計の基準となる線量率を満足する設計とする。</p> <p>(a) 建屋壁遮蔽の開口部及び貫通部については、線源を直接見通さないような場所に設置する措置</p> <p>(b) 建屋壁遮蔽の開口部及び貫通部には、遮蔽扉、遮蔽蓋又は補助遮蔽を設置する措置</p> <p>e. 遮蔽設計に当たっては、遮蔽計算に用いる線源、遮蔽体の形状及び材質、計算誤差等を考慮し、十分な安全裕度を見込む。また、遮蔽計算においては、許認可において使用実績があり、信頼性のある計算コードを使用する。</p>	<p>7. 遮蔽</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>8. 設備に対する要求</p> <p>8.1 安全機能を有する施設</p> <p>8.1.1 安全機能を有する施設に対する設計方針</p> <p>(1) 安全機能を有する施設の基本的な設計</p> <p><u>MOX燃料加工施設のうち、重大事故等対処施設を除いたものを設計基準対象の施設とし、安全機能を有する構築物、系統及び機器を、安全機能を有する施設とする。</u></p> <p><u>また、安全機能を有する施設のうち、その機能喪失により、公衆又は従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び設計基準事故時に公衆又は従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線がMOX燃料加工施設を設置する敷地外へ放出されることを抑制し又は防止する構築物、系統及び機器から構成される施設を、安全上重要な施設とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、その機能を確保する設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、設計基準事故時において、敷地周辺の公衆に放射線障害を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設は、化学的に安定したウラン及びMOXを取り扱い、化学反応による物質の変化及び発熱が生ずるプロセスを設置しない設計とする。</u></p> <p><u>取り扱う核燃料物質のうち、MOX粉末が飛散しやすいという特徴を踏まえ、露出した状態でMOX粉末を取り扱うグローブボックスは、燃料加工建屋の地下3階に設置する設計とする。</u></p> <p><u>なお、安全機能を有する施設並びに核物質防護及び保障措置の設備は、設備間において相互影響を考慮した設計とする。</u></p> <p>(2) 環境条件の考慮</p> <p><u>安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、通常時及び設計基準事故時に想定される圧力、温度、湿度、放射線量、荷重、屋外の天候による影響(凍結及び降水)、電磁的障害及び周辺機器等からの悪影響の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができる設計とする。</u></p> <p>a. <u>環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候による影響(凍結及び降水)並びに荷重</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故時における環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候による影響(凍結及び降水)並びに荷重を考慮しても、安全機能を発揮できる設計とする。</u></p> <p>b. <u>電磁波による影響</u></p> <p><u>電磁的障害に対しては、安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故が発生した場合においても、電磁波によりその安全機能が損なわれない設計とする。</u></p> <p>c. <u>周辺機器等からの悪影響</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、地震、火災、溢水及びその他の自然現象並びに人為事象による他設備からの悪影響により、安全機能が損なわれないよう措置を講じた設計とする。</u></p>	<p>8. 設備に対する要求</p> <p>8.1 安全機能を有する施設</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(3) 操作性の考慮</p> <p><u>設計基準事故に対処するための機器を設計基準事故の発生を感知し、自動的に起動する設計とすることにより、運転員の操作を期待しなくても必要な安全上の機能が確保される設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設の設置場所は、通常時及び設計基準事故時においても操作及び復旧作業に支障がないように、遮蔽の設置や線源からの離隔により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定した上で設置場所から操作可能、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能、又は過度な放射線被ばくを受けないよう遮蔽機能を確保した中央監視室、制御第1室及び制御第4室から操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、運転員による誤操作を防止するため、機器、配管、弁及び盤に対して系統による色分けや銘板取り付け等による識別管理等を行い、人間工学上の諸因子、操作性及び保守点検を考慮した盤の配置を行うとともに、計器表示、警報表示によりMOX燃料加工施設の状態が正確かつ迅速に把握できる設計とする。</u></p> <p><u>安全上重要な施設は、設計基準事故が発生した状況下(混乱した状態等)であっても、容易に操作ができるよう、中央監視室、制御第1室及び制御第4室の監視制御盤や現場の機器、配管、弁及び盤に対して、誤操作を防止するための措置を講じ、また、簡潔な手順によって必要な操作が行える等の運転員に与える負荷を少なくすることができる設計とする。</u></p> <p>(4) 規格及び基準に基づく設計</p> <p><u>安全機能を有する施設は、設計、材料の選定、製作及び検査に当たっては、現行国内法規に基づく規格及び基準によるものとするが、必要に応じて、使用実績があり、信頼性の高い国外規格及び基準によるものとする。</u></p> <p><u>(1)～(4)に基づき設計する安全機能を有する施設の維持管理に当たっては、保安規定に基づき、施設管理計画における保全プログラムを策定し、設備の維持管理を行う。</u></p> <p><u>なお、安全機能を有する施設を構成する部品のうち、一般消耗品又は設計上交換を想定している部品(安全に係わる設計仕様に変更のないもので、特別な工事を要さないものに限る。)及び通信連絡設備、安全避難通路(照明設備)等の「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」で定める一般産業用工業品については、適切な時期に交換を行うことで設備の維持管理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>8.1.2 試験、検査性の確保</p> <p><u>安全機能を有する施設は、通常時において、当該施設の安全機能を確保するための検査又は試験ができる設計とするとともに安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる設計とし、そのために必要な配置、空間及びアクセス性を備えた設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>8.1.3 内部発生飛散物に対する考慮</p> <p><u>安全機能を有する施設は、MOX燃料加工施設内におけるクレーンその他の機器又は配管の損壊に伴う飛散物(以下「内部発生飛散物」という。)によってその安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設のうち、内部発生飛散物から防護する施設としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な構築物、系統及び機器を対象とする。安全上重要な構築物、系統及び機器は内部発生飛散物の発生を防止することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>上記に含まれない安全機能を有する施設は、内部発生飛散物に対して機能を維持すること若しくは内部発生飛散物による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>内部発生飛散物の発生要因として、重量物の落下による飛散物、回転機器の損壊による飛散物を考慮し、発生要因に対してつりワイヤ等を二重化、逸走を防止するための機構の設置、誘導電動機又は調速器を設けることにより過回転とならない設計とする等により飛散物の発生を防止できる設計とする。</u></p> <p><u>なお、MOX粉末を取り扱うグローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>8.1.4 共用に対する考慮</p> <p><u>安全機能を有する施設のうち、再処理施設又は廃棄物管理施設と共用するものは、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設のうち、MOX燃料加工施設内で共用するものは、MOX燃料加工施設内の共用により安全性を損なわない設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>8.2 重大事故等対処設備</p> <p>8.2.1 重大事故等対処設備に対する設計方針</p> <p><u>MOX 燃料加工施設は、重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、重大事故の発生を防止するために、また、重大事故が発生した場合においても、重大事故の拡大を防止するため、及びMOX 燃料加工施設を設置する事業所(再処理事業所)外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために、重大事故等対処設備を設けるとともに、必要な運用上の措置等を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、想定する重大事故等の環境条件を考慮した上で期待する機能が発揮できる設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等対処設備が機能を発揮するために必要な系統(供給源から供給先まで、経路を含む。)で構成する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ、同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し、かつ、MOX 燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。重大事故等対処設備を共用する場合には、再処理施設の重大事故等への対処を考慮した個数及び容量を確保する。</u></p> <p><u>また、同時に発生する再処理施設の重大事故等による環境条件の影響について考慮する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外部からの影響による機能喪失の要因となる事象(以下「外的事象」という。)を要因とする重大事故等に対処するものについて、常設のものと可搬型のものがあり、以下のとおり分類する。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち常設のものをいう。</u></p> <p><u>また、常設重大事故等対処設備であって耐震重要施設に属する安全機能を有する施設が有する機能を代替するものを「常設耐震重要重大事故等対処設備」、常設重大事故等対処設備であって常設耐震重要重大事故等対処設備以外のものを「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」という。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち可搬型のものをいう。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、設計、材料の選定、製作及び検査にあたっては、現行国内法規に基づく規格及び基準によるものとするが、必要に応じて、使用実績があり、信頼性の高い国外規格及び基準によるものとする。重大事故等対処設備の維持管理にあたっては、保安規定に基づく要領類に従い、施設管理計画における保全プログラムを策定し、設備の維持管理を行う。</u></p> <p><u>なお、重大事故等対処設備を構成する設備、機器のうち、一般消耗品又は設計上交換を想定している部品(安全に係わる設計仕様に変更のないもので、特別な工事を要さないものに限る。)及び通信連絡設備、安全避難通路(照明設備)等の「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」で定める一般産業用工業品については、適切な時期に交換を行うことで設備の維持管理を行う。</u></p>	<p>8.2 重大事故等対処設備</p> <p>8.2.1 重大事故等対処設備に対する設計方針</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p><u>MOX 燃料加工施設は、重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、重大事故の発生を防止するために、また、重大事故が発生した場合においても、重大事故の拡大を防止するため、及びMOX 燃料加工施設を設置する事業所(再処理事業所)外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために、必要な運用上の措置等を講ずることを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>なお、重大事故等対処設備並びに核物質防護及び保障措置の設備は、設備間において相互影響を考慮した設計とする。</u></p> <p>8.2.2 共通要因故障に対する考慮等</p> <p>(1) 共通要因故障に対する考慮</p> <p><u>重大事故等対処設備は、共通要因の特性を踏まえた設計とする。共通要因としては、重大事故等における条件、自然現象、人為事象、周辺機器等からの影響及び事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした事象を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち重大事故等における条件については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち自然現象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち人為事象として、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発を選定する。故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講ずることとする。</u></p> <p><u>共通要因のうち周辺機器等からの影響として地震、溢水、火災による波及的影響及び内部発生飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保することにより、信頼性が十分に高い設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連す</u></p>	<p>8.2.2 共通要因故障に対する考慮等</p> <p>変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p><u>る工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。その他の常設重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>なお、事業(変更)許可を受けたとおり、MOX燃料加工施設で発生する重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、また核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の事象であるグローブボックス内での火災によりMOX粉末等の集積等が発生することはなく臨界事故への連鎖は想定されないことから、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等における条件に対して常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、「2. 地盤」に基づく地盤に設置し、地震、津波及び火災に対しては、「3.1 地震による損傷の防止」、「3.2 津波による損傷の防止」及び「5. 火災等による損傷の防止」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>また、溢水及び火災に対して常設重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、健全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発に対する健全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響のうち内部発生飛散物に対して、回転羽の損壊により飛散物を発生させる回転機器について回転体の飛散を防止する設計とし、常設重大事故等対処設備が機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>環境条件に対する健全性については、「8.2.4 環境条件等」に基づく設計とする。</u></p> <p>b. <u>可搬型重大事故等対処設備</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保すること、位置的分散を図ることにより信頼性が十分に高い設計とする。その他の可搬型重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>なお、事業(変更)許可を受けたとおり、MOX 燃料加工施設で発生する重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、また核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の事象であるグローブボックス内での火災により MOX 粉末等の集積等が発生することはなく臨界事故への連鎖は想定されないことから、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム、設計基準事故に対処するための設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等における条件に対して可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</u></p> <p><u>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、「2. 地盤」に基づく地盤に設置された建屋等に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、「3.1 地震による損傷の防止」に示す地震により、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の措置をするとともに、「3.1 地震による損傷の防止」の地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、傾斜及び浮き上がり、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等により必要な機能を喪失しない複数の保管場所に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</u></p> <p><u>また、事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>津波に対して可搬型重大事故等対処設備の保管場所については、「3.2 津波による損傷の防止」に示す津波による影響を受けない位置に設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、可搬型重大事故等対処設備の据付けは、津波による影響を受けるおそれのない場所を選定することとし、使用時に津波による影響を受けるおそれのある場所に据付ける場合は、津波に対して重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、「5. 火災等による損傷の防止」に基づく設計とするとともに、「8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針」に基づく火災防護を行う設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>溢水、火災及び内部発生飛散物に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に保管し、かつ、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する場所と異なる場所に保管する設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する建屋の外壁から100m以上の離隔距離を確保した場所に保管するとともに異なる場所にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発に対して健全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>環境条件に対する健全性については、「8.2.4 環境条件等」に基づく設計とする。</u></p> <p>c. <u>可搬型重大事故等対処設備と常設重大事故等対処設備の接続口</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設における重大事故等の対処においては、建屋等の外から可搬型重大事故等対処設備を常設重大事故等対処設備に接続して水又は電力を供給する必要のない設計とする。</u></p> <p>(2) <u>悪影響防止</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、再処理事業所内の他の設備(安全機能を有する施設、当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備、再処理施設及び再処理施設の重大事故等対処設備を含む。)に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、重大事故等における条件を考慮し、他の設備への影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響(電氣的な影響を含む。)、内部発生飛散物による影響並びに竜巻により飛来物となる影響を考慮し、他の設備の機能に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>系統的な影響について、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすること、重大事故等発生前(通常時)の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備とし</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>ての系統構成とすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>(可搬型放水砲に係る基本設計方針については、可搬型放水砲を申請する申請書で示す。)</p> <p><u>重大事故等対処設備からの内部発生飛散物による影響については、回転機器の破損を想定し、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備が竜巻により飛来物となる影響については、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする、又は、風荷重を考慮し、屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は必要に応じて固縛等の措置をとることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ、同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し、かつ、MOX 燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。</u></p> <p>8.2.3 個数及び容量</p> <p>(1) 常設重大事故等対処設備</p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の収束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の収束は、これらの系統又はこれらの系統と可搬型重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、消火剤量、蓄電池容量、タンク容量、発電機容量、計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値等とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、重大事故等への対処に十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた個数を確保する設計とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備のうち安全機能を有する施設の系統及び機器を使用するものについては、安全機能を有する施設の容量の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量に対して十分であることを確認した上で、安全機能を有する施設としての容量と同仕様の設計とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、系統の目的に応じて必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する常設重大事故等対処設備は、MOX 燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p>	<p>(可搬型放水砲に係る基本設計方針については、可搬型放水砲を申請する申請書で示す。)</p> <p>変更なし</p> <p>8.2.3 個数及び容量</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(2) <u>可搬型重大事故等対処設備</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の収束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の収束は、これらの系統の組合せ又はこれらの系統と常設重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、ポンプ流量、タンク容量、発電機容量、計測器の計測範囲等とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、系統の目的に応じて必要な容量に対して十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち、複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばくの低減が図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量を合わせた設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等への対処に必要な個数(必要数)に加え、予備として故障時のバックアップ及び点検保守による待機除外時のバックアップを合わせて必要数以上確保する設計とする。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、安全上重要な施設の安全機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する重大事故等については、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する可搬型重大事故等対処設備は、MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>8.2.4 環境条件等</p> <p>(1) <u>環境条件</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等時の環境条件については、重大事故等における温度、圧力、湿度、放射線、荷重に加えて、重大事故による環境の変化を考慮した環境温度、環境圧力、環境湿度による影響、重大事故等時に汽水を供給する系統への影響、自然現象による影響、人為事象の影響及び周辺機器等からの影響を考慮する。</u></p> <p><u>荷重としては、重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境温度、環境圧力及び自然現象による荷重を考慮する。</u></p> <p><u>自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等</u></p>	<p>8.2.4 環境条件等</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p><u>対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれのある事象として、敷地内における化学物質の漏えい及び電磁的障害を選定する。</u></p> <p><u>なお、これらの自然現象及び人為事象については、設計基準対象施設について考慮する「3.3 外部からの衝撃による損傷の防止」に示す条件を考慮する。</u></p> <p><u>重大事故等の要因となるおそれとなる事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響としては、地震、火災、溢水による波及的影響及び内部発生飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>また、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による影響についても考慮する。</u></p> <p>a. <u>常設重大事故等対処設備</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)に応じた耐環境性を有する設計とする。閉じ込める機能の喪失の対処に係る常設重大事故等対処設備は、重大事故等時における建屋等の環境温度、環境圧力を考慮しても重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>地震に対して常設重大事故等対処設備は、「3.1 地震による損傷の防止」に記載する地震力による荷重を考慮して、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>さらに、地震に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、地震により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>溢水に対して常設重大事故等対処設備は、想定する溢水量に対して、機能を損なわない高さへの設置、被水防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>火災に対して常設重大事故等対処設備は、「5. 火災等による損傷の防止」に基づく設計とすることにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、溢水及び火災による損傷を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>津波に対して常設重大事故等対処設備は、「3.2 津波による損傷の防止」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>屋内の常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所、緊急時対策建屋、再処理施設の制御建屋及び洞道に設置し、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>屋外の常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風(台風)及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。凍結、高温及び降水に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、凍結防止対策、高温防止対策及び防水対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、積雪、火山の影響、凍結、高温及び降水により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>落雷に対して外部電源系統からの電気の供給の停止及び非常用所内電源設備からの電源の喪失(以下「全交流電源喪失」という。)を要因とせず発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備は、直撃雷及び間接雷を考慮した設計とする。直撃雷に対して、当該設備自体が構内接地網と接続した避雷設備を有する設計とする又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。間接雷に対して、雷サージによる影響を軽減することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、落雷により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>生物学的事象に対して常設重大事故等対処設備は、鳥類、昆虫類及び小動物の侵入を考慮し、これら生物の侵入を防止又は抑制することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して常設重大事故等対処設備は、防火帯の内側に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保等により、常設重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、森林火災発生時に消防車による事前散水による延焼防止を図るとともに代替設備により機能を損なわない設計とする。消防車による事前散水を含む火災防護計画を、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の常設重大事故等対処設備は、換気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系への除塩フィルタ及び粒子フィルタの設置により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、屋外の常設重大事故等対処設備は、屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は受電開閉設備の絶縁性の維持対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の常設重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	



変 更 前	変 更 後
<p><u>電磁的障害に対して常設重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響について常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ設置することにより重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</u></p> <p>b. <u>可搬型重大事故等対処設備</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とする。閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時における建屋等の環境温度、環境圧力を考慮しても重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水する又は尾駁沼で使用する可搬型重大事故等対処設備は、耐腐食性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>また、尾駁沼から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、「3.1 地震による損傷の防止」に記載する地震力による荷重を考慮して、当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>また、事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</u></p> <p><u>さらに、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う設計とする。</u></p> <p><u>溢水及び火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、溢水に対しては想定する溢水量に対して機能を損なわない高さへの設置又は保管、被水防護を行うことにより、火災に対しては、</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>「8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針」に基づく火災防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>津波に対して可搬型重大事故等対処設備の保管場所は、「3.2 津波による損傷の防止」に示す津波による影響を受けない位置に保管する設計とする。</u></p> <p><u>また、可搬型重大事故等対処設備の据付けは、津波による影響を受けるおそれのない場所を選定することとし、使用時に津波による影響を受けるおそれのある場所に据付ける場合は、津波に対して重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる建屋等内に保管し、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>屋外の可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)及び竜巻に対して風(台風)及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備又は当該設備を収納するものに対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、固縛する屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、地震時の移動を考慮して地震後の機能を維持する設備は、余長を有する固縛で拘束することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>積雪及び火山の影響に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重を考慮し、損傷防止措置として除雪、除灰及び屋内への配備を実施することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわないよう維持する設計とする。除雪、除灰及び屋内への配備を実施することについては、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>凍結、高温及び降水に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、凍結防止対策、高温防止対策及び防水対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>落雷に対して全交流電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備は、直撃雷を考慮した設計とする。直撃雷に対して、構内接地網と接続した避雷設備で防護される範囲内に保管する又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>生物学的事象に対して可搬型重大事故等対処設備は、鳥類、昆虫類、小動物及び水生植物の付着又は侵入を考慮し、これら生物の侵入を防止又は抑制することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、防火帯の内側に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保等により、可搬型重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は、換気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系への除塩フィルタ及び粒子フィルタの設置により、重大事故等への対処に必要な機能を</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、屋外の可搬型重大事故等対処設備は、屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は絶縁性の維持対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響について可搬型重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ保管することにより重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</u></p> <p>(2) <u>重大事故等対処設備の設置場所</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計とする。</u></p> <p>(3) <u>可搬型重大事故等対処設備の設置場所</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計により、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p>8.2.5 <u>操作性及び試験・検査性</u></p> <p>(1) <u>操作性の確保</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、手順書の整備、訓練・教育により、想定される重大事故等が発生した場合においても、確実に操作でき、事業変更許可申請書「六 加工施設において核燃料物質が臨界状態になることその他の事故が発生した場合における当該事故に対処するために必要な施設及び体制の整備に関する事項」ロで考慮した要員数と想定時間内で、アクセスルートの確保を含め重大事故等に対処できる設計とする。これらの運用に係る体制、管理等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p>	<p>8.2.5 操作性及び試験・検査性</p> <p>(1) 操作性の確保</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>a. <u>操作の確実性</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等における条件を考慮し、操作する場所において操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。</u></p> <p><u>また、防護具、可搬型照明は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備することを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は運搬・設置が確実にできるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張出し又は輪留めによる固定等が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場の操作スイッチは、非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>現場において人力で操作を行う弁等は、手動操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場での接続操作は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、速やかに、容易かつ確実に接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備には識別表示を設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央監視室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器具は非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器は、その作動状態の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>b. <u>系統の切替性</u></p> <p><u>重大事故等対処設備のうち本来の用途(安全機能を有する施設としての用途等)以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備は、通常時に使用する系統から速やかに切替操作が可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</u></p> <p>c. <u>可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とし、ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度等の特性に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p>	<p>a. 操作の確実性</p> <p>変更なし</p> <p>b. 系統の切替性</p> <p>変更なし</p> <p>c. 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>また、同一ポンプを接続するホースは、流量に応じて口径を統一すること等により、複数の系統での接続方式を考慮した設計とする。</p> <p>d. 再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路の確保</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所への運搬及び接続場所への敷設、又は他の設備の被害状況を把握するため、再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路をアクセスルートとして確保できるよう、以下の設計とする。</p> <p>アクセスルートは、環境条件として考慮した事象を含め、自然現象、人為事象、溢水、火災を考慮しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する設計とする。</p> <p>アクセスルートに対する自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波(敷地に遡上する津波を含む。)、洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象及び森林火災を選定する。</p> <p>アクセスルートに対する人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれのある事象として選定する航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダムの崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確保する設計とする。</p> <p>なお、洪水、ダムの崩壊及び船舶の衝突については立地的要因により設計上考慮する必要はない。落雷及び電磁的障害に対しては、道路面が直接影響を受けることはないことからアクセスルートへの影響はない。生物学的事象に対しては、容易に排除可能なため、アクセスルートへの影響はない。</p> <p>屋外のアクセスルートは、「3.1 地震による損傷の防止」にて考慮する地震の影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)及び人為事象による影響(航空機落下、爆発)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早急に復旧可能なアクセスルートを確保するため、障害物を除去可能なホイールローダを使用する。</p> <p>(ホイールローダに係る基本設計方針については、ホイールローダを申請する申請書で示す。)</p> <p>屋外のアクセスルートは、地震による屋外タンクからの溢水及び降水に対しては、道路上への自然流下も考慮した上で、通行への影響を受けない箇所に確保する設計とする。</p> <p>屋外のアクセスルートは、「3.1 地震による損傷の防止」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりで崩壊土砂が広範囲に到達することを想定した上で、ホイー</p>	<p>d. 再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路の確保</p> <p>変更なし</p> <p>(ホイールローダに係る基本設計方針については、ホイールローダを申請する申請書で示す。)</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p><u>ルローダにより崩壊箇所を復旧する又は迂回路を確保する設計とする。</u></p> <p><u>不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、段差緩和対策を行う設計とする。</u></p> <p><u>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、車両はタイヤチェーン等を装着することにより通行性を確保できる設計とする。</u></p> <p><u>屋内のアクセスルートは、「3.1 地震による損傷の防止」の地震を考慮した建屋等に複数確保する設計とする。屋内のアクセスルートは、津波に対して立地的要因によりアクセスルートへの影響はない。</u></p> <p><u>屋内のアクセスルートは、自然現象及び人為事象として選定する風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発、有毒ガス及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に確保する設計とする。</u></p> <p><u>再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路を確保するために、上記の設計に加え、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>・尾駁沼取水場所A、尾駁沼取水場所B又は二又川取水場所A(以下「敷地外水源」という。)の取水場所及び取水場所への屋外のアクセスルートに遡上するおそれのある津波に対しては、津波警報の解除後に対応を開始すること。また、津波警報の発令を確認時にこれらの場所において対応中の場合に備え、非常時対策組織要員及び可搬型重大事故等対処設備を一時的に退避すること。</u></li> <li><u>・屋外のアクセスルートは、「3.1 地震による損傷の防止」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊、道路面のすべりによる崩壊土砂及び不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、ホイールローダにより復旧すること。</u></li> <li><u>・屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、道路については、融雪剤を配備すること。</u></li> <li><u>・敷地内における化学物質の漏えいに対して薬品防護具を配備し、必要に応じて着用すること。</u></li> <li><u>・屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象及び人為事象のうち森林火災及び近隣工場等の火災に対しては、消防車による初期消火活動を行うこと。</u></li> <li><u>・屋内のアクセスルートにおいては、機器からの溢水を考慮し、防護具を配備し、必要に応じて着用すること。また、地震時に通行が阻害されないように、アクセスルート上の資機材の落下防止、転倒防止及び固縛の措置並びに火災の発生防止対策を実施すること。</u></li> <li><u>・屋外及び屋内のアクセスルートにおいては、被ばくを考慮した放射線防護具の配備を行い、移動時及び作業時の状況に応じて着用すること。また、夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明を配備すること。</u></li> </ul>	

変 更 前	変 更 後
<p>(2) 試験・検査性</p> <p><u>重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するための試験又は検査並びに当該機能を健全に維持するための保守及び修理が実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</u></p> <p><u>試験又は検査は、使用前事業者検査、定期事業者検査、自主検査等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>また、保守及び修理は、維持活動としての点検(日常の運転管理の活用を含む。)、取替え、保修等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>多重性を備えた系統及び機器にあつては、各々が独立して試験又は検査並びに保守及び修理ができる設計とする。構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放(非破壊検査を含む。)が可能な設計とし、機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検を考慮することにより、分解・開放が不要なものについては外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</p> <p>(1) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計の基本方針</p> <p><u>基準地震動<math>S_s</math>を超える地震動に対して機能維持が必要な施設については、重大事故等対処施設及び安全機能を有する施設の耐震設計における設計方針を踏襲し、重大事故等対処施設の構造上の特徴、重大事故等の状態で施設に作用する荷重等を考慮し、基準地震動<math>S_s</math>の1.2倍の地震力に対して、必要な機能が損なわれるおそれがないことを目的として、以下のとおり耐震設計を行う。</u></p> <p>a. <u>事業(変更)許可における重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定において、基準地震動<math>S_s</math>の1.2倍の地震動を考慮した際に機能維持できる設計とした設備(以下「起因に対し発生防止を期待する設備」という。)は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、閉じ込め機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>起因に対し発生防止を期待する設備を設置する建物・構築物は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、起因に対し発生防止を期待する設備を支持できる設計とする。</u></p> <p>b. <u>地震を要因として発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備(以下「対処する常設重大事故等対処設備」という。)は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、想定する重大事故等を踏まえ、火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>対処する常設重大事故等対処設備は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響を考慮し、地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能が維持できる設計とする。</u></p> <p><u>対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、対処する常設重</u></p>	<p>(2) 試験・検査性</p> <p>変更なし</p> <p>8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p><u>大事故等対処設備を支持できる設計並びに重大事故等の対処に係る操作場所及びアクセスルートが保持できる設計とする。</u></p> <p>c. <u>地震を要因として発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備(以下「対処する可搬型重大事故等対処設備」という。)</u>は、各保管場所における基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、想定する重大事故等を踏まえ、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう、転倒しないよう固縛等の措置を講ずるとともに、動的機器については加振試験等により地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれない設計とする。</p> <p><u>また、ダクト等の静的機器は、複数の保管場所に分散して保管することにより、地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力によって保管する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、保管場所、操作場所及びアクセスルートが保持できる設計とする。</u></p> <p><u>起因に対し発生防止を期待する設備、対処する常設重大事故等対処設備及び対処する可搬型重大事故等対処設備は、個別の設備の機能や設計を踏まえて、地震を要因とする重大事故等時において、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力による影響によって、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(2) <u>地震力の算定方法</u></p> <p><u>地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計に用いる動的地震力は、「第1章 3.自然現象等」における「3.1.1(3)b. (a)入力地震動」の解放基盤表面で定義する基準地震動<math>S_s</math>の加速度を1.2倍した地震動により算定した地震力を適用する。</u></p> <p>(3) <u>荷重の組合せと許容限界</u></p> <p><u>地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計における荷重の組合せと許容限界は、以下によるものとする。</u></p> <p><u>地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計においては、必要な機能である火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能、操作場所及びアクセスルートの保持機能、保管場所の保持機能、支持機能等を維持する設計とする。</u></p> <p><u>建物・構築物に要求される操作場所及びアクセスルートの保持機能、保管場所の保持機能並びに支持機能については、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、当該機能が要求される施設の構造強度を確保することで機能を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>機器・配管系に要求される火災感知機能等については、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、当該機能が要求される施設の構造強度を確保することで機能を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>また、機器・配管系に要求される消火機能、閉じ込め機能については、構造強度を確保するとともに、当該機能が要求される各施設の特性に応じて許容限界を適切に設定することで機能を維持できる設計とする。</u></p>	



変 更 前	変 更 後
<p><u>可搬型設備に要求される閉じ込め機能、支援機能等については、可搬型設備の特性に応じて、構造強度を確保する又は当該機能が要求される各施設の特性に応じて許容限界を適切に設定することで機能が維持できる設計とする。</u></p> <p>a. <u>耐震設計上考慮する状態</u></p> <p><u>地震以外に設計上考慮する状態を以下に示す。</u></p> <p>(a) <u>建物・構築物</u></p> <p><u>第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「a. 耐震設計上考慮する状態」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に読み替えて適用する。</u></p> <p><u>なお、対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する重大事故等対処施設の建物・構築物も同様に適用する。</u></p> <p>(b) <u>機器・配管系</u></p> <p><u>第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「a. 耐震設計上考慮する状態」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に読み替えて適用する。</u></p> <p>(c) <u>可搬型設備</u></p> <p>イ. <u>通常時の状態</u></p> <p><u>当該設備を保管している状態。</u></p> <p>ロ. <u>地震を要因とする重大事故等時の状態</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設が、地震を要因とする重大事故等に至るおそれがある事故又は地震を要因とする重大事故等の状態で、対処する可搬型重大事故等対処設備の機能を必要とする状態。</u></p> <p>ハ. <u>設計用自然条件</u></p> <p><u>屋外に保管している場合に設計上基本的に考慮しなければならない自然条件(積雪、風)。</u></p> <p>b. <u>荷重の種類</u></p> <p>(a) <u>建物・構築物</u></p> <p><u>第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「b. 荷重の種類」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に、「地震力」を「基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力」と読み替えて適用する。</u></p> <p><u>なお、対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する重大事故等対処施設の建物・構築物も同様に適用する。</u></p> <p>(b) <u>機器・配管系</u></p> <p><u>第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「b. 荷</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>重の種類」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に、「地震力」を「基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力」と読み替えて適用する。</u></p> <p>(c) <u>可搬型設備</u></p> <p>イ. <u>通常時に作用している荷重</u> 通常時に作用している荷重は持続的に生じる荷重であり、自重及び積載荷重とする。</p> <p>ロ. <u>地震を要因とする重大事故等時の状態で施設に作用する荷重。</u> 対処する可搬型重大事故等対処設備は、保管状態であることから重大事故等起因の荷重は考慮しない。</p> <p>ハ. <u>対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力、積雪荷重及び風荷重</u> 対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力を考慮する。屋外に保管する設備については、積雪荷重及び風荷重も考慮する。</p> <p>c. <u>荷重の組合せ</u> 基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力とほかの荷重との組合せは、以下によるものとする。</p> <p>(a) <u>建物・構築物</u></p> <p>イ. <u>起因に対し発生防止を期待する設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重及び風荷重と基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力を組み合わせる。</u></p> <p>ロ. <u>対処する常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設又は対処する可搬型重大事故等対処設備が保管される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重及び風荷重と基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>ハ. <u>対処する常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設又は対処する可搬型重大事故等対処設備が保管される重大事故等対処施設の建物・構築物について、通常時に作用している荷重(固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧)、積雪荷重、風荷重及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重は、その事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力と組み合わせる。この組み合わせについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定し、通常時に作用している荷重のうち、土圧及び水圧については、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力、弾性設計用地震動による地震力と組み合わせる場合は、当該地震時の土圧及び水圧とする。</u></p> <p>(b) <u>機器・配管系</u></p> <p>イ. <u>起因に対し発生防止を期待する設備に係る機器・配管系については、通常時に作用している荷重と基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力とを組み合わせる。</u></p>	

変更前	変更後
<p>ロ. <u>対処する常設重大事故等対処設備に係る機器・配管系については、通常時に作用している荷重と基準地震動S sを1.2倍した地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>ハ. <u>対処する常設重大事故等対処設備に係る機器・配管系について、通常時に作用している荷重、設計基準事故時の状態及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重は、その事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力と組み合わせる。この組み合わせについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定し、屋外に設置される施設については、建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</u></p> <p>(c) <u>可搬型設備</u></p> <p>イ. <u>対処する可搬型重大事故等対処設備は、通常時に作用している荷重と対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力とを組み合わせる。</u></p> <p>ロ. <u>対処する可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の荷重の組合せの考え方について、保管状態であることから重大事故等起因の荷重は考慮しない。ただし、屋外に設置される施設については、建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</u></p> <p>d. <u>荷重の組合せ上の留意事項</u></p> <p>イ. <u>ある荷重の組合せ状態での評価が、その他の荷重の組合せ状態と比較して明らかに厳しいことが判明している場合には、その他の荷重の組合せ状態での評価は行わないことがある。</u></p> <p>ロ. <u>対処する常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物の当該部分の支持機能を確認する場合においては、基準地震動S sを1.2倍した地震力と通常時に作用している荷重及びその他必要な荷重とを組み合わせる。</u></p> <p>ハ. <u>積雪荷重については、屋外に設置されている施設のうち、積雪による受圧面積が小さい施設や、通常時に作用している荷重に対して積雪荷重の割合が無視できる施設を除き、基準地震動S sを1.2倍した地震力との組み合わせを考慮する。</u></p> <p>ニ. <u>風荷重については、屋外の直接風を受ける場所に設置されている施設のうち、風荷重の影響が地震荷重と比べて相対的に無視できないような構造、形状及び仕様の施設においては、基準地震動S sを1.2倍した地震力との組み合わせを考慮する。</u></p> <p>e. <u>許容限界</u></p> <p><u>基準地震動S sを1.2倍した地震力と他の荷重とを組み合わせた状態に対する許容限界は、以下のとおりとする。</u></p> <p>(a) <u>起因に対し発生防止を期待する設備</u></p> <p><u>起因に対し発生防止を期待する設備となる露出したMOX粉末を取り扱い、さらに火災源を有するグローブボックスは、閉じ込め機能を維持するため、パネルにき裂や破損が生じないこと及び転倒しない設計とする。</u></p>	

変更前	変更後
<p><u>また、当該グローブボックスの内装機器の落下・転倒防止機能の確保に当たっては、放射性物質(固体)の閉じ込めバウンダリを構成する容器等を保持する設備の破損により、容器等が落下又は転倒しない設計とする。</u></p> <p><u>上記の閉じ込め機能を維持するために確保する構造強度の許容限界は、基準地震動 S s の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</u></p> <p><u>上記構造強度の許容限界のほか、閉じ込め機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</u></p> <p>(b) <u>対処する常設重大事故等対処設備</u></p> <p><u>対処する常設重大事故等対処設備の火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を維持するために確保する構造強度の許容限界は、基準地震動 S s の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</u></p> <p><u>上記構造強度の許容限界のほか、消火機能、閉じ込め機能等の維持が必要な設備については、その機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</u></p> <p>(c) <u>対処する可搬型重大事故等対処設備</u></p> <p><u>対処する可搬型重大事故等対処設備の許容限界は、保管する対処する可搬型重大事故等対処設備の構造を踏まえて設定する。</u></p> <p><u>取付ボルト等の構造強度は、基準地震動 S s の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</u></p> <p><u>上記構造強度の許容限界のほか、閉じ込め機能等の維持が必要な設備については、その機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</u></p> <p>(d) <u>起因に対し発生防止を期待する設備及び対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物並びに対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物</u></p> <p><u>起因に対し発生防止を期待する設備及び対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物並びに対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物は、基準地震動 S s を 1.2 倍した地震力に対し、建物・構築物全体としての変形能力(耐震壁のせん断ひずみ等)が終局耐力時の変形等の地震影響を考慮しても、地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の機能が維持できる設計とする。その上で、耐震評価においては、地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の必要な機能が発揮できること</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p><u>を確認するため、機能維持に必要なとなる施設の部材・部位ごとのせん断ひずみ・応力等に対して、<u>適切な安全余裕を有することを確認する。</u></u></p> <p><u>なお、終局耐力とは、建物・構築物に対する荷重又は応力を漸次増大していくとき、その変形又はひずみが著しく増加するに至る限界の最大耐力とし、既往の実験式等に基づき適切に定めるものとする。</u></p> <p>8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないことを求められている。</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設の重大事故等対処設備の内部火災に対する設計方針については、「5. 火災等による損傷の防止」に示すとおりであり、これを踏まえた、上記の可搬型重大事故等対処設備に求められる設計方針を達成するための内部火災に対する防護方針を以下に示す。</u></p> <p>(1) <u>可搬型重大事故等対処設備の火災発生防止</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備を保管する建屋内、建屋近傍、外部保管エリアは、発火性物質又は引火性物質を内包する設備に対する火災発生防止を講ずるとともに、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策及び接地対策、並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(2) <u>不燃性又は難燃性材料の使用</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該可搬型重大事故等対処設備における火災に起因して、他の可搬型重大事故等対処設備の火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>(3) <u>落雷、地震等の自然現象による火災の発生防止</u></p> <p><u>敷地及びその周辺での発生の可能性、可搬型重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p><u>風(台風)、竜巻及び森林火災は、それぞれの事象に対して重大事故等に対処するために必要な機能を損なうことのないように、自然現象から防護する設計とすることで、火災の発生を防止する。</u></p> <p><u>生物学的事象のうちネズミ等の小動物の影響に対しては、侵入防止対策によって影響を受けない設計とする。</u></p> <p><u>津波、凍結、高温、降水、積雪、生物学的事象及び塩害は、発火源となり得る自然現象ではな</u></p>	<p>8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p><u>く、火山の影響についても、火山から MOX 燃料加工施設に到達するまでに降下火砕物が冷却されることを考慮すると、発火源となり得る自然現象ではない。</u></p> <p><u>したがって、MOX 燃料加工施設で火災を発生させるおそれのある自然現象として、落雷、地震、竜巻(風(台風)を含む)及び森林火災によって火災が発生しないように、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(4) <u>早期の火災感知及び消火</u></p> <p><u>火災の感知及び消火については、可搬型重大事故等対処設備に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備に影響を及ぼすおそれのある火災を早期に感知するとともに、火災の発生場所を特定するために、固有の信号を発する異なる種類の火災感知器又は同等の機能を有する機器を組み合わせて設置する設計とする。</u></p> <p><u>消火設備のうち消火栓、消火器等は、火災の二次的影響が重大事故等対処設備に及ばないよう適切に配置する設計とする。</u></p> <p><u>消火設備は、可燃性物質の性状を踏まえ、想定される火災の性質に応じた容量の消火剤を備える設計とする。</u></p> <p><u>火災時の消火活動のため、大型化学高所放水車、消防ポンプ付水槽車及び化学粉末消防車を配備する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処を行う屋内のアクセスルートには、重大事故等が発生した場合のアクセスルート上の火災に対して初期消火活動ができるよう消火器を配備し、初期消火活動については保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備の保管場所のうち、火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となるところには、固定式消火設備を設置することにより、消火活動が可能な設計とする。</u></p> <p><u>消火設備の現場盤操作等に必要な照明器具として、蓄電池を内蔵した照明器具を設置する設計とする。</u></p> <p>(5) <u>火災感知設備及び消火設備に対する自然現象の考慮</u></p> <p><u>火災感知設備及び消火設備は、地震等の自然現象によっても、火災感知及び消火の機能、性能が維持されるよう、凍結、風水害、地震時の地盤変位を考慮した設計とする。</u></p>	

変 更 前	変 更 後
<p>8.3 材料及び構造</p> <p>8.3.1 材料及び構造</p> <p>安全機能を有する施設における材料及び構造にあつては、安全機能を有する施設に属するものうち以下のいずれかに該当するものを MOX 燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、安全機能を有する施設にあつては「安全機能を有する施設の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>a. その機能喪失によって放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p> <p>b. 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設</p> <p>c. 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p>d. 上記 a, b 又は c に直接溶接される支持構造物であり、その破損により当該機器の損壊を生じさせるおそれのあるもの</p> <p>e. 安全上重要な施設に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p>安全機能を有する施設の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p>安全機能を有する施設の容器等は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重、腐食環境その他の使用条件に対して、適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p>	<p>8.3 材料及び構造</p> <p>8.3.1 材料及び構造</p> <p>安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備における材料及び構造にあつては、安全機能を有する施設又は重大事故等対処設備に属するものうち以下のいずれかに該当するものを MOX 燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、安全機能を有する施設にあつては「安全機能を有する施設の容器等」、重大事故等対処設備にあつては「重大事故等対処設備の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>a. その機能喪失によって放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p> <p>b. 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属する容器及び管</p> <p>c. 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設又は重大事故等対処設備を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p>d. 上記 a, b 又は c に直接溶接される支持構造物であり、その破損により当該機器の損壊を生じさせるおそれのあるもの</p> <p>e. 安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等のうち常設のもの(以下「常設重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重、腐食環境その他の使用条件に対して、適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の容器等のうち可搬型のもの(以下「可搬型重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して、日本産業規格等に適合した適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>8.3.1.2 構造</p> <p>8.3.1.2.1 安全機能を有する施設の容器等</p> <p>(1) 容器及び管</p> <p>安全機能を有する施設の容器等の容器及び管(ダクトは除く。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」の要求事項を踏まえ、設計上定めた最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態(以下「設計条件」という。)において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設の容器等のダクトは、設計条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設の容器等の伸縮継手は、設計条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。</p> <p>(2) ポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関</p> <p>安全機能を有する施設の容器等のポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>(3) 支持構造物</p> <p>安全機能を有する施設の容器等の支持構造物は、設計条件において、延性破断及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>8.3.1.2.2 可搬型重大事故等対処設備の容器等</p> <p>—</p>	<p>8.3.1.2 構造</p> <p>8.3.1.2.1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等</p> <p>(1) 容器及び管</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の容器及び管(ダクトは除く。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、設計上定めた最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態(以下「設計条件」という。)において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のダクトは、設計条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の伸縮継手は、設計条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。</p> <p>(2) ポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>(3) 支持構造物</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の支持構造物は、設計条件において、延性破断及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>8.3.1.2.2 可搬型重大事故等対処設備の容器等</p> <p>可搬型重大事故等対処設備の容器等(完成品は除く。)は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備の容器等の完成品は、消防法に基づく技術上の規格等一般産業用工業品の規格及び基準に適合していることを確認し、使用環境及び使用条件に対して、要求される強度を確保できる設計とする。</p> <p>ただし、可搬型重大事故等対処設備の容器等のうち内燃機関は、完成品として一般産業用工業品の規格及び基準で規定される温度試験等を実施し、定格負荷状態において、要求される強度を確保できる設計とする。</p>



変 更 前	変 更 後
<p>8.3.1.3 主要な溶接部</p> <p>安全機能を有する施設の容器等の主要な溶接部(溶接金属部及び熱影響部をいう。)は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不連続で特異な形状でない設計とする。</li> <li>・溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。</li> <li>・適切な強度を有する設計とする。</li> <li>・適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。</li> </ul> <p>なお、上記の主要な溶接部は、使用前事業者検査により加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」に適合していることを確認する。</p> <p>8.3.2 耐圧試験等</p> <p>(1) 安全機能を有する施設の容器等(支持構造物は除く。)は、施設時において、次に定めるところによる圧力で耐圧試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>なお、上記の耐圧試験は、加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」等に準拠し実施する。</p> <p>a. 内圧を受ける機器に係る耐圧試験の圧力は、機器の最高使用圧力を超え、かつ、機器に生ずる全体的な変形が弾性域の範囲内となる圧力とする。</p> <p>b. 内部が大気圧未満になることにより、大気圧による外圧を受ける機器の耐圧試験の圧力は、大気圧と内圧との最大の差を上回る圧力とする。この場合において、耐圧試験の圧力は機器の内面から加えることができる。</p> <p>ただし、気圧により耐圧試験を行う場合(最高使用圧力が98kPa未満の場合を除く。)であって、当該圧力に耐えることが確認された場合は、当該圧力を最高使用圧力までに減じて著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>最高使用圧力が98kPa未満の場合であって、気圧により耐圧試験を行う場合の試験圧力は、水圧による耐圧試験の場合と同じ圧力とする。</p>	<p>8.3.1.3 主要な溶接部</p> <p>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部(溶接金属部及び熱影響部をいう。)は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不連続で特異な形状でない設計とする。</li> <li>・溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。</li> <li>・適切な強度を有する設計とする。</li> <li>・適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。</li> </ul> <p>なお、上記の主要な溶接部は、使用前事業者検査により加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」に適合していることを確認する。</p> <p>常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部の耐圧試験は、母材と同等の方法及び同じ試験圧力にて実施する。</p> <p>8.3.2 耐圧試験等</p> <p>(1) 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等(支持構造物は除く。)は、施設時において、次に定めるところによる圧力で耐圧試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>なお、上記の耐圧試験は、加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」等に準拠し実施する。</p> <p>a. 内圧を受ける機器に係る耐圧試験の圧力は、機器の最高使用圧力を超え、かつ、機器に生ずる全体的な変形が弾性域の範囲内となる圧力とする。</p> <p>b. 内部が大気圧未満になることにより、大気圧による外圧を受ける機器の耐圧試験の圧力は、大気圧と内圧との最大の差を上回る圧力とする。この場合において、耐圧試験の圧力は機器の内面から加えることができる。</p> <p>ただし、気圧により耐圧試験を行う場合(最高使用圧力が98kPa未満の場合を除く。)であって、当該圧力に耐えることが確認された場合は、当該圧力を最高使用圧力までに減じて著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>最高使用圧力が98kPa未満の場合であって、気圧により耐圧試験を行う場合の試験圧力は、水圧による耐圧試験の場合と同じ圧力とする。</p> <p>重大事故等対処設備の容器等であって、規定の圧力で耐圧試験を行うことが困難な場合は、試運転による機能及び性能試験(以下「運転性能試験」という。)結果を用いた評価等により確認する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備の容器等の完成品は、上記によらず、運転性能試験、目視等による有害な欠陥がないことの確認とすることもできるものとする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(2) 安全機能を有する施設の容器等(支持構造物は除く。)は、維持段階において、通常運転時における圧力で漏えい試験を行ったとき、著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>なお、漏えい試験は、日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」等に準拠し実施する。</p>	<p>(2) 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等(支持構造物は除く。)は、維持段階において、通常運転時における圧力で漏えい試験を行ったとき、著しい漏えいがないことを確認する。</p> <p>なお、漏えい試験は、日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」等に準拠し実施する。</p> <p>ただし、重大事故等対処設備の容器等(支持構造物は除く。)は、使用時における圧力で漏えい試験を行うことが困難な場合は、運転性能試験結果を用いた評価等により確認する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備の容器等の完成品は、上記によらず、運転性能試験、目視等による有害な欠陥がないことの確認とすることもできるものとする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>8.4 搬送設備</p> <p>混合酸化物貯蔵容器，燃料棒，燃料集合体等の核燃料物質を搬送する搬送設備は，核燃料物質を搬送する能力として必要な容量である搬送する容器等の重さ以上の定格荷重を有する設計とする。なお，人の安全に著しい支障を及ぼすおそれがない劣化ウランの粉末を取り扱う設備は搬送設備の対象外とする。</p> <p>搬送設備は，MOX 燃料加工施設における核燃料物質の工程内及び工程間の移動において，容器等を取り扱うことを考慮し，漏えい防止，臨界防止，落下防止，逸走防止及び転倒防止のための適切な設計を行う。</p> <p>グローブボックス内で MOX 粉末及びペレットを取り扱う可動機器は，逸走，落下又は転倒によりグローブボックスの閉じ込めに影響を及ぼさないよう，逸走防止及び転倒防止並びに容器の落下防止，逸走防止及び転倒防止の構造又は機構を設ける設計とする。</p> <p>混合酸化物貯蔵容器，燃料棒及び燃料集合体を取り扱う搬送設備は，仮に混合酸化物貯蔵容器，燃料棒及び燃料集合体が落下しても破損しない高さ以下で取り扱う設計とする。</p> <p>搬送設備は，核燃料物質(人の安全に著しい支障を及ぼすおそれがないものとして，劣化ウランの粉末を除く。)を搬送するための動力の供給が停止した場合，核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により，搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</p>	<p>8.4 搬送設備</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>8.5 警報設備等</p> <p>MOX 燃料加工施設は、その設備の機能の喪失、誤操作その他の要因により MOX 燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じたとき、放射性廃棄物の排気口若しくはこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したとき又は液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、これらを確実に検知して速やかに警報する設備を設置する設計とする。</p> <p>放射性廃棄物の排気口又はこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したときとして、設計基準事故の閉じ込め機能の不全により MOX 燃料加工施設から周辺環境へ放出する放射性気体廃棄物の濃度が上昇した場合を対象とする。</p> <p>放射性廃棄物の排気口又はこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう排気モニタリング設備の排気モニタを設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、排気モニタリング設備の排気モニタに係る設計方針については第 2 章 個別項目の「6. 放射線管理施設」に示す。</p> <p>液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときとして、液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合を対象とする。</p> <p>液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう低レベル廃液処理設備に警報関連設備のサンプル液位又はオープンポートボックス漏えい液受血液位に係る検知器を設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、液体状の放射性物質の漏えい検知に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>MOX 燃料加工施設は、その設備の機能の喪失、誤操作その他の要因により MOX 燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じたときに、核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める能力の維持、熱的制限値の維持又は火災若しくは爆発の防止のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路を設置する設計とする。</p> <p>核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める能力の維持のための設備の作動を速やかに、かつ、自</p>	<p>8.5 警報設備等</p> <p>MOX 燃料加工施設は、その設備の機能の喪失、誤操作その他の要因により MOX 燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じたとき、放射性廃棄物の排気口若しくはこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したとき又は液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、これらを確実に検知して速やかに警報する設備を設置する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じるときとして、設計基準事故の閉じ込め機能の不全の要因である露出した状態でのMOX粉末を取り扱うグローブボックス内での火災の発生を対象とする。</p> <p>MOX燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じたときに、確実に感知して速やかに警報を発することができるよう火災防護設備のグローブボックス温度監視装置を設置するとともに、火災を感知した際に表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス内火災の感知に係るグローブボックス温度監視装置等の設計方針については第 2 章 個別項目の「7.1.1 火災防護設備」の「7.1.1.1.2 火災感知設備」に示す。</p> <p>放射性廃棄物の排気口又はこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したときとして、設計基準事故の閉じ込め機能の不全により MOX 燃料加工施設から周辺環境へ放出する放射性気体廃棄物の濃度が上昇した場合を対象とする。</p> <p>放射性廃棄物の排気口又はこれに近接する箇所における排気中の放射性物質の濃度が著しく上昇したときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう排気モニタリング設備の排気モニタを設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、排気モニタリング設備の排気モニタに係る設計方針については第 2 章 個別項目の「6. 放射線管理施設」に示す。</p> <p>液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときとして、液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合を対象とする。</p> <p>液体状の放射性廃棄物の廃棄施設から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう低レベル廃液処理設備に警報関連設備のサンプル液位又はオープンポートボックス漏えい液受血液位に係る検知器を設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、液体状の放射性物質の漏えい検知に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>MOX 燃料加工施設は、その設備の機能の喪失、誤操作その他の要因により MOX 燃料加工施設の安全性を著しく損なうおそれが生じたときに、核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める能力の維持、熱的制限値の維持又は火災若しくは爆発の防止のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路を設置する設計とする。</p> <p>核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める能力の維持のための設備の作動を速やかに、かつ、自</p>

変 更 前	変 更 後
<p>動的に開始させる回路として、グローブボックス内火災を感知して消火ガスを自動で放出する回路を火災防護設備のグローブボックス温度監視装置及びグローブボックス消火装置に設置する設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス内火災の消火に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.1.1 火災防護設備」の「7.1.1.1.3 消火設備」に示す。</p> <p>熱的制限値の維持のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路として、警報関連設備の焼結炉内部温度高による過加熱防止回路及び小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路を設置する設計とする。</p> <p>火災又は爆発の防止のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路として、警報関連設備の小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路及び混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路を設置する設計とする。</p> <p>なお、警報関連設備の自動作動回路の作動条件に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>その他、MOX 燃料加工施設は、臨界事故が発生したとき、グローブボックスの負圧に異常が生じたとき、安全上重要な施設以外のグローブボックス内若しくはオープンポートボックス内火災が生じたとき又は液体状の放射性物質を取り扱うグローブボックスから液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、これらを確実に検知して速やかに警報する設備を設置する設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設においては、技術的にみて臨界事故の発生は想定されないが、万一、臨界事故が発生した場合に警報を発することができるよう警報関連設備の臨界検知用ガスモニタを設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>グローブボックスの負圧に異常が生じたとき、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう警報関連設備のグローブボックス負圧・温度監視設備を設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>安全上重要な施設以外のグローブボックス内又はオープンポートボックス内火災が生じたとき、確実に感知して速やかに警報を発することができるよう警報関連設備のグローブボックス負圧・温度監視設備を設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>液体状の放射性物質を取り扱うグローブボックス等から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう分析設備の分析済液処理装置に警報関連設備の堰内液位又は漏えい液受血液位に係る検知器を設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、警報関連設備の警報発報に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p>	<p>動的に開始させる回路として、グローブボックス内火災を感知して消火ガスを自動で放出する回路を火災防護設備のグローブボックス温度監視装置及びグローブボックス消火装置に設置する設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス内火災の消火に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.1.1 火災防護設備」の「7.1.1.1.3 消火設備」に示す。</p> <p>熱的制限値の維持のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路として、警報関連設備の焼結炉内部温度高による過加熱防止回路及び小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路を設置する設計とする。</p> <p>火災又は爆発の防止のための設備の作動を速やかに、かつ、自動的に開始させる回路として、警報関連設備の小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路及び混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路を設置する設計とする。</p> <p>なお、警報関連設備の自動作動回路の作動条件に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>その他、MOX 燃料加工施設は、臨界事故が発生したとき、グローブボックスの負圧に異常が生じたとき、安全上重要な施設以外のグローブボックス内若しくはオープンポートボックス内火災が生じたとき又は液体状の放射性物質を取り扱うグローブボックスから液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、これらを確実に検知して速やかに警報する設備を設置する設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設においては、技術的にみて臨界事故の発生は想定されないが、万一、臨界事故が発生した場合に警報を発することができるよう警報関連設備の臨界検知用ガスモニタを設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>グローブボックスの負圧に異常が生じたとき、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう警報関連設備のグローブボックス負圧・温度監視設備を設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>安全上重要な施設以外のグローブボックス内又はオープンポートボックス内火災が生じたとき、確実に感知して速やかに警報を発することができるよう警報関連設備のグローブボックス負圧・温度監視設備を設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>液体状の放射性物質を取り扱うグローブボックス等から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたときに、確実に検知して速やかに警報を発することができるよう分析設備の分析済液処理装置に警報関連設備の堰内液位又は漏えい液受血液位に係る検知器を設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>なお、警報関連設備の警報発報に係る設計方針については第 2 章 個別項目の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>9. その他</p> <p>9.1 加工施設への人の不法な侵入等の防止</p> <p><u>MOX燃料加工施設への人の不法な侵入，核燃料物質等の不法な移動及び妨害破壊行為を防止するため，区域の設定，人の容易な侵入を防止できる柵，鉄筋コンクリート造りの壁等の障壁による防護，巡視，監視，出入口での身分確認及び施錠管理を行うことができる設計とする。</u></p> <p><u>核物質防護上の措置が必要な区域については，接近管理及び出入管理を確実にを行うため，探知施設を設け，警報，映像等を集中監視することができる設計とするとともに，核物質防護措置に係る関係機関との通信及び連絡を行うことができる設計とする。さらに，防護された区域内においても，施錠管理により，MOX燃料加工施設及び特定核燃料物質の防護のために必要な設備又は装置の操作に係る情報システム(以下「情報システム」という。)への不法な接近を防止する設計とする。</u></p> <p><u>また，MOX燃料加工施設への不正な爆発性又は易燃性を有する物件その他人に危害を与え，又は他の物件を損傷するおそれがある物件の持込み(郵便物等による敷地外からの爆発物及び有害物質の持込みを含む。)を防止するため，持込点検を行うことができる設計とする。</u></p> <p><u>さらに，不正アクセス行為(サイバーテロを含む。)を防止するため，情報システムが電気通信回線を通じた不正アクセス行為(サイバーテロを含む。)を受けることがないように，当該情報システムに対する外部からの不正アクセスを遮断することができる設計とする。</u></p> <p><u>これらの対策を核物質防護規定に定めて，管理する。</u></p> <p><u>人の容易な侵入を防止できる柵等を他施設と共用する場合は，共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>9. その他</p> <p>9.1 加工施設への人の不法な侵入等の防止</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>9.2 安全避難通路等</p> <p><u>MOX燃料加工施設には、その位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路及び照明用の電源が喪失した場合においても機能を損なわない避難用照明として、非常用所内電源設備の非常用発電機又は灯具に内蔵した蓄電池により給電できる誘導灯及び非常用照明を設置し、安全に避難できる設計とする。</u></p> <p><u>設計基準事故が発生した場合において、昼夜及び場所を問わず、MOX燃料加工施設内で事故対策のための作業が可能となるよう、避難用照明とは別に作業用の照明を設置する設計とする。</u></p> <p><u>設計基準事故に対処するために、中央監視室、制御第1室及び制御第4室(以下「中央監視室等」という。)には、作業用の照明として運転保安灯を設置する設計とする。</u></p> <p><u>運転保安灯は、非常用所内電源設備の非常用無停電電源装置又は内蔵する蓄電池から電力を供給できる設計とすることにより、全交流電源喪失時から重大事故等に対処する前までの間、点灯することが可能な設計とする。</u></p> <p><u>中央監視室の運転保安灯は、外部からの電源が喪失した場合においてもその機能を損なわないように、非常用所内電源設備の非常用母線に接続し、非常用発電機又は非常用無停電電源装置から電力を供給できる設計とし、制御第1室及び制御第4室の運転保安灯は、非常用所内電源設備の非常用母線に接続し、非常用発電機又は内蔵する蓄電池から電力を供給できる設計とすることにより、外部からの電源が喪失した場合においても連続して点灯することが可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場作業の緊急性との関連において、LEDヘッドランプ及びLED充電式ライト等(以下「可搬型照明」という。)の準備に時間的猶予がある場合には、可搬型照明を活用する。また、可搬型照明を配備することを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>なお、これらの設計においては、設計基準において想定する事故に対して、MOX燃料加工施設の安全機能が損なわれない(安全機能を有する施設が安全機能を損なわない。)ために必要な重大事故等対処施設への措置を含める。</u></p>	<p>9.2 安全避難通路等</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 成形施設</p> <p><u>成形施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、</u>  <u>「2. 地盤」、</u><u>「3. 自然現象等」、</u><u>「4. 閉じ込めの機能」、</u><u>「5. 火災等による損傷の防止」、</u><u>「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、</u><u>「7. 遮蔽」及び</u><u>「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>成形施設は、原料粉末受入工程、粉末調整工程及びペレット加工工程で構成する。</u></p> <p><u>成形施設は、燃料加工建屋(再処理施設と一部共用(以下同じ。))に収納する設計とする。</u></p> <p><u>燃料加工建屋の主要構造は、地上2階、地下3階の耐火建築物とする設計とする。</u></p> <p><u>また、燃料加工建屋の屋根、壁等は、漏水のおそれのない構造とする。</u></p> <p><u>貯蔵容器搬送用洞道(再処理施設と共用(以下同じ。))は、再処理施設からウラン・プルトニウム混合酸化物を収納する混合酸化物貯蔵容器を受け入れることができるように燃料加工建屋の地下3階中2階及び再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋とエキスパンションジョイントにより接続する設計とする。</u></p> <p><u>再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との接続に伴い、貯蔵容器搬送用洞道及び燃料加工建屋の一部は、負圧管理の境界として再処理施設と共用する。共用の範囲には、再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との境界に設置する扉(以下「再処理施設境界の扉」という。)及び貯蔵容器搬送用洞道と燃料加工建屋との境界に設置する扉(以下「加工施設境界の扉」という。)を含む。貯蔵容器搬送用洞道は、MOX燃料加工施設境界の扉開放時には、MOX燃料加工施設の気体廃棄物の廃棄設備により負圧に維持する設計とし、再処理施設境界の扉開放時には、再処理施設の気体廃棄物の廃棄施設により貯蔵容器搬送用洞道を負圧に維持する設計とすること、また、MOX燃料加工施設境界の扉及び再処理施設境界の扉は、同時に開放しない設計とすることで、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>成形施設は、原料MOX粉末又は原料ウラン粉末を受け入れ、所定の粉末調整、圧縮成形、焼結、研削及び検査を行い、製品ペレットに加工することができる設計とする。また、各工程から発生する規格外品等のスクラップ処理も併せて行うことができる設計とする。</u></p> <p>(成形施設の設備に係る基本設計方針については、成形施設の設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p><u>成形施設の対象となる主要な設備について、「第 1-1 表 成形施設の主要設備リスト」に示す。</u></p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 成形施設</p> <p>変更なし</p> <p>(成形施設の設備に係る基本設計方針については、成形施設の設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>成形施設の対象となる主要な設備について、「第 1-1 表 成形施設の主要設備リスト」に示す。</p>



変 更 前	変 更 後
<p>2. 被覆施設</p> <p><u>被覆施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、 「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「4. 閉じ込めの機能」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、 「7. 遮蔽」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>被覆施設は、燃料棒加工工程で構成する。</u></p> <p><u>被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p><u>被覆施設は、製品ペレットを被覆管に挿入した後、密封溶接及び検査を行い、MOX燃料棒に加工することができる設計とする。また、必要に応じ、ウラン燃料棒の検査も行うことができる設計とする。</u></p> <p>2.1 燃料棒加工工程</p> <p>2.1.1 燃料棒加工工程の構成</p> <p>燃料棒加工工程は、製品ペレットを所定の長さのスタックに編成し、乾燥した後、下部端栓付被覆管に挿入する設計とする。また、上部端栓を溶接して密封し、BWR燃料棒で17%以下、PWR燃料棒で18%以下のプルトニウム富化度のMOX燃料棒に加工する設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程は、MOX燃料棒について、ヘリウムリーク検査、X線検査、MOX燃料棒内部の健全性確認及び外観寸法検査を実施する設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程は、規格外のMOX燃料棒を解体し、取り出したペレットを再使用のためペレット加工工程へ搬送する設計とする、又はスクラップ処理のため粉末調整工程へ搬送する設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程は、制御第3室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p> <p>2.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>燃料棒加工工程は、スタック編成設備、スタック乾燥設備、挿入溶接設備、燃料棒検査設備、燃料棒収容設備、燃料棒解体設備及び燃料棒加工工程搬送設備で構成する。</p> <p>(1) スタック編成設備</p> <p>スタック編成設備は、ペレットをMOX燃料棒1本分の長さに編成する設計とする。</p> <p>スタック編成設備は、スタック編成設備グローブボックス、波板トレイ取出装置、スタック編成装置、スタック収容装置、空乾燥ポート取扱装置グローブボックス及び空乾燥ポート取扱装置で構成する。</p> <p>(2) スタック乾燥設備</p> <p>スタック乾燥設備は、ペレットをアルゴンガス雰囲気にて乾燥する設計とする。</p> <p>スタック乾燥設備は、乾燥ポート供給装置グローブボックス、乾燥ポート供給装置、スタック乾燥装置、乾燥ポート取出装置グローブボックス及び乾燥ポート取出装置で構成する。</p> <p>(3) 挿入溶接設備</p> <p>挿入溶接設備は、被覆管に乾燥したペレット及びプレナムスプリングを挿入し、上部端栓を取り</p>	<p>2. 被覆施設</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>付け、ヘリウムガス雰囲気中で溶接を行う設計とする。溶接後の MOX 燃料棒は、除染及び汚染検査を行い、燃料棒検査設備へ払い出す設計とする。</p> <p>挿入溶接設備は、被覆管乾燥装置、被覆管供給装置オープンポートボックス、被覆管供給装置、スタック供給装置グローブボックス、スタック供給装置、部材供給装置（部材供給部）オープンポートボックス、部材供給装置（部材供給部）、部材供給装置（部材搬送部）オープンポートボックス、部材供給装置（部材搬送部）、挿入溶接装置（被覆管取扱部）グローブボックス、挿入溶接装置（スタック取扱部）グローブボックス、挿入溶接装置（燃料棒溶接部）グローブボックス、挿入溶接装置、除染装置グローブボックス、除染装置、汚染検査装置オープンポートボックス及び汚染検査装置で構成する。挿入溶接設備のうち、被覆管乾燥装置を 2 台、被覆管供給装置を 2 台、部材供給装置（部材供給部）を 2 台、部材供給装置（部材搬送部）を 2 台設置する設計とする。</p> <p>(4) 燃料棒検査設備</p> <p>燃料棒検査設備は、MOX 燃料棒について、ヘリウムリーク検査、X 線検査、MOX 燃料棒内部の健全性確認及び外観寸法検査を行う設計とする。</p> <p>燃料棒検査設備は、ヘリウムリーク検査装置、X 線検査装置、ロッドスキヤニング装置、外観寸法検査装置、燃料棒移載装置及び燃料棒立会検査装置で構成する。</p> <p>(5) 燃料棒収容設備</p> <p>燃料棒収容設備は、MOX 燃料棒を貯蔵マガジンに収納する設計とする。</p> <p>また、再検査、立会検査又は解体するための MOX 燃料棒を貯蔵マガジンから取り出し、燃料棒検査設備又は燃料棒解体設備へ払い出す設計とする。再検査又は立会検査後に返送された MOX 燃料棒を貯蔵マガジンに収納する設計とする。</p> <p>さらに、部材として使用する被覆管を貯蔵マガジンから取り出し、挿入溶接設備への払出しを行う設計とする。MOX 燃料棒又は被覆管を収納した貯蔵マガジンを、燃料棒貯蔵設備へ払い出す設計とする。</p> <p>燃料棒収容設備は、貯蔵マガジン、燃料棒収容装置、燃料棒供給装置及び貯蔵マガジン移載装置で構成する。</p> <p>(6) 燃料棒解体設備</p> <p>燃料棒解体設備は、MOX 燃料棒を解体する設計とする。燃料棒解体設備は、解体により MOX 燃料棒から取り出されたペレットを燃料棒加工工程搬送設備に払い出し、ペレット加工工程へ搬送する設計とする。</p> <p>燃料棒解体設備は、燃料棒搬入オープンポートボックス、燃料棒解体装置グローブボックス、燃料棒解体装置、溶接試料前処理装置オープンポートボックス、溶接試料前処理装置グローブボックス及び溶接試料前処理装置で構成する。燃料棒解体設備のうち、溶接試料前処理装置を 1 台設置する設計とする。</p>	

変更前	変更後
<p>(7) 燃料棒加工工程搬送設備</p> <p>燃料棒加工工程搬送設備は、ペレット保管容器、規格外ペレット保管容器、ペレット保存試料保管容器、乾燥ボート、MOX 燃料棒、被覆管又は校正用燃料棒の搬送を行う設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程搬送設備は、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス、ペレット保管容器搬送装置、乾燥ボート搬送装置グローブボックス、乾燥ボート搬送装置及び燃料棒搬送装置で構成する。</p>	<p>被覆施設の対象となる主要な設備について、「第 1-2 表 被覆施設の主要設備リスト」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>3. 組立施設</p> <p><u>組立施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、 「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、 「7. 遮蔽」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>組立施設は、燃料集合体組立工程及び梱包出荷工程で構成する。</u></p> <p><u>組立施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p><u>組立施設は、MOX燃料棒、燃料集合体部材及びウラン燃料棒を組み合わせて、BWR型又はPWR型の燃料集合体とし、さらに燃料集合体を梱包し、出荷することができる設計とする。</u></p> <p>3.1 燃料集合体組立工程</p> <p>3.1.1 燃料集合体組立工程の構成</p> <p>燃料集合体組立工程は、MOX燃料棒と支持格子等の部材を組み合わせて、燃料集合体平均のプルトニウム富化度をBWR燃料集合体では11%以下、PWR燃料集合体では14%以下で燃料集合体を組み立てる設計とする。なお、BWR燃料集合体については、外部からウラン中のウラン-235含有率が5%以下のウラン燃料棒を受け入れ、組み合わせる。</p> <p>燃料集合体組立工程は、組み立てた燃料集合体を洗浄し、寸法検査、外観検査、機能検査及び重量測定を実施する設計とする。</p> <p>燃料集合体組立工程は、規格外の燃料集合体は解体し、取り出した燃料棒を再使用又は解体のため燃料棒加工工程へ搬送する設計とする。</p> <p>燃料集合体組立工程は、制御第5室及び制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p> <p>3.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>燃料集合体組立工程は、燃料集合体組立設備、燃料集合体洗浄設備、燃料集合体検査設備及び燃料集合体組立工程搬送設備で構成する。</p> <p>(1) 燃料集合体組立設備</p> <p>燃料集合体組立設備は、MOX燃料棒及びウラン燃料棒を燃料集合体部材と組み合わせて燃料集合体に組み立てる設計とする。燃料集合体は燃料集合体洗浄設備へ払い出す設計とする。</p> <p>燃料集合体組立設備は、マガジン編成装置、組立マガジン、スケルトン組立装置及び燃料集合体組立装置で構成する。燃料集合体組立設備のうち、スケルトン組立装置を1台設置する設計とする。</p> <p>(2) 燃料集合体洗浄設備</p> <p>燃料集合体洗浄設備は、燃料集合体組立設備にて組み立てた燃料集合体を洗浄する設計とする。</p> <p>燃料集合体洗浄設備は、洗浄後の燃料集合体を燃料集合体検査設備へ払い出す設計とする。</p> <p>燃料集合体洗浄設備は、燃料集合体洗浄装置で構成する。</p>	<p>3. 組立施設</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>(3) 燃料集合体検査設備 燃料集合体検査設備は、燃料集合体洗浄設備にて洗浄した燃料集合体の寸法検査、外観検査、機能検査及び重量測定を行う設計とする。燃料集合体検査設備は、検査後の燃料集合体を貯蔵施設の燃料集合体貯蔵設備へ払い出す設計とする。 燃料集合体検査設備は、燃料集合体第1検査装置、燃料集合体第2検査装置、燃料集合体仮置台及び燃料集合体立会検査装置で構成する。</p> <p>(4) 燃料集合体組立工程搬送設備 燃料集合体組立工程搬送設備は、燃料集合体組立工程において燃料集合体の搬送を行う設計とする。 燃料集合体組立工程搬送設備は、組立クレーン及びリフトで構成する。</p> <p>3.2 梱包出荷工程</p> <p>3.2.1 梱包出荷工程の構成 梱包出荷工程は、燃料集合体を輸送容器へ梱包し、出荷する設計とする。 梱包出荷工程は、制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p> <p>3.2.2 主要設備の系統構成 梱包出荷工程は、梱包・出荷設備で構成する。</p> <p>(1) 梱包・出荷設備 梱包・出荷設備は、燃料集合体の梱包及び出荷を行う設計とする。 梱包・出荷設備は、貯蔵梱包クレーン、燃料ホルダ取付装置、容器蓋取付装置、梱包天井クレーン、容器移載装置及び保管室天井クレーンで構成する。</p>	<p>組立施設の対象となる主要な設備について、「第1-3表 組立施設の主要設備リスト」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>4. 核燃料物質の貯蔵施設</p> <p><u>核燃料物質の貯蔵施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、 「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「4. 閉じ込めの機能」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、 「7. 遮蔽」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>貯蔵施設は、原料粉末を受け入れてから成形、被覆、組立を経て燃料集合体とするまでの各工程間の貯蔵及び燃料集合体出荷までの貯蔵を行う設計とする。</u></p> <p><u>貯蔵施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p><u>貯蔵施設は、各工程における核燃料物質の形態に応じて貯蔵するために、必要な容量を有する設計とする。</u></p> <p><u>また、燃料集合体貯蔵設備等の貯蔵施設は、建屋排気設備又はグローブボックス排気設備で換気することにより崩壊熱を適切に除去する設計とする。</u></p> <p><u>なお、崩壊熱を除去するために必要な換気能力に関する設計方針については、第2章 個別項目の「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」に示す。</u></p> <p>4.1 主要な設備の系統構成</p> <p>貯蔵施設は、貯蔵容器一時保管設備、原料 MOX 粉末缶一時保管設備、ウラン貯蔵設備、ウラン貯蔵エリア、粉末一時保管設備、ペレット一時保管設備、スクラップ貯蔵設備、製品ペレット貯蔵設備、燃料棒貯蔵設備、燃料集合体貯蔵設備、ウラン輸送容器一時保管エリア、燃料棒受入一時保管エリア及び燃料集合体輸送容器一時保管エリアで構成する。</p> <p>(1) 貯蔵容器一時保管設備</p> <p>貯蔵容器一時保管設備は、再処理施設から受け入れた混合酸化物貯蔵容器及び再処理施設へ返却する混合酸化物貯蔵容器(再処理施設と共用(以下同じ。))を保管する設計とする。</p> <p>貯蔵容器一時保管設備は、一時保管ピットで構成する。</p> <p>貯蔵容器一時保管設備は、混合酸化物貯蔵容器及び容器(粉末缶)(再処理施設と共用(以下同じ。))を取り扱う設計とする。</p> <p>混合酸化物貯蔵容器及び容器(粉末缶)は、再処理施設と共用する。共用する混合酸化物貯蔵容器及び容器(粉末缶)は、共用によって仕様(種類、容量及び主要材料)、遮蔽設計、閉じ込め機能及び臨界安全の方法に変更はないため、共用によって MOX 燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>(2) 原料 MOX 粉末缶一時保管設備</p> <p>原料 MOX 粉末缶一時保管設備は、原料 MOX 粉末を収納した容器(粉末缶)を次工程へ払い出すまで保管する設計とする。</p> <p>原料 MOX 粉末缶一時保管設備は、原料 MOX 粉末缶一時保管装置グローブボックス、原料 MOX 粉末缶一時保管装置及び原料 MOX 粉末缶一時保管搬送装置で構成する。</p>	<p>4. 核燃料物質の貯蔵施設</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p>ウラン貯蔵設備は、原料ウラン粉末又は粉末混合のための未使用のウラン合金ボールを次工程へ払い出すまで貯蔵する設計とする。また、試験に用いたウランを貯蔵する設計とする。</p> <p>ウラン貯蔵設備は、ウラン貯蔵棚、ウラン粉末缶貯蔵容器及びウラン粉末缶入出庫装置で構成する。ウラン貯蔵設備のうち、ウラン粉末缶入出庫装置は2台設置する設計とする。なお、ウラン粉末缶貯蔵容器の基数は最大128基設ける設計とし、これを超えないことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>ウラン貯蔵設備は、収納パレットを676基及び容器(ウラン粉末缶)を取り扱う設計とする。</p> <p>(4) 粉末一時保管設備</p> <p>粉末一時保管設備は、原料ウラン粉末、予備混合した粉末、一次混合した粉末、二次混合した粉末、均一化混合した粉末、造粒した粉末、添加剤混合した粉末又は回収粉末を次工程へ払い出すまで容器(J60, J85 又は U85)に収納し保管する設計とする。また、スクラップを収納したCS・RS保管ポットを5缶バスケット又は1缶バスケットに積載し保管する設計とする。</p> <p>粉末一時保管設備は、粉末一時保管装置グローブボックス、粉末一時保管装置及び粉末一時保管搬送装置で構成する。</p> <p>粉末一時保管設備は、容器(J60, J85, U85, 5缶バスケット, 1缶バスケット, CS・RS保管ポット, CS・RS回収ポット及び先行試験ポット)を取り扱う設計とする。</p> <p>(5) ペレット一時保管設備</p> <p>ペレット一時保管設備は、グリーンペレット、焼結したペレット、CSペレット又は規格外ペレットを次工程へ払い出すまで保管する設計とする。</p> <p>ペレット一時保管設備は、ペレット一時保管棚グローブボックス、ペレット一時保管棚、焼結ボート入出庫装置、焼結ボート受渡装置グローブボックス及び焼結ボート受渡装置で構成する。</p> <p>ペレット一時保管設備は、収納パレット及び容器(焼結ボート, 先行試験焼結ボート, スクラップ焼結ボート及び規格外ペレット保管容器)を取り扱う設計とする。</p> <p>(6) スクラップ貯蔵設備</p> <p>スクラップ貯蔵設備は、9缶バスケットに収納されたCS粉末若しくはCSペレット又はRS粉末若しくはRSペレットを貯蔵する設計とする。また、規格外ペレットを規格外ペレット保管容器に収納し貯蔵する設計とする。さらに、試験に用いたウランを貯蔵する設計とする。</p> <p>スクラップ貯蔵設備は、スクラップ貯蔵棚グローブボックス、スクラップ貯蔵棚、スクラップ保管容器入出庫装置、スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス及びスクラップ保管容器受渡装置で構成する。</p> <p>スクラップ貯蔵設備は、収納パレット及び容器(ペレット保管容器, 9缶バスケット, 規格外ペレット保管容器及びCS・RS保管ポット)を取り扱う設計とする。</p> <p>(7) 製品ペレット貯蔵設備</p> <p>製品ペレット貯蔵設備は、製品ペレット、規格外ペレット又はペレット保存試料を貯蔵する設計とする。それぞれのペレットは、ペレット保管容器又はペレット保存試料保管容器に収納し貯蔵する。</p>	

変更前	変更後
<p>製品ペレット貯蔵設備は、製品ペレット貯蔵棚グローブボックス、製品ペレット貯蔵棚、ペレット保管容器入出庫装置、ペレット保管容器受渡装置グローブボックス、ペレット保管容器受渡装置で構成する。</p> <p>製品ペレット貯蔵設備は、収納パレット及び容器(ペレット保管容器及びペレット保存試料保管容器)を取り扱う設計とする。</p> <p>(8) 燃料棒貯蔵設備</p> <p>燃料棒貯蔵設備は、MOX 燃料棒、ウラン燃料棒又は被覆管を貯蔵する設計とする。また、MOX 燃料棒、ウラン燃料棒及び被覆管は、貯蔵マガジンに収納し貯蔵する。</p> <p>燃料棒貯蔵設備は、燃料棒貯蔵棚、貯蔵マガジン入出庫装置及びウラン燃料棒収容装置で構成する。なお、ウラン燃料棒は外部より受け入れ貯蔵する。</p> <p>(9) 燃料集合体貯蔵設備</p> <p>燃料集合体貯蔵設備は、組立施設で組み立て、検査後の燃料集合体を組立施設の梱包出荷工程の梱包・出荷設備に供給するまで貯蔵する設計とする。燃料集合体は、燃料集合体貯蔵チャンネルに収納し貯蔵する。</p> <p>燃料集合体貯蔵設備は、燃料集合体貯蔵チャンネルで構成する。</p> <p>(10) ウラン貯蔵エリア</p> <p>ウラン貯蔵エリアは、原料ウラン粉末、ウラン合金ボール又は試験に用いたウランをウラン粉末缶に収納し、そのウラン粉末缶をウラン粉末缶貯蔵容器に収納した状態で貯蔵する設計とする。</p> <p>(11) ウラン輸送容器一時保管エリア</p> <p>ウラン輸送容器一時保管エリアは、原料ウラン粉末又はウラン合金ボールをウラン粉末缶に収納し、そのウラン粉末缶をウラン粉末缶輸送容器に収納した状態で保管する設計とする。</p> <p>(12) 燃料棒受入一時保管エリア</p> <p>燃料棒受入一時保管エリアは、ウラン燃料棒をウラン燃料棒用輸送容器の内容容器に収納し、その内容容器をウラン燃料棒用輸送容器に収納した状態で保管する設計とする。</p> <p>(13) 燃料集合体輸送容器一時保管エリア</p> <p>燃料集合体輸送容器一時保管エリアは、燃料集合体を燃料集合体用輸送容器に収納した状態で保管する設計とする。</p>	<p>核燃料物質の貯蔵施設の対象となる主要な設備について、「第 1-4 表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト」に示す。</p>



変 更 前	変 更 後
<p>5. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p><u>放射性廃棄物の廃棄施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「4. 閉じ込めの機能」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p>5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針</p> <p>5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設</p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備は、通常時において、周辺監視区域の外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できるよう、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」を参考に放射性物質の濃度に起因する線量を合理的に達成できる限り低くなるよう、放出する放射性物質を低減できる設計とする。</u></p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の濃度、排気風量及び放射能レベルを監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</u></p> <p><u>放射性気体廃棄物の放出に当たっては、排気中の放射性物質の濃度の測定及び放射能レベルを監視することにより、排気口において排気中の放射性物質の濃度が線量告示に定める周辺監視区域外の空気中の濃度限度以下となる設計とする。</u></p> <p>なお、排気中の放射性物質の濃度の測定及び放射能レベルの監視に係る放射線管理施設の設計方針については、第2章 個別項目「6. 放射線管理施設」に基づくものとする。</p> <p>気体廃棄物の廃棄設備は、廃棄物を処理するために必要な排気能力を有する設計とする。</p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</u></p> <p><u>なお、気体廃棄物の逆流防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に基づくものとする。</u></p> <p><u>建屋排気設備、工程室排気設備及びグローブボックス排気設備の排気側には、核燃料物質等を除去するための設備・機器として、高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質等を除去する設計とする。</u></p> <p>気体廃棄物の廃棄設備に設置する高性能エアフィルタは、廃棄物を処理するために必要な捕集効率を有する設計とする。</p> <p><u>高性能エアフィルタは、捕集効率を適切に維持するために交換が可能な設計とする。</u></p> <p><u>高性能エアフィルタは、交換に必要な空間を有するとともに、必要に応じて梯子及び歩廊を設置し、取替が容易な設計とする。</u></p> <p><u>高性能エアフィルタは、必要に応じて試験及び検査ができる設計とする。</u></p>	<p>5. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>変更なし</p> <p>5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針</p> <p>5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>気体廃棄物の廃棄設備は、核燃料物質等を閉じ込めるため、グローブボックス等の負圧の維持、オープンポートボックス及びフードの開口部風速の維持等の核燃料物質等の漏えいの拡大の防止ができる設計とする。</p> <p>なお、核燃料物質等の漏えいの拡大の防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に、基づくものとする。</p> <p>気体廃棄物の廃棄設備は、燃料集合体貯蔵設備等の貯蔵施設を換気することにより崩壊熱を適切に除去できる設計とする。</p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備は、建屋排気設備、工程室排気設備、グローブボックス排気設備、給気設備、窒素循環設備及び排気筒で構成する。</u></p> <p><u>建屋排気設備、工程室排気設備、グローブボックス排気設備、給気設備及び窒素循環設備は燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p>(1) 建屋排気設備</p> <p>建屋排気設備は、燃料加工建屋管理区域のうち工程室外の室の負圧維持及び排気中に含まれる放射性物質の除去を行い、排気筒の排気口から外部へ放出する設計とする。</p> <p>建屋排気設備は、貯蔵容器一時保管設備、燃料棒貯蔵設備及び燃料集合体貯蔵設備に貯蔵する核燃料物質等から発生する崩壊熱を除去するため、換気することにより適切に冷却できる設計とする。</p> <p>建屋排気設備は、建屋排気ダクト、建屋排気フィルタユニット及び建屋排風機で構成する。</p> <p>建屋排気設備は、共用する貯蔵容器搬送用洞道の MOX 燃料加工施設境界の扉の開放時に、貯蔵容器搬送用洞道内を負圧に維持できる設計とする。</p> <p>建屋排風機は、必要な排気能力を有する設計とする。</p> <p>建屋排気フィルタユニットは、必要な捕集効率を有する設計とする。</p> <p>(2) 工程室排気設備</p> <p>工程室排気設備は、工程室の負圧維持及び排気中に含まれる放射性物質の除去を行い、排気筒の排気口から外部へ放出する設計とする。</p> <p>工程室排気設備は、工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット、工程室排風機及び工程室排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設備と兼用)で構成する。工程室排気設備のうち、工程室排風機入口手動ダンパを2基設置する設計とする。</p> <p>工程室排風機は、必要な排気能力を有する設計とする。</p> <p>工程室排気フィルタユニットは、必要な捕集効率を有する設計とする。</p> <p>(3) グローブボックス排気設備</p> <p>グローブボックス排気設備は、グローブボックス等の負圧維持並びにオープンポートボックス及びフードの閉じ込めを維持するとともに排気中の放射性物質の除去を行い、排気筒の排気口から外部へ放出する設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備は、原料 MOX 粉末缶一時保管設備、粉末一時保管設備、ペレッ</p>	

変更前	変更後
<p>ト一時保管設備、スクラップ貯蔵設備及び製品ペレット貯蔵設備に貯蔵する核燃料物質等から発生する崩壊熱を除去するため、換気により冷却できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排風機は、非常用所内電源設備と接続し、外部電源喪失時においても機能が維持できる設計とする。</p> <p>なお、電源供給に係る非常用所内電源設備の設計方針については、第2章 個別項目「7.3 所内電源設備」に基づくものとする。</p> <p>グローブボックス排気設備は、グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、グローブボックス排風機及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設備で兼用)で構成する。グローブボックス排気設備のうち、グローブボックス排風機入口手動ダンパを2基設置する設計とする。</p> <p>グローブボックス排風機は、必要な排気能力を有する設計とする。</p> <p>グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニットは、必要な捕集効率を有する設計とする。</p> <p>(4) 給気設備</p> <p>給気設備は、燃料加工建屋屋上の外気取入口から外気を取り入れ、取り入れた空気中の塵埃を給気フィルタユニットによって除去した後に、必要に応じて温度又は湿度を調整した後、燃料加工建屋の管理区域に供給する設計とする。</p> <p>(5) 窒素循環設備</p> <p>窒素循環設備は、窒素ガス設備から供給された窒素ガスを窒素循環冷却機で冷却し、窒素循環ファン及び窒素循環ダクトで窒素雰囲気型グローブボックス(窒素循環型)内を循環させる設計とする。</p> <p>窒素循環設備は、窒素循環ダクト、窒素循環ファン及び窒素循環冷却機で構成する。</p> <p>(6) 排気筒</p> <p>排気筒は、建屋排気設備、工程室排気設備及びグローブボックス排気設備で処理した放射性気体廃棄物を放出する設計とし、燃料加工建屋地上1階屋外に1基設置する設計とする。</p> <p>また、排気筒の排気口は、燃料加工建屋の北東、地上高さを約20m(標高約75m)とする設計とする。</p> <p>5.1.1.2 重大事故等対処設備</p> <p>(1) 外部放出抑制設備</p> <p>—</p>	<p>5.1.1.2 重大事故等対処設備</p> <p>(1) 外部放出抑制設備</p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断することで、火災の影響によりグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行したMOX粉末が、外部へ放出されることを可能な限り防止するために必要な核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策に使用する重大事故等対処</p>

変更前	変更後
	<p>設備として、外部放出抑制設備を設ける設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット、グローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ、工程室排気閉止ダンパ及び可搬型ダンパ出口風速計で構成する。外部放出抑制設備のうち、グローブボックス排風機入口手動ダンパを2基、工程室排風機入口手動ダンパを2基、グローブボックス排気閉止ダンパを2基、工程室排気閉止ダンパを2基設置する設計とする。</p> <p>グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、グローブボックス排風機入口手動ダンパ及びグローブボックス排気閉止ダンパは、常設重大事故等対処設備と位置づけ、設計基準対象の施設のグローブボックス排気設備の一部と兼用する設計とする。</p> <p>工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット、工程室排風機入口手動ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、常設重大事故等対処設備と位置づけ、設計基準対象の施設の工程室排気設備の一部と兼用する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失した場合には、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排気閉止ダンパを中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の窒素を当該ダンパに供給することで閉止できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパが使用できない場合は、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排風機入口手動ダンパを地下1階の現場にて手動操作により閉止できる設計とする。</p> <p>上記のダンパの閉止が完了するまでの間、火災の影響を受けてグローブボックス内又は工程室内の気相中に飛散又は漏えいしたMOX粉末は、火災によって生ずる気流に押し流されて外部に放出されることから、これを抑制するため、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備に設置された高性能エアフィルタでMOX粉末を捕集できる設計とする。</p> <p>また、上記のダンパの閉止によりグローブボックス排気設備及び工程室排気設備からの外部への放出経路が遮断されたことを確認するため、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの出口側のダクトに可搬型ダンパ出口風速計を接続し、ダクト内の風速を計測できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、所内電源設備の一部である受電開閉設備等の給電により中央監視室に設置する盤の手動操作が可能な設計とする。</p>

変 更 前	変 更 後
	<p>外部放出抑制設備のグローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断する手段については、中央監視室に設置する盤の手动操作により駆動動力源の窒素を供給することで閉止するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパ並びに地下1階の現場にて手动操作により閉止できるグローブボックス排風機入口手动ダンパ及び工程室排風機入口手动ダンパを設置することで、多重性を確保した設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、グローブボックス排風機入口手动ダンパ、工程室排風機入口手动ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備、工程室排気設備に対して、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備は、耐熱性を有する又は火災による温度上昇の影響を受けない場所に設置することで、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災により上昇する温度の影響を考慮しても、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、第1章 共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の「8.2.6. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋に設置し、風（台風）等により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備のグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、自然現象、人為事象、溢水、火災及び内部発生飛散物に対して代替設備による機能の確保、修理の対応により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、重大事故等に対処するための機能が確保できない場合には、関連する工程を停止すること等を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手动ダンパ、工程室排風機入口手动ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画又は離れた場所から操作可能な設計とす</p>

変更前	変更後
<p>(可搬型ダンパ出口風速計に係る基本設計方針については、可搬型ダンパ出口風速計の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) 代替グローブボックス排気設備</p> <p style="text-align: center;">—</p>	<p>る。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計とするとともに、高性能エアフィルタにより MOX 粉末を捕集した後のダクトに接続口を設けることで接続操作時に汚染が拡大しないよう考慮することにより、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計と常設ダクトとの接続は、常設ダクトに測定口を設けて可搬型ダンパ出口風速計の検出部を挿入する接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、動作確認によりダンパの固着がないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備のグローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及び工程室排気フィルタユニットは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、差圧の確認によりフィルタの目詰まりがないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>(可搬型ダンパ出口風速計に係る基本設計方針については、可搬型ダンパ出口風速計の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) 代替グローブボックス排気設備</p> <p>核燃料物質等の回収の一環として、グローブボックス排気設備の排気機能を回復し、工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保することで、工程室内の MOX 粉末を回収する際の作業環境を確保するために必要な閉じ込める機能の回復に使用する重大事故等対処設備として、代替グローブボックス排気設備を設ける設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備は、グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、可搬型排風機付フィルタユニット、可搬型フィルタユニット及び可搬型ダクトで構成する。</p> <p>グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ及びグローブボックス排気フィルタは、常設重大事故等対処施設と位置付け、設計基準対象の施設のグローブボックス排気設備の一部と兼用する設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>代替グローブボックス排気設備は、核燃料物質等の回収の一環として、設計基準対象の施設であるグローブボックス排風機の復旧等に時間を要することが想定されるため、可搬型排風機付フィルタユニット、可搬型フィルタユニット及び可搬型ダクトを敷設及び接続し、可搬型ダクト及びグローブボックス排気設備を接続した後、可搬型排風機付フィルタユニットを運転することで、工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保するとともに、可搬型排風機付フィルタユニット及び可搬型フィルタユニットに内蔵する合計4段の高性能エアフィルタによりMOX粉末を捕集できる設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備は、設計基準対象の施設のグローブボックス排気設備の排気機能を回復することで、グローブボックスから間接的に工程室内の空気も排気することが可能であるため、グローブボックス排気設備の排気機能のみ回復する設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備は、排気により放出される放射性物質の濃度を測定するための放射線管理施設の可搬型排気モニタリング設備を接続できる設計とする。</p> <p>なお、放射線監視設備に係る設計方針については、第2章 個別項目の「6.放射線管理施設」に示す。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、グローブボックス排気ダクトに設置するダンパ操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備は、グローブボックス排気設備に対して、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</p> <p>地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、第1章共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の「8.2.6.地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋に設置し、風（台風）等により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護する設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトの系統に設置するダンパの操作は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しく</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(代替グローブボックス排気設備の可搬型重大事故等対処設備に係る基本設計方針については、代替グローブボックス排気設備の可搬型重大事故等対処設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>5.1.2 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p><u>液体廃棄物の廃棄設備は、通常時において、周辺監視区域の境界における水中の放射性物質の濃度を十分に低減できるよう、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」を参考に放射性物質の濃度に起因する線量を合理的に達成できる限り低くなるよう、放出する放射性物質を低減できる設計とする。</u></p> <p><u>液体廃棄物の廃棄設備は、MOX 燃料加工施設で発生する放射性液体廃棄物を、廃液の性状、廃液の発生量及び放射性物質の濃度に応じて、廃液中に含まれて放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液中の放射性物質の濃度が線量告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを排出の都度確認し、排水口から排出する設計とする。</u></p>	<p>は離れた場所から操作可能な設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計により、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の可搬型ダクトと代替グローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトとの接続は、フランジ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトは、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要なダンパを設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及びダンパの操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備の常設重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p> <p>代替グローブボックス排気設備のグローブボックス給気フィルタ及びグローブボックス排気フィルタは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、差圧の確認によりフィルタの目詰まりがないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型ダクトを使用した代替グローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトの接続口は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>(代替グローブボックス排気設備の可搬型重大事故等対処設備に係る基本設計方針については、代替グローブボックス排気設備の可搬型重大事故等対処設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>5.1.2 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p>変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p>MOX 燃料加工施設の排水口から排出した排水は、海洋放出管から海洋へ放出する設計とする。</p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、廃棄物を処理するために必要な容量を有する設計とする。</p> <p><u>液体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、液体廃棄物を内包する容器又は管に放射性物質を含まない液体を導く管を接続する場合には、液体廃棄物が放射性物質を含まない液体を導く管へ逆流することを防止する設計とする。</u></p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、管理区域内において、機器の点検並びに交換及び装置の稼働に伴って発生する機械油又は分析作業に伴い発生する有機溶媒(以下「油類」という。)を油類廃棄物として保管廃棄できる設計とする。</p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、系統及び機器によって液体廃棄物を閉じ込める設計とし、液体廃棄物を内包する貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合、検知できる設計とし、堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。また、液体廃棄物を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続する構造とし、核燃料物質等が漏えいしにくい設計とする。</p> <p>なお、核燃料物質等の漏えいの防止及び漏えいの拡大の防止については、第1章 共通項目の「4. 閉じ込めの機能」に基づくものとする。</p> <p><u>液体廃棄物の廃棄設備は、低レベル廃液処理設備、廃油保管室の廃油保管エリア及び海洋放出管理系で構成する。</u></p> <p><u>低レベル廃液処理設備、廃油保管室の廃油保管エリアは、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p>5.1.2.1 低レベル廃液処理設備</p> <p>低レベル廃液処理設備は、検査槽、ろ過処理オープンポートボックス、ろ過処理装置、吸着処理オープンポートボックス、吸着処理装置及び廃液貯槽で構成する。</p> <p>低レベル廃液処理設備は、分析設備から発生する廃液、放出管理分析設備から発生する廃液、管理区域内で発生する空調機器ドレン水等を受け入れ、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い放射性物質の濃度が線量告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを確認した後、排水口から排出する設計とする。</p> <p>また、低レベル廃液処理設備を設ける燃料加工建屋の管理区域内には、分析設備から発生する廃液、放出管理分析設備から発生する廃液、管理区域内で発生する空調機器ドレン水等が管理されずに排出される排水が流れる排水路に通じる開口部を設けない設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理設備は、液体状の放射性廃棄物を処理するために必要な容量を有する設計とする。</p> <p>5.1.2.2 廃油保管室の廃油保管エリア</p> <p>廃油保管室の廃油保管エリアは、管理区域内において、油類を油類廃棄物として保管廃棄するために必要な容量を確保する設計とする。</p> <p>廃油保管室の廃油保管エリアは、燃料加工建屋の管理区域内で発生する再利用しない油類</p>	

変更前	変更後
<p>のうち、ドラム缶又は金属製容器に封入した油類を油類廃棄物として保管廃棄する設計とする。</p> <p>なお、油類廃棄物を封入する容器は、以下の事項を考慮した容器を使用することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>(1) 水が浸透しにくく、腐食に耐え、及び放射性廃棄物が漏れにくい構造とする設計とする。</p> <p>(2) 亀裂又は破損が生じるおそれがない構造とする設計とする。</p> <p>(3) 容器の蓋が容易に外れないように固定可能な設計とする。</p> <p>5.1.2.3 海洋放出管理系</p> <p>MOX 燃料加工施設の排水口から排出した排水は、海洋放出管理系である MOX 燃料加工施設の排水口から再処理施設までの配管、再処理施設の第 1 放出前貯槽(再処理施設と共用(以下同じ。))及び第 1 海洋放出ポンプ(再処理施設と共用(以下同じ。))を經由して海洋放出管(再処理施設と共用(以下同じ。))の海洋放出口から海洋へ放出する設計とする。</p> <p>海洋放出管理系のうち、MOX 燃料加工施設から排出した排水が通過する再処理施設の経路を、再処理施設と共用する。再処理施設と共用する経路の境界には弁を設置し、MOX 燃料加工施設への海洋放出管理系からの逆流を防止する設計とすることから、共用によって MOX 燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>5.1.3 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p><u>固体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</u></p> <p><u>固体廃棄物の廃棄設備は、廃棄物保管設備(廃棄物保管第 1 室及び廃棄物保管第 2 室の廃棄物保管エリア)及び再処理施設の第 2 低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第 2 低レベル廃棄物貯蔵系で構成する。</u></p> <p><u>廃棄物保管設備は燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p><u>MOX 燃料加工施設から発生する雑固体(固型化処理した油類を含む。)は、再処理施設で発生する雑固体と同等の廃棄物特性であることを確認して保管する。</u></p> <p><u>放射性固体廃棄物の保管廃棄に当たっては、線量当量率、廃棄物中のプルトニウム質量等を測定することを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>5.1.3.1 廃棄物保管設備</p> <p>廃棄物保管設備は、ドラム缶又は金属製角型容器に封入した雑固体(固型化処理した油類を含む。)を固体廃棄物として保管廃棄する設計とする。</p> <p>なお、固体廃棄物を封入する容器は、以下の事項を考慮した容器を使用することを保安規定に定めて、管理する。</p>	<p>5.1.3 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(1) 水が浸透しにくく、腐食に耐え、及び放射性廃棄物が漏れにくい構造とする設計とする。</p> <p>(2) 亀裂又は破損が生じるおそれがない構造とする設計とする。</p> <p>(3) 容器の蓋が容易に外れないように固定可能な設計とする。</p> <p>5.1.3.2 低レベル固体廃棄物貯蔵設備</p> <p>第2低レベル廃棄物貯蔵系(再処理施設と共用(以下同じ。))は、ドラム缶又は金属製角型容器に封入した雑固体(固型化处理した油類を含む。)を固体廃棄物として保管廃棄する設計とする。</p> <p>再処理施設の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>第2低レベル廃棄物貯蔵系は、MOX燃料加工施設から発生する雑固体及び再処理施設で発生する低レベル廃棄物の推定年間発生量に対して必要な容量を有することとし、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>5.2 換気設備</p> <p>核燃料物質等の漏えいにより、燃料加工建屋内の汚染された空気による放射線障害のおそれのある事象が発生した場合又は当該事象の発生が想定される場合に、公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう可能な限り負圧維持、漏えい防止及び逆流防止が可能な換気設備を設ける設計とする。</p> <p>換気設備は、廃棄施設の気体廃棄物の廃棄設備のグローブボックス排気設備、工程室排気設備、建屋排気設備、給気設備及び窒素循環設備で構成する。</p> <p>系統構成については、第2章 個別項目の「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p> <p>グローブボックス排気設備は、グローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)を換気し、負圧を維持できる設計とする。</p> <p>工程室排気設備は、グローブボックス等を設置する工程室を換気し、負圧を維持できる設計とする。</p> <p>建屋排気設備は、管理区域内を換気し、燃料加工建屋を負圧に維持できる設計とする。</p> <p>給気設備は、燃料加工建屋外から外気を取り入れられる設計とする。</p> <p>窒素循環設備は、窒素雰囲気型グローブボックス(窒素循環型)の窒素雰囲気を循環できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備、工程室排気設備及び建屋排気設備の排風機は、グローブボックス等並びに工程室及び燃料加工建屋の負圧維持に必要な換気能力を有する設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備、工程室排気設備、建屋排気設備は、燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</p> <p>換気設備は、負圧順序を形成するため、グローブボックス排風機、工程室排風機、建屋排風機、給</p>	<p>5.2 換気設備</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p>気設備の送風機の順で起動する機構を設ける設計とする。</p> <p>なお、窒素循環設備の窒素循環ファンは、グローブボックス排風機の運転後に起動する機構を設ける設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機、工程室排気設備の工程室排風機、建屋排気設備の建屋排風機、窒素循環設備の窒素循環ファン及び給気設備の送風機には、予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機は、負圧順序を維持するため、外部電源喪失時には非常用所内電源設備から電力を自動的に供給し、グローブボックス内を排気することで負圧を維持する。また、グローブボックス排風機より工程室の空気を吸引し、工程室の負圧を維持する設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス排風機の電源供給に係る非常用所内電源設備の設計方針については、第2章 個別項目の「7.3 所内電源設備」に基づくものとする。</p> <p>換気設備は、排気ダクトをフランジ又は溶接で接続する構造とし、高性能エアフィルタを設けることで、核燃料物質等が漏えいしにくい設計とする。また、排風機及び逆止ダンパを設けることで、核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</p> <p>また、グローブボックスの給気口には、高性能エアフィルタを設置し、グローブボックス内の核燃料物質等が室内に漏えいしにくい設計とする。</p> <p>換気設備は、MOX 粉末の漏えいを防止するため、MOX 粉末を取り扱うグローブボックスを循環する経路は、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して、経路が維持できる設計とする。</p> <p>換気設備は、核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくし、放射線障害を防止する設計とする。</p> <p>また、換気設備の高性能エアフィルタは、捕集効率を適切に維持するために交換が可能な設計とする。</p> <p>なお、高性能エアフィルタの捕集効率、交換性については、第2章 個別項目の「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p>	<p>放射性廃棄物の廃棄施設の対象となる主要な設備について、「第 1-5 表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>7. その他の加工施設</p> <p><u>その他の加工施設の非常用設備のうち、火災防護設備の一部、照明設備、所内電源設備の一部及び通信連絡設備の一部並びに核燃料物質の検査設備及び計量設備並びに主要な実験設備並びにその他の主要な事項のうち、溢水防護設備、警報関連設備、冷却水設備の一部、給排水衛生設備の一部、空調用設備の一部、窒素循環関係設備の一部、水素・アルゴンガス用設備の一部、その他ガス設備の一部、選別・保管設備及び荷役設備は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p>7.1 非常用設備</p> <p>7.1.1 火災防護設備</p> <p><u>火災防護設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「4. 閉じ込めの機能」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p>7.1.1.1 安全機能を有する施設に対する火災防護設備及び重大事故等対処施設に対する火災防護設備</p> <p><u>火災防護設備は、火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災影響軽減設備で構成する。</u></p> <p><u>火災防護設備の基本設計方針については、安全機能を有する施設が、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、火災防護上重要な機器等を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等対処施設が、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災及び爆発の影響軽減設備については、以下の設計とする。</u></p> <p>7.1.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物</p> <p><u>火災区域は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する設計とする。</u></p> <p><u>火災区画は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて火災区域を細分化する設計とする。</u></p>	<p>7. その他の加工施設</p> <p>変更なし</p> <p>7.1 非常用設備</p> <p>7.1.1 火災防護設備</p> <p>変更なし</p> <p>7.1.1.1 安全機能を有する施設に対する火災防護設備及び重大事故等対処施設に対する火災防護設備</p> <p>変更なし</p> <p>7.1.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物</p> <p>変更なし</p>

変 更 前	変 更 後
<p><u>このうち、火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p><u>また、重大事故等対処施設を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p>7.1.1.1.2 火災感知設備</p> <p>火災感知器については消防法施行規則に従い設置する設計とする。</p> <p>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザー光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p>	<p>7.1.1.1.2 火災感知設備</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知器の型式は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件及び予想される火災の性質を考慮して選定するとともに、火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の火災感知器として、アナログ式煙感知器及びアナログ式熱感知器の組合せを基本として設置する設計とする。</p> <p>屋内において取り付け面高さが熱感知器の上限を超える場合、高線量区域又は蓄電池室にあたっては、アナログ式感知器の設置が適さないことから、少なくとも1つは非アナログ式の煙感知器、非アナログ式の熱感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p> <p>また、発火性又は引火性の雰囲気を形成するおそれのある場所については、防爆型のアナログ式熱感知器(熱電対)及び防爆型の非アナログ式の炎感知器又は防爆型の非アナログ式の熱感知器(スポット型)及び防爆型の非アナログ式の煙感知器を設置する設計とする。</p> <p>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザー光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p> <p>非アナログ式の火災感知器は、以下の環境条件等を考慮することにより誤作動を防止する設計とする。</p> <p>非アナログ式の炎感知器は、監視範囲に火災の感知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とするとともに、屋内に設置する場合は、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置する設計とする。</p> <p>非アナログ式の熱感知器を設置する場合は、誤作動防止対策のため高温物体が近傍にない箇所に設置する設計とする。</p> <p>非アナログ式の煙感知器を設置する場合は、誤作動防止対策のため煙が拡散しやすい換気口近傍には設置しない設計とする。</p> <p>消防法施行令及び消防法施行規則において火災感知器の設置が除外される区域についても、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設が火災による影響を考慮すべ</p>

変 更 前	変 更 後
<p>燃料加工建屋の火災感知設備は、外部電源喪失時にも火災の感知が可能となるよう、蓄電池を設け、火災感知の機能を失わないよう電源を確保する設計とする。</p> <p>また、安全上重要な施設のグローブボックス内の火災感知設備は、非常用所内電源設備から給電する設計とする。</p> <p>燃料加工建屋の火災感知設備は、中央監視室に設置する受信機に火災信号を表示するとともに警報を発することで、常時監視できる設計とする。</p> <p>(緊急時対策建屋に設置する火災感知設備に係る設計方針については、緊急時対策建屋に設置する火災感知設備を申請する申請書で示す。)</p> <p>7.1.1.1.3 消火設備</p> <p>消火設備は、屋内消火栓、屋外消火栓、二酸化炭素消火装置、グローブボックス消火装置及び消火器で構成する。</p>	<p>き場合には火災感知器を設置する設計とする。</p> <p>火災感知器については消防法施行規則第二十三条第4項に従い設置する設計とする。</p> <p>また、環境条件等から消防法上の火災感知器の設置が困難となり、感知器と同等の機能を有する機器を使用する場合には、同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令第十二条～第十八条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置する設計とする。</p> <p>ただし、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、コンクリート製の構造物や金属製の配管、タンク等のみで構成する機器等を設置する火災区域又は火災区画は、火災の影響により機能を喪失するおそれがないことから、固有の信号を発する異なる種類の火災感知器の組合せは行わず、消防法に基づいた設計とする。</p> <p>また、通常運転時に人の立入りがなく可燃性物質又は着火源になり得るものを設置しない区域は火災の発生のおそれがないことから、火災感知器を設置しない設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、外部電源喪失時にも火災の感知が可能となるよう、蓄電池を設け、火災感知の機能を失わないよう電源を確保する設計とする。</p> <p>また、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画並びに安全上重要な施設のグローブボックス内の火災感知設備は、非常用所内電源設備から給電する設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、中央監視室に設置する受信機に火災信号を表示するとともに警報を発することで、常時監視できる設計とするとともに、火災感知器の設置場所を1つずつ特定できることにより、火災の発生場所を特定できる設計とする。</p> <p>(緊急時対策建屋に設置する火災感知設備に係る設計方針については、緊急時対策建屋に設置する火災感知設備を申請する申請書で示す。)</p> <p>7.1.1.1.3 消火設備</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の消火設備は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合のほか、火災感知設備の破損、誤作動又は誤操作が起きたことにより消火設備が作動した場合においても、火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設では、臨界管理の観点から可能な限り水を排除するために、工程室及びグローブボックスについては、自動又は現場での手動操作による固定式のガス消火装置を設置することにより消火を行う設計とする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(緊急時対策建屋に設置する消火設備に係る設計方針については、緊急時対策建屋に設置する消火設備を申請する申請書で示す。)</p> <p>(1) 消火設備の消火剤の容量</p> <p>消火設備の消火剤は、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。</p> <p>ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出する設計とする。</p>	<p>さらに、火災の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となる箇所として多量の可燃性物質を取り扱う火災区域又は火災区画(危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所)、可燃性物質を取扱い構造上消火活動が困難となる火災区域又は火災区画(中央監視室等の床下)及び電気品室等の火災区域又は火災区画については、自動又は現場での手動操作による固定式のガス消火装置を設置することにより、消火活動を可能とする設計とする。</p> <p>このうち、中央監視室等の床下に設置する固定式のガス消火装置は、窒素消火装置を設置する設計とする。</p> <p>高線量区域のうち、燃料集合体貯蔵室は、通常運転時において人の立ち入りがなく、可燃性物質又は着火源になり得るものもないこと及び可燃性物質の持ち込み管理をすること並びに火災に至るおそれはないことから固定式のガス消火装置を設置しない設計とする。</p> <p>上記以外の火災区域又は火災区画については、取り扱う可燃性物質の量が少ないこと、消火活動の際に扉を開放することで隣室からの消火が可能なこと、MOX 燃料加工施設は換気設備により負圧にして閉じ込める設計としており、換気設備による排煙が可能であり、有効に煙の除去又は煙が降下するまでの時間が確保できることにより消火活動が困難とならないため、消防法又は建築基準法に基づく消火設備で消火する設計とする。</p> <p>なお、消火設備の破損、誤作動又は誤操作のほか、火災感知設備の破損、誤作動又は誤操作に伴う溢水に対する影響は、溢水に対する防護設計に包絡されるため、「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」に基づく設計とする。</p> <p>(緊急時対策建屋に設置する消火設備に係る設計方針については、緊急時対策建屋に設置する消火設備を申請する申請書で示す。)</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の消火設備は、以下の設計とする。</p> <p>(1) 消火設備の消火剤の容量</p> <p>消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。</p> <p>ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とする。</p>



変 更 前	変 更 後
<p>また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出する設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。</p> <p>(消火水を使用する消火設備の水源に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) 消火設備の系統構成</p> <p>a. 消火用水供給系の多重性又は多様性</p> <p>(消火用水供給系の多重性又は多様性に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 系統分離に応じた独立性の考慮</p> <p>c. 消火用水の優先供給</p> <p>(消火用水の優先供給に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 消火設備の電源確保</p> <p>(再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備及び緊急時対策建屋の消火設備の電源確保に係る設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備及び緊急時対策建屋の消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>	<p>また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。</p> <p>(消火水を使用する消火設備の水源に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) 消火設備の系統構成</p> <p>a. 消火用水供給系の多重性又は多様性</p> <p>(消火用水供給系の多重性又は多様性に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 系統分離に応じた独立性の考慮</p> <p>MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を設置する火災区域又は火災区画の消火に用いる消火装置は、容器弁及び選択弁の動的機器の故障によっても系統分離に応じた独立性を備えた設計とする。</p> <p>同一区域に系統分離し設置する固定式のガス消火装置は、消火設備の動的機器の故障により、系統分離した設備に対する消火機能が同時に喪失することがないように、動的機器である容器弁及び選択弁のうち、容器弁(ボンベ含む)は必要数量に対し1以上多く設置するとともに、選択弁は各ラインにそれぞれ設置することにより同時に機能が喪失しない設計とする。</p> <p>なお、万一、系統上の選択弁の故障を想定しても、手動により選択弁を操作することにより、消火が可能な設計とする。</p> <p>c. 消火用水の優先供給</p> <p>(消火用水の優先供給に係る設計方針は、消火水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 消火設備の電源確保</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する消火活動が困難となる箇所の窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置並びにグローブボックス消火装置(不活性ガス消火装置)は、外部電源喪失時においても消火が可能となるよう、非常用所内電源設備から給電するとともに、設備の作動に必要な電源を供給する蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>(再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備及び緊急時対策建屋の消火設備の電源確保に係る設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備及び緊急時対策建屋の消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(4) 消火設備の配置上の考慮</p> <p>a. 火災による二次的影響の考慮</p> <p>b. <u>管理区域からの放出消火剤の流出防止</u>  <u>管理区域内で放出した消火水は、管理区域外への流出を防止するため、管理区域と管理区域外の境界に堰等を設置するとともに、各室の排水系統から低レベル廃液処理設備に回収し、処理する設計とする。</u></p> <p>c. 消火栓の配置  (消火栓の配置に係る設計方針は、水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(5) 消火設備の警報</p> <p>(緊急時対策建屋に設置する消火設備の故障警報に係る設計方針は、緊急時対策建屋に設置する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>	<p>(4) 消火設備の配置上の考慮</p> <p>a. 火災による二次的影響の考慮  屋内消火栓，窒素消火装置，グローブボックス消火装置等を適切に配置することにより，火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に火災の二次的影響が及ばない設計とする。  消火剤にガスを用いる場合は，電気絶縁性の高いガスを採用し，火災が発生している火災区域又は火災区画からの火炎，熱による直接的な影響のみならず，煙，流出流体，断線及び爆発等の二次的影響が火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に悪影響を及ぼさない設計とする。  消火設備は火災による熱の影響を受けても破損及び爆発が発生しないように，消火ガスボンベに接続する安全装置により消火ガスボンベの過圧を防止する設計とするとともに，消火ガスボンベ及び制御盤については消火対象を設置するエリアとは別の火災区域，火災区画又は十分に離れた位置に設置する設計とする。  また，煙の二次的影響が火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に悪影響を及ぼす場合は，延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p> <p>b. 管理区域からの放出消火剤の流出防止  管理区域内で放出した消火水は，管理区域外への流出を防止するため，管理区域と管理区域外の境界に堰等を設置するとともに，各室の排水系統から低レベル廃液処理設備に回収し，処理する設計とする。  また，管理区域においてガス系消火剤による消火を行った場合においても，換気設備の排気フィルタにより放射性物質を低減したのち，排気筒から放出する設計とする。  さらに，安全上重要な施設のグローブボックス内で発生する火災に対して，消火ガスの放出時には，グローブボックス排気設備を用いて，グローブボックス内の負圧を維持しながら，換気設備の排気フィルタを介して消火ガスの排気を行うことで，排気経路以外から放射性物質の放出を防止する設計とする。</p> <p>c. 消火栓の配置  (消火栓の配置に係る設計方針は，水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(5) 消火設備の警報</p> <p>a. 消火設備の故障警報  固定式のガス消火装置は，電源断等の故障警報を中央監視室に吹鳴する設計とする。  (緊急時対策建屋に設置する消火設備の故障警報に係る設計方針は，緊急時対策建屋に設置する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>

変 更 前	変 更 後
<p>b. 固定式のガス消火装置の退避警報</p> <p>(6) 消火設備に対する自然現象の考慮</p> <p>a. 凍結防止対策  (消火設備の凍結防止対策に係る設計方針は、水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 風水害対策  (再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の風水害対策に係る設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>c. 地盤変位対策  (消火設備に対する地盤変位対策に係る設計方針は、水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(7) その他</p> <p>a. 移動式消火設備  (移動式消火設備に係るその他の設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 消火用の照明器具</p> <p>c. ポンプ室</p> <p>d. 貯蔵設備</p>	<p>b. 固定式のガス消火装置の退避警報  窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置は、作動前に従事者等が退出できるよう警報又は音声警報を吹鳴する設計とする。</p> <p>(6) 消火設備に対する自然現象の考慮</p> <p>a. 凍結防止対策  (消火設備の凍結防止対策に係る設計方針は、水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 風水害対策  固定式のガス消火装置は風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないよう、建屋内に設置する設計とする。  (再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の風水害対策に係る設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>c. 地盤変位対策  (消火設備に対する地盤変位対策に係る設計方針は、水を使用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(7) その他</p> <p>a. 移動式消火設備  (移動式消火設備に係るその他の設計方針は、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>b. 消火用の照明器具  火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画の消火設備の現場盤操作等に必要の照明器具として、移動経路及び消火設備の現場盤周辺に、現場への移動時間に加え、消防法の消火継続時間 20 分を考慮し、1 時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。</p> <p>c. ポンプ室  火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のポンプの設置場所のうち、火災発生時の煙の充満により消火活動が困難な場所には、固定式の消火設備を設置する設計とする。  また、上記以外のポンプを設置している部屋は、換気設備による排煙が可能であることから、煙が滞留し難い構造としており、人による消火が可能な設計とする。</p> <p>d. 貯蔵設備  燃料集合体貯蔵設備、燃料棒貯蔵設備及び貯蔵容器一時保管設備は、未臨界になるように間隔を設けたラック或いはピットに貯蔵することから、消火活動により消火用水が放水されても未臨界を維持できる設計とする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>7.1.1.1.4 火災及び爆発の影響軽減設備</p> <p>(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備の系統分離のための火災影響軽減設備</p> <p>a. 3時間耐火隔壁</p> <p>b. 6m以上離隔, 火災感知設備及び自動消火設備</p> <p>c. 1時間耐火隔壁, 火災感知設備及び自動消火設備</p> <p>(2) 中央監視室制御盤内の火災影響軽減設備</p> <p>a. 高感度煙感知器 (高感度煙感知器に係る設計方針は, 火災感知設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 中央監視室床下の火災影響軽減設備</p>	<p>7.1.1.1.4 火災及び爆発の影響軽減設備</p> <p>(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備の系統分離のための火災影響軽減設備 MOX 燃料加工施設における火災防護上の系統分離は第1章 共通項目の「5.4.1(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備に対する影響軽減対策」に示す耐火隔壁, 火災感知設備及び自動消火設備により行う設計とする。 このうち, 火災及び爆発の影響軽減設備については, 耐火隔壁により構成し, 以下に示す設計とする。</p> <p>a. 3時間耐火隔壁 3時間耐火隔壁は, 互いに相違する系列を分離し, 火災及び爆発の影響を軽減するために, 3時間以上の耐火能力を有する耐火隔壁を設置する設計とする。</p> <p>b. 6m以上離隔, 火災感知設備及び自動消火設備 互いに相違する系列は, 火災及び爆発の影響を軽減するために, 水平距離間には仮置きするものを含め可燃性物質が存在しないようにし, 系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とする。 また, 火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計とする。 なお, 火災感知設備及び自動消火設備については「7.1.1.1.2 火災感知設備」及び「7.1.1.1.3 消火設備」に基づく設計とする。</p> <p>c. 1時間耐火隔壁, 火災感知設備及び自動消火設備 1時間耐火隔壁は, 互いに相違する系列を分離し, 火災及び爆発の影響を軽減するために, 1時間以上の耐火能力を有する耐火隔壁を設置する設計とする。 また, 火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計とする。 なお, 火災感知設備及び自動消火設備については「7.1.1.1.2 火災感知設備」及び「7.1.1.1.3 消火設備」に基づく設計とする。</p> <p>(2) 中央監視室制御盤内の火災影響軽減設備</p> <p>a. 高感度煙感知器 (高感度煙感知器に係る設計方針は, 火災感知設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 中央監視室床下の火災影響軽減設備 中央監視室床下の火災防護上の系統分離を講じる設備(ケーブル)の系統分離は, 第1章 共通項目の「5.4.1(2)b. 中央監視室床下の影響軽減対策」に示す耐火隔壁により行う設計とする。 なお, 耐火隔壁については, 本項(1)に基づく設計とする。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>7.1.1.1.5 設備の共用</p> <p>(火災防護設備の共用に係る設計方針は共用する火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備及び共用する防火扉の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>7.1.1.2 重大事故等対処設備 (重大事故等対処設備に係る設計方針は重大事故等対処設備を申請する申請書で示す。)</p> <p><u>火災防護設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト」に示す。</u></p>	<p>7.1.1.1.5 設備の共用</p> <p>MOX 燃料加工施設とウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵施設の境界の扉は、再処理施設と共用する。</p> <p>本扉は、火災区域設定のため、火災影響軽減設備として十分な耐火能力を有する設計とすることで、共用によってMOX 燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>(火災防護設備の共用に係る設計方針は共用する火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備及び消火設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>7.1.1.2 重大事故等対処設備 (重大事故等対処設備に係る設計方針は重大事故等対処設備を申請する申請書で示す。)</p> <p>火災防護設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト」に示す。</p>

変更前	変更後
<p>7.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備</p> <p>7.2.1 核燃料物質の検査設備</p> <p>検査設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「7. 遮蔽」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>検査設備は、各工程で取り扱う核燃料物質を検査する分析設備で構成する。また、グローブボックス及びオープンポートボックスを設置する設計とする。</p> <p>分析装置グローブボックスは、標準試料（核分裂性Pu割合が83%を超えるプルトニウム、ウラン中のウラン-235含有率が1.6%を超えるウラン、ウラン-233を含むウランなど）として、少量の金属プルトニウム、金属ウラン等を保管することができる設計とする。</p> <p>7.2.1.1 核燃料物質の検査設備の構成</p> <p>分析設備は、MOX燃料加工施設内の各工程から少量の核燃料物質である分析試料の移送及び分析する設計とする。</p> <p>核燃料物質の検査設備は、制御第2室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p> <p>7.2.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>分析設備は、気送装置、受払装置グローブボックス、受払装置、分析装置オープンポートボックス、分析装置フード、分析装置グローブボックス、分析装置、分析済液処理装置グローブボックス、分析済液処理装置及び運搬台車で構成する。</p> <p>(1) 気送装置</p> <p>気送装置は、分析設備と成形施設のペレット加工工程のペレット検査設備等との間で、核燃料物質を搬送する設計とする。</p> <p>(2) 受払装置グローブボックス</p> <p>受払装置グローブボックスは、その内部に受払装置を設置する設計とする。</p> <p>(3) 受払装置</p> <p>受払装置は、本装置と分析装置との間で核燃料物質の搬送を行う設計とし、1台設置する設計とする。</p> <p>(4) 分析装置オープンポートボックス</p> <p>分析装置オープンポートボックスは、室内の空気を開口部から吸引し、排気ダクトを介してグローブボックス排風機の連続運転によって排気することで、開口部の空気流入風速を設定値以上に維持できる設計とし、汚染のおそれのある物品の汚染検査を行う際に、オープンポー</p>	<p>7.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備</p> <p>7.2.1 核燃料物質の検査設備</p> <p>検査設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 遮蔽」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>検査設備は、各工程で取り扱う核燃料物質を検査する分析設備で構成する。また、グローブボックス及びオープンポートボックスを設置する設計とする。</p> <p>分析装置グローブボックスは、標準試料（核分裂性Pu割合が83%を超えるプルトニウム、ウラン中のウラン-235含有率が1.6%を超えるウラン、ウラン-233を含むウランなど）として、少量の金属プルトニウム、金属ウラン等を保管することができる設計とする。</p> <p>7.2.1.1 核燃料物質の検査設備の構成</p> <p>変更なし</p> <p>7.2.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>トボックス外への汚染の拡大を防ぐ設計とする。</p> <p>(5) 分析装置フード 分析装置フードは、室内の空気を開口部から吸引し、排気ダクトを介してグローブボックス排風機の連続運転によって排気することで、開口部の空気流入風速を設定値以上に維持する設計とし、汚染のおそれのある物品の汚染検査を行う際に、フード外への汚染の拡大を防ぐ設計とする。</p> <p>(6) 分析装置グローブボックス 分析装置グローブボックスは、その内部に分析装置を設置する設計とする。 また、分析装置グローブボックスは、標準試料として、少量の金属プルトニウム、金属ウラン等を保管する設計とする。</p> <p>(7) 分析装置 分析装置は、プルトニウム・ウラン分析、不純物分析及び物性測定を行う設計とする。また、保障措置検査用の核燃料物質の処理を行う設計とする。 分析装置は、標準試料として、少量の金属プルトニウム、金属ウラン等を使用又は保管する設計とする。また、スクラップの容器待機を実施する設計とする。 分析装置は、分析装置間で核燃料物質の搬送を行う設計とする。</p> <p>(8) 分析済液処理装置グローブボックス 分析済液処理装置グローブボックスは、その内部に分析済液処理装置を設置する設計とする。</p> <p>(9) 分析済液処理装置 分析済液処理装置は、分析済液からウラン及びプルトニウムをRS粉末として回収し、成形施設の粉末調整工程のスクラップ処理設備の再生スクラップ受払装置又は低レベル廃液処理設備へ払い出す設計とする。また、スクラップの容器の払い出しまでの一時的な保管を行う設計とする。 分析済液を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続する構造とし、放射性物質が漏えいしにくい設計とする。</p> <p>(10) 運搬台車 運搬台車は、分析設備と実験設備の小規模試験設備等との間で、バッグアウトしたMOXを搬送する設計とする。また、分析装置と分析済液処理装置との間で、バッグアウトした分析済液を搬送する設計とする。</p>	<p>核燃料物質の検査設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト」に示す。</p>

変 更 前	変 更 後
<p>7.4 その他の主要な事項</p> <p>7.4.1 溢水防護設備</p> <p><u>溢水防護設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、MOX燃料加工施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>そのために、MOX燃料加工施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)による溢水、MOX燃料加工施設内で生じる異常状態(火災を含む。)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水が発生した場合においても、溢水防護設備により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>溢水防護設備は、壁(貫通部止水処置を含む。)、防水扉、水密扉、堰、床ドレン逆止弁、溢水防護板、自動検知・遠隔隔離システム、ターミナルエンド防護カバー、蒸気防護板、地震計、緊急遮断弁、漏えい検知器及び液位計で構成し、以下の設計とすることにより、溢水防護対象設備が溢水により安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>(1) 流入防止対策として設置する壁(貫通部止水処置を含む。)、防水扉、水密扉、堰及び床ドレン逆止弁は、壁、扉、堰、床段差等の設置状況を踏まえて流入防止対策を図ることにより、溢水防護区画外の溢水に対して、流入を防止する設計とする。</u></p> <p><u>また、溢水防護対象設備周囲に設置する堰は、溢水防護対象設備が没水しないよう設置する設計とする。</u></p> <p><u>流入防止対策として設置する壁(貫通部止水処置を含む。)、防水扉、水密扉、堰及び床ドレン逆止弁並びに溢水防護対象設備周囲に設置する堰は、発生した溢水による水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</u></p> <p>(MOX燃料加工施設に設置する溢水防護設備及びその基本設計方針については、溢水防護設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p><u>溢水防護設備については、保守点検等の運用を適切に実施することを保安規定に定めて、管理する。</u></p>	<p>7.4 その他の主要な事項</p> <p>7.4.1 溢水防護設備</p> <p>変更なし</p> <p>(MOX燃料加工施設に設置する溢水防護設備及びその基本設計方針については、溢水防護設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>変更なし</p>



変 更 前	変 更 後
<p>7.4.2 警報関連設備</p> <p>警報関連設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>(1) 臨界検知用ガスモニタ (臨界検知用ガスモニタに係る設計方針については、臨界検知用ガスモニタの詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) グローブボックス負圧・温度監視設備 (グローブボックス負圧・温度監視設備に係る設計方針については、グローブボックス負圧・温度監視設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) サンプ液位、漏えい液受皿液位、堰内液位 —</p> <p>(4) 焼結炉内部温度高による過加熱防止回路 (焼結炉内部温度高による過加熱防止回路に係る設計方針については、焼結炉内部温度高による過加熱防止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(5) 小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路 (小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路に係る設計方針については、小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(6) 小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路 (小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路に係る設計方針については、小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(7) 混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路 (混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路に係る設計方針については、混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>	<p>7.4.2 警報関連設備</p> <p>警報関連設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」、「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>警報関連設備は、臨界検知用ガスモニタ、グローブボックス負圧・温度監視設備、漏えい検知器、焼結炉内部温度高による過加熱防止回路、小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路、小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路、混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路及び混合ガス濃度異常遮断弁で構成する。</p> <p>(1) 臨界検知用ガスモニタ (臨界検知用ガスモニタに係る設計方針については、臨界検知用ガスモニタの詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(2) グローブボックス負圧・温度監視設備 (グローブボックス負圧・温度監視設備に係る設計方針については、グローブボックス負圧・温度監視設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) サンプ液位、漏えい液受皿液位、堰内液位 液体廃棄物を内包する貯槽等から液体状の放射性物質が著しく漏えいするおそれが生じたことを検知するため、液体廃棄物を内包する貯槽等を設置する工程室のサンプ又は堰内及び液体状の放射性物質を取り扱うグローブボックス又はオープンポートボックスの漏えい液受皿に漏えい検知器を設置するとともに、警報表示及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。 漏えい検知器は、液体状の放射性物質の漏えいを検知した場合に、中央監視室に警報を発する設計とする。</p> <p>(4) 焼結炉内部温度高による過加熱防止回路 (焼結炉内部温度高による過加熱防止回路に係る設計方針については、焼結炉内部温度高による過加熱防止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(5) 小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路 (小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路に係る設計方針については、小規模焼結処理装置内部温度高による過加熱防止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(6) 小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路 (小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路に係る設計方針については、小規模焼結処理装置への冷却水流量低による加熱停止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(7) 混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路 (混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路に係る設計方針については、混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p>

変 更 前	変 更 後
<p>(8) 混合ガス濃度異常遮断弁 (混合ガス濃度異常遮断弁に係る設計方針については、混合ガス濃度異常遮断弁の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>7.4.3 冷却水設備 冷却水設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 冷却水設備は、成形施設のペレット加工工程の焼結設備の焼結炉及び排ガス処理装置並びに実験設備の小規模試験設備の小規模焼結処理装置及び小規模焼結炉排ガス処理装置の冷却を行う設計とする。</p> <p>7.4.4 給排水衛生設備 給排水衛生設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 給排水衛生設備は、工業用水設備、飲料水設備及び再処理施設の給水処理設備(再処理施設及び廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))で構成し、MOX燃料加工施設の運転に必要な工業用水及び飲料水を確保及び供給する設計とする。</p> <p>(1) 工業用水設備 工業用水設備は、成形施設のペレット加工工程の焼結設備の焼結炉等の湿分添加水、核燃料物質の検査設備の分析設備の分析済液処理装置及び低レベル廃液処理設備の機器洗浄用水、廃液希釈用水等として工業用水を供給する設計とする。</p> <p>(2) 飲料水設備 (飲料水設備に係る基本設計方針については、飲料水設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 給水処理設備 (給水処理設備に係る基本設計方針については、給水処理設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>7.4.5 空調用設備 空調用設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3.</p>	<p>(8) 混合ガス濃度異常遮断弁 (混合ガス濃度異常遮断弁に係る設計方針については、混合ガス濃度異常遮断弁の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>警報関連設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-4-2表 警報関連設備の主要設備リスト」に示す。</p> <p>7.4.3 冷却水設備 冷却水設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 冷却水設備は、成形施設のペレット加工工程の焼結設備の焼結炉及び排ガス処理装置並びに実験設備の小規模試験設備の小規模焼結処理装置及び小規模焼結炉排ガス処理装置の冷却を行う設計とする。</p> <p>7.4.4 給排水衛生設備 給排水衛生設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 給排水衛生設備は、工業用水設備、飲料水設備及び再処理施設の給水処理設備(再処理施設及び廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))で構成し、MOX燃料加工施設の運転に必要な工業用水及び飲料水を確保及び供給する設計とする。</p> <p>(1) 工業用水設備 変更なし</p> <p>(2) 飲料水設備 (飲料水設備に係る基本設計方針については、飲料水設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(3) 給水処理設備 (給水処理設備に係る基本設計方針については、給水処理設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>7.4.5 空調用設備 空調用設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3.</p>

変 更 前	変 更 後
<p>自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>(1) 空調用冷水設備 空調用冷水設備は、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備によって燃料加工建屋内に取り込んだ外気を給気系の冷却コイルで冷却する設計とする。また、空調用冷水は、空調用冷凍機と給気系の冷却コイルとの間で循環及び冷却する設計とする。</p> <p>(2) 空調用蒸気設備 空調用蒸気設備は、気体廃棄物の廃棄設備の給気設備によって燃料加工建屋内に取り込んだ外気を給気系の加熱コイルで加熱する設計とする。</p> <p>(3) 燃料油供給設備(再処理施設と共用(以下同じ。)) (燃料油供給設備に係る基本設計方針については、燃料油供給設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(4) 非管理区域換気空調設備 非管理区域換気空調設備は、燃料加工建屋の非管理区域の換気・空調を行う設計とする。</p> <p>7.4.6 窒素循環関係設備 窒素循環関係設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>(1) 窒素循環冷却機用冷却水設備 窒素循環冷却機用冷却水設備は、燃料加工建屋内に設置するローカルクーラ及び循環窒素冷却用冷凍機の空調用機械に冷却水を供給し、循環及び冷却する設計とする。</p> <p>(2) 窒素ガス供給設備 窒素ガス供給設備は、空気から窒素を抽出する窒素ガス発生装置により、窒素雰囲気型グローブボックス並びに粉末調整工程、ペレット加工工程、燃料棒加工工程、燃料集合体組立工程、梱包出荷工程及び核燃料物質の検査設備の分析設備の窒素ガスを用いる各装置に、窒素ガスを供給する設計とする。</p> <p>7.4.8 その他ガス設備 その他ガス設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 MOX燃料加工施設の主要な設備のほか、MOX燃料加工施設を操業するために必要な設備・機器として、ヘリウムガス設備、酸素ガス設備及び圧縮空気供給設備を設置する設計とする。</p>	<p>自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>(1) 空調用冷水設備 変更なし</p> <p>(2) 空調用蒸気設備 変更なし</p> <p>(3) 燃料油供給設備(再処理施設と共用(以下同じ。)) (燃料油供給設備に係る基本設計方針については、燃料油供給設備の詳細設計の対象となる申請書で示す。)</p> <p>(4) 非管理区域換気空調設備 変更なし</p> <p>7.4.6 窒素循環関係設備 窒素循環関係設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>(1) 窒素循環冷却機用冷却水設備 変更なし</p> <p>(2) 窒素ガス供給設備 変更なし</p> <p>7.4.8 その他ガス設備 その他ガス設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」,「3. 自然現象等」,「5. 火災等による損傷の防止」,「6. 加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8. 設備に対する要求」に基づくものとする。 MOX燃料加工施設の主要な設備のほか、MOX燃料加工施設を操業するために必要な設備・機器として、ヘリウムガス設備、酸素ガス設備及び圧縮空気供給設備を設置する設計とする。</p>

第1-1表 成形施設の主要設備リスト(1/2)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後						
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類	
燃料加工建屋	-	建屋・洞道	燃料加工建屋	非安重(一部安重)	S*2	-	-/1.2 S s	変更なし					
		遮蔽設備	建屋遮蔽(燃料加工建屋)	非安重	B	-	-	変更なし					
			遮蔽扉(燃料加工建屋)	非安重	C	-	-	変更なし					
			遮蔽蓋(燃料加工建屋)	非安重	-	-	-	変更なし					
		建物・構築物(施設外漏えい防止堰)	-			-			施設外漏えい防止堰(液体廃棄物処理第3室出入口)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(液体廃棄物処理第3室と液体廃棄物処理第2室境界)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(液体廃棄物処理第1室出入口)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(液体廃棄物処理第1室と液体廃棄物処理第2室境界)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(放管試料前処理室出入口)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(放管試料前処理室と放射能測定室前室境界)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(輸送容器保管室出入口)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(輸送容器保管室と輸送容器検査室境界)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(輸送容器保管室とダクト点検室境界)	非安重	C	-	-
									施設外漏えい防止堰(輸送容器保管室と南第1附室上境界)	非安重	C	-	-
施設外漏えい防止堰(分析第3室内)	非安重	C	-	-									

MOX② 共-0172 A

第1-1表 成形施設の主要設備リスト(2/2)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	
			名称	安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類	名称	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
貯蔵容器搬送用洞道	-	建屋・洞道	貯蔵容器搬送用洞道	非安重	B	-	-	変更なし			
		遮蔽設備	洞道遮蔽(貯蔵容器搬送用洞道)	非安重	B	-	-	変更なし			

注記 \*1：第1-1表に用いる略語の定義は「付表1」による。

\*2：安全上重要な施設として選定する構築物である原料受払室，原料受払室前室，粉末調整第1室，粉末調整第2室，粉末調整第3室，粉末調整第4室，粉末調整第5室，粉末調整第6室，粉末調整第7室，粉末調整室前室，粉末一時保管室，点検第1室，点検第2室，ペレット加工第1室，ペレット加工第2室，ペレット加工第3室，ペレット加工第4室，ペレット加工室前室，ペレット一時保管室，ペレット・スクラップ貯蔵室，点検第3室，点検第4室，現場監視第1室，現場監視第2室，スクラップ処理室，スクラップ処理室前室及び分析第3室で構成する区域の境界の壁及び床をSクラスとする。

付表1 略語の定義 (1/2)

		略語	定義
設計基準対象の施設	安重区分	安重	安全機能を有する施設のうち、安全上重要な施設
		非安重	安全上重要な施設を除く、安全機能を有する施設
	耐震重要度分類	S	耐震重要度分類におけるSクラス
		B	耐震重要度分類におけるBクラス（B-1、B-2、B-3及びB-4を除く）
		B-1	Bクラスの設備のうち、共振のおそれがあるため、弾性設計用地震動S <sub>d</sub> に2分の1を乗じたものによる地震力に対して耐震性を保持できる設計とするもの
		B-2	Bクラスの設備のうち、波及的影響によって、耐震重要施設がその安全機能を損なわないように設計するもの
		B-3	耐震重要度分類におけるBクラス施設のうち、一時保管ピット、原料MOX粉末缶一時保管装置、粉末一時保管装置、ペレット一時保管棚、スクラップ貯蔵棚、製品ペレット貯蔵棚、燃料棒貯蔵棚及び燃料集合体貯蔵チャンネルは、基準地震動S <sub>s</sub> による地震力に対して過大な変形等が生じないように設計するもの
		B-4	耐震重要度分類におけるBクラス施設のうち、Sクラスのグローブボックスを循環する経路については、基準地震動S <sub>s</sub> による地震動に対して耐震性が確保される設計のもの
		C	耐震重要度分類におけるCクラス（C-1、C-2及びC-3を除く）
		C-1	Cクラスの設備のうち、波及的影響によって、耐震重要施設がその安全機能を損なわないように設計するもの
		C-2	Cクラスの設備のうち、基準地震動S <sub>s</sub> による地震力に対して火災感知及び消火の機能並びに溢水を防止する機能を保持できる設計とするもの
		C-3	Cクラス施設のうち、基準地震動S <sub>s</sub> による地震力に対して地下水の排水機能を保持できる設計とするもの
		—	上記以外（当該施設において設計基準対象の施設として使用しないものを含む）

付表1 略語の定義 (2/2)

		略語	定義
設計基準対象の施設	機器区分	1種	加工施設の技術基準に関する規則の解釈（別記）における「加工第1種機器」
		2種	加工施設の技術基準に関する規則の解釈（別記）における「加工第2種機器」
		3種	加工施設の技術基準に関する規則の解釈（別記）における「加工第3種機器」
		—	上記以外（当該施設において設計基準対象の施設として使用しないものを含む）
重大事故等対処設備	設備区分	常設耐震	技術基準規則第二十七条第一項第一号に規定する「常設耐震重要重大事故等対処設備」
		常設	技術基準規則第二十七条第一項第二号に規定する「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」
		可搬	重大事故等対処設備のうち可搬型のもの
		1.2 S s	基準地震動の1.2倍の地震力に対して必要な機能を損なわないよう設計するもの
		—	当該施設において重大事故等対処設備として使用しないもの

第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(1/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
スタック編成設備	-	搬送設備	空乾燥ボート取扱装置	非安重	B-1	-	-	変更なし			
		機械装置	波板トレイ取出装置	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			スタック編成装置	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			スタック収容装置	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			核物質等取扱ボックス	スタック編成設備グローブボックス	非安重	B-1	-	-	変更なし		
		空乾燥ボート取扱装置グローブボックス		非安重	B-1	-	-	変更なし			
スタック乾燥設備	搬送設備	乾燥ボート供給装置	非安重	B-1	-	-	変更なし				
		乾燥ボート取出装置	非安重	B-1	-	-	変更なし				
	機械装置	スタック乾燥装置	非安重	B-1	-	-	変更なし				
	核物質等取扱ボックス	乾燥ボート供給装置グローブボックス	非安重	B-1	-	-	変更なし				
		乾燥ボート取出装置グローブボックス	非安重	B-1	-	-	変更なし				



第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(2/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後						
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類	
挿入溶接設備	-	機械装置	-	-	-	-	スタック供給装置	非安重	B-1	-	-		
							挿入溶接装置	非安重	B-1	-	-		
							除染装置	非安重	B-1	-	-		
							汚染検査装置	非安重	B-1	-	-		
		核物質等取扱ボックス	-	-	-	-	-	-	スタック供給装置グローブボックス	非安重	B-1	-	-
									挿入溶接装置(被覆管取扱部)グローブボックス	非安重	B-1	-	-
									挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス	非安重	B-1	-	-
									挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス	非安重	B-1	-	-
									除染装置グローブボックス	非安重	B-1	-	-
									被覆管供給装置オープンポートボックス	非安重	C	-	-
									部材供給装置(部材供給部)オープンポートボックス	非安重	C	-	-
									部材供給装置(部材搬送部)オープンポートボックス	非安重	C	-	-
									汚染検査装置オープンポートボックス	非安重	C	-	-

第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(3/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
燃料棒検査設備	-	搬送設備	燃料棒移載装置	非安重*2	B B-1	-	-	変更なし				
		機械装置	-	-	-	-	-	ヘリウムリーク検査装置	非安重	B-1	-	-
								X線検査装置	非安重	B-1	-	-
								ロッドスキャニング装置	非安重	B-1	-	-
								外観寸法検査装置	非安重	B-1	-	-
								燃料棒立会検査装置	非安重*3	B-1	-	-
燃料棒収容設備	-	運搬・製品容器	貯蔵マガジン	非安重	-	-	-	変更なし				
搬送設備		貯蔵マガジン移載装置	非安重	B B-1	-	-	変更なし					
機械装置		燃料棒収容装置	非安重	B-1	-	-	変更なし					
		燃料棒供給装置	非安重*4	B B-1	-	-	変更なし					

第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(4/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
燃料棒解体設備	-	機械装置		-			燃料棒解体装置	非安重	B-1	-	-	
		核物質等取扱ボックス					燃料棒解体装置グローブボックス	非安重	B-1	-	-	
							溶接試料前処理装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							燃料棒搬入オープンポートボックス	非安重	C	-	-	
							溶接試料前処理装置オープンポートボックス	非安重	C	-	-	
燃料棒加工工程搬送設備	-	搬送設備	ペレット保管容器搬送装置	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ポート搬送装置	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			燃料棒搬送装置	非安重	B	-	-	変更なし				
	核物質等取扱ボックス		ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-4	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-5	非安重	B-1	-	-	変更なし				

第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(5/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
燃料棒加工工程搬送設備	-	核物質等取扱ボックス	ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-9	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-11	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-1	非安重	B	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-2	非安重	B	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-4	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-5	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-8	非安重	B-1	-	-	変更なし				

第1-2表 被覆施設の主要設備リスト(6/6)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
燃料棒加工工程搬送設備	-	核物質等取扱ボックス	乾燥ボート搬送装置グローブボックス-9	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-13	非安重	B-1	-	-	変更なし			
			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14	非安重	B-1	-	-	変更なし			

注記 \*1：第1-2表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

\*2：ゲート-1，ゲート-2，ゲート-3は安重とする。

\*3：ゲート-4は安重とする。

\*4：ゲートは安重とする。

第1-3表 組立施設の主要設備リスト(1/2)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			設備分類	名称	設計基準対象の施設*			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
燃料集合体組立設備	-	製品・運搬容器	-			組立マガジン	非安重	-	-	-		
		機械装置	-			マガジン編成装置	非安重	B-1	-	-		
						燃料集合体組立装置	非安重	B-1	-	-		
燃料集合体洗浄設備	-	機械装置	-			燃料集合体洗浄装置	非安重	B-1	-	-		
燃料集合体検査設備	-	機械装置	-			燃料集合体第1検査装置	非安重	B-1	-	-		
						燃料集合体第2検査装置	非安重	B-1	-	-		
						燃料集合体仮置台	非安重	B-1	-	-		
						燃料集合体立会検査装置	非安重	B-1	-	-		

第1-3表 組立施設の主要設備リスト(2/2)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			名称	設計基準対象の施設*				
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
燃料集合体組立工程搬送設備	-	搬送設備	組立クレーン	非安重	B-1	-	-	変更なし				
			-	-	-	-	リフト	非安重	B-1	-	-	
梱包・出荷設備	-	搬送設備	-	-	-	-	貯蔵梱包クレーン	非安重	B-1	-	-	
							梱包天井クレーン	非安重	B-1	-	-	
							保管室天井クレーン	非安重	C	-	-	
							容器移載装置	非安重	B-1	-	-	
	-	機械装置	-	-	-	-	-	燃料ホルダ取付装置	非安重	B-1	-	-
								容器蓋取付装置	非安重	B-1	-	-
								遮蔽設備	非安重	C	-	-

注記 \*：第1-3表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(1/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*	名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
貯蔵容器 一時保管設備	—	ラック/ピット/棚	一時保管ピット	安重	B-3	—	—	変更なし				
原料MOX粉末缶 一時保管設備	—	ラック/ピット/棚	—	—	—	—	原料MOX粉末缶一時保管装置	安重	B-1	—	—	
		搬送設備	—	—	—	—	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	非安重	B-2	—	—	
		核物質等取扱ボックス	—	—	—	—	原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス	安重	S	—	—	
ウラン貯蔵設備	—	ラック/ピット/棚	—	—	—	—	ウラン貯蔵棚	非安重	B-1	—	—	



第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(2/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			設備分類	名称	設計基準対象の施設*			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
粉末一時保管設備	-	運搬・製品容器	容器(J60)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(J85)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(5缶バスケット)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(1缶バスケット)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(CS・RS保管ポット)	非安重	-	-	-	変更なし				
			-	-	-	-	-	容器(先行試験ポット)	非安重	-	-	-
		ラック/ピット/棚	粉末一時保管装置1	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
				B-3								
			粉末一時保管装置2	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
				B-3								
			粉末一時保管装置3	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
B-3												
粉末一時保管装置4	安重	B-1	-	-	変更なし							
	B-2											
	B-3											

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(3/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*			名称	設計基準対象の施設*			
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
粉末一時保管設備	-	ラック/ ピット/ 棚	粉末一時保管装置5	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	-	変更なし
					B-2				B-2		
					B-3				B-3		
			粉末一時保管装置6	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	-	変更なし
					B-2				B-2		
					B-3				B-3		
			粉末一時保管装置7	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	-	変更なし
					B-2				B-2		
					B-3				B-3		
			粉末一時保管装置8	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	-	変更なし
					B-2				B-2		
					B-3				B-3		
粉末一時保管装置9	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	-	変更なし			
		B-2				B-2					
		B-3				B-3					

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(4/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後			
			名称	設計基準対象の施設*			名称	設計基準対象の施設*		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類
粉末一時保管設備	-	ラック/ ピット/ 棚	粉末一時保管装置10	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	変更なし
					B-2				B-2	
					B-3				B-3	
			粉末一時保管装置11	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	変更なし
					B-2				B-2	
					B-3				B-3	
		粉末一時保管装置12	安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	変更なし	
				B-2				B-2		
				B-3				B-3		
		搬送設備	粉末一時保管搬送装置	非安重	B-1	-	-	変更なし	B-1	変更なし
		B-2	B-2							
		核物質等 取扱ボッ クス	粉末一時保管装置グローブボックス-1	安重	B-1	-	-	変更なし	S	変更なし
粉末一時保管装置グローブボックス-2	安重		S	-	-	変更なし				
粉末一時保管装置グローブボックス-3	安重		S	-	-	変更なし				
粉末一時保管装置グローブボックス-4	安重		S	-	-	変更なし				
粉末一時保管装置グローブボックス-5	安重		S	-	-	変更なし				
粉末一時保管装置グローブボックス-6	安重		B-1	-	-	変更なし	S	変更なし		

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(5/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			設備分類	名称	設計基準対象の施設*			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
ペレット一時保管設備	-	運搬・製品容器	収納パレット-1	非安重	-	-	-	変更なし				
			収納パレット-2	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(焼結ボート)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(先行試験焼結ボート)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(スクラップ焼結ボート)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(規格外ペレット保管容器)	非安重	-	-	-	変更なし				
		ラック/ピット/棚	ペレット一時保管棚-1	安重	B-1	-	-	-	変更なし			
				B-2								
				B-3								
			ペレット一時保管棚-2	安重	B-1	-	-	-	変更なし			
				B-2								
				B-3								
		ペレット一時保管棚-3	安重	B-1	-	-	-	変更なし				
			B-2									
			B-3									
		搬送設備	焼結ボート入出庫装置-1	非安重	B-1	-	-	-	変更なし			
				B-2								
			焼結ボート入出庫装置-2	非安重	B-1	-	-	-	変更なし			
				B-2								
			焼結ボート受渡装置-1	非安重	B-1	-	-	-	変更なし			
B-2												
焼結ボート受渡装置-2	非安重		B-1	-	-	-	変更なし					
	B-2											

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(6/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*			名称	設計基準対象の施設*			
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
ペレット一時保管設備	-	搬送設備	焼結ボート受渡装置-3	非安重	B-1	-	-	変更なし			
					B-2						
			焼結ボート受渡装置-4	非安重	B-1	-	-	変更なし			
					B-2						
			焼結ボート受渡装置-5	非安重	B-1	-	-	変更なし			
					B-2						
		焼結ボート受渡装置-6	非安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2							
		焼結ボート受渡装置-7	非安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2							
		焼結ボート受渡装置-8	非安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2							
		核物質等取扱ボックス	ペレット一時保管棚グローブボックス-1	安重	S	-	-	変更なし			
			ペレット一時保管棚グローブボックス-2	安重	S	-	-	変更なし			
ペレット一時保管棚グローブボックス-3	安重		S	-	-	変更なし					
焼結ボート受渡装置グローブボックス-1	安重		S	-	-	変更なし					
焼結ボート受渡装置グローブボックス-2	安重		S	-	-	変更なし					
焼結ボート受渡装置グローブボックス-3	安重		S	-	-	変更なし					
焼結ボート受渡装置グローブボックス-4	安重		S	-	-	変更なし					
遮蔽設備	遮蔽扉(ペレット一時保管設備)	非安重	B-1	-	-	変更なし					
	B-2										

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(7/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*	名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
スクラップ貯蔵設備	-	運搬・製品容器	収納パレット	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(9缶バスケット)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(規格外ペレット保管容器)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(ペレット保管容器)	非安重	-	-	-	変更なし				
			容器(CS・RS保管ポット)	非安重	-	-	-	変更なし				
		ラック/ピット/棚	スクラップ貯蔵棚-1	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
				B-3								
			スクラップ貯蔵棚-2	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
				B-3								
			スクラップ貯蔵棚-3	安重	B-1	-	-	変更なし				
				B-2								
				B-3								
スクラップ貯蔵棚-4	安重		B-1	-	-	変更なし						
	B-2											
	B-3											
スクラップ貯蔵棚-5	安重	B-1	-	-	変更なし							
	B-2											
	B-3											

MOX② 共-00189 A

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(8/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*	名称	設計基準対象の施設*		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類
スクラップ貯蔵設備	-	搬送設備	スクラップ保管容器入出庫装置	非安重	B-1	-	-	変更なし			
					B-2						
			スクラップ保管容器受渡装置-1	非安重	B	-	-	変更なし	B-1	変更なし	
							B-2				
		スクラップ保管容器受渡装置-2	非安重	B	-	-	変更なし	B-1	変更なし		
							B-2				
		核物質等取扱ボックス	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1	安重	S	-	-	変更なし			
			スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2	安重	S	-	-	変更なし			
			スクラップ貯蔵棚グローブボックス-3	安重	S	-	-	変更なし			
			スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4	安重	S	-	-	変更なし			
スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5	安重		S	-	-	変更なし					
スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	安重		S	-	-	変更なし					
スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	安重	S	-	-	変更なし						
製品ペレット貯蔵設備	-	運搬・製品容器	収納パレット	非安重	-	-	-	変更なし			
			容器(ペレット保管容器)	非安重	-	-	-	変更なし			
			容器(ペレット保存試料保管容器)	非安重	-	-	-	変更なし			

第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(9/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*	名称	設計基準対象の施設*			重大事故等対処設備*
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
製品ペレット貯蔵設備	-	ラック/ ピット/ 棚	製品ペレット貯蔵棚-1	安重	B-1	-	-	変更なし				
					B-2							
					B-3							
			製品ペレット貯蔵棚-2	安重	B-1	-	-		変更なし			
					B-2							
					B-3							
			製品ペレット貯蔵棚-3	安重	B-1	-	-			変更なし		
					B-2							
					B-3							
			製品ペレット貯蔵棚-4	安重	B-1	-	-				変更なし	
					B-2							
					B-3							
			製品ペレット貯蔵棚-5	安重	B-1	-	-					変更なし
					B-2							
					B-3							
搬送設備		ペレット保管容器入庫装置	非安重	B-1	-	-	変更なし					
				B-2								
		ペレット保管容器受渡装置-1	非安重	B-1	-	-		変更なし				
				B-2								
		ペレット保管容器受渡装置-2	非安重	B-1	-	-			変更なし			
				B-2								
核物質等 取扱ボ ックス		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1	安重	S	-	-	変更なし					
		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2	安重	S	-	-	変更なし					
		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3	安重	S	-	-	変更なし					



第1-4表 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備リスト(10/10)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			設備分類	名称	設計基準対象の施設*			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
製品ペレット貯蔵設備	-	核物質等取扱ボックス	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4	安重	S	-	-	変更なし				
			製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5	安重	S	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	安重	S	-	-	変更なし				
			ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2	安重	S	-	-	変更なし				
燃料棒貯蔵設備	-	ラック/ピット/棚	燃料棒貯蔵棚-1	安重	B B-3	-	-	変更なし				
			燃料棒貯蔵棚-2	安重	B B-3	-	-	変更なし				
	搬送設備	貯蔵マガジン入出庫装置	非安重	B-1	-	-	変更なし					
		-	-	-	-	ウラン燃料棒収容装置	非安重	C	-	-		
		遮蔽設備	-	-	-	遮蔽扉(燃料棒貯蔵設備)	非安重	C	-	-		
燃料集合体貯蔵設備	-	ラック/ピット/棚	-	-	-	-	燃料集合体貯蔵チャンネル	安重	B-1 B-3	-	-	
			-	-	-	-	遮蔽蓋(燃料集合体貯蔵設備)	非安重	-	-	-	
	遮蔽設備	-	-	-	-	遮蔽蓋支持架台	非安重	B	-	-		

注記 \*：第1-4表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(1/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類
建屋排気設備	建屋排気設備	主配管		—			C1 区域用建屋排気フィルタユニット A, B, C, C2 区域用建屋排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W ～ 建屋排風機 A, B, C ～ 排気筒	非安重	C	—	—
		フィルタ		—			C1 区域用建屋排気フィルタユニット	非安重	C	—	—
				—			C2 区域用建屋排気フィルタユニット	非安重	C	—	—
		ファン		—			建屋排風機	非安重	C	—	—
工程室排気設備	工程室排気設備	主配管		—			手動ダンパ(W5562, W5565, W5568) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点1	安重	S	—	—
				—			手動ダンパ(W5572) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点2	安重	S	—	—
				—			手動ダンパ(W5584) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点3	安重	S	—	—
				—			手動ダンパ(W5573) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点4	安重	S	—	—

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(2/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
工程室排気設備	工程室排気設備	主配管	-				手動ダンパ(W5582)	安重	S	-	-	
							～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点5					
							手動ダンパ(W9099, W5775)					
							～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点6					
							手動ダンパ(W5593, W5779, W9092), ペレット加工第2室吸込口					
							～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点7					
							手動ダンパ(W5596)					
～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点8												
手動ダンパ(W9090, W9091)												
～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点9												
手動ダンパ(W5580, W5586, W5598, W5600)												
～ 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K												
手動ダンパ(W5433, W5436)												
手動ダンパ(W5294)												
											常設耐震/1.2S s	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(3/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後							
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類		機器区分	設備分類
工程室排気設備	工程室排気設備	主配管		-			手動ダンパ(W5294)	安重	S	-	-			
							～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点10							
							工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K							
		～ 工程室排風機入口手動ダンパ(W5142, W5143)					非安重					C	-	常設耐震/1.2S s
		～ 工程室排気閉止ダンパ(PD W3084, W3085)												
		～ 工程室排風機A, B												
		～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部					非安重					C*2	-	常設/ー
		可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部												
		～ 排気筒												
		フィルタ											-	
工程室排気フィルタユニット(PA0171-F-322)														
工程室排気フィルタユニット(PA0171-F-323)														
工程室排気フィルタユニット(PA0171-F-324)														
工程室排気フィルタユニット(PA0171-F-325)														

MOX② 共-0195 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(4/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
工程室排気設備	工程室排気設備	フィルタ		-			工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-326)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-327)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-328)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-329)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-330)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-331)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s	
	ファン		-			工程室排風機	非安重	C	-	-		

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(5/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		—			(スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84349, F-84350, F-84351, F-84352, F-84353, F-84354)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)～製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84345, F-84346, F-84347)), (ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10, 延焼防止ダンパ (SPD W3161)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84357, F-84358)), (焼結ボート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42, 延焼防止ダンパ (SPD W3165, W3166, W3167, W3168)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84333, F-84334)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317, F-80318)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-39, 焼結ペレット供給装置 A グローブボックス, 研削装置 A グローブボックス, ペレット検査設備 A グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84335, F-84336, F-84337, F-84338)),	安重	S	—	—	

MOX② 共-0197 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(6/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(焼結ボート搬送装置グローブボックス-35, -37~グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84329, F-84330, F-84331, F-84332)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80321, F-80322)~研削粉回収装置A, Bグローブボックス, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -3, -5, -7, -8, -11~グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84343, F-84344, F-84355, F-84356)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80319, F-80320)~焼結ボート搬送装置グローブボックス-41, 焼結ペレット供給装置Bグローブボックス, 研削装置Bグローブボックス, ペレット検査設備Bグローブボックス~グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84339, F-84340, F-84341, F-84342)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80310, F-80311)~排ガス処理装置Bグローブボックス(上部), (下部)~グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84321, F-84322, F-84323, F-84324)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80308, F-80309)~排ガス処理装置Aグローブボックス(上部), (下部)~グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84317, F-84318, F-84319, F-84320)),	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(7/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(焼結ボート搬送装置グローブボックス-19, -20, -21, 焼結ボート供給装置A, B, Cグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84309, F-84310, F-84311, F-84312)), (焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -31, 焼結ボート取出装置A, B, Cグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84313, F-84314, F-84315, F-84316)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80312, F-80313)～排ガス処理装置Cグローブボックス(上部), (下部)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84325, F-84326, F-84327, F-84328)), 手動ダンパ(W8431), 延焼防止ダンパ (SPD W3142, W3144, W3162, W3164, W3169, W3170, W3182, W3184, W3186, W3187) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1(B3F)	安重	S	-	-



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(8/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			((グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80217, F-80218)～再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80219, F-80220)～小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス), 小規模試験設備取合点～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84243, F-84244, F-84245, F-84246)), (小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-2, -4, 資材保管装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模研削検査装置グローブボックス, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-47, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス, 小規模試験設備取合点～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84247, F-84248, F-84249, F-84250)), 延焼防止ダンパ(SPD W3197, W3201, W3202), 手動ダンパ(W5447, W8537, W8545, W8546, W8547, W8550, W8551, W8553, W8554, W8555, W8556, W8557, W8558, W8559, W8568, W8572, W8632, W8637, W8638) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6426)	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(9/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					気密逆止ダンパ(ATCD W6426) ～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点2(B2F)	安重	S	—	—
							手動ダンパ(W8589) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6425)	安重	S	—	—
							気密逆止ダンパ(ATCD W6425) ～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点3(B2F)	安重	S	—	—
							グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点1(B3F)～グローブボ ックス排気フィルタユニット入口ダクト合 流点2(B2F)～グローブボックス排気フイ ルタユニット入口ダクト合流点3(B2F)～ 可搬型排風機入口接続口分岐点	安重	S	—	常設耐震/1.2 S s
							可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ (W5144, W5145) ～ グローブボックス排気閉止ダンパ(PD W3086, W3087) ～ グローブボックス排風機A, B	安重	S	—	常設耐震/1.2 S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(10/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					グローブボックス排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	非安重	C	—	常設耐震/1.2 S s
							可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部 ～ 排気筒	非安重	C*2	—	—
							手動ダンパ(W8591) ～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点4(B1F)	安重	S	—	—
						—	(予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点1(B3F)	安重	S	—	常設耐震/1.2 S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(11/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-	-	-	-	原料MOX粉末秤量・分取装置A, Bグローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス ～ 予備混合装置グローブボックス出口ダクト合流点1, 2, 3	安重	S	-	-
							調整粉末搬送装置-14, -16グローブボックス, 一次混合装置Bグローブボックス ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス出口ダクト合流点1, 2	安重	S	-	-
							調整粉末搬送装置-8グローブボックス ～ 造粒装置グローブボックス出口ダクト合流点	安重	S	-	-
							調整粉末搬送装置-9グローブボックス ～ 均一化混合装置グローブボックス出口ダクト合流点	安重	S	-	-
							(原料MOX粉末缶一時保管設備グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84201, F-84202, F-84203, F-84204)), (回収粉末微粉碎装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84205, F-84206, F-84207, F-84208)), 延焼防止ダンパ(SPD W3107, W3109, W3151) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点5(B3F)	安重	S	-	-

MOX② 共-0203 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(12/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					(原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, -2, -4, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84209, F-84210, F-84211, F-84212)), 延焼防止ダンパ (SPD W3111, W3153) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点6 (B3F)	安重	S	—	—
							(調整粉末搬送装置-11, -13グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 一次混合装置Aグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-52, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84231, F-84232, F-84233, F-84234)), 延焼防止ダンパ (SPD W3126, W3152) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点7 (B3F)	安重	S	—	—
							(ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1, -4, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-48～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84301, F-84302, F-84303, F-84304)), 延焼防止ダンパ (SPD W3130, W3156) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点8 (B3F)	安重	S	—	—

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(13/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					(ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-1～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84217, F-84218, F-84219, F-84220)), 延焼防止ダンパ (SPD W3115, W3157) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点9 (B3F)	安重	S	-	-
							(粉末一時保管装置グローブボックス-2, -3, -4, -5, 調整粉末搬送装置-3, -4, -19, -20グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84225, F-84226, F-84227, F-84228, F-84229, F-84230)), 延焼防止ダンパ (SPD W3118) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点10 (B3F)	安重	S	-	-
							(焼結ボート搬送装置グローブボックス-5, -8, -10, -11, -15, -16, -32, -34, -43, -46-1, 空焼結ボート取扱装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84305, F-84306, F-84307, F-84308)), 延焼防止ダンパ (SPD W3148) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点11 (B3F)	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(14/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-				延焼防止ダンパ(SPD W3154) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点12(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3113) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点13(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3155) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点14(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3128) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点15(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3158) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点16(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3171) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点17(B3F)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ(SPD W3146) ～ グローブボックス排気フィルタユニット ト入口ダクト合流点18(B3F)	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(15/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					延焼防止ダンパ(SPD W3117) ～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点19(B3F)	安重	S	—	—
				—			手動ダンパ(W8588) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80221, F-80222) ～ 小規模焼結処理装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模 プレス装置グローブボックス, 容器移送 装置グローブボックス-1, -2, -5, 小規模 粉末混合装置グローブボックス, 小規模 研削検査装置グローブボックス, 再生 スクラップ搬送装置グローブボックス- 2, 再生スクラップ受払装置グローブボッ クス, 焼結ボート搬送装置グローブボッ クス-46-2	安重	S	—	—



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(16/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後			
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		—		窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ(W8483, W8484, W8486, W8488, W8489, W8490, W8492, W8493, W8494, W8495, W8496, W8498, W8501, W8502, W8504, W8505), 吸込口 ～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80201)～原料MOX粉末缶一時保管設備グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80202)～回収粉末微粉碎装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80211, F-80212)～粉末一時保管装置グローブボックス-1, 調整粉末搬送装置-1, -3, -4, -11, -13, -14グローブボックス), グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80213, F-80214), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80203)～原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, -3, -4, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス), グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80204, F-80205),	安重	S	—	—

MOX② 共-0208 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(17/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80206)～ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80209, F-80210)～調整粉末搬送装置-6, -8, -9, -16, -19, -20グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1, 粉末一時保管装置グローブボックス-6), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339)～スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80301, F-80302)～ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, 焼結ポート受渡装置グローブボックス-1, -4, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-48),	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(18/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80314)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-35, -37),	安重	S	-	-
							(グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80303, F-80304)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-7, -8, -10, -11, -13, -14, -18, -19, -20, -21, -33, -45, 46-1, 空焼結ボート取扱装置グローブボックス),				
							(グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80305)～焼結ボート供給装置A, B, Cグローブボックス),				
							(グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80306, F-80307)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, -31, 焼結ボート取出装置A, B, Cグローブボックス)				
							グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80213, F-80214)～回収粉末処理・混合装置グローブボックス	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							回収粉末処理・混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 ～ 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1, -3, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-49, 一次混合装置A, Bグローブボックス	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(19/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s
							予備混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3, 4, 5, 6 ～ ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 原料MOX粉末秤量・分取装置A, Bグローブボックス, 原料粉末搬送装置-6グローブボックス	安重	S	—	—
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s
							造粒装置グローブボックス入口ダクト分岐点 ～ 調整粉末搬送装置-8, -9グローブボックス	安重	S	—	—
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s

MOX② 共-0211 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(20/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					プレス装置A(プレス部)グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2 ～ プレス装置A(粉末取扱部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Aグローブボックス	安重	S	—	—
							プレス装置B(プレス部)グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3 ～ 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置B(粉末取扱部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Bグローブボックス	安重	S	—	—
				—			(グローブボックス給気フィルタ(PA0145-F-10802, F-10801)～燃料棒解体装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0145-F-10843, F-10844)), (搬送装置-1グローブボックス-3～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-80841, F-80842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-31801)～γ線測定装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-31841, F-31842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-45801)～質量分析装置Eグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-45841, F-45842)),	非安重	B-1	—	—

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(21/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-25801)～イオン交換装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-25802)～イオン交換装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-26801)～試料塗布装置グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-25841, F-25842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-30801)～α線測定装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-44801)～質量分析装置Dグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-44841, F-44842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-43801)～質量分析装置Cグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-43841, F-43842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-24801)～スパイキング装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-24802)～スパイキング装置グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-24841, F-24842)),	非安重	B-1	-	-

MOX② 共-0213 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(22/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-23801)～スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-23802)～スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2)～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-23841, F-23842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-42801)～質量分析装置Bグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-42841, F-42842)), (搬送装置-2グローブボックス-1～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-81841, F-81842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-22801)～スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-22802)～スパイク試料調製装置-2グローブボックス-2)～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-22841, F-22842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21801)～スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21802)～スパイク試料調製装置-1グローブボックス-2)～グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-21841, F-21842)),	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(23/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後			
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-		(試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-20841, F-20842)), (プルトニウム含有率分析装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-40841, F-40842)), (受払・分配装置グローブボックス, 蛍光X線分析装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-10841, F-10842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0166-F-10801)～収去試料受払装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0166-F-20801)～収去試料調製装置グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0166-F-10841, F-10842)), 手動ダンパ(W8630, W8631), 302 分析第一室入口取合点 ～ 手動ダンパ(W8638)	非安重	B-1	-	-



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(24/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(受払装置グローブボックス,分配装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-10841, F-10842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20803)～試料溶解・調製装置-2グローブボックス-3), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20802)～試料溶解・調製装置-2グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20801)～試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-20841, F-20842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-76801)～X線回析測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52802)～炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801)～炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-52841, F-52842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-53801)～塩素・フッ素分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-70801)～粉末物性測定装置グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-53841, F-53842)),	非安重	B-1	-	-

MOX② 共-0216 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(25/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					((グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-71802)～金相試験装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-71801)～金相試験装置グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-71841, F-71842)) ～ 手動ダンパ(W8537)	非安重	B-1	-	-
							搬送装置-3グローブボックス-4 ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-80841, F-80842) ～ 手動ダンパ(W8545)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-54801) ～ EPMA分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-54841, F-54842) ～ 手動ダンパ(W8546)	非安重	B-1	-	-

MOX② 共-0217 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(26/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-72801) ～ プルトニウムスポット検査装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72841, F-72842) ～ 手動ダンパ (W8547)	非安重	B-1	-	-
							フードB ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01843, F-01844) ～ 手動ダンパ (W8637)	非安重	C	-	-
							プルトニウムスポット検査装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72843, F-72844) ～ 手動ダンパ (W8632)	非安重	C	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(27/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					(グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-73801)～液浸密度測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-74801)～熱分析装置グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-73841, F-73842) ～ 手動ダンパ(W8550)	非安重	B-1	-	-
							(グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-75801)～ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-75802)～ペレット溶解性試験装置グローブボックス-2) ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-75841, F-75842) ～ 手動ダンパ(W8551)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-55801) ～ ICP-発光分光分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-55841, F-55842) ～ 手動ダンパ(W8553)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(28/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-56801)～ICP-質量分析装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-56841, F-56842)～手動ダンパ (W8554)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-57801) ～ 水素分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-57841, F-57842) ～ 手動ダンパ (W8555)	非安重	B-1	-	-
							水分分析装置グローブボックス, O/M比測定装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-50841, F-50842) ～ 手動ダンパ (W8556)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-58801) ～ 蒸発性不純物測定装置Aグローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-58841, F-58842) ～ 手動ダンパ (W8557)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(29/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-50801, F-50802)～放射能濃度分析グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)～分析済液中和固液分離グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-10841, F-10842) ～ 手動ダンパ (W8558)	非安重	B-1	-	-
							(スタック編成設備Aグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-11841, F-11842)), (スタック編成設備Bグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-21841, F-21842)), (ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3, -14～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-10841, F-10842)) ～ 手動ダンパ (W8568)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(30/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			(乾燥ボート取出装置A,Bグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3, 挿入溶接装置(燃料棒溶接部)A, Bグローブボックス, スタック供給装置A, Bグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0142-F-13841, F-13842, F-13843, F-13844)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0143-F-16801, F-16802)～除染装置Aグローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0143-F-26801, F-26802)～除染装置Bグローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ(PA0143-F-16841, F-16842)), (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12～グローブボックス排気フィルタ(PA0144-F-20843, F-20844)), (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11～グローブボックス排気フィルタ(PA0144-F-20841, F-20842), ピストンダンパ(PD W3522, W8579), 手動ダンパ(W8576, W8577, W8581) ～ 手動ダンパ(W8572)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(31/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					手動ダンパ(W5230), 吸気口～グローブボックス給気フィルタ(0142-F-13801)～乾燥ポート取出装置A, Bグローブボックス, 乾燥ポート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10, 挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, Bグローブボックス	非安重	B-1	-	-
			-				(グローブボックス給気フィルタ(PA0167-F-30801, F-30802)～ろ過・第1活性炭処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0167-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0167-F-40801, F-40802)～第2活性炭・吸着処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0167-F-40841, F-40842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0167-F-60802, F-60801)～放射能濃度分析グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ(PA0167-F-60841, F-60842)) ～ 手動ダンパ(W5447)	非安重	B-1	-	-



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(32/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80337, F-80338) ～ ペレット立会検査装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84361, F-84362) ～ 手動ダンパ (W8589)	非安重	B-1	-	-	
							(吸着処理オープンポートボックス,ろ過処理オープンポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0172-F-10841, F-10842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-61841, F-61842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-62841, F-62842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-63841, F-63842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-64841, F-64842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0173-F-80401, F-80402)～選別・保管グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0173-F-84401, F-84402)) ～ 気密逆止ダンパ (ATCD W6429)	非安重	C	-	-	
							気密逆止ダンパ (ATCD W6429) ～ 手動ダンパ (W8591)	非安重	C	-	-	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(33/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管					ウラン粉末払出装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84103, F-84104) ～ 手動ダンパ (W8559)	非安重	C	—	—
							ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-13 ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84359, F-84360), 延焼防止ダンパ (SPD W3163) ～ 手動ダンパ (W8431)	非安重	B-1	—	—
							新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7191) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802) ～ 部材供給装置 (部材搬送部) Aオープンポートボックス	非安重	C	—	—
							新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7195) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-24801, F-24802) ～ 部材供給装置 (部材搬送部) Bオープンポートボックス	非安重	C	—	—
							新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7196) ～ 手動ダンパ (W5822)	非安重	C	—	—

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(34/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管		-			手動ダンパ(W5822) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0144-F-20801, F-20802) ～ 乾燥ポート搬送装置グローブボックス-11	非安重	B-1	-	-
							新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7192) ～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-10801, F-10802)～受払・分配装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-47801, F-47802)～蛍光X線分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-80801, F-80802)～搬送装置-1グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-40801, F-40802)～プルトニウム含有率分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-20803, F-20804)～試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-20801, F-20802)～試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(35/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-	-	-	-	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7161)～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-51801, F-51802)～水分分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-50801, F-50802)～O/M比測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-10801, F-10802)～受払装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-80801, F-80802)～搬送装置-3グローブボックス-1)	非安重	B-1	-	-
							新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7173)～ 新鮮窒素供給配管弁(0171-W3917, W3918)	非安重	C	-	-
							新鮮窒素供給配管弁(0171-W3917)～ グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80315, F-80316) ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(36/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-				新鮮窒素供給配管弁(0171-W3918)	安重	S	-	-
							～ グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80327, F-80328)				
							～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10				
							グローブボックス給気フィルタ(PA0142-F-11801, F-11802)				
							～ 乾燥ボート供給装置Aグローブボックス				
							グローブボックス給気フィルタ(PA0142-F-21801, F-21802)				
							～ 乾燥ボート供給装置Bグローブボックス				
グローブボックス給気フィルタ(PA0144-F-10803, F-10804)	非安重	B-1	-	-							
～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8, -14											
グローブボックス給気フィルタ(PA0144-F-10805, F-10806)											
～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10											
グローブボックス給気フィルタ(PA0144-F-20803, F-20804)											
～ 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14											

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(37/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10801, F-10802)	非安重	B-1	-	-
							～				
							ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6				
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10807, F-10808)				
							～				
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12											
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-81801)				
							～				
							搬送装置-2グローブボックス-3				
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330)				
							～				
							ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14				
							(グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-20801, F-20802)～溶接試料前処理装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20841, F-20842)), (溶接試料前処理装置オープンポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20843, F-20844)), (燃料棒搬入オープンポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10841, F-10842))), ～手動ダンパ (W8631)				
								非安重	C	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(38/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-	-	-	-	フードA ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01841, F-01842) ～ 手動ダンパ(W8630)	非安重	C	-	-
							貯蔵容器受払装置オープンポートボックス, 外蓋着脱装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84101, F-84102) ～ 102 原料受払室出口取合点	非安重	C	-	-
							102 原料受払室出口取合点 ～ 手動ダンパ(W5299)	非安重	C	-	-
							手動ダンパ(W5299) ～ 302 分析第一室入口取合点	非安重	C	-	-
							被覆管供給装置A, Bオープンポートボックス, 汚染検査装置A, Bオープンポートボックス, 部材供給装置(部材供給部)A, Bオープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-12841, F-12842) ～ 手動ダンパ(W8581)	非安重	C	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(39/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	主配管	-				部材供給装置(部材搬送部)Aオープンポートボックス	非安重	C	-	-
							～				
							グローブボックス排気フィルタ(PA0143-F-14841, F-14842)				
							～				
							手動ダンパ(W8576)				
部材供給装置(部材搬送部)Bオープンポートボックス	非安重	C	-	-							
～											
グローブボックス排気フィルタ(PA0143-F-24841, F-24842)											
～											
手動ダンパ(W8577)											
手動ダンパ(W8388)	非安重	B-1	-	-							
～											
排ガス処理装置Aグローブボックス(下部)											
～											
手動ダンパ(W8914)											
手動ダンパ(W8395)	非安重	B-1	-	-							
～											
排ガス処理装置Bグローブボックス(下部)											
～											
手動ダンパ(W8920)											
手動ダンパ(W8399)～排ガス処理装置Cグローブボックス(下部)～手動ダンパ(W8926)	非安重	B-1	-	-							



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(40/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ					グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-13801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-21801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-21802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801)	非安重	C	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14802)	非安重	C	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-26801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-26802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-24801)	非安重	C	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-24802)	非安重	C	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10807)	非安重	B-1	-	-
				グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10808)	非安重	B-1	-	-			

MOX② 共-0232 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(41/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10801)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10802)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10804)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10805)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10806)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20803)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20804)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20801)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20802)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-10801)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-10802)	非安重	B-1	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-20801)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-20802)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-10801)	非安重	B	-	-	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(42/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-10802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-47801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-47802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20803)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20804)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-40801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-40802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-22801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-22802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-23801)	非安重	B-1	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-23802)	非安重	B-1	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(43/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-24801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-24802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-25801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-25802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-31801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-26801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-42801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-43801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-44801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-45801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-30801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-80801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-80802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-81801)	非安重	B-1	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-10801)	非安重	B	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(44/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-10802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-51801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-51802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-50801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-50802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20803)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-76801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-53801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-70801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-71802)	非安重	B-1	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-71801)	非安重	B-1	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(45/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-58801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-57801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-56801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-55801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-75801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-75802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-73801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-74801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-72801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-54801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-80801)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-80802)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0166-F-10801)	非安重	B-1	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(46/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0166-F-20801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-30801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-30802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-40801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-40802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-50801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-50802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-60801)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-60802)	非安重	B-1	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80203)	安重	S	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(47/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80205)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80206)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80208)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80209)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80210)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80211)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80212)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80214)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80216)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80218)	安重	S	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219)	安重	S	-	-							



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(48/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80220)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80221)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80222)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80301)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80302)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80304)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80306)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80307)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80308)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80309)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80310)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80311)	安重	S	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80312)	安重	S	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(49/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80313)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80314)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80315)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80316)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80318)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80319)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80320)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80321)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80322)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80323)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80324)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80325)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80326)	安重	S	-	-
グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327)	安重	S	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (50/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80328)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80330)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80331)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80332)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80333)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80334)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80335)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80336)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80337)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80338)	非安重	B	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80339)	安重	S	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0173-F-80401)	非安重	C	-	-
							グローブボックス給気フィルタ (PA0173-F-80402)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-11841)	非安重	B	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (51/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ					グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-11842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-21841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-21842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13843)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13844)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-12841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-12842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-16841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-16842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-14841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-14842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-24841)	非安重	C	-	-
				グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-24842)	非安重	C	-	-			

MOX② 共-0243 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (52/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-10841)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-10842)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20843)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20844)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20841)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20842)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10843)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10844)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10841)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10842)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20841)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20842)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20843)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20844)	非安重	C	-	-	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(53/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ					グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-10841)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-10842)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-20841)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-20842)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-40841)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-40842)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-21841)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-21842)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-22841)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-22842)	非安重	B	—	—
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-23841)	非安重	B	—	—

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(54/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-23842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-24841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-24842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-25841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-25842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-31841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-31842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-42841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-42842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-43841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-43842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-44841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-44842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-45841)	非安重	B	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-45842)	非安重	B	-	-							

MOX② 共-0245 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (55/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-30841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-30842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-80841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-80842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-81841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-81842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-10841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-10842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-50841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-50842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-20841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-20842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-52841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-52842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-53841)	非安重	B	-	-



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(56/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-53842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-71841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-71842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-58841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-58842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-57841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-57842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-56841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-56842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-55841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-55842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-75841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-75842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-73841)	非安重	B	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-73842)	非安重	B	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(57/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72843)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72844)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-54841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-54842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-80841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-80842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01843)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01844)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0166-F-10841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0166-F-10842)	非安重	B	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-10841)	非安重	B	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(58/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ		-			グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-10842)	非安重	B	-	-	
							グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-30841)	非安重	B	-	-	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (59/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-30842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-40841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-40842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-60841)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-60842)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0172-F-10841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0172-F-10842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-61841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-61842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-62841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-62842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-63841)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-63842)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-64841)	非安重	C	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-64842)	非安重	C	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (60/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84101)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84102)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84103)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84104)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84201)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84202)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84203)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84204)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84205)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84206)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84207)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84208)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84209)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84210)	安重	S	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84211)	安重	S	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (61/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84212)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84214)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84215)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84216)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84217)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84218)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84219)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84220)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84222)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84223)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84224)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84225)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84226)	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(62/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ		-			グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84227)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84228)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84229)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84230)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84231)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84232)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84233)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84234)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84236)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84237)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84238)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84240)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84241)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(63/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84242)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84243)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84244)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84245)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84246)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84247)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84248)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84249)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84250)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84301)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84302)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84303)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84304)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84305)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84306)	安重	S	-	-



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(64/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ					グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84307)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84308)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84309)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84310)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84311)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84312)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84313)63	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84314)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84315)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84316)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84317)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84318)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84319)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84320)	安重	S	-	-
				グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84321)	安重	S	-	-			

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (65/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ					グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84322)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84323)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84324)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84325)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84326)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84327)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84328)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84329)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84330)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84331)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84332)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84333)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84334)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84335)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84336)	安重	S	-	-

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(66/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84337)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84338)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84339)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84340)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84341)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84342)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84343)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84344)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84345)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84346)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84347)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84349)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84350)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84351)	安重	S	-	-
グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84352)	安重	S	-	-							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(67/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84353)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84354)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84355)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84356)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84357)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84358)	安重	S	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84359)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84360)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84361)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84362)	非安重	B	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0173-F-84401)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタ (PA0173-F-84402)	非安重	C	-	-
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-421)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-422)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-423)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s							

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(68/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後			
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類
グローブボックス排気設備	グローブボックス排気設備	フィルタ		-		グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-424)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
						グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-425)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
						グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-426)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
						グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-427)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
						グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-428)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
						グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-429)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
		ファン	-			グローブボックス排風機	安重	S	-	-
窒素循環設備	窒素循環設備	主配管	-		延焼防止ダンパ (SPD W3107, W3109, W3111, W3113, W3115, W3117, W3118, W3126, W3128, W3130, W3142, W3144, W3146, W3148, W3182, W3184)	安重	B-1	-	-	
					302 分析第一室入口取合点		B-4			
					302 分析第一室入口取合点	安重	B-1	-	-	
					窒素循環戻りダクト合流点1 (B2F)		B-4			
延焼防止ダンパ (SPD W3197)	安重	B-1	-	-						
気密逆止ダンパ (ATCD W6424)		B-4								
気密逆止ダンパ (ATCD W6424)	安重	B-1	-	-						
窒素循環戻りダクト合流点1 (B2F)		B-4								

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(69/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
窒素循環設備	窒素循環設備	主配管		-			窒素循環戻りダクト合流点1 (B2F) ～ 窒素循環冷却機A, B ～ 窒素循環ファンA, B ～ 窒素循環給気ダクト分岐点1 (B2F)	安重	B-1	-	-
							B-4				
							窒素循環給気ダクト分岐点1 (B2F) ～ ピストンダンパ (PD W3523)	安重	B-1	-	-
							B-4				
							ピストンダンパ (PD W3523) ～ 手動ダンパ (W8588)	安重	B-1	-	-
							B-4				
							窒素循環給気ダクト分岐点1 (B2F) ～ 302 分析第一室出口取合点	安重	B-1	-	-
							B-4				
		302 分析第一室出口取合点 ～ 窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ (W8483, W8484, W8486, W8488, W8489, W8490, W8492, W8493, W8494, W8495, W8496, W8498, W8501, W8502, W8504, W8505)	安重	B-1	-	-					
		B-4									
手動ダンパ (W8579) ～ 窒素循環戻りダクト合流点2 (B2F) 窒素循環給気ダクト分岐点2 (B2F) ～ 手動ダンパ (W5230)	非安重	B-1	-	-							
B-1											
ファン							窒素循環ファン	安重	B-4	-	-
機械装置							窒素循環冷却機	安重	B-4	-	-

MOX② 共-0260 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(70/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80205)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80208)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80214)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80216)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84214)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84215)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84216)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(71/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84222)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84223)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84224)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84236)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84237)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84238)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84240)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84241)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84242)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-421)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-422)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(72/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-423)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-424)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-425)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-426)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-427)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-428)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-429)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-322)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-323)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-324)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-325)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-326)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(73/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	フィルタ	-	-	-	-	工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-327)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-328)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-329)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-330)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
							工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-331)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
	主配管	-	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点1 (B3F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2 (B2F)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	
							～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点3 (B2F)～可搬型排風機 入口接続口分岐点					
							可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ (W5144, W5145) ～ グローブボックス排気閉止ダンパ (PD W3086, W3087) ～ グローブボックス排風機A, B	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s	

MOX② 共-0264 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(74/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	主配管					グローブボックス排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	非安重	C	—	常設耐震/1.2 S s
							(予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1(B3F)	安重	S	—	常設耐震/1.2 S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214) ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2 S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(75/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
外部放出抑制設備	外部放出抑制設備	主配管					グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s	
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス	安重	S	—	常設耐震/1.2S s	
							手動ダンパ(W5580, W5586, W5598, W5600) ～ 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K	安重	S	—	常設耐震/1.2S s	
							工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K ～ 工程室排風機入口手動ダンパ (W5142, W5143) ～ 工程室排気閉止ダンパ(PD W3084, W3085) ～ 工程室排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	非安重	C	—	常設耐震/1.2S s	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(76/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
代替グローブボックス排気設備	代替グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80205)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80208)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80214)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80216)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84214)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84215)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84216)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s

MOX② 共-0267 A

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(77/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
代替グローブボックス排気設備	代替グローブボックス排気設備	フィルタ	-	-	-	-	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84222)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84223)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84224)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84236)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84237)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84238)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84240)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84241)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s
							グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84242)	安重	S	-	常設耐震/1.2S s

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(78/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
代替グローブボックス排気設備	代替グローブボックス排気設備	主配管		-			グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点1(B3F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2(B2F)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点3(B2F)～可搬型排風機 入口接続口分岐点				
							(予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242))	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
						～ グローブボックス排気フィルタユニット 入口ダクト合流点1(B3F)					

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(79/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
代替グローブボックス排気設備	代替グローブボックス排気設備	主配管	-	-	-	-	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s
							～				
							回収粉末処理・混合装置グローブボックス				
							グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205)				
							～				
予備混合装置グローブボックス											
グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208)	安重	S	-	常設耐震/1.2 S s							
～											
造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス											
グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216)											
～											
プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス											
可搬型排風機入口接続口分岐点	-	S	-	常設耐震/1.2 S s							
～											
可搬型排風機入口接続口											



第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(80/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
低レベル廃液処理設備	低レベル廃液処理系	容器	—	—	—	—	イオン系廃液検査槽	非安重	C	—	—	
							固体系廃液検査槽	非安重	C	—	—	
							ろ過処理前槽	非安重	C	—	—	
							ろ過処理後槽	非安重	C	—	—	
							吸着処理前槽	非安重	C	—	—	
							吸着処理後槽	非安重	C	—	—	
							廃液貯槽	非安重	C	—	—	
		ポンプ		—	—	—	イオン系廃液検査槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							固体系廃液検査槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							ろ過処理前槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							ろ過処理後槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							吸着処理前槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							吸着処理後槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							廃液貯槽ポンプ	非安重	C	—	—	

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(81/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後																				
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1															
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類		機器区分	設備分類													
低レベル廃液処理設備	低レベル廃液処理系	ろ過装置		-			第1ろ過処理装置	非安重	C	-	-																
							第2ろ過処理装置	非安重	C	-	-																
							精密ろ過装置	非安重	C	-	-																
							限外ろ過装置	非安重	C	-	-																
							吸着処理塔	非安重	C	-	-																
	主配管			-			イオン系廃液検査槽A, B ～ イオン系廃液検査槽ポンプA, B ～ 廃液貯槽A, B, C, 吸着処理前槽	非安重	C		-	-															
							固体系廃液検査槽A, B ～ 固体系廃液検査槽ポンプA, B ～ 廃液貯槽A, B, C, ろ過処理前槽						非安重	C		-	-										
							吸着処理前槽 ～ 吸着処理前槽ポンプ ～ 吸着処理塔A, B ～ 吸着処理後槽 ～ 吸着処理後槽ポンプ ～ 廃液貯槽A, B, C, ろ過処理前槽											非安重	C		-	-					
																							非安重	C		-	-
	非安重	C		-	-																						

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(82/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後								
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1					
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類			
低レベル廃液処理設備	低レベル廃液処理系	主配管	-	-	-	-	ろ過処理前槽 ～ ろ過処理前槽ポンプ ～ 第1ろ過処理装置 ～ 第2ろ過処理装置 ～ 精密ろ過装置 ～ 限外ろ過装置 ～ ろ過処理後槽 ～ ろ過処理後槽ポンプ ～ 廃液貯槽A, B, C, 吸着処理前槽	非安重	C	-	-				
							廃液貯槽A, B, C ～ 廃液貯槽ポンプA, B ～ 吸着処理前槽, ろ過処理前槽, 排水口 (0172-W3054)					非安重	C	-	-
							分析済液処理装置境界弁 (0167-W3001) ～ イオン系廃液検査槽A, B								

第1-5表 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(83/83)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
低レベル廃液処理設備	低レベル廃液処理系	核物質等取扱ボックス	-	-	-	-	ろ過処理オープンポートボックス	非安重	C	-	-	
							吸着処理オープンポートボックス	非安重	C	-	-	
		-	-	-	-	-	-	液体廃棄物処理第3室サンプ液位	非安重	C	-	-
								液体廃棄物処理第1室サンプ液位	非安重	C	-	-
								床ドレン回収槽第2室サンプ液位	非安重	C	-	-
								床ドレン回収槽第1Aサンプ液位	非安重	C	-	-
								吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-
								ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-

注記 \*1：第1-5表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

\*2：基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(1/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類
—	—	火災区域構造物及び火災区画構造物	火災区域構造物及び火災区画構造物(燃料加工建屋)	非安重	C*2	—	—	変更なし			
			—				火災区域構造物及び火災区画構造物(貯蔵容器搬送用洞道)	非安重	C	—	—
消火設備	窒素消火装置	容器	—	—	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2, -1-3 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4, -1-5 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6, -1-7 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス貯蔵容器 窒素ガス加圧容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2, -2-3 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4, -2-5 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-6 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	—	—
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1 窒素ガス貯蔵容器 窒素ガス加圧容器	非安重	C-2	—	—

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(2/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	窒素消火装置	容器	-				窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2, -3-3 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器 窒素ガス加圧容器	非安重	C-2	-	-	
	二酸化炭素消火装置	容器		非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	非安重	C-2	-	-				
				非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	非安重	C-2	-	-				
				非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	非安重	C-2	-	-				
				非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	非安重	C-2	-	-				
	グローブボックス消火装置	容器		グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-				
				グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3, -1-4 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-				
				グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-				
				グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-				
グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3, -2-4 窒素ガス貯蔵容器			安重	S	-	-						

MOX② 共-0273 A

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(3/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	グローブボックス消火装置	容器	-	-	-	-	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 窒素ガス貯蔵容器	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器	非安重	C	-	-	
	-	主要弁	-	-	-	-	ピストンダンパ (PA0120-W0001)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0120-W0003)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0001)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0021)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0023)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0025)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0031)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0033)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0130-W0035)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W3917)	安重	S	-	-	
ピストンダンパ (PA0171-W3918)	安重	S	-	-								
ピストンダンパ (PA0171-W6721)	安重	S	-	-								
ピストンダンパ (PA0171-W6722)	安重	S	-	-								

MOX② 共-0274 A

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(4/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	-	主要弁	-	-	-	-	ピストンダンパ (PA0171-W6723)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6724)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6725)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6726)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6728)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6729)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6730)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6731)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6732)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6733)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6734)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6735)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6736)	安重	S	-	-	
							ピストンダンパ (PA0171-W6737)	安重	S	-	-	
ピストンダンパ (PA0171-W6739)	安重	S	-	-								



第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(5/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	窒素消火装置	主配管	—	—	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2, -1-3, -1-4, -1-5, -1-6, -1-7, -1-8(窒素ガス貯蔵容器) ～ 窒素消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-6ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-7ガス出口1選択弁	非安重	C-2	—	—	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口1選択弁 ～ 127ペレット加工第2室	非安重	C-2	—	—	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口2選択弁 ～ 404排風機室	非安重	C-2	—	—	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(6/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口1選択弁 ～ (窒素消火用選択弁ユニット-1-13ガス出口1選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-14ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-15ガス出口1, 2選択弁), (窒素消火用選択弁ユニット-1-11ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-1-12ガス出口1, 2選択弁)	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-13ガス出口1選択弁 ～ 302分析第1室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-14ガス出口2選択弁 ～ 312燃料棒解体室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-14ガス出口1選択弁 ～ 322燃料棒加工第3室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-15ガス出口1選択弁 ～ 307ペレット立会室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-15ガス出口2選択弁 ～ 317ウラン粉末準備室	非安重	C	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(7/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-1-11ガス出口1選択弁 ～ 313分析第2室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-11ガス出口2選択弁 ～ 314燃料棒加工第1室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-12ガス出口1選択弁 ～ 202貯蔵容器受入第1室, 104貯蔵容器受入第2室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口2選択弁 ～ 120ペレット加工第3室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口1選択弁 ～ 114点検第4室 ～ 113ペレット・スクラップ貯蔵室 ～ 112点検第3室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口2選択弁 ～ 116ペレット加工第4室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(8/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口1選択弁 ～ 119ペレット一時保管室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口2選択弁 ～ 135北第2制御盤室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口1選択弁 ～ 204制御第1室 ～ フリーアクセスフロア	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-6ガス出口1選択弁 ～ 133ダンパ駆動用ポンベ第2室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-6ガス出口2選択弁 ～ 324制御第4室 ～ フリーアクセスフロア	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-1-7ガス出口1選択弁 ～ 136南第2制御盤室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(9/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-1-12ガス出口2選択弁 ～ 414選別作業室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2, -2-3, -2-4, -2-5, -2-6(窒素ガス貯蔵容器) ～ (窒素消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-2ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-9ガス出口1選択弁), (窒素消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-5ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-6ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-7ガス出口1, 2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-8ガス出口1, 2選択弁)	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口2選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット-2-9ガス出口1選択弁 ～ 404排風機室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(10/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口1選択弁 ～ 窒素消火用選択弁ユニット-2-11ガス出口1, 2選択弁	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-11ガス出口1選択弁 ～ 315燃料棒加工第2室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-11ガス出口2選択弁 ～ 409排気フィルタ第2室	非安重	C	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-2ガス出口2選択弁 ～ 321分析第3室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-2ガス出口1選択弁 ～ 109点検第1室 ～ 110粉末一時保管室 ～ 129点検第2室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口2選択弁 ～ 126ペレット加工第1室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(11/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口1選択弁 ～ 125粉末調整第5室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口1選択弁 ～ 102原料受払室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口2選択弁 ～ 108粉末調整第1室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-5ガス出口1選択弁 ～ 111粉末調整第6室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-5ガス出口2選択弁 ～ 319スクラップ処理室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-6ガス出口1選択弁 ～ 117粉末調整第3室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-6ガス出口2選択弁 ～ 118粉末調整第7室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(12/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	窒素消火装置	主配管	-	-	-	-	窒素消火用選択弁ユニット-2-7ガス出口1選択弁 ～ 121粉末調整第4室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-7ガス出口2選択弁 ～ 115粉末調整第2室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-8ガス出口1選択弁 ～ 156ダンパ駆動用ポンベ第1室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用選択弁ユニット-2-8ガス出口2選択弁 ～ 153北第3制御盤室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2, -3-3(窒素ガス貯蔵容器) ～ 428窒素消火設備第1室	非安重	C-2	-	-	
							窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器) ～ 522中央監視室フリーアクセスフロア	非安重	C-2	-	-	



第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(13/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	二酸化炭素消火装置	主配管	-	-	-	-	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1(二酸化炭素貯蔵容器)～ (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口1, 2選択弁), (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口1, 2選択弁)	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口1選択弁 ～ 604 非常用発電機給気機械A室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口2選択弁 ～ 605 非常用発電機給気機械B室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口1選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口2選択弁 ～ 445 非常用発電機燃料ポンプ室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口2選択弁 ～ 552 混合ガス受槽室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(14/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	二酸化炭素消火装置	主配管	-	-	-	-	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口2選択弁 ～ 581非常用電気E室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口1選択弁 ～ 582非常用制御盤A室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口1選択弁 ～ 528非常用蓄電池A室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口2選択弁 ～ 514非常用電気A室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5ガス出口1選択弁 ～ 537非常用電気B室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(15/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	二酸化炭素消火装置	主配管					非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2(二酸化炭素貯蔵容器)～ (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-2ガス出口1選択弁), (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口1, 2選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-5ガス出口1選択弁)	非安重	C-2	-	-	
			-				非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口1選択弁 ～ 604 非常用発電機給気機械 A 室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1ガス出口2選択弁 ～ 605 非常用発電機給気機械 B 室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-2ガス出口1選択弁 ～ 553 混合ガス計装ラック室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口2選択弁 ～ 580 非常用蓄電池 E 室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(16/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	二酸化炭素消火装置	主配管	-	-	-	-	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3ガス出口1選択弁 ～ 583 非常用制御盤 B 室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口2選択弁 ～ 514非常用電気A室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4ガス出口1選択弁 ～ 537非常用電気B室	非安重	C-2	-	-	
							非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-5ガス出口1選択弁 ～ 538 非常用蓄電池 B 室	非安重	C-2	-	-	
							非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ 526非常用発電機A室 ～ 527 非常用発電機 A 制御盤室	非安重	C-2	-	-	
							非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ 535非常用発電機B室 ～ 536 非常用発電機 B 制御盤室	非安重	C-2	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(17/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5(窒素ガス貯蔵容器) ～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 1, 2, 3 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 1, 2, 3, 4 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 1, 2, 3, 4 選択弁), グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口 1, 2 選択弁	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口4選択弁 ～ 回収粉末微粉碎装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1 グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6722)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口4出口分岐部1 ～ 均一化混合装置グローブボックス, 造粒装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-8, -9 グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6731)	安重	S	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(18/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口4出口分岐部2 ～ 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6 グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7 グローブボックス-1, ピストンダンパ(PA0171-W6730)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口3選択弁 ～ 添加剤混合装置A, Bグローブボックス, 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6734)	安重	S	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(19/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口2選択弁 ～ 焼結ボート搬送装置グローブボックス-46(B2F), 小規模研削検査装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, -2, -5, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6739)	安重	S	-	-
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1ガス出口1選択弁 ～ 原料 MOX 粉末秤量・分取装置 A, B グローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 予備混合装置グローブボックス, 原料 MOX 分析試料採取装置グローブボックス, 原料 MOX 粉末缶取出装置グローブボックス, 原料 MOX 粉末缶一時保管装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3 グローブボックス-1, -3, -4(南側), 原料粉末搬送装置-6 グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6721, W6724, W6726)	安重	S	-	-

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(20/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口4選択弁 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口3選択弁 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口2選択弁 ～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口1 選択弁～挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, B グローブボックス, 乾燥ボート取出装置 A, B グローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口2 選択弁～放射能濃度分析グローブボックス-1, 分析済液中和固液分離グローブボックス)	非安重	C	-	-	



第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(21/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管					グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2ガス出口1選択弁 ～ 空焼結ボート取扱装置グローブボックス, 焼結ボート供給装置 A, B, C グローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-7, -8(南側), -10, -11, -13, -14, -18, -19(西側), -20(西側), -21(西側), -33, -35, -37, -45, -46(B3F), -48, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1(南側), -4(北側), ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, ピストンダンパ(PA0171-W6728, W6729, W6735, W6736)	安重	S	—	—	
			—				グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口3選択弁 ～ 焼結ボート取出装置 A, B, C グローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, -31(西側), ピストンダンパ(PA0171-W6737)	安重	S	—	—	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口2選択弁 ～ 焼結ペレット供給装置 A グローブボックス, 研削装置 A グローブボックス, ペレット検査設備 A グローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-39, ピストンダンパ(PA0130-W0021)	安重	S	—	—	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(22/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3ガス出口1選択弁 ～ 焼結ペレット供給装置Bグローブボックス, 研削装置Bグローブボックス, ペレット検査設備Bグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-41, ピストンダンパ(PA0130-W0023)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口1選択弁 ～ 研削粉回収装置A, Bグローブボックス, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -3, -5, -8, -10(空気部), -12(台車部), ピストンダンパ(PA0130-W0025)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4ガス出口2選択弁 ～ 一次混合装置A, Bグローブボックス, 回収粉末処理・混合装置グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16グローブボックス(東側), 焼結ボート搬送装置グローブボックス-49, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1, -3, ピストンダンパ(PA0171-W6723)	安重	S	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(23/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5(窒素ガス貯蔵容器)	安重	S	-	-	
							～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 ガス出口 1, 2, 3 選択弁					
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-2ガス出口3選択弁	安重	S	-	-	
							～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2, ピストンダンパ(PA0171-W6725)					
						グローブボックス消火用選択弁ユニット-2ガス出口2選択弁	安重	S	-	-		
						～ 粉末一時保管装置グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, -6, 調整粉末搬送装置-3 グローブボックス(東側), 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16 グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-4, -19, -20 グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6732, W6733)						
						グローブボックス消火用選択弁ユニット-2ガス出口1選択弁	安重	S	-	-		
						～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4, -5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12(リフト), ピストンダンパ(PA0130-W0001)						

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(24/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-				グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3(窒素ガス貯蔵容器)	安重	S	-	-
							～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 ガス出口 1, 2, 3 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口 1, 2, 3, 4 選択弁				
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1ガス出口3選択弁				
							～ 小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス, 再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス, ピストンダンパ (PA0120-W0001, W0003)				
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1ガス出口2選択弁				
～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10(窒素還流部), 延焼防止ダンパ (PA0171-W3161), ピストンダンパ (PA0171-W3918)											
グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1ガス出口1選択弁	非安重	C	-	-							
～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 1, 2, 3, 4, 5 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 1, 2, 3, 4, 5, 6 選択弁											

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(25/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5ガス出口1選択弁 ～ 試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-1, -2, -3, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, -2, X線回折測定装置グローブボックス, 粉末物性測定装置グローブボックス, 金相試験装置グローブボックス-1, -2, 塩素・フッ素分析装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5ガス出口2選択弁 ～ O/M比測定装置グローブボックス, 水分分析装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス, 受払装置グローブボックス, 搬送装置-3グローブボックス-1	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5ガス出口3選択弁 ～ 試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1, -2, 蛍光X線分析装置グローブボックス, プルトニウム含有率分析装置グローブボックス, 受払・分配装置グローブボックス, 搬送装置-1 グローブボックス-1	非安重	C	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(26/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5ガス出口4選択弁 ～ スパイク試料調製装置-1 グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-2 グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-3 グローブボックス-1, -2, イオン交換装置グローブボックス-1, -2, スパイキング装置グローブボックス-1, -2, 質量分析装置 B, C, D, E グローブボックス, 搬送装置-2 グローブボックス-3, α線測定装置グローブボックス, γ線測定装置グローブボックス, 試料塗布装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5ガス出口5選択弁 ～ 放射能濃度分析グローブボックス-2, ろ過・第1活性炭処理グローブボックス, 第2活性炭・吸着処理グローブボックス	非安重	C	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(27/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口1選択弁 ～ 蒸発性不純物測定装置A グローブボックス, ICP-質量分析装置グローブボックス, 水素分析装置グローブボックス, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, -2, プルトニウムスポット検査装置グローブボックス, EPMA分析装置グローブボックス, 液浸密度測定装置グローブボックス, 熱分析装置グローブボックス, ICP-発光分光分析装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口2選択弁 ～ 乾燥ボート供給装置A グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口3選択弁 ～ ペレット立会検査装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口4選択弁 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6, -8, -10, -12, -14(B2F)	非安重	C	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(28/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口5選択弁 ～ 乾燥ボート供給装置Bグローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4ガス出口6選択弁 ～ 燃料棒解体装置グローブボックス	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2ガス出口4選択弁 ～ 排ガス処理装置Aグローブボックス(上部), (下部), ピストンダンパ(PA0130-W0031)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2ガス出口3選択弁 ～ 排ガス処理装置Bグローブボックス(上部), (下部), ピストンダンパ(PA0130-W0033)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2ガス出口2選択弁 ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(上部), (下部), ピストンダンパ(PA0130-W0035)	安重	S	-	-	



第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(29/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2ガス出口1選択弁 ～ 焼結ボート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42, 延焼防止ダンパ(PA0171-W3165, W3166, W3167, W3168), ピストンダンパ(PA0171-W3917)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4(窒素ガス貯蔵容器) ～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1ガス出口1, 2選択弁	非安重	C	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(30/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管					グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1ガス出口2選択弁 ～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2ガス出口1選択弁～溶接試料前処理装置グローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2ガス出口2選択弁～乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2ガス出口3選択弁～除染装置Aグローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2ガス出口4選択弁～乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3ガス出口1選択弁～部材供給装置(部材搬送部)Aオープンポートボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3ガス出口2選択弁～部材供給装置(部材搬送部)Bオープンポートボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3ガス出口3選択弁～除染装置Bグローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3ガス出口4選択弁～収支試料受払装置グローブボックス, 収支試料調製装置グローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-7～固体廃棄物選別装置グローブボックス)	非安重	C	—	—	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(31/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1ガス出口1選択弁 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14(B3F)	非安重	C	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1導圧管出口4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4導圧管入口1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1導圧管出口3, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3導圧管出口3 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2導圧管入口1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1導圧管出口2, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4導圧管出口1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1導圧管入口1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1導圧管出口1, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2導圧管出口1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2導圧管入口3	安重	S	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(32/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2導圧管出口2, 3, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3導圧管出口1, 2, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4導圧管出口2	安重	S	-	-	
							～	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2導圧管入口2					
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4					
～	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3											
～	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2											
～	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1											
～	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5											
グローブボックス消火用選択弁ユニット-2導圧管出口1, 3	安重	S	-	-								
～	安重	S	-	-								
グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5導圧管入口1												

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(33/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
消火設備	グローブボックス消火装置	主配管	-	-	-	-	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2導圧管出口2 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4導圧管入口1	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5, (グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3～グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2～グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1)	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1導圧管出口2, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2導圧管出口1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 導圧管入口 2	安重	S	-	-	
							グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1導圧管出口1, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2導圧管出口2, 3, 4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 導圧管入口1	安重	S	-	-	

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(34/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類			機器区分	設備分類		安重区分
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0120-W0101)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0102)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0103)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0104)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0106)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0107)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0108)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0109)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0110)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0111)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0112)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0115)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0116)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0117)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0118)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0119)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0120)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0122)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0123)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0124)	安重	S	-	-
延焼防止ダンパ (PA0120-W0125)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0120-W0126)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0120-W0127)	安重	S	-	-							

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(35/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0120-W0129)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0130)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0131)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0120-W0132)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0204)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0206)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0207)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0208)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0209)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0210)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0211)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0212)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0213)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0214)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0215)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0217)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0218)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0219)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0223)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0224)	安重	S	-	-
延焼防止ダンパ (PA0130-W0225)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0130-W0226)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0130-W0227)	安重	S	-	-							

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(36/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0130-W0228)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0229)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0230)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0231)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0232)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0233)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0130-W0234)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3106)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3107)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3108)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3109)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3110)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3111)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3112)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3113)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3114)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3115)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3116)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3117)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3118)	安重	S	-	-
延焼防止ダンパ (PA0171-W3125)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3126)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3127)	安重	S	-	-							



第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(37/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分		設備分類	安重区分	耐震重要度分類	機器区分
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0171-W3128)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3129)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3130)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3141)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3142)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3143)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3144)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3145)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3146)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3147)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3148)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3151)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3152)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3153)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3154)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3155)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3156)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3157)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3158)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3161)	安重	S	-	-
延焼防止ダンパ (PA0171-W3162)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3164)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3165)	安重	S	-	-							

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(38/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類			機器区分	設備分類		安重区分
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0171-W3166)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3167)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3168)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3169)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3170)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3171)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3181)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3182)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3183)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3184)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3186)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3187)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3196)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3197)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3201)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3202)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3246)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3247)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3248)	安重	S	-	-
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3249)	安重	S	-	-
延焼防止ダンパ (PA0171-W3250)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3251)	安重	S	-	-							
延焼防止ダンパ (PA0171-W3256)	安重	S	-	-							

第1-7-1-1表 火災防護設備の主要設備リスト(39/39)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
火災影響軽減設備	-	主要弁	-	-	-	-	延焼防止ダンパ (PA0171-W3257)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3258)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3261)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3262)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3266)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3268)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3269)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3271)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3272)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3273)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3274)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3275)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3281)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3282)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3283)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3284)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3285)	安重	S	-	-	
							延焼防止ダンパ (PA0171-W3291)	安重	S	-	-	
延焼防止ダンパ (PA0171-W3292)	安重	S	-	-								
延焼防止ダンパ (PA0171-W3296)	安重	S	-	-								

注記 \*1：第1-7-1-1表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

\*2：火災区域構造物及び火災区画構造物(燃料加工建屋)は、燃料加工建屋に設定する火災区域及び火災区画を分離するものである。

なお、燃料加工建屋の耐震設計については基準地震動S sによる地震力に対して構造物全体として変形能力について十分な余裕を有するように設計する。

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(1/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
分析設備	分析済液処理系	容器	—	—	—	—	分析済液中和槽	非安重	C	2種	—	
							中和ろ液受槽	非安重	C	2種	—	
							遠心分離処理液受槽	非安重	C	2種	—	
							ろ過処理供給槽	非安重	C	2種	—	
							第2ろ過処理液受槽	非安重	C	—	—	
							第1活性炭処理供給槽	非安重	C	2種	—	
							第1活性炭処理液受槽	非安重	C	2種	—	
							第2活性炭処理供給槽	非安重	C	2種	—	
							第2活性炭処理液受槽	非安重	C	—	—	
							吸着処理供給槽	非安重	C	—	—	
							吸着処理液受槽	非安重	C	—	—	
							希釈槽	非安重	C	—	—	
払出前希釈槽	非安重	C	—	—								

MOX② 共-0305 A

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(2/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
分析設備	分析済液処理系	ろ過装置	—	—	—	—	中和液ろ過装置	非安重	C	2種	—	
							第1ろ過装置	非安重	C	2種	—	
							第2ろ過装置	非安重	C	2種	—	
							第1活性炭処理第1処理塔 第1活性炭処理第2処理塔	非安重	C	2種	—	
							第2活性炭処理塔	非安重	C	2種	—	
							吸着処理塔	非安重	C	—	—	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	遠心分離処理液受槽ポンプ	非安重	C	—	—
								ろ過処理供給槽ポンプ	非安重	C	—	—
								第2ろ過処理液受槽ポンプ	非安重	C	—	—
								第1活性炭処理供給槽ポンプ	非安重	C	—	—
								第1活性炭処理液受槽ポンプ	非安重	C	—	—
								第2活性炭処理液受槽ポンプ	非安重	C	—	—
								第2活性炭処理供給槽ポンプ	非安重	C	—	—

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(3/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			設備分類	名称	設計基準対象の施設*1			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
分析設備	分析済液処理系	ポンプ	—				吸着処理供給槽ポンプ	非安重	C	—	—	
							吸着処理液受槽ポンプ	非安重	C	—	—	
		主配管	—				分析済液中和槽A, B ～ 中和液ろ過装置A, B ～ 中和ろ液受槽A, B ～ 遠心分離処理液受槽 ～ 遠心分離処理液受槽ポンプ ～ ろ過処理供給槽, 第1活性炭処理供給槽	非安重	C*2	2種*2	—	
						ろ過処理供給槽 ～ ろ過処理供給槽ポンプ ～ 第1ろ過装置 ～ 第2ろ過装置 ～ 第2ろ過処理液受槽 ～ 第2ろ過処理液受槽ポンプ ～ 希釈槽, 第1活性炭処理供給槽	非安重	C	2種*3	—		

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(4/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
分析設備	分析済液処理系	主配管					第1活性炭処理供給槽 ～ 第1活性炭処理供給槽ポンプ ～ 第1活性炭処理第1処理塔 ～ 第1活性炭処理第2処理塔 ～ 第1活性炭処理液受槽 ～ 第1活性炭処理液受槽ポンプ ～ 第2活性炭処理供給槽，ろ過処理供給槽	非安重	C	2種*4	—	
			—				第2活性炭処理供給槽 ～ 第2活性炭処理供給槽ポンプ ～ 第2活性炭処理塔A, B, C, D ～ 第2活性炭処理液受槽 ～ 第2活性炭処理液受槽ポンプ ～ 吸着処理供給槽 ～ 吸着処理供給槽ポンプ ～ 吸着処理塔 ～ 吸着処理液受槽A, B ～ 希釈槽，吸着処理液受槽ポンプ入口配管分岐部 ～ 吸着処理液受槽ポンプ ～ 払出前希釈槽	非安重	C	—	—	

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(5/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後						
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類	
分析設備	分析済液処理系	主配管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
分析設備	—	核物質等取扱ボックス	—	—	—	—	—	受払装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	—
								受払・分配装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	—
								試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1, -2, -3	非安重	B-1	—	—	—
								スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								スパイク装置グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								イオン交換装置グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	—
								試料塗布装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	—
								α線測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	—



第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(6/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後				
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類			機器区分	設備分類		安重区分
分析設備	—	核物質等取扱ボックス	—	—	—	—	γ線測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							蛍光X線分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							プルトニウム含有率分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							質量分析装置B, C, D, Eグローブボックス	非安重	B-1	—	—
							収去試料受払装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							収去試料調製装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							分配装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							塩素・フッ素分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							O/M比測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							水分分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—
							EPMA分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—
							ICP-発光分光分析装置グローブボックス	非安重	B	—	—
ICP-質量分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—							

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(7/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1	名称	設計基準対象の施設*1			重大事故等対処設備*1
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			設備分類	安重区分	耐震重要度分類	
分析設備	—	核物質等取扱ボックス	—	—	—	—	水素分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							蒸発性不純物測定装置Aグローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							粉末物性測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							金相試験装置グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	
							プルトニウムスポット検査装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							液浸密度測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							熱分析装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, -2	非安重	B-1	—	—	
							X線回折測定装置グローブボックス	非安重	B-1	—	—	
							搬送装置-1グローブボックス-1, -2, -3	非安重	B-1	—	—	
							搬送装置-2グローブボックス-1, -2, -3	非安重	B-1	—	—	
							搬送装置-3グローブボックス-1, -2, -3, -4	非安重	B-1	—	—	
分析済液中和固液分離グローブボックス	非安重	B-1	—*3	—								

第1-7-2-1表 核燃料物質の検査設備の主要設備リスト(8/8)

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象の施設*1		重大事故等対処設備*1	
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類		安重区分	耐震重要度分類	機器区分	設備分類
分析設備	—	核物質等取扱ボックス	—	—	—	—	放射能濃度分析グローブボックス-1	非安重	B-1	—	—	
							放射能濃度分析グローブボックス-2	非安重	B-1	—	—	
							ろ過・第1活性炭処理グローブボックス	非安重	B-1 B-2	—*5	—	
							第2活性炭・吸着処理グローブボックス	非安重	B-1 B-2	—	—	
							プルトニウムスポット検査装置オープンポートボックス	非安重	C	—	—	
							フード	非安重	C	—	—	
計装／放管設備	—	計測装置	—	—	—	—	分析済液中和固液分離グローブボックス漏えい液受血液位	非安重	C	—	—	
							ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受血液位	非安重	C	—	—	
							第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受血液位	非安重	C	—	—	
							払出前希釈槽下部堰内漏えい液位	非安重	C	—	—	

注記 \*1：第1-7-2-1表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。  
 \*2：分析済液中和固液分離グローブボックス-ろ過・第1活性炭処理グローブボックス間及びろ過・第1活性炭処理グローブボックス-第2活性炭・吸着処理グローブボックス間は二重配管とし、外管は耐震Bクラス、機器区分「—」とする。  
 \*3：一部分（ろ過処理供給槽～第2ろ過装置）のみ機器区分「2種」とする。  
 \*4：一部分（第1活性炭処理供給槽～第1活性炭処理第2処理塔）のみ機器区分「2種」とする。  
 \*5：底部ドリフトレイのみ機器区分「3種」とする。

第1-7-4-2表 警報関連設備の主要設備リスト

設備区分	系統名	機種	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象の施設*			設備分類	名称	設計基準対象の施設*			設備分類
				安重区分	耐震重要度分類	機器区分			安重区分	耐震重要度分類	機器区分	
警報関連設備	警報関連設備	計装/放管設備 (計測装置)	-				液体廃棄物処理第3室サンプル液位	非安重	C	-	-	
							液体廃棄物処理第1室サンプル液位	非安重	C	-	-	
							床ドレン回収槽第2室サンプル液位	非安重	C	-	-	
							床ドレン回収槽第1室サンプル液位	非安重	C	-	-	
							吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-	
							ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-	
							分析済液中和固液分離グローブボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-	
							ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-	
							第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿液位	非安重	C	-	-	
払出前希釈槽下部堰内漏えい液位	非安重	C	-	-								

注記 \*：第1-7-4-2表に用いる略語の定義は「第1-1表 成形施設の主要設備リスト」の「付表1」による。

## I - 2 工事の方法

「I-2 工事の方法」は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書の「I-2 工事の方法」に同じである。

各施設的设计条件及び仕様並びに  
準拠規格及び基準

## 目 次

- ハ 成形施設
  - 1. 設計条件及び仕様
    - 1.1 燃料加工建屋
  - 2. 準拠規格及び基準
- ニ 被覆施設
  - 1. 設計条件及び仕様
    - 1.1 燃料棒加工工程
      - 1.1.3 挿入溶接設備
      - 1.1.4 燃料棒検査設備
      - 1.1.6 燃料棒解体設備
  - 2. 準拠規格及び基準
- ホ 組立施設
  - 1. 設計条件及び仕様
    - 1.1 燃料集合体組立工程
      - 1.1.1 燃料集合体組立設備
      - 1.1.2 燃料集合体洗浄設備
      - 1.1.3 燃料集合体検査設備
      - 1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備
    - 1.2 梱包・出荷工程
      - 1.2.1 梱包・出荷設備
  - 2. 準拠規格及び基準
- ヘ 核燃料物質の貯蔵施設
  - 1. 設計条件及び仕様
    - 1.2 原料 MOX 粉末缶一時保管設備
    - 1.3 ウラン貯蔵設備
    - 1.4 粉末一時保管設備
    - 1.8 燃料棒貯蔵設備
    - 1.9 燃料集合体貯蔵設備
  - 2. 準拠規格及び基準
- ト 放射性廃棄物の廃棄施設
  - 1. 設計条件及び仕様
    - 1.1 気体廃棄物の廃棄設備
      - 1.1.1 建屋排気設備



- 1.1.2 工程室排気設備
  - 1.1.3 グローブボックス排気設備
  - 1.1.4 窒素循環設備
  - 1.1.5 外部放出抑制設備
  - 1.1.6 代替グローブボックス排気設備
  - 1.2 液体廃棄物の廃棄設備
    - 1.2.1 低レベル廃液処理設備
  - 2. 準拠規格及び基準
- チ 放射線管理施設 次回以降申請
- リ その他の加工施設
- 1. 設計条件及び仕様
    - 1.1 非常用設備
      - 1.1.1 火災防護設備
        - 1.1.1.1 消火設備
        - 1.1.1.2 火災影響軽減設備
      - 1.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備
        - 1.2.1 核燃料物質の検査設備
          - 1.2.1.1 分析設備
      - 1.3 その他の主要な事項
        - 1.3.1 警報関連設備
    - 2. 準拠規格及び基準
      - 2.1 非常用設備
        - 2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準
      - 2.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備
        - 2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準
      - 2.3 その他の主要な事項
        - 2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準
        - 2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準
        - 2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準
        - 2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準
        - 2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準
        - 2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準

## ハ 成形施設

## 1. 設計条件及び仕様

## 1.1 燃料加工建屋

## (1) 建物・構築物

## a. 施設外漏えい防止堰

名称		施設外漏えい防止堰 (液体廃棄物処理第3室出入口)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	360以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 35. 00mからの高さ。

\*2 : 本装置は, 溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (液体廃棄物処理第3室と 液体廃棄物処理第2室境界)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	360以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 35. 00mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (液体廃棄物処理第1室出入口)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	120以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 35. 00mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (液体廃棄物処理第1室と 液体廃棄物処理第2室境界)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	120以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 35. 00mからの高さ。

\*2 : 本装置は, 溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (放管試料前処理室出入口)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	3以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	放管試料前処理室 T. M. S. L. 56. 80m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 56. 80mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (放管試料前処理室と 放射能測定室前境界)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	3以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	放管試料前処理室 T. M. S. L. 56. 80m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 56. 80mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。



名称		施設外漏えい防止堰 (輸送容器保管室出入口)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	0.6以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	輸送容器保管室 T. M. S. L. 59.50m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 59.50mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称			施設外漏えい防止堰 (輸送容器保管室と 輸送容器検査室境界)
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	0.6以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	輸送容器保管室 T. M. S. L. 59.50m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 59.50mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (輸送容器保管室と ダクト点検室境界)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	0.6以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	輸送容器保管室 T. M. S. L. 59.50m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 59.50mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (輸送容器保管室と 南第1附室上境界)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	0.6以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	輸送容器保管室 T. M. S. L. 59.50m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 59.50mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		施設外漏えい防止堰 (分析第3室内)	
種類		—	堰
主要寸法	堰の高さ	mm	390以上* <sup>1</sup>
床面及び壁面の塗装の範囲		—	床面及び床面から 堰の高さ以上までの壁面
主要材料	本体	—	鉄筋コンクリート
	床面及び壁面の塗装	—	エポキシ樹脂
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1 : T. M. S. L. 43. 20mからの高さ。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号)</li> <li>・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号)</li> <li>・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号)</li> <li>・消防法施行令 (昭和 36 年 3 月 25 日政令第 37 号)</li> <li>・消防法施行規則 (昭和 36 年 4 月 1 日自治省令第 6 号)</li> <li>・都市計画法 (昭和 43 年 6 月 15 日法律第 100 号)</li> <li>・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号)</li> <li>・危険物の規制に関する政令 (昭和 34 年 9 月 26 日政令第 306 号)</li> <li>・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成 9 年 3 月 27 日通商産業省令第 52 号)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示 (平成 27 年 8 月 31 日原子力規制委員会告示第 8 号)</li><li>・平成 12 年建設省告示第 1400 号 (平成 12 年 5 月 30 日建設省告示第 1400 号)</li><li>・青森県建築基準法施行細則 (昭和 36 年 2 月 9 日青森県規則第 20 号)</li><li>・日本産業規格 (JIS)</li><li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li><li>・日本建築学会各種建築工事標準仕様書・同解説 (JASS)</li><li>・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li><li>・発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針 (昭和 50 年 5 月 13 日原子力委員会決定)</li><li>・工場電気設備防爆指針 (ガス蒸気防爆 2006)</li><li>・日本空気清浄協会「空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針」 (JACA No. 11A-2003)</li><li>・日本電気協会電気技術規程・指針</li><li>・原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)</li><li>・電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)</li><li>・土木学会による各種示方書</li><li>・日本道路協会による各種示方書</li></ul>	変更なし

MOX② ハ-0014 A

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)</li><li>・ 放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準 (NFPA801 2014 Edition)</li><li>・ IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験</li><li>・ IEEE Std 1202-1991 垂直トレイ燃焼試験</li><li>・ UL1581 (Fourth Edition-2001) 1080. VW-1 垂直燃焼試験</li></ul>	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」及び「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」を参照する。



## 二 被覆施設

## 1. 設計条件及び仕様

## 1.1 燃料棒加工工程

## 1.1.3 挿入溶接設備

## (1) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称		スタック供給装置 (PA0143-M-13000, -23000)	
種類		—	クレーン方式 リフタ方式 スライドテーブル方式
容量	搬出入リフタ	kg	60
	スタックトレイ取扱機	kg	60
	スタックトレイ搬送機	kg	8
	乾燥ボート秤量テーブル	kg	60
主要寸法	たて	mm	965 <sup>*1</sup>
	横	mm	2420 <sup>*1</sup>
	高さ	mm	2676 <sup>*1</sup>
主要材料		—	SUS304
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称			挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)	
種類			—	TIG溶接方式
容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg	10
		スタック取扱部 搬送機	kg	5
		部材供給部搬送機	kg	5
		燃料棒溶接部搬送機	kg	5
		燃料棒払出機	kg	5
	挿入溶接装置 (スタック取扱 部)	スタックトレイ 取扱機	kg	8
		スタック 秤量テーブル	kg	8
主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	たて	mm	950 <sup>*1</sup>
		横	mm	4695 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	3803 <sup>*1</sup>
	挿入溶接装置 (スタック取扱 部)	たて	mm	700 <sup>*1</sup>
		横	mm	3192 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	1030 <sup>*1</sup>
	挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)	たて	mm	764 <sup>*1</sup>
		横	mm	3088 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	1969 <sup>*1</sup>
主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)		—	SUS304
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)		—	SUS304
	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)		—	SUS304
個数			—	2
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		除染装置 (PA0143-M-16000, -26000)	
種類		—	全長拭取方式
容量	燃料棒受入機	kg	5
	燃料棒移載機	kg	5
	燃料棒払出機	kg	5
主要寸法	たて	mm	590 <sup>*1</sup>
	横	mm	4600 <sup>*1</sup>
	高さ	mm	863 <sup>*1</sup>
主要材料		—	SUS304
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は，溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		汚染検査装置 (PA0143-M-17000, -27000)	
種類		—	$\alpha$ 線測定方式
容量	燃料棒受入機	kg	5
	燃料棒移載機	kg	10
	燃料棒払出機	kg	5
主要寸法	たて	mm	531 <sup>*1</sup>
	横	mm	4680 <sup>*1</sup>
	高さ	mm	1389 <sup>*1</sup>
主要材料		—	SUS304
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

## (2) 核物質等取扱ボックス

名称			スタック供給装置 グローブボックス (PA0143-B-13700, -23700)
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm
	設置する室の壁・天井までの距離		mm
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：スタック供給装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、スタック供給装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称		挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス (PA0143-B-15700, -25700)	
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm
	設置する室の壁・天井までの距離		mm
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：挿入溶接装置(被覆管取扱部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)，挿入溶接装置(被覆管取扱部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，kg・Pu\*は，その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称			挿入溶接装置(スタック取扱部) グローブボックス (PA0143-B-15701, -25701)
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm
	設置する室の壁・天井までの距離		mm
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：挿入溶接装置(スタック取扱部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、挿入溶接装置(スタック取扱部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			挿入溶接装置(燃料棒溶接部) グローブボックス (PA0143-B-15702, -25702)
種類			グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu* 36.0
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm 300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h 0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s 0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm 3300* <sup>1</sup>
	横		mm 1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm 2200* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		— SUS304, SUS304TP
	窓板部		— ポリカーボネート樹脂
個数			— 2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— * <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		— * <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：挿入溶接装置(燃料棒溶接部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)，挿入溶接装置(燃料棒溶接部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，kg・Pu\*は，その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			除染装置グローブボックス (PA0143-B-16700, -26700)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	36.0
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	5000* <sup>1</sup>
	横		mm	900* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1500* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：除染装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、除染装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する

名称		被覆管供給装置 オープンポートボックス (PA0143-B-12700, -22700)	
種類		—	オープンポートボックス
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	5000*1
	横	mm	600*1
	高さ	mm	1000*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。

名称		部材供給装置(部材供給部) オープンポートボックス (PA0143-B-14701, -24701)	
種類		—	オープンポートボックス
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	890*1
	横	mm	1000*1
	高さ	mm	1700*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。

名称		部材供給装置(部材搬送部) オープンポートボックス (PA0143-B-14700, -24700)	
種類		—	オープンポートボックス
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	804*1
	横	mm	1000*1
	高さ	mm	1700*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート1箇所開放)の面風速を示す。

名称			汚染検査装置 オープンポートボックス (PA0143-B-17700, -27700)	
種類			—	オープンポートボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>4</sup>	取扱Pu*質量* <sup>5</sup>	kg・Pu*	36.0
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
開口部風速* <sup>3</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	5000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1500* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。

\*4：汚染検査装置Aオープンポートボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、汚染検査装置Bオープンポートボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。

\*5：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu\*は、その合計質量とする。

## 1.1.4 燃料棒検査設備

## (2) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称			ヘリウムリーク検査装置 (PA0146-M-10000)	
種類			—	真空容器法
臨界 管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm	150
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	移載機-1		kg	176
	移載機-2		kg	176
	ローラコンベア-1		kg	40
	ローラコンベア-2		kg	40
	挿出入機		kg	176
	燃料棒仮置機		kg	80
主要 寸法	搬送部	たて	mm	2000*1
		横	mm	4900*1
		高さ	mm	852*1
	燃料棒仮置機	たて	mm	709*1
		横	mm	4508*1
		高さ	mm	1969*1
	真空容器	たて	mm	470*1
		横	mm	4520*1
		高さ	mm	1275*1
主要 材料	搬送部		—	SS400, STKR400
	燃料棒仮置機		—	SS400, STKR400
	真空容器		—	SS400
個数			—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3: 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。



名称			X線検査装置 (PA0146-M-20000)	
種類			—	X線透過撮影方式
臨界管理	核的制限値* <sup>3</sup>	平板厚さ	mm	150
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	ローラコンベア-1		kg	5
	ローラコンベア-2		kg	80
	トレイ搬送機		kg	217
	燃料棒取扱機		kg	5
	燃料棒移載機		kg	80
	燃料棒待避機		kg	80
主要寸法	搬出入部	たて	mm	2100* <sup>1</sup>
		横	mm	4600* <sup>1</sup>
		高さ	mm	1813* <sup>1</sup>
	X線撮影部	たて	mm	2360* <sup>1</sup>
		横	mm	1960* <sup>1</sup>
		高さ	mm	2941* <sup>1</sup>
	トレイ操作部	たて	mm	1435* <sup>1</sup>
		横	mm	4500* <sup>1</sup>
		高さ	mm	1758* <sup>1</sup>
	燃料棒待避機	たて	mm	709* <sup>1</sup>
		横	mm	4508* <sup>1</sup>
		高さ	mm	1969* <sup>1</sup>
主要材料	搬出入部		—	SS400, STKR400
	X線撮影部		—	SS400, STKR400
	トレイ操作部		—	STKR400
	燃料棒待避機		—	SS400, STKR400
個数			—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3 : 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。



名称			外観寸法検査装置 (PA0146-M-40000)	
種類			—	遠隔目視検査方式
臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm	150
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	燃料棒取扱機		kg	10
	燃料棒移載機-1		kg	20
	燃料棒移載機-2		kg	15
	燃料棒移載機-3		kg	5
	ローラコンベア-1		kg	5
	ローラコンベア-2		kg	20
主要寸法	搬送部	たて	mm	1345*1
		横	mm	4800*1
		高さ	mm	855*1
	燃料棒分別機	たて	mm	620*1
		横	mm	4750*1
		高さ	mm	1985*1
	検査部	たて	mm	1800*1
		横	mm	5000*1
		高さ	mm	1838*1
主要材料	搬送部		—	SS400, STKR400
	燃料棒分別機		—	SS400, STKR400
	検査部		—	SS400, STKR400
個数			—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。

名称			燃料棒立会検査装置 (PA0146-M-50000)	
種類			—	遠隔目視検査方式
臨界管理	核的制限値* <sup>3</sup>	平板厚さ	mm	150
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	移載機-1		kg	10
	移載機-2		kg	15
	移載機-3		kg	5
	移載機-4		kg	5
	移載機-5		kg	35
	燃料棒搬出入機		kg	40
	燃料棒取扱機		kg	5
主要寸法	搬送部	たて	mm	2095* <sup>1</sup>
		横	mm	4300* <sup>1</sup>
		高さ	mm	1441* <sup>1</sup>
	検査部	たて	mm	1990* <sup>1</sup>
		横	mm	4900* <sup>1</sup>
		高さ	mm	1844* <sup>1</sup>
	ゲート-4	高さ	mm	140* <sup>1</sup>
主要材料	搬送部		—	SS400, STKR400
	検査部		—	SS400, STKR400
	ゲート-4		—	STKR400
個数			—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3: 本装置に単一ユニット(燃料棒立会検査ユニット)を設定する。

## 1.1.6 燃料棒解体設備

## (1) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称			燃料棒解体装置 (PA0145-M-10000)		
種類		—	コンベア方式, プッシャ方式, リフタ方式, クレーン方式,		
容量	燃料棒搬入機		kg	5	
	ペレット保管容器リフタ		kg	35	
	波板トレイ取扱機		kg	35	
	秤量テーブル-1		kg	35	
主要寸法	燃料棒搬入機	たて	mm	6165* <sup>1</sup>	
		横	mm	650* <sup>1</sup>	
		高さ	mm	1060* <sup>1</sup>	
	燃料棒解体機	たて	mm	6774* <sup>1</sup>	
		横	mm	950* <sup>1</sup>	
		高さ	mm	2740* <sup>1</sup>	
	OPB搬入機	たて	mm	600* <sup>1</sup>	
		横	mm	102* <sup>1</sup>	
		高さ	mm	171* <sup>1</sup>	
主要材料	燃料棒搬入機		—	STKR400	
	燃料棒解体機		—	SUS304	
	OPB搬入機		—	SUS304	
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	5 ■■■
			中間	mm	85 ■■■
			外側	mm	12 ■■■
	主要材料	内側	—	SUS304	
		中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
		外側	—	SUS304	
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>	

(続き)

取付 箇所	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	— *2
----------	--------------------	---	------

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は，溢水防護対象でないため「—」とする

## (2) 核物質等取扱ボックス

名称			燃料棒解体装置 グローブボックス (PA0145-B-10702)
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu* 18.0
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm 300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm 壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて	mm	7000* <sup>1</sup>
	横	mm	1200* <sup>1</sup>
	高さ	mm	2800* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(燃料棒解体ユニット)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称		溶接試料前処理装置 グローブボックス (PA0145-B-20701)	
種類		—	グローブボックス
漏れ率*4		vol%/h	0.25以下
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	2000*1
	横	mm	600*1
	高さ	mm	1000*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*4：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			燃料棒搬入 オープンポートボックス (PA0145-B-10701)
種類			— オープンポートボックス
臨 界 管 理	核的制限値*4	取扱Pu*質量*5	kg・Pu* 18.0
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm 300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm 壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上
開口部風速*3			m/s 0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm 1000*1
	横		mm 600*1
	高さ		mm 1000*1
主 要 材 料	本体		— SUS304
	窓板部		— ポリカーボネート樹脂
個数			— 1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		— —
	設置床		— 燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— —*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		— —*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート2箇所開放)の面風速を示す。

\*4：本オープンポートボックスに単一ユニット(燃料棒解体ユニット)を設定する。

\*5：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，k  
g・Pu\*は，その合計質量とする。

名称		溶接試料前処理装置 オープンポートボックス (PA0145-B-20702)	
種類		—	オープンポートボックス
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	1000*1
	横	mm	600*1
	高さ	mm	1000*1
主要材料	本体	—	SUS304
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート2箇所開放)の面風速を示す。

2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格 (JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格 (JCS)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li> </ul>	<p>変更なし</p>

# ホ 組立施設

## 1. 設計条件及び仕様

## 1.1 燃料集合体組立工程

## 1.1.1 燃料集合体組立設備

## (1) 運搬・製品容器

名称				組立マガジン (PA0151-M-10121, -10122)	
種類		—		格子配列方式	
臨界管理	組立マガジンの形状(外形)		mm	360×360 以上	
	燃料棒収容領域		mm	240×240 以下	
容量	燃料棒収容数 <sup>*1</sup>		本	289	
最高使用圧力			Pa	大気圧	
最高使用温度			℃	40	
主要寸法	たて		mm	4400	
	横		mm	396	
	高さ		mm	408	
	燃料棒収納領域	たて	mm	220	
		横	mm	220	
	厚さ	内側	mm	6	
		中間	mm	51	
外側		mm	10		
主要材料			—	SUS304	
個数			—	2	
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	2 ■■■■
			中間	mm	50 ■■■■
			外側	mm	10 ■■■■
	主要材料	内側	—	SUS304	
		中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
		外側	—	鉛 (密度 $11.00 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	

注記 \*1：最大収容数（PWR17×17型燃料用仕切板使用時）を示す。

\*2：公称値を示す。

## (2) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称			マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)	
種類			—	押込方式
臨界 管理	核的制限値*3	貯蔵マガジン又は 組立マガジン取扱 段数	段	1
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	貯蔵マガジン受入台		t	1.6
	貯蔵マガジン移載台		t	2.0
	貯蔵マガジン押出台		t	2.0
	貯蔵マガジン待機台		t	2.0
	組立マガジン移載台		t	2.0
	組立マガジン挿入台		t	2.0
	組立マガジン待機台		t	2.0
	マガジン搬送コンベア		t	2.0
主要 寸法	貯蔵マガジン受入台	たて	mm	3870*1
		横	mm	1365*1
		高さ	mm	1898*1
	貯蔵マガジン移載台	たて	mm	3776*1
		横	mm	900*1
		高さ	mm	990*1
	貯蔵マガジン押出台	たて	mm	4260*1
		横	mm	1300*1
		高さ	mm	1687*1
	貯蔵マガジン待機台	たて	mm	4260*1
		横	mm	1300*1
		高さ	mm	1687*1
	燃料棒押込機	たて	mm	5700*1
		横	mm	300*1
		高さ	mm	1046*1
組立マガジン移載台	たて	mm	3776*1	
	横	mm	900*1	
	高さ	mm	990*1	

(続き)

主要 寸法	組立マガジン挿入台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	
		横	mm	1300 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>	
	組立マガジン待機台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	
		横	mm	1300 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>	
	マガジン搬送コンベア	たて	mm	1545 <sup>*1</sup>	
		横	mm	516 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	211 <sup>*1</sup>	
	遮蔽体	たて	mm	8350 <sup>*1</sup>	
		横	mm	720 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	1900 <sup>*1</sup>	
主要 材料	貯蔵マガジン受入台		—	SS400, STKR400	
	貯蔵マガジン移載台		—	STKR400	
	貯蔵マガジン押出台		—	SS400, STKR400	
	貯蔵マガジン待機台		—	SS400, STKR400	
	燃料棒押込機		—	STKR400	
	組立マガジン移載台		—	STKR400	
	組立マガジン挿入台		—	SS400, STKR400	
	組立マガジン待機台		—	SS400, STKR400	
	マガジン搬送コンベア		—	STKR400	
遮蔽体		—	STKR400		
個数			—	1	
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4
			中間	mm	120
			外側	mm	14
	主要材料	内側	—	SUS304	
		中間	—	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
		外側	—	SUS304	



(続き)

取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料集合体組立第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本装置は, 溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3 : 本装置に単一ユニット (マガジン編成ユニット) を設定する。

名称			燃料集合体組立装置 (PA0151-M-20000)	
種類			—	引込方式
臨界 管理	核的制限値*3	貯蔵マガジン又は組 立マガジン取扱段数	段	1
		燃料集合体取扱体数	体	1
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間 距離		mm	500以上
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁まで の距離		mm	1000以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	固定搬送台		kg	2000
	マガジン台		kg	2000
	燃料棒引込機		kg	45
主要 寸法	固定搬送台	たて	mm	2500*1
		横	mm	570*1
		高さ	mm	977*1
	マガジン台	たて	mm	4739*1
		横	mm	1600*1
		高さ	mm	2027*1
	組立台	たて	mm	4853*1
		横	mm	520*1
		高さ	mm	965*1
	燃料棒引込機	たて	mm	6033*1
		横	mm	500*1
		高さ	mm	1321*1
	上部取扱装置台	たて	mm	3925*1
		横	mm	1925*1
		高さ	mm	677*1
	下部取扱装置台	たて	mm	3730*1
		横	mm	2000*1
		高さ	mm	917*1
	キーマスター	たて	mm	4475*1
		横	mm	405*1
		高さ	mm	1364*1

(続き)

主要 寸法	燃料棒搬送機	たて	mm	4480 <sup>*1</sup>	
		横	mm	550 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	1438 <sup>*1</sup>	
	遮蔽体	たて	mm	4890 <sup>*1</sup>	
		横	mm	2820 <sup>*1</sup>	
		高さ	mm	2955 <sup>*1</sup>	
主要 材料	固定搬送台		—	SS400	
	マガジン台		—	SS400, STKR400	
	組立台		—	SS400, SUS304	
	燃料棒引込機		—	SS400, STKR400	
	上部取扱装置台		—	SS400	
	下部取扱装置台		—	SS400, STKR400	
	キーマスター		—	SS400	
	燃料棒搬送機		—	STKR400	
	遮蔽体		—	SS400, STKR400	
個数			—	1	
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4 [REDACTED]
			中間	mm	120 [REDACTED]
			外側	mm	14 [REDACTED]
	主要材料	内側	—	SUS304	
		中間	—	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
		外側	—	SUS304	
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(マガジン編成ユニット及び燃料集合体組立ユニット)を設定する。

## 1.1.2 燃料集合体洗浄設備

## (1) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称				燃料集合体洗浄装置 (PA0152-M-10000)	
種類			—	窒素ガス吹きつけ方式	
臨 界 管 理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1	
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離		mm	500以上	
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離		mm	1000以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	
主 要 寸 法	たて		mm	1500*1	
	横		mm	1400*1	
	高さ		mm	4952*1	
主要材料			—	STKR400, SS400	
個数			—	1	
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3 ■■■■
			中間	mm	90 ■■■■
			外側	mm	10 ■■■■
	主要材料		内側	—	SUS304
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
			外側	—	SUS304
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号		—	—*2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2	

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体洗浄ユニット)を設定する。

## 1.1.3 燃料集合体検査設備

## (1) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称				燃料集合体第1検査装置 (PA0153-M-10000)		
種類			—	センサ計測方式		
臨 界 管 理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1		
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離		mm	500以上		
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離		mm	1000以上		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
主 要 寸 法	たて		mm	2400*1		
	横		mm	2690*1		
	高さ		mm	5552*1		
主要材料			—	SS400, SUS304		
個数			—	1		
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3 [REDACTED]	
			中間	mm	90 [REDACTED]	
			外側	mm	10 [REDACTED]	
	主要材料		内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—		
	設置床		—	燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m		
	溢水防護上の区画番号		—	—*2		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(燃料集合体第1検査ユニット)を設定する。

名称				燃料集合体第2検査装置 (PA0153-M-30000)		
種類			—	遠隔目視検査方式		
臨界 管理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1		
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離		mm	500以上		
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離		mm	1000以上		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
主要 寸法	たて		mm	1670*1		
	横		mm	1950*1		
	高さ		mm	5536*1		
主要材料			—	STKR400, SS400, SUS304		
個数			—	1		
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3 [REDACTED]	
			中間	mm	90 [REDACTED]	
			外側	mm	10 [REDACTED]	
	主要材料		内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—		
	設置床		—	燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m		
	溢水防護上の区画番号		—	—*2		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(燃料集合体第2検査ユニット)を設定する。

名称			燃料集合体仮置台 (PA0153-M-50000)	
種類		—	置台方式	
臨界 管理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離		mm	500以上
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離		mm	1000以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
主要 寸法	たて		mm	1350*1
	横		mm	1430*1
	高さ		mm	5522*1
主要材料			—	STKR400, SS400
個数			—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(燃料集合体仮置ユニット)を設定する。

名称			燃料集合体立会検査装置 (PA0153-M-40000)	
種類			—	センサ計測方式, 遠隔目視検査方式
臨界 管理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離		mm	500以上
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離		mm	1000以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
主要 寸法	たて		mm	2400*1
	横		mm	2690*1
	高さ		mm	5552*1
主要材料			—	SS400, SUS304
個数			—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	梱包室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体立会検査ユニット)を設定する。



## 1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備

## (1) 搬送設備

名称			リフタ (PA0154-M-20000)	
種類			—	リフタ方式
臨 界 管 理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1
	他の単一ユニットとの燃料集合体 取扱中心間距離		mm	500以上
	燃料集合体取扱中心から設置する 室の壁までの距離		mm	1000以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容 量	水平移送装置		kg	700
	昇降装置		kg	700
主 要 寸 法	水 平 移 送 装 置	たて	mm	8333*1
		横	mm	1350*1
		高さ	mm	1755*1
	昇 降 装 置	たて	mm	2105*1
		横	mm	1995*1
		高さ	mm	7355*1
主 要 材 料	水平移送装置		—	SS400, STKR400
	昇降装置		—	SS400, STKR400
個数			—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43. 20m リフタ室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3: 本装置に単一ユニット(リフタユニット)を設定する。

## 1.2 梱包出荷工程

## 1.2.1 梱包・出荷設備

## (1) 搬送設備

名称			貯蔵梱包クレーン (PA0156-M-70000)	
種類			—	床上走行式
臨界管理	核的制限値*3	燃料集合体取扱体数	体	1
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量			t	1.2
主要寸法	走行レール間距離		mm	10340*1
	クレーン本体ガード距離		mm	3616*1
	高さ		mm	8207*1
	クレーン本体ガード幅		mm	580*1
	クレーン本体ガード高さ		mm	1000*1
主要材料	ガード		—	SS400
個数			—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 56.80m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(貯蔵梱包クレーンユニット)を設定する。

名称		梱包天井クレーン (PA0156-M-50000)	
種類		—	天井走行式
容量		t	35
主要 寸法	走行レール間距離	mm	10370* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード距離	mm	3850* <sup>1</sup>
	高さ	mm	1889* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード幅	mm	650* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード高さ	mm	1400* <sup>1</sup>
主要 材料	ガード	—	SS400
	個数	—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 70. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		保管室天井クレーン (PA0156-M-60000)	
種類		—	天井走行式
容量		t	40
主要 寸法	走行レール間距離	mm	16620* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード距離	mm	4250* <sup>1</sup>
	高さ	mm	1992* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード幅	mm	550* <sup>1</sup>
	クレーン本体ガード高さ	mm	1400* <sup>1</sup>
主要 材料	ガード	—	SS400
個数		—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	輸送容器保管室 T. M. S. L. 70. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

名称		容器移載装置 (PA0156-M-40000)	
種類		—	電動式有軌道台車
容量		t	33
主要寸法	たて	mm	3000 <sup>*1</sup>
	横	mm	6038 <sup>*1</sup>
	高さ	mm	1100 <sup>*1</sup>
主要材料		—	SS400
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	貯蔵梱包クレーン室及び 輸送容器検査室 T. M. S. L. 56. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

## (2) 機械装置

## a. 機械・検査装置

名称			燃料ホルダ取付装置 (PA0156-M-20000)	
種類			—	傾斜装荷方式
臨界 管理	核的制限値*3	燃料集合体 取扱体数	体	1
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
主要 寸法	たて		mm	2060*1
	横		mm	1873*1
	高さ		mm	5405*1
主要材料			—	STKR400, SS400, SNCM439
個数			—	1
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	梱包室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3：本装置に単一ユニット(燃料ホルダ取付ユニット)を設定する。

名称			容器蓋取付装置 (PA0156-M-30000)	
種類			—	縦置き式
主要寸法	輸送容器固定機	たて	mm	4560 <sup>*1</sup>
		横	mm	2360 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	460 <sup>*1</sup>
	輸送容器置台-1	外径	mm	φ 2000 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)
	輸送容器置台-2	外径	mm	φ 2000 <sup>*1</sup>
高さ		mm	2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)	
主要材料	輸送容器固定機		—	SS400, STKR400
	輸送容器置台-1		—	SS400
	輸送容器置台-2		—	SS400
個数			—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	梱包室 T. M. S. L. 50. 30m 貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 56. 80m
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

(3) 遮蔽設備

a. 遮蔽扉

名 称 種 類		主要寸法*2 (mm)	材料
遮蔽扉 (梱包・出 荷設備)	燃料加工建屋 地下1階 (T. M. S. L. 50. 30m)	4 [REDACTED] 30 [REDACTED]	SUS304
		150 [REDACTED]	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ 以上)

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：遮蔽設計上考慮する厚さを示す。



2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号)</li> <li>・クレーン等安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 34 号)</li> <li>・日本産業規格(JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格(JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格(JCS)</li> <li>・クレーン構造規格 (平成 15 年 12 月 19 日厚生労働省告示第 399 号)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li> </ul>	<p>変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)	変更なし

## 〰 核燃料物質の貯蔵施設

1. 設計条件及び仕様  
 1.2 原料MOX粉末缶一時保管設備  
 (1) ラック/ピット/棚

名称				原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)		
種類		—		たて置きラック式		
臨 界 管 理	中心間距離 (ピット間隔)*3		mm	行方向300以上 列方向260以上		
	設置する室の 壁・床・天井ま での距離	南壁	mm	350以上		
		北壁	mm	350以上		
		床	mm	500以上		
		天井	mm	500以上		
単一ユニット相互間の壁 厚さ		mm	305以上			
容量		t・HM	0.3(24ピット)			
主 要 寸 法	たて		mm	1088*1		
	横		mm	4102*1		
	高さ		mm	948*1		
	中心間距離(ピット間隔)		mm	行方向340*1 列方向305*1		
主要材料		—	SUS304, SS400, STKR400			
個数		—	1			
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚 さ	ピット	内側	mm	5(7*1)
				中間	mm	70(71*1)
				外側	mm	20(23*1)
		遮蔽蓋 1, 2	内側	mm	4(6*1)	
			中間	mm	125(126*1)	
			外側	mm	30(33*1)	
		グロー ブポッ クス外	内側	mm	30(30.5*1)	
			中間	mm	200(201*1)	
			外側	mm	6(9*1)	
	主 要 材 料	ピット	内側	—	SUS304	
中間			—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)		
外側			—	SUS304		

(続き)

遮蔽体	主要材料	遮蔽蓋 1, 2	内側	—	SUS304
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
			外側	—	SUS304
		グローブボックス外	内側	—	鉛 (密度 $11.0 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
			外側	—	SUS304
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m	
	溢水防護上の区画番号		—	—*2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2	

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3: 貯蔵単位(粉末缶)の配列(2行×12列)を核的に安全な配置とする。

## (2) 搬送設備

名称		原料MOX粉末缶一時保管搬送装置 (PA0122-M-01100)	
種類		—	クレーン方式, コンベア方式
容量	原料MOX粉末缶 一時保管搬送装置	kg	30
	搬送コンベア	kg	50
主要 寸 法	たて	mm	1000* <sup>1</sup>
	横	mm	5300* <sup>1</sup>
	高さ	mm	3077* <sup>1</sup>
主要材料		—	SUS304, SUS304TP
個数		—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (3) 核物質等取扱ボックス

名称		原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス *4 (PA0122-B-01700)	
種類	—	グローブボックス	
漏れ率*2	vol%/h	0.25以下	
開口部風速*3	m/s	0.5以上	
主要寸法	たて	mm	1200*1
	横	mm	5500*1
	高さ	mm	3200*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-08
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

\*3：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。

\*4：本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。

## 1.3 ウラン貯蔵設備

## (1) ラック/ピット/棚

名称		ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)	
種類		—	棚段貯蔵方式
容量		t・HM	60 (676棚×4缶)
主要寸法	たて	mm	6100* <sup>1</sup>
	横	mm	20770* <sup>1</sup>
	高さ	mm	5110* <sup>1</sup>
主要材料		—	SS400, STKR400, STK400
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	ウラン貯蔵室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



1.4 粉末一時保管設備

(1) 運搬・製品容器

名称		容器(先行試験ポット)	
	種類	—	たて置円筒形
臨 界 管 理	内径	mm	90以下
	高さ	mm	250以下
	容量	kg・ MOX	2
	最高使用圧力	Pa	大気圧
	最高使用温度	℃	60
主 要 寸 法	内径	mm	
	厚さ	mm	
	高さ	mm	
	主要材料	—	ステンレス鋼
	個数	—	2

注記 \* : 公称値を示す。

名称		容器 (CS・RS回収ポット)	
種類		—	たて置円筒形
臨 界 管 理	内径	mm	90以下
	高さ	mm	250以下
容量		kg・ MOX	2
最高使用圧力		Pa	大気圧
最高使用温度		℃	60
主 要 寸 法	内径	mm	
	厚さ	mm	
	高さ	mm	
主要材料		—	ステンレス鋼
個数		—	10

注記 \* : 公称値を示す。

1.8 燃料棒貯蔵設備

(2) 搬送設備

名称			ウラン燃料棒収容装置 (PA0148-M-30000)	
種類		—	コンベア方式	
臨界 管理	核的制限値 *3	ウラン燃料棒取扱本数	本	540
		貯蔵マガジン取扱段数	段	1
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量	受渡機		kg	1600
	貯蔵マガジン取扱機		kg	1600
	挿入機		kg	40
	移載機		kg	400
	取出機		kg	40
	管棒セット機		kg	40
主要 寸法	受渡機	たて	mm	541 <sup>*1</sup>
		横	mm	2370 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	752 <sup>*1</sup>
	貯蔵マガジン取扱 機(昇降部)	たて	mm	1300 <sup>*1</sup>
		横	mm	4260 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	1907 <sup>*1</sup>
	貯蔵マガジン取扱 機(コンベア部)	たて	mm	920 <sup>*1</sup>
		横	mm	4470 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	752 <sup>*1</sup>
	定盤	たて	mm	485 <sup>*1</sup>
		横	mm	4425 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	546 <sup>*1</sup>
	挿入機	たて	mm	400 <sup>*1</sup>
		横	mm	5250 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	935 <sup>*1</sup>
	移載機	たて	mm	1798 <sup>*1</sup>
		横	mm	4531 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	1080 <sup>*1</sup>
	取出機	たて	mm	400 <sup>*1</sup>
		横	mm	4600 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	935 <sup>*1</sup>

(続き)

主要 材料	受渡機	—	SS400, STKR400
	貯蔵マガジン取扱機 (昇降部)	—	SS400, STKR400
	貯蔵マガジン取扱機 (コンベア部)	—	STKR400
	定盤	—	STKR400
	挿入機	—	SS400
	移載機	—	STKR400, SUJ2
	取出機	—	SS400
個数		—	1
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒受入室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

\*3 : 本装置に本数管理のウラン燃料棒収容ユニット(a)と形状寸法管理のウラン燃料棒収容ユニット(b)を設定する。

(3) 遮蔽設備

a. 遮蔽扉

名 称 種 類	主要寸法*2 (mm)	材料	
遮蔽扉 (燃料棒貯 蔵設備)	燃料加工建屋 地下2階 (T. M. S. L. 43. 20m)	5 [redacted] 22 [redacted]	SUS304
		150 [redacted]	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
	燃料加工建屋 地下2階 (T. M. S. L. 43. 20m)	5 [redacted] 22 [redacted]	SUS304
		115 [redacted]	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
	燃料加工建屋 地下2階 (T. M. S. L. 43. 20m)	5 [redacted] 12 [redacted]	SUS304
		85 [redacted]	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 遮蔽設計上考慮する厚さを示す。

1.9 燃料集合体貯蔵設備

(1) ラック/ピット/棚

名称			燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)	
種類		—	たて置角筒型	
臨界管理	中心間距離(チャンネル間隔)* <sup>1</sup>	mm	行方向750以上 列方向750以上	
	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	192~204	
	厚さ	外管	mm	4.5以上
		ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上
	燃料集合体取扱 中心から設置する 室の壁までの 距離	南壁	mm	375 以上
		北壁	mm	375 以上
設置室の周囲の壁厚さ		mm	305以上	
容量		t・HM	170	
主要寸法	たて	mm	592* <sup>2</sup>	
	横	mm	592* <sup>2</sup>	
	高さ	mm	5360* <sup>2</sup>	
	中心間距離(チャンネル間隔)	mm	行方向800* <sup>2</sup> 列方向800* <sup>2</sup>	
	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	198* <sup>2</sup>	
	厚さ	外管	mm	5.0* <sup>2</sup>
ガイド管		mm	(BWR燃料集合体用)6.0* <sup>2</sup> (PWR燃料集合体用)5.0* <sup>2</sup>	
主要材料	外管	—	SUS304TP	
	ガイド管		(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP	
個数		—	220* <sup>3</sup>	

(続き)

取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m
	溢水防護上の区画番号	—	— *4
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *4

注記 \*1 : 貯蔵単位(BWR 燃料集合体又は PWR 燃料集合体)の配列(10 行×8 列×2, 10 行×6 列)を核的に安全な配置とする。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 1 チャンネル当たり BWR 燃料集合体 4 体又は PWR 燃料集合体 1 体を収納する。

\*4 : 本装置は, 溢水防護対象でないため「—」とする。

(2) 遮蔽設備

a. 遮蔽蓋

名 称 種 類		主要寸法* <sup>2</sup> (mm)	材料
遮蔽蓋 (燃料集合体 貯蔵設備)	燃料加工建屋 地上1階 (T. M. S. L. 56.80m)	92 ■■■■	SUS304
		400 ■■■■	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ 以上)
遮蔽蓋 支持架台	燃料加工建屋 地上1階 (T. M. S. L. 56.80m)	1040 ■■■■	モルタル (密度 $2.15 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ 以上)

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 遮蔽設計上考慮する厚さを示す。



2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号)</li> <li>・クレーン等安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 34 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格 (JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格 (JCS)</li> <li>・クレーン構造規格 (平成 15 年 12 月 19 日厚生労働省告示第 399 号)</li> </ul>	<p>変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li><li>・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成25年6月19日原規技発第1306195号)</li><li>・放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準 (NFPA801 2014 Edition)</li><li>・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験</li><li>・UL1581(Fourth Edition-2001)1080.VW-1 垂直燃焼試験</li></ul>	変更なし

## ト 放射性廃棄物の廃棄施設

1. 設計条件及び仕様
- 1.1 気体廃棄物の廃棄設備
- 1.1.1 建屋排気設備
- (1) ファン

名	称	建屋排風機 (PA0171-K-111, -112, -113)			
種	類	—	遠心式		
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■ *1 (320000以上 *2)		
主要寸法	吸込口径	mm	1438 *1		
	吐出口径	mm	1240 *1 × 982 *1		
	た	mm	2855 *1		
	横	mm	4510 *1		
	高	mm	3175 *1		
主要材料	ケーシング	—	SS400		
個	数	—	3 (うち1台予備)		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	建屋排風機A 建屋排気系	建屋排風機B 建屋排気系	建屋排風機C 建屋排気系
	設	床	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の 区	画	番号	— *4	— *4
	溢水防護上の配慮 が	必要	な	高	さ
		—	— *4	— *4	— *4
原動機	種	類	—		
	出	力	kW/個		
	個	数	—		
	取	付	箇所		
		—	排風機と同じ		
設計上の空気流入率	回/h	— *3			

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 建屋排風機2台, 工程室排風機1台, グローブボックス排風機1台の排気量の合計を示す。

\*3 : 本機器は, 空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため, 設計上の空気流入率は「—」とする。

\*4 : 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (2) フィルタ

名 称		C1区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-124, -125, -126)	
種 類	—	密封交換型	
最 高 使 用 圧 力	kPa	5.25	
最 高 使 用 温 度	℃	35	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	5305	
効 率	単 品	%	99.97以上(0.15 μmDOP粒子)
	総 合	%	99.999(0.3 μmDOP粒子)
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	650* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	650* <sup>1</sup>
	た て	mm	750* <sup>1</sup>
	横	mm	2620* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	2652* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	3.2* <sup>1</sup>
主 要 材 料	ケーシング	—	SS400
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	3	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	C1区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C 建屋排気系
	設 置 床	—	排気フィルタ第2室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (2) フィルタ

名	称		C2区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-127, -128, -129, -130, -131, -132, -133, -134, -135, -136, -137, -138, -139, -140, -141, -142, -143, -144, -145, -146, -147, -148, -149)		
種	類	—	密封交換型		
最	高	使	用		
圧	力	kPa	5.25		
最	高	使	用		
温	度	℃	45		
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	8515		
効	単	品	%		
	総	合	%		
			99.97以上(0.15 μmDOP粒子)		
			99.999(0.3 μmDOP粒子)		
主要	吸	込	口		
	径		mm		
				650* <sup>1</sup>	
	吐	出	口		
	径		mm		
				650* <sup>1</sup>	
た			て		
			mm		
			750* <sup>1</sup>		
横			mm		
			2620* <sup>1</sup>		
高			さ		
			mm		
			2652* <sup>1</sup>		
厚			さ		
			mm		
			3.2* <sup>1</sup>		
主要	ケ	ー	シ		
	ン	グ			
			—		
			SS400		
主要	ろ	材			
				—	
			ガラス繊維		
個	数	—	23		
取	付	筒	所		
				系	統
				名	(
				ラ	イ
			ン		
			名)		
			—		
			C2区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W 建屋排気系		
設			置		
床					
			—		
			排気フィルタ第3室 T. M. S. L. 50. 30m		
溢			水		
防			護		
上			の		
区			画		
番			号		
			—* <sup>2</sup>		
溢			水		
防			護		
上			の		
配			慮		
が			必		
要			な		
高			さ		
			—* <sup>2</sup>		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

(3) 主配管

ト-仕-4

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
建屋排気系	C1 区域用建屋排気フィルタユニット A, B, C, C2 区域用 建屋排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W ～ 建屋排風機 A, B, C ～ 排気筒	5000	50	654.6	2.3	SS400
		8000	50	1456.4	3.2	SS400
		5000	50	1806.4	3.2	SS400
		8000	50	1809.0	4.5	SS400
		5000	50	2209.0	4.5	SS400
		2500	50	2306.0	3.0	SUS304
		8000	50	1006.4× 1256.4	3.2	SS400
			50	1406.4× 1406.4	3.2	SS400
		2500	50	1406.0× 1406.0	3.0	SUS304
		5000	50	2406.4× 1806.4	3.2	SS400

注記 \* : 公称値を示す。

1.1.2 工程室排気設備

(1) ファン

名		称	工程室排風機 (PA0171-K-301, -302)	
種	類	—	遠心式	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■ *1 (320000以上*2)	
主要寸法	吸込口径	mm	1338 *1	
	吐出口径	mm	1108 *1 × 882 *1	
	たて	mm	2735 *1	
	横	mm	4410 *1	
	高さ	mm	2995 *1	
主要材料	ケーシング	—	SS400	
個	数	—	2(うち1台予備)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	工程室排風機A 工程室排気系	工程室排風機B 工程室排気系
	設置床	—	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *4	— *4
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *4	— *4
原動機	種	—	三相誘導電動機	
	出力	kW/個	250	
	個	数	2(うち1台予備)	
	取付箇所	—	排風機と同じ	
設計上の空気流入率		回/h	— *3	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 建屋排風機2台, 工程室排風機1台, グローブボックス排風機1台の排気量の合計を示す。

\*3 : 本機器は, 空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため, 設計上の空気流入率は「—」とする。

\*4 : 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。



## (2) フィルタ

名 称		工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321, -322, -323, -324, -325, -326, -327, -328, -329, -330, -331)	
種 類	—	密封交換型	
最 高 使 用 圧 力	kPa	6.75	
最 高 使 用 温 度	℃	26 40*2	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	8205	
効 率	単 品	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)
	総 合	%	99.999 (0.3 μmDOP粒子)
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	650*1
	吐 出 口 径	mm	650*1
	た て	mm	750*1
	横	mm	2620*1
	高 さ	mm	2652*1
	厚 さ	mm	3.2*1
主 要 材 料	ケーシング	—	SS400
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	11	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K 工程室排気系
	設 置 床	—	排気フィルタ第1室 T. M. S. L. 50.30m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	PA-4-06
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 50.49m以上

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

## (3) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室 排気系	手動ダンパ(W5562, W5565, W5568) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 1	1000	40	203.2	1.6	SS400
		500	40	353.2	1.6	SS400
		1000	40	353.2	1.6	SS400
				403.2	1.6	SS400
				503.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W5572) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 2	1500	40	403.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W5584) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 3	1000	40	353.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W5573) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 4	2500	40	203.2	1.6	SS400

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室 排気系	手動ダンパ(W5582) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 5	2500	40	453.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W5775, W9099) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 6	2500	40	203.2	1.6	SS400
				253.2	1.6	SS400
				303.2	1.6	SS400
				403.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W5593, W5779, W9092), ペレット加工第2室 吸込口 ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 7	1000	40	303.2	1.6	SS400
		1500	40	353.2	1.6	SS400
		1000	40	403.2	1.6	SS400
				503.2	1.6	SS400
				603.2	1.6	SS400
		1500	40	603.2	1.6	SS400
		2500	40	603.2	1.6	SS400
	1000	40	603.2× 403.2	1.6	SS400	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室 排気系	手動ダンパ(W5596) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 8	1000	40	353.2	1.6	SS400
	手動ダンパ(W9090, W9091) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 9	1000	40	203.2	1.6	SS400
				353.2	1.6	SS400
				453.2	1.6	SS400
	*2 手動ダンパ(W5580, W5586, W5598, W5600) ～ 工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K  (次頁へ続く)	1000	40 (40)*3	403.2	1.6	SS400
				453.2	1.6	SS400
				503.2	1.6	SS400
		1500	40 (40)*3	503.2	1.6	SS400
		1000	40 (40)*3	603.2	1.6	SS400
		1500	40 (40)*3	603.2	1.6	SS400
653.2	1.6			SS400		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
ト-仕-10 工程室排気系	(前頁からの続き)	3500	40 (40)*3	654.6	2.3	SS400
		1500	40 (40)*3	703.2	1.6	SS400
				903.2	1.6	SS400
		2500	40 (40)*3	953.2	1.6	SS400
				1153.2	1.6	SS400
				1154.6	2.3	SS400
		3500	40 (40)*3	1156.4	3.2	SS400
		1500	40 (40)*3	1003.2× 653.2	1.6	SS400
		2500	40 (40)*3	1103.2× 1003.2	1.6	SS400

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室 排気系	手動ダンパ(W5433, W5436) ～ 手動ダンパ(W5294)	2500	40	403.2	1.6	SS400
				503.2	1.6	SS400
				603.2	1.6	SS400
				653.2	1.6	SS400
				753.2	1.6	SS400
	3500	40	904.6	2.3	SS400	
			1156.4	3.2	SS400	
	手動ダンパ(W5294) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点 10	3500	40	1156.4	3.2	SS400

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室排気系	*2 工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K ～ 工程室排風機入口手動ダンパ(W5142, W5143) ～ 工程室排気閉止ダンパ(PD W3084, W3085) ～ 工程室排風機 A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	5000	40 (40)*3	654.6	2.3	SS400
		6500	40 (40)*3	654.6	2.3	SS400
		10000	40 (40)*3	1356.4	3.2	SS400
		2500	40 (40)*3	1506.0	3.0	SUS304
		5000	40 (40)*3	1506.4	3.2	SS400
		6500	40 (40)*3	1506.4	3.2	SS400
		10000	40 (40)*3	1506.4	3.2	SS400
		8000	40 (40)*3	906.4× 1116.4	3.2	SS400
		2500	40 (40)*3	1306.0× 1306.0	3.0	SUS304
		8000	40 (40)*3	1306.4× 1306.4	3.2	SS400

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径* <sup>1</sup>	厚さ* <sup>1</sup>	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
工程室 排気系	可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部 ～ 排気筒	2500	40	1506.0	3.0	SUS304

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：外部放出抑制設備と兼用。

\*3：重大事故等時における使用時の値を示す。



1.1.3 グローブボックス排気設備

(1) ファン

名 称		グローブボックス排風機 (PA0171-K-401, -402)		
種 類	—	遠心式		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■* <sup>1</sup> (320000以上* <sup>2</sup> )		
主要寸法	吸込口径	mm	1188* <sup>1</sup>	
	吐出口径	mm	1188* <sup>1</sup> ×692* <sup>1</sup>	
	た て	mm	2855* <sup>1</sup>	
	横	mm	4210* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm	3175* <sup>1</sup>	
主要材料	ケーシング	—	SS400	
個 数	—	2(うち1台予備)		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	グローブボックス 排風機A グローブボックス 排気系	グローブボックス 排風機B グローブボックス 排気系
	設 置 床	—	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m	排風機室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	PA-4-04	PA-4-04
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 50. 35m以上	T. M. S. L. 50. 35m以上
原動機	種 類	—	三相誘導電動機	
	出 力	kW/個	220	
	個 数	—	2(うち1台予備)	
	取 付 箇 所	—	排風機と同じ	
設計上の空気流入率	回/h	—* <sup>3</sup>		

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 建屋排風機2台, 工程室排風機1台, グローブボックス排風機1台の排気量の合計を示す。

\*3: 本機器は, 空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため, 設計上の空気流入率は「—」とする。

## 1.1.3 グローブボックス排気設備

## (2) フィルタ

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21802, F-22802, F-23802, F-24802, F-25801, F-31801, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, PA0164-F-20801, F-20803, F-72801, F-73801, F-75802, F-76801, PA0166-F-10801, F-20801)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	40	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	52.7*2
	た て	mm	260*2
	横	mm	300*2
	高 さ	mm	260*2
	厚 さ	mm	■
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	18	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名	称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802, F-26801, F-26802, PA0144-F-10801, F-10802, F-10805, F-10806, F-10807, F-10808, PA0145-F-20801, F-20802, PA0163-F-21801, F-22801, F-23801, F-24801, F-25802, F-26801, F-30801, F-81801, PA0164-F-20802, F-54801, F-55801, F-57801, F-70801, F-71802, F-74801, F-75801, PA0167-F-50801, F-50802, F-60801, F-60802)	
種	類	—	枠型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	50	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	132	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	—*1	
	吐	出	口	
	径	mm	78.1*2	
	た	て	mm	310*2
	横	mm	300*2	
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
ろ	材	—	SUS304	
個	数	—	32	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330, PA0173-F-80401, F-80402)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	102.3*2
	た て	mm	310*2
	横	mm	303*2
	高 さ	mm	310*2
	厚 さ	mm	4*2
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	4	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2: 公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804, F-20803, F-20804, PA0164-F-53801, F-71801)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	102.3*2
	た て	mm	310*2
	横	mm	300*2
	高 さ	mm	310*2
	厚 さ	mm	■
主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	6	
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名		称	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219, F-80220)	
種	類	—	枠型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	50	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	360	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	—*1	
	吐	出	口	
	径	mm	155.2*2	
	た	て	mm	410*2
	横	mm	303*2	
高	さ	mm	410*2	
厚	さ	mm	4*2	
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	2	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801, F-52802, F-56801, F-58801, PA0167-F-30801, F-30802, F-40801, F-40802)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	102.3*2
	た て	mm	410*2
	横	mm	300*2
	高 さ	mm	410*2
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	8	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2: 公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217, F-80218, PA0130-F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313, F-80337, F-80338)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	203.3*2
	た て	mm	530*2
	横	mm	303*2
	高 さ	mm	530*2
	厚 さ	mm	4*2
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	10	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2: 公称値を示す。



名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	203.3*2
	た て	mm	530*2
	横	mm	300*2
	高 さ	mm	530*2
	厚 さ	mm	■
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	6	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名		称	グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)	
種	類	—	枠型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	50	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1080	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要 寸法	吸	込	口	
	径	mm	—*1	
	吐	出	口	
	径	mm	203.3*2	
	た	て	mm	610*2
	横	mm	300*2	
高	さ	mm	610*2	
厚	さ	mm	■	
主要 材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	2	
取 付 箇 所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2：公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322, F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)	
種 類	—	枠型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	50	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	3000	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1
	吐 出 口 径	mm	339.6*2
	た て	mm	720*2
	横	mm	474*2
	高 さ	mm	720*2
	厚 さ	mm	4*2
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	12	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。

\*2: 公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802, F-24801, F-24802, PA0144-F-20801, F-20802, PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-40801, F-40802, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, PA0164-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	102.3* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	102.3* <sup>1</sup>
	た て	mm	203* <sup>1</sup>
	横	mm	254* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	203* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	24	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327, F-80328, PA0164-F-80801, F-80802)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	151* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	151* <sup>1</sup>
	た て	mm	305* <sup>1</sup>
	横	mm	305* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	305* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	4	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：公称値を示す。

名		称	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202, PA0130-F-80314)	
種	類	—	箱型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	60	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	720	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	203.3* <sup>1</sup>	
	吐	出	口	
	径	mm	203.3* <sup>1</sup>	
	た	て	mm	500* <sup>1</sup>
	横	mm	305* <sup>1</sup>	
高	さ	mm	500* <sup>1</sup>	
厚	さ	mm		
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	2	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：公称値を示す。

名		称	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)	
種	類	—	箱型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	60	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1080	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	254.4 <sup>*1</sup>	
	吐	出	口	
	径	mm	254.4 <sup>*1</sup>	
	た	て	mm	610 <sup>*1</sup>
	横	mm	356 <sup>*1</sup>	
高	さ	mm	610 <sup>*1</sup>	
厚	さ	mm	■	
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	1	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304, F-80315, F-80316)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	1680	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	305.5* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	305.5* <sup>1</sup>
	た て	mm	610* <sup>1</sup>
	横	mm	356* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	610* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	4	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：公称値を示す。



名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201, F-80203, F-80206, F-80209, F-80210, F-80211, F-80212, F-80221, F-80222, PA0130-F-80301, F-80302, F-80306, F-80307, F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339, PA0142-F-13801)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	2400	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	339.6* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	339.6* <sup>1</sup>
	た て	mm	610* <sup>1</sup>
	横	mm	508* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	610* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	19	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1: 公称値を示す。

名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60* <sup>1</sup> , 100* <sup>2</sup>	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	2400	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	339.6* <sup>3</sup>
	吐 出 口 径	mm	339.6* <sup>3</sup>
	た て	mm	610* <sup>3</sup>
	横	mm	508* <sup>3</sup>
	高 さ	mm	610* <sup>3</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	8	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

注記 \*1：設計基準事故時における最高使用温度。

\*2：重大事故時における最高使用温度。

\*3：公称値を示す。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所																				
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																	
PA0120-F-80201	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80201, F-80202 グローブボックス 排気系	粉末調整 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m 以上																	
PA0120-F-80202					PA0120-F-80211	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80211, F-80212, F-80213, F-80214 グローブボックス 排気系	粉末調整 第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	PA0120-F-80212	PA0120-F-80213	PA0120-F-80214	PA0130-F-80331	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336 グローブボックス 排気系	ペレット・ スクラップ 貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-13	PA0130-F-80332	PA0130-F-80333	PA0130-F-80334	PA0130-F-80335	PA0130-F-80336	PA0120-F-80203
PA0120-F-80211	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80211, F-80212, F-80213, F-80214 グローブボックス 排気系	粉末調整 第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11																		
PA0120-F-80212																					
PA0120-F-80213																					
PA0120-F-80214																					
PA0130-F-80331	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336 グローブボックス 排気系	ペレット・ スクラップ 貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-13																		
PA0130-F-80332																					
PA0130-F-80333																					
PA0130-F-80334																					
PA0130-F-80335																					
PA0130-F-80336																					
PA0120-F-80203	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80203 グローブボックス 排気系	粉末調整 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15																		

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-80323	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80327, F-80328, F-80339 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0130-F-80324				
PA0130-F-80325				
PA0130-F-80326				
PA0130-F-80327				
PA0130-F-80328				
PA0130-F-80339				
PA0130-F-80329	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80329, F-80330 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第4室 T. M. S. L. 35.00m	—*1	—*1
PA0130-F-80330				
PA0120-F-80204	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80204, F-80205 グローブボックス 排気系	粉末調整 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-80205				
PA0130-F-80301	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80301, F-80302 グローブボックス 排気系	粉末調整 第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0130-F-80302				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-80314	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80314, F-80315, F-80316, F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第3室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-20	T.M.S.L. 35.00m以上
PA0130-F-80315				
PA0130-F-80316				
PA0130-F-80317				
PA0130-F-80318				
PA0130-F-80319				
PA0130-F-80320				
PA0130-F-80321				
PA0130-F-80322				
PA0120-F-80206	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80206 グローブボックス 排気系	粉末調整 第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-21	
PA0120-F-80207	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80207, F-80208, F-80209, F-80210 グローブボックス 排気系	粉末調整 第5室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-25	
PA0120-F-80208				
PA0120-F-80209				
PA0120-F-80210				

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-80215	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80215, F-80216, F-80303, F-80304 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-80216				
PA0130-F-80303				
PA0130-F-80304				
PA0130-F-80305	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80305, F-80306, F-80307, F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	
PA0130-F-80306				
PA0130-F-80307				
PA0130-F-80308				
PA0130-F-80309				
PA0130-F-80310				
PA0130-F-80311				
PA0130-F-80312				
PA0130-F-80313				

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0163-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-21801, F-21802, F-22801, F-22802, F-23801, F-23802, F-24801, F-24802, F-25801, F-25802, F-26801, F-30801, F-31801 グローブボックス 排気系	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m	— *1	— *1
PA0163-F-10802				
PA0163-F-20801				
PA0163-F-20802				
PA0163-F-20803				
PA0163-F-20804				
PA0163-F-21801				
PA0163-F-21802				
PA0163-F-22801				
PA0163-F-22802				
PA0163-F-23801				
PA0163-F-23802				
PA0163-F-24801				
PA0163-F-24802				
PA0163-F-25801				
PA0163-F-25802				
PA0163-F-26801				
PA0163-F-30801				
PA0163-F-31801				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0163-F-40801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-40801, F-40802, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, F-81801, PA0166-F-10801, F-20801 グローブボックス 排気系	分析第1室 T.M.S.L. 43.20m	—*1	—*1
PA0163-F-40802				
PA0163-F-42801				
PA0163-F-43801				
PA0163-F-44801				
PA0163-F-45801				
PA0163-F-47801				
PA0163-F-47802				
PA0163-F-80801				
PA0163-F-80802				
PA0163-F-81801				
PA0166-F-10801				
PA0166-F-20801				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-80337	グローブボックス 給気フィルタ	ペレット 立会室 T. M. S. L. 43. 20m		
PA0130-F-80338	PA0130-F-80337, F-80338,			
PA0144-F-10801	PA0144-F-10801, F-10802			
PA0144-F-10802	グローブボックス 排気系			
PA0144-F-10807	グローブボックス 給気フィルタ PA0144-F-10807, F-10808, PA0145-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802 グローブボックス 排気系	燃料棒 解体室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0144-F-10808				
PA0145-F-10801				
PA0145-F-10802				
PA0145-F-20801				
PA0145-F-20802				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0164-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802, F-52801, F-52802, F-53801, F-54801, F-55801, F-56801, F-57801, F-58801 グローブボックス 排気系	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	— *1	— *1
PA0164-F-10802				
PA0164-F-20801				
PA0164-F-20802				
PA0164-F-20803				
PA0164-F-50801				
PA0164-F-50802				
PA0164-F-51801				
PA0164-F-51802				
PA0164-F-52801				
PA0164-F-52802				
PA0164-F-53801				
PA0164-F-54801				
PA0164-F-55801				
PA0164-F-56801				
PA0164-F-57801				
PA0164-F-58801				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0164-F-70801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802 グローブボックス 排気系	分析第2室 T. M. S. L. 43.20m	—*1	—*1
PA0164-F-71801				
PA0164-F-71802				
PA0164-F-72801				
PA0164-F-73801				
PA0164-F-74801				
PA0164-F-75801				
PA0164-F-75802				
PA0164-F-76801				
PA0164-F-80801				
PA0164-F-80802				
PA0167-F-10801				
PA0167-F-10802				
PA0167-F-50801				
PA0167-F-50802				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0142-F-11801	グローブボックス 給気フィルタ PA0142-F-11801, F-11802, F-13801, F-21801, F-21802, PA0143-F-14801, F-14802, F-16801, F-16802, F-24801, F-24802, F-26801, F-26802, PA0144-F-10803, F-10804, F-10805, F-10806, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804 グローブボックス 排気系	燃料棒加工 第1室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0142-F-11802				
PA0142-F-13801				
PA0142-F-21801				
PA0142-F-21802				
PA0143-F-14801				
PA0143-F-14802				
PA0143-F-16801				
PA0143-F-16802				
PA0143-F-24801				
PA0143-F-24802				
PA0143-F-26801				
PA0143-F-26802				
PA0144-F-10803				
PA0144-F-10804				
PA0144-F-10805				
PA0144-F-10806				
PA0144-F-20801				
PA0144-F-20802				
PA0144-F-20803				
PA0144-F-20804				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所				
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	
PA0120-F-80217	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80217, F-80218 グローブボックス 排気系	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43. 20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43. 20m 以上	
PA0120-F-80218					
PA0120-F-80219	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80219, F-80220, F-80221, F-80222 グローブボックス 排気系	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	PA-3-20		
PA0120-F-80220					
PA0120-F-80221					
PA0120-F-80222					
PA0167-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0167-F-10801, F-10802, F-30801, F-30802, F-40801, F-40802, F-60801, F-60802, グローブボックス 排気系	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	— *1		— *1
PA0167-F-10802					
PA0167-F-30801					
PA0167-F-30802					
PA0167-F-40801					
PA0167-F-40802					
PA0167-F-60801					
PA0167-F-60802					
PA0173-F-80401	グローブボックス 給気フィルタ PA0173-F-80401, F-80402 グローブボックス 排気系	選別作業室 T. M. S. L. 50. 30m	— *1	— *1	
PA0173-F-80402					

注記 \*1 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## 1.1.3 グローブボックス排気設備

## (2) フィルタ

名 称		グローブボックス排気フィルタ	
		(PA0143-F-14841, F-14842, F-24841, F-24842, PA0144-F-20841, F-20842, PA0163-F-80841, F-80842, PA0164-F-10841, F-10842, F-80841, F-80842)	(PA0130-F-84359, F-84360, PA0144-F-20843, F-20844, PA0145-F-20841, F-20842, PA0163-F-30841, F-30842, F-31841, F-31842, F-42841, F-42842, F-43841, F-43842, F-44841, F-44842, F-45841, F-45842, F-81841, F-81842, PA0164-F-54841, F-54842, F-55841, F-55842, F-56841, F-56842, F-57841, F-57842, F-58841, F-58842, F-72841, F-72842, PA0167-F-60841, F-60842, PA0173-F-84401, F-84402)
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	102.3 <sup>*1</sup>
	吐 出 口 径	mm	102.3 <sup>*1</sup>
	た て	mm	203 <sup>*1</sup>
	横	mm	254 <sup>*1</sup>

(続き)

	高さ	mm	203*1	
	厚さ	mm	■	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
	ろ材	—	ガラス繊維	
個	数	—	12	36
取付箇所	系統名(ライン名)	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	
	設置床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

注記 \*1: 公称値を示す。

		グローブボックス排気フィルタ
名 称	(PA0120-F-84205, F-84206, F-84207, F-84208, PA0130-F-84309, F-84310, F-84311, F-84312, F-84329, F-84330, F-84331, F-84332, F-84357, F-84358, PA0163-F-10841, F-10842, F-20841, F-20842, F-40841, F-40842, PA0164-F-50841, F-50842)	(PA0110-F-84103, F-84104, PA0130-F-84317, F-84318, F-84319, F-84320, F-84321, F-84322, F-84323, F-84324, F-84325, F-84326, F-84327, F-84328, F-84361, F-84362, PA0143-F-16841, F-16842, PA0144-F-10841, F-10842, PA0145-F-10841, F-10842, F-20843, F-20844, PA0163-F-21841, F-21842, F-22841, F-22842, F-23841, F-23842, F-24841, F-24842, F-25841, F-25842, PA0164-F-20841, F-20842, F-52841, F-52842, F-53841, F-53842, F-71841, F-71842, F-72843, F-72844, F-73841, F-73842, F-75841, F-75842, PA0166-F-10841, F-10842, PA0167-F-30841, F-30842, F-40841, F-40842)



(続き)

種	類	—	箱型		
最	高	使	用	圧	
力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)		
最	高	使	用	温	
度	℃	60			
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	360		
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)		
主要寸法	吸	込	口	径	
	mm	151* <sup>1</sup>			
	吐	出	口	径	
	mm	151* <sup>1</sup>			
	た	て	mm	305* <sup>1</sup>	
	横	mm	305* <sup>1</sup>		
高	さ	mm	305* <sup>1</sup>		
厚	さ	mm	■		
主要材料	ケ	ー	シ	ン	
	グ	—	SUS304		
ろ	材	—	ガラス繊維		
個	数	—	22	54	
取付箇所	系	統	名	(	
	ラ	イ	ン	名)	
	—	—			
	設	置	床	—	
溢	水	防	護	上	
の	区	画	番	号	
—	—				
溢	水	防	護	上	
の	配	慮	が	必	
要	な	高	さ	—	
グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す					

注記 \*1：公称値を示す。

名 称			グローブボックス排気フィルタ	
			(PA0120-F-84201, F-84202, F-84203, F-84204, PA0130-F-84305, F-84306, F-84307, F-84308, F-84333, F-84334)	(PA0141-F-11841, F-11842, F-21841, F-21842, PA0145-F-10843, F-10844, PA0172-F-10841, F-10842)
種 類	—	箱型		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720		
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)		
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	203.3 <sup>*1</sup>	
	吐 出 口 径	mm	203.3 <sup>*1</sup>	
	た て	mm	500 <sup>*1</sup>	
	横	mm	305 <sup>*1</sup>	
	高 さ	mm	500 <sup>*1</sup>	
	厚 さ	mm	■■■■	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	
	ろ 材	—	ガラス繊維	
個 数	—	10	8	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	
	設 置 床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

注記 \*1: 公称値を示す。

名 称			グローブボックス排気フィルタ	
			(PA0120-F-84209, F-84210, F-84211, F-84212, F-84217, F-84218, F-84219, F-84220, F-84231, F-84232, F-84233, F-84234, F-84243, F-84244, F-84245, F-84246)	(PA0165-F-01841, F-01842, F-01843, F-01844, PA0182-F-61841, F-61842, F-62841, F-62842)
種 類	—	箱型		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	1080		
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)		
主要寸法	吸 込 口 径	mm	254.4* <sup>1</sup>	
	吐 出 口 径	mm	254.4* <sup>1</sup>	
	た て	mm	610* <sup>1</sup>	
	横	mm	356* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm	610* <sup>1</sup>	
	厚 さ	mm	■	
主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	
	ろ 材	—	ガラス繊維	
個 数	—	16	8	
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	
	設 置 床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

注記 \*1: 公称値を示す。

名	称	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)		
種	類	—	箱型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	60* <sup>1</sup> , 100* <sup>2</sup>	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1080	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	254.4* <sup>3</sup>	
	吐	出	口	
	径	mm	254.4* <sup>3</sup>	
	た	て	mm	610* <sup>3</sup>
	横	mm	356* <sup>3</sup>	
高	さ	mm	610* <sup>3</sup>	
厚	さ	mm		
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	4	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す				

注記 \*1：設計基準事故時における最高使用温度。

\*2：重大事故時における最高使用温度。

\*3：公称値を示す。

名 称	グローブボックス排気フィルタ		
	(PA0120-F-84247, F-84248, F-84249, F-84250, PA0130-F-84301, F-84302, F-84303, F-84304, F-84313, F-84314, F-84315, F-84316, PA0142-F-13841, F-13842, F-13843, F-13844)	(PA0130-F-84335, F-84336, F-84337, F-84338, F-84339, F-84340, F-84341, F-84342, F-84343, F-84344, F-84355, F-84356, PA0167-F-10841, F-10842, PA0182-F-63841, F-63842, F-64841, F-64842)	
種 類	—	箱型	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	1680	
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	305.5* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	305.5* <sup>1</sup>
	た て	mm	610* <sup>1</sup>
	横	mm	356* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	610* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	16	18
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	

(続き)

取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す
------	----------------	---	------------------------------

注記 \*1：公称値を示す。

名	称		グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216, F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)	
種	類	—	箱型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	60* <sup>1</sup> , 100* <sup>2</sup>	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1680	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	305.5* <sup>3</sup>	
	吐	出	口	
	径	mm	305.5* <sup>3</sup>	
	た	て	mm	610* <sup>3</sup>
	横	mm	356* <sup>3</sup>	
高	さ	mm	610* <sup>3</sup>	
厚	さ	mm		
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	8	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：設計基準事故時における最高使用温度。

\*2：重大事故時における最高使用温度。

\*3：公称値を示す。

名 称			グローブボックス排気フィルタ	
			(PA0120-F-84225, F-84226, F-84227, F-84228, F-84229, F-84230, PA0130-F-84349, F-84350, F-84351, F-84352, F-84353, F-84354)	(PA0110-F-84101, F-84102, PA0130-F-84345, F-84346, F-84347, PA0143-F-12841, F-12842)
種 類	—	箱型		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	2400		
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)		
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	339.6* <sup>1</sup>	
	吐 出 口 径	mm	339.6* <sup>1</sup>	
	た て	mm	610* <sup>1</sup>	
	横	mm	508* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm	610* <sup>1</sup>	
	厚 さ	mm	■■■■	
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	
	ろ 材	—	ガラス繊維	
個 数	—	12	7	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	
	設 置 床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

注記 \*1：公称値を示す。



名	称	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)		
種	類	—	箱型	
最	高	使	用	
圧	力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	
最	高	使	用	
温	度	℃	60* <sup>1</sup> , 100* <sup>2</sup>	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	2400	
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	
主要寸法	吸	込	口	
	径	mm	339.6* <sup>3</sup>	
	吐	出	口	
	径	mm	339.6* <sup>3</sup>	
	た	て	mm	610* <sup>3</sup>
	横	mm	508* <sup>3</sup>	
高	さ	mm	610* <sup>3</sup>	
厚	さ	mm		
主要材料	ケ	ー	シ	
	ン	グ	—	
			SUS304	
ろ	材	—	ガラス繊維	
個	数	—	4	
取付箇所	系	統	名	
	(	ラ	イ	
	ン	名	)	
	—	—	—	
設	置	床	—	
溢	水	防	護	
上	の	区	画	
番	号	—	—	
溢	水	防	護	
上	の	配	慮	
が	必	要	な	
高	さ	—	—	
			グローブボックス排気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	

注記 \*1：設計基準事故時における最高使用温度。

\*2：重大事故時における最高使用温度。

\*3：公称値を示す。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0110-F-84101	グローブボックス 排気フィルタ PA0110-F-84101, F-84102 グローブボックス 排気系	原料受払室 T. M. S. L. 35.00m	—*1	—*1
PA0110-F-84102				
PA0120-F-84201	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84201, F-84202, F-84203, F-84204, F-84205, F-84206, F-84207 F-84208 グローブボックス 排気系	粉末調整 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84202				
PA0120-F-84203				
PA0120-F-84204				
PA0120-F-84205				
PA0120-F-84206				
PA0120-F-84207				
PA0120-F-84208				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84231	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84231, F-84232, F-84233, F-84234 グローブボックス 排気系	粉末調整 第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84232				
PA0120-F-84233				
PA0120-F-84234				
PA0120-F-84209	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84209, F-84210, F-84211, F-84212 グローブボックス 排気系	粉末調整 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84210				
PA0120-F-84211				
PA0120-F-84212				

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-84345	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84345, F-84346, F-84347, F-84348, F-84349, F-84350, F-84351, F-84352, F-84353, F-84354, F-84357, F-84358 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-16	T.M.S.L. 35.00m 以上
PA0130-F-84346				
PA0130-F-84347				
PA0130-F-84349				
PA0130-F-84350				
PA0130-F-84351				
PA0130-F-84352				
PA0130-F-84353				
PA0130-F-84354				
PA0130-F-84357				
PA0130-F-84358				

MOX② ト-0058 A

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-84359	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84359, F-84360 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第4室 T. M. S. L. 35.00m	—*1	—*1
PA0130-F-84360				
PA0120-F-84213	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216 グローブボックス 排気系	粉末調整 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84214				
PA0120-F-84215				
PA0120-F-84216				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84235	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84359, F-84360 グローブボックス 排気系	粉末調整 第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84236				
PA0120-F-84237				
PA0120-F-84238				
PA0130-F-84301				
PA0130-F-84302				
PA0130-F-84303				
PA0130-F-84304				

MOX② ト-0060 A

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-84329	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84329, F-84330, F-84331, F-84332, F-84333, F-84334, F-84335, F-84336, F-84337, F-84338, F-84339, F-84340, F-84341, F-84342, F-84343, F-84344, F-84355, F-84356 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0130-F-84330				
PA0130-F-84331				
PA0130-F-84332				
PA0130-F-84333				
PA0130-F-84334				
PA0130-F-84335				
PA0130-F-84336				
PA0130-F-84337				
PA0130-F-84338				
PA0130-F-84339				
PA0130-F-84340				
PA0130-F-84341				
PA0130-F-84342				
PA0130-F-84343				
PA0130-F-84344				
PA0130-F-84355				
PA0130-F-84356				

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84217	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84217, F-84218, F-84219, F-84220 グローブボックス 排気系	粉末調整 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-21	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84218				
PA0120-F-84219				
PA0120-F-84220				



グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84221	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224, F-84225, F-84226, F-84227, F-84228, F-84229, F-84230 グローブボックス 排気系	粉末調整 第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-F-84222				
PA0120-F-84223				
PA0120-F-84224				
PA0120-F-84225				
PA0120-F-84226				
PA0120-F-84227				
PA0120-F-84228				
PA0120-F-84229				
PA0120-F-84230				

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84239	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242, PA0130-F-84305, F-84306, F-84307, F-84308 グローブボックス 排気系	ペレット 加工第1室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-26	T.M.S.L. 35.00m 以上
PA0120-F-84240				
PA0120-F-84241				
PA0120-F-84242				
PA0130-F-84305				
PA0130-F-84306				
PA0130-F-84307				
PA0130-F-84308				

MOX② ト-0064 A

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-84309	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84309, F-84310, F-84311, F-84312, F-84313, F-84314, F-84315, F-84316, F-84317, F-84318, F-84319, F-84320, F-84321, F-84322, F-84323, F-84324, F-84325, F-84326, F-84327, F-84328 グローブボックス 排気系	ペレット加 工第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-27	T.M.S.L. 35.00m 以上
PA0130-F-84310				
PA0130-F-84311				
PA0130-F-84312				
PA0130-F-84313				
PA0130-F-84314				
PA0130-F-84315				
PA0130-F-84316				
PA0130-F-84317				
PA0130-F-84318				
PA0130-F-84319				
PA0130-F-84320				
PA0130-F-84321				
PA0130-F-84322				
PA0130-F-84323				
PA0130-F-84324				
PA0130-F-84325				
PA0130-F-84326				
PA0130-F-84327				
PA0130-F-84328				

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0172-F-10841	グローブボックス 排気フィルタ PA0172-F-10841, F-10842 グローブボックス 排気系	液体廃棄物 処理第2室 T. M. S. L. 35.00m		
PA0172-F-10842				
PA0163-F-10841	グローブボックス 排気フィルタ PA0163-F-10841, F-10842, F-20841, F-20842, F-21841, F-21842, F-22841, F-22842, F-23841, F-23842, F-24841, F-24842, F-25841, F-25842, F-30841, F-30842, F-31841, F-31842 グローブボックス 排気系	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m	—*1	—*1
PA0163-F-10842				
PA0163-F-20841				
PA0163-F-20842				
PA0163-F-21841				
PA0163-F-21842				
PA0163-F-22841				
PA0163-F-22842				
PA0163-F-23841				
PA0163-F-23842				
PA0163-F-24841				
PA0163-F-24842				
PA0163-F-25841				
PA0163-F-25842				
PA0163-F-30841				
PA0163-F-30842				
PA0163-F-31841				
PA0163-F-31842				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0163-F-40841	グローブボックス 排気フィルタ PA0163-F-40841, F-40842, F-42841, F-42842, F-43841, F-43842, F-44841, F-44842, F-45841, F-45842, F-80841, F-80842, F-81841, F-81842, PA0165-F-01841, F- 01842, PA0166-F-10841, F- 10842 グローブボックス 排気系	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0163-F-40842				
PA0163-F-42841				
PA0163-F-42842				
PA0163-F-43841				
PA0163-F-43842				
PA0163-F-44841				
PA0163-F-44842				
PA0163-F-45841				
PA0163-F-45842				
PA0163-F-80841				
PA0163-F-80842				
PA0163-F-81841				
PA0163-F-81842				
PA0165-F-01841				
PA0165-F-01842				
PA0166-F-10841				
PA0166-F-10842				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-F-84361	グローブボックス 排気フィルタ PA0130-F-84361, F-84362 グローブボックス 排気系	ペレット 立会室 T. M. S. L. 43. 20m		
PA0130-F-84362				
PA0145-F-10841	グローブボックス 排気フィルタ PA0145-F-10841, F-10842, F-20841, F-20842, F-10843, F-10844, F-20843, F-20844 グローブボックス 排気系	燃料棒 解体室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0145-F-10842				
PA0145-F-20841				
PA0145-F-20842				
PA0145-F-10843				
PA0145-F-10844				
PA0145-F-20843				
PA0145-F-20844				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0164-F-10841	グローブボックス 排気フィルタ PA0164-F-10841, F-10842, F-20841, F-20842, F-50841, F-50842, F-52841, F-52842, F-53841, F-53842, F-54841, F-54842, F-55841, F-55842, F-56841, F-56842, F-57841, F-57842, F-58841, F-58842 グローブボックス 排気系	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0164-F-10842				
PA0164-F-20841				
PA0164-F-20842				
PA0164-F-50841				
PA0164-F-50842				
PA0164-F-52841				
PA0164-F-52842				
PA0164-F-53841				
PA0164-F-53842				
PA0164-F-54841				
PA0164-F-54842				
PA0164-F-55841				
PA0164-F-55842				
PA0164-F-56841				
PA0164-F-56842				
PA0164-F-57841				
PA0164-F-57842				
PA0164-F-58841				
PA0164-F-58842				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0164-F-71841	グローブボックス 排気フィルタ PA0164-F-71841, F-71842, F-72841, F-72842, F-72843, F-72844, F-73841, F-73842, F-75841, F-75842, F-80841, F-80842 グローブボックス 排気系	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0164-F-71842				
PA0164-F-72841				
PA0164-F-72842				
PA0164-F-72843				
PA0164-F-72844				
PA0164-F-73841				
PA0164-F-73842				
PA0164-F-75841				
PA0164-F-75842				
PA0164-F-80841				
PA0164-F-80842				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0165-F-01843	グローブボックス 排気フィルタ PA0165-F-01843, F-01844, PA0167-F-10841, F-10842, F-60841, F-60842 グローブボックス 排気系	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0165-F-01844				
PA0167-F-10841				
PA0167-F-10842				
PA0167-F-60841				
PA0167-F-60842				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0141-F-11841	グローブボックス 排気フィルタ PA0141-F-11841, F-11842, F-21841, F-21842, PA0142-F-13841, F-13842, F-13843, F-13844, PA0143-F-12841, F-12842, F-14841, F-14842, F-16841, F-16842, F-16841, F-16842, F-24841, F-24842 グローブボックス 排気系	燃料棒加工 第1室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0141-F-11842				
PA0141-F-21841				
PA0141-F-21842				
PA0142-F-13841				
PA0142-F-13842				
PA0142-F-13843				
PA0142-F-13844				
PA0143-F-12841				
PA0143-F-12842				
PA0143-F-14841				
PA0143-F-14842				
PA0143-F-16841				
PA0143-F-16842				
PA0143-F-24841				
PA0143-F-24842				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0144-F-10841	グローブボックス 排気フィルタ PA0144-F-10841, F-10842, F-20841, F-20842, F-20843, F-20844 グローブボックス 排気系	燃料棒加工 第1室 T. M. S. L. 43.20m	—*1	—*1
PA0144-F-10842				
PA0144-F-20841				
PA0144-F-20842				
PA0144-F-20843				
PA0144-F-20844				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0110-F-84103	グローブボックス 排気フィルタ PA0110-F-84103, F-84104 グローブボックス 排気系	ウラン粉末 準備室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0110-F-84104				
PA0120-F-84243	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84243, F-84244, F-84245, F-84246 グローブボックス 排気系	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43. 20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43. 20m 以上
PA0120-F-84244				
PA0120-F-84245				
PA0120-F-84246				

注記 \*1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-F-84247	グローブボックス 排気フィルタ PA0120-F-84247, F-84248, F-84249, F-84250 グローブボックス 排気系	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43. 20m 以上
PA0120-F-84248				
PA0120-F-84249				
PA0120-F-84250				

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0167-F-30841	グローブボックス 排気フィルタ PA0167-F-30841, F-30842, F-40841, F-40842, F-60841, F-60842 グローブボックス 排気系	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	—*1	—*1
PA0167-F-30842				
PA0167-F-40841				
PA0167-F-40842				
PA0167-F-60841				
PA0167-F-60842				
PA0173-F-84401	グローブボックス 排気フィルタ PA0173-F-84401, F-84402 グローブボックス 排気系	選別作業室 T. M. S. L. 50. 30m		
PA0173-F-84402				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

グローブボックス排気フィルタ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0182-F-63841	グローブボックス 排気フィルタ PA0182-F-61841, F-61842, F-62841, F-62842 グローブボックス 排気系	放射能 測定室 T. M. S. L. 56. 80m	—*1	—*1
PA0182-F-63842				
PA0182-F-64841				
PA0182-F-64842				
PA0182-F-61841	グローブボックス 排気フィルタ PA0182-F-61841, F-61842, F-62841, F-62842 グローブボックス 排気系	放射能 測定室 T. M. S. L. 56. 80m	—*1	—*1
PA0182-F-61842				
PA0182-F-62841				
PA0182-F-62842				

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (2) フィルタ

名 称		グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-421, -422, -423, -424, -425, -426, -427, -428, -429)	
種 類	—	密封交換型	
最 高 使 用 圧 力	kPa	9.0	
最 高 使 用 温 度	℃	46 100* <sup>2</sup>	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	6852	
効 率	単 品	%	99.97以上(0.15μmDOP粒子)
	総 合	%	99.999(0.3μmDOP粒子)
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	650* <sup>1</sup>
	吐 出 口 径	mm	650* <sup>1</sup>
	た て	mm	750* <sup>1</sup>
	横	mm	2620* <sup>1</sup>
	高 さ	mm	2452* <sup>1</sup>
	厚 さ	mm	3.0* <sup>1</sup>
主 要 材 料	ケーシング	—	SUS304
	ろ 材	—	ガラス繊維
個 数	—	9	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I グローブボックス排気系
	設 置 床	—	排気フィルタ第1室 T. M. S. L. 50.30m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	PA-4-06
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 50.49m以上

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：重大事故等時における使用時の値を示す。



## (3) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要 材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84349, F-84350, F-84351, F-84352, F-84353, F-84354)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)～製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84345, F-84346, F-84347)), (ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10, 延焼防止ダンパ (SPD W3161)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84357, F-84358)), (次頁へ続く)	1000	60	114.3	3.0	SUS304TP
		5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボック ス排 気系	(前頁からの続き) (焼結ボート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42, 延焼防止ダンパ(SPD W3165, W3166, W3167, W3168)～グローブボックス排気フィルタ(PA0130-F-84333, F-84334)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80317, F-80318)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-39, 焼結ペレット供給装置 A グローブボックス, 研削装置 A グローブボックス, ペレット検査設備 A グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0130-F-84335, F-84336, F-84337, F-84338)), (焼結ボート搬送装置グローブボックス-35, -37～グローブボックス排気フィルタ(PA0130-F-84329, F-84330, F-84331, F-84332)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80321, F-80322)～研削粉回収装置 A, B グローブボックス, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -3, -5, -7, -8, -11～グローブボックス排気フィルタ(PA0130-F-84343, F-84344, F-84355, F-84356)), (次頁へ続く)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP
	267.4			4.0	SUS304TP	
	318.5			4.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80319, F-80320)～焼結ポート搬送装置グローブボックス-41, 焼結ペレット供給装置 B グローブボックス, 研削装置 B グローブボックス, ペレット検査設備 B グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84339, F-84340, F-84341, F-84342)),	5000	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	(グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80310, F-80311)～排ガス処理装置 B グローブボックス(上部), (下部)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84321, F-84322, F-84323, F-84324)),	1000	60	406.0	3.0	SUS304
	(グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80308, F-80309)～排ガス処理装置 A グローブボックス(上部), (下部)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84317, F-84318, F-84319, F-84320), (次頁へ続く)	5000	60	406.0	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) (焼結ボート搬送装置グローブボックス-19, -20, -21, 焼結ボート供給装置 A, B, C グローブボックス～グロー ブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84309, F-84310, F- 84311, F-84312)), (焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -31, 焼結ボート取出装置 A, B, C グローブボックス～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84313, F- 84314, F-84315, F-84316)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80312, F- 80313)～排ガス処理装置 C グローブボックス (上部), (下部)～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F- 84325, F-84326, F-84327, F-84328)), (次頁へ続く)	5000	60	506.0	3.0	SUS304
	606.0			3.0	SUS304	
	656.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁からの続き) 手動ダンパ(W8431), 延焼防止ダンパ(SPD W3142, W3144, W3162, W3164, W3169, W3170, W3182, W3184, W3186, W3187) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点1(B3F)	5000	60	906.0	3.0	SUS304
		0	60	60.5	3.5	SUS304
				89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料	
		Pa	℃	mm	mm	—	
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(外圧)	50	216.3	4.0	SUS304	
				355.6	4.0	SUS304	
				609.6	5.5	SUS304	
			60	89.1	4.0	SUS304	
				114.3	3.0	SUS304	
				139.8	3.4	SUS304	
					165.2	3.4	SUS304
					216.3	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(外圧)	60	267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304
				457.2	4.5	SUS304
				508.0	5.0	SUS304
				609.6	5.5	SUS304
	980(内圧)/ 980(外圧)	60	60.5	3.5	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	558.8	5.0	SUS304
		3000(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	((グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217, F-80218)～再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219, F-80220)～小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス), 小規模試験設備取合点～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84243, F-84244, F-84245, F-84246)), (次頁へ続く)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) (小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置 グローブボックス-2, -4, 資材保管装置グローブボック ス, 小規模プレス装置グローブボックス, 小規模粉末混 合装置グローブボックス, 小規模研削検査装置グローブ ボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-47, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スク ラップ受払装置グローブボックス, 小規模試験設備取合 点～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84247, F-84248, F-84249, F-84250)), 延焼防止ダンパ (SPD W3197, W3201, W3202), 手動ダン パ (W5447, W8537, W8545, W8546, W8547, W8550, W8551, W8553, W8554, W8555, W8556, W8557, W8558, W8559, W8568, W8572, W8632, W8637, W8638) ～ 気密逆止ダンパ (ATCD W6426)	5000	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	406.0			3.0	SUS304	
	456.0			3.0	SUS304	
	506.0			3.0	SUS304	
	656.0			3.0	SUS304	
	706.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料	
		Pa	℃	mm	mm	—	
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60	114.3	3.0	SUS304	
				139.8	3.4	SUS304	
				165.2	3.4	SUS304	
		980(外圧)	50	50	165.2	3.4	SUS304
					216.3	4.0	SUS304
					267.4	4.0	SUS304
			60	60	114.3	3.0	SUS304
					139.8	3.4	SUS304
					165.2	3.4	SUS304
					267.4	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
		3000(外圧)	60	267.4	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	318.5	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	気密逆止ダンパ(ATCD W6426) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点2(B2F)	5000	60	706.0	3.0	SUS304
	手動ダンパ(W8589) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6425)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP
	気密逆止ダンパ(ATCD W6425) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点3(B2F)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	*2*3 グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1(B3F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2(B2F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点3(B2F) ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点	5000	60 (100)*4	906.0	3.0	SUS304
	1156.0			3.0	SUS304	
	856.0× 1206.0			3.0	SUS304	
	806.0× 1306.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	*2 可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ(W5144, W5145) ～ グローブボックス排気閉止ダンパ(PD W3086, W3087) ～ グローブボックス排風機 A, B	5000	60 (100)*4	656.0	3.0	SUS304
		7500	60 (100)*4	656.0	3.0	SUS304
			60 (100)*4	1006.0	3.0	SUS304
		11000	60 (100)*4	1006.0	3.0	SUS304
		5000	60 (100)*4	1206.0	3.0	SUS304
		7500	60 (100)*4	1206.0	3.0	SUS304
		11000	60 (100)*4	1206.0	3.0	SUS304
		5000	60 (100)*4	806.0× 1306.0	3.0	SUS304



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	*2 グローブボックス排風機 A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	2500	60 (100)*4	1206.0	3.0	SUS304
				1106.0× 1106.0	3.0	SUS304
		10000	60 (100)*4	1109.0× 1109.0	4.5	SUS304
				719.0× 1209.0	4.5	SUS304
	可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部 ～ 排気筒	2500	60	1206.0	3.0	SUS304
手動ダンパ(W8591) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点4(B1F)	5000	60	456.0	3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	*2*3 (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排 気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F- 84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブ ボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F- 84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブ ボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F- 84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置 A, B グローブボックス, グリーンペレ ット積込装置 A, B グローブボックス, プレス装置 A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排 気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F- 84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 1 (B3F)	5000	60 (100)*4	216.3	4.0	SUS304TP
	267.4			4.0	SUS304TP	
	318.5			4.5	SUS304TP	
	355.6			5.0	SUS304TPY	
	456.0			3.0	SUS304	
	556.0			3.0	SUS304	
	606.0			3.0	SUS304	
	656.0			3.0	SUS304	
	706.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60 (100)*4	267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	原料 MOX 粉末秤量・分取装置 A, B グローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス ～ 予備混合装置グローブボックス出口ダクト合流点 1, 2, 3	0	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				318.5	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	調整粉末搬送装置-14, -16 グローブボックス, 一次混合装置 B グローブボックス ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス出口ダクト合流点 1, 2	0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
	980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304	
			114.3	3.0	SUS304	
			139.8	3.4	SUS304	
			216.3	4.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	調整粉末搬送装置-8 グローブボックス ～ 造粒装置グローブボックス出口ダクト合流点	0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304
	調整粉末搬送装置-9 グローブボックス ～ 均一化混合装置グローブボックス出口ダクト合流点	0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	216.3	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(原料 MOX 粉末缶一時保管設備グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84201, F-84202, F-84203, F-84204)), (回収粉末微粉碎装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1 グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84205, F-84206, F-84207, F-84208)), 延焼防止ダンパ (SPD W3107, W3109, W3151) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 5 (B3F)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
		2500	60	267.4	4.0	SUS304TP
		5000	60	267.4	4.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料	
		Pa	℃	mm	mm	—	
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60	89.1	4.0	SUS304	
				114.3	3.0	SUS304	
				139.8	3.4	SUS304	
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	980(内圧)/ 980(外圧)	89.1	4.0	SUS304
					114.3	3.0	SUS304
					139.8	3.4	SUS304
					165.2	3.4	SUS304
					216.3	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	980(内圧)/ 3000(外圧)	165.2	3.4	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	980(内圧)/ 3000(外圧)	216.3	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボック ス排気 系	(原料 MOX 分析試料採取装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3 グローブボックス-1, -2, -4, 原料 MOX 粉末缶取出装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84209, F-84210, F-84211, F-84212)), 延焼防止ダンパ (SPD W3111, W3153) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 6 (B3F)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
		0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	267.4	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(調整粉末搬送装置-11, -13 グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 一次混合装置 A グローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-52, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-2~グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84231, F-84232, F-84233, F-84234)), 延焼防止ダンパ (SPD W3126, W3152) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 7 (B3F)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
		0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		980 (内圧) / 980 (外圧)	60	89.1	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				980(内圧)/ 3000(外圧)	60	267.4

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1, -4, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-48～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84301, F-84302, F-84303, F-84304)), 延焼防止ダンパ (SPD W3130, W3156) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 8 (B3F)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
		1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
		5000	60	318.5	4.5	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
		0	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
		980 (内圧) / 980 (外圧)	60	114.3	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	318.5	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6 グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-1~グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84217, F-84218, F-84219, F-84220)), 延焼防止ダンパ (SPD W3115, W3157) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 9 (B3F)	2500	60	216.3	4.0	SUS304TP
		5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
		0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		980 (内圧) / 980 (外圧)	60	89.1	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	267.4	4.0	SUS304



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(粉末一時保管装置グローブボックス-2, -3, -4, -5, 調整粉末搬送装置-3, -4, -19, -20 グローブボックス～ グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84225, F- 84226, F-84227, F-84228, F-84229, F-84230)), 延焼防止ダンパ (SPD W3118) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 10 (B3F))	5000	60	355.6	5.0	SUS304TPY
				456.0	3.0	SUS304
		0	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
		980 (内圧) / 980 (外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304

ト-0111-110

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				457.2	4.5	SUS304
		980(内圧)/ 3000(外圧)	60	355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(焼結ボート搬送装置グローブボックス-5, -8, -10, -11, -15, -16, -32, -34, -43, -46-1, 空焼結ボート取扱装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84305, F-84306, F-84307, F-84308)), 延焼防止ダンパ (SPD W3148) ~ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 11 (B3F)	5000	60	216.3	4.0	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
		0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
	980(内圧)/ 3000(外圧)	60	216.3	4.0	SUS304	
	延焼防止ダンパ(SPD W3154) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 12 (B3F)	2500	60	267.4	4.0	SUS304TP
			318.5	4.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	延焼防止ダンパ(SPD W3113) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 13 (B3F)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
	延焼防止ダンパ(SPD W3155) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 14 (B3F)	2500	60	216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
	延焼防止ダンパ(SPD W3128) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 15 (B3F)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
	延焼防止ダンパ(SPD W3158) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流 点 16 (B3F)	2500	60	406.0	3.0	SUS304
				5000	60	406.0

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	延焼防止ダンパ (SPD W3171) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 17 (B3F)	2500	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	延焼防止ダンパ (SPD W3146) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 18 (B3F)	5000	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	延焼防止ダンパ (SPD W3117) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 19 (B3F)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	手動ダンパ(W8588) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80221, F-80222) ～ 小規模焼結処理装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, -2, -5, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模研削検査装置グローブボックス, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-46-2	1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
	355.6			5.0	SUS304TPY	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ (W8483, W8484, W8486, W8488, W8489, W8490, W8492, W8493, W8494, W8495, W8496, W8498, W8501, W8502, W8504, W8505), 吸込口 ～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80201)～原 料 MOX 粉末缶一時保管設備グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80202)～回 収粉末微粉碎装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置 -1 グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80211, F- 80212)～粉末一時保管装置グローブボックス-1, 調整粉 末搬送装置-1, -3, -4, -11, -13, -14 グローブボック ス), グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80213, F- 80214), (次頁へ続く)	1000	60	165.2	3.5	SUS304TP
	216.3			4.0	SUS304TP	
	267.4			4.0	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁からの続き) (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80203)～原料 MOX 分析試料採取装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3 グローブボックス-1, -3, -4, 原料 MOX 粉末缶取出装置グローブボックス), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80206)～ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6 グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7 グローブボックス-1), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80209, F-80210)～調整粉末搬送装置-6, -8, -9, -16, -19, -20 グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7 グローブボックス-1, 粉末一時保管装置グローブボックス-6), (次頁へ続く)	1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
	355.6			5.0	SUS304TPY	
	406.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボック ス排 気系	(前頁からの続き) グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339)～スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80301, F-80302)～ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1, -4, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-48), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80314)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-35, -37), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-7, -8, -10, -11, -13, -14, -18, -19, -20, -21, -33, -45, 46-1, 空焼結ボート取扱装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)～焼結ボート供給装置 A, B, C グローブボックス), (次頁へ続く)	1000	60	456.0	3.0	SUS304
	506.0			3.0	SUS304	
	606.0			3.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80306, F-80307)～焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, -31, 焼結ボート取出装置 A, B, C グローブボックス)	0	60	60.5	3.5	SUS304
				89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	60.5	3.5	SUS304
				89.1	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304
				609.6	5.5	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	*2*3 グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214) ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス	0	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	回収粉末処理・混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 ～ 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16 グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1, -3, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-49, 一次混合装置 A, B グローブボックス	0	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304	
			139.8	3.4	SUS304	
			165.2	3.4	SUS304	
			355.6	4.0	SUS304	



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	*2*3 グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	0	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	予備混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点 1, 2, 3, 4, 5, 6 ～ ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボック ス, 原料 MOX 粉末秤量・分取装置 A, B グローブボック ス, 原料粉末搬送装置-6 グローブボックス	0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
	980(内圧)/ 980(外圧)	60	89.1	4.0	SUS304	
			114.3	3.0	SUS304	
			165.2	3.4	SUS304	
			267.4	4.0	SUS304	
			318.5	4.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	*2*3 グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	0	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
	造粒装置グローブボックス入口ダクト分岐点 ～ 調整粉末搬送装置-8, -9 グローブボックス	0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	*2*3 グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置 A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置 A, B グローブボックス	0	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60 (100)*4	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				318.5	4.0	SUS304
				355.6	4.0	SUS304
				406.4	4.5	SUS304
				267.4	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	プレス装置 A(プレス部)グローブボックス入口ダクト分岐点 1, 2 ～ プレス装置 A(粉末取扱部)グローブボックス, グリーン ペレット積込装置 A グローブボックス	0	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
	980(内圧)/ 980(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304	
			267.4	4.0	SUS304	
			318.5	4.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	プレス装置 B(プレス部) グローブボックス入口ダクト分岐点 1, 2, 3	0	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
	～ 添加剤混合粉末搬送装置-3 グローブボックス, プレス装置 B(粉末取扱部) グローブボックス, グリーンペレット積込装置 B グローブボックス	980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-10801, F-10802)～燃料棒解体装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10843, F-10844)), (搬送装置-1 グローブボックス-3～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-80841, F-80842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-31801)～γ線測定装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-31841, F-31842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-45801)～質量分析装置 E グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-45841, F-45842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-25801)～イオン交換装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-25802)～イオン交換装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-26801)～試料塗布装置グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-25841, F-25842)), (次頁へ続く)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
	165.2			3.5	SUS304TP	
	216.3			4.0	SUS304TP	
	267.4			4.0	SUS304TP	
	318.5			4.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボック ス排気系	(前頁からの続き) (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-30801)～ $\alpha$ 線測定装置グローブボックス～グローブボックス排気フ ィルタ (PA0163-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-44801)～質 量分析装置 D グローブボックス～グローブボックス排気 フィルタ (PA0163-F-44841, F-44842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-43801)～質 量分析装置 C グローブボックス～グローブボックス排気 フィルタ (PA0163-F-43841, F-43842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-24801)～ス パイキング装置グローブボックス-1), (グローブボック ス給気フィルタ (PA0163-F-24802)～スパイキング装置グ ローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-24841, F-24842)), (次頁へ続く)	5000	60	355.6	5.0	SUS304TPY
				406.0	3.0	SUS304
				456.0	3.0	SUS304
				506.0	3.0	SUS304
	980	50	216.3	6.5	SUS304TP	
			267.4	6.5	SUS304TP	



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) ((グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-23801)～スパイク試料調製装置-3 グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-23802)～スパイク試料調製装置-3 グローブボックス-2)～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-23841, F-23842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-42801)～質量分析装置 B グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-42841, F-42842)), (搬送装置-2 グローブボックス-1～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-81841, F-81842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-22801)～スパイク試料調製装置-2 グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-22802)～スパイク試料調製装置-2 グローブボックス-2)～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-22841, F-22842)), (次頁へ続く)	980	60	216.3	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
		3000	60	216.3	6.5	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21801)～ スパイク試料調製装置-1 グローブボックス-1), (グロー ブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21802)～スパイク試 料調製装置-1 グローブボックス-2)～グローブボックス 排気フィルタ(PA0163-F-21841, F-21842)), (試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1, 試料溶 解・調製装置-1 グローブボックス-2～グローブボックス 排気フィルタ(PA0163-F-20841, F-20842)), (プルトリウム含有率分析装置グローブボックス～グロ ーブボックス排気フィルタ(PA0163-F-40841, F- 40842)), (受払・分配装置グローブボックス, 蛍光 X 線分析装置 グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0163-F-10841, F-10842)), (次頁へ続く)	980	50	60.5	3.5	SUS304TP
		980	60	60.5	3.5	SUS304TP
		980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(前頁からの続き) ((グローブボックス給気フィルタ (PA0166-F-10801)～ 収去試料受払装置グローブボックス), (グローブボック ス給気フィルタ (PA0166-F-20801)～収去試料調製装置グ ローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0166-F-10841, F-10842)), 手動ダンパ (W8630, W8631), 302 分析第一室入口取合点 ～ 手動ダンパ (W8638)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
	165.2			5.0	SUS304TP	
	3000	60	165.2	5.0	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(受払装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-10841, F-10842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20803)～試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-3), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20802)～試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-20801)～試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-20841, F-20842)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-76801)～X線回析測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52802)～炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801)～炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-52841, F-52842)), (次頁へ続く)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
	980	60	114.3	4.0	SUS304TP	
	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP	
	980	60	165.2	5.0	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁からの続き)	3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
	((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-53801)～塩素・フッ素分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-70801)～粉末物性測定装置グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-53841, F-53842)),	980	50	60.5	3.5	SUS304TP
	((グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-71802)～金相試験装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-71801)～金相試験装置グローブボックス-1)～グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-71841, F-71842))	980	60	60.5	3.5	SUS304TP
	～	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	手動ダンパ (W8537)	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
		980	50	114.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料		
		Pa	℃	mm	mm	—		
グローブボックス排気系	搬送装置-3 グローブボックス-4 ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-80841, F-80842) ～ 手動ダンパ (W8545)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP		
	～ 手動ダンパ (W8545)	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP		
				165.2	5.0	SUS304TP		
	～ 手動ダンパ (W8546)	3000	60	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
				980	60	89.1	4.0	SUS304TP
						114.3	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-72801) ～ プルトリウムスポット検査装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72841, F-72842) ～ 手動ダンパ (W8547)	980	50	60.5	3.5	SUS304TP
	980	60	60.5	3.5	SUS304TP	
	980	60	114.3	4.0	SUS304TP	
	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP	
	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP	
	フードB ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01843, F-01844) ～ 手動ダンパ (W8637)	980	60	216.3	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
		3000	60	267.4	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボック ス排 気系	プルトニウムスポット検査装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72843, F- 72844) ～ 手動ダンパ (W8632)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
		980	60	165.2	5.0	SUS304TP
		3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
		980	50	60.5	3.5	SUS304TP
	(グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-73801)～液 浸密度測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-74801)～熱 分析装置グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-73841, F- 73842) ～ 手動ダンパ (W8550)	980	60	60.5	3.5	SUS304TP
		980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
		165.2	5.0	SUS304TP		
		3000	60	165.2	5.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-75801)～ペ レット溶解性試験装置グローブボックス-1),	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	(グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-75802)～ペ レット溶解性試験装置グローブボックス-2)	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	～	980	50	60.5	3.5	SUS304TP
	グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-75841, F- 75842)	980	60	60.5	3.5	SUS304TP
	～			114.3	4.0	SUS304TP
	手動ダンパ(W8551)			165.2	5.0	SUS304TP
		3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-55801)	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	～	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	ICP-発光分光分析装置グローブボックス			114.3	4.0	SUS304TP
～			114.3	4.0	SUS304TP	
グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-55841, F- 55842)						
～	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP	
手動ダンパ(W8553)						

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-56801) ～ ICP-質量分析装置グローブボックス	980	50	114.3	4.0	SUS304TP
	～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-56841, F-56842)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
	～ 手動ダンパ (W8554)	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-57801) ～ 水素分析装置グローブボックス	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-57841, F-57842)	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	～ 手動ダンパ (W8555)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
		3000	60	114.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	水分分析装置グローブボックス, O/M 比測定装置グローブボックス	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
	～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-50841, F-50842)			165.2	5.0	SUS304TP
	～ 手動ダンパ (W8556)	3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-58801)	980	50	114.3	4.0	SUS304TP
	～ 蒸発性不純物測定装置 A グローブボックス	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
	～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-58841, F-58842)					
	～ 手動ダンパ (W8557)					

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気ダクト	(グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-50801, F-50802)～放射能濃度分析グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)～分析済液中和固液分離グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-10841, F-10842) ～ 手動ダンパ (W8558)	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
		980	50	216.3	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
				318.5	6.5	SUS304TP
		980	60	216.3	6.5	SUS304TP
				318.5	6.5	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
		3000	60	318.5	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(スタック編成設備 A グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-11841, F-11842)), (スタック編成設備 B グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-21841, F-21842)), (ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3, -14～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-10841, F-10842)) ～ 手動ダンパ (W8568)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
		980	60	165.2	5.0	SUS304TP
				216.3	6.5	SUS304TP
		3000	60	216.3	6.5	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
		980	60	114.3	4.0	SUS304TP
		0	60	114.3	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(乾燥ボート取出装置 A, B グローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3, 挿入溶接装置(燃料棒溶接部)A, B グローブボックス, スタック供給装置 A, B グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13841, F-13842, F-13843, F-13844)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802)～除染装置 A グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-26801, F-26802)～除染装置 B グローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-16841, F-16842)), (次頁へ続く)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
				406.0	3.0	SUS304
		980	60	114.3	4.0	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁からの続き) (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20843, F-20844)), (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20841, F-20842), ピストンダンパ(PD W3522) , 手動ダンパ(W8576, W8577, W8579, W8581) ～ 手動ダンパ(W8572)	980	60	318.5	6.5	SUS304TP
		3000	60	318.5	6.5	SUS304TP
		980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
		3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	手動ダンパ(W5230), 吸気口 ～ グローブボックス給気フィルタ(0142-F-13801) ～ 乾燥ボート取出装置 A, B グローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10, 挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, B グローブボックス	1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
		980	60	318.5	6.5	SUS304TP
				355.6	8.0	SUS304TPY
				267.4	6.5	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				216.3	6.5	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-30801, F-30802)～ろ過・第1活性炭処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-40801, F-40802)～第2活性炭・吸着処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-40841, F-40842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-60802, F-60801)～放射能濃度分析グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-60841, F-60842)) ～ 手動ダンパ (W5447)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
		980	50	114.3	4.0	SUS304TP
						165.2
		980	60	165.2	5.0	SUS304TP
		3000	60	165.2	5.0	SUS304TP
		980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
3000	60	114.3	4.0	SUS304TP		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80337, F-80338) ～ ペレット立会検査装置グローブボックス ～	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
	グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84361, F-84362) ～ 手動ダンパ (W8589)			216.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(外圧)	50	216.3	4.0	SUS304
			60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
			3000(外圧)	60	165.2	3.4

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	(吸着処理オープンポートボックス, ろ過処理オープン ポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0172-F-10841, F-10842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F- 61841, F-61842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F- 62841, F-62842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F- 63841, F-63842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F- 64841, F-64842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0173-F-80401, F- 80402)～選別・保管グローブボックス～グローブボック ス排気フィルタ (PA0173-F-84401, F-84402)) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6429)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
				406.0	3.0	SUS304
				456.0	3.0	SUS304
		980	60	165.2	5.0	SUS304TP
				216.3	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	3000	60	216.3	6.5	SUS304TP
		980	60	267.4	6.5	SUS304TP
		3000	60	267.4	6.5	SUS304TP
		980	60	318.5	6.5	SUS304TP
		3000	60	318.5	6.5	SUS304TP
		980(外圧)	50	114.3	3.0	SUS304
			60	114.3	3.0	SUS304
		0	60	114.3	3.0	SUS304
3000(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	気密逆止ダンパ(ATCD W6429) ～ 手動ダンパ(W8591)	5000	60	456.0	3.0	SUS304
	ウラン粉末払出装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ(PA0110-F-84103, F-84104) ～ 手動ダンパ(W8559)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
		0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
		3000(外圧)	60	165.2	3.4	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-13 ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84359, F- 84360), 延焼防止ダンパ (SPD W3163) ～ 手動ダンパ (W8431)	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP
		0	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		980 (外圧)	60	89.1	4.0	SUS304
				114.3	3.0	SUS304
		3000 (外圧)	60	114.3	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7191) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0143-F-14801, F-14802) ～ 部材供給装置(部材搬送部)A オープンポートボックス	970000	50	27.2	2.5	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
		980	60	60.5	3.5	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7195) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0143-F-24801, F-24802) ～ 部材供給装置(部材搬送部)B オープンポートボックス	970000	50	27.2	2.5	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
		980	60	60.5	3.5	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7196) ～ 手動ダンパ(W5822)	970000	50	27.2	2.5	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				42.7	3.0	SUS304TP
	980	60	60.5	3.5	SUS304TP	
			114.3	4.0	SUS304TP	
	手動ダンパ(W5822) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0144-F-20801, F-20802) ～ 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11	980	60	114.3	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7192) ～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-10801, F-10802)～受払・分配装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-47801, F-47802)～蛍光 X 線分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-80801, F-80802)～搬送装置-1 グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-40801, F-40802)～プルトニウム含有率分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-20803, F-20804)～試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-20801, F-20802)～試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1)	970000	50	48.6	3.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	114.3	4.0	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料	
		Pa	℃	mm	mm	—	
ト-0161-160 グローブ ボックス 排気系	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7161) ～ (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-51801, F-51802)～水分分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-50801, F-50802)～O/M比測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-10801, F-10802)～受払装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-80801, F-80802)～搬送装置-3グローブボックス-1)	970000	50	48.6	3.0	SUS304TP	
				114.3	4.0	SUS304TP	
				89.1	4.0	SUS304TP	
			980	60	114.3	4.0	SUS304TP
					267.4	6.5	SUS304TP
					60.5	3.5	SUS304TP
					89.1	4.0	SUS304TP
					165.2	5.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	新鮮窒素供給設備取合弁(0192-W7173) ～ 新鮮窒素供給配管弁(0171-W3917, W3918)	970000	50	60.5	3.5	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
	980	60	165.2	5.0	SUS304TP	
			318.5	6.5	SUS304TP	
			267.4	6.5	SUS304TP	
			114.3	4.0	SUS304TP	
	新鮮窒素供給配管弁(0171-W3917) ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80315, F-80316) ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42	980	60	267.4	6.5	SUS304TP
				318.5	6.5	SUS304TP
				318.5	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(前頁と同じ)	0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(内圧)/ 980(外圧)	60	114.3	3.0	SUS304
				139.8	3.4	SUS304
				216.3	4.0	SUS304
				267.4	4.0	SUS304
				318.5	4.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料	
		Pa	℃	mm	mm	—	
グローブ ボックス 排気系	新鮮窒素供給配管弁(0171-W3918)	980	60	165.2	5.0	SUS304TP	
	～ グローブボックス給気フィルタ(PA0130-F-80327, F- 80328)	0	60	114.3	3.0	SUS304	
	～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10			139.8	3.4	SUS304	
			980(内圧)/ 980(外圧)	60	139.8	3.4	SUS304
					165.2	3.4	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802) ～ 乾燥ボート供給装置 A グローブボックス	980	50	216.3	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
		980	60	267.4	6.5	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-21801, F-21802) ～ 乾燥ボート供給装置 B グローブボックス	980	50	216.3	6.5	SUS304TP
				267.4	6.5	SUS304TP
		980	60	267.4	6.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8, -14	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
		980	50	165.2	5.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
		0	60	114.3	3.0	SUS304
	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10805, F-10806) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
		980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20803, F-20804) ～ 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14	980	50	114.3	4.0	SUS304TP
		980	60	165.2	5.0	SUS304TP
		980	50	165.2	5.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
ト-0167-166 グローブ ボックス 排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10801, F-10802)	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10807, F-10808)	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12	980	60	89.1	4.0	SUS304TP
	グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-81801)	980	50	89.1	4.0	SUS304TP
	～ 搬送装置-2 グローブボックス-3	980	60	89.1	4.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14	0	60	114.3	3.0	SUS304
		980(外圧)	50	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
		60	114.3	3.0	SUS304	
			165.2	3.4	SUS304	

ト-仕-167

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブボックス排気系	(グローブボックス給気フィルタ (PA0145-F-20801, F-20802)～溶接試料前処理装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20841, F-20842)), (溶接試料前処理装置オープンポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-20843, F-20844)), (燃料棒搬入オープンポートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0145-F-10841, F-10842)) ～ 手動ダンパ (W8631)	5000	60	165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
		980	50	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
		980	60	114.3	4.0	SUS304TP
		3000	60	114.3	4.0	SUS304TP
	165.2			5.0	SUS304TP	
	980	60	165.2	5.0	SUS304TP	
	フードA ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01841, F-01842) ～ 手動ダンパ (W8630)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
		980	60	216.3	6.5	SUS304TP
267.4				6.5	SUS304TP	
3000		60	267.4	6.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	貯蔵容器受払装置オープンポートボックス, 外蓋着脱 装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84101, F- 84102) ～ 102 原料受払室出口取合点	5000	60	318.5	4.5	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
	0	60	267.4	4.0	SUS304	
	980(外圧)	60	267.4	4.0	SUS304	
			355.6	4.0	SUS304	
	3000(外圧)	60	355.6	4.0	SUS304	
	102 原料受払室出口取合点 ～ 手動ダンパ (W5299)	5000	60	318.5	4.5	SUS304TP
	手動ダンパ (W5299) ～ 302 分析第一室入口取合点	5000	60	318.5	4.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	被覆管供給装置 A, B オープンポートボックス, 汚染検査装置 A, B オープンポートボックス, 部材供給装置(部材供給部) A, B オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-12841, F-12842) ～ 手動ダンパ (W8581)	980	60	165.2	5.0	SUS304TP
				216.3	6.5	SUS304TP
				318.5	6.5	SUS304TP
				355.6	8.0	SUS304TPY
		3000	60	355.6	8.0	SUS304TPY
	部材供給装置(部材搬送部) A オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-14841, F-14842) ～ 手動ダンパ (W8576)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
		3000	60	114.3	4.0	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	部材供給装置(部材搬送部)B オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-24841, F- 24842) ～ 手動ダンパ (W8577)	980	60	114.3	4.0	SUS304TP
	手動ダンパ (W8388) ～ 排ガス処理装置 A グローブボックス(下部) ～ 手動ダンパ (W8914)	3000	60	114.3	4.0	SUS304TP
				165.2	5.0	SUS304TP
	手動ダンパ (W8395) ～ 排ガス処理装置 B グローブボックス(下部) ～ 手動ダンパ (W8920)	0	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304
	手動ダンパ (W8395) ～ 排ガス処理装置 B グローブボックス(下部) ～ 手動ダンパ (W8920)	0	60	114.3	3.0	SUS304
				165.2	3.4	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 排気系	手動ダンパ(W8399) ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(下部) ～ 手動ダンパ(W8926)	0	60	114.3	3.0	SUS304
	165.2			3.4	SUS304	

注記 \*1：公称値を示す。  
\*2：外部放出抑制設備と兼用。  
\*3：代替グローブボックス排気設備と兼用。  
\*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

1.1.4 窒素循環設備

(1) ファン

名		称	窒素循環ファン(PA0171-K-501, -502)	
種	類	—	遠心式	
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■ *1	
主要寸法	吸込口径	mm	895 *1	
	吐出口径	mm	798 *1 × 462 *1	
	たて	mm	2470 *1	
	横	mm	3290 *1	
	高さ	mm	2750 *1	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
個	数	—	2(うち1台予備)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	窒素循環ファンA 窒素循環系	窒素循環ファンB 窒素循環系
	設置床	—	冷却機械室 T. M. S. L. 50. 30m	冷却機械室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *2	— *2
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2	— *2
原動機	種	類	—	
	出力	kW/個	160	
	個	数	—	
	取付箇所	—	ファンと同じ	
設計上の空気流入率		回/h	— *3	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本機器は、空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため、設計上の空気流入率は「—」とする。



## (2) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
室素循環系	延焼防止ダンパ(SPD W3107, W3109, W3111, W3113, W3115, W3117, W3118, W3126, W3128, W3130, W3142, W3144, W3146, W3148, W3182, W3184) ～ 302 分析第一室入口取合点	5000	60	114.3	3.0	SUS304TP
				165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
				406.0	3.0	SUS304
				456.0	3.0	SUS304
				556.0	3.0	SUS304
				656.0	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
窒素循環系	302 分析第一室入口取合点 ～ 窒素循環戻りダクト合流点 1(B2F)	5000	60	656.0	3.0	SUS304
	延焼防止ダンパ(SPD W3197) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6424)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
	気密逆止ダンパ(ATCD W6424) ～ 窒素循環戻りダクト合流点 1(B2F)	5000	60	318.5	4.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
ト-仕-176 窒素循環系	窒素循環戻りダクト合流点 1(B2F)	5000	60	656.0	3.0	SUS304
	～	2500	60	806.0	3.0	SUS304
	窒素循環冷却機 A, B	5000	60	856.0	3.0	SUS304
	～	7500	60	856.0	3.0	SUS304
	窒素循環ファン A, B	10000	60	856.0	3.0	SUS304
	～	2500	60	956.0	3.0	SUS304
	～	10000	60	479.0× 809.0	4.5	SUS304
	窒素循環給気ダクト分岐点 1(B2F)	2500	60	706.0× 1056.0	3.0	SUS304
	～	10000	60	709.0× 1059.0	4.5	SUS304
	～			1109.0× 1109.0	4.5	SUS304
～	10000	60	712.0× 1412.0	6.0	SUS304	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
室素循環系	室素循環給気ダクト分岐点 1 (B2F) ～ ピストンダンパ (PD W3523)	2500	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	ピストンダンパ (PD W3523) ～ 手動ダンパ (W8588)	1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
		2500	60	355.6	5.0	SUS304TPY
	室素循環給気ダクト分岐点 1 (B2F) ～ 302 分析第一室出口取合点	2500	60	756.0	3.0	SUS304
				806.0	3.0	SUS304

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
室素循環系	302 分析第一室出口取合点 ～ 室素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ (W8483, W8484, W8486, W8488, W8489, W8490, W8492, W8493, W8494, W8495, W8496, W8498, W8501, W8502, W8504, W8505)	1000	60	165.2	3.5	SUS304TP
				216.3	4.0	SUS304TP
				267.4	4.0	SUS304TP
				318.5	4.5	SUS304TP
				355.6	5.0	SUS304TPY
				406.0	3.0	SUS304
				456.0	3.0	SUS304
				506.0	3.0	SUS304
				556.0	3.0	SUS304
				706.0	3.0	SUS304
		756.0	3.0	SUS304		
2500	60	756.0	3.0	SUS304		

ト-仕-178

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		Pa	℃	mm	mm	—
空 素 循 環 系	手動ダンパ(W8579)	5000	60	267.4	4.0	SUS304TP
	～ 窒素循環戻りダクト合流点2(B2F)			318.5	4.5	SUS304TP
	窒素循環給気ダクト分岐点2(B2F)	1000	60	318.5	4.5	SUS304TP
	～ 手動ダンパ(W5230)			355.6	5.0	SUS304TPY

注記 \* : 公称値を示す。

(3) 機械装置

a. 機械・検査装置

名称		窒素循環冷却機 (PA0171-C-551, -552)		
種類		—	コイルユニット(床置形)	
主要寸法	吸込口径	mm	1410* <sup>1</sup> ×710* <sup>1</sup>	
	吐出口径	mm	1110* <sup>1</sup> ×1110* <sup>1</sup>	
	たて	mm	2008* <sup>1</sup>	
	横	mm	3958* <sup>1</sup>	
	高さ	mm	2348* <sup>1</sup>	
主要材料	ケーシング	—	SUS304, SUS304TP	
個数		—	2(うち1台予備)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	窒素循環冷却機A 窒素循環系	窒素循環冷却機B 窒素循環系
	設置床	—	冷却機械室 T. M. S. L. 50. 30m	冷却機械室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画 番号	—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## 1.1.5 外部放出抑制設備

## (1) フィルタ

以下の設備はグローブボックス排気設備であり，外部放出抑制設備として本設工認で兼用とする。

- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)
- ・ グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216, F-84221, F-84222, F-84223, F-84224, F-84235, F-84236, F-84237, F-84238, F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)
- ・ グローブボックス排気フィルタユニット (PA0171-F-421, F-422, F-423, F-424, F-425, F-426, F-427, F-428, F-429)

以下の設備は工程室排気設備であり，外部放出抑制設備として本設工認で兼用とする。

- ・ 工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321, F-322, F-323, F-324, F-325, F-326, F-327, F-328, F-329, F-330, F-331)



## (2) 主配管

以下の設備はグローブボックス排気設備であり、外部放出抑制設備として本設工認で兼用とする。

- ・ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2 (B2F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点3 (B2F)～可搬型排風機入口接続口分岐点
- ・ 可搬型排風機入口接続口分岐点～グローブボックス排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I～グローブボックス排風機入口手動ダンパ (W5144, W5145)～グローブボックス排気閉止ダンパ (PD W3086, W3087)～グローブボックス排風機A, B
- ・ グローブボックス排風機A, B～可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部
- ・ (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242))～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F)
- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214)～回収粉末処理・混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205)～予備混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208)～造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216)～プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス

以下の設備は工程室排気設備であり、外部放出抑制設備として本設工認で兼用とする。

- ・ 手動ダンパ (W5580, W5586, W5598, W5600)～工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K
- ・ 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K～工程室排風機入口手動ダンパ (W5142, W5143)～工程室排気閉止ダンパ (PD W3084, W3085)～工程室排風機A, B～可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部

1.1.6 代替グローブボックス排気設備

(2) フィルタ

以下の設備はグローブボックス排気設備であり、代替グローブボックス排気設備として本設工認で兼用とする。

- ・ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)
- ・ グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216, F-84221, F-84222, F-84223, F-84224, F-84235, F-84236, F-84237, F-84238, F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)

## (3) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		Pa	°C	mm	mm	—
代替グローブボックス排気系	可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ 可搬型排風機入口接続口	5000*2	100*2	267.4	4.0	SUS304TP

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

(続き)

以下の設備はグローブボックス排気設備であり、代替グローブボックス排気設備として本設工認で兼用とする。

- ・ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 1(B3F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 2(B2F)～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 3(B2F)～可搬型排風機入口接続口分岐点
- ・ (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置 A, B グローブボックス, グリーンペレット積込装置 A, B グローブボックス, プレス装置 A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242))～グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点 1(B3F)
- ・ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80213, F-80214)～回収粉末処理・混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80204, F-80205)～予備混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80207, F-80208)～造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス
- ・ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80215, F-80216)～プレス装置 A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置 A, B グローブボックス

## 1.2 液体廃棄物の廃棄設備

## 1.2.1 低レベル廃液処理設備

## (1) 容器

名称			イオン系廃液検査槽 (PA0172-V-11,-12)		
種類	—		たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /個		■以上 (2* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa		静水頭		
最高使用温度	℃		50		
主要寸法	胴内径		mm	1450* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	1450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)	
				145* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)	
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>	
	イオン系廃液入口 管台 (P1)	外径	mm	114.3* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	4.0* <sup>1</sup>	
	イオン系廃液出口 管台 (P2)	外径	mm	34.0* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	3.0* <sup>1</sup>	
高さ		mm	1803* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板		—	SUS304	
	鏡板		—	SUS304	
	平板		—	SUS304	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	イオン系廃液 検査槽A 低レベル廃液 処理系	イオン系廃液 検査槽B 低レベル廃液 処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			固体系廃液検査槽 (PA0172-V-61,-62)		
種類		—	たて置円筒形		
容量		m <sup>3</sup> /個	■以上 (10* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力		MPa	静水頭		
最高使用温度		℃	50		
主要寸法	胴内径		mm	2300* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ		mm	6.0* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ		mm	6.0* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	2300* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)	
				230* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)	
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>	
	固体系廃液出口 管台(P2)	外径	mm	76.3	
厚さ		mm	3.5* <sup>1</sup>		
高さ		mm	3050* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板		—	SUS304	
	鏡板		—	SUS304	
	平板		—	SUS304	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	固体系廃液検査槽A 低レベル廃液 処理系	固体系廃液検査槽B 低レベル廃液 処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			ろ過処理前槽 (PA0172-V-70)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (10 <sup>*1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	℃		50	
主要寸法	胴内径		mm	2300 <sup>*1</sup>
	胴板厚さ		mm	6.0 <sup>*1</sup>
	鏡板厚さ		mm	6.0 <sup>*1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	2300 <sup>*1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				230 <sup>*1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	22 <sup>*1</sup>
	ろ過処理前液 入口管台 (P1)	外径	mm	76.3 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	3.5 <sup>*1</sup>
	廃液貯槽戻り液 入口管台 (P2)	外径	mm	60.5 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	3.5 <sup>*1</sup>
	吸着処理後槽 戻り液入口管台 (P3)	外径	mm	34.0 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	3.0 <sup>*1</sup>
	ろ過処理前液 出口管台 (P5)	外径	mm	21.7 <sup>*1</sup>
厚さ		mm	3.7 <sup>*1</sup>	
高さ		mm	3050 <sup>*1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	ろ過処理前槽 低レベル廃液処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			ろ過処理後槽 (PA0172-V-80)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (10* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	°C		50	
主要寸法	胴内径		mm	2300* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	6.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	6.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	2300* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				230* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>
	ろ過処理液入口 管台 (P1)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	ろ過処理液出口 管台 (P2)	外径	mm	76.3* <sup>1</sup>
厚さ		mm	5.2* <sup>1</sup>	
高さ		mm	3050* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	ろ過処理後槽 低レベル廃液処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称			吸着処理前槽 (PA0172-V-20)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (2* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	℃		50	
主要寸法	胴内径		mm	1450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	1450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				145* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>
	吸着処理前液 入口管台(P1)	外径	mm	34.0* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	3.0* <sup>1</sup>
	廃液貯槽戻り液 入口管台(P2)	外径	mm	60.5* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	3.5* <sup>1</sup>
	ろ過処理後槽戻り 液入口管台(P3)	外径	mm	76.3* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	3.5* <sup>1</sup>
	吸着処理前液 出口管台(P5)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	3.7* <sup>1</sup>
高さ		mm	1803* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理前槽 低レベル廃液処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理後槽 (PA0172-V-30)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (2* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	°C		50	
主要寸法	胴内径		mm	1450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	9.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	1450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				145* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>
	吸着処理液入口 管台 (P1)	外径	mm	21.7
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	吸着処理液出口 管台 (P2)	外径	mm	34.0
		厚さ	mm	3.4* <sup>1</sup>
高さ		mm	1803* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理後槽 低レベル廃液処理系
	設置床		—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			廃液貯槽 (PA0172-V-91,-92,-93)			
種類		—	たて置円筒形			
容量		m <sup>3</sup> /個	■以上 (22* <sup>1</sup> )			
最高使用圧力		MPa	静水頭			
最高使用温度		°C	50			
主要寸法	胴内径		mm	2650* <sup>1</sup>		
	胴板厚さ		mm	6.0* <sup>1</sup>		
	底板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>		
	平板厚さ		mm	22* <sup>1</sup>		
	イオン系廃液 入口管台(P1)	外径	mm	34.0* <sup>1</sup>		
		厚さ	mm	3.0* <sup>1</sup>		
	固体系廃液入口 管台(P2)	外径	mm	76.3* <sup>1</sup>		
		厚さ	mm	3.5* <sup>1</sup>		
	吸着処理液入口 管台(P3)	外径	mm	34.0* <sup>1</sup>		
		厚さ	mm	3.0* <sup>1</sup>		
	ろ過処理液入口 管台(P4)	外径	mm	76.3* <sup>1</sup>		
厚さ		mm	3.5* <sup>1</sup>			
廃液出口 管台(P5)	外径	mm	76.3* <sup>1</sup>			
	厚さ	mm	5.2* <sup>1</sup>			
高さ		mm	4644* <sup>1</sup>			
主要材料	胴板		—	SUS316L		
	底板		—	SUS316L		
	平板		—	SUS316L		
個数		—	3			
取付箇所	系統名(ライン名)		—	廃液貯槽A 低レベル 廃液処理 系	廃液貯槽B 低レベル 廃液処理 系	廃液貯槽C 低レベル 廃液処理 系
	設置床		—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物 処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物 処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。  
\*2：本機器は，溢水防護対象ではないため「－」とする。

## (2) ろ過装置

名称			第1ろ過処理装置, 第2ろ過処理装置 (PA0172-M-71, -72)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup> /h/個		■以上 (0.25 <sup>*1</sup> )
最高使用圧力	MPa		0.49
最高使用温度	°C		60
主要寸法	胴外径		mm 318.5 <sup>*1</sup>
	胴板厚さ		mm 4.5 <sup>*1</sup>
	鏡板厚さ		mm 4.5 <sup>*1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm 309.5 <sup>*1</sup> (鏡板の内面における長径)
			mm 77.375 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)
	ろ過処理液 入口管台(P3)	外径	mm 21.7 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm 2.5 <sup>*1</sup>
	ろ過処理液 出口管台(P4)	外径	mm 21.7 <sup>*1</sup>
厚さ		mm 2.5 <sup>*1</sup>	
高さ		mm 1136 <sup>*1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316LTP
	鏡板		— SUS316L
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)		— 第1ろ過処理装置, 第2ろ過処理装置 低レベル廃液処理系
	設置床		— 液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		— — <sup>*3</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— — <sup>*3</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 内面における長径と短径の比が2となる値

\*3: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		精密ろ過装置 (PA0172-M-7210)		
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.25* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa	0.49		
最高使用温度	°C	60		
主要寸法	胴外径	mm	101.6* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ	mm	5.7* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ	mm	5.7* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	90.2* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)	
		mm	22.55* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	蓋板厚さ	mm	30.6* <sup>1</sup>	
	廃液入口管台(P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	廃液出口管台(P2)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
フランジ厚さ	mm	18.0* <sup>1</sup>		
高さ	mm	1181* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板	—	SUS316LTP	
	鏡板	—	SUS316L	
	蓋板	—	SUS316L	
	フランジ	—	SUS316L	
個数	—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	精密ろ過装置 低レベル廃液処理系	
	設置床	—	液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35.00m	
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>3</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>3</sup>	

注記 \*1：公称値を示す。  
\*2：内面における長径と短径の比が2となる値  
\*3：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		限外ろ過装置 (PA0172-M-73)		
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.25* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa	0.49		
最高使用温度	°C	60		
主要寸法	胴外径	mm	101.6* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ	mm	5.7* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ	mm	5.7* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	90.2* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)	
		mm	22.55* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	蓋板厚さ	mm	30.6* <sup>1</sup>	
	廃液入口管台 (P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	廃液出口管台 (P2)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
フランジ厚さ	mm	18.0* <sup>1</sup>		
高さ	mm	1181* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板	—	SUS316LTP	
	鏡板	—	SUS316L	
	蓋板	—	SUS316L	
	フランジ	—	SUS316L	
個数	—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	限外ろ過装置 低レベル廃液処理系	
	設置床	—	液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35.00m	
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>3</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>3</sup>	

注記 \*1: 公称値を示す。  
\*2: 内面における長径と短径の比が2となる値  
\*3: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理塔 (PA0172-T-21,-22)		
種類		—	たて置円筒形		
容量		m <sup>3</sup> /h/個	■■■■以上 (0.01* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力		MPa	0.29		
最高使用温度		℃	60		
主要寸法	胴外径		mm	318.5* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ		mm	4.5* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ		mm	4.5* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	309.5* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)	
				77.375* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	処理液入口 管台(P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>	
	処理液出口 管台(P2)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
厚さ		mm	2.5* <sup>1</sup>		
高さ		mm	976* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板		—	SUS316LTP	
	鏡板		—	SUS316L	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理塔A 低レベル廃液系	吸着処理塔B 低レベル廃液系
	設置床		—	液体廃棄物処理 第2室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理 第2室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 内面における長径と短径の比が2となる値

\*3: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



## (3) ポンプ

名称		イオン系廃液検査槽ポンプ (PA0172-P-1111,-1112)		
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	■以上 (2.0* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (15* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.5	
	最高使用温度	℃	50	
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	130* <sup>1</sup>
		横	mm	134* <sup>1</sup>
		高さ	mm	310* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS16
	個数		—	2
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	イオン系廃液 検査槽ポンプA 低レベル廃液 処理系
		設置床	—	イオン系廃液 検査槽ポンプB 低レベル廃液 処理系
溢水防護上の区画 番号		—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW/個	0.75	
	個数	—	2	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		固体系廃液検査槽ポンプ (PA0172-P-6111,-6112)			
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	■以上 (12.0* <sup>1</sup> )		
	揚程	m	■以上 (9* <sup>1</sup> )		
	最高使用圧力	MPa	0.5		
	最高使用温度	℃	50		
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>	
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>	
		たて	mm	160* <sup>1</sup>	
		横	mm	190* <sup>1</sup>	
		高さ	mm	310* <sup>1</sup>	
	主要材料	ケーシング	—	SCS13	
	個数		—	2	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	固体系廃液検査槽 ポンプA 低レベル廃液 処理系	固体系廃液検査槽 ポンプB 低レベル廃液 処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機		
	出力	kW/個	2.2		
	個数	—	2		
	取付箇所	—	ポンプと同じ		

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		ろ過処理前槽ポンプ (PA0172-P-7010)		
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.25* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■以上 (0.22* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.49	
	最高使用温度	℃	50	
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	260* <sup>1</sup>
		横	mm	280* <sup>1</sup>
		高さ	mm	325* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	ろ過処理前槽ポンプ 低レベル廃液処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.4	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			ろ過処理後槽ポンプ (PA0172-P-8010)	
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (12.0* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (9* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.2	
	最高使用温度	℃	50	
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	130* <sup>1</sup>
		横	mm	134* <sup>1</sup>
		高さ	mm	310* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS16
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	ろ過処理後槽ポンプ 低レベル廃液処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	1.1	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		吸着処理前槽ポンプ (PA0172-P-2010)		
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■■■■以上 (0.021* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■■■■以上 (0.18* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.29	
	最高使用温度	℃	50	
	主要寸法	吸込口径	mm	■■■■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■■■■* <sup>1</sup>
		たて	mm	240* <sup>1</sup>
		横	mm	100* <sup>1</sup>
		高さ	mm	342* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	吸着処理前槽ポンプ 低レベル廃液処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.4	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理後槽ポンプ (PA0172-P-3010)	
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (2.0 <sup>*1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (14 <sup>*1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.5	
	最高使用温度	℃	50	
	主要寸法	吸込口径	mm	■ <sup>*1</sup>
		吐出口径	mm	■ <sup>*1</sup>
		たて	mm	130 <sup>*1</sup>
		横	mm	134 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	310 <sup>*1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS16
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	吸着処理後槽ポンプ 低レベル廃液処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	— <sup>*2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.75	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		廃液貯槽ポンプ (PA0172-P-9111,-9112)			
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	■以上 (20* <sup>1</sup> )		
	揚程	m	■以上 (62* <sup>1</sup> )		
	最高使用圧力	MPa	1.0		
	最高使用温度	℃	50		
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>	
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>	
		たて	mm	385* <sup>1</sup>	
		横	mm	400* <sup>1</sup>	
		高さ	mm	520* <sup>1</sup>	
	主要材料	ケーシング	—	SCS16	
	個数		—	2	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	廃液貯槽ポンプA 低レベル廃液 処理系	廃液貯槽ポンプB 低レベル廃液 処理系
		設置床	—	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理 第3室 T. M. S. L. 35.00m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機		
	出力	kW/個	15		
	個数	—	2		
	取付箇所	—	ポンプと同じ		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (4) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
低 レ ベ ル 廃 液 処 理 系	イオン系廃液検査槽 A, B	静水頭	50	34.0	3.4	SUS304TP
	～					
	イオン系廃液検査槽ポンプ A, B	0.5	50	34.0	3.0	SUS316LTP
	～					
	廃液貯槽 A, B, C, 吸着処理前槽					
	～	静水頭	50	76.3	3.5	SUS304TP
	固体系廃液検査槽 A, B					
	～	0.5	50	76.3	3.5	SUS304TP
	固体系廃液検査槽ポンプ A, B					
	～					
廃液貯槽 A, B, C, ろ過処理前槽						
～	0.5	50	60.5	3.5	SUS304TP	
～						
～	0.5	50	48.6	3.0	SUS304TP	
～						



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
ト-仕-206 低レベル 廃液処理系	吸着処理前槽	静水頭	50	21.7	2.5	SUS316LTP
	～	0.29	50	21.7	2.5	SUS316LTP
	吸着処理前槽ポンプ	0.29	60	21.7	2.5	SUS316LTP
	～			17.3	2.0	SUS316LTP
	吸着処理塔 A, B			27.2	2.5	SUS316LTP
	～			静水頭	50	34.0
	吸着処理後槽	0.5	50	34.0	3.0	SUS316LTP
	～			48.6	3.0	SUS316LTP
	吸着処理後槽ポンプ					
	～					
廃液貯槽 A, B, C, ろ過処理前槽						

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
低 レ ベ ル 廃 液 処 理 系	ろ過処理前槽	静水頭	50	21.7	3.7	SUS316LTP
	～ ろ過処理前槽ポンプ			21.7	2.5	SUS316LTP
	～ 第1ろ過処理装置	0.49	50	21.7	2.5	SUS316LTP
	～ 第2ろ過処理装置			34.0	3.0	SUS316LTP
	～ 精密ろ過装置	0.49	60	21.7	2.5	SUS316LTP
	～ 限外ろ過装置			27.2	2.5	SUS316LTP
	～ ろ過処理後槽	静水頭	50	76.3	5.2	SUS316LTP
	～ ろ過処理後槽ポンプ			76.3	3.5	SUS316LTP
	～ 廃液貯槽 A, B, C, 吸着処理前槽	0.2	50	76.3	3.5	SUS316LTP
				60.5	3.5	SUS316LTP
				48.6	3.0	SUS316LTP

ト-仕-207

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
低 レ ベ ル 廃 液 処 理 系  ト-仕-208	廃液貯槽 A, B, C ～ 廃液貯槽ポンプ A, B ～ 吸着処理前槽, ろ過処理前槽, 排水口 (0172-W3054)	静水頭	50	76.3	3.5	SUS316LTP
		1.0	50	76.3	3.5	SUS316LTP
				60.5	3.5	SUS316LTP
				89.1	4.0	SUS316LTP
	分析済液処理設備境界弁 (0167-W3001) ～ イオン系廃液検査槽 A, B	大気圧	50	60.5	3.5	SUS316LTP
		静水頭	50	114.3	4.0	SUS316LTP
		大気圧	50	114.3	4.0	SUS316LTP

注記 \* : 公称値を示す。

## (5) 核物質等取扱ボックス

名称		ろ過処理オープンポートボックス (PA0172-B-20701)		
種類		—	オープンポートボックス	
開口部風速*3		m/s	0.5以上	
主要寸法	たて	mm	3000*1	
	横	mm	1000*1	
	高さ	mm	3300*1	
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	
個数		—	1	
漏えい液受皿	最高使用圧力		Pa 静水頭	
	最高使用温度		℃ 60	
	主要寸法	ろ過処理オープンポートボックス 漏えい液受皿 (PA0172-X-79)	たて	mm 2988*1
			横	mm 988*1
			高さ	mm ■*1
厚さ			mm 6.0*1*4	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	
	設置床		— 液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35. 00m	
	溢水防護上の区画番号		—*2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート3箇所開放)の面風速を示す。

\*4：本受皿は、耐圧強度計算対象外機器のため、公称値のみとする。

名称				吸着処理オープンポートボックス (PA0172-B-10701)		
種類			—	オープンポートボックス		
開口部風速*3			m/s	0.5以上		
主要 寸 法	たて		mm	3000*1		
	横		mm	1000*1		
	高さ		mm	3300*1		
主要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂		
個数			—	1		
漏 え い 液 受 皿	最高使用圧力		Pa	静水頭		
	最高使用温度		℃	60		
	主 要 寸 法	吸着処理オープン ポートボックス 漏えい液受皿 (PA0172-X-29)	たて	mm	2988*1	
			横	mm	988*1	
			高さ	mm	■*1	
厚さ			mm	6.0*1*4		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—		
	設置床		—	液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35.00m		
	溢水防護上の区画番号		—	—*2		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート3箇所開放)の面風速を示す。

\*4：本受皿は、耐圧強度計算対象外機器のため、公称値のみとする。

2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号)</li> <li>・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号)</li> <li>・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示 (平成 27 年 8 月 31 日原子力規制委員会告示第 8 号)</li> <li>・平成 12 年建設省告示第 1400 号 (平成 12 年 5 月 30 日建設省告示第 1400 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・日本建築学会各種建築工事標準仕様書・同解説 (JASS)</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li><li>・日本電機工業会規格(JEM)</li><li>・日本電線工業会規格(JCS)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li><li>・発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針 (昭和 50 年 5 月 13 日原子力委員会決定)</li><li>・日本空気清浄協会「空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針」 (JACA No. 11A-2003)</li><li>・電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)</li><li>・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)</li><li>・放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準 (NFPA801 2014 Edition)</li><li>・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験</li><li>・UL1581 (Fourth Edition-2001) 1080. VW-1 垂直燃焼試験</li></ul>	変更なし

## リ その他の加工施設



## 1. 設計条件及び仕様

## 1.1 非常用設備

## 1.1.1 火災防護設備

## 1.1.1.1 消火設備

## (1) 容器

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-1	
		窒素ガス貯蔵容器	窒素ガス加圧容器
種類	—	一般継目なし容器	一般継目なし容器
容量	L/個	■以上 (■*1)	■以上 (■*1)
最高使用温度	℃	40	40
最高使用圧力	MPa	30.7	10.8
主要寸法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料	—	■	■
個数	—	12	2
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-1 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-2, -1-3		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■* <sup>1</sup> )		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■* <sup>1</sup>	
	高さ	mm	■* <sup>1</sup>	
	胴部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )	
	底部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )	
主要材料		—	■	
個数		—	12      12	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-2 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-3 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-4, -1-5		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		—	■	
個数		—	12                      14	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-4 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-5 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50. 30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50. 30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-6, -1-7		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		■		
個数		—	12      12	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-6 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-7 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-8	
		窒素ガス貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■以上(■* <sup>1</sup> )	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	30.7	
主要寸法	外径	mm	■* <sup>1</sup>
	高さ	mm	■* <sup>1</sup>
	胴部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )
	底部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )
主要材料		—	■
個数		—	12
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -1-8 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-1	
		窒素ガス貯蔵容器	窒素ガス加圧容器
種類	—	一般継目なし容器	一般継目なし容器
容量	L/個	■以上 (■*1)	■以上 (■*1)
最高使用温度	℃	40	40
最高使用圧力	MPa	30.7	10.8
主要寸法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料	—	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
個数	—	11	2
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-1 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-2, -2-3		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		—	■	
個数		—	14      14	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-2 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-3 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-4, -2-5		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		—	■	
個数		—	12      12	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-4 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-5 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-6	
		窒素ガス貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■以上(■* <sup>1</sup> )	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	30.7	
主要寸法	外径	mm	■* <sup>1</sup>
	高さ	mm	■* <sup>1</sup>
	胴部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )
	底部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )
主要材料		—	■
個数		—	12
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-6 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -3-1	
		窒素ガス貯蔵容器	窒素ガス加圧容器
種類	—	一般継目なし容器	一般継目なし容器
容量	L/個	■以上 (■*1)	■以上 (■*1)
最高使用温度	℃	40	40
最高使用圧力	MPa	30.7	10.8
主要寸法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料	—	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
個数	—	11	1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -3-1 窒素消火装置
	設置床	—	ダンパ駆動用ポンベ第3室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -3-2, -3-3		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	30.7		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		—	■	
個数		—	11      11	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -3-2 窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -3-3 窒素消火装置
	設置床	—	ダンパ駆動用ポンベ 第3室 T. M. S. L. 50.30 m	ダンパ駆動用ポンベ 第3室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4	
		窒素ガス貯蔵容器	窒素ガス加圧容器
種類	—	一般継目なし容器	一般継目なし容器
容量	L/個	■以上 (■*1)	■以上 (■*1)
最高使用温度	℃	40	40
最高使用圧力	MPa	30.7	10.8
主要寸法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料	—	■	■
個数	—	4	1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第2室 T. M. S. L. 56.80 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		非常用電気室等消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-1	
		二酸化炭素貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■■■■以上(■■■■* <sup>1</sup> )	
最高使用温度	°C	40	
最高使用圧力	MPa	10.8	
主 要 寸 法	外径	mm	■■■■* <sup>1</sup>
	高さ	mm	■■■■* <sup>1</sup>
	胴部厚さ	mm	■■■(■■■* <sup>1</sup> )
	底部厚さ	mm	■■■■(■■■■* <sup>1</sup> )
主要材料		—	■■■■■■■■■■■■■■■■■■
個数		—	8
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	非常用電気室等消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素消火装置
	設置床	—	二酸化炭素消火設備第1室 T. M. S. L. 56.80 m
	溢水防護上の 区画番号	—	— * <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— * <sup>2</sup>

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		非常用電気室等消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-2	
		二酸化炭素貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■以上(■*1)	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	10.8	
主要 寸 法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■(■*1)
	底部厚さ	mm	■(■*1)
主要材料		—	■
個数		—	8
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	非常用電気室等消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素消火装置
	設置床	—	二酸化炭素消火設備第2室 T. M. S. L. 56.80 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		非常用発電機消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-1	
		二酸化炭素貯蔵容器	
種類	-	一般継目なし容器	
容量	L/個	■■■ 以上 (■■■ *1)	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	10.8	
主要寸法	外径	mm	■■■ *1
	高さ	mm	■■■ *1
	胴部厚さ	mm	■■■ (■■■ *1)
	底部厚さ	mm	■■■ (■■■ *1)
主要材料	-	■■■■■■■■■■■■■■■■	
個数	-	14	
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	非常用発電機消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素消火装置
	設置床	-	二酸化炭素消火設備第1室 T. M. S. L. 56.80 m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。

名称		非常用発電機消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-2	
		二酸化炭素貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■以上 (■*1)	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	10.8	
主 要 寸 法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料		—	■
個数		—	14
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	非常用発電機消火用二酸化炭素 貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素消火装置
	設置床	—	二酸化炭素消火設備第2室 T. M. S. L. 56.80 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■以上(■■■■* <sup>1</sup> )		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	15.0		
主 要 寸 法	外径	mm	■■■■* <sup>1</sup>	
	高さ	mm	■■■■* <sup>1</sup>	
	胴部厚さ	mm	■■■■(■■■■* <sup>1</sup> )	
	底部厚さ	mm	■■■■(■■■■* <sup>1</sup> )	
主要材料		—	■■■■■■■■■■	
個数		—	14	14
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -1-1 グローブボックス 消火装置	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -1-2 グローブボックス 消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-1-3, -1-4		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■* <sup>1</sup> )		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	15.0		
主 要 寸 法	外径	mm	■* <sup>1</sup>	
	高さ	mm	■* <sup>1</sup>	
	胴部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )	
	底部厚さ	mm	■(■* <sup>1</sup> )	
主要材料	—	■		
個数	—	14	14	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -1-3 グローブボックス 消火装置	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -1-4 グローブボックス 消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* <sup>2</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>	

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-1-5
			窒素ガス貯蔵容器
種類	-		一般継目なし容器
容量	L/個		██████████以上(██████████* <sup>1</sup> )
最高使用温度	℃		40
最高使用圧力	MPa		15.0
主要寸法	外径	mm	██████████* <sup>1</sup>
	高さ	mm	██████████* <sup>1</sup>
	胴部厚さ	mm	██████████(██████████* <sup>1</sup> )
	底部厚さ	mm	██████████(██████████* <sup>1</sup> )
主要材料		-	████████████████████
個数		-	2
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-1-5 グローブボックス消火装置
	設置床	-	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	-	- * <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- * <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。

名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	15.0		
主要寸法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料		—	■■■■■	
個数		—	14	14
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -2-1 グローブボックス 消火装置	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -2-2 グローブボックス 消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-2-3, -2-4		
		窒素ガス貯蔵容器		
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■以上(■*1)		
最高使用温度	℃	40		
最高使用圧力	MPa	15.0		
主 要 寸 法	外径	mm	■*1	
	高さ	mm	■*1	
	胴部厚さ	mm	■(■*1)	
	底部厚さ	mm	■(■*1)	
主要材料	—	■		
個数	—	14	14	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -2-3 グローブボックス 消火装置	グローブボックス 消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット -2-4 グローブボックス 消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-2-5	
		窒素ガス貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■以上 (■*1)	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	15.0	
主 要 寸 法	外径	mm	■*1
	高さ	mm	■*1
	胴部厚さ	mm	■ (■*1)
	底部厚さ	mm	■ (■*1)
主要材料	—	■■■■■	
個数	—	6	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-2-5 グローブボックス消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称		グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-4	
		窒素ガス貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器	
容量	L/個	■■■■以上(■■■■*1)	
最高使用温度	℃	40	
最高使用圧力	MPa	15.0	
主要寸法	外径	mm	■■■■*1
	高さ	mm	■■■■*1
	胴部厚さ	mm	■■ (■■*1)
	底部厚さ	mm	■■ (■■*1)
主要材料		—	■■■■■■■■■■■■
個数		—	3
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	グローブボックス消火用窒素ガス 貯蔵容器ユニット-4 グローブボックス消火装置
	設置床	—	窒素消火設備第1室 T. M. S. L. 50.30 m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



## (2) 主要弁

名 称		ピストンダンパ		
		PA0120-W0003	PA0171-W3918	PA0171-W6722, -W6729
種 類	—	ダンパ		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	980(内圧)/ 980(外圧)	1000(内圧)/ 1000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60		
主 要 寸 法	呼 び 径	—	150A	
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A	
	弁 ふ た	—	SCS13A	
	弁 体	—	SCS13A	
駆 動 方 法	—	窒素作動		
個 数	—	4		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパ 取付箇所一覧表に示す	
	設 置 床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—		

(続き)

ピストンダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W6722	ピストンダンパ PA0171-W6722 火災防護設備	粉末調整 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W3918	ピストンダンパ PA0171-W3918 火災防護設備	ペレット 加工第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6729	ピストンダンパ PA0171-W6729 火災防護設備	ペレット 加工第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-W0003	ピストンダンパ PA0120-W0003 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m 以上

名 称		ピストンダンパ	
		PA0130-W0031, -W0033, -W0035	PA0171-W6736
種 類	—	ダンパ	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	1000(内圧)/ 1000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60	
主 要 寸 法	呼 び 径	200A	
主 要 材 料	弁 箱	SCS13A	
	弁 ふ た	SCS13A	
	弁 体	SCS13A	
駆 動 方 法	—	窒素作動	
個 数	—	4	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	
	設 置 床	—	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
ピストンダンパ 取付箇所一覧表に示す			

(続き)

ピストンダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-W0031	ピストンダンパ PA0130-W0031, -W0033, -W0035, PA0171-W6736 火災防護設備	ペレット 加工第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-27	T.M.S.L. 35.00m 以上
PA0130-W0033				
PA0130-W0035				
PA0171-W6736				

名 称		ピストンダンパ		
		PA0120- W0001	PA0171-W3917	PA0171- W6724, -W6735
種 類	—	ダンパ		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	980(内圧)/ 980(外圧)	1000(内圧)/ 1000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60		
主 要 寸 法	呼 び 径	—	250A	
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A	
	弁 ふ た	—	SCS13A	
	弁 体	—	SCS13A	
駆 動 方 法	—	窒素作動		
個 数	—	4		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパ 取付箇所一覧表に示す	
	設 置 床	—		
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—		

(続き)

ピストンダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W6724	ピストンダンパ PA0171-W6724 火災防護設備	粉末調整 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W3917	ピストンダンパ PA0171-W3917 火災防護設備	ペレット 加工第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6735	ピストンダンパ PA0171-W6735 火災防護設備	ペレット 加工第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0120-W0001	ピストンダンパ PA0120-W0001 火災防護設備	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43.20m 以上

名		称	ピストンダンパ (PA0171-W6721, -W6730, -W6731)
種	類	—	ダンパ
最 高 使 用 圧 力		Pa	1000(内圧)/1000(外圧)
最 高 使 用 温 度		℃	60
主 要 寸 法	呼 び 径	—	300A
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A
	弁 ふ た	—	SCS13A
	弁 体	—	SCS13A
駆 動 方 法		—	窒素作動
個 数		—	3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設 置 床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	

(続き)

ピストンダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W6721	ピストンダンパ PA0171-W6721 火災防護設備	粉末調整 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6730	ピストンダンパ PA0171-W6730 火災防護設備	粉末調整 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-21	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6731	ピストンダンパ PA0171-W6731 火災防護設備	粉末調整 第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m 以上



名 称		ピストンダンパ	
		PA0130-W0021, -W0023, -W0025	PA0171-W6723, -W6726, -W6737, -W6739
種 類	—	ダンパ	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	1000(内圧)/ 1000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	
主 要 材 料	弁 箱	—	
	弁 ふ た	—	
	弁 体	—	
駆 動 方 法		—	
個 数		—	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	
	設 置 床	—	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
ピストンダンパ 取付箇所一覧表に示す			

(続き)

ピストンダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W6723	ピストンダンパ PA0171-W6723 火災防護設備	粉末調整 第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6726	ピストンダンパ PA0171-W6726 火災防護設備	粉末調整 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0130-W0021	ピストンダンパ PA0130-W0021, -W0023, -W0025 火災防護設備	ペレット 加工第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0130-W0023				
PA0130-W0025				
PA0171-W6737	ピストンダンパ PA0171-W6737 火災防護設備	ペレット 加工第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m 以上
PA0171-W6739	ピストンダンパ PA0171-W6739 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m 以上

名 称		ピストンダンパ		
		PA0171-W6728	PA0171-W6733	
種 類	—	ダンパ		
最 高 使 用 圧 力	Pa	1000(内圧)/1000(外圧)		
最 高 使 用 温 度	℃	60		
主 要 寸 法	呼 び 径	—	400A	
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A	
	弁 ふ た	—	SCS13A	
	弁 体	—	SCS13A	
駆 動 方 法		—	窒素作動	
個 数		—	2	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパPA0171-W6728, -W6733 火災防護設備	
	設 置 床	—	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35. 00m	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-18	PA-1-11
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

名 称		ピストンダンパ PA0171-W6734	
種 類	—	ダンパ	
最 高 使 用 圧 力	Pa	1000(内圧)/1000(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	450A
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A
	弁 ふ た	—	SCS13A
	弁 体	—	SCS13A
駆 動 方 法		—	窒素作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパPA0171-W6734 火災防護設備
	設 置 床	—	ペレット加工第1室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-26
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

名 称		ピストンダンパ PA0171-W6732	
種 類	—	ダンパ	
最 高 使 用 圧 力	Pa	1000(内圧)/1000(外圧)	
最 高 使 用 温 度	℃	60	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	500A
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A
	弁 ふ た	—	SCS13A
	弁 体	—	SCS13A
駆 動 方 法		—	窒素作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパPA0171-W6732 火災防護設備
	設 置 床	—	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	PA-1-25
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

名 称		ピストンダンパ	
		PA0130-W0001	PA0171-W6725
種 類	—	ダンパ	
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	1000(内圧)/ 1000(外圧)
最 高 使 用 温 度	℃	60	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	
主 要 材 料	弁 箱	—	SCS13A
	弁 ふ た	—	SCS13A
	弁 体	—	SCS13A
駆 動 方 法		—	窒素作動
個 数		—	2
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	ピストンダンパ PA0130-W0001, PA0171-W6725 火災防護設備
	設 置 床	—	ペレット・スクラップ 貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-13 PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上 T. M. S. L. 35. 00m以上

## (3) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2, -1-3, -1-4, -1-5, -1-6, -1-7, -1-8(窒素ガス貯蔵容器)	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	～			60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-1 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-2 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-3 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-4 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-5 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-6 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-7 ガス出口 1 選択弁			42.7	4.9	SUS304TP
				48.6	5.1	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-1 ガス出口 1 選択弁 ～ 127 ペレット加工第 2 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-1 ガス出口 2 選択弁, 窒素 消火用選択弁ユニット 1-5 ガス出口 2 選択弁 ～ 404 排風機室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-2 ガス出口 1 選択弁 ～ (窒素消火用選択弁ユニット 1-13 ガス出口 1 選択弁, 窒 素消火用選択弁ユニット 1-14 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒 素消火用選択弁ユニット 1-15 ガス出口 1, 2 選択弁), (窒素消火用選択弁ユニット 1-11 ガス出口 1, 2 選択 弁, 窒素消火用選択弁ユニット 1-12 ガス出口 1, 2 選択 弁)	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
				48.6	5.1	SUS304TP
				34.0	4.5	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-13 ガス出口 1 選択弁 ～ 302 分析第 1 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-14 ガス出口 2 選択弁 ～ 312 燃料棒解体室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-14 ガス出口 1 選択弁 ～ 322 燃料棒加工第 3 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-15 ガス出口 1 選択弁 ～ 307 ペレット立会室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-15 ガス出口 2 選択弁 ～ 317 ウラン粉末準備室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-11 ガス出口 1 選択弁 ～ 313 分析第 2 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-11 ガス出口 2 選択弁 ～ 314 燃料棒加工第 1 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-12 ガス出口 1 選択弁 ～ 202 貯蔵容器受入第 1 室, 104 貯蔵容器受入第 2 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
				34.0	4.5	SUS304TP
窒素消火用選択弁ユニット 1-2 ガス出口 2 選択弁 ～ 120 ペレット加工第 3 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-3 ガス出口 1 選択弁 ～ 114 点検第 4 室 ～ 113 ペレット・スクラップ貯蔵室 ～ 112 点検第 3 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-3 ガス出口 2 選択弁 ～ 116 ペレット加工第 4 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 119 ペレット一時保管室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 135 北第 2 制御盤室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素 消火 装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-5 ガス出口 1 選択弁 ～ 204 制御第 1 室 ～ フリーアクセスフロア	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	48.6			5.1	SUS304TP	
	27.2			3.9	SUS304TP	
	窒素消火用選択弁ユニット 1-6 ガス出口 1 選択弁 ～ 133 ダンパ駆動用ポンベ第 2 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-6 ガス出口 2 選択弁 ～ 324 制御第 4 室 ～ フリーアクセスフロア	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				27.2	3.9	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 1-7 ガス出口 1 選択弁 ～ 136 南第 2 制御盤室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 1-12 ガス出口 2 選択弁 ～ 414 選別作業室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	34.0			4.5	SUS304TP	
	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2, -2-3, -2-4, -2-5, -2-6(窒素ガス貯蔵容器) ～ (窒素消火用選択弁ユニット 2-1 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-2 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-3 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-9 ガス出口 1 選択弁), (窒素消火用選択弁ユニット 2-4 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-5 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-6 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-7 ガス出口 1, 2 選択弁, 窒素消火用選択弁ユニット 2-8 ガス出口 1, 2 選択弁)	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	60.5			5.5	SUS304TP	
	42.7			4.9	SUS304TP	
	48.6			5.1	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 2-1 ガス出口 2 選択弁, 窒素 消火用選択弁ユニット 2-9 ガス出口 1 選択弁 ～ 404 排風機室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-1 ガス出口 1 選択弁 ～ 窒素消火用選択弁ユニット 2-11 ガス出口 1, 2 選択弁	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-11 ガス出口 1 選択弁 ～ 315 燃料棒加工第 2 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-11 ガス出口 2 選択弁 ～ 409 排気フィルタ第 2 室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
48.6	5.1			SUS304TP		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 2-2 ガス出口 2 選択弁 ～ 321 分析第 3 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-2 ガス出口 1 選択弁 ～ 109 点検第 1 室 ～ 110 粉末一時保管室 ～ 129 点検第 2 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-3 ガス出口 2 選択弁 ～ 126 ペレット加工第 1 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-3 ガス出口 1 選択弁 ～ 125 粉末調整第 5 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 2-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 102 原料受払室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 108 粉末調整第 1 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-5 ガス出口 1 選択弁 ～ 111 粉末調整第 6 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-5 ガス出口 2 選択弁 ～ 319 スクラップ処理室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-6 ガス出口 1 選択弁 ～ 117 粉末調整第 3 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-6 ガス出口 2 選択弁 ～ 118 粉末調整第 7 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素消火装置	窒素消火用選択弁ユニット 2-7 ガス出口 1 選択弁 ～ 121 粉末調整第 4 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-7 ガス出口 2 選択弁 ～ 115 粉末調整第 2 室	10.8	40	48.6	5.1	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-8 ガス出口 1 選択弁 ～ 156 ダンパ駆動用ボンベ第 1 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	窒素消火用選択弁ユニット 2-8 ガス出口 2 選択弁 ～ 153 北第 3 制御盤室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1(窒素ガス貯蔵容器, 窒素ガス加圧容器), 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2, -3-3(窒素ガス貯蔵容器) ～ 428 窒素消火設備第 1 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				48.6	5.1	SUS304TP
				42.7	4.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
窒素 消火 装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4(窒素ガス貯蔵 容器, 窒素ガス加圧容器) ~ 522 中央監視室フリーアクセスフロア	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				27.2	3.9	SUS304TP
				42.7	4.9	SUS304TP

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1(二酸化炭素貯蔵容器)	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	~ (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口1, 2 選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口1, 2 選択弁), (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口1, 2 選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口1, 2 選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口1, 2 選択弁)			76.3	7.0	SUS304TP
				42.7	4.9	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口1 選択弁	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	~ 604 非常用発電機給気機械 A 室			21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口2 選択弁	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	~ 605 非常用発電機給気機械 B 室			21.7	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 1 選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 445 非常用発電機燃料ポンプ室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 2 選択弁 ～ 552 混合ガス受槽室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 2 選択弁 ～ 581 非常用電気 E 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 1 選択弁 ～ 582 非常用制御盤 A 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 528 非常用蓄電池 A 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	21.7			3.7	SUS304TP	
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口 2 選択弁 ～ 514 非常用電気 A 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	21.7			3.7	SUS304TP	
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口 1 選択弁 ～ 537 非常用電気 B 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	21.7			3.7	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素 消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット- 2(二酸化炭素貯蔵容器)	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	～ (非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1 ガス出口 1, 2 選択弁, 非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-2 ガス出口 1 選択弁), (非常用電気室等消火用選択弁ユニ ット-2-3 ガス出口 1, 2 選択弁, 非常用電気室等消火用 選択弁ユニット-2-4 ガス出口 1, 2 選択弁, 非常用電気 室等消火用選択弁ユニット-2-5 ガス出口 1 選択弁)			76.3	7.0	SUS304TP
	42.7			4.9	SUS304TP	
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1 ガス出口 1 選 択弁	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	～ 604 非常用発電機給気機械 A 室			21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1 ガス出口 2 選 択弁	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
	～ 605 非常用発電機給気機械 B 室			21.7	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素 消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-2 ガス出口 1 選 択弁 ～ 553 混合ガス計装ラック室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3 ガス出口 2 選 択弁 ～ 580 非常用蓄電池 E 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3 ガス出口 1 選 択弁 ～ 583 非常用制御盤 B 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 514 非常用電気 A 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 537 非常用電気 B 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP
	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-5 ガス出口 1 選択弁 ～ 538 非常用蓄電池 B 室	10.8	40	34.0	4.5	SUS304TP
				21.7	3.7	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-57 二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ 526 非常用発電機 A 室 ～ 527 非常用発電機 A 制御盤室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
				76.3	7.0	SUS304TP
				48.6	5.1	SUS304TP
				34.0	4.5	SUS304TP
	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ 535 非常用発電機 B 室 ～ 536 非常用発電機 B 制御盤室	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
				76.3	7.0	SUS304TP
				34.0	4.5	SUS304TP

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 消火装置	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5(窒素ガス貯蔵容器) ～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口1, 2, 3 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口1, 2, 3, 4 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口1, 2, 3, 4 選択弁), グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口1, 2 選択弁	15	40	48.6	7.1	SUS304TP
				60.5	8.7	SUS304TP
		0.97	40	114.3	4.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
		15	40	48.6	5.1	SUS304TP
				60.5	5.5	SUS304TP
		0.97	40	114.3	6.0	SUS304TP
				89.1	5.5	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 4 選択弁 ～ 回収粉末微粉碎装置グローブボックス，調整粉末搬送装 置-1 グローブボックス，ピストンダンパ(PA0171- W6722)	0.97	40	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				89.1	5.5	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-60 グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 4 出口分岐部 1 ～ 均一化混合装置グローブボックス, 造粒装置グローブボ ックス, 調整粉末搬送装置-8, -9 グローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6731)	0.97	40	114.3	4.0	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 4 出口分岐部 2 ～ 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 分析試 料採取・詰替装置グローブボックス, ウラン粉末秤量・ 分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6 グロ ーブボックス, 調整粉末搬送装置-7 グローブボックス- 1, ピストンダンパ(PA0171-W6730)	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 3 選択弁 ～ 添加剤混合装置 A, B グローブボックス, 添加剤混合粉 末搬送装置-3 グローブボックス, プレス装置 A, B(粉末 取扱部)グローブボックス, プレス装置 A, B(プレス部) グローブボックス, グリーンペレット積込装置 A, B グ ローブボックス, ピストンダンパ(PA0171-W6734)	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 2 選択弁 ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-46 (B2F), 小規模 研削検査装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グ ローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模焼結処理装置グ ローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, - 2, -5, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス, ピストンダ ンパ (PA0171-W6739)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 ガス出口 1 選択弁	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
	～			89.1	4.0	SUS304TP
	原料 MOX 粉末秤量・分取装置 A, B グローブボックス,			27.2	2.5	SUS304TP
	ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボク ス, 予備混合装置グローブボックス, 原料 MOX 分析試料			48.6	3.0	SUS304TP
	採取装置グローブボックス, 原料 MOX 粉末缶取出装置グ ローブボックス, 原料 MOX 粉末缶一時保管装置グローブ			17.3	2.0	SUS304TP
	ボックス, 原料粉末搬送装置-3 グローブボックス-1, -			34.0	3.0	SUS304TP
	3, -4(南側), 原料粉末搬送装置-6 グローブボックス,			13.8	2.0	SUS304TP
	ピストンダンパ(PA0171-W6721, W6724, W6726)			21.7	2.5	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-64 グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 4 選択弁 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, ペレ ット保管容器受渡装置グローブボックス-1	0.97	40	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				89.1	5.5	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 3 選択弁 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, スクラ ップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 2 選択弁 ～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口 1 選択弁～挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, B グローブボ ックス, 乾燥ポート取出装置 A, B グローブボックス, 乾燥ポート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-5 ガス出口 2 選択弁～放射能濃度分析グローブボックス-1, 分析済 液中和固液分離グローブボックス)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 ガス出口 1 選択弁 ～ 空焼結ボート取扱装置グローブボックス, 焼結ボート供給装置 A, B, C グローブボックス, 焼結ボート搬送装置 グローブボックス-7, -8(南側), -10, -11, -13, -14, -18, -19(西側), -20(西側), -21(西側), -33, -35, -37, -45, -46(B3F), -48, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1(南側), -4(北側), ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, ピストンダンパ(PA0171-W6728, W6729, W6735, W6736)	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
	89.1			4.0	SUS304TP	
	60.5			3.5	SUS304TP	
	48.6			3.0	SUS304TP	
	21.7			2.5	SUS304TP	
	34.0			3.0	SUS304TP	
	27.2			2.5	SUS304TP	
	17.3			2.0	SUS304TP	
	13.8			2.0	SUS304TP	
	76.3			5.2	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-67 グローブ ボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 3 選択弁 ～ 焼結ボート取出装置 A, B, C グローブボックス, 焼結ボ ート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, - 31(西側), ピストンダンパ(PA0171-W6737)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 2 選択弁 ～ 焼結ペレット供給装置 A グローブボックス, 研削装置 A グローブボックス, ペレット検査設備 A グローブボック ス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-39, ピスト ンダンパ(PA0130-W0021)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 ガス出口 1 選択弁 ～ 焼結ペレット供給装置 B グローブボックス, 研削装置 B グローブボックス, ペレット検査設備 B グローブボック ス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-41, ピスト ンダンパ(PA0130-W0023)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-70 グ ロ ー ブ ボ ク ス 消 火 装 置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 研削粉回収装置 A, B グローブボックス, ペレット保管 容器搬送装置グローブボックス-1, -3, -5, -8, -10(空 気部), -12(台車部), ピストンダンパ(PA0130-W0025)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 一次混合装置 A, B グローブボックス, 回収粉末処理・ 混合装置グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グ ローブボックス, 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16 グローブボックス(東側), 焼結ボート搬送装置グローブ ボックス-49, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス- 1, -3, ピストンダンパ(PA0171-W6723)	0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				60.5	3.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5(窒素ガス貯蔵容器) ～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 ガス出口 1, 2, 3 選択弁	15	40	48.6	7.1	SUS304TP
				60.5	8.7	SUS304TP
		0.97	40	114.3	4.0	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
		15	40	48.6	5.1	SUS304TP
				60.5	5.5	SUS304TP
		0.97	40	114.3	6.0	SUS304TP
				89.1	5.5	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 ガス出口 3 選択弁 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2, ピストンダンパ (PA0171-W6725)	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-74 グローブ ボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 ガス出口 2 選 択弁 ～ 粉末一時保管装置グローブボックス-1, -2, -3, -4, - 5, -6, 調整粉末搬送装置-3 グローブボックス(東側), 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16 グローブボックス (西側), 調整粉末搬送装置-4, -19, -20 グローブボック ス, ピストンダンパ(PA0171-W6732, W6733)	0.97	40	89.1	4.0	SUS304TP
				114.3	4.0	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
			89.1	5.5	SUS304TP	

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 ガス出口1 選択弁 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4, -5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12(リフタ), ピストンダンパ(PA0130-W0001)	0.97	40	76.3	3.5	SUS304TP
				89.1	4.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-76 グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3(窒素ガス貯蔵容器) ～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 ガス出口1, 2, 3 選択弁, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口1, 2, 3, 4 選択弁	15	40	48.6	7.1	SUS304TP
				42.7	6.4	SUS304TP
		0.97	40	60.5	3.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
		15	40	48.6	5.1	SUS304TP
				42.7	4.9	SUS304TP
		0.97	40	60.5	3.9	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
				27.2	2.9	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
リ-仕-77 グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 ガス出口 3 選択弁 ～ 小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス, 再生ス クラップ焙焼処理装置グローブボックス, ピストンダン パ(PA0120-W0001, W0003)	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 ガス出口 2 選択弁 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10(窒素貫 流部), 延焼防止ダンパ(PA0171-W3161), ピストンダン パ(PA0171-W3918)	0.97	40	27.2	2.5	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				27.2	2.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 ガス出口 1 選択弁 ～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 1, 2, 3, 4, 5 選択弁, グローブボックス消火用選択弁 ユニット-3-4 ガス出口 1, 2, 3, 4, 5, 6 選択弁	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
				27.2	2.9	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 1 選択弁 ～ 試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-1, -2, -3, 炭 素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, -2, X 線 回折測定装置グローブボックス, 粉末物性測定装置グロ ーブボックス, 金相試験装置グローブボックス-1, -2, 塩素・フッ素分析装置グローブボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 2 選択弁 ～ 0/M 比測定装置グローブボックス, 水分分析装置グローブ ボックス, 分配装置グローブボックス, 受払装置グロー ブボックス, 搬送装置-3 グローブボックス-1	0.97	40	27.2	2.5	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				27.2	2.9	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 3 選択弁 ～ 試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1, -2, 蛍光 X 線分析装置グローブボックス, プルトニウム含有率分析 装置グローブボックス, 受払・分配装置グローブボック ス, 搬送装置-1 グローブボックス-1	0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 4 選択弁	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
	～			34.0	3.0	SUS304TP
	スパイク試料調製装置-1 グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-2 グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-3 グローブボックス-1, -2, イオン交換装置グローブボックス-1, -2, スパイキング装置グローブボックス-1, -2, 質量分析装置 B, C, D, E グローブボックス, 搬送装置-2 グローブボックス-3, α線測定装置グローブボックス, γ線測定装置グローブボックス, 試料塗布装置グローブボックス			13.8	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-5 ガス出口 5 選択弁 ～ 放射能濃度分析グローブボックス-2, ろ過・第 1 活性炭 処理グローブボックス, 第 2 活性炭・吸着処理グローブ ボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 1 選択弁 ～ 蒸発性不純物測定装置 A グローブボックス, ICP-質量分 析装置グローブボックス, 水素分析装置グローブボック ス, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, -2, プルトニウムスポット検査装置グローブボックス, EPMA 分析装置グローブボックス, 液浸密度測定装置グローブ ボックス, 熱分析装置グローブボックス, ICP-発光分光 分析装置グローブボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 2 選択弁 ～ 乾燥ポート供給装置 A グローブボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 3 選択弁 ～ ペレット立会検査装置グローブボックス	0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 4 選択弁 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6, -8, - 10, -12, -14 (B2F)	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 5 選択弁 ～ 乾燥ポート供給装置 B グローブボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				76.3	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-4 ガス出口 6 選択弁 ～ 燃料棒解体装置グローブボックス	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口 4 選択弁 ～ 排ガス処理装置 A グローブボックス(上部), (下部), ピ ストンダンパ(PA0130-W0031)	0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口 3 選択弁 ～ 排ガス処理装置 B グローブボックス(上部), (下部), ピ ストンダンパ(PA0130-W0033)	0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口 2 選択弁 ～ 排ガス処理装置 C グローブボックス(上部), (下部), ピ ストンダンパ(PA0130-W0035)	0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				48.6	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 ガス出口 1 選択弁 ～ 焼結ボート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, - 42, 延焼防止ダンパ (PA0171-W3165, W3166, W3167, W3168), ピストンダンパ (PA0171-W3917)	0.97	40	48.6	3.0	SUS304TP
				60.5	3.5	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				48.6	3.7	SUS304TP
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット- 4(窒素ガス貯蔵容器) ～ グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1 ガス出口 1, 2 選択弁	15	40	48.6	7.1	SUS304TP
				34.0	6.4	SUS304TP
		0.97	40	34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.5	SUS304TP
		15	40	48.6	5.1	SUS304TP
				34.0	4.5	SUS304TP
				34.0	3.4	SUS304TP
0.97	40	34.0	3.4	SUS304TP		
		27.2	2.9	SUS304TP		

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1 ガス出口 2 選択弁	0.97	40	27.2	2.5	SUS304TP
	～ (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2 ガス出口 1 選択弁～溶接試料前処理装置グローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2 ガス出口 2 選択弁～乾燥ポート搬送装置グローブボックス-11), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2 ガス出口 3 選択弁～除染装置 A グローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-2 ガス出口 4 選択弁～乾燥ポート搬送装置グローブボックス-14), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3 ガス出口 1 選択弁～部材供給装置(部材搬送部)A オープンポートボックス), (次頁へ続く)			21.7	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				13.8	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブ ボックス 消火装置	(前頁からの続き) (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3 ガス出口 2 選択弁～部材供給装置(部材搬送部)B オープンポート ボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット- 4-3 ガス出口 3 選択弁～除染装置 B グローブボックス), (グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-3 ガス出口 4 選択弁～収支試料受払装置グローブボックス, 収支試 料調製装置グローブボックス), (グローブボックス消火 用選択弁ユニット-4-7～固体廃棄物選別装置グローブボ ックス)	0.97	40	27.2	2.9	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-4-1 ガス出口 1 選択弁 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B3F)	0.97	40	27.2	2.5	SUS304TP
				21.7	2.5	SUS304TP
				17.3	2.0	SUS304TP
				34.0	3.0	SUS304TP
				27.2	2.9	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 導圧管出口 4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 導圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 導圧管出口 3, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 導圧管 出口 3 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 導圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 導圧管出口 2, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-4 導圧管 出口 1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 導圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP



(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-1 導圧管出口 1, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 導圧管 出口 1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 導圧管入口 3	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-2 導圧管出口 2, 3, グローブボックス消火用選択弁ユニット-1-3 導圧 管出口 1, 2, グローブボックス消火用選択弁ユニット- 1-4 導圧管出口 2 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 導圧管入口 2	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 ～	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 ～					
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 ～					
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 ～					
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5					

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス 消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 導圧管出口 1, 3 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 導圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-2 導圧管出口 2 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 導圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2- 5, (グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット -2-3～グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニッ ト-2-2～グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニ ット-2-1)	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*	厚さ*	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
グローブボックス消火装置	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 導圧管出口 2, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 導圧管 出口 1 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 導 圧管入口 2	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP
	グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-1 導圧管出口 1, グローブボックス消火用選択弁ユニット-3-2 導圧管 出口 2, 3, 4 ～ グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 導 圧管入口 1	10.8	40	13.8	3.0	SUS304TP

注記 \* : 公称値を示す。

1.1.1.2 火災影響軽減設備

(1) 主要弁

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0104, -W0110, -W0127, -W0131, PA0130-W0209, -W0215, -W0219, -W0226, -W0227, -W0228, -W0229, -W0230, -W0234)	
種類		—	ダンパ
最高使用圧力		Pa	980(内圧)/980(外圧)
最高使用温度		℃	60
主要寸法	呼び径	mm	100A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	13
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0104	延焼防止ダンパ PA0120-W0104 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0209	延焼防止ダンパ PA0130-W0209 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0110	延焼防止ダンパ PA0120-W0110 火災防護設備	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0215	延焼防止ダンパ PA0130-W0215, -W0219, -W0229, -W0234 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0219				
PA0130-W0229				
PA0130-W0234				
PA0120-W0127	延焼防止ダンパ PA0120-W0127, -W0131, PA0130-W0226, -W0227, -W0228 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0131				
PA0130-W0226				
PA0130-W0227				
PA0130-W0228				
PA0130-W0230	延焼防止ダンパ PA0130-W0230 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0101, -W0102, -W0106, -W0109, -W0112, -W0117, -W0118, -W0126, -W0129, PA0130-W0213, -W0217, -W0225, -W0233)	
種類		—	ダンパ
最高使用圧力		Pa	980(内圧)/980(外圧)
最高使用温度		℃	60
主要寸法	呼び径	mm	125A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	13
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0101	延焼防止ダンパ PA0120-W0101 火災防護設備	原料受払室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-02	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0102	延焼防止ダンパ PA0120-W0102 火災防護設備	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0106	延焼防止ダンパ PA0120-W0106 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0109	延焼防止ダンパ PA0120-W0109, -W0129	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0129	火災防護設備			
PA0130-W0213	延焼防止ダンパ PA0130-W0213 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0112	延焼防止ダンパ PA0120-W0112, -W0126	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0126	火災防護設備			
PA0130-W0217	延焼防止ダンパ PA0130-W0217, -W0233	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0233	火災防護設備			



(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0117	延焼防止ダンパ PA0120-W0117, -W0118 PA0130-W0225 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0118				
PA0130-W0225				

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0119, -W0122, PA0130-W0224)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	150A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0122	延焼防止ダンパ PA0120-W0122 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0224	延焼防止ダンパ PA0130-W0224 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0119	延焼防止ダンパ PA0120-W0119 火災防護設備	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0120, -W0124, PA0130-W0206, -W0207, -W0223)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	200A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	5
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0124	延焼防止ダンパ PA0120-W0124 火災防護設備	原料受払室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-02	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0206	延焼防止ダンパ PA0130-W0206, -W0207 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0207				
PA0130-W0223	延焼防止ダンパ PA0120-W0223 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0120	延焼防止ダンパ PA0120-W0120 火災防護設備	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0111, -W0115, -W0123)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	250A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0123	延焼防止ダンパ PA0120-W0123 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0111	延焼防止ダンパ PA0120-W0111 火災防護設備	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0115	延焼防止ダンパ PA0120-W0115 火災防護設備	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0107, -W0108, -W0130, PA0130-W0231)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	300A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	4
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す



(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0130	延焼防止ダンパ PA0120-W0130 火災防護設備	点検第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-09	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0107	延焼防止ダンパ PA0120-W0107 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0108	延焼防止ダンパ PA0120-W0108 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0231	延焼防止ダンパ PA0130-W0231 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0103, -W0116, PA0130-W0232)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	400A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0120-W0103	延焼防止ダンパ PA0120-W0103 火災防護設備	点検第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-09	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0232	延焼防止ダンパ PA0130-W0232 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0116	延焼防止ダンパ PA0120-W0116 火災防護設備	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0125)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	450A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0120-W0125 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-25
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

名称		延焼防止ダンパ (PA0130-W0208)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	550A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0130-W0208 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0130-W0212)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	600A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0130-W0212 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0130-W0204, -W0210)		
種類	—	ダンパ		
最高使用圧力	Pa	980 (外圧)		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	呼び径	mm	100A*	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
駆動方法		—	窒素作動	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0130-W0204 火災防護設備	延焼防止ダンパ PA0130-W0210 火災防護設備
	設置床	—	点検第4室 T. M. S. L. 35. 00m	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-14	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0120-W0132, PA0130-W0211, -W0218)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980(外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	150A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す



(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0130-W0211	延焼防止ダンパ PA0130-W0211 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0130-W0218	延焼防止ダンパ PA0130-W0218 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0120-W0132	延焼防止ダンパ PA0120-W0132 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0130-W0214)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	980 (外圧)	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	500A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0130-W0214 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3161, -W3162, -W3165, -W3166, -W3167, -W3168)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	100A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	6
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3161	延焼防止ダンパ PA0171-W3161, -W3162 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3162				
PA0171-W3165	延焼防止ダンパ PA0171-W3165, -W3166, -W3167, -W3168 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3166				
PA0171-W3167				
PA0171-W3168				

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3108, -W3143)		
種類	—	ダンパ		
最高使用圧力	Pa	1000		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	呼び径	mm	150A*	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
駆動方法		—	窒素作動	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3108 火災防護設備	延焼防止ダンパ PA0171-W3143 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m	ペレット加工第3室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-08	PA-1-20
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3181)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	200A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3181 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第2室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-27
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3106, -W3110, -W3114, -W3147)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	250A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	4
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3106	延焼防止ダンパ PA0171-W3106 火災防護設備	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3110	延焼防止ダンパ PA0171-W3110 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3114	延焼防止ダンパ PA0171-W3114 火災防護設備	粉末調整第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-21	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3147	延焼防止ダンパ PA0171-W3147 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上



名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3112, -W3125, -W3156, -W3183, -W3196)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	300A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	5
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3125	延焼防止ダンパ PA0171-W3125 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3112	延焼防止ダンパ PA0171-W3112 火災防護設備	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3156	延焼防止ダンパ PA0171-W3156 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3183	延焼防止ダンパ PA0171-W3183 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3196	延焼防止ダンパ PA0171-W3196 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3127, -W3129, -W3145)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	350A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3127	延焼防止ダンパ PA0171-W3127 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3129	延焼防止ダンパ PA0171-W3129 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3145	延焼防止ダンパ PA0171-W3145 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3116, -W3164)		
種類	—	ダンパ		
最高使用圧力	Pa	1000		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	呼び径	mm	φ 400*	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
駆動方法		—	窒素作動	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3116 火災防護設備	延焼防止ダンパ PA0171-W3164 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35. 00m	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-25	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3141)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	1000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	φ 450*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3141 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-16
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3155, -W3157)		
種類	—	ダンパ		
最高使用圧力	Pa	2500		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	呼び径	mm	200A*	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
駆動方法		—	窒素作動	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3155 火災防護設備	延焼防止ダンパ PA0171-W3157 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35. 00m	粉末調整第4室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-18	PA-1-21
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3151, -W3154)		
種類	—	ダンパ		
最高使用圧力	Pa	2500		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	呼び径	mm	250A*	
主要材料	ケーシング	—	SUS304	
駆動方法		—	窒素作動	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3151 火災防護設備	延焼防止ダンパ PA0171-W3154 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-08	PA-1-17
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す



名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3171)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	2500	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	350A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3171 火災防護設備
	設置床	—	ペレット加工第1室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-26
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3144, -W3186, -W3201, -W3275)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	5000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	100A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	4
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3144	延焼防止ダンパ PA0171-W3144, -W3275 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3275				
PA0171-W3186	延焼防止ダンパ PA0171-W3186 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3201	延焼防止ダンパ PA0171-W3201 火災防護設備	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3107, -W3109, -W3169, -W3170, -W3182, -W3246, -W3247, -W3268, -W3281, -W3282, -W3284)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	5000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	150A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	11
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3107	延焼防止ダンパ PA0171-W3107, -W3109, -W3246, -W3247 火災防護設備	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-08	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3109				
PA0171-W3246				
PA0171-W3247				
PA0171-W3268	延焼防止ダンパ PA0171-W3268 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3169	延焼防止ダンパ PA0171-W3169, -W3170 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3170				
PA0171-W3182	延焼防止ダンパ PA0171-W3182, -W3281, -W3282, -W3284 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3281				
PA0171-W3282				
PA0171-W3284				

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3111, -W3126, -W3128, -W3148, -W3152, -W3153, -W3256, -W3257, -W3262, -W3274, -W3283, -W3291)	
種類		—	ダンパ
最高使用圧力		Pa	5000
最高使用温度		℃	60
主要寸法	呼び径	mm	200A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	12
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3126	延焼防止ダンパ PA0171-W3126, -W3152, -W3256 火災防護設備	粉末調整第6室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-11	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3152				
PA0171-W3256				
PA0171-W3111	延焼防止ダンパ PA0171-W3111, -W3153 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3153				
PA0171-W3128	延焼防止ダンパ PA0171-W3128, -W3257 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3257				
PA0171-W3274	延焼防止ダンパ PA0171-W3274 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3148	延焼防止ダンパ PA0171-W3148, -W3262 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3262				
PA0171-W3283	延焼防止ダンパ PA0171-W3283 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3291	延焼防止ダンパ PA0171-W3291 火災防護設備	スクラップ 処理室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-19	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3113, -W3115, -W3117, -W3130, -W3184, -W3197, -W3248, -W3249, -W3250, -W3273, -W3285, -W3292)	
種類		—	ダンパ
最高使用圧力		Pa	5000
最高使用温度		℃	60
主要寸法	呼び径	mm	250A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	12
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す



(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3248	延焼防止ダンパ PA0171-W3248 火災防護設備	粉末調整第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-15	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3113	延焼防止ダンパ PA0171-W3113, -W3249 火災防護設備	粉末調整第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-17	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3249				
PA0171-W3130	延焼防止ダンパ PA0171-W3130 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3273	延焼防止ダンパ PA0171-W3273 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3115	延焼防止ダンパ PA0171-W3115, -W3250 火災防護設備	粉末調整第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-21	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3250				
PA0171-W3117	延焼防止ダンパ PA0171-W3117 火災防護設備	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3184	延焼防止ダンパ PA0171-W3184, -W3285 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3285				
PA0171-W3197	延焼防止ダンパ PA0171-W3197, -W3292 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m以上
PA0171-W3292				

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3187, -W3202, -W3258, -W3271, -W3272, -W3296)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	5000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	300A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	6
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3258	延焼防止ダンパ PA0171-W3258 火災防護設備	粉末調整第7室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-18	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3271	延焼防止ダンパ PA0171-W3271, -W3272 火災防護設備	ペレット加工 第3室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-20	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3272				
PA0171-W3296	延焼防止ダンパ PA0171-W3296 火災防護設備	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3187	延焼防止ダンパ PA0171-W3187 火災防護設備	ペレット加工 第2室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-27	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3202	延焼防止ダンパ PA0171-W3202 火災防護設備	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m	PA-3-20	T. M. S. L. 43.20m以上

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3118, -W3146, -W3251, -W3261)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	5000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	350A*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	4
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3118	延焼防止ダンパ PA0171-W3118, -W3251 火災防護設備	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-25	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3251				
PA0171-W3146	延焼防止ダンパ PA0171-W3146, -W3261 火災防護設備	ペレット加工 第1室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-26	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3261				

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3142, -W3266, -W3269)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	5000	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	φ 400*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ 取付箇所一覧表に示す
	設置床	—	
	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	

注記 \* : 公称値を示す

(続き)

延焼防止ダンパ取付箇所一覧表

名称	取付箇所			
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ
PA0171-W3142	延焼防止ダンパ PA0171-W3142, -W3266, -W3269 火災防護設備	ペレット加工 第4室 T. M. S. L. 35.00m	PA-1-16	T. M. S. L. 35.00m以上
PA0171-W3266				
PA0171-W3269				

名称		延焼防止ダンパ (PA0171-W3158)	
種類	—	ダンパ	
最高使用圧力	Pa	2500	
最高使用温度	℃	60	
主要寸法	呼び径	mm	φ 400*
主要材料	ケーシング	—	SUS304
駆動方法		—	窒素作動
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	延焼防止ダンパ PA0171-W3158 火災防護設備
	設置床	—	粉末調整第5室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-25
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	T. M. S. L. 35. 00m以上

注記 \* : 公称値を示す



## 1.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備

## 1.2.1 核燃料物質の検査設備

## 1.2.1.1 分析設備

## (1) 容器

名称			分析済液中和槽 (PA0167-V-11, -12)		
種類	—		たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /個		■■■■以上 (0.06 <sup>*1</sup> )		
最高使用圧力	MPa		静水頭		
最高使用温度	℃		60		
主要寸法	胴内径		mm	450 <sup>*1</sup>	
	胴板厚さ		mm	■■■■ (6.0 <sup>*1</sup> )	
	鏡板厚さ		mm	■■■■ (7.0 <sup>*1</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	50 <sup>*1</sup> (鏡板のすその丸みの内半径)	
	平板厚さ		mm	20 <sup>*1</sup>	
	分析済液出口(懸濁液)管台(P8)	外径	mm	27.2 <sup>*1</sup>	
		厚さ	mm	■■■■ (2.5 <sup>*1</sup> )	
	高さ		mm	611 <sup>*1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L	
	鏡板		—	SUS316L	
	平板		—	SUS316L	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	分析済液中和槽A 分析済液処理系	分析済液中和槽B 分析済液処理系
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			中和ろ液受槽 (PA0167-V-15, -16)		
種類		—	たて置円筒形		
容量		m <sup>3</sup> /個	■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力		MPa	静水頭/F.V.* <sup>2</sup>		
最高使用温度		℃	60		
主要寸法	胴内径		mm	450* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ		mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )	
	鏡板厚さ		mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	50* <sup>1</sup> (鏡板のすその丸みの内半径)	
	平板厚さ		mm	■■■■ (20* <sup>1</sup> )	
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )	
	分析済液出口管台 (P4)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )	
高さ		mm	604* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板		—	SUS316L	
	鏡板		—	SUS316L	
	平板		—	SUS316L	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	中和ろ液受槽A 分析済液処理系	中和ろ液受槽B 分析済液処理系
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: F.V.はFull Vacuumの略で、数値としては、-0.101MPaである。

\*3: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			遠心分離処理液受槽 (PA0167-V-18)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		静水頭
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴内径		mm 450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm ■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm ■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm 450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm 60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm 20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P2)	外径	mm 34.0* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 3.0* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P4)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■■ (2.5* <sup>1</sup> )
高さ		mm 610* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316L
	鏡板		— SUS316L
	平板		— SUS316L
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		— 遠心分離処理液受槽 分析済液処理系
	設置床		— 分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— —* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— —* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			ろ過処理供給槽 (PA0167-V-40)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		静水頭
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴内径		mm 450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm ■■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm ■■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm 450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm 60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm 20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.5* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P3)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.5* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P6)	外径	mm 13.8* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■■■ (2.0* <sup>1</sup> )
高さ		mm 560* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316L
	鏡板		— SUS316L
	平板		— SUS316L
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		— ろ過処理供給槽 分析済液処理系
	設置床		— 分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— * <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— * <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2 : 本機器は，溢水防護対象ではないため「－」とする。

名称			第2ろ過処理液受槽 (PA0167-V-44)	
種類		—	たて置円筒形	
容量		m <sup>3</sup>	■■■■以上 (0.065 <sup>*1</sup> )	
最高使用圧力		MPa	静水頭	
最高使用温度		℃	60	
主要寸法	胴内径		mm	450 <sup>*1</sup>
	胴板厚さ		mm	5.0 <sup>*1</sup>
	鏡板厚さ		mm	5.0 <sup>*1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	450 <sup>*1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				60 <sup>*1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	20 <sup>*1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	13.8 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	2.0 <sup>*1</sup>
	分析済液出口管台 (P6)	外径	mm	21.7 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	2.5 <sup>*1</sup>
高さ		mm	560 <sup>*1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	第2ろ過処理液受槽 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	— <sup>*2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			第1活性炭処理供給槽 (PA0167-V-50)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	℃		60	
主要寸法	胴内径		mm	450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm	■■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm	450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P2)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	■■ (2.5* <sup>1</sup> )
	分析済液出口管台 (P11)	外径	mm	13.8* <sup>1</sup>
厚さ		mm	■■ (2.0* <sup>1</sup> )	
高さ		mm	660* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	第1活性炭処理供給槽 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			第1活性炭処理液受槽 (PA0167-V-53)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (0.065* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		静水頭
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴内径		mm 450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm ■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm ■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm 450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm 60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm 20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm 13.8* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.0* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■ (2.5* <sup>1</sup> )
高さ		mm 560* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316L
	鏡板		— SUS316L
	平板		— SUS316L
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		— 第1活性炭処理液受槽 分析済液処理系
	設置床		— 分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— * <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— * <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称			第2活性炭処理供給槽 (PA0167-V-60)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup>		■以上 (0.065* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		静水頭
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴内径		mm 450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm ■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm ■ (5.0* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm 450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm 60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm 20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.5* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P7)	外径	mm 13.8* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■ (2.0* <sup>1</sup> )
高さ		mm 560* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316L
	鏡板		— SUS316L
	平板		— SUS316L
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		— 第2活性炭処理供給槽 分析済液処理系
	設置床		— 分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— * <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— * <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			第2活性炭処理液受槽 (PA0167-V-65)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		静水頭
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴内径		mm 450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm 5.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm 5.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm 450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm 60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm 20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm 13.8* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.0* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm 21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm 2.5* <sup>1</sup>
高さ		mm 560* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316L
	鏡板		— SUS316L
	平板		— SUS316L
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)		— 第2活性炭処理液受槽 分析済液処理系
	設置床		— 分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— —* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— —* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理供給槽 (PA0167-V-70)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	℃		60	
主要寸法	胴内径		mm	450* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P5)	外径	mm	13.8* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.0* <sup>1</sup>
高さ		mm	660* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理供給槽 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理液受槽 (PA0167-V-72, -73)		
種類	—		たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /個		■■■■以上 (0.065* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa		静水頭		
最高使用温度	℃		60		
主要寸法	胴内径		mm	450* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>	
	鏡板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>	
	鏡板の形状に係る寸法		mm	450* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)	
				60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)	
	平板厚さ		mm	20* <sup>1</sup>	
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	13.8* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	2.0* <sup>1</sup>	
	分析済液出口管台 (P3)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>	
高さ		mm	560* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板		—	SUS316L	
	鏡板		—	SUS316L	
	平板		—	SUS316L	
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理液受槽A 分析済液処理系	吸着処理液受槽B 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			希釈槽 (PA0167-V-80)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup>		■■■■以上 (0.13* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		静水頭	
最高使用温度	℃		60	
主要寸法	胴内径		mm	600* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	5.0* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	600* <sup>1</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				60* <sup>1</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	20* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	分析済液入口管台 (P3)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P5)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
厚さ		mm	2.5* <sup>1</sup>	
高さ		mm	655* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	希釈槽 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			払出前希釈槽 (PA0167-V-81)	
種類		—	たて置円筒形	
臨界管理	核的制限値*1	取扱Pu*質量*2	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
容量		m <sup>3</sup>	■以上 (1.1* <sup>3</sup> )	
最高使用圧力		MPa	静水頭	
最高使用温度		°C	50	
主要寸法	胴内径		mm	1100* <sup>3</sup>
	胴板厚さ		mm	6.0* <sup>3</sup>
	鏡板厚さ		mm	6.0* <sup>3</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	1100* <sup>3</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)
				110* <sup>3</sup> (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平板厚さ		mm	22* <sup>3</sup>
	分析済液入口管台 (P2)	外径	mm	21.7* <sup>3</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>3</sup>
	分析済液処理液出口管台 (P4)	外径	mm	60.5* <sup>3</sup>
		厚さ	mm	3.5* <sup>3</sup>
高さ		mm	1500* <sup>3</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316L
	鏡板		—	SUS316L
	平板		—	SUS316L
個数		—	1	

(続き)

取付箇所	系統名(ライン名)	—	払出前希釈槽 分析済液処理系
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*4
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4

注記 \*1：本機器に単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*2：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，k  
g・Pu\*は，その合計質量とする。

\*3：公称値を示す。

\*4：本機器は，溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (2) ろ過装置

名称			中和液ろ過装置 (PA0167-F-1101, -1201)		
種類	—		たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /h/個		■■■■以上 (1.02×10 <sup>-3</sup> * <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa		静水頭/F. V. * <sup>2</sup>		
最高使用温度	℃		60		
主要寸法	胴内径	mm	240* <sup>1</sup>		
	胴板厚さ	mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )		
	鏡板厚さ	mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )		
	鏡板の形状に係る寸法	mm	50* <sup>1</sup> (鏡板のすその丸みの内半径)		
	蓋板厚さ	mm	■■■■ (16* <sup>1</sup> )		
	分析済液(中和済) 入口管台(P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )	
	分析済液出口(ろ 液)管台(P3)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>	
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )	
	フランジ厚さ	mm	■■■■ (16* <sup>1</sup> )		
高さ	mm	330* <sup>1</sup>			
主要材料	胴板	—	SUS316L		
	鏡板	—	SUS316L		
	蓋板	—	SUS316L		
	フランジ	—	SUS316L		
個数	—	2			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	中和液ろ過装置A 分析済液処理系	中和液ろ過装置B 分析済液処理系	
	設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>3</sup>	—* <sup>3</sup>	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : F. V. はFull Vacuumの略で、数値としては、-0.101MPaである。

\*3 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称			第1ろ過装置 (PA0167-F-41)
種類	—		たて置円筒形
容量	m <sup>3</sup> /h		■以上 (0.05* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa		0.49
最高使用温度	℃		60
主要寸法	胴外径		mm 101.6* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm ■ (5.7* <sup>1</sup> )
	鏡板厚さ		mm ■ (5.7* <sup>1</sup> )
	鏡板の形状に係る寸法		mm 90.2* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)
			mm 22.55* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)
	蓋板厚さ		mm ■ (30.6* <sup>1</sup> )
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm 27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■ (2.5* <sup>1</sup> )
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm 27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm ■ (2.5* <sup>1</sup> )
フランジ厚さ		mm ■ (18* <sup>1</sup> )	
高さ		mm 1181* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		— SUS316LTP
	鏡板		— SUS316L
	蓋板		— SUSF316L
	フランジ		— SUS316L
個数		— 1	
取付箇所	系統名(ライン名)		— 第1ろ過装置 分析済液処理系
	設置床		— 分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— * <sup>3</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— * <sup>3</sup>

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 内面における長径と短径の比が2となる値

\*3 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「－」とする。

名称			第2ろ過装置 (PA0167-F-43)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup> /h		■以上 (0.05 <sup>*1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		0.49	
最高使用温度	℃		60	
主要寸法	胴外径	mm	101.6 <sup>*1</sup>	
	胴板厚さ	mm	■ (5.7 <sup>*1</sup> )	
	鏡板厚さ	mm	■ (5.7 <sup>*1</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	90.2 <sup>*1</sup> (鏡板の内面における長径)	
			22.55 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	蓋板厚さ	mm	■ (30.6 <sup>*1</sup> )	
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	27.2 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	■ (2.5 <sup>*1</sup> )
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm	27.2 <sup>*1</sup>
		厚さ	mm	■ (2.5 <sup>*1</sup> )
フランジ厚さ	mm	■ (18 <sup>*1</sup> )		
高さ	mm	1181 <sup>*1</sup>		
主要材料	胴板	—	SUS316LTP	
	鏡板	—	SUS316L	
	蓋板	—	SUSF316L	
	フランジ	—	SUS316L	
個数	—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2ろ過装置 分析済液処理系	
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*3</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— <sup>*3</sup>	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 内面における長径と短径の比が2となる値

\*3 : 本機器は，溢水防護対象ではないため「－」とする。

名称		第1活性炭処理第1処理塔, 第1活性炭処理第2処理塔 (PA0167-T-51, -52)		
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■以上 (0.01* <sup>1</sup> )		
最高使用圧力	MPa	0.29		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	胴外径	mm	318.5* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ	mm	■■■■ (4.5* <sup>1</sup> )	
	鏡板厚さ	mm	■■■■ (4.5* <sup>1</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	309.5* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)	
			77.375* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
厚さ		mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )	
高さ	mm	976* <sup>1</sup>		
主要材料	胴板	—	SUS316LTP	
	鏡板	—	SUS316L	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1活性炭処理第1処理塔 第1活性炭処理第2処理塔 分析済液処理系	
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>3</sup>	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>3</sup>	

注記 \*1: 公称値を示す。  
\*2: 内面における長径と短径の比が2となる値  
\*3: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		第2活性炭処理塔 (PA0167-T-61, -62, -63, -64)		
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /h/個	■■■■以上* <sup>2</sup> (0.01* <sup>1</sup> , * <sup>2</sup> )		
最高使用圧力	MPa	0.29		
最高使用温度	℃	60		
主要寸法	胴外径	mm	139.8* <sup>1</sup>	
	胴板厚さ	mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )	
	鏡板厚さ	mm	■■■■ (5.0* <sup>1</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	129.8* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)	
			32.45* <sup>3</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm	21.7* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	■■■■ (2.5* <sup>1</sup> )
	フランジ厚さ		mm	■■■■ (16* <sup>1</sup> )
高さ		mm	900* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板	—	SUS316LTP	
	鏡板	—	SUS316L	
	フランジ	—	SUS316L	
個数		—	4	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2活性炭処理塔A, B, C, D 分析済液処理系	
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>4</sup>	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* <sup>4</sup>	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 4個の合計流量を示す。

\*3 : 内面における長径と短径の比が2となる値

\*4 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理塔 (PA0167-T-71)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m <sup>3</sup> /h		■■■■以上 (0.01* <sup>1</sup> )	
最高使用圧力	MPa		0.29	
最高使用温度	℃		60	
主要寸法	胴外径		mm	318.5* <sup>1</sup>
	胴板厚さ		mm	4.5* <sup>1</sup>
	鏡板厚さ		mm	4.5* <sup>1</sup>
	鏡板の形状に係る寸法		mm	309.5* <sup>1</sup> (鏡板の内面における長径)
				77.375* <sup>2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)
	分析済液入口管台 (P1)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
	分析済液出口管台 (P2)	外径	mm	27.2* <sup>1</sup>
		厚さ	mm	2.5* <sup>1</sup>
高さ		mm	976* <sup>1</sup>	
主要材料	胴板		—	SUS316LTP
	鏡板		—	SUS316L
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	吸着処理塔 分析済液処理系
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>3</sup>
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>3</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：内面における長径と短径の比が2となる値

\*3：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## (3) ポンプ

名称		遠心分離処理液受槽ポンプ (PA0167-P-1810)		
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.34* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (11* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.98	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法 *3	吸込口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		たて	mm	120* <sup>1</sup>
		横	mm	118* <sup>1</sup>
		高さ	mm	251.5* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS13
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	遠心分離処理液受槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—*2	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*2	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.2	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。  
 \*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*3：最高使用圧力に対して漏えいを生じない構造とする。



名称		ろ過処理供給槽ポンプ (PA0167-P-4010)		
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.05* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■以上 (0.19* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.49	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法 *3	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	100* <sup>1</sup>
		横	mm	85* <sup>1</sup>
		高さ	mm	261* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	ろ過処理供給槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.25	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：最高使用圧力に対して漏えいを生じない構造とする。

名称			第2ろ過処理液受槽ポンプ (PA0167-P-4410)	
ポンプ	種類	—	ベーン形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.34 <sup>*1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (11 <sup>*1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.98	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	16.1 <sup>*1</sup>
		吐出口径	mm	16.1 <sup>*1</sup>
		たて	mm	112 <sup>*1</sup>
		横	mm	50 <sup>*1</sup>
		高さ	mm	250 <sup>*1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS13
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2ろ過処理液受槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m
溢水防護上の区画 番号		—	— <sup>*2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	— <sup>*2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	W	60	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		第1活性炭処理供給槽ポンプ (PA0167-P-5010)		
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.01* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■以上 (0.18* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.29	
	最高使用温度	°C	60	
	主要寸法 *3	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	100* <sup>1</sup>
		横	mm	85* <sup>1</sup>
		高さ	mm	184* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1活性炭処理供給槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.25	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：最高使用圧力に対して漏えいを生じない構造とする。

名称		第1活性炭処理液受槽ポンプ (PA0167-P-5310)		
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.34* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (9* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.98	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		たて	mm	120* <sup>1</sup>
		横	mm	118* <sup>1</sup>
		高さ	mm	260* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS13
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1活性炭処理液受槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.2	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			第2活性炭処理供給槽ポンプ (PA0167-P-6010)	
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■■■■以上 (0.01* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■■■■以上 (0.18* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.29	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	100* <sup>1</sup>
		横	mm	85* <sup>1</sup>
		高さ	mm	184* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2活性炭処理供給槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.25	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			第2活性炭処理液受槽ポンプ (PA0167-P-6510)	
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.34* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (12* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.98	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		たて	mm	120* <sup>1</sup>
		横	mm	118* <sup>1</sup>
		高さ	mm	300* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS13
	個数	—	1	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2活性炭処理液受槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.2	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

あ名称		吸着処理供給槽ポンプ (PA0167-P-7010)		
ポンプ	種類	—	往復形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■■■■以上 (0.01* <sup>1</sup> )	
	吐出圧力	MPa	■■■■以上 (0.16* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.29	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	■* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	■* <sup>1</sup>
		たて	mm	100* <sup>1</sup>
		横	mm	85* <sup>1</sup>
		高さ	mm	184* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SUS316
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	吸着処理供給槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW	0.25	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称			吸着処理液受槽ポンプ (PA0167-P-7210)	
ポンプ	種類	—	ベーン形	
	容量	m <sup>3</sup> /h	■以上 (0.34* <sup>1</sup> )	
	揚程	m	■以上 (16* <sup>1</sup> )	
	最高使用圧力	MPa	0.98	
	最高使用温度	℃	60	
	主要寸法	吸込口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		吐出口径	mm	16.1* <sup>1</sup>
		たて	mm	112* <sup>1</sup>
		横	mm	50* <sup>1</sup>
		高さ	mm	250* <sup>1</sup>
	主要材料	ケーシング	—	SCS13
	個数		—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	吸着処理液受槽ポンプ 分析済液処理系
		設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
溢水防護上の区画 番号		—	—* <sup>2</sup>	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	W	90	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



## (4) 主配管

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
分析 済液 処理 系	分析済液中和槽A, B ～ 中和液ろ過装置A, B ～ 中和ろ液受槽A, B ～ 遠心分離処理液受槽 ～ 遠心分離処理液受槽ポンプ ～ ろ過処理供給槽, 第1活性炭処理供給槽	静水頭/ F.V. *2	60	27.2	2.5	SUS316LTP
		静水頭	60	21.7	2.5	SUS316LTP
				27.2	2.5	SUS316LTP
				34.0	3.0	SUS316LTP
		0.98	60	21.7	2.5	SUS316LTP
		—*4	60	60.5	3.5	SUS304TP

\*3

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
分析 済液 処理系	ろ過処理供給槽 ～ ろ過処理供給槽ポンプ	静水頭	60	13.8	2.0	SUS316LTP
				21.7	2.5	SUS316LTP
	第1ろ過装置 ～ 第2ろ過装置 ～ 第2ろ過処理液受槽 ～ 第2ろ過処理液受槽ポンプ	0.49	60	13.8	2.0	SUS316LTP
				21.7	2.5	SUS316LTP
				27.2	2.5	SUS316LTP
	希釈槽，第1活性炭処理供給槽	0.98	60	21.7	2.5	SUS316LTP
		—*4	60	60.5	3.5	SUS304TP

\*3

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径*1	厚さ*1	主要材料
		MPa	℃	mm	mm	—
分析 済液 処理系	第1活性炭処理供給槽 ～ 第1活性炭処理供給槽ポンプ	静水頭	60	13.8	2.0	SUS316LTP
				21.7	2.5	SUS316LTP
	第1活性炭処理第1処理塔 ～ 第1活性炭処理第2処理塔 ～ 第1活性炭処理液受槽 ～ 第1活性炭処理液受槽ポンプ	0.29	60	13.8	2.0	SUS316LTP
				21.7	2.5	SUS316LTP
				27.2	2.5	SUS316LTP
	第1活性炭処理液受槽ポンプ ～ 第2活性炭処理供給槽，ろ過処理供給槽	0.98	60	21.7	2.5	SUS316LTP
	—*4	60	60.5	3.5	SUS304TP	

\*3

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径* <sup>1</sup>	厚さ* <sup>1</sup>	主要材料
		MPa	°C	mm	mm	—
分析 済液 処理系	第2活性炭処理供給槽 ～ 第2活性炭処理供給槽ポンプ ～ 第2活性炭処理塔A, B, C, D ～ 第2活性炭処理液受槽 ～ 第2活性炭処理液受槽ポンプ	静水頭	60	13.8	2.0	SUS316LTP
	21.7			2.5	SUS316LTP	
	～ 吸着処理供給槽 ～ 吸着処理供給槽ポンプ ～ 吸着処理塔 ～ 吸着処理液受槽A, B ～ 希釈槽, 吸着処理液受槽ポンプ入口配管分岐部 ～ 吸着処理液受槽ポンプ ～ 払出前希釈槽	0.29	60	13.8	2.0	SUS316LTP
	21.7			2.5	SUS316LTP	
	27.2			2.5	SUS316LTP	
		0.98	60	21.7	2.5	SUS316LTP
		0.98	50	21.7	2.5	SUS316LTP

(続き)

名称		最高使用 圧力	最高使用 温度	外径* <sup>1</sup>	厚さ* <sup>1</sup>	主要材料
		MPa	°C	mm	mm	—
分析 済液 処理 系	払出前希釈槽 ～ 分析済液処理装置境界弁(0167-W3001)	静水頭	50	60.5	3.5	SUS316LTP

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：F.V.はFull Vacuumの略で，数値としては，-0.101MPaである。

\*3：二重管の外管の仕様を示す。

\*4：二重管の外管はグローブボックスと同様の閉じ込めバウンダリを構成する配管であり，その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため最高使用圧力を設定しない。

## (5) 核物質等取扱ボックス

名称			受払装置グローブボックス (PA0164-B-10701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3500* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1600* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	33(■)
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(受払ユニット)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			受払・分配装置 グローブボックス (PA0163-B-10701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	5000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1600*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	44( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力



より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-20701, -20702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-1 2500*1 試料溶解・調製装置-1 グローブボックス-2 1000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称		試料溶解・調製装置-2 グローブボックス-1, -2, -3 (PA0164-B-20701, -20702, -20703)	
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm
	設置する室の壁・天井までの距離		mm
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	3

(続き)

遮蔽体	主要寸法	厚さ	本体		mm	33 ( )
			Ⅱ型保管箱	内側	mm	40 ( )
				外側	mm	10 ( )
	主要材料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
		Ⅱ型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取付箇所	系統名(ライン名)				—	—
	設置床				—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号				—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ				—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : 本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4 : Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5 : グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			スパイク試料調製装置-1 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-21701, -21702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱 Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305 以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25 以下
開口部風速*5			m/s	0.5 以上
主 要 寸 法	たて		mm	1000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241 及びウラン-235 の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ 1 個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820 グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			スパイク試料調製装置-2 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-22701, -22702)		
種類			—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5			m/s	0.5以上	
主 要 寸 法	たて		mm	1000*1	
	横		mm	1000*1	
	高さ		mm	1000*1	
主 要 材 料	本体		—	SUS304	
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂	
個数			—	2	
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚さ	本体	mm	22 (■)
			IV型保管箱	mm	3 (■)
	主 要 材 料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
		IV型保管箱		—	SUS304
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号		—	—*2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2	

注記 \*1：公称値を示す。



- \*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。
- \*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。
- \*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，  
kg・Pu\*は，その合計質量とする。
- \*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- \*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			スパイク試料調製装置-3 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-23701, -23702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			スパイキング装置 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-24701, -24702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			イオン交換装置 グローブボックス-1, -2 (PA0163-B-25701, -25702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	イオン交換装置 グローブボックス-1 2000*1 イオン交換装置 グローブボックス-2 1500*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			試料塗布装置グローブボックス (PA0163-B-26701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			α線測定装置グローブボックス (PA0163-B-30701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称			γ線測定装置グローブボックス (PA0163-B-31701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			蛍光X線分析装置 グローブボックス (PA0163-B-47701)			
種類			— グローブボックス			
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5			m/s	0.5以上		
主 要 寸 法	たて		mm	3000*1		
	横		mm	1000*1		
	高さ		mm	1000*1		
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂		
個数			—	1		
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚さ	本体		mm	44 ( )
			I型保管箱	内側	mm	60 ( )
				外側	mm	16 ( )
	主 要 材 料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
		I型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
			外側	—	SUS304	

(続き)

取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : 本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4 : Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5 : グローブ 1 個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称				プルトニウム含有率分析装置 グローブボックス (PA0163-B-40701)		
種類			—	グローブボックス		
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5			m/s	0.5以上		
主 要 寸 法	たて		mm	3000*1		
	横		mm	1000*1		
	高さ		mm	1000*1		
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂		
個数			—	1		
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚 さ	本体		mm	33 (■)
			Ⅱ型保管箱	内側	mm	40 (■)
				外側	mm	10 (■)
	主 要 材 料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
		Ⅱ型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	

(続き)

取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			質量分析装置B, C, D, E グローブボックス (PA0163-B-42701, -43701, -44701, -45701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	4
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称			収去試料受払装置 グローブボックス (PA0166-B-10701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	—
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	—
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000*1
	横		mm	1000*1
	高さ		mm	1000*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			収去試料調製装置 グローブボックス (PA0166-B-20701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	—
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	—
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	1000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			分配装置グローブボックス (PA0164-B-11701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	44( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			塩素・フッ素分析装置 グローブボックス (PA0164-B-53701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称			O/M比測定装置グローブボックス (PA0164-B-50701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			水分分析装置グローブボックス (PA0164-B-51701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			炭素・硫黄・窒素分析装置 グローブボックス-1, -2 (PA0164-B-52701, -52702)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	炭素・硫黄・窒素分析装置 グローブボックス-1 2000* <sup>1</sup> 炭素・硫黄・窒素分析装置 グローブボックス-2 2500* <sup>1</sup>
	横		mm	1100* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1500* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	2
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

- \*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- \*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			EPMA分析装置グローブボックス (PA0164-B-54701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	33 ( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称			ICP-発光分光分析装置 グローブボックス (PA0164-B-55701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			ICP-質量分析装置 グローブボックス (PA0164-B-56701)
種類			グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu* 0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm 300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm 壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h 0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s 0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm 2500* <sup>1</sup>
	横		mm 1100* <sup>1</sup>
	高さ		mm 1500* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		— SUS304, SUS304TP
	窓板部		— ポリカーボネート樹脂
個数			— 1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		— —
	設置床		— 分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— —* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		— —* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称				水素分析装置グローブボックス (PA0164-B-57701)		
種類			—	グローブボックス		
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>		kg・Pu*	0.50	
	他の単一ユニットとの相互間隔			mm	300以上	
	設置する室の壁・天井までの距離			mm	壁 50以上 天井 300以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ			mm	305以上	
漏れ率* <sup>6</sup>				vol%/h	0.25以下	
開口部風速* <sup>5</sup>				m/s	0.5以上	
主 要 寸 法	たて			mm	3000* <sup>1</sup>	
	横			mm	1100* <sup>1</sup>	
	高さ			mm	1500* <sup>1</sup>	
主 要 材 料	本体			—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部			—	ポリカーボネート樹脂	
個数				—	1	
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚 さ	本体		mm	44 (■■■■)
			I型保管箱	内側	mm	60 (■■■■)
				外側	mm	16 (■■■■)
	主 要 材 料	本体			—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)
		I型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)			—	—	
	設置床			—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m	
	溢水防護上の区画番号			—	—* <sup>2</sup>	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	—* <sup>2</sup>	

- 注記 \*1：公称値を示す。
- \*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。
- \*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。
- \*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，  
kg・Pu\*は，その合計質量とする。
- \*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- \*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			蒸発性不純物測定装置A グローブボックス (PA0164-B-58701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2500* <sup>1</sup>
	横		mm	1100* <sup>1</sup>
	高さ		mm	2000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			粉末物性測定装置 グローブボックス (PA0164-B-70701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	3000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22 ( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称				金相試験装置 グローブボックス-1, -2 (PA0164-B-71701, -71702)		
種類			—	グローブボックス		
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.50		
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上		
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5			m/s	0.5以上		
主 要 寸 法	たて		mm	金相試験装置 グローブボックス-1 3000*1 金相試験装置 グローブボックス-2 2500*1		
	横		mm	1000*1		
	高さ		mm	1000*1		
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂		
個数			—	2		
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚 さ	本体		mm	44 ( )
			I型保管箱	内側	mm	60 ( )
				外側	mm	16 ( )
	主 要 材 料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
		I型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
			外側	—	SUS304	

(続き)

取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : 本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4 : Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5 : グローブ 1 個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			プルトニウムスポット検査装置 グローブボックス (PA0164-B-72701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	1500* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	33( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			液浸密度測定装置 グローブボックス (PA0164-B-73701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	1000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	33( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			熱分析装置グローブボックス (PA0164-B-74701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2000* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1500* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給  
排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称				ペレット溶解性試験装置 グローブボックス-1, -2 (PA0164-B-75701, -75702)		
種類			—	グローブボックス		
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50		
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上		
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上		
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上		
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下		
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上		
主 要 寸 法	たて		mm	ペレット溶解性試験装置 グローブボックス-1 2000* <sup>1</sup> ペレット溶解性試験装置 グローブボックス-2 1500* <sup>1</sup>		
	横		mm	1000* <sup>1</sup>		
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>		
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂		
個数			—	2		
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚さ	本体		mm	33 (■)
			Ⅱ型保管箱	内側	mm	40 (■)
				外側	mm	10 (■)
	主 要 材 料	本体		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
		Ⅱ型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	

(続き)

取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			X線回折測定装置 グローブボックス (PA0164-B-76701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.50
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	1500* <sup>1</sup>
	横		mm	1000* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1000* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称		搬送装置-1グローブボックス -1, -2, -3 (PA0163-B-80701, -80702, -80703)	
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	3
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称		搬送装置-2グローブボックス -1, -2, -3 (PA0163-B-81701, -81702, -81703)	
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率*6		vol%/h	0.25以下
開口部風速*5		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	3
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(a))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。



名称		搬送装置-3グローブボックス -1, -2, -3, -4 (PA0164-B-80701, -80702, -80703, -80704)	
種類		—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm
	設置する室の壁・天井までの距離		mm
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm
漏れ率* <sup>6</sup>		vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>		m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm
	横		mm
	高さ		mm
主 要 材 料	本体		—
	窓板部		—
個数		—	4
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—
	設置床		—
	溢水防護上の区画番号		—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析ユニット(b))を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

- \*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- \*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称				分析済液中和固液分離 グローブボックス (PA0167-B-10701)		
種類			—	グローブボックス		
臨 界 管 理	核的制限値*3		取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25	
	他の単一ユニットとの相互間隔			mm	300以上	
	設置する室の壁・天井までの距離			mm	壁 50以上 天井 300以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ			mm	305以上	
漏れ率*7				vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5				m/s	0.5以上	
主 要 寸 法	たて			mm	8700*1	
	横			mm	1000*1	
	高さ			mm	3500*1	
主 要 材 料	本体			—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部			—	ポリカーボネート樹脂	
個数				—	1	
遮 蔽 体	主 要 寸 法	厚 さ	本体		mm	44 ( )
			Ⅲ型保管箱	内側	mm	60 ( )
				外側	mm	16 ( )
	主 要 材 料	本体			—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
		Ⅲ型保管箱	内側	—	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
			外側	—	SUS304	
漏 え い 液	最高使用圧力			Pa	静水頭	
	最高使用温度			℃	60	
	主 要	分析済液中和固液 分離グローブボックス		たて	mm	988*1
				横	mm	988*1

(続き)

受皿	寸法	漏えい液受皿1 (PA0167-X-90)	高さ	mm	■	
			厚さ	mm	■ (6.0 <sup>*1</sup> )	
	分析済液中和固液 分離グローブボックス 漏えい液受皿2 (PA0167-X-91)	寸法	たて	高さ	mm	1676 <sup>*1</sup>
				横	mm	988 <sup>*1</sup>
				高さ	mm	95 <sup>*1</sup>
				厚さ	mm	■ (6.0 <sup>*1</sup> )
	分析済液中和固液 分離グローブボックス 漏えい液受皿3 (PA0167-X-92)	寸法	たて	高さ	mm	1988 <sup>*1</sup>
				横	mm	988 <sup>*1</sup>
				高さ	mm	■
				厚さ	mm	■ (6.0 <sup>*1</sup> )
	分析済液中和固液 分離グローブボックス 漏えい液受皿4 (PA0167-X-93)	寸法	たて	高さ	mm	1988 <sup>*1</sup>
				横	mm	988 <sup>*1</sup>
				高さ	mm	■
				厚さ	mm	6.0 <sup>*1*6</sup>
	主要材料			—		SUS304
	取付箇所	系統名(ライン名)			—	—
設置床			—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m		
溢水防護上の区画番号			—	— <sup>*2</sup>		
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	— <sup>*2</sup>		

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：本受皿は、耐圧強度計算対象外機器のため、公称値のみとする。

\*7：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			放射能濃度分析 グローブボックス-1 (PA0167-B-50701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率*6			vol%/h	0.25以下
開口部風速*5			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2100*1
	横		mm	600*1
	高さ		mm	1100*1
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22( )
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			放射能濃度分析 グローブボックス-2 (PA0167-B-60701)	
種類			—	グローブボックス
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上
主 要 寸 法	たて		mm	2100* <sup>1</sup>
	横		mm	600* <sup>1</sup>
	高さ		mm	1100* <sup>1</sup>
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂
個数			—	1
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：本グローブボックスに単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*4：Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称			ろ過・第1活性炭処理 グローブボックス (PA0167-B-30701)		
種類			—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制限値* <sup>3</sup>	取扱Pu*質量* <sup>4</sup>	kg・Pu*	0.25	
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上	
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	
漏れ率* <sup>6</sup>			vol%/h	0.25以下	
開口部風速* <sup>5</sup>			m/s	0.5以上	
主 要 寸 法	たて		mm	6000* <sup>1</sup>	
	横		mm	1000* <sup>1</sup>	
	高さ		mm	4000* <sup>1</sup>	
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂	
個数			—	1	
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22 (■■■■)	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
漏 え い 液 受 皿	最高使用圧力		Pa	静水頭	
	最高使用温度		℃	60	
	主 要 寸 法	ろ過・第1活性炭処 理グローブボック ス漏えい液受皿1 (PA0167-X-94)	たて	mm	2985* <sup>1</sup>
			横	mm	988* <sup>1</sup>
			高さ	mm	■■■■
			厚さ	mm	■■■■ (6.0* <sup>1</sup> )
	主 要 寸 法	ろ過・第1活性炭処 理グローブボック ス漏えい液受皿2 (PA0167-X-95)	たて	mm	2988* <sup>1</sup>
			横	mm	988* <sup>1</sup>
高さ			mm	■■■■	
厚さ			mm	■■■■ (6.0* <sup>1</sup> )	



(続き)

	主要材料	—	SUS304
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : 本グローブボックスに単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*4 : Pu\*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5 : グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称				第2活性炭・吸着処理 グローブボックス (PA0167-B-40701)	
種類			—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	0.25	
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	300以上	
	設置する室の壁・天井までの距離		mm	壁 50以上 天井 300以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	
漏れ率*7			vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5			m/s	0.5以上	
主 要 寸 法	たて		mm	6000*1	
	横		mm	1000*1	
	高さ		mm	4000*1	
主 要 材 料	本体		—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部		—	ポリカーボネート樹脂	
個数			—	1	
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	mm	22 ( )	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	
漏 え い 液 受 皿	最高使用圧力		Pa	静水頭	
	最高使用温度		℃	60	
	主 要 寸 法	第2活性炭・吸着処理 グローブボックス 漏えい液受皿1 (PA0167-X-97)	たて	mm	2988*1
			横	mm	988*1
			高さ	mm	)
			厚さ	mm	6.0*1*6
	主 要 寸 法	第2活性炭・吸着処理 グローブボックス 漏えい液受皿2 (PA0167-X-98)	たて	mm	2985*1
			横	mm	988*1
高さ			mm	)	
厚さ			mm	6.0*1*6	

(続き)

	主要材料	—	SUS304
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : 本グローブボックスに単一ユニット(分析済液処理ユニット)を設定する。

\*4 : Pu\*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、  
kg・Pu\*は、その合計質量とする。

\*5 : グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

\*6 : 本受皿は、耐圧強度計算対象外機器のため、公称値のみとする。

\*7 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

名称		プルトニウムスポット検査装置 オープンポートボックス (PA0164-B-72702)	
種類		—	オープンポートボックス
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	1500*1
	横	mm	500*1
	高さ	mm	1000*1
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂
個数		—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3：通常運転時におけるポート開口部(ポート3箇所開放)の面風速を示す。

名称		フード (PA0165-B-01701, -01702)	
種類		—	フード
開口部風速*3		m/s	0.5以上
主要寸法	たて	mm	1200*1
	横	mm	750*1
	高さ	mm	2400*1
主要材料	本体	—	鋼材
個数		—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	分析第1室, 分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*3 : フードの使用時(開口部高さ300mm)の面風速を示す。

## 1.3 その他の主要な事項

## 1.3.1 警報関連設備

## (1) 計装/放管設備

## a. 計測装置

名称		液体廃棄物処理第3室サンプル液位 (PA0172-LE-101, -102, -103)			
検出器の種類	—	電極式液位検出器			
計測範囲	—	—			
警報動作範囲	mm	100 以上*1			
個数	—	3			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	液体廃棄物処理第3室サンプル A 液位 PA0172-LE-101 警報関連設備	液体廃棄物処理第3室サンプル B 液位 PA0172-LE-102 警報関連設備	液体廃棄物処理第3室サンプル C 液位 PA0172-LE-103 警報関連設備
	設置床	—	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m	液体廃棄物処理第3室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—*2	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—*2	—*2

注記 \*1: サンプル底面を基準とした高さ

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		液体廃棄物処理第1室サンプル液位 (PA0172-LE-110)	
検出器の種類	—	電極式液位検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	100 以上* <sup>1</sup>	
個数	—	1	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	液体廃棄物処理第1室サンプル液位 PA0172-LE-110 警報関連設備
	設置床	—	液体廃棄物処理第1室 T. M. S. L. 35.00m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: サンプル底面を基準とした高さ

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		床ドレン回収槽第2室サンプル液位 (PA0172-LE-200)	
検出器の種類	—	電極式液位検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	100 以上*1	
個数	—	1	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	床ドレン回収槽第2室サンプル液位 PA0172-LE-200 警報関連設備
	設置床	—	床ドレン回収槽第2室 T. M. S. L. 31.20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2

注記 \*1：サンプル底面を基準とした高さ

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。



名称		床ドレン回収槽第1室サンプル液位 (PA0172-LE-300)	
検出器の種類		—	電極式液位検出器
計測範囲		—	—
警報動作範囲		mm	100 以上* <sup>1</sup>
個数		—	1
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	床ドレン回収槽第1室サンプル液位 PA0172-LE-300 警報関連設備
	設置床	—	床ドレン回収槽第1室 T. M. S. L. 31.20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1: サンプル底面を基準とした高さ

\*2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

名称		吸着処理オープンポートボックス漏えい液受血液位 (PA0172-LE-10701)	
検出器の種類	—	電極式漏えい検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	20以上*2	
個数	—	1	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	吸着処理オープンポートボックス漏えい液受血液位 PA0172-LE-10701 警報関連設備
	設置床	—	液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	— *1
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *1

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*2：基準点は漏えい検知ポット底部とする。

名称		ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位 (PA0172-LE-20701)	
検出器の種類	—	電極式漏えい検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	20以上*2	
個数	—	1	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位 PA0172-LE-20701 警報関連設備
	設置床	—	液体廃棄物処理第2室 T. M. S. L. 35. 00m
	溢水防護上の区画番号	—	— *1
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *1

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*2：基準点は漏えい検知ポット底部とする。

名称		分析済液中和固液分離グローブボックス漏えい液受皿液位 (PA0167-LE-90, -91, -92, -93)	
検出器の種類	—	電極式漏えい検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	20以上* <sup>2</sup>	30以上* <sup>3</sup>
個数	—	1	3
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	分析済液中和固液分離グローブボック ス漏えい液受皿1液位 PA0167-LE-90 警報関連設備
	設置床	—	分析第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>1</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>1</sup>

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*2：機器 PA0167-LE-90の基準点はグローブボックス底面とする。

\*3：機器 PA0167-LE-91, -92, -93の基準点は漏えい検知ポット底部とする。

名称		ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿液位 (PA0167-LE-94, 95)	
検出器の種類		—	電極式漏えい検出器
計測範囲		—	—
警報動作範囲		mm	30以上*2
個数		—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿1液位, ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿2液位 PA0167-LE-94, -95 警報関連設備
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*1
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*1

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*2：基準点は漏えい検知ポット底部とする。

名称		第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿液位 (PA0167-LE-97, -98)	
検出器の種類		—	電極式漏えい検出器
計測範囲		—	—
警報動作範囲		mm	30以上*2
個数		—	2
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿1液位, 第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿2液位 PA0167-LE-97, -98 警報関連設備
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*1
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*1

注記 \*1：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

\*2：基準点は漏えい検知ポット底部とする。

名称		払出前希釈槽下部堰内漏えい液位 (PA0167-LE-100)	
検出器の種類	—	電極式液位検出器	
計測範囲	—	—	
警報動作範囲	mm	100 以上* <sup>1</sup>	
個数	—	1	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	払出前希釈槽下部堰内漏えい液位 PA0167-LE-100 警報関連設備
	設置床	—	分析第3室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号	—	—* <sup>2</sup>
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* <sup>2</sup>

注記 \*1：堰内底面を基準とした高さ

\*2：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

## 2. 準拠規格及び基準

## 2.1 非常用設備

## 2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号)</li> <li>・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号)</li> <li>・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号)</li> <li>・消防法施行令 (昭和 36 年 3 月 25 日政令第 37 号)</li> <li>・消防法施行規則 (昭和 36 年 4 月 1 日自治省令第 6 号)</li> <li>・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号)</li> <li>・一般高圧ガス保安規則 (昭和 41 年 5 月 25 日通商産業省令第 53 号)</li> <li>・危険物の規制に関する政令 (昭和 34 年 9 月 26 日政令第 306 号)</li> <li>・平成 12 年建設省告示第 1400 号 (平成 12 年 5 月 30 日建設省告示第 1400 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>



(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li><li>・日本建築学会各種建築工事標準仕様書・同解説(JASS)</li><li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li><li>・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)</li><li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li><li>・日本電機工業会規格(JEM)</li><li>・日本電線工業会規格(JCS)</li><li>・高圧ガス保安協会規格(KHKS)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li><li>・原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)</li><li>・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成25年6月19日原規技発第1306195号)</li><li>・放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準 (NFPA801 2014 Edition)</li><li>・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験</li><li>・UL1581 (Fourth Edition-2001) 1080. VW-1 垂直燃焼試験</li></ul>	変更なし

2.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備

2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和32年6月10日法律第166号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和32年11月21日政令第324号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和41年7月19日総理府令第37号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成25年12月6日原子力規制委員会規則第17号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和2年3月17日原子力規制委員会規則第6号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和2年1月23日原子力規制委員会規則第2号)</li> <li>・日本産業規格(JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格(JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格(JCS)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

## 2.3 その他の主要な事項

### 2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
	<ul style="list-style-type: none"><li>•核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和32年6月10日法律第166号)</li><li>•核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和32年11月21日政令第324号)</li><li>•核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和41年7月19日総理府令第37号)</li><li>•加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成25年12月6日原子力規制委員会規則第17号)</li><li>•加工施設の技術基準に関する規則 (令和2年3月17日原子力規制委員会規則第6号)</li><li>•原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和2年1月23日原子力規制委員会規則第2号)</li><li>•日本産業規格(JIS)</li></ul>

2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号)</li> <li>・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号)</li> <li>・日本産業規格(JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格(JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格(JCS)</li> <li>・圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li></ul>	変更なし

2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和32年6月10日法律第166号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和32年11月21日政令第324号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和41年7月19日総理府令第37号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成25年12月6日原子力規制委員会規則第17号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和2年3月17日原子力規制委員会規則第6号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和2年1月23日原子力規制委員会規則第2号)</li> <li>・日本産業規格(JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格(JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格(JCS)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li> <li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li> </ul>	<p>変更なし</p>

MOX② リ-0279 A

2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和32年6月10日法律第166号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和32年11月21日政令第324号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和41年7月19日総理府令第37号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成25年12月6日原子力規制委員会規則第17号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和2年3月17日原子力規制委員会規則第6号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和2年1月23日原子力規制委員会規則第2号)</li> <li>・建築基準法 (昭和25年5月24日法律第201号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和47年6月8日法律第57号)</li> <li>・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和47年9月30日労働省令第33号)</li> <li>・日本産業規格(JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格(JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格(JCS)</li> <li>・圧力容器構造規格 (平成15年4月30日厚生労働省告示第196号)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li><li>・電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)</li></ul>	変更なし



2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号)</li> <li>・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号)</li> <li>・一般高圧ガス保安規則 (昭和 41 年 5 月 25 日通商産業省令第 53 号)</li> <li>・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> <li>・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC)</li> <li>・日本電機工業会規格 (JEM)</li> <li>・日本電線工業会規格 (JCS)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高圧ガス保安協会規格 (KHKS)</li><li>・ 圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号)</li><li>・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li></ul>	変更なし

2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号)</li> <li>・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号)</li> <li>・核燃料物質の加工の事業に関する規則 (昭和 41 年 7 月 19 日総理府令第 37 号)</li> <li>・加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 17 号)</li> <li>・加工施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 6 号)</li> <li>・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号)</li> <li>・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号)</li> <li>・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号)</li> <li>・一般高圧ガス保安規則 (昭和 41 年 5 月 25 日通商産業省令第 53 号)</li> <li>・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号)</li> <li>・日本産業規格 (JIS)</li> <li>・日本建築学会各種構造設計及び計算規準</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(続き)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"><li>・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)</li><li>・日本電機工業会規格(JEM)</li><li>・日本電線工業会規格(JCS)</li><li>・高圧ガス保安協会規格(KHKS)</li><li>・圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)</li><li>・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)</li></ul>	変更なし

# 工事工程表

今回の工事の工程のうち、全体計画の工事工程表を第1表、施設区分毎の工事工程表を第2表に示す。

第1表 工事工程表（全体計画）

年度 項目	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	
主要工程					(1項新規* <sup>1</sup> ) 第2回申請 ▽	第3回申請 ▽	第4回申請 ▽		
	(2項変更* <sup>2</sup> ) 第1回申請 ▽			第1回認可 ▽	第2回申請 ▽	第3回申請 ▽	第4回申請 ▽		
				使用前事業者検査開始 ☆			使用前事業者検査終了		☆ しゅん工 △

注記 \*1：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第十六条の二第1項に基づく申請。

\*2：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第十六条の二第2項に基づく申請。

第2表 工事工程表（施設区分毎）

年度 項目	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
成形施設									
被覆施設									
組立施設									
核燃料物質の貯蔵施設									
放射性廃棄物の廃棄施設									

■：現地工事期間

■：構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇：機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆：基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★：品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

(続き)

年度 項目	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
その他の加工施設のうち 火災防護設備									
その他の加工施設のうち 核燃料物質の検査設備									
その他の加工施設のうち 警報関連設備									
その他の加工施設のうち 冷却水設備									
その他の加工施設のうち 給排水衛生設備									

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。



(続き)

年度 項目	2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
その他の加工施設のうち空調用設備									
その他の加工施設のうち窒素循環関係設備									
その他の加工施設のうちその他ガス設備									

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

設計及び工事に係る  
品質マネジメントシステム

「別添Ⅳ 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書の「五 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に同じである。

# 添 付 書 類

## 目 次

- (1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書
- (2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書
- (3) 加工施設の技術基準への適合性に関する説明書
  - 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理
  - I 核燃料物質の臨界防止に関する説明書
  - II 放射線による被ばくの防止に関する説明書
  - III 耐震性に関する説明書
  - IV 強度に関する説明書
  - V その他の説明書
    - V-1 説明書
    - V-2 加工施設に関する図面

(1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書

## 目 次

- (1) - 1 加工施設の事業変更許可申請書(本文三号)との整合性に関する説明書
- (1) - 2 加工施設の事業変更許可申請書(本文七号)との整合性に関する説明書

## 目 次

1. 概要	1
2. 基本方針	1
3. 説明書の構成	1
4. 加工施設の事業変更許可との整合性	2
三. 加工施設の位置, 構造及び設備並びに加工の方法	前回申請
イ. 加工施設の位置	前回申請
(イ) 敷地の面積及び形状	前回申請
(ロ) 敷地内における主要な加工施設の位置	前回申請
ロ. 加工施設の一般構造	3
(イ) 核燃料物質の臨界防止に関する構造	3
(ロ) 放射線の遮蔽に関する構造	8
(ハ) 核燃料物質の閉じ込めに関する構造	11
(ニ) 火災及び爆発の防止に関する構造	19
(ホ) 耐震構造	前回申請
(ヘ) 耐津波構造	前回申請
(ト) その他の主要な構造	前回申請
(1) 安全機能を有する施設	前回申請
①外部からの衝撃による損傷の防止	前回申請
②加工施設への人の不法な侵入等の防止	前回申請
③溢水による損傷の防止	前回申請
④誤操作の防止	前回申請
⑤安全避難通路等	前回申請
⑥安全機能を有する施設	88
⑦設計基準事故の拡大の防止	92
⑧核燃料物質の貯蔵施設	93
⑨廃棄施設	94
⑩放射線管理施設	次回申請以降
⑪監視設備	次回申請以降
⑫非常用電源設備	次回申請以降
⑬通信連絡設備	次回申請以降
(2) 重大事故等対処施設	96
①重大事故等の拡大の防止等	97
②重大事故等対処設備	98
③臨界事故の拡大を防止するための設備	144
④閉じ込める機能の喪失に対処するための設備	144
⑤工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	次回申請以降
⑥重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備	次回申請以降
⑦電源設備	次回申請以降
⑧緊急時対策所	次回申請以降



ハ．加工設備本体の構造及び設備	147
(イ)化学処理施設	147
(ロ)濃縮施設	147
(ハ)成形施設	147
(ニ)被覆施設	175
(ホ)組立施設	243
ニ．核燃料物質の貯蔵施設の構造及び設備	262
ホ．放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備	335
ヘ．放射線管理施設の構造及び設備	次回申請以降
ト．その他加工設備の附属施設の構造及び設備	412
(イ)非常用設備の種類	412
(1)火災防護設備	412
(2)照明設備	次回申請以降
(3)所内電源設備(電気設備)	次回申請以降
(4)補機駆動用燃料補給設備	次回申請以降
(5)拡散抑制設備	次回申請以降
(6)水供給設備	次回申請以降
(7)緊急時対策所	次回申請以降
(8)通信連絡設備	次回申請以降
(ロ)核燃料物質の検査設備及び計量設備の種類	429
(ハ)主要な実験設備の種類	506
(ニ)その他の主要な事項	510
(1)溢水防護設備	511
(2)冷却水設備	512
(3)給排水衛生設備	513
(4)空調用冷水設備	514
(5)空調用蒸気設備	514
(6)燃料油供給設備	次回申請以降
(7)窒素循環用冷却水設備	515
(8)窒素ガス設備	515
(9)水素・アルゴン混合ガス設備	次回申請以降
(10)アルゴンガス設備	次回申請以降
(11)水素ガス設備	次回申請以降
(12)非管理区域換気空調設備	516
(13)荷役設備	次回申請以降
(14)選別・保管設備	次回申請以降

## 1. 概要

本資料は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（以下「法」という。）第16条第1項の許可を受けたところによる設計及び工事の計画であることが、法第16条の2第3項第1号で認可基準として規定されており、当該基準に適合することを説明するものである。

## 2. 基本方針

設計及び工事の計画が加工事業変更許可申請書（以下「事業変更許可申請書」という。）の基本方針に従った詳細設計であることを、事業変更許可申請書との整合性により示す。

事業変更許可申請書との整合性は、事業変更許可申請書「本文（三号）」と設計及び工事の計画のうち「基本設計方針」及び「機器等の仕様に関する記載事項（以下「仕様表」という。）」について示すとともに、事業変更許可申請書「本文（六号）」に記載する解析条件についても整合性を示す。

また、事業変更許可申請書「添付書類五」のうち、「本文（三号）」に係る詳細設計を記載している箇所については、事業変更許可申請書「本文（三号）」の関連情報として記載する。

なお、設計及び工事の計画において、事業変更許可申請書の基本方針の記載を具体的な設計方針として展開した場合は、当該記載が事業変更許可申請書の記載内容を超えるものではないため、本資料で整合性を示す対象としない。

## 3. 説明書の構成

- (1) 説明書の構成は比較表形式とし、左欄から「事業変更許可申請書（本文）」、「事業変更許可申請書（添付書類五）」、「設工認申請書」、「整合性」及び「備考」を記載する。
- (2) 説明書の記載順は、事業変更許可申請書「本文（三号）」に記載する順とする。なお、「本文（六号）」については、「本文（三号）」内の該当箇所に挿入する。
- (3) 事業変更許可申請書と設計及び工事の計画の記載が同等の箇所には、実線のアンダーラインで明示する。記載等が異なる場合には破線のアンダーラインを引くとともに、設計及び工事の計画が事業変更許可申請書と整合していることを明示する。
- (4) 事業変更許可申請書「本文（六号）」との整合性に関する補足説明は一重枠囲みにより記載する。事業変更許可申請書「本文（三号）」との整合性に関する補足説明は原則として「整合性」欄に記載するが、欄内に記載しきれないものについては別途、二重枠囲みにより記載する。
- (5) 事業変更許可申請書「添付書類五」については、上記(3)において設計及び工事の計画にアンダーラインを引いた箇所について、同等の記載箇所には実線、記載箇所が異なる箇所には破線のアンダーラインを引いて明示する。

#### 4. 加工施設の事業変更許可との整合性

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(イ) 核燃料物質の臨界防止に関する構造 (1) 臨界防止に関する基本的な考え方</p> <p><u>MOX燃料加工施設は、臨界安全性を高めるため、主要な工程を乾式で構成する設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、ロ.(イ)(1)-1以下の核燃料物質の臨界防止に係る基本的な設計方針に従い、通常時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作を想定した場合においても、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計とする。</u></p> <p>① <u>MOX燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、プルトニウム富化度60%以下、プルトニウム中のプルトニウム-240含有率17%以上及びウラン中のウラン-235含有率1.6%以下のロ.(イ)(1)①-1MOX、ウラン中のウラン-235含有率5%以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン、標準試料並びに分析試料であり、このうちMOX、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器ロ.(イ)(1)①-2について臨界管理を行う。</u></p> <p>② <u>核燃料物質の取扱い上の一つの単位を単一ユニットとし、これに、核的制限値（臨界管理を行う体系の未臨界確保のために設定する値）ロ.(イ)(1)②-1を設定することにより臨界を防止する。</u></p>	<p>(ロ) 安全機能を有する施設 (1) 核燃料物質の臨界防止 ① 基本的な考え方 <u>MOX燃料加工施設は、臨界安全性を高めるため、主要な工程を乾式で構成する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>(基本設計方針) 第1章 共通項目 1. 核燃料物質の臨界防止 1.1 安全機能を有する施設の臨界防止 1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計 <u>MOX燃料加工施設は、臨界安全性を高めるため、主要な工程を乾式で構成する設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、通常時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作を想定した場合においても、核燃料物質が臨界に達するおそれがないロ.(イ)(1)-1よう以下の設計とする。</u></p> <p>(1) 臨界管理の対象とする核燃料物質 <u>MOX燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、プルトニウム富化度60%以下、プルトニウム中のプルトニウム-240含有率17%以上及びウラン中のウラン-235含有率1.6%以下のロ.(イ)(1)①-1ウラン・プルトニウム混合酸化物、ウラン中のウラン-235含有率5%以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり、このうちウラン・プルトニウム混合酸化物、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器ロ.(イ)(1)①-2に対して単一ユニット、複数ユニットを設定し、臨界管理を行う設計とする。</u></p> <p>(2) 単一ユニットの臨界安全設計 <u>核燃料物質の取扱い上の一つの単位を単一ユニットとし、これに、核的制限値（臨界管理を行う体系の未臨界確保のために設定する値）ロ.(イ)(1)②-1を設定する。単一ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、形状寸法、質量、減速材、同位体組成、プルトニウム富化度等の制限及び中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せによって核的に制限することにより臨界を防止する設計とする。</u></p>	<p>設工認のロ.(イ)(1)-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(イ)(1)-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(イ)(1)①-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(イ)(1)①-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(イ)(1)①-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(イ)(1)①-1を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ.(イ)(1)②-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(イ)(1)②-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>a. <u>核燃料物質を収納する</u> <u>ロ.(イ)(1)②a.-1</u> <u>単一ユニットとしての設備・機器のうち、その形状寸法を制限し得るものについては、その形状寸法について適切な核的制限値を設ける。</u></p> <p>b. <u>形状寸法管理が困難な設備・機器及び単一ユニットとしてのグローブボックスについては、取り扱う核燃料物質自体の質量について適切な核的制限値を設ける。この場合、誤操作等を考慮しても工程内の核燃料物質が上記の核的制限値を超えないよう、信頼性の高いインターロックにより、核的制限値以下であることが確認されなければ次の工程に進めない設計とする。</u></p> <p>c. <u>核燃料物質の収納を考慮していない設備・機器のうち、核燃料物質が入るおそれのある設備・機器についても上記 a. 又は b. を満足するように設計する。</u></p> <p>d. <u>核的制限値を設定するに当たっては、取り扱う核燃料物質のプルトニウム富化度、同位体組成、密度、幾何学的形状、減速条件、中性子吸収材を考慮し、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して十分な裕度を見込む。</u></p> <p>e. <u>ロ.(イ)(1)②e.-1</u> <u>核的制限値を設定するに当たって、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものとする。</u></p>	<p>(a) <u>核燃料物質を収納する、単一ユニットとしての設備・機器のうち、その形状寸法を制限し得るものについては、その形状寸法について適切な核的制限値を設ける。</u>  <u>なお、混合酸化物貯蔵容器及び燃料集合体を取り扱う工程では、混合酸化物貯蔵容器及び燃料集合体による体数管理とする。</u></p> <p>(b) <u>形状寸法管理が困難な設備・機器及び単一ユニットとしてのグローブボックスについては、取り扱う核燃料物質自体の P u * 質量について適切な核的制限値を設ける。</u>  <u>この場合、誤操作等を考慮しても工程内の核燃料物質が上記の制限値を超えないよう、信頼性の高いインターロックにより、核的制限値以下であることが確認されなければ次の工程に進めない設計とする。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p> <p>(c) <u>核燃料物質の収納を考慮していない設備・機器のうち、核燃料物質が入るおそれのある設備・機器についても上記(a)又は(b)を満足するように設計する。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p> <p>c. 核的制限値の設定</p> <p>(a) <u>核的制限値を設定するに当たっては、取り扱う核燃料物質中のプルトニウム富化度、同位体組成、密度、幾何学的形状、減速条件、中性子吸収材の有無を考慮し、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して十分な裕度を見込む。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p> <p>(b) <u>核的制限値を設定するに当たって、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものとする。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p>	<p>a. <u>核燃料物質を収納する</u> <u>ロ.(イ)(1)②a.-1</u> <u>単一ユニットとしての設備・機器のうち、その形状寸法を制限し得るものについては、その形状寸法について適切な核的制限値を設ける設計とする。</u></p> <p>b. <u>形状寸法管理が困難な設備・機器及び単一ユニットとしてのグローブボックスについては、取り扱う核燃料物質自体の質量について適切な核的制限値を設ける設計とする。この場合、誤操作等を考慮しても工程内の核燃料物質が上記の核的制限値を超えないよう、信頼性の高いインターロックにより、核的制限値以下であることが確認されなければ次の工程に進めない設計とする。</u></p> <p>c. <u>核燃料物質の収納を考慮していない設備・機器のうち、核燃料物質が入るおそれのある設備・機器についても上記 a. 又は b. を満足する設計とする。</u></p> <p>d. <u>核的制限値を設定するに当たっては、取り扱う核燃料物質のプルトニウム富化度、同位体組成、密度、幾何学的形状、減速条件、中性子吸収材を考慮し、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して裕度を見込む。</u></p> <p><u>ロ.(イ)(1)②e.-1</u> <u>また、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものを用いる。</u>  <u>単一ユニットに対しては、臨界計算コードにより中性子実効増倍率を計算し、未臨界(中性子実効増倍率が 0.95 以下)となる核的制限値を設定する。</u></p>	<p>設工認の <u>ロ.(イ)(1)②a.-1</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ロ.(イ)(1)②a.-1</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ.(イ)(1)②e.-1</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ロ.(イ)(1)②e.-1</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>③ <u>二つ以上の単一ユニットが存在する複数ユニットについては、核的に安全な配置としたユニット相互ロ. (イ) (1) ③-1間における間隔を維持することにより、最も厳しい状態においても臨界に達しない設計とする。</u></p> <p>a. <u>核的に安全な配置を定めるに当たっては、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して十分な裕度を見込む。</u></p> <p>b. <u>核燃料物質を収納する設備・機器の設置に当たっては、通常時に作用している荷重に対して発生する変形が過大とならないように構造強度を持つ構造材を用いて固定する。なお、固定することが困難な設備・機器の場合は、設備・機器の周囲にユニット相互間の間隔を維持するための剛構造物を取り付ける又はロ. (イ) (1) ③b.-1設計上、移動範囲を制限する。</u></p>	<p>③ <u>複数ユニットの臨界安全</u>  <u>複数ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、単一ユニット相互の間隔の維持、単一ユニット相互間における中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せにより臨界を防止する設計とする。</u>  <u>なお、起こるとは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しないように設計及び維持・管理を行う。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p> <p>b. <u>複数ユニットにおける核的に安全な措置</u>  (a) <u>核的に安全な配置を定めるに当たっては、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して十分な裕度を見込む。</u>  <u>&lt;中略&gt;</u></p> <p>(d) <u>核燃料物質を収納する設備・機器の設置に当たっては、通常時に作用している荷重に対して発生する変形が過大とならないように構造強度を持つ構造材を用いて固定することにより、これを維持及び管理する。なお、MOX粉末を取り扱う容器のように固定することが困難な設備・機器の場合は、設備・機器の周囲にユニット相互間の間隔を維持するための剛構造物を取り付ける又は設計上、移動範囲を制限する。</u></p>	<p>(3) <u>複数ユニットの臨界安全設計</u>  <u>二つ以上の単一ユニットが存在する複数ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、核的に安全な配置とした単一ユニット相互ロ. (イ) (1) ③-1の間隔の維持及び単一ユニット相互間における中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せにより、最も厳しい状態においても臨界に達しない設計とする。</u></p> <p>a. <u>単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保することにより、核的に安全な配置とする設計とする。</u></p> <p>b. <u>核的に安全な配置を定めるに当たっては、最も厳しい結果を与えるよう、中性子の減速、吸収及び反射の各条件を仮定し、かつ、測定又は計算による誤差、誤操作等を考慮して裕度を見込む。</u></p> <p><u>また、参考とする文献は、公表された信頼度の十分高いものとし、また、使用する臨界計算コードは、実験値との対比がなされ、信頼度の十分高いことが立証されたものを用いる。</u>  <u>複数ユニットに対しては、臨界計算コードにより中性子実効増倍率を計算し、未臨界(中性子実効増倍率が0.95以下)となるように単一ユニットの配置を設定する。</u></p> <p>c. <u>核燃料物質を収納する設備・機器の設置に当たっては、通常時に作用している荷重に対して発生する変形が過大とならないように構造強度を持つ構造材を用いて固定する設計とする。なお、固定することが困難な設備・機器の場合は、設備・機器の周囲にユニット相互間の間隔を維持するための剛構造物を取り付ける又はロ. (イ) (1) ③b.-1移動範囲を制限する設計とする。</u></p>	<p>設工認のロ. (イ) (1) ③-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (イ) (1) ③-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ. (イ) (1) ③b.-1は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (イ) (1) ③b.-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>c. <u>核燃料物質を不連続的に取り扱う（バッチ処理）施設においては、核燃料物質を次の工程に移動させようとしても、核燃料物質を受け入れる工程が核的制限値を満足する状態にならなければ、移動することができない設計とする。</u></p> <p>d. <u>ロ.（イ）（1）③d.-1核燃料物質を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</u></p> <p>④ <u>核的制限値の維持及び管理については、起こるとは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しないように設計する。</u></p>	<p>(e) <u>核燃料物質を不連続的に取り扱う（バッチ処理）施設においては、核燃料物質を次の工程に移動させようとしても、核燃料物質を受け入れる工程が核的制限値を満足する状態にならなければ、移動することができない設計とする。</u></p> <p>(f) <u>核燃料物質を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>(二) その他の安全設計</p> <p>(1) 放射性物質の移動に対する考慮</p> <p>③ 臨界防止</p> <p>e. <u>単一ユニットに核燃料物質を搬送装置で移動する場合には、動力が喪失したときに、搬送装置の移動を停止し、取扱中の核燃料物質を保持できる設計とする。</u></p>	<p>d. <u>核燃料物質を不連続的に取り扱う（バッチ処理）施設においては、核燃料物質を次の工程に移動させようとしても、核燃料物質を受け入れる工程が核的制限値を満足する状態にならなければ、移動することができない設計とする。</u></p> <p>e. <u>核燃料物質を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>8.4 搬送設備</p> <p><u>ロ.（イ）（1）③d.-1搬送設備は、核燃料物質（人の安全に著しい支障を及ぼすおそれがないものとして、劣化ウランの粉末を除く。）を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>(4) 核的制限値の維持・管理及び単一ユニット間距離の維持</p> <p>a. 核的制限値の維持・管理</p> <p><u>核的制限値の維持及び管理については、形状寸法管理及び質量管理により、起こるとは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しない設計とする。</u></p> <p>(a) 形状寸法管理</p> <p>形状寸法管理は、核燃料物質を取り扱う設備・機器の構造又は機構により核的制限値を維持する設計とする。</p> <p>(b) 質量管理</p> <p>質量管理は、各単一ユニットの核燃料物質の在庫量を常時把握するとともに、核燃料物質を搬送する容器を識別し、それにより搬送する核燃料物質の質量、形態等を把握する設計とする。単一ユニットへの核燃料物質の搬送においては、核的制限値以下であることが確認されなければ搬入が許可されないインターロックを設ける設計とする。</p> <p>b. 単一ユニット間距離の維持</p> <p>単一ユニット間距離の維持については、以下に示す設計とすることにより、起こる</p>	<p>設工認のロ.（イ）（1）③d.-1は、事業変更許可申請書（本文）のロ.（イ）（1）③d.-1を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑤ <u>MOX燃料加工施設には、臨界事故を防止するために必要な設備を設ける設計とする。</u></p> <p>a. <u>ロ.(イ)(1)⑤a.-1</u>設備の容量、形状及び配置並びに核燃料物質の取扱方法から、MOX燃料加工施設で臨界が発生することは想定されないが、深層防護の観点及び従事者の退避等のため、万一に備えて、臨界が発生した場合にも臨界の発生を検知することができる設計とする。</p>		<p>とは考えられない独立した二つ以上の異常が同時に起こらない限り臨界に達しない設計とする。</p> <p>(a) 核燃料物質を収納する設備・機器の設置に当たっては、通常時に作用している荷重に対して発生する変形が過大とならないように構造強度を持つ構造材を用いて固定する設計とする。なお、固定することが困難な設備・機器の場合は、設備・機器の周囲にユニット相互間の間隔を維持するための剛構造物を取り付ける又は移動範囲を制限する設計とする。</p> <p>また、核燃料物質を取り扱う容器は、通常の取扱条件において容易に変形しない構造材を用いる設計とする。</p> <p>(b) 核燃料物質を不連続的に取り扱う（バッチ処理）施設においては、核燃料物質を次の工程に移動させようとしても、核燃料物質を受け入れる工程が核的制限値を満足する状態にならなければ、移動することができない設計とする。</p> <p>(c) 単一ユニット間距離を維持するため、核燃料物質を搬送するための動力の供給が停止した場合、核燃料物質の落下及び脱落を防止する機構により、搬送中の核燃料物質を安全に保持する設計とする。</p> <p>(5) <u>臨界事故を防止するために必要な設備</u>  <u>MOX燃料加工施設には、臨界事故を防止するために必要な設備を設ける設計とする。</u>  臨界を検知する設備の設計方針については、第1章共通項目の「8.5 警報設備等」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8. 設備に対する要求  8.5 警報設備等  &lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ.(イ)(1)⑤a.-1</u>MOX燃料加工施設においては、技術的にみて臨界事故の発生は想定されないが、万一、臨界事故が発生した場合に警報を発することができるよう警報関連設備の臨界検知用ガスモニタを設置するとともに、表示ランプの点灯及びブザー鳴動により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(イ)(1)⑤a.-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(イ)(1)⑤a.-1</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ロ) 放射線の遮蔽に関する構造  <u>周辺監視区域外の線量及び従事者の線量が、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」（以下「線量告示」という。）に定められた線量限度を超えないことはもとより、公衆の線量及び従事者が立ち入る場所における線量を合理的に達成できる限り低くするため、以下の遮蔽等の対策を講ずる。</u></p> <p>(1) <u>ロ.(ロ)(1)-1</u>平常時の直接線及びスカイシャイン線による工場等周辺の線量が十分に低減できるよう、<u>遮蔽その他適切な措置を講じた設計とする。</u></p> <p>(2) <u>管理区域その他MOX燃料加工施設内の人が立ち入る場所における外部被ばく及び内部被ばくによる線量を低減できるよう、遮蔽その他適切な措置を講</u>ロ.(ロ)(2)<u>じた設計とする。</u></p> <p>① <u>遮蔽その他適切な措置としては、従事者の作業性等を考慮し、遮蔽及び機器を配置する設計とするとともに、遠隔操作を可能とし、放射性物質の漏えい防止対策及び換気を行うことにより、所要の放射線防護上の措置を講ずる設計とする。</u></p>	<p>(2) 放射線遮蔽  ① 基本的な考え方  MOX燃料加工施設の遮蔽設計は、<u>周辺監視区域外の線量及び従事者の線量が、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」（以下「線量告示」という。）に定められた線量限度を超えないようにするとともに、公衆の線量及び従事者の立入場所における線量が、合理的に達成できる限り低くなるようにすることを基本とする。</u>  <u>このため、遮蔽設計として以下の対策を講ずる。</u></p> <p>a. <u>安全機能を有する施設は、通常時においてMOX燃料加工施設からの直接線及びスカイシャイン線による周辺監視区域外の線量が、線量告示で定められた線量限度を超えないようにするとともに、合理的に達成できる限り低くなるよう遮蔽その他適切な措置を講ずる。</u></p> <p>b. <u>安全機能を有する施設は、MOX燃料加工施設内における放射線障害を防止する必要がある場合には、管理区域その他MOX燃料加工施設内の人が立ち入る場所における線量を低減できるよう、遮蔽その他適切な措置を講ずる。</u></p>	<p>(基本設計方針)  第1章 共通項目  7. 遮蔽  安全機能を有する施設は、<u>周辺監視区域外の線量及び放射線業務従事者の被ばく線量が、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」（以下「線量告示」という。）に定められた線量限度を超えないことはもとより、公衆の被ばく線量及び放射線業務従事者が立ち入る場所における線量を合理的に達成できる限り低くするため、以下の遮蔽等の対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(1) <u>安全機能を有する施設は、<u>ロ.(ロ)(1)-1</u>通常時のMOX燃料加工施設からの直接線及びスカイシャイン線による周辺監視区域外の線量が、線量告示で定められた線量限度を超えないようにするとともに、合理的に達成できる限り低くなるよう、遮蔽その他適切な措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>(2) <u>安全機能を有する施設は、管理区域その他MOX燃料加工施設内の人が立ち入る場所における外部被ばく及び内部被ばくによる線量を低減できるよう、遮蔽その他適切な措置を講</u>ロ.(ロ)(2)<u>ずる設計とする。</u></p> <p>a. <u>遮蔽その他適切な措置としては、放射線業務従事者の作業性等を考慮し、遮蔽及び機器を配置する設計とするとともに、遠隔操作を可能とし、放射性物質の漏えい防止対策及び換気を行うことにより、所要の放射線防護上の措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>なお、遠隔操作の設計については、第2章個別項目の「1.成形施設」、「2.被覆施設」、「3.組立施設」、「7.2.1 核燃料物質の検査設備」及び「7.3 主要な実験設備」に示す。また、放射性物質の漏えい防止対策については、第1章共通項目の「4.閉じ込めの機能」に基づくものとし、換気の設計については、第2章個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</p> <p>b. <u>遮蔽設備は、放射線を遮蔽するための壁、床及び天井（以下「建屋壁遮蔽」という。）、遮蔽扉、遮蔽蓋、グローブボックス遮蔽並びに補助遮蔽から構成する。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ロ)(1)-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ロ)(1)-1</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ロ)(2)</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ロ)(2)</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考														
<p>② 従事者の<math>\square</math>.(口)(2)②立入時間等を考慮し、<u>遮蔽設計の基準となる線量率を設定するとともに、管理区域を線量率に応じて適切に区分し、区分ごとの基準線量率を満足する設計とする。</u></p> <p>③ <math>\square</math>.(口)(2)③放射線を遮蔽するための壁、<u>床、天井に開口部又は貫通部があるものに対しては、遮蔽設計の基準となる線量率を満足するよう、必要に応じ、放射線漏えい防止措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>④ <math>\square</math>.(口)(2)④-1,2-1遮蔽材は、<u>主としてコンクリートを用いる。</u></p> <p>⑤ <u>遮蔽設計に当たっては、遮蔽計算に用いる線源、遮蔽体の形状及び材質、計算誤差等を考慮し、十分な安全裕度を見込む。また、遮蔽計算においては、許認可において使用実績があり、信頼性のある計算コードを使用する。</u></p>	<p>c. MOX燃料加工施設において、従事者が立ち入る場所については、従事者の立入時間等を考慮して、<u>遮蔽設計の基準となる線量率を適切に設定するとともに、管理区域を線量率に応じて適切に区分し、これを満足するように遮蔽設備を設ける。</u></p> <p>d. <u>建屋壁遮蔽に開口部又は貫通部がある場合で、開口部又は貫通部により遮蔽設計の基準となる線量率を超えるおそれのある場合には、以下に示すような放射線の漏えいを防止するための措置を講じ、遮蔽設計の基準となる線量率を満足する設計とする。</u>                      &lt;中略&gt;</p> <p>e. <u>遮蔽設計に当たっては、設備・機器の核燃料物質の取扱量、核燃料物質中のプルトニウム富化度、核分裂生成物の含有率並びに子孫核種の寄与も考慮したプルトニウム及びウランの仕様を遮蔽設計上厳しい条件で設定するとともに、遮蔽体の形状及び材質を考慮し、十分な安全裕度を見込んで評価を行う。また、遮蔽計算においては、許認可において使用実績があり、信頼性のある計算コードを用いる。</u></p>	<p>c. MOX燃料加工施設内の遮蔽設計に当たっては、放射線業務従事者の<math>\square</math>.(口)(2)②立入頻度及び立入時間を考慮し、<u>遮蔽設計の基準となる線量率を設定するとともに、管理区域を線量率に応じて適切に区分し、区分ごとの遮蔽設計の基準となる線量率を満足するよう遮蔽設備を設計する。</u></p> <p>d. <math>\square</math>.(口)(2)③建屋壁遮蔽に開口部又は貫通部がある場合で、<u>開口部又は貫通部により遮蔽設計の基準となる線量率を超えるおそれのある場合には、以下に示すような放射線漏えい防止措置を講じ、遮蔽設計の基準となる線量率を満足する設計とする。</u></p> <p>(a) 建屋壁遮蔽の開口部及び貫通部については、<u>線源を直接見通さないような場所に設置する措置</u></p> <p>(b) 建屋壁遮蔽の開口部及び貫通部には、<u>遮蔽扉、遮蔽蓋又は補助遮蔽を設置する措置</u>                      &lt;中略&gt;</p> <div data-bbox="1507 968 2534 1058" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事業変更許可申請書(本文)の<math>\square</math>.(口)(2)④-1は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書にて認可済みであり、整合している。</p> </div> <p>【成形施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1062 1171 2119 1396"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称 種類</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>主要寸法*2 (mm)</th> <th>材料</th> <th>主要寸法*2 (mm)</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洞道遮蔽 (貯蔵容器搬送用洞道)</td> <td>1290(1300*1)</td> <td>普通コンクリート (密度<math>2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3</math>以上)</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。                      *2：遮蔽設計上考慮する厚さを示す。</p> <p>e. <u>遮蔽設計に当たっては、遮蔽計算に用いる線源、遮蔽体の形状及び材質、計算誤差等を考慮し、十分な安全裕度を見込む。また、遮蔽計算においては、許認可において使用実績があり、信頼性のある計算コードを使用する。</u>                      &lt;中略&gt;</p>	名称 種類	変更前		変更後		主要寸法*2 (mm)	材料	主要寸法*2 (mm)	材料	洞道遮蔽 (貯蔵容器搬送用洞道)	1290(1300*1)	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)		変更なし	<p>設工認の<math>\square</math>.(口)(2)②は、事業変更許可申請書(本文)の<math>\square</math>.(口)(2)②を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<math>\square</math>.(口)(2)③は、事業変更許可申請書(本文)の<math>\square</math>.(口)(2)③を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<math>\square</math>.(口)(2)④-2-1は、事業変更許可申請書(本文)の<math>\square</math>.(口)(2)④-2-1のとおり、主としてコンクリートを用いた遮蔽材としていることから整合している。</p>	
名称 種類	変更前			変更後														
	主要寸法*2 (mm)	材料	主要寸法*2 (mm)	材料														
洞道遮蔽 (貯蔵容器搬送用洞道)	1290(1300*1)	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)		変更なし														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(3) <u>設計基準事故に対処するための機器を設計基準事故の発生を感知し、自動的に起動する設計とすることにより、運転員の操作を期待しなくても必要な安全上の機能が確保される設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(口)(3)また、設計基準事故時においても、過度な放射線被ばくを受けないよう遮蔽機能を確保することで中央監視室、制御第1室及び制御第4室において施設状態の監視等に必要な操作を行うことが可能な設計とする。</u></p>	<p>f. <u>設計基準事故に対処するための機器を設計基準事故の発生を感知し、自動的に起動する設計とすることにより、運転員の操作を期待しなくても必要な安全上の機能が確保される設計とする。</u></p> <p><u>また、設計基準事故時においても、過度な放射線被ばくを受けないよう遮蔽機能を確保することで中央監視室、制御第1室及び制御第4室において施設状態の監視等に必要な操作を行うことが可能な設計とする。</u></p>	<p>8. 設備に対する要求  8.1 安全機能を有する施設  8.1.1 安全機能を有する施設に対する設計方針  (3) 操作性の考慮  <u>設計基準事故に対処するための機器を設計基準事故の発生を感知し、自動的に起動する設計とすることにより、運転員の操作を期待しなくても必要な安全上の機能が確保される設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(口)(3)安全機能を有する施設の設置場所は、通常時及び設計基準事故時においても操作及び復旧作業に支障がないように、遮蔽の設置や線源からの離隔により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定した上で設置場所から操作可能、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能、又は過度な放射線被ばくを受けないよう遮蔽機能を確保した中央監視室若しくは制御室から操作可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認のロ.(口)(3)は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(口)(3)を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ハ) 核燃料物質の閉じ込めに関する構造 安全機能を有する施設は、<u>ロ.(ハ)-①</u>以下のとおり、放射性物質を限定された区域に適切に閉じ込める設計とする。</p> <p>(1) 核燃料物質及び核燃料物質によって汚染された物(以下「核燃料物質等」という。)は、混合酸化物貯蔵容器、燃料棒等に封入した状態で取り扱うか、MOX粉末、グリーンペレット、ペレットについてはグローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)、ウラン粉末は<u>ロ.(ハ)(1)-①</u>取扱量等に応じてグローブボックス又はオープンポートボックスで、放射性廃棄物のサンプリング試料等はフードで取り扱う設計とする。</p> <p>(2) <u>ロ.(ハ)(2)-2-①</u>グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。</p>	<p>(3) 閉じ込めの機能 安全機能を有する施設は、放射性物質を限定された区域に適切に閉じ込めるために、<u>系統、機器、グローブボックス等に放射性物質を閉じ込める設計とする。</u></p> <p>MOX燃料加工施設において、核燃料物質及び核燃料物質によって汚染されたもの(以下「核燃料物質等」という。)は、混合酸化物貯蔵容器、燃料棒等に封入した状態で取り扱うか、MOX粉末、グリーンペレット、ペレットについてはグローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)、ウラン粉末は取扱量等に応じてグローブボックス又はオープンポートボックスで、放射性廃棄物のサンプリング試料等はフードで取り扱う設計とする。</p> <p>グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>⑨ 換気設備 b. 負圧順序 &lt;中略&gt;</p> <p>(a) <u>グローブボックス等は、グローブボックス排気設備と組み合わせ、負圧を維持することで、核燃料物質等の漏えいを防止する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>(基本設計方針) 第1章 共通項目 4. 閉じ込めの機能 4.1 閉じ込め (1) 閉じ込めに係る基本方針 安全機能を有する施設は、<u>ロ.(ハ)-①</u>放射性物質を限定された区域に適切に閉じ込める設計とする。</p> <p>核燃料物質及び核燃料物質によって汚染された物(以下「核燃料物質等」という。)は、混合酸化物貯蔵容器、燃料棒等に封入した状態で取り扱うか、MOX粉末、グリーンペレット、ペレットについてはグローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)で、ウラン粉末は<u>ロ.(ハ)(1)-①</u>取扱量、取扱形態に応じてグローブボックス又はオープンポートボックスで、放射性廃棄物のサンプリング試料等の汚染のおそれのある物品はフードで取り扱う設計とする。</p> <p>(2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針 グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。また、グローブボックスは、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。</p> <p>グローブボックスは、給気口及び排気口を除き密閉できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.2 換気設備 <u>ロ.(ハ)(2)-2-①</u>グローブボックス排気設備は、<u>グローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)</u>を換気し、負圧を維持できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ハ)-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ハ)-①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ハ)(1)-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ハ)(1)-①</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ハ)(2)-2-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ハ)(2)-2-①</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(3) <u>MOX粉末を取り扱うグローブボックスは、以下の設計を講じる。</u></p> <p>① <u>粉末容器の落下又は転倒により閉じ込め機能を損なわないよう、<span style="border: 1px solid black;">ロ. (ハ) (3)-①</span>内装機器の架台等による干渉や容器を取り扱う機器とパネルの間の距離の確保により、落下又は転倒した粉末容器が、グローブボックスのパネルに直接衝突することがない設計とする。</u></p> <p>② <u>グローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p>(3) 閉じ込めの機能 また、<u>MOX粉末を取り扱うグローブボックスは、</u></p> <p><u>粉末容器の落下又は転倒により閉じ込め機能を損なわないよう、内装機器の架台等による干渉や容器を取り扱う機器とパネルの間の距離の確保により、落下又は転倒した粉末容器が、グローブボックスのパネルに直接衝突することがない設計とするとともに、</u></p> <p><u>グローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p>(2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針</p> <p><u>MOX粉末を取り扱うグローブボックスは、以下の設計を講じる。</u></p> <p>a. <u>粉末容器の落下又は転倒により閉じ込め機能を損なわないよう、<span style="border: 1px solid black;">ロ. (ハ) (3)-①</span>内装機器及び内装機器の架台による干渉や容器を取り扱う機器とパネルの間の距離の確保により、落下又は転倒した粉末容器が、グローブボックスのパネルに直接衝突することがない設計とする。</u></p> <p>b. <u>グローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>なお、グローブボックス内及びグローブボックス近傍の飛散物の発生防止に係る設計方針については、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」の「8.1.3 内部発生飛散物に対する考慮」に基づくものとする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black;">ロ. (ハ) (3)-①</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black;">ロ. (ハ) (3)-①</span>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(4) 核燃料物質等が漏えいした場合においても、<u>工程室（非密封のMOXを取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等を直接収納する部屋及び当該部屋から廊下への汚染拡大防止を目的として設ける部屋並びにそれらの部屋を介してのみ出入りする部屋をいう。以下同じ。）及び燃料加工建屋内に保持することができる設計とする。</u></p> <p>(5) <u>工程室は工程室排気設備，燃料加工建屋は建屋排気設備</u>ロ. (ハ) (5)-①, -2-①により，<u>燃料加工建屋，工程室，グローブボックス等の順に負圧を低くすることで，核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u></p> <p>(6) <u>核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため，核燃料物質等の漏えいに対する措置等として，以下の設計を講じる。</u></p> <p>① <u>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 核燃料物質等を取り扱う設備は，内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じる</u>ロ. (ハ) (6) ①-①ととともに、</p> <p><u>核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</u></p>	<p><u>核燃料物質等が漏えいした場合においても，工程室（非密封のMOXを取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等を直接収納する部屋及び当該部屋から廊下への汚染拡大防止を目的として設ける部屋並びにそれらの部屋を介してのみ出入りする部屋をいう。以下同じ。）及び燃料加工建屋内に保持することができる設計とする。</u></p> <p><u>工程室は工程室排気設備，燃料加工建屋は建屋排気設備により，燃料加工建屋，工程室，グローブボックス等の順に負圧を低くすることで，核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u></p> <p><u>核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため，核燃料物質等の漏えいに対する措置等として，</u></p> <p><u>核燃料物質等を取り扱う設備は，内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じるとともに、</u></p> <p><u>核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする</u>とともに、</p>	<p>4.1 閉じ込め (4) 核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る設計方針 <u>核燃料物質等が漏えいした場合においても，工程室（非密封のMOXを取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス等を直接収納する部屋及び当該部屋から廊下への汚染拡大防止を目的として設ける部屋並びにそれらの部屋を介してのみ出入りする部屋をいう。以下同じ。）及び燃料加工建屋内に保持することができる設計とする。</u></p> <p><u>工程室は工程室排気設備，燃料加工建屋は建屋排気設備</u>ロ. (ハ) (5)-①にて排気し，<u>燃料加工建屋，工程室，グローブボックス等の順に負圧を低くすることで，核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u> なお，負圧順序の達成に必要な起動順序に係る設計方針については，第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。 &lt;中略&gt;</p> <p>5.2 換気設備 <u>ロ. (ハ) (5)-2-①グローブボックス排気設備，工程室排気設備，建屋排気設備は，燃料加工建屋，工程室，グローブボックス等の順に負圧を低くすることで，核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>4.1 閉じ込め (3) 核燃料物質等の漏えいに対する措置等に係る設計方針 <u>核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため，核燃料物質等の漏えいに対する措置等として，以下の設計を講じる。</u></p> <p>a. <u>核燃料物質等を取り扱う設備は，内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じる</u>ロ. (ハ) (6) ①-①設計とする。</p> <p>b. 液体廃棄物を内包する系統及び機器は，溶接，フランジ又は継手で接続する構造により核燃料物質等が漏えいし難い設計とする。</p> <p>c. <u>核燃料物質等を取り扱う設備は，核燃料物質等を含まない流体を取り扱う設備への核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8. 設備に対する要求 8.3 材料及び構造 8.3.1 材料及び構造</p>	<p>設工認のロ. (ハ) (5)-①は，事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (5)-①を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (ハ) (5)-2-①は，事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (5)-2-①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ. (ハ) (6) ①-①は，事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (6) ①-①と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備における材料及び構造にあつては、安全機能を有する施設又は重大事故等対処設備に属するもののうち以下のいずれかに該当するものを MOX 燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、安全機能を有する施設にあつては「安全機能を有する施設の容器等」、重大事故等対処設備にあつては「重大事故等対処設備の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>a. ロ. (ハ) (6) ①-2-1 その機能喪失によつて放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p> <p>b. ロ. (ハ) (6) ①-2-1 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属する容器及び管</p> <p>c. ロ. (ハ) (6) ①-2-1 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設又は重大事故等対処設備を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p>d. ロ. (ハ) (6) ①-2-1 上記 a、b 又は c に直接溶接される支持構造物であり、その破損により当該機器の損壊を生じさせるおそれのあるもの</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等のうち常設のもの(以下「常設重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重、腐食環境その他の使用条件に対して、適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>設工認のロ. (ハ) (6) ①-2-1 は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (ハ) (6) ①-2-1 を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>8.3.1.2 構造</p> <p>8.3.1.2.1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等</p> <p>(1) 容器及び管</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の容器及び管(ダクトは除く。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、設計上定めた最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態(以下「設計条件」という。)において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のダクトは、設計条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の伸縮継手は、設計条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。</p> <p>(2) ポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>(3) 支持構造物</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の支持構造物は、設計条件において、延性破断及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.3.1.3 主要な溶接部</p> <p>ロ. (ハ) (6) ①-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部(溶接金属部及び熱影響部をいう。)は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不連続で特異な形状でない設計とす</li> </ul>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>② <u>核燃料物質等による汚染のおそれのある部屋の床及び壁の表面は、除染が容易で、腐食しにくい樹脂系塗料等の材料によって仕上げる設計とする。</u></p>	<p><u>核燃料物質等による汚染のおそれのある部屋の床及び壁の表面は、除染が容易で、腐食しにくい樹脂系塗料等の材料によって仕上げる設計とする。</u></p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。</u></li> <li>・<u>適切な強度を有する設計とする。</u></li> <li>・<u>適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。</u></li> </ul> <p><u>ロ. (ハ) (6) ①-2-1</u> なお、上記の主要な溶接部は、使用前事業者検査により加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について（別記）」に適合していることを確認する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>4.1 閉じ込め</p> <p>(3) 核燃料物質等の漏えいに対する措置等に係る設計方針</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>d. 放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックス及びオープンポートボックスは、貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合においても漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とするとともに、グローブボックス及びオープンポートボックス底部を漏えい液受皿構造とすることにより、グローブボックス及びオープンポートボックスに放射性物質を含む液体を閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス及びオープンポートボックス外に漏えいし難い設計とする。</p> <p>なお、グローブボックス及びオープンポートボックスからの漏えい防止に係る漏えい検知器の設計方針については、第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>e. MOX 粉末を取り扱うグローブボックスを循環する経路は、MOX 粉末の漏えいを防止するため、地震に対して経路が維持できる設計とする。</p> <p>なお、MOX 粉末を取り扱うグローブボックスを循環する経路に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>4.2 核燃料物質等による汚染の防止</p> <p><u>核燃料物質等による汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で、腐食しにくい樹脂系塗料等の材料によって仕上げる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>③ <u>グローブボックス等内の気圧が設定値以上になった場合は、警報を発する設計とする</u></p> <p><u>ロ. (ハ) (6) ③-①</u>とともに、核燃料物質等が漏えいした場合又はそのおそれがある場合に、</p> <p><u>建屋内及び工程室内はダストモニタ、エアスニフア及び放射線サーベイ機器により漏えいを検知</u> <u>ロ. (ハ) (6) ③-②</u>し、</p> <p><u>堰等</u><u>ロ. (ハ) (6) ③-③</u>による核燃料物質等の保持、</p> <p><u>排風機</u><u>ロ. (ハ) (6) ③-④</u>の切り替えによる負圧の維持、</p> <p><u>ロ. (ハ) (6) ③-⑤</u>換気設備等のユーティリティの停止を含まない加工工程のうち任意の工程の停止（以下「工程停止」という。）、気体廃棄物の廃棄設備の建屋排風機、工程室排風機、送風機及び窒素循環ファン並びに非管理区域換気空調設備（以下「送排風機」という。）を停止する措置等によ</p>	<p><u>グローブボックス等内の気圧が設定値以上になった場合は、警報を発する設計とする</u></p> <p><u>とともに、核燃料物質等が漏えいした場合又はそのおそれがある場合に、</u></p> <p><u>建屋内及び工程室内はダストモニタ、エアスニフア及び放射線サーベイ機器により漏えいを検知</u> <u>し、</u></p> <p><u>堰等による核燃料物質等の保持、</u></p> <p><u>排風機の切り替えによる負圧の維持、</u></p> <p><u>換気設備等のユーティリティの停止を含まない加工工程のうち任意の工程の停止（以下「工程停止」という。）、気体廃棄物の廃棄設備の建屋排風機、工程室排風機、送風機及び窒素循環ファン並びに非管理区域換気空調設備（以下「送排風機」という。）を停止する措置等により漏えいの</u></p>	<p>4.1 閉じ込め (4) 核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る設計方針          &lt;中略&gt;  <u>グローブボックス等内の気圧が設定値以上になった場合は、警報を発する設計とする。</u>          なお、負圧異常時の警報発報に係る設計方針については、第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p><u>ロ. (ハ) (6) ③-①</u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合又はそのおそれがある場合に、</p> <p><u>建屋内及び工程室内はダストモニタ、エアスニフア及び放射線サーベイ機器により漏えいを検知</u> <u>ロ. (ハ) (6) ③-②</u>できるよう、放射線監視設備を設ける設計とする。</p> <p>また、MOX 燃料加工施設から周辺環境へ放射性気体廃棄物を放出する排気筒には、MOX 燃料加工施設外への核燃料物質等の漏えいを検知できるよう、排気モニタを設置する設計とする。          なお、放射線監視設備に係る設計方針については、第2章 個別項目の「6.放射線管理施設」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;  <u>ロ. (ハ) (6) ③-③</u>液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合、漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とするとともに、貯槽等に内包される廃液の全量に対して、堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。</p> <p>なお、漏えい拡大防止に係る漏えい検知器の設計方針については、第2章 個別項目の「7.4 その他の主要な事項」の「7.4.2 警報関連設備」に示す。</p> <p>(5) その他の閉じ込めに係る設計方針          &lt;中略&gt;          a. <u>排風機</u><u>ロ. (ハ) (6) ③-④</u>は予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(4) 核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る設計方針          &lt;中略&gt;  <u>グローブボックス等から核燃料物質等が漏えいした場合は、</u><u>ロ. (ハ) (6) ③-⑤</u>気体廃棄物の廃棄設備の給気設備等の停止を含まない加工工程のうち任意の工程の停止（以下「工程停止」という。）、気体廃棄物の廃棄設備の建屋排風機、工程室排風機、送風機及び窒素循環ファン並びに非</p>	<p>設工認の<u>ロ. (ハ) (6) ③-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ハ) (6) ③-①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ハ) (6) ③-②</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ハ) (6) ③-②</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ハ) (6) ③-③</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ハ) (6) ③-③</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ハ) (6) ③-④</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ハ) (6) ③-④</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ハ) (6) ③-⑤</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ハ) (6) ③-⑤</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>り漏えいの拡大を防止するロ. (ハ) (6)③-⑥設計とする。</p> <p>(7) グローブボックス排気設備、工程室排気設備及び建屋排気設備は、以下の設計を講じる。</p> <p>① ロ. (ハ) (7)①-2-①排風機は予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。</p> <p>② ロ. (ハ) (7)①-2-②核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに、設計基準事故時においても可能な限り負圧維持、漏えい防止及び逆流防止の機能が確保される設計とし、公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう、事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。</p>	<p>拡大を防止する設計とする。</p> <p>グローブボックス排気設備、工程室排気設備及び建屋排気設備は、排風機は予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする</p> <p>とともに、核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに、設計基準事故時においても可能な限り負圧維持、漏えい防止及び逆流防止の機能が確保される設計とし、公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう、事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。</p>	<p>管理区域換気空調設備(以下「送排風機」という。)を停止する措置等により漏えいの拡大を防止するロ. (ハ) (6)③-⑥ことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(5) その他の閉じ込めに係る設計方針 グローブボックス排気設備、工程室排気設備及び建屋排気設備は、以下の設計を講じる。 a. 排風機は予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。 なお、故障時の排風機の切り替えによる核燃料物質等の漏えい防止及び漏えい拡大防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。 &lt;中略&gt;</p> <p>5.2 換気設備 ロ. (ハ) (7)①-2-①グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機、工程室排気設備の工程室排風機、建屋排気設備の建屋排風機、窒素循環設備の窒素循環ファン及び給気設備の送風機には、予備機を設け、故障した場合には自動的に予備機に切り替わる設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>b. 核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに、設計基準事故時においても可能な限り負圧維持、漏えい防止及び逆流防止の機能が確保される設計とし、公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう、事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。 なお、高性能エアフィルタの段数に係る設計方針については、「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。 燃料加工建屋の床面下には、敷地外に管理されずに排出される排水が流れる排水路を設置しない設計とする。 技術基準規則第十条第1項第二号にある「六ふっ化ウランを取り扱う設備」は、MOX燃料加工施設に設置しない。 &lt;中略&gt;</p> <p>5.2 換気設備 ロ. (ハ) (7)①-2-②換気設備は、核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくし、放射線障害を防止する設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (6)③-⑥は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認のロ. (ハ) (7)①-2-①は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (7)①-2-①を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (ハ) (7)①-2-①は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (ハ) (7)①-2-①を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(二) 火災及び爆発の防止に関する構造</p> <p>(1) 安全機能を有する施設の火災及び爆発の防止</p> <p><u>安全機能を有する施設は、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>① 基本事項</p> <p>a. 安全上重要な施設</p> <p><u>ロ.(二)(1)①a.-1</u>MOX燃料加工施設は、<u>臨界防止、閉じ込め等の安全機能が火災又は爆発によって損なわれないよう、</u></p> <p><u>ロ.(二)(1)①a.-2</u>適切な火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p>イ. 安全設計</p> <p>(ロ) 安全機能を有する施設</p> <p>(4) 火災及び爆発に関する安全設計</p> <p>① 火災及び爆発に関する設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>a. 安全機能を有する施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計</p> <p>(a) 火災及び爆発の防止に関する設計方針</p> <p><u>安全機能を有する施設は、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>第1章 共通項目</p> <p>5. 火災等による損傷の防止</p> <p>5.1 火災等による損傷の防止に対する基本設計方針</p> <p>5.1.1 安全機能を有する施設</p> <p><u>安全機能を有する施設は、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ.(二)(1)①a.-1</u>安全機能を有する施設は、<u>火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、</u></p> <p><u>ロ.(二)(1)①a.-2</u>火災及び爆発の発生を防止し、<u>早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(二)(1)①a.-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①a.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(二)(1)①a.-2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①a.-2</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>□.(二)(1)①a.-3 具体的には、</p> <p><u>安全機能を有する施設のうち、その機能の喪失により公衆に対し過度の放射線被ばくを及ぼすことのないよう、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な施設の安全機能を有する構築物、系統及び機器□.(二)(1)①a.-4（以下「<u>安重機能を有する機器等</u>」という。）を抽出し、</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p>	<p>火災防護対策を講ずる対象としては、<u>安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な構築物、系統及び機器を抽出することで、火災又は爆発により、臨界防止、閉じ込め等の安全機能を損なわないよう対策を講ずる設計とし、安全機能を有する施設のうち安全上重要な施設に火災区域及び火災区画を設定した上で、</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>安全機能を有する施設は、火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、□.(二)(1)①a.-3 <u>以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>火災及び爆発による影響から防護する設備（以下「<u>火災防護上重要な機器等</u>」という。）として、<u>安全機能を有する施設のうち、その機能の喪失により公衆に対し過度の放射線被ばくを及ぼすことのないよう、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な施設の安全機能を有する構築物、系統及び機器□.(二)(1)①a.-4を抽出するとともに、放射線物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するための構築物、系統及び機器のうち、安全上重要な施設を除いたもの（以下「<u>放射性物質貯蔵等の機器等</u>」という。）を抽出する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>具体的な対策については「<u>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準</u>」（以下「<u>火災防護審査基準</u>」という。）及び「<u>原子力発電所の内部火災影響評価ガイド</u>」（以下「<u>内部火災影響評価ガイド</u>」という。）を参考として<u>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の□.(二)(1)①a.-3は、事業変更許可申請書（本文）の□.(二)(1)①a.-3と同義であり整合している。</p> <p>設工認の□.(二)(1)①a.-4は、事業変更許可申請書（本文）の□.(二)(1)①a.-4と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>b. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器</p> <p><u>ロ.(二)(1)①b.-1</u>安全機能を有する施設のうち、MOX燃料加工施設において火災又は爆発が発生した場合、</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するための構築物、系統及び機器のうち、<u>ロ.(二)(1)①b.-2</u>「<u>ロ.(二)(1)①a.</u>安全上重要な施設」に示す安全上重要な施設を除いたものを「放射性物質貯蔵等の機器等」として抽出し、</p> <p>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p>また、放射性物質貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器についても</p> <p>火災区域を設定した上で、<u>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずることにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>ロ.(二)(1)①b.-1</u>安全機能を有する施設は、<u>火災又は爆発によりMOX燃料加工施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、以下の火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>火災及び爆発による影響から防護する設備（以下「火災防護上重要な機器等」という。）として、安全機能を有する施設のうち、その機能の喪失により公衆に対し過度の放射線被ばくを及ぼすことのないよう、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な施設の安全機能を有する構築物、系統及び機器を抽出するとともに、<u>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するための構築物、系統及び機器のうち、<u>ロ.(二)(1)①b.-2</u>安全上重要な施設を除いたもの（以下「放射性物質貯蔵等の機器等」という。）を抽出する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>具体的な対策については「<u>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準</u>」（以下「<u>火災防護審査基準</u>」という。）及び「<u>原子力発電所の内部火災影響評価ガイド</u>」（以下「<u>内部火災影響評価ガイド</u>」という。）を参考として<u>火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(二)(1)①b.-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①b.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(二)(1)①b.-2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①b.-2</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>c. その他の安全機能を有する施設</p> <p><u>ロ.(二)(1)①c.-1「ロ.(二)(1)①a. 安全上重要な施設」及び「ロ.(二)(1)①b. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構造物、系統及び機器」</u></p> <p>以外の安全機能を有する施設を含めMOX燃料加工施設は、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>d. 火災区域及び火災区画の設定</p> <p><u>火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を収納する燃料加工建屋に、耐火壁によって囲われた火災区域を設定する。</u></p> <p>燃料加工建屋の火災区域は、<u>火災1「ロ.(二)(1)①a. 安全上重要な施設」及び「ロ.(二)(1)①b. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構造物、系統及び機器」において選定する機器等の配置も考慮して設定する。</u></p>	<p>その他の安全機能を有する施設を含めMOX燃料加工施設は、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>iv. 火災区域及び火災区画の設定</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を収納する燃料加工建屋に、耐火壁（耐火隔壁、耐火シール、防火扉、防火ダンパ等）、天井及び床（以下「耐火壁」という。）によって囲われた火災区域を設定する。</p> <p>建屋の火災区域は、<u>「イ.(ロ)(4)①a.(a) i. 安全上重要な施設」及び「イ.(ロ)(4)①a.(a) ii. 放射性物質貯蔵又は閉じ込め機能を有する構造物、系統及び機器」において選定する機器等の配置も考慮して火災区域を設定する。</u></p>	<p>なお、<u>ロ.(二)(1)①c.-1火災防護上重要な機器等</u></p> <p>以外の安全機能を有する施設を含め MOX 燃料加工施設は、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>火災1火災防護上重要な機器等を収納する燃料加工建屋に、耐火壁（耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等）、天井及び床（以下「耐火壁」という。）によって囲われた火災区域を設定する。</u></p> <p>燃料加工建屋の火災区域は、<u>火災1火災防護上重要な機器等の配置を考慮して設定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(二)(1)①c.-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①c.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>以下同じものは<u>火災1</u>とし省略する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>ロ.(ニ)(1)①d.-1</u>火災及び爆発の影響軽減対策が必要な<u>火災1</u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域は、</p> <p><u>3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁, 耐火シール, 防火扉, 延焼防止ダンパ等), 天井及び床(以下「耐火壁」という。)により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p>屋外の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-2</u>安全上重要な施設を設置する区域については、<u>周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p>	<p>燃料加工建屋内のうち、<u>火災及び爆発の影響軽減対策が必要な安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域は、</u></p> <p><u>3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有することを確認した耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p>屋外の<u>安全上重要な施設を設置する区域については、周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p>	<p><u>火災1</u>火災防護上重要な機器等を設置する火災区域及び火災区画に対して、<u>ロ.(ニ)(1)①d.-1</u>火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p><u>火災1</u>火災防護上重要な機器等を収納する燃料加工建屋に、<u>耐火壁(耐火隔壁, 耐火シール, 防火扉, 延焼防止ダンパ等), 天井及び床(以下「耐火壁」という。)</u>によって囲われた火災区域を設定する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.1.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物</p> <p>このうち、<u>火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.1 安全機能を有する施設</p> <p>屋外の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-2</u>火災防護上重要な機器等を設置する区域については、<u>周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-2</u>は、火災区域設定の基本的な考え方を示すために放射性物質貯蔵等の機器等も考慮した記載としていることから、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-2</u>と同義であり整合してい</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>火災区画は、燃料加工建屋内で設定した火災区域を、耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて細分化して設定する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設における火災防護対策に当たっては、米国の「放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準」（以下「NFPA801」という。）を参考にMOX燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(ニ)(1)①d.-3</u>また、具体的な対策については「<u>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準</u>」及び「<u>原子力発電所の内部火災影響評価ガイド</u>」を参考として火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p><u>火災区画は、燃料加工建屋内で設定した火災区域を、耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて細分化して設定する。</u></p> <p>a. 安全機能を有する施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計</p> <p>(a) 火災及び爆発の防止に関する設計方針</p> <p><u>MOX燃料加工施設の火災区域又は火災区画における火災防護対策に当たっては、米国の「放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準」（以下「NFPA801」という。）を参考にMOX燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>また、具体的な対策については「<u>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準</u>（以下「<u>火災防護審査基準</u>」という。）」及び「<u>原子力発電所の内部火災影響評価ガイド</u>」を参考として火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p><u>火災区画は、燃料加工建屋内及び屋外で設定した火災区域を火災防護上重要な機器等の配置を考慮して、耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて細分化して設定する。</u></p> <p>火災区域又は火災区画のファンネルには、他の火災区域又は火災区画からの煙の流入防止を目的として、煙等流入防止対策を講ずる設計とする。</p> <p><u>MOX燃料加工施設の火災区域及び火災区画における火災防護対策に当たっては、米国の「放射性物質取扱施設の火災防護に関する基準」（以下「NFPA801」という。）を参考にMOX燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(ニ)(1)①d.-3</u>具体的な対策については「<u>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準</u>」（以下「<u>火災防護審査基準</u>」という。）及び「<u>原子力発電所の内部火災影響評価ガイド</u>」（以下「<u>内部火災影響評価ガイド</u>」という。）を参考として火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p>る。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)①d.-3</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>e. 火災防護上の系統分離対策</p> <p><u>MOX燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時の異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外からの放射性物質の放出を防止するために以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(a) <u>グローブボックス排風機</u></p> <p>(b) <u>上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</u></p> <p>f. 火災防護計画</p> <p><u>MOX燃料加工施設全体を対象とした火災防護対策を実施するため、火災防護計画を策定する。</u></p> <p><u>ロ.(二)(1)①f.-1</u>火災防護計画には、計画を遂行するための体制、責任の所在、責任者の権限、体制の運営管理、必要な要員の確保、教育訓練及び火災防護対策を実施するために必要な手順等について定めるとともに、<u>火災1</u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を火災及び爆発から防護するため、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減の3つの深層防護の概念に基づく火災防護対策について定める。</p> <p><u>重大事故等対処施設については、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火</u><u>ロ.(二)(1)①f.-2</u>を行うことについて定める。</p>	<p>v. 火災防護上の系統分離対策</p> <p><u>MOX燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時に異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外からの放射性物質の放出を防止するための以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(i) <u>グローブボックス排風機</u></p> <p>(ii) <u>上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</u></p> <p>vi. 火災防護計画</p> <p><u>MOX燃料加工施設全体を対象とした火災防護対策を実施するため、火災防護計画を策定する。</u></p> <p><u>火災防護計画には、計画を遂行するための体制、責任の所在、責任者の権限、体制の運営管理、必要な要員の確保、教育訓練及び火災防護対策を実施するために必要な手順等について定めるとともに、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等については、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火並びに、火災及び爆発の影響軽減の3つの深層防護の概念に基づき、必要な火災防護対策を行うことについて定める。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設については、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火を行うことについて定める。</u></p>	<p><u>MOX燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時の異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外からの放射性物質の放出を防止するための以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(1) <u>グローブボックス排風機</u></p> <p>(2) <u>上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.3 火災防護計画</p> <p><u>MOX燃料加工施設全体を対象とした火災防護対策を実施するため、火災防護計画を策定する。</u></p> <p><u>火災1</u>火災防護上重要な機器等を火災及び爆発から防護するため、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減の3つの深層防護の概念に基づき、<u>ロ.(二)(1)①f.-1</u>き、必要な運用管理を含む火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p><u>重大事故等対処施設については、火災及び爆発の発生防止、火災の早期感知及び消火</u><u>ロ.(二)(1)①f.-2</u>に必要な運用管理を含む火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①f.-1</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(二)(1)①f.-2</u>は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>その他の施設については、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)①f. -3</u>火災防護対策を行うことについて定める。</p> <p><u>敷地及び敷地周辺で想定される自然現象並びに人為事象による火災及び爆発（以下「外部火災」という。）については、安全機能を有する施設を外部火災から防護するための運用等について</u><u>ロ. (二)(1)①f. -4</u>定める。</p> <p>② 火災及び爆発の発生防止</p> <p>a. MOX燃料加工施設内の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>ロ. (二)(1)②a. -1</u>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生を防止するため、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策、空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</p>	<p><u>その他の施設については、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を行うことについて定める。</u></p> <p><u>外部火災については、安全機能を有する施設を外部火災から防護するための運用等について定める。</u></p> <p>(b) 火災及び爆発の発生防止</p> <p>i. 施設特有の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止については、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策、空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p><u>その他施設については、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)①f. -3</u>火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>敷地及び敷地周辺で想定される自然現象並びに人為事象による火災及び爆発（以下「外部火災」という。）については、安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設を外部火災から防護するための運用等について</u><u>ロ. (二)(1)①f. -4</u>の火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>5.2 火災及び爆発の発生防止</p> <p>5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生を防止するため、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策及び空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)②a. -1</u>なお、MOX燃料加工施設の分析設備で取り扱う化学薬品等は少量であることから、<u>化学的制限値の設定は不要とする。</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二)(1)①f. -3</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二)(1)①f. -4</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二)(1)②a. -1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二)(1)②a. -1</u>を</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>水素ガスを使用する焼結炉及び小規模焼結処理装置(以下「焼結炉等」という。)は燃料加工建屋に受け入れる水素・アルゴン混合ガス中の水素最高濃度(9.0vol%)を設定する。</p> <p>焼結炉等に供給する水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度が9.0vol%を超えないよう、以下の対策を講ずる設計とする。</p> <p>(1) エネルギー管理建屋に設置する水素・アルゴン混合ガスの製造系統と燃料加工建屋への供給系統とを物理的に分離する設計とする。</p> <p>(2) 燃料加工建屋で使用する水素・アルゴン混合ガスは、水素濃度を9.0vol%以下に調整し、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填する設計とする。</p> <p>(3) エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填した水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度を確認した上で、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器を燃料加工建屋への供給系統に接続する設計とする。</p> <p>さらに、燃料加工建屋への供給系統の接続口は、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器以外が接続できない設計とする。</p> <p>(4) 燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を確認し、万一、水素濃度が9.0vol%を超える場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。</p> <p>なお、焼結炉等は、水素・アルゴン混合ガスにより焼結ペレットを還元させることを目的としており、可燃性ガスを燃焼させずに炉内を加熱する設計とするが、焼結炉等の加熱を停止する場合は、可燃性ガスの供給を自動的に停止する設計とする。</p> <p>分析試薬については、少量ではあるが可燃性</p>	<p>具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二)(1)②a.-2また、上記に加え</p> <p>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画にロ. (二)(1)②a.-3に対する火災及び爆発のロ. (二)(1)②a.-4発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気、漏えい検出対策及び接地対策、電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</p>	<p>ii. MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止については、発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画に対する火災及び爆発の発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策、接地対策、空気の混入防止対策並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</p> <p>(i) 発火性物質又は引火性物質</p> <p>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画には、以下の火災及び爆発の発生防止対策を講ずる設計とする。発火性物</p>	<p>試薬及び引火性試薬を含む多種類の分析試薬を取り扱うため、保管及び取扱いに係る火災及び爆発の発生防止対策を講ずる設計とする。</p> <p>安全上重要な施設及び重大事故等対処施設のうち、MOX粉末を取り扱うグローブボックス内を窒素雰囲気とすることで、火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</p> <p>5.2.2 ロ. (二)(1)②a.-2MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</p> <p>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画にロ. (二)(1)②a.-3に対して火災及び爆発の発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気、漏えい検出対策及び接地対策、電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</p> <p>ロ. (二)(1)②a.-4火災及び爆発の発生防止における発火性物質又は引火性物質に対する火災及び爆発の発生防止対策は、火災区域又は火災区画に設置する潤滑油又は燃料油を内</p>	<p>設工認のロ. (二)(1)②a.-2は、火災防護対策について項を分割した記載としたため事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)②a.-2の内容と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)②a.-3は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)②a.-3と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)②a.-4は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)②a.-4の</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>質又は引火性物質としては、消防法で定められる危険物又は少量危険物として取り扱うもののうち「潤滑油」、「燃料油」に加え、高圧ガス保安法で高圧ガスとして定められる水素、窒素、二酸化炭素、アルゴン、NOx、プロパン及び酸素のうち、可燃性ガスである「水素」及び上記に含まれない「分析試薬」を対象とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>包する設備に加え、MOX燃料加工施設で取り扱う物質として、水素を内包する設備及び分析試薬を取り扱う設備を対象とする。</p> <p>なお、分析試薬については、「5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止」に示す分析試薬に対する対策と同様の設計とする。</p> <p>潤滑油又は燃料油を内包する設備（以下「油内包設備」という。）は、溶接構造又はシール構造により漏えい防止対策を講ずる設計とするとともに、オイルパン又は堰を設置し、漏えいした潤滑油又は燃料油が拡大することを防止する設計とする。</p> <p>油内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は隔離による配置上の考慮を行う設計とする。</p> <p>油内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気又は自然換気を行う設計とする。</p> <p>発火性物質又は引火性物質を貯蔵する機器は、運転に必要な量に留めて貯蔵する設計とする。</p> <p>水素を内包する設備（以下「可燃性ガス内包設備」という。）は、溶接構造等により可燃性ガスの漏えいを防止する設計とする。</p> <p>可燃性ガス内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事</p>	<p>「発生防止対策」を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(i)-3-2 発火性物質又は引火性物質である可燃性ガス内包設備</p> <p><u>火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質である可燃性ガスのうち、水素を内包する設備である焼結炉等、充電時に水素を発生する蓄電池を設置又は使用する火災区域又は火災区画は、火災及び爆発の発生を防止するために、換気を行う設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(iv) 水素対策</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>また、<u>蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4 vol%の4分の1以下で中央監視室に警報を発する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は隔離による配置上の考慮を行う設計とする。</p> <p><u>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における可燃性ガスに対する換気のため、可燃性ガス内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気を行う設計とする。</u></p> <p>このうち、蓄電池を設置する火災区域は、機械換気を行うことにより、水素濃度を燃焼限界濃度以下とするよう設計する。</p> <p><u>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</u></p> <p>通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</p> <p>ただし、蓄電池が無停電電源装置等を設置している室と同じ室に収納する場合は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」(SBA G 0603)に適合するよう、鋼板製筐体に収納し、水素ガス滞留を防止するため蓄電池室を機械換気により排気することで火災又は爆発を防止する設計とする。</p> <p>蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(i)-4 防爆  <u>火災区域に対する防爆</u>について、以下の設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>(i)-4-1-2 工場電気設備防爆指針における危険箇所には該当しないが、<u>火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質の有機溶媒等を内包する設備の漏えいにより、環境条件が「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気となるおそれのある機器を設置する室の電気接点を有する機器は防爆構造とする設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>また、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p>(ii) 可燃性蒸気・微粉の対策  火災区域における可燃性の蒸気又は可燃性の微粉が発生するおそれがある設備については以下の設計とする。</p> <p>(ii)-1 可燃性蒸気が滞留するおそれがある機器</p>	<p>中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p> <p>焼結炉等は工程室内に設置するが、排ガス処理装置を介して、グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機による機械換気を行う設計とすることで、万一の工程室内への漏えいに対しても、水素・アルゴン混合ガスが滞留しない設計とする。</p> <p>水素・アルゴン混合ガスを内包する焼結炉等に水素・アルゴン混合ガスを供給し、高温状態でグリーンペレットを焼結することから、これらの系統及び機器を設置する工程室に水素ガス漏えい検知器を設置し、中央監視室及び制御第1室並びに制御第4室(以下「中央監視室等」という。)に警報を発する設計とする。</p> <p><u>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における防爆及び接地対策として、火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質を内包する設備は、溶接構造の採用、機械換気等により、「電気設備に関する技術基準を定める省令」第六十九条及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気とならない設計とするとともに、発火性物質又は引火性物質を内包する設備からの漏えいを考慮して、漏えいの可能性のある機器を設置する室の電気接点を有する機器は、防爆構造とする設計とし、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p>水素・アルゴン混合ガスを取り扱う系統及び機器のうち、漏電により着火源となるおそれのある機器及び静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>火災区域における現場作業において有機溶剤を使用する場合は必要量以上持ち込まない運用とするとともに、可燃性の蒸気が滞留するおそれがある場合は、使用する作業場所において、換気、通風、拡散の措置を行うとともに、建屋の送風機及び排風機による機械換気により滞留を防止する設計とする。</p> <p>(ii)-2 可燃性微粉が滞留するおそれがある機器  MOX 燃料加工施設において、可燃性の微粉が滞留するおそれがある設備として燃料棒解体設備の燃料棒解体装置の切断機があるが、燃料棒の切断時にジルカロイ粉末が発生しないよう、燃料棒（被覆管端栓部）は押切機構の切断機（パイプカッタ）を用いて切断し、ペレットを抜き取った後の燃料棒（被覆管部）は押切機構の切断機（鉄筋カッタ）を用いて切断を行う設計とする。</p> <p>(iii) 発火源への対策  火花の発生を伴う設備は、発生する火花が発火源となることを防止する設計とするとともに、周辺に可燃性物質を保管しないこととする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、火災区域における現場作業において、可燃性の蒸気が滞留しないように建屋の送風機及び排風機による機械換気により滞留を防止する設計とする。</p> <p>ロ.(二)(1)②a.-4 また、火災区域における現場作業において、有機溶剤を使用する場合は必要量以上持ち込まない運用とし、可燃性の蒸気が滞留するおそれがある場合は、換気、通風又は拡散の措置を行うことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、可燃性の微粉が滞留するおそれがある設備として燃料棒解体設備の燃料棒解体装置の切断機は、燃料棒の切断時にジルカロイ粉末が発生しないよう、燃料棒（被覆管端栓部）は押切機構の切断機（パイプカッタ）を用いて切断し、ペレットを抜き取った後の燃料棒（被覆管部）は押切機構の切断機（鉄筋カッタ）を用いて切断を行うことにより、可燃性の微粉による火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</p> <p>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、発火源への対策として火花の発生を伴う設備は、発生する火花が発火源となることを防止する設計とするとともに、周辺に可燃性物質を保管しないことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>また、高温となる設備は、高温部を断熱材、耐火材で覆うこと又は冷却することにより、可燃性物質との接触及び可燃性物質の加熱を防止する設計とする。</p> <p>焼結炉等及びスタック乾燥装置は、運転中は</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(v) 空気の混入防止対策</p> <p><u>焼結炉等、水素・アルゴン混合ガスを使用する機器の接続部は、溶接構造又はフランジ構造により空気が混入することを防止する設計とする。</u></p>	<p>温度監視を行うとともに、温度制御機器により温度制御を行う設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>火災及び爆発の発生防止における可燃性ガスに対する換気のため、可燃性ガス内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気を行う設計とする。</p> <p>火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p> <p>火災及び爆発の発生防止における防爆及び接地対策として、火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質を内包する設備は、溶接構造の採用、機械換気等により、「電気設備に関する技術基準を定める省令」第六十九条及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気とならない設計とするとともに、発火性物質又は引火性物質を内包する機器からの漏えいを考慮し、漏えいの可能性のある機器を設置する室の電気接点を有する機器は、防爆構造とする設計とし、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</p> <p>水素・アルゴン混合ガスを取り扱う系統及び機器のうち、漏電により着火源となるおそれのある機器及び静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</p> <p><u>ロ.(ニ)(1)②a.-4</u> <u>火災及び爆発の発生防止のため、空気の混入防止対策として、焼結炉等、水素・アルゴン混合ガスを使用する機器の接続部は、溶接構造又はフランジ構造により空気が混入することを防止する設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(vi) 過電流による過熱防止対策</p> <p><u>MOX 燃料加工施設内の電気系統に対する過電流による過熱及び焼損の防止対策として、電気系統は、機器の損壊、故障及びその他の異常を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障の影響を局所化できるとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p>	<p>また、水素・アルゴン混合ガスを受け入れる配管には、逆止弁を設置し、配管が破断した場合に空気が焼結炉等内に混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結炉は、出入口に入口真空置換室及び出口真空置換室を設け、容器を出し入れする際に置換室を水素・アルゴン混合ガス雰囲気置換し、焼結炉内にグローブボックス雰囲気が混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結時の焼結炉内への空気の混入を監視するため酸素濃度計を設置し、空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに、中央監視室及び制御第 1 室に警報を発する設計とする。</p> <p>小規模焼結処理装置は、容器を炉内へ装荷し、炉蓋を閉じた後、炉内雰囲気を水素・アルゴン混合ガス雰囲気に置換する設計とする。</p> <p>また、焼結時は炉内へ空気が混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結時の小規模焼結処理装置内への空気の混入を監視するため酸素濃度計を設置し、空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに、中央監視室等に警報を発する設計とする。</p> <p><u>ロ. (二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、電気系統は、機器の損壊、故障及びその他の異常を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障の影響を局所化するとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p> <p>電気室は、電源供給のみに使用する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>b. 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>MOX燃料加工施設の建物は、耐火構造又は不燃性材料で造られたものとともに、必要に応じて防火壁の設置その他の適切な防火措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等のうち、ロ.(ニ)(1)②b.-1</u>主要な構造材、</p>	<p>iii. 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等並びに遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）を使用する設計とする。</u></p> <p><u>また、構築物、系統及び機器の機能を確保するために代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該系統及び機器における火災に起因して、他の安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等において火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(i) 主要な構造材に対する不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等のうち、機器、配管、ダクト、ケーブルトレイ、電線管及び盤の筐体並びにこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災及び爆発の発生防止を考慮し、金属材料又はコンクリートを使用する設計とする。</u></p>	<p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>MOX燃料加工施設の建物は、耐火構造又は不燃性材料で造られたものとともに、必要に応じて防火壁の設置その他の適切な防火措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）を使用する設計若しくは代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災及び爆発に起因して、他の火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>なお、焼結炉等の炉体及び閉じ込めの境界を構成する部材は、耐熱性を有する材料を使用する設計とする。</p> <p><u>火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(ニ)(1)②b.-1のうち、機器、配管、ダクト、ケーブルトレイ、電線管及び盤の筐体並びにこれらの支持構造物の主要な構造材は、金属材料又はコンクリートを使用する設計とする。</u></p> <p>ただし、配管等のパッキン類は、その機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難であるため、金属で覆われた狭隘部に設置し直接火炎に晒されることのない設計とす</p>	<p>設工認のロ.(ニ)(1)②b.-1は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-1を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(二)(1)②b.-2ケーブル、</p>	<p>(iii) 難燃ケーブルの使用</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等並びに安重機能を有する機器等のうちグローブボックス内に使用するケーブルには、<u>実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383-1974 又は IEEE1202-1991 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581（Fourth Edition）1080 VW-1 UL 垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p>ただし、機器の性能上の理由から実証試験にて延焼性及び自己消火性を確認できないケーブルは、<u>難燃ケーブルと同等以上の性能を有する材料を使用する設計とする。</u></p> <p>具体的には、<u>非常用発電機の一部に使用するケーブルは、制御のために微弱信号を取り扱う必要があり、耐ノイズ性を確保するために専用のケーブルを使用する設計とする必要がある。</u></p> <p>したがって、<u>本ケーブルに対しては、火災を想定した場合にも延焼が発生しないように、専用電線管に収納するとともに、電線管の両端は、電線管外部からの酸素供給防止を目的とし、耐火性を有するシール材を処置するとともに、機器との接</u></p>	<p>る。</p> <p>また、金属に覆われたポンプ及び弁の駆動部の潤滑油並びに金属に覆われた機器内部のケーブルは、発火した場合でも他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に延焼しないことから、<u>不燃性材料又は難燃性材料ではない材料を使用する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>火災1火災防護上重要な機器等ロ.(二)(1)②b.-2及びグローブボックス(安全上重要な施設)内機器並びに重大事故等対処施設に使用するケーブルには、<u>実証試験により延焼性(米国電気電子工学学会規格 IEEE383 又は IEEE1202 垂直トレイ燃焼試験)及び自己消火性(UL1581 垂直燃焼試験)を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></u></p> <p>ただし、<u>機器等の性能上の理由から実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルをやむを得ず使用する場合には、金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護又は専用の電線管に敷設等の措置を講じた上で、難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認し、使用する設計とすることで、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u></p>	<p>設工認のロ.(二)(1)②b.-2は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(1)②b.-2を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="350 1066 816 1098">ロ.(ニ)(1)②b.-3換気設備のフィルタ</p> <p data-bbox="350 1423 667 1455">ロ.(ニ)(1)②b.-4保温材</p>	<p data-bbox="1023 306 1486 558"> <u>続部においては可動性を持たせる必要があることから当該部位のケーブルが露出しないように不燃性、遮炎性、耐久性及び被覆性の確認された部材で覆う等により、難燃ケーブルと同等以上の性能を確保する設計とする。</u> </p> <p data-bbox="1023 575 1486 915"> <u>非難燃ケーブルを使用する場合については、上記に示す代替措置を施した上で、難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能（延焼性及び自己消火性）を有することを実証試験により確認し、使用する設計とすることにより、他の安全機能を有する施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u> </p> <p data-bbox="973 978 1486 1052">(iv) 換気設備のフィルタに対する不燃性材料及び難燃性材料の使用</p> <p data-bbox="1023 1068 1486 1367"> <u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等のうち、換気設備のフィルタの主要な構造材は、不燃性材料又は「JACA No. 11A（空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針（公益社団法人日本空気清浄協会）」により難燃性を満足する難燃性材料を使用する設計とする。</u> </p> <p data-bbox="973 1430 1486 1461">(v) 保温材に対する不燃性材料の使用</p> <p data-bbox="1023 1478 1486 1776"> <u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に対する保温材は、ロックウール、グラスウール、けい酸カルシウム等、平成12年建設省告示第1400号に定められたもの又は建築基準法で不燃性材料として定められたものを使用する設計とする。</u> </p>	<p data-bbox="1617 1068 2131 1367"> <u>火災1 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(ニ)(1)②b.-3のうち、換気設備のフィルタは、不燃性材料又は「JACA No. 11A(空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針(公益社団法人日本空気清浄協会))」により難燃性を満足する難燃性材料を使用する設計とする。</u> </p> <p data-bbox="1617 1430 2131 1640"> <u>火災1 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(ニ)(1)②b.-4に対する保温材は、平成12年建設省告示第1400号に定められたもの又は建築基準法で不燃性材料として定められたものを使用する設計とする。</u> </p>	<p data-bbox="2160 1068 2415 1325">           設工認のロ.(ニ)(1)②b.-3は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-3を具体的に記載しており整合している。         </p> <p data-bbox="2160 1430 2415 1686">           設工認のロ.(ニ)(1)②b.-4は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-4を具体的に記載しており整合している。         </p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(二)(1)②b.-5建屋内装材及び</p>	<p>(vi) 建屋内装材に対する不燃性材料の使用  <u>建屋内装材は、建築基準法に基づく不燃性材料若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料又は消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p>ただし、塗装は当該場所における環境条件を考慮したものとする。管理区域の床及び壁は、耐汚染性、除染性、耐摩耗性等を考慮し、原則として腰高さまでエポキシ樹脂系塗料等のコーティング剤により塗装する設計とする。</p> <p>塗装は、難燃性能を確認したコーティング剤を不燃性材料であるコンクリート表面に塗布すること、また、燃料加工建屋内に設置する安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等には不燃性材料又は難燃性材料を使用し、周辺には可燃性物質がないことから、塗装が発火した場合においても他の安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等において火災を生じさせるおそれは小さい。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>iv. 中央監視室等        &lt;中略&gt;</p> <p>(ii) 中央監視室等のカーペットは、<u>消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>火災1 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(二)(1)②b.-5を設置する建屋の建屋内装材は、<u>建築基準法に基づく不燃性材料若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料又は消防法に基づく防災物品若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p>ただし、塗装は当該場所における環境条件を考慮したものとする。管理区域の床及び壁は、耐汚染性、除染性、耐摩耗性等を考慮したコーティング剤を不燃性材料であるコンクリート表面に塗布すること、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらないこと、燃料加工建屋内に設置する火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設には不燃性材料又は難燃性材料を使用し、周辺における可燃性物質を管理することから、難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>また、中央監視室等及び緊急時対策建屋の対策本部室の床面は、<u>消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認したカーペットを使用する設計とする。</u></p>	<p>設工認のロ.(二)(1)②b.-5は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(1)②b.-5を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(ニ)(1)②b.-6遮蔽材は、</p> <p>可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計ロ.(ニ)(1)②b.-7とする。</p> <p>また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災に起因して、他のロ.(ニ)(1)②b.-8機器等において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p> <p>放射性物質を内包するグローブボックス等のうち、閉じ込め機能を喪失することでMOX燃料加工施設の安全性を損なうおそれのあるものについては、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p>	<p>(vii) 遮蔽材に対する不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に使用する遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>なお、可燃性の遮蔽材を使用する場合は、不燃性材料又は難燃性材料で覆う設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等並びに遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計とする。</p> <p>また、構築物、系統及び機器の機能を確保するために代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該系統及び機器における火災に起因して、他の安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等において火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>核燃料物質を非密封で取り扱う機器を収納するグローブボックス等は、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>火災1火災防護上重要な機器等ロ.(ニ)(1)②b.-6に使用する遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>なお、可燃性の遮蔽材を使用する場合は、不燃性材料又は難燃性材料で覆う設計とする。</p> <p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p>火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計ロ.(ニ)(1)②b.-7若しくは代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災及び爆発に起因して、他のロ.(ニ)(1)②b.-8火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p> <p>放射性物質を内包するグローブボックス等のうち、閉じ込め機能を喪失することでMOX燃料加工施設の安全性を損なうおそれのあるものについては、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p>	<p>設工認のロ.(ニ)(1)②b.-6は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-6を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ.(ニ)(1)②b.-7は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-7の内容と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(ニ)(1)②b.-8は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)②b.-8を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>火災1</u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に使用するケーブルには、<u>実証試験により延焼性及び自己消火性を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>火災1</u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等<u>ロ.(ニ)(1)②b.-9</u>に使用するケーブルのうち、機器等の性能上の理由からやむを得ず実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルは、難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認した上で使用する設計と<u>ロ.(ニ)(1)②b.-10</u>し、当該ケーブルの火災に起因して他の<u>火災1</u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等において火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p>	<p>(iii) 難燃ケーブルの使用</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等並びに安重機能を有する機器等のうちグローブボックス内に使用するケーブルには、<u>実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383-1974 又は IEEE1202-1991 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581 (Fourth Edition) 1080 VW-1 UL垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p>ただし、機器の性能上の理由から実証試験にて延焼性及び自己消火性を確認できないケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性能を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>具体的には、非常用発電機の一部に使用するケーブルは、<u>制御のために微弱信号を取り扱う必要がある。耐ノイズ性を確保するために専用のケーブルを使用する設計とする必要がある。</u></p> <p>したがって、本ケーブルに対しては、<u>火災を想定した場合にも延焼が発生しないように、専用電線管に収納するとともに、電線管の両端は、電線管外部からの酸素供給防止を目的とし、耐火性を有するシール材を処置するとともに、機器との接続部においては可動性を持たせる必要があることから当該部位のケーブルが露出しないように不燃性、遮炎性、耐久性及び被覆性の確認された部材で覆う等により、難燃ケーブルと同等以上の性能を確保する設計とする。</u></p> <p>非難燃ケーブルを使用する場合については、<u>上記に示す代替措置を施した上で、</u></p>	<p><u>火災 1</u>火災防護上重要な機器等及びグローブボックス(安全上重要な施設)内機器並びに重大事故等対処施設に使用するケーブルには、<u>実証試験により延焼性(米国電気電子工学学会規格 IEEE383 又は IEEE1202 垂直トレイ燃焼試験)及び自己消火性(UL1581 垂直燃焼試験)を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(ニ)(1)②b.-9</u>ただし、機器等の性能上の理由から実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルをやむを得ず使用する場合には、<u>ロ.(ニ)(1)②b.-10</u>金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護又は専用の電線管に敷設等の措置を講じた上で、<u>難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認し、使用する設計とすることで、他の火災 1</u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)②b.-9</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)②b.-9</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)②b.-10</u>は、重大事故等対処施設の対策も含めて事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)②b.-10</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>建屋内<sup>ロ.(ニ)(1)②b.-11</sup>の変圧器及び遮断器は、絶縁油等の可燃性物質を内包していないものを使用する設計とする。</p> <p>c. 落雷、地震等の自然現象による火災の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設に<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-1</sup>において、設計上の考慮を必要とする自然現象は、地震、津波、落雷、風（台風）、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響（降下火砕物によるフィルタの目詰まり）、生物学的事象、森林火災及び塩害である。</p> <p><sup>ロ.(ニ)(1)②c.-2</sup>これらの自然現象のうち、MOX燃料加工施設で火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷及び地震について、これらの現象によって火災及び爆発が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>(a) 落雷による火災及び爆発の発生を防止するため、建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</p>	<p>難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能（延焼性及び自己消火性）を有することを実証試験により確認し、使用する設計とすることにより、他の安全機能を有する施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</p> <p>(ii) 変圧器及び遮断器に対する絶縁油の内包</p> <p>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等のうち、燃料加工建屋内に設置する変圧器及び遮断器は絶縁油を内包しない乾式を使用する設計とする。</p> <p>iv. 落雷、地震等の自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設において、設計上の考慮を必要とする自然現象は、地震、津波、落雷、風（台風）、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響（降下火砕物によるフィルタの目詰まり）、生物学的事象、森林火災及び塩害である。</p> <p>したがって、MOX燃料加工施設で火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象として、落雷及び地震を選定し、これらの自然現象によって火災及び爆発が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>(i) 落雷による火災及び爆発の発生防止</p> <p>落雷による火災及び爆発の発生を防止するため、「原子力発電所の耐雷指針」（JEAG4608）、建築基準法及び消防法に基</p>	<p>火災1 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設<sup>ロ.(ニ)(1)②b.-11</sup>のうち、建屋内に設置する変圧器及び遮断器は絶縁油を内包しない乾式を使用する設計とする。</p> <p>5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設に<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-1</sup>に対する自然現象として、地震、津波、落雷、風（台風）、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を考慮する。</p> <p><sup>ロ.(ニ)(1)②c.-2</sup>火災防護上重要な機器等は、考慮する自然現象のうち、火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷及び地震について、これらの現象によって火災及び爆発が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等に対して火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象のうち落雷による火災及び爆発の発生を防止する</p>	<p>設工認の<sup>ロ.(ニ)(1)②b.-11</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ.(ニ)(1)②b.-11</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-1</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-1</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-2</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ.(ニ)(1)②c.-2</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) <u>火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等は、耐震重要度分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とするとともに、 ロ.(ニ)(1)②c.(b)-1事業許可基準規則第七条に示す要求を満足するよう、「事業許可基準規則の解釈」に従い耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p>③ 火災の感知、消火 火災の感知及び消火は、<u>火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等ロ.(ニ)(1)③-1</u>に対して、<u>早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>火災感知設備及び消火設備は、ロ.(ニ)(1)③-2「ロ.(ニ)(1)②c.落雷、地震等の自然現象による火災の発生防止」で抽出した自然現象に対して、火災感知及び消火の機能、性能が維持できる設計とする。</u></p>	<p><u>づき、日本産業規格に準拠した避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(ii) 地震による火災及び爆発の発生防止 <u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等は、耐震設計上の重要度に応じて以下に示すS、B及びCの3クラス（以下「耐震重要度分類」という。）に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する。</u> 耐震については事業許可基準規則第七条に示す要求を満足するよう、「事業許可基準規則の解釈」に従い耐震設計を行う設計とする。</p> <p>(c) 火災の感知、消火 <u>火災の感知及び消火については、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に対して、早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u> また、グローブボックス内に対しても、早期に火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</p> <p><u>このうち、火災感知設備及び消火設備が、地震等の自然現象に対して、火災感知及び消火の機能、性能が維持され、</u></p>	<p><u>ため、建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>火災1火災防護上重要な機器等は、耐震重要度分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とするとともに、ロ.(ニ)(1)②c.(b)-1加工施設の技術基準に関する規則に従い、耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p>5.3 火災の感知、消火 <u>火災の感知及び消火は、火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(ニ)(1)③-1に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u> また、グローブボックス内に対しても、早期に火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</p> <p><u>火災感知設備及び消火設備は、ロ.(ニ)(1)③-2「5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止」で抽出した自然現象に対して、火災感知及び消火の機能、性能が維持できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)②c.(b)-1</u>は、技術基準規則の名称を記載したため事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)②c.(b)-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)③-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)③-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ニ)(1)③-2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ニ)(1)③-2</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>火災感知設備及び消火設備については、火災区域及び火災区画に設置した<sup>1</sup>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等が地震による火災を想定する場合には耐震重要度分類に応じて、機能を維持できる設計とする。</p> <p>ロ. (ニ) (1) ③-3 また、消火設備は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合のほか、火災感知設備の破損、誤作動又は誤操作が起きたことにより消火設備が作動した場合においても、<sup>1</sup>安全上重要な施設の安全機能及び放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を損なわない設計とする。</p> <p>a. 火災感知設備</p> <p>ロ. (ニ) (1) ③a. -1 火災感知器は、環境条件や火災の性質を考慮して型式を選定し、<sup>1</sup>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画に対して、固有の信号を発する異なる種類を組み合わせて設置する設計とする。</p>	<p>かつ、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の耐震重要度分類に応じて、機能を維持できる設計とすることを「イ. (ロ) (4) ① a. (c) iii. 自然現象の考慮」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>また、消火設備は、破損、誤動作又は誤操作が起きた場合においても、安全上重要な施設の安全機能を損なわない設計とすることを「イ. (ロ) (4) ① a. (c) iv. 消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響」に示す。</p> <p>(b) 火災感知設備</p> <p>火災感知設備は、固有の信号を発する異なる種類の感知器及び受信器盤により構成する。火災感知設備の火災感知器は、安重機能を有する機器等及び放射性物質の貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画並びにグローブボックス内における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件等、予想される火災の性質を考慮して、火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の安全機能を有する構築物、系統及び機器の種類に応じ、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p>	<p>5.3 火災の感知, 消火</p> <p>火災防護上重要な機器等に係る火災感知設備及び消火設備については、火災区域及び火災区画に設置した<sup>1</sup>火災防護上重要な機器等が地震による火災を想定する場合には耐震重要度分類に応じて、機能を維持できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.1.1.1.3 消火設備</p> <p>ロ. (ニ) (1) ③-3 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の消火設備は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合のほか、火災感知設備の破損、誤作動又は誤操作が起きたことにより消火設備が作動した場合においても、<sup>1</sup>火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.1.1.1.2 火災感知設備</p> <p>ロ. (ニ) (1) ③a. -1 <sup>1</sup>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知器の型式は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件及び予想される火災の性質を考慮して選定するとともに、火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の火災感知器として、アナログ式煙感知器及びアナログ式熱感知器の組合せを基本として設置する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の ロ. (ニ) (1) ③-3 は、事業変更許可申請書(本文)の ロ. (ニ) (1) ③-3 と 同義であり整合している。</p> <p>設工認の ロ. (ニ) (1) ③a. -1 は、事業変更許可申請書(本文)の ロ. (ニ) (1) ③a. -1 を 具体的に記載しており 整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザ光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせる設計とする。</p> <p>火災感知設備は、外部電源喪失時にロ.(二)(2)③a.-5においても火災の感知が可能となるように電源を確保し、</p> <p>ロ.(二)(2)③a.-6中央監視室で常時監視できる設計とする</p>	<p>ただし、放射線の影響を考慮する場所に設置する火災感知器については、非アナログ式を設置する設計とする。</p> <p>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザ光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれや半導体を有しているため、放射線影響による故障が考えられることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理が異なる2種類の熱感知器を組み合わせる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(iii) 火災感知設備の電源確保</p> <p>火災感知設備は、外部電源喪失時にも火災の感知が可能となるよう、蓄電池を設け、火災感知の機能を失わないよう電源を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザ光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(二)(2)③a.-5火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、外部電源喪失時にも火災の感知が可能となるよう、蓄電池を設け、火災感知の機能を失わないよう電源を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(二)(2)③a.-6火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、中央監視室に設置する受信機に火災信号を表示するとともに警報を發すること、常時監視できる設計とするとともに、火災感知器の設置場所を1つずつ特定できることにより、火災の発生場所を特定できる設計とする。</p>	<p>設工認のロ.(二)(2)③a.-5は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(二)(2)③a.-5を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ.(二)(2)③a.-6は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(二)(2)③a.-6を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>b. 消火設備</p> <p>MOX燃料加工施設では、臨界管理の観点から可能な限り水を排除する設計とする。また、MOX燃料加工施設の「火災1」安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画及びグローブボックス内で、火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となるロ.(ニ)(1)③b.-1)ところには、固定式のガス消火装置を設置して消火を行う設計とする。</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-2)固定式のガス消火装置は、作動前に運転員が退出できるよう、警報を発する設計とする。</p>	<p>ii. 消火設備</p> <p>消火設備は、「イ.(ロ)(4)①a.(c)ii.(i)火災に対する二次的影響を考慮」から「イ.(ロ)(4)①a.(c)ii.(xvii)試験・検査」に示すとおり、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に消火できるように設置し、消火ガスについては全域放出方式とする設計とする。</p> <p>工程室については、臨界管理の観点から、水による消火を行わずガスによる消火を行う。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(xv) 窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置の従事者退避警報</p> <p>窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置は、作動前に従事者等が退出できるよう警報又は音声警報を吹鳴する設計とする。</p>	<p>&lt;中略&gt;</p> <p>MOX燃料加工施設では、臨界管理の観点から可能な限り水を排除するために、工程室及びグローブボックスについては、自動又は現場での手動操作による固定式のガス消火装置を設置することにより消火を行う設計とする。</p> <p>さらに、火災の影響を受けるおそれのある「火災1」火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となるロ.(ニ)(1)③b.-1)箇所として多量の可燃性物質を取り扱う火災区域又は火災区画(危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所)、可燃性物質を取扱い構造上消火活動が困難となる火災区域又は火災区画(中央監視室等の床下)及び電気品室等の火災区域又は火災区画については、自動又は現場での手動操作による固定式のガス消火装置を設置することにより、消火活動を可能とする設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 固定式のガス消火装置の退避警報</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-2)窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置は、作動前に従事者等が退出できるよう警報又は音声警報を吹鳴する設計とする。</p>	<p>設工認の</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-1)は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)③b.-1)を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-2)は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(1)③b.-2)を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、<u>MOX燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を設置する火災区域又は火災区画の消火に用いる消火装置は、選択弁等の動的機器の故障によっても系統分離に応じた独立性を備えた設計とする。</u></p> <p>再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火水供給設備の消火用水供給系は、2時間の最大放水量を確保するとともに、給水処理設備と兼用する場合は隔離弁を設置し消火水供給を優先する設計とし、水源及び消火ポンプは多重性又は多様性を有する設計とする。</p> <p>また、屋内及び屋外の消火範囲を考慮し消火栓を配置するとともに、移動式消火設備を配備する設計とする。</p>		<p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 系統分離に応じた独立性の考慮  <u>MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を設置する火災区域又は火災区画の消火に用いる消火装置は、容器弁及び選択弁の動的機器の故障によっても系統分離に応じた独立性を備えた設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><span style="border: 1px solid black;">今回の申請の対象範囲外</span></p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(ニ)(1)③b.-3消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量を配備し、</p> <div data-bbox="249 1136 813 1583" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(本文六号)            (ニ) 評価事象及び評価の結果            (1) 評価事象            ② 事故条件及び機器条件            本評価における事故条件及び機器条件は以下のとおり。            d. 上記を踏まえ、火災を感知してから消火が完了し、延焼防止ダンパを閉止するまでの時間は6分とする。</p> </div>	<p>(ii) 想定される火災の性質に応じた消火剤容量</p> <p>消火設備は、可燃性物質の性状を踏まえ、想定される火災の性質に応じた容量の消火剤を備える設計とする。</p> <p>油火災（油内包設備や燃料タンクからの火災）が想定される非常用発電機室には、消火性能の高い二酸化炭素消火装置を設置し、消防法施行規則第十九条に基づき算出される必要量の消火剤を配備する設計とする。</p> <p>その他の火災区域又は火災区画に設置する不活性ガス消火装置（窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置）についても上記同様に消防法施行規則第十九条に基づき、単位体積あたりに必要な量の消火剤を配備する設計とする。</p> <p>中央監視室等の床下消火に当たって必要となる消火剤量については、上記消防法を満足する単位体積あたりに必要な量の消火剤を配備する設計とする。また、ケーブルトレイ内の消火に当たって必要となる消火剤量については、その構造の特殊性を考慮して、設計の妥当性を試験により確認した消火剤容量を配備する。</p> <p>グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置（グローブボックス消火装置）については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、グローブボックスの給気量に対して95%の消火ガスを放出するが、消火ガス放出開始から5分で放出を完了できる設計とする。</p> <p>また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定</p>	<p>(1) 消火設備の消火剤の容量</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-3 消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-3ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置（グローブボックス消火装置）については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とする。</p> <p>ロ.(ニ)(1)③b.-3また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>設工認の          ロ.(ニ)(1)③b.-3          は、事業変更許可申請書（本文）の          ロ.(ニ)(1)③b.-3を          詳細に記載しており整合している。</p> <div data-bbox="2148 1157 2415 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事業変更許可申請書（本文六号）の機器条件であるグローブボックスで火災を感知して延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火を完了する設計としていることから設工認と整合している。</p> </div>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>管理区域で放出したロ. (二)(1)③b.-4場合に、管理区域外への流出を防止する設計とする。</p> <p>ロ. (二)(1)③b.-5消火設備は、火災の火災等による直接的な影響、流出流体等による二次的影響を受けず、火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に悪影響を及ぼさないように設置し、</p>	<p>し、その放出単位の給気量の合計値に対して95%の消火ガスを放出するが、消火ガス放出開始から5分で放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(xiv) 管理区域内からの放出消火剤の流出防止 管理区域内で放出した消火水は、管理区域外への流出を防止するため、管理区域と管理区域外の境界に堰等を設置するとともに、各室の排水系統から低レベル廃液処理設備に回収し、処理する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(i) 火災に対する二次的影響を考慮 MOX 燃料加工施設内の消火設備のうち、屋内消火栓、窒素消火装置、グローブボックス消火装置等を適切に配置することにより、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等に火災の二次的影響が及ばない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(v) 消火設備の電源確保 消火設備のうち、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火水供給設備の</p>	<p>(4) 消火設備の配置上の考慮</p> <p>b. 管理区域からの放出消火剤の流出防止 管理区域で放出したロ. (二)(1)③b.-4消火水は、管理区域外への流出を防止するため、管理区域と管理区域外の境界に堰等を設置するとともに、各室の排水系統から低レベル廃液処理設備に回収し、処理する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(4) 消火設備の配置上の考慮</p> <p>a. 火災による二次的影響の考慮 ロ. (二)(1)③b.-5屋内消火栓、窒素消火装置、グローブボックス消火装置等を適切に配置することにより、火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に火災の二次的影響が及ばない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のロ. (二)(1)③b.-4は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)③b.-4を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)③b.-5は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)③b.-5を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二)(1)③b.-6外部電源喪失時の電源を確保するとともに、</p> <p>ロ. (二)(1)③b.-7中央監視室に故障警報を発する設計とする。</p> <p>また、煙の二次的影響が火災1安全機能を有する構築物、系統及び機器に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p>	<p>消火用水供給系の電動機駆動消火ポンプは運転予備用母線から受電する設計とするが、ディーゼル駆動消火ポンプは、外部電源喪失時でもディーゼル機関を起動できるように、専用の蓄電池により電源を確保する設計とする。</p> <p>また、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画の消火活動が困難な箇所に設置する窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置並びにグローブボックス消火装置(不活性ガス消火装置)は、外部電源喪失時においても消火が可能となるよう、非常用所内電源設備から給電するとともに蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>(vi) 消火設備の故障警報 固定式のガス消火装置は、電源断等の故障警報を中央監視室に吹鳴する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(i) 火災に対する二次的影響を考慮 また、煙の二次的影響が安重機能を有する機器等に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>(3) 消火設備の電源確保 ロ. (二)(1)③b.-6ディーゼル駆動消火ポンプは、外部電源喪失時においてもディーゼル機関を起動できるように、専用の蓄電池により電源を確保する設計とする。</p> <p>ロ. (二)(1)③b.-6 火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する消火活動が困難となる箇所の窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置並びにグローブボックス消火装置(不活性ガス消火装置)は、外部電源喪失時においても消火が可能となるよう、非常用所内電源設備から給電するとともに、設備の作動に必要な電源を供給する蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(5) 消火設備の警報 a. 消火設備の故障警報 ロ. (二)(1)③b.-7固定式のガス消火装置は、電源断等の故障警報を中央監視室に吹鳴する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>また、煙の二次的影響が火災1火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のロ. (二)(1)③b.-6は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (二)(1)③b.-6を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)③b.-7は、事業変更許可申請書(本文)のロ. (二)(1)③b.-7と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="329 394 842 512">□. (二)(1)③b.-8消火設備を設置した場所への移動及び操作を行うため、蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。</p> <p data-bbox="278 932 602 961">④ 火災及び爆発の影響軽減</p> <p data-bbox="299 1020 831 1276">□. (二)(1)④-1火災及び爆発の影響軽減については、安全機能を有する施設の重要度に応じ、それらを設置する火災区域又は火災区画及び隣接する火災区域又は火災区画における火災及び爆発による影響を軽減するため、以下の対策を講ずる設計とする。</p> <p data-bbox="299 1423 831 1503">火災1安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を□. (二)(1)④-2設置する</p>	<p data-bbox="973 306 1486 380">(x) 消火活動のための電源を内蔵した照明器具</p> <p data-bbox="1020 394 1486 783">安重機能を有する機器等又は放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域及び火災区画の消火設備の現場盤操作等に必要照明器具として、移動経路及び消火設備の現場盤周辺に、現場への移動時間約5分から10分及び消防法の消火継続時間20分を考慮し、1時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。</p> <p data-bbox="1124 800 1228 829">&lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="943 1339 1294 1369">(d) 火災及び爆発の影響軽減</p> <p data-bbox="973 1383 1294 1413">i. 火災及び爆発の影響軽減</p> <p data-bbox="997 1428 1486 1728">MOX 燃料加工施設の安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画内の火災及び爆発並びに隣接する火災区域又は火災区画の火災及び爆発による影響に対し、以下に記す火災及び爆発の影響軽減のための対策を講ずる設計とする。</p>	<p data-bbox="1715 352 1970 382">b. 消火用の照明器具</p> <p data-bbox="1742 396 2131 829">□. (二)(1)③b.-8火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画の消火設備の現場盤操作等に必要照明器具として、移動経路及び消火設備の現場盤周辺に、現場への移動時間に加え、消防法の消火継続時間20分を考慮し、1時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。</p> <p data-bbox="1768 846 1872 875">&lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1522 936 1863 966">5.4 火災及び爆発の影響軽減</p> <p data-bbox="1546 980 1961 1010">5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p data-bbox="1614 1024 2131 1234">□. (二)(1)④-1MOX 燃料加工施設の火災防護上重要な機器等を設置する火災区域又は火災区画及び隣接する火災区域又は火災区画における火災及び爆発による影響を軽減するため、以下の対策を講ずる設計とする。</p> <p data-bbox="1768 1293 1872 1323">&lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1546 1383 1887 1413">5.1.1 安全機能を有する施設</p> <p data-bbox="1614 1428 2131 1728">火災1火災防護上重要な機器等を□. (二)(1)④-2収納する燃料加工建屋に、耐火壁(耐火隔壁, 耐火シール, 防火扉, 延焼防止ダンパ等), 天井及び床(以下「耐火壁」という。)によって囲われた火災区域を設定する。燃料加工建屋の火災区域は、火災防護上重要な機器等の配置を考慮して設定する。</p> <p data-bbox="1768 1745 1872 1774">&lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1596 1789 2131 1862">7.1.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物</p>	<p data-bbox="2154 394 2407 695">設工認の□. (二)(1)③b.-8は、事業変更許可申請書(本文)の□. (二)(1)③b.-8を具体的に記載しており整合している。</p> <p data-bbox="2154 1024 2407 1325">設工認の□. (二)(1)④-1は、事業変更許可申請書(本文)の□. (二)(1)④-1を具体的に記載しており整合している。</p> <p data-bbox="2154 1428 2407 1682">設工認の□. (二)(1)④-2は、事業変更許可申請書(本文)の□. (二)(1)④-2と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>火災区域は、<u>ロ. (二)(1)④-3</u>他の火災区域と隣接する場合は、3時間以上の耐火能力を火災耐久試験により確認した耐火壁によって他の火災区域と分離する。</p> <p><u>ロ. (二)(1)④-4</u>また、MOX燃料加工施設における火災防護上の系統分離対策を講じる設備であるグローブボックス排気設備のグローブボックス排風機及びグローブボックス排風機の機能維持に必要な範囲の非常用所内電源設備において、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、</p>	<p>(i) 安全上重要な施設の火災区域の分離</p> <p>MOX燃料加工施設の安重機能を有する機器等を設置する火災区域は、他の火災区域と隣接する場合は3時間以上の耐火能力を火災耐久試験により確認された耐火壁によって他の区域と分離する設計とする。</p> <p>(ii) 火災防護上の系統分離対策</p> <p>MOX燃料加工施設における安全上重要な施設の中でも、火災防護上の系統分離対策が必要な機器及び当該機器を駆動又は制御するケーブルに対し、以下のいずれかの系統分離対策を講ずる設計とする。</p> <p>v. 火災防護上の系統分離対策</p> <p>MOX燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時に異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外か</p>	<p>火災区域は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>このうち、火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を<u>ロ. (二)(1)④-3</u>有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.4 火災及び爆発の影響軽減</p> <p>5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備に対する影響軽減対策</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、<u>ロ. (二)(1)④-4</u>以下のいずれかの系統分離によって、火災の影響を軽減するための対策を講ずる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1 火災等による損傷の防止に対する基本設計方針</p> <p>5.1.1 安全機能を有する施設</p> <p><u>ロ. (二)(1)④-4</u>MOX燃料加工施設の特徴(取り扱う放射性物質は固体の核燃料物質であり、運転時の異常な過渡変化を生じる工程もないこと等)を踏まえ、火災時においてもグローブボックス内を負圧に維持し、排気経路以外か</p>	<p>設工認の<u>ロ. (二)(1)④-3</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二)(1)④-3</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二)(1)④-4</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二)(1)④-4</u>を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二)(1)④-5 「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」。</p> <p>ロ. (二)(1)④-6 「互いに相違する系列間の水平距離が6 m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」又は</p>	<p>らの放射性物質の放出を防止するための以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</p> <p>(i) グローブボックス排風機</p> <p>(ii) 上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</p> <p>(ii)-1 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離</p> <p>系統分離し配置している火災防護上の系統分離対策を講じる安重機能を有する機器等は、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、耐火壁で系統間を分離する設計とする。</p> <p>(ii)-2 水平距離6 m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備は、水平距離間には仮置きするものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6 m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p>	<p>らの放射性物質の放出を防止するための以下の設備について火災防護上の系統分離対策を講ずる設計とする。</p> <p>(1) グローブボックス排風機</p> <p>(2) 上記機能の維持に必要な支援機能である非常用所内電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>(1) 火災防護上の系統分離を講じる設備に対する影響軽減対策</p> <p>a. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、火災耐久試験によりロ. (二)(1)④-5 3時間以上の耐火能力を確認した。隔壁等で系統間を分離する設計とする。</p> <p>b. 水平距離6 m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、ロ. (二)(1)④-6 互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルは、水平距離間には仮置きするものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6 m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p>	<p>設工認のロ. (二)(1)④-5は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)④-5を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)④-6は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)④-6を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二)(1)④-7 「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。</p> <p>ロ. (二)(1)④-8 ただし、火災の影響軽減のための措置を講ずる設計と同等の設計として、中央監視室の制御盤に関しては、不燃性筐体による系統別の分離対策、高感度煙感知器の設置、常駐する運転員による消火活動等により、上記設計と同等な設計とする。</p>	<p>(ii)-3 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p> <p>(iii) 中央監視室に対する火災及び爆発の影響軽減</p> <p>中央監視室は上記と同等の保安水準を確保する対策として、以下のとおり火災及び爆発の影響軽減対策を講ずる。</p> <p>中央監視室に設置する火災防護上の系統分離対策を講じる制御盤及びそのケーブルについては、以下に示す分離対策、制御盤内への火災感知器の設置及び運転員による消火活動を実施する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>c. 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離</p> <p>ロ. (二)(1)④-7 火災防護上の系統分離対策を講じる設備のうち、互いに相違する系列間の機器及びケーブル並びにこれらの近傍に敷設されるその他のケーブルを1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。</p> <p>(2) 中央監視室の火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>a. 中央監視室制御盤内の火災影響軽減対策</p> <p>ロ. (二)(1)④-8 中央監視室に設置する火災防護上の系統分離対策を講じる制御盤については、火災及び爆発の影響軽減のための措置を講ずる設計と同等の設計として、不燃性筐体による系統別の分離対策、高感度煙感知器の設置、常駐する運転員による消火活動等により、上記(1)と同等な設計とする。</p> <p>中央監視室の制御盤は、実証試験結果に基づき、異なる系統の制御盤を系統別に個別の不燃性の筐体で造る盤とすることで分離する設計とする。</p> <p>中央監視室には異なる原理の火災感知器を設置するとともに、制御盤内における火災を速やかに感知し、安全機能への影響を防止できるよう高感度煙感知器を設置する設計とする。</p> <p>中央監視室内の火災感知器により火災を感知した場合、運転員は、制御盤周辺に設置する消火器を用いて早期に消火を行うことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の ロ. (二)(1)④-7 は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)④-7を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の ロ. (二)(1)④-8 は、対象を明確にするため、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)④-8を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>中央監視室の床下のケーブルに関しては、<u>ロ. (二)(1)④-9「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」</u>、「互いに相違する系列間の水平距離が6 m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。</p>	<p>(iii)-4 中央監視室床下の影響軽減対策</p> <p>中央監視室の床下に関しては、「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」、「互いに相違する系列間の水平距離が6 m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」、又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>5.4 火災及び爆発の影響軽減</p> <p>5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>(2) 中央監視室の火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>b. 中央監視室床下の影響軽減対策</p> <p>中央監視室の床下に敷設する互いに相違する系列のケーブルに関しては、<u>ロ. (二)(1)④-9「3時間以上の耐火能力を有する耐火隔壁で互いの系列間を分離する設計」とする。</u></p> <p>(3) 換気設備に対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>火災区域境界を貫通する換気ダクトには3時間耐火性能を有する防火ダンパ及び延焼防止ダンパを設置することで、他の区域からの火災及び爆発の影響が及ばない設計とする。</p> <p>ただし、放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域は、放射性物質による汚染のおそれのある区域を常時負圧にすることで閉じ込め機能を維持する動的な閉じ込め設計とするため、耐火壁を貫通するダクトについては、鋼板ダクトにより、3時間耐火境界となるよう排気系統を形成する設計とする。</p> <p>(4) 火災発生時の煙に対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>運転員が駐在する中央監視室等の火災及び爆発の発生時の煙を換気設備により排気するため、建築基準法に基づく容量を確保する設計とする。</p> <p>また、電気ケーブルが密集する火災区域に該当する中央監視室等床下、引火性液体を取り扱う非常用発電機室及び危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所については、固定式消火設備に</p>	<p>設工認の<u>ロ. (二)(1)④-9</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二)(1)④-9</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二)(1)④-10 <u>なお、MOX燃料加工施設では爆発の発生は想定されないが、万一、爆発が発生した場合の影響軽減対策として、焼結炉及び小規模焼結処理装置（以下「焼結炉等」という。）における爆発の発生を検知し、検知後は排気経路に設置したダンパを閉止する設計とする。</u></p> <p>⑤ 火災影響評価</p> <p><u>設備等の設置状況を踏まえた可燃性物質の量等を基に、想定されるMOX燃料加工施設内の火災又は爆発ロ. (二)(1)⑤-1, 2によって、安全上重要な施設の安全機能を維持できることを、火災影響評価にて確認する。</u></p>		<p>より、早期に消火する設計とする。</p> <p>(5) 油タンクに対する火災及び爆発の影響軽減対策</p> <p>火災区域又は火災区画に設置する油タンクのうち、放射性物質を含まないMOX燃料加工施設で使用する油脂類のタンクは、ベント管により屋外へ排気する設計とする。</p> <p>(6) 焼結炉等に対する爆発の影響軽減対策</p> <p>ロ. (二)(1)④-10 <u>MOX燃料加工施設では爆発の発生は想定されないが、万一、爆発が発生した場合の影響軽減対策として、焼結炉等における爆発の発生を検知し、検知後は排気経路に設置したダンパを閉止する設計とする。</u></p> <p>5.4.2 MOX燃料加工施設の安全確保</p> <p>(1) MOX燃料加工施設の安全機能の確保対策</p> <p>a. 火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定した設計</p> <p><u>MOX燃料加工施設内の火災又は爆発によって、ロ. (二)(1)⑤-1 当該火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定しても、MOX燃料加工施設の安全性が損なわれない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 火災影響評価</p> <p>a. 火災区域又は火災区画に設置される不燃性材料で構成される構築物、系統及び機器を除く全機器の機能喪失を想定した設計に対する評価</p> <p>火災区域又は火災区画における設備等の設置状況を踏まえた可燃性物質の量等を基</p>	<p>設工認のロ. (二)(1)④-10は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)④-10と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ. (二)(1)⑤-1は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)⑤-1と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>に、想定される MOX 燃料加工施設内の火災又は爆発<sup>ロ. (二) (1) ⑤-2</sup>を考慮しても、安全上重要な施設の安全機能が維持できることとで、MOX 燃料加工施設の安全性が損なわれないことを、火災影響評価にて確認する。</p> <p>(a) 隣接火災区域に影響を与えない火災区域に対する火災伝播評価</p> <p>当該火災区域又は火災区画内に設置する全機器の動的機能喪失を想定しても、MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備の系統分離対策を考慮することにより、火災防護上の系統分離対策を講じる設備の安全機能に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、火災防護上の系統分離対策を講じる設備以外の安全上重要な施設が機能喪失するおそれのある火災区域又は火災区画は、当該火災区域又は火災区画における最も過酷な単一の火災を想定して、火災力学ツール(以下「FDTs」という。)を用いた火災影響評価を実施し、安全上重要な施設が機能を喪失しないことを確認することで、MOX 燃料加工施設の安全性が損なわれないことを確認する。</p> <p>(b) 隣接火災区域に火災の影響を与える火災区域に対する火災伝播評価</p> <p>当該火災区域又は火災区画内の火災に伴う当該火災区域又は火災区画及び隣接火災区域又は火災区画の2区画内に設置する全機器の動的機能喪失を想定しても、MOX 燃料加工施設の火災防護上の系統分離対策を講じる設備の系統分離対策を考慮することにより、火災防護上の系統分離対</p>	<p>設工認の<sup>ロ. (二) (1) ⑤-2</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>ロ. (二) (1) ⑤-2</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>ロ. (二) (1) ⑤-3</u> また、<u>MOX燃料加工施設内の火災又は爆発によって、設計基準事故が発生する場合は、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても事象が収束できる設計とし、火災影響評価にて確認する。</u></p>		<p>策を講じる設備の安全機能に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、火災防護上の系統分離対策を講じる設備以外の安全上重要な施設が機能喪失するおそれのある隣接2区域(区画)において、当該火災区域又は火災区画における最も過酷な単一の火災を想定して、「FDTs」を用いた火災影響評価を実施し、安全上重要な施設が機能を喪失しないことを確認することで、MOX燃料加工施設の安全性が損なわれないことを確認する。</p> <p>b. 設計基準事故に対処するための機器に単一故障を想定した設計に対する評価</p> <p><u>ロ. (二) (1) ⑤-3</u> 火災又は爆発によって設計基準事故が発生する可能性があるため、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても、異常状態を収束できることを火災影響評価にて確認する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.4.2 MOX燃料加工施設の安全確保</p> <p>(1) MOX燃料加工施設の安全機能の確保対策</p> <p>b. 設計基準事故に対処するための機器に単一故障を想定した設計</p> <p><u>MOX燃料加工施設内の火災又は爆発によって設計基準事故が発生する場合は、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても「5.4.1 火災及び爆発の影響軽減対策」を含む火災防護対策により異常状態が収束できる</u><u>ロ. (二) (1) ⑤-3</u> 設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ. (二) (1) ⑤-3</u> は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二) (1) ⑤-3</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑥ その他</p> <p>ロ. (二)(1)⑥「ロ. (二)(1)② 火災及び爆発の発生防止」から「ロ. (二)(1)⑤ 火災影響評価」のほか、安全機能を有する施設のそれぞれの特徴を考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</p>	<p>(e) 個別の火災区域又は火災区画における留意事項</p> <p>MOX 燃料加工施設における火災区域又は火災区画は、以下のとおりそれぞれの特徴を考慮した火災防護対策を実施する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ii. 蓄電池室</p> <p>蓄電池室は、以下のとおりの設計とする。</p> <p>(i) 通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</p> <p>ただし、常用蓄電池は、無停電電源装置等を設置している部屋に収納する設計とするが、当該蓄電池自体は厚さ 1.6mm 以上の鋼板製筐体に収納し、当該室に設置する安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等への火災又は爆発による影響を防止する設計とする。</p> <p>本方式は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」（SBA G 0603-2012）「4. 1 蓄電池室」の種類のうち、キュービクル式（蓄電池をキュービクルに収納した蓄電池設備）に該当し、指針に適合させることで安全性を確保する設計とする。</p> <p>(ii) 蓄電池室の蓄電池は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」（SBA G 0603-2012）に基づき、蓄電池室の換気を行う排風機を水素ガスの排気に必要な換気量以上となるよう設計することによって、蓄電池室内及び蓄電池内の水素濃度を 2 vol% 以下に維持する設計とする。</p>	<p>5. 2. 2 MOX 燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</p> <p>ロ. (二)(1)⑥通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</p> <p>ロ. (二)(1)⑥ただし、蓄電池が無停電電源装置等を設置している室と同じ室に収納する場合は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」（SBA G 0603）に適合するよう、鋼板製筐体に収納し、水素ガス滞留を防止するため蓄電池室を機械換気により排気することによって火災又は爆発を防止する設計とする。</p>	<p>設工認の</p> <p>ロ. (二)(1)⑥は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二)(1)⑥を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(iii) <u>蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中央監視室の監視制御盤に警報を発する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>vi. 低レベル廃液処理設備並びに固体廃棄物保管第1室及び第2室</p> <p>(ii) <u>放射性物質を含んだフィルタ類及びその他の雑固体は、処理を行うまでの間、金属製容器に封入し、保管する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>iv. 中央監視室等</p> <p>(ii) <u>中央監視室等のカーペットは、消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p><u>ロ. (ニ)(1)⑥蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p><u>ロ. (ニ)(1)⑥廃棄物の保管にあたり、放射性物質を含んだフィルタ類及びその他の雑固体は、処理を行うまでの間、金属製容器に封入し、保管する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p><u>ロ. (ニ)(1)⑥電気室は、電源供給のみに使用する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>ロ. (ニ)(1)⑥また、中央監視室等及び緊急時対策建屋の対策本部室の床面は、消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認したカーペットを使用する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(2) 重大事故等対処施設の火災及び爆発の防止</p> <p><u>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>① 基本事項</p> <p>a. 火災区域及び火災区画の設定</p> <p><u>重大事故等対処施設をロ.(ニ)(2)①a.-1設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して火災区域及び火災区画を設定する。</u></p>	<p>イ. 安全設計</p> <p>(ロ) 安全機能を有する施設</p> <p>(4) 火災及び爆発に関する安全設計</p> <p>① 火災及び爆発に関する設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 重大事故等対処施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計</p> <p>(a) 火災及び爆発の防止に関する設計方針</p> <p><u>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、重大事故等対処施設を設置する区域を火災区域及び火災区画に設定し、火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>i. 火災区域及び火災区画の設定</p> <p><u>重大事故等対処施設を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して火災区域及び火災区画を設定する。</u></p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>第1章 共通項目</p> <p>5. 火災等による損傷の防止</p> <p>5.1 火災等による損傷の防止に対する基本設計方針</p> <p>5.1.2 重大事故等対処施設</p> <p><u>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設をロ.(ニ)(2)①a.-1収納する建屋の火災区域は、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して設定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>火災区画ロ.(ニ)(2)①a.-1は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のロ.(ニ)(2)①a.-1は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(2)①a.-1を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能 <u>ロ.(ニ)(2)①a.-2</u>を損なうおそれがないよう、火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>火災防護対策を講ずる設計 <u>ロ.(ニ)(2)①a.-3</u>を行うに当たり、</p> <p>重大事故等対処施設を <u>ロ.(ニ)(2)①a.-4</u>設置する区域を火災区域及び火災区画に設定する。</p>	<p>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>火災防護対策を講ずる設計を行うに当たり、</p> <p>重大事故等対処施設を設置する区域を火災区域及び火災区画に設定する。</p>	<p>5.1.2 重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能 <u>ロ.(ニ)(2)①a.-2</u>が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、<u>火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.2 重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設は、火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、<u>火災防護対策を講ずる設計 <u>ロ.(ニ)(2)①a.-3</u>とする。</u></p> <p>重大事故等対処施設を <u>ロ.(ニ)(2)①a.-4</u> 収納する建屋の火災区域は、<u>重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して設定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>火災区画 <u>ロ.(ニ)(2)①a.-4</u> は、<u>建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-2</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-3</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-4</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ニ)(2)①a.-4</u> を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p><u>屋外の重大事故等対処施設を設置する区域については、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p> <p><u>火災区画は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置等を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設のうち常設のものに対して火災区域及び火災区画を設定する。</u></p>	<p><u>火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有することを確認した耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</u></p> <p><u>屋外の重大事故等対処施設を設置する区域については、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p> <p><u>火災区画は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置等を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>7.1.1 火災防護設備</p> <p>7.1.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物</p> <p>また、重大事故等対処施設を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.2 重大事故等対処施設</p> <p><u>屋外の重大事故等対処施設を設置する区域については、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して周囲からの延焼防止のために火災区域を設定する。</u></p> <p><u>火災区画は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故に対処するための設備の配置を考慮して、耐火壁又は離隔距離に応じて細分化して設定する。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設のうち常設のものに対して火災区域及び火災区画を設定し、火災区域及び火災区画における火災防護対策に当たっては、「NFPA801」を参考にMOX燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等対処施設のうち常設のものに対して火災区域及び火災区画を設定し、</u></p> <p><u>火災及び爆発の発生防止並びに火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備のうち、動的機器の故障等の機能喪失の要因となる事象（以下「内的事象」という。）を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備は、関連する工程を停止することにより重大事故に至らずその機能を必要としないため、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づきロ. (二) (2) ①a. -5 設備等に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p>	<p><u>常設重大事故等対処設備のうち、外部からの影響を受ける事象（以下「外的事象」という。）以外の動的機器の故障、及び静的機器の損傷等（以下「内的事象」という。）を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備であり、必要に応じて関連する工程を停止することにより重大事故に至らずその機能を必要としないものについては、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備等に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p>	<p><u>重大事故等対処施設のうち常設のものに対して火災区域及び火災区画を設定し、火災区域及び火災区画における火災防護対策に当たっては、「NFPA801」を参考に MOX 燃料加工施設の特徴を踏まえた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>具体的な対策については「火災防護審査基準」及び「内部火災影響評価ガイド」を参考として MOX 燃料加工施設の特徴及びその重要度を踏まえ、火災及び爆発の発生防止並びに火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>ただし、重大事故等対処設備のうち、動的機器の故障等の機能喪失の要因となる事象（以下「内的事象」という。）を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備は、関連する工程を停止することにより重大事故に至らずその機能を必要としないため、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づきロ. (二) (2) ①a. -5 設備に応じた火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>なお、重大事故等対処設備のうち、可搬型のものに対する火災防護対策については、火災防護計画に定めて実施する。</u></p>	<p>設工認のロ. (二) (2) ①a. -5 は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (二) (2) ①a. -5 を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(二)(2)①a.-6)なお、重大事故等対処施設のうち、可搬型のものに対する火災防護対策についてはロ.(二)(2)①a.-7)、火災防護計画に定めて実施する。</p> <p>b. 火災防護計画</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)火災防護計画は、「ロ.(二)(1)①f. 火災防護計画」に示す。</p>	<p>なお、重大事故等対処施設のうち、可搬型のもの(以下「可搬型重大事故等対処設備」という。)に対する火災防護対策については、火災防護計画に定める。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ii. 火災防護計画</p> <p>火災防護計画は、「イ.(ロ)(4)①a.(a) vi. 火災防護計画」に示す。</p>	<p>5.1.3 火災防護計画</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(二)(2)①a.-6)重大事故等対処施設のうち、可搬型のものに対する火災防護対策についてロ.(二)(2)①a.-7)火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.3 火災防護計画</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)MOX 燃料加工施設全体を対象とした火災防護対策を実施するため、火災防護計画を策定する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)重大事故等対処施設については、火災及び爆発の発生防止並びに火災の早期感知及び消火に必要な運用管理を含む火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)その他施設については、消防法、建築基準法、都市計画法及び日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)重大事故等対処設備のうち、可搬型のものに対する火災防護対策については、火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>ロ.(二)(2)①b.-1)敷地及び敷地周辺で想定される自然現象並びに人為事象による火災及び爆発(以下「外部火災」という。)について</p>	<p>設工認のロ.(二)(2)①a.-6)は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)①a.-6)と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)①a.-7)は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認のロ.(二)(2)①b.-1)は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)①b.-1)を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>② 火災及び爆発の発生防止</p> <p>a. MOX燃料加工施設内の火災及び爆発の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生を防止するため、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策<sup>ロ. (二) (2) ②a. -1</sup>、空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</p>	<p>(b) 重大事故等対処施設に対する火災及び爆発の発生防止</p> <p>i. 施設特有の火災及び爆発の発生防止</p> <p>重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止については、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策、空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>は、安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設を外部火災から防護するための運用等についての火災防護の計画を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>5.2 火災及び爆発の発生防止</p> <p>5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止</p> <p>MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生を防止するため、MOX燃料加工施設で取り扱う化学薬品等のうち、可燃性物質若しくは熱的に不安定な物質を使用する系統及び機器に対する着火源の排除、異常な温度上昇の防止対策、可燃性物質の漏えい防止対策<sup>ロ. (二) (2) ②a. -1</sup>及び空気の混入防止対策を講ずる設計とするとともに、熱的制限値を設ける設計とする。</p> <p>なお、MOX燃料加工施設の分析設備で取り扱う化学薬品等は少量であることから、化学的制限値の設定は不要とする設計とする。</p> <p>水素ガスを使用する焼結炉及び小規模焼結処理装置(以下「焼結炉等」という。)は燃料加工建屋に受け入れる水素・アルゴン混合ガス中の水素最高濃度(9.0vol%)を設定する。</p> <p>焼結炉等に供給する水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度が9.0vol%を超えないよう、以下の対策を講ずる設計とする。</p> <p>(1) エネルギー管理建屋に設置する水素・アルゴン混合ガスの製造系統と燃料加工建屋への供給系統とを物理的に分離する設計とする。</p> <p>(2) 燃料加工建屋で使用する水素・アルゴン混合ガスは、水素濃度を9.0vol%以下に調整し、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填する設計とする。</p>	<p>設工認の<sup>ロ. (二) (2) ②a. -1</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ. (二) (2) ②a. -1</sup>の内容と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>(3) エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器に圧縮充填した水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度を確認した上で、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器を燃料加工建屋への供給系統に接続する設計とする。</p> <p>さらに、燃料加工建屋への供給系統の接続口は、エネルギー管理建屋に設置する混合ガス貯蔵容器以外が接続できない設計とする。</p> <p>(4) 燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を確認し、万一、水素濃度が9.0vol%を超える場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。</p> <p>なお、焼結炉等は、水素・アルゴン混合ガスにより焼結ペレットを還元させることを目的としており、可燃性ガスを燃焼させずに炉内を加熱する設計とするが、焼結炉等の加熱を停止する場合は、可燃性ガスの供給を自動的に停止する設計とする。</p> <p>分析試薬については、少量ではあるが可燃性試薬及び引火性試薬を含む多種類の分析試薬を取り扱うため、保管及び取扱いに係る火災及び爆発の発生防止対策を講ずる設計とする。</p> <p>安全上重要な施設及び重大事故等対処施設のうち、MOX粉末を取り扱うグローブボックス内を窒素雰囲気とすることで、火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (二) (2) ②a. -2 また、上記に加え</p> <p><u>発火性物質又は引火性物質を内包する設備</u> に対し <u>ロ. (二) (2) ②a. -3</u> する火災及び爆発の <u>ロ. (二) (2) ②a. -4</u> 発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気、漏えい検出対策及び接地対策、電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</p>	<p>ii. <u>重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止</u></p> <p><u>重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止については、発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画に対する火災及び爆発の発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策、接地対策、空気の混入防止対策並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>(i) <u>発火性物質又は引火性物質</u></p> <p><u>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画には、以下の火災及び爆発の発生防止対策を講ずる設計とする。発火性物質又は引火性物質としては、消防法で定められる危険物又は少量危険物として取り扱うものうち「潤滑油」、「燃料油」に加え、</u> <u>高圧ガス保安法で高圧ガスとして定められる水素、窒素、二酸化炭素、アルゴン、NOx、プロパン及び酸素のうち、可燃性ガスである「水素」及び上記に含まれない「分析試薬」を対象とする。</u></p>	<p>5. 2. 2 <u>ロ. (二) (2) ②a. -2</u> <u>MOX 燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</u></p> <p><u>発火性物質又は引火性物質を内包する設備及びこれらの設備を設置する火災区域又は火災区画に対し</u> <u>ロ. (二) (2) ②a. -3</u> <u>して火災及び爆発の発生防止対策を講ずるとともに、可燃性の蒸気又は可燃性の微粉に対する対策、発火源に対する対策、水素に対する換気、漏えい検出対策及び接地対策、電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策等を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ②a. -4</u> <u>火災及び爆発の発生防止における発火性物質又は引火性物質に対する火災及び爆発の発生防止対策は、火災区域又は火災区画に設置する潤滑油又は燃料油を内包する設備に加え、MOX 燃料加工施設で取り扱う物質として、水素を内包する設備及び分析試薬を取り扱う設備を対象とする。</u></p>	<p>設工認の <u>ロ. (二) (2) ②a. -2</u> は、火災防護対策について項を分割した記載としたため、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (2) ②a. -2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ. (二) (2) ②a. -3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (2) ②a. -3</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ. (二) (1) ②a. -4</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (1) ②a. -4</u> の「発生防止対策」を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>なお、分析試薬については、「5.2.1 施設特有の火災及び爆発の発生防止」に示す分析試薬に対する対策と同様の設計とする。</p> <p>潤滑油又は燃料油を内包する設備(以下「油内包設備」という。)は、溶接構造又はシール構造により漏えい防止対策を講ずる設計とするとともに、オイルパン又は堰を設置し、漏えいした潤滑油又は燃料油が拡大することを防止する設計とする。</p> <p>油内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は離隔による配置上の考慮を行う設計とする。</p> <p>油内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、機械換気又は自然換気を行う設計とする。</p> <p>発火性物質又は引火性物質を貯蔵する機器は、運転に必要な量に留めて貯蔵する設計とする。</p> <p>水素を内包する設備(以下「可燃性ガス内包設備」という。)は、溶接構造等により可燃性ガスの漏えいを防止する設計とする。</p> <p>可燃性ガス内包設備の火災又は爆発により、火災及び爆発の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう耐火壁、隔壁の設置又は離隔による配置上の考慮を行う設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(i)-3-2 発火性物質又は引火性物質である可燃性ガス内包設備</p> <p>火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質である可燃性ガスのうち、水素を内包する設備である焼結炉等、充電時に水素を発生する蓄電池を設置又は使用する火災区域又は火災区画は、<u>火災及び爆発の発生を防止するために、換気を行う設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(iv) 水素対策</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>また、蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央監視室に警報を発する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における可燃性ガスに対する換気のため、可燃性ガス内包設備を設置する火災区域又は火災区画は、<u>機械換気を行う設計とする。</u></p> <p>このうち、蓄電池を設置する火災区域は、機械換気を行うことにより、水素濃度を燃焼限界濃度以下とするよう設計する。</p> <p>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池室の上部に水素ガス漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p> <p>通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</p> <p>ただし、蓄電池が無停電電源装置等を設置している室と同じ室に収納する場合は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」(SBA G 0603)に適合するよう、鋼板製管体に収納し、水素ガス滞留を防止するため蓄電池室を機械換気により排気することで火災又は爆発を防止する設計とする。</p> <p>蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(i)-4 防爆</p> <p><u>火災区域に対する防爆</u>について、以下の設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>(i)-4-1-2 工場電気設備防爆指針における危険箇所には該当しないが、<u>火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質の有機溶媒等を内包する設備の漏えいにより、環境条件が「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気となるおそれのある機器を設置する室の電気接点を有する機器は防爆構造とする設計とする。</u></p> <p><u>また、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p>(ii) 可燃性蒸気・微粉の対策</p> <p>火災区域における可燃性の蒸気又は可燃性の微粉が発生するおそれがある設備については以下の設計とする。</p>	<p>焼結炉等は工程室内に設置するが、排ガス処理装置を介して、グローブボックス排気設備のグローブボックス排風機による機械換気を行う設計とすることで、万一の工程室内への漏えいに対しても、水素・アルゴン混合ガスが滞留しない設計とする。</p> <p>水素・アルゴン混合ガスを内包する焼結炉等に水素・アルゴン混合ガスを供給し、高温状態でグリーンペレットを焼結することから、これらの系統及び機器を設置する工程室に水素ガス漏えい検知器を設置し、中央監視室及び制御第1室並びに制御第4室(以下「中央監視室等」という。)に警報を発する設計とする。</p> <p><u>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止における防爆及び接地対策として、火災区域又は火災区画に設置する発火性物質又は引火性物質を内包する設備は、溶接構造の採用、機械換気等により、「電気設備に関する技術基準を定める省令」第六十九条及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気とならない設計とするとともに、発火性物質又は引火性物質を内包する設備からの漏えいを考慮して、漏えいの可能性のある機器を設置する室の電気接点を有する機器は、防爆構造とする設計とし、静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</u></p> <p>水素・アルゴン混合ガスを取り扱う系統及び機器のうち、漏電により着火源となるおそれのある機器及び静電気の発生のおそれのある機器は接地を施す設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(ii)-1 可燃性蒸気が滞留するおそれがある機器  <u>火災区域における現場作業において有機溶剤を使用する場合は必要量以上持ち込まない運用とするとともに、可燃性の蒸気が滞留するおそれがある場合は、使用する作業場所において、換気、通風、拡散の措置を行うとともに、建屋の送風機及び排風機による機械換気により滞留を防止する設計とする。</u></p> <p>(ii)-2 可燃性微粉が滞留するおそれがある機器  <u>MOX 燃料加工施設において、可燃性の微粉が滞留するおそれがある設備として燃料棒解体設備の燃料棒解体装置の切断機があるが、燃料棒の切断時にジルカロイ粉末が発生しないよう、燃料棒（被覆管端栓部）は押切機構の切断機（パイプカッタ）を用いて切断し、ペレットを抜き取った後の燃料棒（被覆管部）は押切機構の切断機（鉄筋カッタ）を用いて切断を行う設計とする。</u></p> <p>(iii) 発火源への対策  <u>火花の発生を伴う設備は、発生する火花が発火源となることを防止する設計とするとともに、周辺に可燃性物質を保管しないこととする。</u>  &lt;中略&gt;</p>	<p><u>ロ. (二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、火災区域における現場作業において、可燃性の蒸気が滞留しないように建屋の送風機及び排風機による機械換気により滞留を防止する設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)②a.-4 また、火災区域における現場作業において、有機溶剤を使用する場合は必要量以上持ち込まない運用とし、可燃性の蒸気が滞留するおそれがある場合は、換気、通風又は拡散の措置を行うことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、可燃性の微粉が滞留するおそれがある設備として燃料棒解体設備の燃料棒解体装置の切断機は、燃料棒の切断時にジルカロイ粉末が発生しないよう、燃料棒（被覆管端栓部）は押切機構の切断機（パイプカッタ）を用いて切断し、ペレットを抜き取った後の燃料棒（被覆管部）は押切機構の切断機（鉄筋カッタ）を用いて切断を行うことにより、可燃性の微粉による火災及び爆発の発生を防止する設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、発火源への対策として火花の発生を伴う設備は、発生する火花が発火源となることを防止する設計とするとともに、周辺に可燃性物質を保管しないことを保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>また、高温となる設備は、高温部を断熱材、耐火材で覆うこと又は冷却することにより、可燃性物質との接触及び可燃性物質の加熱を防止する設計とする。</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(v) 空気の混入防止対策</p> <p><u>焼結炉等, 水素・アルゴン混合ガスを使用する機器の接続部は, 溶接構造又はフランジ構造により空気が混入することを防止する設計とする。</u></p>	<p>焼結炉等及びスタック乾燥装置は, 運転中は温度監視を行うとともに, 温度制御機器により温度制御を行う設計とする。</p> <p>廃棄物の保管にあたり, 放射性物質を含んだフィルタ類及びその他の雑固体は, 処理を行うまでの間, 金属製容器に封入し, 保管する設計とする。</p> <p><u>ロ.(ニ)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため, 空気の混入防止対策として, 焼結炉等, 水素・アルゴン混合ガスを使用する機器の接続部は, 溶接構造又はフランジ構造により空気が混入することを防止する設計とする。</u></p> <p>また, 水素・アルゴン混合ガスを受け入れる配管には, 逆止弁を設置し, 配管が破断した場合に空気が焼結炉等内に混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結炉は, 出入口に入口真空置換室及び出口真空置換室を設け, 容器を出し入れする際に置換室を水素・アルゴン混合ガス雰囲気置換し, 焼結炉内にグローブボックス雰囲気が混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結時の焼結炉内への空気の混入を監視するため酸素濃度計を設置し, 空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに, 中央監視室及び制御第 1 室に警報を発する設計とする。</p> <p>小規模焼結処理装置は, 容器を炉内へ装荷し, 炉蓋を閉じた後, 炉内雰囲気を水素・アルゴン混合ガス雰囲気に置換する設計とする。</p> <p>また, 焼結時は炉内へ空気が混入することを防止する設計とする。</p> <p>焼結時の小規模焼結処理装置内への空気の</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>b. 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>MOX燃料加工施設の建物は、耐火構造又は不燃性材料で造られたものとするとともに、必要に応じて防火壁の設置その他の適切な防火措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設の</u>ロ.(二)(2)②b.-1<u>機器等のうち、主要な構造材、</u></p>	<p>(vi) 過電流による過熱防止対策</p> <p><u>MOX燃料加工施設内の電気系統に対する過電流による過熱及び焼損の防止対策として、電気系統は、機器の損壊、故障及びその他の異常を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障の影響を局所化できるとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p> <p>iii. 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>また、構築物、系統及び機器の機能を確保するために代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該系統及び機器における火災に起因して、他の重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>混入を監視するため酸素濃度計を設置し、空気の混入が検出された場合にはヒータ電源を自動で遮断し不活性のアルゴンガスで掃気するとともに、中央監視室等に警報を発する設計とする。</p> <p><u>ロ.(二)(1)②a.-4 火災及び爆発の発生防止のため、電気系統は、機器の損壊、故障及びその他の異常を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障の影響を局所化するとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p> <p>電気室は、電源供給のみに使用する設計とする。</p> <p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>MOX燃料加工施設の建物は、耐火構造又は不燃性材料で造られたものとするとともに、必要に応じて防火壁の設置その他の適切な防火措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計若しくは代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災及び爆発に起因して、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ. (ニ) (2) ②b. -2 ケーブル</p>	<p>(iii) 難燃ケーブルの使用</p> <p>重大事故等対処施設及び安重機能を有する機器等のうちグローブボックス内に使用するケーブルは、実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383-1974 又は IEEE1202-1991 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581（Fourth Edition）1080 VW-1 UL 垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</p> <p>ただし、機器の性能上の理由から実証試験にて延焼性及び自己消火性を確認できないケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性能を有する材料を使用する設計とする。</p>	<p>なお、焼結炉等の炉体及び閉じ込めの境界を構成する部材は、耐熱性を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のロ. (ニ) (2) ②b. -1 うち、機器、配管、ダクト、ケーブルトレイ、電線管及び盤の筐体並びにこれらの支持構造物の主要な構造材は、金属材料又はコンクリートを使用する設計とする。</p> <p>ただし、配管等のパッキン類は、その機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難であるため、金属で覆われた狭隘部に設置し直接火炎に晒されることのない設計とする。</p> <p>また、金属に覆われたポンプ及び弁の駆動部の潤滑油並びに金属に覆われた機器内部のケーブルは、発火した場合でも他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に延焼しないことから、不燃性材料又は難燃性材料ではない材料を使用する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>火災防護上重要な機器等及びグローブボックス（安全上重要な施設）内機器並びに重大事故等対処施設ロ. (ニ) (2) ②b. -2 に使用するケーブルには、実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383 又は IEEE1202 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581 垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</p> <p>ただし、機器等の性能上の理由から実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルをやむを得ず使用する場合には、金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護又は</p>	<p>設工認のロ. (ニ) (2) ②b. -1 は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (ニ) (2) ②b. -1 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ. (ニ) (2) ②b. -2 は、事業変更許可申請書（本文）のロ. (ニ) (2) ②b. -2 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="350 659 804 695">ロ. (二) (2) ②b. -3 換気設備のフィルタ、</p> <p data-bbox="350 1016 670 1052">ロ. (二) (2) ②b. -4 保温材、</p> <p data-bbox="350 1331 736 1367">ロ. (二) (2) ②b. -5 建屋内装材及び</p>	<p data-bbox="914 302 1486 558">具体的には、ケーブルに対し、<u>金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護、専用の電線管に敷設等の措置を講ずることにより、他の重大事故等対処施設及び設計基準事故に対処するための設備において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u></p> <p data-bbox="863 617 1486 831">(iv) 換気フィルタに対する不燃性材料及び難燃性材料の使用 「<u>イ. (ロ) (4) ① a. (b) iii. (iv) 換気設備のフィルタに対する不燃性材料及び難燃性材料の使用</u>」の基本方針を適用する。</p> <p data-bbox="863 974 1486 1094">(v) 保温材に対する不燃性材料の使用 「<u>イ. (ロ) (4) ① a. (b) iii. (v) 保温材に対する不燃性材料の使用</u>」の基本方針を適用する。</p> <p data-bbox="863 1289 1486 1461">(vi) 建屋内装材に対する不燃性材料の使用 「<u>イ. (ロ) (4) ① a. (b) iii. (vi) 建屋内装材に対する不燃性材料の使用</u>」の基本方針を適用する。</p>	<p data-bbox="1605 302 2131 604">専用の電線管に敷設等の措置を講じた上で、<u>難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認した上で使用する設計とすることで、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u></p> <p data-bbox="1605 659 2131 919">火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の<u>ロ. (二) (2) ②b. -3</u>うち、<u>換気設備のフィルタは、不燃性材料又は「JACA No. 11A(空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針(公益社団法人日本空気清浄協会))」により難燃性を満足する難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p data-bbox="1605 1016 2131 1234">火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設<u>ロ. (二) (2) ②b. -4</u>に対する保温材は、<u>平成 12 年建設省告示第 1400 号に定められたもの又は建築基準法で不燃性材料として定められたものを使用する設計とする。</u></p> <p data-bbox="1605 1331 2131 1682">火災防護上重要な機器等及び<u>ロ. (二) (2) ②b. -5</u>重大事故等対処施設を設置する建屋の建屋内装材は、<u>建築基準法に基づく不燃性材料若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料又は消防法に基づく防災物品若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p> <p data-bbox="1605 1692 2131 1856">ただし、塗装は当該場所における環境条件を考慮したものとする。管理区域の床及び壁は、<u>耐汚染性、除染性、耐摩耗性等を考慮したコーティング剤を不燃性材料であるコンクリート</u></p>	<p data-bbox="2148 659 2415 919">設工認の<u>ロ. (二) (2) ②b. -3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ②b. -3</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p data-bbox="2148 1016 2415 1276">設工認の<u>ロ. (二) (2) ②b. -4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ②b. -4</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p data-bbox="2148 1331 2415 1591">設工認の<u>ロ. (二) (2) ②b. -5</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ②b. -5</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(二)(2)②b.-6 遮蔽材は、</p> <p>ロ.(二)(2)②b.-7 可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。</p> <p>ロ.(二)(2)②b.-8 また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該重大事故等対処施設における火災及び爆発に起因して、他の重大事故等対処施設の火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p>	<p>(vii) 遮蔽材に対する不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p>「イ.(ロ)(4)①a.(b)iii.(vii) 遮蔽材に対する不燃性材料又は難燃性材料の使用」の基本方針を適用する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>iii. 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p>重大事故等対処施設は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。</p> <p>また、構築物、系統及び機器の機能を確保するために代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該系統及び機器における火災に起因して、他の重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>表面に塗布すること、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらないこと、燃料加工建屋内に設置する火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設には不燃性材料又は難燃性材料を使用し、周辺における可燃性物質を管理することから、難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>また、中央監視室等及び緊急時対策建屋の対策本部室の床面は、消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認したカーペットを使用する設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(二)(2)②b.-6 に使用する遮蔽材は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</p> <p>なお、可燃性の遮蔽材を使用する場合は、不燃性材料又は難燃性材料で覆う設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設ロ.(二)(2)②b.-7 は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの(以下「代替材料」という。)を使用する設計</p> <p>ロ.(二)(2)②b.-8 若しくは代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該機器等における火災及び爆発に起因して、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</p>	<p>設工認のロ.(二)(2)②b.-6 は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)②b.-6 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のロ.(二)(2)②b.-7 は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)②b.-7 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(二)(2)②b.-8 は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(二)(2)②b.-8 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>放射性物質を内包するグローブボックス等のうち、閉じ込め機能を喪失することでMOX燃料加工施設の安全性を損なうおそれのあるものについては、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処施設に使用するケーブルには、実証試験により延焼性及び自己消火性を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ②b. -9</u>重大事故等対処施設に使用するケーブルのうち、機器等の性能上の理由からやむを得ず実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルは、金属製の筐体等に収納する、延焼防止材により保護することにより、他の重大事故等対処施設及び設計基準事故に対処するための設備において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</p> <p><u>建屋内ロ. (二) (2) ②b. -10</u>の変圧器及び遮断器は、絶縁油等の可燃性物質を内包していないものを使用する設計とする。</p>	<p><u>核燃料物質を非密封で取り扱う機器を収納するグローブボックス等は、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p>(iii) 難燃ケーブルの使用</p> <p><u>重大事故等対処施設及び安重機能を有する機器等のうちグローブボックス内に使用するケーブルは、実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383-1974 又は IEEE1202-1991 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581（Fourth Edition）1080 VW-1 UL 垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、機器の性能上の理由から実証試験にて延焼性及び自己消火性を確認できないケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性能を有する材料を使用する設計とする。</u></p> <p><u>具体的には、ケーブルに対し、金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護、専用の電線管に敷設等の措置を講ずることにより、他の重大事故等対処施設及び設計基準事故に対処するための設備において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(ii) 変圧器及び遮断器に対する絶縁油の内包</p> <p><u>重大事故等対処施設のうち、建屋内に設置する変圧器及び遮断器は絶縁油を内包しない乾式を使用する設計とする。</u></p>	<p><u>放射性物質を内包するグローブボックス等のうち、閉じ込め機能を喪失することでMOX燃料加工施設の安全性を損なうおそれのあるものについては、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とする。</u></p> <p>火災防護上重要な機器等及びグローブボックス（安重機能を有する機器等）内機器並びに<u>重大事故等対処施設に使用するケーブルには、実証試験により延焼性（米国電気電子工学学会規格 IEEE383 又は IEEE1202 垂直トレイ燃焼試験）及び自己消火性（UL1581 垂直燃焼試験）を確認したケーブルを使用する設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ②b. -9</u>ただし、機器等の性能上の理由から実証試験により延焼性及び自己消火性が確認できないケーブルをやむを得ず使用する場合には、金属製の筐体等に収納、延焼防止材により保護、専用の電線管に敷設等の措置を講じ、<u>難燃ケーブルを使用した場合と同等以上の難燃性能があることを実証試験により確認した上で使用する設計とすること</u>で、他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災及び爆発が発生することを防止する設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設のうち、<u>建屋内ロ. (二) (2) ②b. -10</u>に設置する変圧器及び遮断器は<u>絶縁油を内包しない乾式を使用する設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ②b. -9</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ②b. -9</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ②b. -10</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ②b. -10</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>c. 落雷，地震等の自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -1</u> 重大事故時にMOX燃料加工施設の敷地及びその周辺での発生の可能性，重大事故等対処施設への影響度，事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から，重大事故時に重大事故等対処施設に影響を与えるおそれがある事象として，地震，津波，落雷，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害である。</p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -2</u> これらの自然現象のうち，MOX燃料加工施設で火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷，地震，竜巻（風（台風）を含む。）について，これらの現象によって火災及び爆発が発生しないように，以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p><u>落雷による火災及び爆発の発生を防止するため，建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>各構築物に設置する避雷設備は，接地系と接続することにより，接地抵抗の低減及び雷撃に伴う接地系の電位分布の平坦化を図る設計とする。</u></p>	<p>iv. 落雷，地震等の自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>重大事故時におけるMOX燃料加工施設の敷地及びその周辺での発生の可能性，重大事故等対処施設への影響度，事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から，重大事故時に重大事故等対処施設に影響を与えるおそれがある事象として，地震，津波，落雷，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>したがって，MOX燃料加工施設で火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象として，落雷，地震，竜巻（風（台風）含む。）及び森林火災について，これらの自然現象によって火災及び爆発が発生しないように，以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(i) 落雷による火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>落雷による火災及び爆発の発生を防止するため，「原子力発電所の耐雷指針」（JEAG4608），建築基準法及び消防法に基づき，日本産業規格に準拠した避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p><u>各々の防護対象施設に設置する避雷設備は，接地系と接続することにより，接地抵抗の低減及び雷撃に伴う接地系の電位分布の平坦化を図る設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止</p> <p>火災防護上重要な機器等及び</p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -1</u> 重大事故等対処施設に対する自然現象として，地震，津波，落雷，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害を考慮する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -2</u> 重大事故等対処施設は，考慮する自然現象のうち，火災及び爆発を発生させるおそれのある落雷，地震，竜巻（風（台風）を含む。）及び森林火災について，これらの現象によって火災及び爆発が発生しないように，以下のとおり火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>重大事故等対処施設に対して火災及び爆発を発生させるおそれのある自然現象のうち，落雷による火災及び爆発の発生を防止するため，<u>建築基準法及び消防法に基づき避雷設備を設置する設計とする。</u></p> <p>重大事故等対処施設を収納する各構築物に設置する避雷設備は，<u>接地系と接続することにより，接地抵抗の低減及び雷撃に伴う構内接地系の電位分布の平坦化を図る設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ② c. -1</u> は，事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ② c. -1</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ② c. -2</u> は，事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ② c. -2</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等対処施設は、<u>ロ. (二) (2) c. -3</u> <u>耐震設計上の重要度分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とする</u>とともに、<u>事業許可基準規則第二十五条に示す要求を満足するよう、「事業許可基準規則の解釈」に従い耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -4</u> <u>竜巻（風（台風）を含む。）について、重大事故等対処施設は、重大事故時の竜巻（風（台風）を含む。）の影響により火災及び爆発が発生することがないように、竜巻防護対策を行う設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -5</u> <u>なお、森林火災については、防火帯により、重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止を講ずる設計とする。</u></p>	<p>(ii) 地震による火災及び爆発の発生防止  <u>重大事故等対処施設は、耐震設計上の重要度分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する。</u>  <u>耐震については事業許可基準規則の第二十五条に示す要求を満足するよう、事業許可基準規則の解釈に従い耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p>(iii) 竜巻（風（台風）を含む。）による火災及び爆発の発生防止  <u>重大事故等対処施設は、重大事故時の竜巻（風（台風）を含む。）の影響により火災及び爆発が発生することがないように、竜巻防護対策を行う設計とする。</u></p> <p>(iv) 森林火災による火災及び爆発の発生防止  <u>森林火災については、防火帯により、重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止を講ずる設計とする。</u></p>	<p>重大事故等対処施設は、<u>ロ. (二) (2) c. -3</u> <u>重大事故等対処施設の設備分類に応じた地震力が作用した場合においても支持することができる地盤に設置し、自らの破壊又は倒壊による火災及び爆発の発生を防止する設計とする</u>とともに、<u>加工施設の技術基準に関する規則に従い、耐震設計を行う設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -4</u> <u>重大事故等対処施設は、竜巻（風（台風）を含む。）の影響により火災及び爆発が発生することがないように、竜巻防護対策を行う設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) c. -5</u> <u>森林火災については、防火帯により、重大事故等対処施設の火災及び爆発の発生防止を講ずる設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ② c. -3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ② c. -3</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ② c. -4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ② c. -4</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ② c. -5</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (二) (2) ② c. -5</u>と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>③ 火災の感知, 消火</p> <p>a. 早期の火災感知及び消火</p> <p><u>火災の感知及び消火は, 重大事故等対処施設に対する火災の影響を限定し, 早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p>火災感知設備及び消火設備は, <u>ロ. (二) (2) ③ a. -1 「ロ. (二) (2) ② b. 落雷, 地震等の自然現象による火災及び爆発の発生防止」で抽出した自然現象に対して, 火災感知及び消火の機能, 性能が維持できる設計とする。</u></p> <p>火災感知設備及び消火設備は, <u>火災区域及び火災区画に設置した重大事故等対処施設が地震による火災を想定する場合においてはロ. (二) (2) ③ a. -2 耐震設計上の重要度分類に応じて機能を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ③ a. -3 また, 消火設備は, 破損, 誤作動又は誤操作が起きた場合のほか, 火災感知設備の破損, 誤作動又は誤操作が起きたことにより消火設備が作動した場合においても, 重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>(c) 火災の感知, 消火</p> <p><u>火災の感知及び消火については, 重大事故等対処施設に対して, 早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p>また, <u>グローブボックス内に対しても, 早期に火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p>このうち, <u>火災感知設備及び消火設備が, 地震等の自然現象に対して, 火災感知及び消火の機能, 性能が維持され,</u></p> <p>かつ, <u>重大事故等対処施設の耐震重要度分類に応じて, 機能を維持できる設計とすることを「イ. (ロ) (4) ① b. (c) iii. 自然現象の考慮」に示す。</u></p> <p>また, <u>消火設備は, 破損, 誤動作又は誤操作が起きた場合においても, 重大事故等対処施設の安全機能を損なわない設計とすることを「イ. (ロ) (4) ① b. (c) iv. 消火設備の破損, 誤動作又は誤操作による重大事故等対処施設への影響」に示す。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>5.3 火災の感知, 消火</p> <p><u>火災の感知及び消火は, 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に対する火災の影響を限定し, 早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p>また, <u>グローブボックス内に対しても, 早期に火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</u></p> <p>火災感知設備及び消火設備は, <u>ロ. (二) (2) ③ a. -1 「5.2.4 自然現象による火災及び爆発の発生防止」で抽出した自然現象に対して, 火災感知及び消火の機能, 性能が維持できる設計とする。</u></p> <p>重大事故等対処施設に係る火災感知設備及び消火設備については, <u>火災区域及び火災区画に設置した重大事故等対処施設が地震による火災を想定する場合においてはロ. (二) (2) ③ a. -2 重大事故等対処施設の設備分類に応じて, 機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.1.1.1.3 消火設備</p> <p>火災防護上重要な機器等及び <u>ロ. (二) (2) ③ a. -3 重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の消火設備は, 破損, 誤作動又は誤操作が起きた場合のほか, 火災感知設備の破損, 誤作動又は誤操作が起きたことにより消火設備が作動した場合においても, 火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等に対</u></p>	<p>設工認の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -1</u> は, 事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -1</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -2</u> は, 事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -3</u> は, 事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ. (二) (2) ③ a. -3</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(a) 火災感知設備</p> <p><u>ロ.(ニ)(2)③a.-4</u>火災感知器は、環境条件や火災の性質を考慮して型式を選定し、<u>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画に対して、固有の信号を発する異なる種類の火災感知器を組み合わせで設置する設計とする。</u></p> <p><u>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザー光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせで設置する設計とする。</u></p>	<p>(b) 火災感知設備</p> <p><u>火災感知設備は、固有の信号を発する異なる種類の感知器及び受信器盤により構成する。火災感知設備の火災感知器は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画並びにグローブボックス内における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件等、予想される火災の性質を考慮して、火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の重大事故等対処施設に応じ、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の感知器を組み合わせで設置する設計とする。</u></p> <p><u>ただし、放射線の影響を考慮する場所に設置する火災感知器については、非アナログ式を設置する設計とする。</u></p> <p><u>グローブボックス内の火災感知器は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、煙感知器及び炎感知器では火災を感知できないおそれや半導体を有しているため、放射線影響による故障が考えられることから、動作原理が異なる熱感知器を組み合わせで設置する設計とする。</u></p>	<p><u>処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.1.1.1.2 火災感知設備</p> <p><u>火災防護上重要な機器等及びロ.(ニ)(2)③a.-4重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知器の型式は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件及び予想される火災の性質を考慮して選定するとともに、火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の火災感知器として、アナログ式煙感知器及びアナログ式熱感知器の組合せを基本として設置する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>グローブボックス内は、主要な工程で核燃料物質を非密封で取り扱うという特徴があり、MOX粉末やレーザー光による誤作動や内装機器及び架台が障壁となることにより、煙感知器及び炎感知器並びにサーモカメラでは火災を感知できないおそれがあることから、火災源の位置等を考慮した上で、早期感知ができ、また、動作原理の異なる2種類の熱感知器を組み合わせで設置する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の</p> <p><u>ロ.(ニ)(2)③a.-4</u>は、事業変更許可申請書(本文)の</p> <p><u>ロ.(ニ)(2)③a.-4</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>火災感知設備は、外部電源喪失時に ロ.(ニ)(2)③a.-5においても火災の感知が可 能なように電源を確保し、</p> <p>ロ.(ニ)(2)③a.-6中央監視室で常時監視で きる設計とする。</p> <p>(b) 消火設備 MOX燃料加工施設では、臨界管理の観 点から可能な限り水を排除する設計とす る。また、MOX燃料加工施設の重大事故等 対処施設を設置する火災区域又は火災区画 及びグローブボックス内で、火災発生時の 煙の充満又は放射線の影響により消火活動 が困難となるロ.(ニ)(2)③a.(b)-1ところ には、固定式のガス消火装置を設置して消 火を行う設計とする。</p>	<p>(iii) 火災感知設備の電源確保 火災感知設備は、外部電源喪失時にも火 災の感知が可能となるよう、蓄電池を設 け、火災感知の機能を失わないよう電源を 確保する設計とする。 ＜中略＞</p> <p>ii. 消火設備 消火設備は、「イ.(ロ)(4)①b.(c)ii. (j) 火災に対する二次的影響を考慮」から 「イ.(ロ)(4)①b.(c)ii.(xv) 試験・ 検査」に示すとおり、重大事故等対処施設を 設置する火災区域又は火災区画の火災を早 期に消火できるように設置し、消火ガスに ついては全域放出方式とする設計とする。 工程室については、臨界管理の観点から、 水による消火を行わずガスによる消火を行 う。 ＜中略＞</p>	<p>火災防護上重要な機器等及び ロ.(ニ)(2)③a.-5重大事故等対処施 設を設置する火災区域又は火災区画 の火災感知設備は、外部電源喪失時 にも火災の感知が可能となるよう、 蓄電池を設け、火災感知の機能を失 わないよう電源を確保する設計とす る。 ＜中略＞</p> <p>火災防護上重要な機器等及び ロ.(ニ)(2)③a.-6重大事故等対処施 設を設置する火災区域又は火災区画 の火災感知設備は、中央監視室に設 置する受信機に火災信号を表示する とともに警報を発することで、常時 監視できる設計とするとともに、火 災感知器の設置場所を1つずつ特定 できることにより、火災の発生場所 を特定できる設計とする。 ＜中略＞</p> <p>MOX燃料加工施設では、臨界管理の 観点から可能な限り水を排除するた めに、工程室及びグローブボックス については、自動又は現場での手動 操作による固定式のガス消火装置を 設置することにより消火を行う設計 とする。 さらに、火災の影響を受けるおそ れのある火災防護上重要な機器等及 び重大事故等対処施設を設置する火 災区域又は火災区画のうち、火災発 生時の煙又は放射線の影響により消 火活動が困難となるロ.(ニ)(2)③</p>	<p>設工認の ロ.(ニ)(2)③a.-5 は、事業変更許可申請 書(本文)の ロ.(ニ)(2)③a.-5を 具体的に記載しており 整合している。</p> <p>設工認の ロ.(ニ)(2)③a.-6 は、事業変更許可申請 書(本文)の ロ.(ニ)(2)③a.-6を 具体的に記載しており 整合している。</p> <p>設工認のロ.(ニ)(2)③ a.(b)-1は、事業変更許 可申請書(本文)の ロ.(ニ)(2)③a.(b)-1 を具体的に記載してお り整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="350 1018 845 1144">ロ.(ニ)(2)③a.(b)-2 固定式ガス消火装置は、作動前に運転員が退出できるよう、警報を発する設計とする。</p> <p data-bbox="350 1375 845 1680">再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火水供給設備の消火用水供給系は、2時間の最大放水量を確保するとともに、給水処理設備と兼用する場合は隔離弁を設置し消火用水供給を優先する設計とし、水源及び消火ポンプは多重性又は多様性を有する設計とする。</p> <p data-bbox="350 1690 845 1816">また、屋内及び屋外の消火範囲を考慮し消火栓を配置するとともに、移動式消火設備を配備する設計とする。</p>	<p data-bbox="964 934 1484 1186">(x iii) 窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置の従事者退避警報 「イ.(ロ)(4)①a.(c)ii.(x v) 窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置の従事者退避警報」の基本方針を適用する。 &lt;中略&gt;</p>	<p data-bbox="1706 304 2122 829">a.(b)-1 箇所として多量の可燃性物質を取り扱う火災区域又は火災区画(危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所)、可燃性物質を取扱い構造上消火活動が困難となる火災区域又は火災区画(中央監視室等の床下)及び電気品室等の火災区域又は火災区画については、自動又は現場での手動操作による固定式ガス消火装置を設置することにより、消火活動を可能とする設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1706 934 2122 1270">b. 固定式ガス消火装置の退避警報 ロ.(ニ)(2)③a.(b)-2 窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置は、作動前に従事者等が退出できるよう警報又は音声警報を吹鳴する設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1676 1375 1958 1417">今回の申請の対象範囲外</p>	<p data-bbox="2151 1018 2404 1270">設工認のロ.(ニ)(2)③a.(b)-2は、事業変更許可申請書(本文)のロ.(ニ)(2)③a.(b)-2を具体的に記載しており整合している。</p> <p data-bbox="2151 1375 2404 1459">次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(ニ)(2)③a.(b)-3消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量を配備し、</p>	<p>(ii) 想定される火災の性質に応じた消火剤容量 「イ.(ロ)(4)①a.(c)ii.(ii) 想定される火災の性質に応じた消火剤容量」の基本方針を適用する。 &lt;中略&gt;</p>	<p>(1) 消火設備の消火剤の容量 ロ.(ニ)(2)③a.(b)-3消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。 ロ.(ニ)(2)③a.(b)-3ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とする。 ロ.(ニ)(2)③a.(b)-3また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、火災発生時のグローブボックスに対する排気風量と同じ又は排気風量より少ない流量の消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のロ.(ニ)(2)③a.(b)-3は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ニ)(2)③a.(b)-3を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>管理区域で放出<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-4</sup>された場合に、管理区域外への流出を防止する設計とする。</p> <p><sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-5</sup>消火設備は、火災の火炎等による直接的な影響、流出流体等による二次的影響を受けず、重大事故等対処施設に悪影響を及ぼさないように設置し、</p> <p><sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-6</sup>外部電源喪失時の電源確保を図るとともに、</p>	<p>(xii) 管理区域内からの放出消火剤の流出防止 「イ. (ロ) (4) ① a. (c) ii. (xiv) 管理区域内からの放出消火剤の流出防止」の基本方針を適用する。 &lt;中略&gt;</p> <p>(i) 火災に対する二次的影響を考慮 MOX 燃料加工施設内の消火設備のうち、屋内消火栓、窒素消火装置、グローブボックス消火装置等を適切に配置することにより、重大事故等対処施設に火災の二次的影響が及ばない設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>(v) 消火設備の電源確保 消火設備のうち、再処理施設及び廃棄物管理施設と共用する消火水供給設備の消火用水供給系の電動機駆動消火ポンプは運転予備用母線から受電する設計とするが、ディーゼル駆動消火ポンプは、外部電源喪失時でもディーゼル機関を起動できるように、専用の蓄電池により電源を確保する設計とする。 また、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の消火活動が困難な箇所に設置する窒素消火装置及び二酸化炭素</p>	<p>(4) 消火設備の配置上の考慮 b. 管理区域からの放出消火剤の流出防止 管理区域内で放出<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-4</sup>した消火水は、管理区域外への流出を防止するため、管理区域と管理区域外の境界に堰等を設置するとともに、各室の排水系統から低レベル廃液処理設備に回収し、処理する設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>(4) 消火設備の配置上の考慮 a. 火災による二次的影響の考慮 <sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-5</sup>屋内消火栓、窒素消火装置、グローブボックス消火装置等を適切に配置することにより、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に火災の二次的影響が及ばない設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>(3) 消火設備の電源確保 <sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-6</sup>ディーゼル駆動消火ポンプは、外部電源喪失時においてもディーゼル機関を起動できるように、専用の蓄電池により電源を確保する設計とする。 火災防護上重要な機器等及び<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-6</sup>重大事故等対処施設を設置する消火活動が困難となる</p>	<p>設工認の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-4</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-4</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-5</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-5</sup>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-6</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>ロ. (ニ) (2) ③a. (b)-6</sup>を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>ロ. (二)(2)③a. (b)-7</u>中央監視室に故障警報を発する設計とする。</p> <p>また、煙の二次的影響が重大事故等対処施設に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p> <p><u>ロ. (二)(2)③a. (b)-8</u>消火設備を設置した場所への移動及び操作を行うため、蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。</p>	<p><u>消火装置並びにグローブボックス消火装置は、外部電源喪失時においても消火が可能となるよう、非常用所内電源設備から給電するとともに、蓄電池を設ける設計とする。</u></p> <p>(vi) 消火設備の故障警報  <u>固定式のガス消火装置は、電源断等の故障警報を中央監視室に吹鳴する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(i) 火災に対する二次的影響を考慮  <u>また、煙の二次的影響が重大事故等対処施設に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(viii) 消火活動のための電源を内蔵した照明器具  <u>「イ.(ロ)(4)①a.(c)ii.(x) 消火活動のための電源を内蔵した照明器具」の基本方針を適用する。</u></p>	<p>箇所の窒素消火装置及び二酸化炭素消火装置並びにグローブボックス消火装置(不活性ガス消火装置)は、外部電源喪失時においても消火が可能となるよう、非常用所内電源設備から給電するとともに、設備の作動に必要な電源を供給する蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(5) 消火設備の警報</p> <p>a. 消火設備の故障警報  <u>ロ. (二)(2)③a. (b)-7</u>固定式のガス消火装置は、電源断等の故障警報を中央監視室に吹鳴する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>また、煙の二次的影響が火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に悪影響を及ぼす場合は、延焼防止ダンパを設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 消火用の照明器具          火災防護上重要な機器等及び<u>ロ. (二)(2)③a. (b)-8</u>重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画の消火設備の現場盤操作等に必要の照明器具として、移動経路及び消火設備の現場盤周辺に、現場への移動時間に加え、消防法の消火継続時間20分を考慮し、1時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とす</p>	<p>設工認の<u>ロ. (二)(2)③a. (b)-7</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二)(2)③a. (b)-7</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (二)(2)③a. (b)-8</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二)(2)③a. (b)-8</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>④ その他</p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ 「ロ. (二) (2) ② 火災及び爆発の発生防止」から「ロ. (二) (2) ③ 火災の感知、消火」のほか、重大事故等対処施設のそれぞれの特徴を考慮した火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p>	<p>(d) 個別の火災区域及び火災区画における留意事項</p> <p><u>MOX 燃料加工施設における重大事故等対処施設を設置する火災区域は、以下のとおりそれぞれの特徴を考慮した火災防護対策を実施する。</u></p> <p>ii. 蓄電池室</p> <p><u>「イ. (ロ) (4) ① a. (e) ii. 蓄電池室」の基本方針を適用する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>vi. 低レベル廃液処理設備並びに固体廃棄物保管第1室及び第2室</p> <p><u>「イ. (ロ) (4) ① a. (e) vi. 低レベル廃液処理設備並びに固体廃棄物保管第1室及び第2室」の基本方針を適用する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>iv. 中央監視室等</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(ii) <u>中央監視室及び再処理施設と共用する緊急時対策建屋の対策本部室のカーペットは、消防法に基づく防災物品若しくはこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</u></p>	<p>る。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.2.2 MOX燃料加工施設の火災及び爆発の発生防止</p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ 通常の使用状態において水素が蓄電池外部へ放出されるおそれのある蓄電池室には、原則として直流開閉装置やインバータを収納しない設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ ただし、蓄電池が無停電電源装置等を設置している室と同じ室に収納する場合は、社団法人電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」(SBA G 0603)に適合するよう、鋼板製筐体に収納し、水素ガス滞留を防止するため蓄電池室を機械換気により排気することで火災又は爆発を防止する設計とする。</u></p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ 蓄電池室の換気設備が停止した場合には、中央監視室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ 廃棄物の保管にあたり、放射性物質を含んだフィルタ類及びその他の雑固体は、処理を行うまでの間、金属製容器に封入し、保管する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ 電気室は、電源供給のみに使用する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.2.3 不燃性材料又は難燃性材料の使用</p> <p><u>ロ. (二) (2) ④ また、中央監視室等及び緊急時対策建屋の対策本部室の床面は、消防法に基づく防災物品又はこれと同等の性能を有することを試験により確認したカーペットを使用する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ロ. (二) (2) ④</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (二) (2) ④</u>を詳細に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑥ 安全機能を有する施設  <u>MOX燃料加工施設のうち、安全機能を有する構築物、系統及び機器を、安全機能を有する施設とする。</u></p> <p>また、安全機能を有する施設のうち、その機能喪失により、公衆又は従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び設計基準事故時に公衆又は従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線がMOX燃料加工施設を設置する<del>ロ.(ト)(1)⑥-①</del>工場等外へ放出されることを抑制し又は防止する構築物、系統及び機器から構成される施設を、安全上重要な施設とする。</p> <p>安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、その機能<del>ロ.(ト)(1)⑥-②</del>が確保されたものとする。とともに、以下の設計を満足するものとする。</p> <p>a. <del>ロ.(ト)(1)⑥a.-2-1</del>安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故時に想定される圧力、温度、湿度、放射線量<del>ロ.(ト)(1)⑥a.-①</del>等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができる設計とする。</p>	<p>⑬ 安全機能を有する施設  適合のための設計方針  第1項について  <u>MOX燃料加工施設のうち、安全機能を有する構築物、系統及び機器を、安全機能を有する施設とし、その安全機能の重要度に応じて、その機能を確保する設計とする。</u>  安全機能を有する施設のうち、その機能の喪失により、公衆又は従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び設計基準事故時に公衆又は従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線がMOX燃料加工施設を設置する工場等外へ放出されることを抑制し又は防止する構築物、系統及び機器から構成される施設を、安全上重要な施設として設計する。</p> <p>第2項について  安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故時に想定される圧力、温度、湿度、放射線量等全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができる設計とする。  &lt;中略&gt;</p> <p>(二) その他の安全設計  (4) 環境条件に対する考慮  安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、通常時及び設計基準事故時における設備の設置場所の環境条件の変化（圧力、温度、放射線量及び湿度の変化）を考慮し、設備に期待される安全機能が発揮できるものとする。なお、必要に応じて運転条件の調整、作業時間の制限等の手段により、環境条件の変化に対応し、設備に期待される</p>	<p>(基本設計方針)  第1章 共通項目  8. 設備に対する要求  8.1 安全機能を有する施設  8.1.1 安全機能を有する施設に対する設計方針  (1) 安全機能を有する施設の基本的な設計  <u>MOX燃料加工施設のうち、重大事故等対処施設を除いたものを設計基準対象の施設とし、安全機能を有する構築物、系統及び機器を、安全機能を有する施設とする。</u>  また、安全機能を有する施設のうち、その機能喪失により、公衆又は従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び設計基準事故時に公衆又は従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線がMOX燃料加工施設を設置する<del>ロ.(ト)(1)⑥-①</del>敷地外へ放出されることを抑制し又は防止する構築物、系統及び機器から構成される施設を、安全上重要な施設とする。</p> <p>安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、その機能<del>ロ.(ト)(1)⑥-②</del>を確保する設計とする。  安全機能を有する施設は、設計基準事故時において、敷地周辺の公衆に放射線障害を及ぼさない設計とする。</p> <p>(2) 環境条件の考慮  安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、通常時及び設計基準事故時に想定される圧力、温度、湿度、放射線量<del>ロ.(ト)(1)⑥a.-①</del>、荷重、屋外の天候による影響（凍結及び降水）、電磁的障害及び周辺機器等からの悪影響の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができる設計とする。  &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<del>ロ.(ト)(1)⑥-①</del>について、設計基準事故時の公衆に対する線量評価は、敷地境界における線量を基準とするため、事業変更許可申請書(本文)の<del>ロ.(ト)(1)⑥-①</del>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<del>ロ.(ト)(1)⑥-②</del>は、事業変更許可申請書(本文)の<del>ロ.(ト)(1)⑥-②</del>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<del>ロ.(ト)(1)⑥a.-①</del>は、事業変更許可申請書(本文)の<del>ロ.(ト)(1)⑥a.-①</del>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>安全機能が発揮できるものとする。</p>	<p>8.3 材料及び構造</p> <p>8.3.1 材料及び構造</p> <p>ロ.(ト)(1)⑥a.-2-1 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備における材料及び構造にあっては、安全機能を有する施設又は重大事故等対処設備に属するものうち以下のいずれかに該当するものをMOX燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、安全機能を有する施設にあっては「安全機能を有する施設の容器等」、重大事故等対処設備にあっては「重大事故等対処設備の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>e. ロ.(ト)(1)⑥a.-2-1 安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p>ロ.(ト)(1)⑥a.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.1 安全機能を有する施設</p> <p>8.1.1 安全機能を有する施設に対する設計方針</p> <p>(2) 環境条件の考慮</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>a. 環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候による影響(凍結及び降水)並びに荷重</p> <p>安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故時における環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候による影響(凍結及び降水)並びに荷重を考慮しても、安全機能を発揮できる設計とする。</p> <p>b. 電磁波による影響</p> <p>電磁的障害に対しては、安全機能を有する施設は、通常時及び設計基準事故が発生した場合においても、電磁波によりその安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 周辺機器等からの悪影響</p> <p>安全機能を有する施設は、地震、火災、溢水及びその他の自然現象並びに人為事象によ</p>	<p>設工認のロ.(ト)(1)⑥a.-2-1は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(1)⑥a.-2-1を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>b. <u>安全機能を有する施設は、通常時において、当該施設の安全機能を確保するための検査又は試験ができる設計とするとともに安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる設計とする。</u></p> <p>c. <u>安全機能を有する施設は、MOX 燃料加工施設内におけるクレーンその他の機器又は配管の損壊に伴う飛散物（以下「内部発生飛散物」という。）によってその安全機能を損なわない設計とする。</u>  <u>安全機能を有する施設のうち、内部発生飛散物から防護する施設としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な構築物、系統及び機器を「ロ.（ト）（1）⑥c.-①」抽出し、内部発生飛散物により臨界の防止、閉じ込め等の安全機能を損なわないよう内部発生飛散物の発生を防止することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>第3項について  <u>安全機能を有する施設は、その安全機能の重要度に応じて、検査又は試験並びに安全機能を維持するための保守及び修理ができる設計とする。</u>          また、適切な保守管理を行うことで、その安全機能を損なわないよう手順を定める。</p> <p>(二) その他の安全設計          (3) 検査及び試験を含む点検、修理、取替え及び改造に対する考慮          安全機能を有する施設は、設備に期待される安全機能の健全性及び能力を維持し確認するため、安全機能の重要度に応じ、MOX燃料加工施設の運転中又は停止中に、検査及び試験として行うものを含む点検ができ、安全機能を健全に維持するための適切な検査及び試験、修理（部品交換等の措置を含む。）、取替え及び改造ができる設計とする。          また、MOX燃料加工施設の設備の安全機能を健全に維持するため、保全（設備の修理、取替え及び改造並びにそれらのための計画、点検及び状態監視）に関する手順を定める。</p> <p>第4項について  <u>安全機能を有する施設は、想定される内部発生飛散物が発生した場合においても、その安全機能を損なわない設計とする。</u>  <u>安全機能を有する施設のうち、内部発生飛散物防護対象設備としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な構築物、系統及び機器を抽出し、内部発生飛散物によりその安全機能を損なわないよう内部発生飛散物の発生を防止することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>る他設備からの悪影響により、安全機能が損なわれないよう措置を講じた設計とする。</p> <p>8.1.2 試験、検査性の確保  <u>安全機能を有する施設は、通常時において、当該施設の安全機能を確保するための検査又は試験ができる設計とするとともに安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる設計とし、そのために必要な配置、空間及びアクセス性を備えた設計とする。</u></p> <p>8.1.3 内部発生飛散物に対する考慮  <u>安全機能を有する施設は、MOX 燃料加工施設内におけるクレーンその他の機器又は配管の損壊に伴う飛散物（以下「内部発生飛散物」という。）によってその安全機能を損なわない設計とする。</u>  <u>安全機能を有する施設のうち、内部発生飛散物から防護する施設としては、安全評価上その機能を期待する構築物、系統及び機器を漏れなく抽出する観点から、安全上重要な構築物、系統及び機器を「ロ.（ト）（1）⑥c.-①」対象とする。安全上重要な構築物、系統及び機器は内部発生飛散物の発生を防止することにより、安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認の「ロ.（ト）（1）⑥c.-①」は、事業変更許可申請書（本文）の「ロ.（ト）（1）⑥c.-①」と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>ロ.(ト)(1)⑥c.-②</u>その他の安全機能を有する施設に<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-③</u>については、内部発生飛散物に対して機能を維持すること若しくは内部発生飛散物による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>d. <u>安全機能を有する施設のうち、再処理施設又は廃棄物管理施設と共用するものは、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>また、<u>安全機能を有する施設のうち、MOX燃料加工施設内で共用するものは、MOX燃料加工施設内の共用により安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設については、内部発生飛散物に対して機能を維持すること若しくは内部発生飛散物による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>内部発生飛散物防護対象設備については、内部発生飛散物防護対象設備と同室にある内部発生飛散物の発生要因となる機器に対して、想定される内部発生飛散物の発生要因ごとに以下のとおりその発生を防止することにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>第5項について  <u>安全機能を有する施設は、他の原子力施設との共用によって安全性を損なわない設計とする。また、公衆への放射線被ばくを防止するための安全機能が期待されている安全上重要な施設については、原則として他の原子力施設と共用しない設計とする。</u>  <u>安全機能を有する施設のうち、MOX燃料加工施設内で共用する非常用所内電源設備、グローブボックス排気設備等については、共用によって、MOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>ロ.(ト)(1)⑥c.-②</u>上記に含まれない安全機能を有する施設<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-③</u>は、内部発生飛散物に対して機能を維持すること若しくは内部発生飛散物による損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、上記の施設に対する損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障がない期間での修理を行うことを保安規定に定めて、管理する。  内部発生飛散物の発生要因として、重量物の落下による飛散物、回転機器の損壊による飛散物を考慮し、発生要因に対してつりワイヤ等を二重化、逸走を防止するための機構の設置、誘導電動機又は調速器を設けることにより過回転とならない設計とする等により飛散物の発生を防止できる設計とする。  なお、MOX粉末を取り扱うグローブボックス内に粉末容器以外の重量物を取り扱うクレーン等の機器及び当該グローブボックス外側近傍に重量物を取り扱うクレーン等の機器を設置しないことにより、重量物の落下により閉じ込め機能に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>8.1.4 共用に対する考慮  <u>安全機能を有する施設のうち、再処理施設又は廃棄物管理施設と共用するものは、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設のうち、MOX燃料加工施設内で共用するものは、MOX燃料加工施設内の共用により安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-②</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-②</u>と同義であり整合している。  設工認の<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-③</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(1)⑥c.-③</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑦ 設計基準事故の拡大の防止</p> <p>安全機能を有する施設は、<u>ロ. (ト) (1) ⑦-①</u>設計基準事故を選定し、解析及び評価を実施することにより、<u>設計基準事故時においてロ. (ト) (1) ⑦-②</u>は、<u>工場等周辺の公衆に放射線障害を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p>⑭ 設計基準事故の拡大の防止 適合のための設計方針</p> <p>安全機能を有する施設は、<u>設計基準事故時において、工場等周辺の公衆に放射線障害を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>このために、設計基準事故を選定し、解析及び評価を行い、公衆に著しい放射線被ばくのリスクを与えないこととして、敷地周辺の公衆の実効線量の評価値が発生事故当たり 5 mSv を超えないことを確認する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>8. 設備に対する要求</p> <p>8.1 安全機能を有する施設</p> <p>8.1.1 安全機能を有する施設に対する設計方針</p> <p>(1) 安全機能を有する施設の基本的な設計</p> <p>安全機能を有する施設は、<u>設計基準事故時において、ロ. (ト) (1) ⑦-②敷地周辺の公衆に放射線障害を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<u>ロ. (ト) (1) ⑦-①</u>は、評価の詳細は展開しないため、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ト) (1) ⑦-②</u>について、設計基準事故時の公衆に対する線量評価は、敷地境界における線量を基準とするため、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ. (ト) (1) ⑦-②</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑧ 核燃料物質の貯蔵施設  <u>MOX燃料加工施設は、核燃料物質を貯蔵するために必要な容量を有する貯蔵容器一時保管設備、燃料集合体貯蔵設備等の貯蔵施設を設ける。</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-①</span></p> <p>また、<u>燃料集合体貯蔵設備等は、建屋排気設備</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-②</span> <u>等で換気することにより適切に冷却する。</u></p>		<p>(基本設計方針)            第2章 個別項目            4. 核燃料物質の貯蔵施設            核燃料物質の貯蔵施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1.核燃料物質の臨界防止」、「2.地盤」、「3.自然現象等」、「4.閉じ込めの機能」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7.遮蔽」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>貯蔵施設は、原料粉末を受け入れてから成形、被覆、組立を経て燃料集合体とするまでの各工程間の貯蔵及び燃料集合体出荷までの貯蔵を行う設計とする。</p> <p>貯蔵施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p>貯蔵施設は、<u>各工程における核燃料物質の形態に応じて貯蔵するために、必要な容量を有する設計とする。</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-①</span></p> <p>また、<u>燃料集合体貯蔵設備等の貯蔵施設は、建屋排気設備</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-②</span> <u>又はグローブボックス排気設備で換気することにより崩壊熱を適切に除去する設計とする。</u></p> <p>なお、崩壊熱を除去するために必要な換気能力に関する設計方針については、第2章 個別項目の「5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針」に示す。</p>	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-①</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-①</span>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-②</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ.(ト)(1)⑧-②</span>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑨ 廃棄施設</p> <p>a. <u>ロ.(ト)(1)⑨a.-①</u>廃棄施設は、通常時において、<u>周辺監視区域の外の空气中及び周辺監視区域の境界における水中の放射性物質の濃度を十分に低減できるよう、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」を参考に放射性物質の濃度に起因する線量を合理的に達成できる限り低くなるよう、放出する放射性物質を低減できる設計とする。</u></p> <p>(a) 気体廃棄物の廃棄施設  <u>MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、<u>ロ.(ト)(1)⑨a.(a)-①</u>放射性物質の濃度等を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</u></p>	<p>ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>(イ) 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>(1) 設計基準対象の施設</p> <p>① 概要  <u>気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の濃度等を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>5. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針  <u>放射性廃棄物の廃棄施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2.地盤」、「3.自然現象等」、「4.閉じ込めの機能」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p>5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設  <u>ロ.(ト)(1)⑨a.-①</u>気体廃棄物の廃棄設備は、通常時において、<u>周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度を十分に低減できるよう、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」を参考に放射性物質の濃度に起因する線量を合理的に達成できる限り低くなるよう、放出する放射性物質を低減できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.2 液体廃棄物の廃棄設備  <u>ロ.(ト)(1)⑨a.-①</u>液体廃棄物の廃棄設備は、通常時において、<u>周辺監視区域の境界における水中の放射性物質の濃度を十分に低減できるよう、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」を参考に放射性物質の濃度に起因する線量を合理的に達成できる限り低くなるよう、放出する放射性物質を低減できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設  <u>気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、<u>ロ.(ト)(1)⑨a.(a)-①</u>放射性物質の濃度、排気風量及び放射能レベルを監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(1)⑨a.-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(1)⑨a.-①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(1)⑨a.(a)-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(1)⑨a.(a)-①</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) 液体廃棄物の廃棄施設</p> <p><u>MOX燃料加工施設で発生する放射性液体廃棄物</u>ロ.(ト)(1)⑨a.(b)-①は、<u>廃液の性状、放射性物質の濃度等に応じて、廃液中に含まれて放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液中の放射性物質の濃度が線量告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを排出の都度確認し、排水口から排出する設計とする。</u></p> <p>b. <u>ロ.(ト)(1)⑨b.-①保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</u></p>	<p>(ロ) 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p>(1) 概要</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p><u>廃液貯槽では廃液中の放射性物質の濃度が線量告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを排出の都度確認した後、排水口から排出する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 設計方針</p> <p>① 放射性物質の放出低減</p> <p>a. <u>低レベル廃液処理設備は、排水口から放出する排水中の放射性物質の濃度及び量を合理的に達成できる限り低くするために、希釈、ろ過又は吸着の適切な処理を行う設計とする。</u></p> <p>b. <u>低レベル廃液処理設備で処理した排水は、海洋放出管理系を経て海洋放出口から放出する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>(ホ) MOX燃料加工施設に関する「加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」への適合性</p> <p>(1) 安全機能を有する施設</p> <p>⑯ 廃棄施設</p> <p>第2項について</p> <p><u>保管廃棄施設（安全機能を有する施設に属するものに限る。）は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</u></p>	<p>5.1.2 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、<u>MOX燃料加工施設で発生する放射性液体廃棄物</u>ロ.(ト)(1)⑨a.(b)-①を、<u>廃液の性状、廃液の発生量及び放射性物質の濃度に応じて、廃液中に含まれて放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液中の放射性物質の濃度が線量告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを排出の都度確認し、排水口から排出する設計とする。</u></p> <p>MOX燃料加工施設の排水口から排出した排水は、<u>海洋放出管から海洋へ放出する設計とする。</u></p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、<u>放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、液体廃棄物を内包する容器又は管に放射性物質を含まない液体を導く管を接続する場合には、液体廃棄物が放射性物質を含まない液体を導く管へ逆流することを防止する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>液体廃棄物の廃棄設備は、<u>系統及び機器によって液体廃棄物を閉じ込める設計とし、液体廃棄物を内包する貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合、検知できる設計とし、堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。また、液体廃棄物を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続する構造とし、核燃料物質等が漏えいしにくい設計とする。</u></p> <p>なお、<u>核燃料物質等の漏えいの防止及び漏えいの拡大の防止については、第1章 共通項目の「4.閉じ込め」に基づくものとする。</u></p> <p>5.1.3 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p><u>ロ.(ト)(1)⑨b.-①固体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</u></p>	<p>設工認の</p> <p><u>ロ.(ト)(1)⑨a.(b)-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の</p> <p><u>ロ.(ト)(1)⑨a.(b)-①</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の</p> <p><u>ロ.(ト)(1)⑨b.-①</u>は、事業変更許可申請書(本文)の</p> <p><u>ロ.(ト)(1)⑨b.-①</u>と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(2) 重大事故等対処施設（加工施設への人の不法な侵入等の防止，安全避難通路等，監視測定設備及び通信連絡を行うために必要な設備は(1) 安全機能を有する施設に記載）</p> <p><u>MOX燃料加工施設は，重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において，重大事故の発生を防止するために，また，重大事故が発生した場合においても，重大事故の拡大を防止するため，及びロ.(ト)(2)-1工場等外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために，ロ.(ト)(2)-2必要な措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，想定する重大事故等の環境条件を考慮した上で期待する機能が発揮できる設計とする。また，重大事故等対処設備が機能を発揮するために必要な系統(供給源から供給先まで，経路を含む。)で構成する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ，同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し，かつ，MOX燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。重大事故等対処設備を共用する場合には，再処理施設の重大事故等への対処を考慮した個数及び容量を確保する。また，同時に発生する再処理施設の重大事故等による環境条件の影響について考慮する。</u></p>	<p>(ハ) 重大事故等対処施設</p> <p>(1) 重大事故等対処設備に関する設計</p> <p><u>MOX燃料加工施設は，重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において，重大事故の発生を防止するために，また，重大事故が発生した場合においても，重大事故の拡大を防止するため，及び工場等外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために，必要な措置を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，想定する重大事故等の環境条件を考慮した上で期待する機能が発揮できる設計とする。また，重大事故等対処設備が機能を発揮するために必要な系統(供給源から供給先まで，経路を含む。)で構成する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ，同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し，かつ，MOX燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。重大事故等対処設備を共用する場合には，再処理施設の重大事故等への対処を考慮した個数及び容量を確保する。また，同時に発生する再処理施設の重大事故等による環境条件の影響について考慮する。</u></p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>第1章 共通項目</p> <p>8. 設備に対する要求事項</p> <p>8.2 重大事故等対処設備</p> <p>8.2.1 重大事故等対処設備に対する設計方針</p> <p><u>MOX燃料加工施設は，重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において，重大事故の発生を防止するために，また，重大事故が発生した場合においても，重大事故の拡大を防止するため，及びロ.(ト)(2)-1MOX燃料加工施設を設置する事業所(再処理事業所)外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために，ロ.(ト)(2)-2重大事故等対処設備を設けるとともに，必要な運用上の措置等を講ずる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，想定する重大事故等の環境条件を考慮した上で期待する機能が発揮できる設計とする。また，重大事故等対処設備が機能を発揮するために必要な系統(供給源から供給先まで，経路を含む。)で構成する。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は，共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ，同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し，かつ，MOX燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。重大事故等対処設備を共用する場合には，再処理施設の重大事故等への対処を考慮した個数及び容量を確保する。また，同時に発生する再処理施設の重大事故等による環境条件の影響について考慮する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.2.3 悪影響防止</p> <p><u>重大事故等対処設備は，共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ，同じ敷地内に設置する再処理施設と共用することにより安全性が向上し，かつ，MOX燃料加工施設及び再処理施設に悪影響を及ぼさない場合には共用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のロ.(ト)(2)-1及びロ.(ト)(2)-2は，事業変更許可申請書(本文)のロ.(ト)(2)-1及びロ.(ト)(2)-2を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外部からの影響による機能喪失の要因となる事象(以下「外的事象」という。)を要因とする重大事故等に対処するものについて、常設のものと可搬型のものがあり、以下のとおり分類する。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち常設のものをいう。また、常設重大事故等対処設備であって耐震重要施設に属する安全機能を有する施設が有する機能を代替するものを「常設耐震重要重大事故等対処設備」、常設重大事故等対処設備であって常設耐震重要重大事故等対処設備以外のものを「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」という。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち可搬型のものをいう。</u></p> <p><u>ロ.(ト)(2)-3また、主要な重大事故等対処設備の設置場所及び保管場所を第12図に示す。</u></p> <p>① 重大事故等の拡大の防止等  <u>MOX燃料加工施設は、重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、重大事故の発生を防止するためロ.(ト)(2)①-1の措置を講ずる。また、重大事故が発生した場合においても、当該重大事故の拡大を防止し、工場等外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために、重大事故等対処設備を設ける。</u>  <u>ロ.(ト)(2)①-2これらの設備については、当該設備が機能を発揮するために必要な系統を含む。</u></p>	<p><u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものについて、それぞれに常設のものと可搬型のものがあり、以下のとおり分類する。</u></p> <p><u>常設事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち常設のものをいう。また、常設重大事故等対処設備であって耐震重要施設を「常設耐震重要重大事故等対処設備」、常設重大事故等対処設備に属する安全機能を有する施設が有する機能を代替するもの故等対処設備であって常設耐震重要重大事故等対処設備以外のものを「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」という。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち可搬型のものをいう。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p><u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外部からの影響による機能喪失の要因となる事象(以下「外的事象」という。)を要因とする重大事故等に対処するものについて、常設のものと可搬型のものがあり、以下のとおり分類する。</u></p> <p><u>常設重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち常設のものをいう。また、常設重大事故等対処設備であって耐震重要施設に属する安全機能を有する施設が有する機能を代替するものを「常設耐震重要重大事故等対処設備」、常設重大事故等対処設備であって常設耐震重要重大事故等対処設備以外のものを「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」という。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備のうち可搬型のものをいう。</u></p> <p>8.2.4 環境条件等  (1) 環境条件  &lt;中略&gt;  <u>ロ.(ト)(2)-3屋内の常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所、緊急時対策建屋、再処理施設の制御建屋及び洞道に設置し、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u>  &lt;中略&gt;</p> <p>8.1 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備  8.2.1 安全機能を有する施設、安全上重要な施設及び重大事故等対処設備  <u>MOX燃料加工施設は、重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、重大事故の発生を防止するためロ.(ト)(2)①-1,2に、また、重大事故が発生した場合においても、重大事故の拡大を防止するため、及びMOX燃料加工施設を設置する事業所(再処理事業所)外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために、重大事故等対処設備を設けるとともに、必要な運用上の措置等を講ずる設計とする。</u></p> <p>重大事故等対処設備は、設計、材料の選定、製作及び検査にあたっては、現行国内法規に基づく規格及び基準によるものとする</p>	<p>事業変更許可申請書 (本文) の <u>ロ.(ト)(2)-3</u>の重大事故等対処設備の設置場所及び保管場所は、設工認の <u>ロ.(ト)(2)-3</u>に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>ロ.(ト)(2)①-1,2</u>は、事業変更許可申請書 (本文) の <u>ロ.(ト)(2)①-1</u>及び <u>ロ.(ト)(2)①-2</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>② 重大事故等対処設備</p> <p>a. 共通要因故障に対する考慮等</p> <p>(a) 共通要因故障に対する考慮</p> <p><u>重大事故等対処設備は、共通要因の特性を踏まえた設計とする。共通要因としては、重大事故等における条件、自然現象、人為事象及び周辺機器等からの影響</u>  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-1並びに「六.ロ.（ハ）(1)①重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定」に記載する設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした事象を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち重大事故等における条件については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち自然現象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p>	<p>① 共通要因故障に対する考慮等</p> <p>a. 共通要因故障に対する考慮</p> <p><u>重大事故等対処設備は、共通要因の特性を踏まえた設計とする。共通要因としては、重大事故等における条件、自然現象、人為事象及び周辺機器等からの影響並びに「添付書類七.ニ.(イ)重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定」に記載する設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした事象を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち重大事故等における条件については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち自然現象については、地震、津波に加え、敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、地滑り、火</u></p>	<p>が、必要に応じて、使用実績があり、信頼性の高い国外規格及び基準によるものとする。重大事故等対処設備の維持管理にあたっては、保安規定に基づく要領類に従い、施設管理計画における保全プログラムを策定し、設備の維持管理を行う。なお、重大事故等対処設備を構成する設備、機器のうち、一般消耗品又は設計上交換を想定している部品(安全に係わる設計仕様に変更のないもので、特別な工事を要さないものに限る。)及び通信連絡設備、安全避難通路(照明設備)等の「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」で定める一般産業用工業品については、適切な時期に交換を行うことで設備の維持管理を行う。</p> <p>MOX 燃料加工施設は、重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、重大事故の発生を防止するために、また、重大事故が発生した場合においても、重大事故の拡大を防止するため、及びMOX 燃料加工施設を設置する事業所（再処理事業所）外への放射性物質の異常な水準の放出を防止するために、必要な運用上の措置等を講ずることを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>なお、重大事故等対処設備並びに核物質防護及び保障措置の設備は、設備間において相互影響を考慮した設計とする。</p> <p>8.2.2 共通要因故障に対する考慮等</p> <p>(1) 共通要因故障に対する考慮</p> <p><u>重大事故等対処設備は、共通要因の特性を踏まえた設計とする。共通要因としては、重大事故等における条件、自然現象、人為事象、周辺機器等からの影響</u>  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-1及び事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした事象を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち重大事故等における条件については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち自然現象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-1</u>          は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-1</u>          と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち人為事象として、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発を選定する。故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講ずることとする。</u></p> <p><u>共通要因のうち周辺機器等からの影響として、地震、溢水、火災による波及的影響及び内部発生飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうちロ.(ト)(2)②a.(a)-2「六.ロ.(ハ)(1)①重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定」に記載する設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p>i. 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、内の事象を要因とする</u></p>	<p><u>山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害等の事象を考慮する。その上で、これらの事象のうち、敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち人為事象については、国内外の文献等から抽出し、さらに事業許可基準規則の解釈第9条に示される飛来物(航空機落下)、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダムの崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。その上で、これらの事象のうち、敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれのある事象として、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発を選定する。故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講ずることとする。</u></p> <p><u>共通要因のうち周辺機器等からの影響として地震、溢水、火災による波及的影響及び内部発生飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち「添付書類七.ニ.(イ).重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定」に記載する設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p>(a) 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、内の事象を要因とする</u></p>	<p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうち人為事象として、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発を選定する。故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講ずることとする。</u></p> <p><u>共通要因のうち周辺機器等からの影響として地震、溢水、火災による波及的影響及び内部発生飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>共通要因のうちロ.(ト)(2)②a.(a)-2事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p>a. 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、内の事象を要因とする</u></p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-2</u>  は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)-2</u>  と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保することにより、信頼性が十分に高い設計とする。</u></p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、<span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-1,2</span>その機能を確保する設計とする。</u></p> <p><u>その他の常設重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p><span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-3</span>なお、「<u>六.ロ.(ハ)(2)③重大事故が同時に又は連鎖して発生した場合の対処</u>」に示すとおり、<u>MOX燃料加工施設での重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、<span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-4</span>同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない。</u></p> <p><u>重大事故等における条件に対して常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</u></p>	<p><u>重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保することにより、信頼性が十分に高い設計とする。</u></p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、その機能を確保する設計とする。</u></p> <p><u>その他の常設重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p>なお、「<u>添付書類七 ホ.(ロ)(5)重大事故が同時に又は連鎖した場合の対処</u>」に示すとおり、<u>MOX燃料加工施設での重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない。</u></p> <p><u>重大事故等における条件に対して常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p><u>重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保することにより、信頼性が十分に高い設計とする。</u></p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、<span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-1</span>機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止<span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-2</span>すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>その他の常設重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p><span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-3</span>なお、<u>事業(変更)許可を受けたとおり、MOX燃料加工施設で発生する重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、<span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-4</span>また核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の事象であるグローブボックス内での火災によりMOX粉末等の集積等が発生することはなく、臨界事故への連鎖は想定されないことから、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等における条件に対して常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</u></p>	<p>設工認の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-1</span>は、事業変更許可申請書（本文）の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-1</span>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-2</span>については、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-3</span>は、事業変更許可申請書（本文）の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-3</span>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-4</span>は、事業変更許可申請書（本文）の <span style="border: 1px solid black;">ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-4</span>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>常設重大事故等対処設備は、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-5</u>「イ.(イ)敷地の面積及び形状」に基づく地盤に設置し、地震、津波及び火災に対して常設重大事故等対処設備は、「ロ.(ホ)(2)重大事故等対処施設の耐震設計」、「ロ.(ヘ)耐津波構造」及び「ロ.(ニ)(2)重大事故等対処施設の火災及び爆発の防止」に基づく設計とする。</p> <p><u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-6</u>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-7</u>「ロ.(ト)(2)②e.地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</p> <p>また、溢水、火災に対して常設重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、健全性を確保する設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発に対する健全性を確保する設計とする。</p> <p>周辺機器等からの影響のうち内部発生飛散物に対して、回転羽の損壊により飛散物を発生させる回転機器について回転体の飛散を防止する設計とし、常設重大事故等対処設備が機能を損なわない設計とする。</p>	<p>常設重大事故等対処設備は、「添付書類三 ロ.(ヘ)基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価」に基づく地盤に設置し、地震、津波及び火災に対しては、「イ.(ロ)(5)②重大事故等対処施設の耐震設計」、「イ.(ロ)(6)津波による損傷の防止」及び「イ.(ロ)(4)①b.重大事故等対処施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計」に基づく設計とする。</p> <p>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備は、「イ.(ハ)(1)⑤地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</p> <p>地震、津波、火災に対する健全性については、「イ.(ハ)(1)③環境条件等」に記載する。</p> <p>また、溢水、火災に対して常設重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、健全性を確保する設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発に対する健全性については、「イ.(ハ)(1)③環境条件等」に記載する。</p> <p>周辺機器等からの影響について、地震に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う。内部発生飛散物に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺機器の回転羽の損壊により飛散物を発生させる回転機器について回転体の飛散を防止する設計とする。</p> <p>または、設計基準事故に対処するための設</p>	<p>設工認申請書 該当事項            常設重大事故等対処設備は、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-5</u>「2.地盤」に基づく地盤に設置し、地震、津波及び火災に対しては、「3.1地震による損傷の防止」、「3.2津波による損傷の防止」及び「5.火災等による損傷の防止」に基づく設計とする。</p> <p><u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-6</u>事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-7</u>「8.2.6地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とする。</p> <p>また、溢水及び火災に対して常設重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、健全性を確保する設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発に対する健全性を確保する設計とする。</p> <p>周辺機器等からの影響のうち内部発生飛散物に対して、回転羽の損壊により飛散物を発生させる回転機器について回転体の飛散を防止する設計とし、常設重大事故等対処設備が機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-5</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-5</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-6</u>及び  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-7</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-6</u>及び  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-7</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>環境条件に対する健全性については、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-8</u>「<u>ロ.(ト)(2)②c. 環境条件等</u>」に記載する。</p> <p>ii. 可搬型重大事故等対処設備  <u>可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保すること、位置的分散を図ることにより信頼性が十分に高い設計とする。その他の可搬型重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p>なお、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-1</u>「<u>六.ロ.(ハ)(2)③重大事故が同時に又は連鎖して発生した場合の対処</u>」に示すとおり、<u>MOX燃料加工施設での重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-2</u>同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム、設計基準事故に対処するための設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する設計とする。</u></p>	<p>備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る。  <u>内部発生飛散物に対する健全性については、「イ.(ハ)(1)③環境条件等」に記載する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(a) 常設重大事故等対処設備  <u>重大事故等における条件に対する健全性については、「イ.(ハ)(1)③環境条件等」に記載する。</u></p> <p>(b) 可搬型重大事故等対処設備  <u>可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保すること、位置的分散を図ることにより信頼性が十分に高い設計とする。その他の可搬型重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p>なお、「添付書類七.ホ.(ロ)(5)重大事故が同時に又は連鎖した場合の対処」に示すとおり、<u>MOX燃料加工施設での重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム、設計基準事故に対処するための設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する設計とする。</u></p>	<p>環境条件に対する健全性については、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-8</u>「<u>8.2.4 環境条件等</u>」に基づく設計とする。</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備  <u>可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における環境条件に対して健全性を確保すること、位置的分散を図ることにより信頼性が十分に高い設計とする。その他の可搬型重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮した設計とする。</u></p> <p>なお、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-1</u>事業(変更)許可を受けたとおり、<u>MOX燃料加工施設で発生する重大事故は、「核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失」のみであり、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-2</u>また核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の事象であるグローブボックス内での火災によりMOX粉末等の集積等が発生することなく臨界事故への連鎖は想定されないことから、同時に又は連鎖して発生する可能性のない事故の間での重大事故等対処設備の共用は行わない設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム、設計基準事故に対処するための設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する設計とする。</u></p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-8</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) i.-8</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-2</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-2</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等における条件に対して可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-3</u>「<u>イ.(イ)敷地の面積及び形状</u>」に基づく地盤に設置された建屋等に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の措置をするとともに、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-4</u>「<u>ロ.(ホ)(2)重大事故等対処施設の耐震設計</u>」の地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、傾斜及び浮き上がり、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等により必要な機能を喪失しない複数の保管場所に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-5</u>「<u>ロ.(ト)(2)②e.地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p>	<p>重大事故等における条件に対して可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>重大事故等時における条件に対する健全性については、「<u>イ.(ハ)(1)③環境条件等</u>」に記載する。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、「<u>添付書類三.ロ.(ハ)基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価</u>」に基づく地盤に設置する燃料加工建屋、<u>第1保管庫・貯水所</u>、<u>第2保管庫・貯水所</u>、<u>緊急時対策建屋</u>、<u>再処理施設の制御建屋及び洞道</u>に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の措置をするとともに、「<u>イ.(ロ)(5)②重大事故等対処施設の耐震設計</u>」の地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、傾斜及び浮き上がり、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等の影響を受けない複数の保管場所に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ハ)(1)⑤地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p>	<p>重大事故等における条件に対して可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-3</u>「<u>2.地盤</u>」に基づく地盤に設置された建屋等に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、「<u>3.1地震による損傷の防止</u>」に示す地震により、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の措置をするとともに、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-4</u>「<u>3.1地震による損傷の防止</u>」の地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、傾斜及び浮き上がり、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等により必要な機能を喪失しない複数の保管場所に位置的分散することにより、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように保管する設計とする。</p> <p>また、事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-5</u>「<u>8.2.6地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-3</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-4</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-5</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-5</u>と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-6</u>は、「<u>ロ.(ハ)耐津波構造</u>」に基づく津波による損傷を防止した設計とする。</p> <p>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-7</u>「<u>ロ.(ト)(2)②f.可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行う。</p> <p>溢水、火災、内部発生飛散物に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災</u>  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-8</u>、爆発に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に保管し、かつ、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する場所と異なる場所に保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム</u>に対して、設計基準事故に対処するための設備</p>	<p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ロ)(6)津波による損傷の防止</u>」に基づく津波による損傷を防止した設計とする。</p> <p>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ハ)(1)⑥可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行う。</p> <p>地震、津波、火災、溢水、内部発生飛散物に対する健全性については、「<u>イ.(ハ)(1)③環境条件等</u>」に記載する。</p> <p>溢水、火災、内部発生飛散物に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発</u>に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に保管し、かつ、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する場所と異なる場所に保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム</u>に対して、設計基準事故に対処するための設備</p>	<p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-6</u>の保管場所については、「<u>3.2 津波による損傷の防止</u>」に示す津波による影響を受けない位置に設置する設計とする。</p> <p>また、可搬型重大事故等対処設備の据付けは、津波による影響を受けるおそれのない場所を選定することとし、使用時に津波による影響を受けるおそれのある場所に据付ける場合は、津波に対して重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、「<u>5. 火災等による損傷の防止</u>」に基づく設計とするとともに、  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-7</u>「<u>8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行う設計とする。</p> <p>溢水、火災及び内部発生飛散物に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>屋内に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災</u>  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-8</u>及び爆発に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に保管し、かつ、設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する場所と異なる場所に保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、<u>自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム</u>に対して、設計基準事故に対処するための設備</p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-6</u>は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-6</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-7</u>は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-7</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-8</u>は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a) ii.-8</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する建屋の外壁から100m以上の離隔距離を確保した場所に保管するとともに異なる場所にも保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発に対して健全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>環境条件に対する健全性については、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-9</u>「<u>ロ.(ト)(2)②c. 環境条件等</u>」に記載する。</u></p> <p>iii. <u>可搬型重大事故等対処設備と常設重大事故等対処設備の接続口</u>  <u>MOX燃料加工施設における重大事故等の対処においては、建屋等の外から可搬型重大事故等対処設備を常設重大事故等対処設備に接続して水又は電力を供給する必要のない設計とする。</u></p> <p>(b) <u>悪影響防止</u>  <u>重大事故等対処設備は、再処理事業所内の他の設備(安全機能を有する施設、当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備、再処理施設及び再処理施設の重大事故等対処設備を含む。)に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、重大事故等における条件を考慮し、他の設備への影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響(電気的な影響を含む。)、<u>ロ.(ト)(2)②a.(b)-1</u>内部発生飛散物による影響並びに竜巻により飛来物となる影響を考慮し、他の設備の機能に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p><u>の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する建屋の外壁から100m以上の離隔距離を確保した場所に保管するとともに異なる場所にも保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備を保管する外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等及び屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備に対する健全性については、<u>「イ.(ハ)(1)③環境条件等</u>」に記載する。</u></p> <p>(c) <u>可搬型重大事故等対処設備と常設重大事故等対処設備の接続口</u>  <u>MOX燃料加工施設における重大事故等の対処においては、建屋等の外から可搬型重大事故等対処設備を常設重大事故等対処設備に接続して水又は電力を供給する必要のない設計とする。</u></p> <p>b. <u>悪影響防止</u>  <u>重大事故等対処設備は、再処理事業所内の他の設備(安全機能を有する施設、当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備、再処理施設及び再処理施設の重大事故等対処設備を含む。)に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、重大事故等における条件を考慮し、他の設備への影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響(電気的な影響を含む。)、内部発生飛散物による影響並びに竜巻により飛来物となる影響を考慮し、他の設備の機能に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p><u>の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、設計基準事故に対処するための設備又は常設重大事故等対処設備を設置する建屋の外壁から100m以上の離隔距離を確保した場所に保管するとともに異なる場所にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災及び爆発に対して健全性を確保する設計とする。</u></p> <p><u>環境条件に対する健全性については、<u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-9</u>「<u>8.2.4 環境条件等</u>」に基づく設計とする。</u></p> <p>c. <u>可搬型重大事故等対処設備と常設重大事故等対処設備の接続口</u>  <u>MOX燃料加工施設における重大事故等の対処においては、建屋等の外から可搬型重大事故等対処設備を常設重大事故等対処設備に接続して水又は電力を供給する必要のない設計とする。</u></p> <p>(2) <u>悪影響防止</u>  <u>重大事故等対処設備は、再処理事業所内の他の設備(安全機能を有する施設、当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備、再処理施設及び再処理施設の重大事故等対処設備を含む。)に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等対処設備は、重大事故等における条件を考慮し、他の設備への影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響(電気的な影響を含む。)、内部発生飛散物による影響並びに竜巻により飛来物となる影響を考慮し、他の設備の機能に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;  <u><u>ロ.(ト)(2)②a.(b)-1</u>重大事故等対処設備からの内部発生飛散物による影響については、回転機器の破損を想定し、回転体が飛散</u></p>	<p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-9</u>は、事業変更許可申請書(本文)の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(a)ii.-9</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>ロ.(ト)(2)②a.(b)-1</u>は、事業変更許可申請</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>系統的な影響について、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすること、重大事故等発生前(通常時)の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>また、可搬型放水砲については、燃料加工建屋への放水により、当該設備の使用を想定する重大事故時において必要となる屋外の他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p><u>重大事故等対処設備が竜巻により飛来物となる影響については風荷重を考慮し、屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は必要に応じて固縛等の措置をとることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>b. 個数及び容量  (a) 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等への収束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等への収束は、これらの系統又はこれらの系統と可搬型重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、消火剤量、蓄電池容量、タンク容量、発電機容量、計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値等とする。</u></p>	<p><u>系統的な影響について、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすること、重大事故等発生前(通常時)の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>竜巻による影響を考慮する重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする、又は風荷重を考慮し、屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は必要により当該設備の固縛等の措置をとることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。風(台風)及び竜巻に対する健全性については、「イ.(ハ) (1) ③環境条件等」に記載する。</u></p> <p>② 個数及び容量  a. 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等への収束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等への収束は、これらの系統と可搬型重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、消火剤量、蓄電池容量、タンク容量、発電機容量、計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値等とする。</u></p>	<p><u>することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u>  &lt;中略&gt;</p> <p><u>系統的な影響について、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすること、重大事故等発生前(通常時)の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u>  &lt;中略&gt;</p> <p style="text-align: center;">今回の申請の対象範囲外</p> <p><u>重大事故等対処設備が竜巻により飛来物となる影響については、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする、又は、風荷重を考慮し、屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は必要に応じて固縛等の措置をとることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u>  &lt;中略&gt;</p> <p>8.2.3 個数及び容量  (1) 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の収束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の収束は、これらの系統又はこれらの系統と可搬型重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、消火剤量、蓄電池容量、タンク容量、発電機容量、計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値等とする。</u></p>	<p>書(本文)のロ.(ト)(2)②a.(b)-1を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>常設重大事故等対処設備は、<u>重大事故等への対処に十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた個数を確保する。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち安全機能を有する施設の系統及び機器を使用するものについては、<u>安全機能を有する施設の容量の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量に対して十分であることを確認した上で、安全機能を有する施設としての容量と同仕様の設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、<u>系統の目的に応じて必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する常設重大事故等対処設備は、<u>MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>(b) 可搬型重大事故等対処設備 可搬型重大事故等対処設備は、<u>想定される重大事故等への収束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等への収束は、これらの系統の組合せ又はこれらの系統と常設重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、ポンプ流量、タンク容量、発電機容量、計測器の計測範囲等とする。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、<u>系統の目的に応じて必要な容量に対して十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保する。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち、<u>複数の機能を兼用することで、設置の効率化、</u></p>	<p>常設重大事故等対処設備は、<u>重大事故等への対処に十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた個数を確保する。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち安全機能を有する施設の系統及び機器を使用するものについては、<u>安全機能を有する施設の容量の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量に対して十分であることを確認した上で、安全機能を有する施設としての容量と同仕様の設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、<u>系統の目的に応じて必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する常設重大事故等対処設備は、<u>MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備 可搬型重大事故等対処設備は、<u>想定される重大事故等への収束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等への収束は、これらの系統の組合せ又はこれらの系統と常設重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、ポンプ流量、タンク容量、発電機容量、計測器の計測範囲等とする。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、<u>系統の目的に応じて必要な容量に対して十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保する。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち、<u>複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ば</u></p>	<p>常設重大事故等対処設備は、<u>重大事故等への対処に十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた個数を確保する設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち安全機能を有する施設の系統及び機器を使用するものについては、<u>安全機能を有する施設の容量の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量に対して十分であることを確認した上で、安全機能を有する施設としての容量と同仕様の設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、<u>系統の目的に応じて必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>常設重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する常設重大事故等対処設備は、<u>MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>(2) 可搬型重大事故等対処設備 可搬型重大事故等対処設備は、<u>想定される重大事故等の収束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の収束は、これらの系統の組合せ又はこれらの系統と常設重大事故等対処設備の組合せにより達成する。</u></p> <p><u>「容量」とは、ポンプ流量、タンク容量、発電機容量、計測器の計測範囲等とする。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、<u>系統の目的に応じて必要な容量に対して十分に余裕がある容量を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保する設計とする。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち、<u>複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ば</u></p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>被ばくの低減が図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量を合わせた設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等への対処に必要な個数(必要数)に加え、予備として故障時のバックアップ及び点検保守による待機除外時のバックアップを合わせて必要数以上確保する。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、安全上重要な施設の安全機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する重大事故等については、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する可搬型重大事故等対処設備は、MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>c. 環境条件等 (a) 環境条件  <u>ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1</u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1</u>重大事故等時の環境条件については、重大事故等における温度、圧力、湿度、放射線、荷重に加えて、重大事故による環境の変化を考慮した環境温度、環境圧力、環境湿度による影響、重大事故等時に汽水を供給する系統への影響、自然現象による影響、人為事象の影響及び周辺機器等からの影響を考慮する。</p>	<p><u>くの低減が図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量を合わせた設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等への対処に必要な個数(必要数)に加え、予備として故障時のバックアップ及び点検保守による待機除外時のバックアップを合わせて必要数以上確保する。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、当該重大事故等が発生するおそれがある安全上重要な施設の機器ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。ただし、安全上重要な施設の安全機能の喪失を想定した結果、その範囲が系統で機能喪失する重大事故等については、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する可搬型重大事故等対処設備は、MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>③ 環境条件等 a. 環境条件  <u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等時の環境条件については、重大事故等における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重に加えて、重大事故による環境の変化を考慮した環境温度、環境圧力、環境湿度による影響、重大事故等時に汽水を供給する系統への影響、自然現象による影響、人為事象の影響及び周辺機器等からの影響を考慮する。</u></p>	<p><u>くの低減が図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量を合わせた設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等への対処に必要な個数(必要数)に加え、予備として故障時のバックアップ及び点検保守による待機除外時のバックアップを合わせて必要数以上確保する設計とする。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、安全上重要な施設の安全機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する重大事故等については、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち、再処理施設と共用する可搬型重大事故等対処設備は、MOX燃料加工施設及び再処理施設における重大事故等の対処に必要な個数及び容量を有する設計とする。</u></p> <p>8.2.4 環境条件等 (1) 環境条件  <u>重大事故等対処設備は、内的事象を要因とする重大事故等に対処するものと外的事象を要因とする重大事故等に対処するものそれぞれに対して想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等時の環境条件については、重大事故等における温度、圧力、湿度、放射線、荷重に加えて、重大事故による環境の変化を考慮した環境温度、環境圧力、環境湿度による影響、重大事故等時に汽水を供給する系統への影響、自然現象による影響、人為事象の影響及び周辺機器等からの影響を考慮する。</u>  &lt;中略&gt;</p> <p>8.3 材料及び構造 8.3.1 材料及び構造</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備における材料及び構造にあつては、安全機能を有する施設又は重大事故等対処設備に属するもののうち以下のいずれかに該当するものを MOX 燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、安全機能を有する施設にあつては「安全機能を有する施設の容器等」、重大事故等対処設備にあつては「重大事故等対処設備の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>a. ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 その機能喪失によって放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p> <p>b. ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属する容器及び管</p> <p>c. ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設又は重大事故等対処設備を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p>d. ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 上記 a、b 又は c に直接溶接される支持構造物であり、その破損により当該機器の損壊を生じさせるおそれのあるもの</p> <p>e. ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p>ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p>ト.(ト)(2)②c.(a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等のうち常設のもの(以下「常設重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重、腐食環境その</p>	<p>設工認のト.(ト)(2)②c.(a)-2-1は、事業変更許可申請書(本文)のト.(ト)(2)②c.(a)-2-1を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>他の使用条件に対して、適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 重大事故等対処設備の容器等のうち可搬型のもの(以下「可搬型重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して、日本産業規格等に適合した適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>8.3.1.2 構造</p> <p>8.3.1.2.1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等</p> <p>(1) 容器及び管</p> <p>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の容器及び管(ダクトは除く。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、設計上定めた最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態(以下「設計条件」という。)において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のダクトは、設計条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。</p> <p>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の伸縮継手は、設計条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。</p> <p>(2) ポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関</p> <p>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>しない設計とする。</p> <p>(3) 支持構造物  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の支持構造物は、設計条件において、延性破断及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>8.3.1.2.2 可搬型重大事故等対処設備の容器等  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>可搬型重大事故等対処設備の容器等(完成品は除く。)は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>可搬型重大事故等対処設備の容器等の完成品は、消防法に基づく技術上の規格等一般産業用工業品の規格及び基準に適合していることを確認し、使用環境及び使用条件に対して、要求される強度を確保できる設計とする。  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>ただし、可搬型重大事故等対処設備の容器等のうち内燃機関は、完成品として一般産業用工業品の規格及び基準で規定される温度試験等を実施し、定格負荷状態において、要求される強度を確保できる設計とする。</p> <p>8.3.1.3 主要な溶接部  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部(溶接金属部及び熱影響部をいう。)は、次のとおりとする。            ・不連続で特異な形状でない設計とする。            ・溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。            ・適切な強度を有する設計とする。            ・適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。  <u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1</u>なお、上記の主要な溶接部は、使用前事業者検査により加工施設の技術基準に関する規則の解</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>荷重としては、<u>重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境温度、環境圧力及び自然現象による荷重を考慮する。</u></p> <p><u>自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれのある事象として、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害を選定する。</u></p>	<p>荷重としては、<u>重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境温度、環境圧力及び自然現象による荷重を考慮する。</u></p> <p><u>自然現象の選定に当たっては、地震、津波に加え、敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害等の事象を考慮する。その上で、これらの事象のうち、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>人為事象としては、国内外の文献等から抽出し、さらに事業許可基準規則の解釈第9条に示される飛来物（航空機落下）、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダムの崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。その上で、これらの事象のうち、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与</u></p>	<p>設工認申請書 該当事項</p> <p><u>積の「加工施設の溶接の方法等について（別記）」に適合していることを確認する。</u></p> <p><u>ト. (ト) (2) ②c. (a)-2-1 常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部の耐圧試験は、母材と同等の方法及び同じ試験圧力にて実施する。</u></p> <p>8.2.4 環境条件等</p> <p>(1) 環境条件</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>荷重としては、重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境温度、環境圧力及び自然現象による荷重を考慮する。</u></p> <p><u>自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び塩害を選定する。</u></p> <p><u>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響を考慮する。</u></p> <p><u>人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれのある事象として、敷地内における化学物質の漏えい及び電磁的障害を選定する。</u></p> <p>なお、これらの自然現象及び人為事象については、設計基準対象施設について考慮する 「3.3 外部からの衝撃による損傷の防止」に示す条件を考慮する。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等の要因となるおそれとなる</u>  <u>ロ.(ト)(2) c. (a)-1</u>「六. ロ.(ハ)(1)①  <u>重大事故の発生を仮定する際の条件の設定</u>  <u>及び重大事故の発生を仮定する機器の特定</u>  <u>」に記載する設計基準事故において想定</u>  <u>した条件より厳しい条件を要因とした外的</u>  <u>事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響としては、地震、</u>  <u>火災、溢水による波及的影響及び内部発生</u>  <u>飛散物を考慮する。</u></p> <p><u>また、同時に発生する可能性のある再処</u>  <u>理施設における重大事故等による影響につ</u>  <u>いても考慮する。</u></p> <p>i. 常設重大事故等対処設備  <u>ト.(ト)(2)②c. (a) i.-2-1</u>常設重大事故  <u>等対処設備は、想定される重大事故等が発</u>  <u>生した場合における温度、圧力、湿度、放</u>  <u>射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に</u>  <u>発揮できるよう、その設置場所(使用場所)</u>  <u>に応じた耐環境性を有する設計とする。</u></p> <p><u>ト.(ト)(2)②c. (a) i.-2-1</u>閉じ込める機能  <u>の喪失の対処に係る常設重大事故等対処設</u>  <u>備は、重大事故等時における建屋等の環境</u>  <u>温度、環境圧力を考慮しても機能を損なわ</u>  <u>ない設計とする。</u></p>	<p><u>えるおそれのある事象として、敷地内にお</u>  <u>ける化学物質の漏えい、電磁的障害を選定す</u>  <u>る。</u></p> <p><u>重大事故等の要因となるおそれとなる</u>「添  <u>付書類七. 三.(イ) 重大事故の発生を仮定</u>  <u>する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮</u>  <u>定する機器の特定」に記載する設計基準事故</u>  <u>において想定した条件より厳しい条件を要因</u>  <u>とした外的事象の地震の影響を考慮する。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響としては、地震、火</u>  <u>災、溢水による波及的影響及び内部発生飛散</u>  <u>物を考慮する。</u></p> <p><u>また、同時に発生する可能性のある再処理</u>  <u>施設における重大事故等による影響につい</u>  <u>ても考慮する。</u></p> <p>(a) 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、想定される</u>  <u>重大事故等が発生した場合における温度、</u>  <u>圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、そ</u>  <u>の機能が有効に発揮できるよう、その設置</u>  <u>場所(使用場所)に応じた耐環境性を有する</u>  <u>設計とする。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る常設重</u>  <u>大事故等対処設備は、重大事故等時にお</u>  <u>ける建屋等の環境温度、環境圧力を考慮し</u>  <u>ても機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>重大事故等の要因となるおそれとなる</u>  <u>ロ.(ト)(2) c. (a)-1</u>事業(変更)許可を受け  <u>た設計基準事故において想定した条件より厳</u>  <u>しい条件を要因とした外的事象の地震の影響</u>  <u>を考慮する。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響としては、地震、火</u>  <u>災、溢水による波及的影響及び内部発生飛散</u>  <u>物を考慮する。</u></p> <p><u>また、同時に発生する可能性のある再処理</u>  <u>施設における重大事故等による影響につい</u>  <u>ても考慮する。</u></p> <p>a. 常設重大事故等対処設備  <u>常設重大事故等対処設備は、想定される</u>  <u>重大事故等が発生した場合における温度、</u>  <u>圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、そ</u>  <u>の機能が有効に発揮できるよう、その設置</u>  <u>場所(使用場所)に応じた耐環境性を有する</u>  <u>設計とする。</u></p> <p><u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る常設重</u>  <u>大事故等対処設備は、重大事故等時にお</u>  <u>ける建屋等の環境温度、環境圧力を考慮し</u>  <u>ても重大事故等への対処に必要な機能を損</u>  <u>なわない設計とする。</u>          &lt;中略&gt;</p> <p>8.3 材料及び構造          8.3.1 材料及び構造  <u>ト.(ト)(2)②c. (a) i.-2-1</u>安全機能を有す  <u>る施設及び重大事故等対処設備における材料</u>  <u>及び構造にあつては、安全機能を有する施設</u>  <u>又は重大事故等対処設備に属するもののうち</u>  <u>以下のいずれかに該当するものを MOX 燃料加</u>  <u>工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以</u>  <u>下、安全機能を有する施設にあつては「安全</u>  <u>機能を有する施設の容器等」、重大事故等対</u>  <u>処設備にあつては「重大事故等対処設備の容</u>  <u>器等」という。)として材料及び構造の対象と</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2)</u>  <u>c. (a)-1</u>は、事業変更          許可申請書（本文）の  <u>ロ.(ト)(2) c. (a)-1</u>          と同義であり整合して          いる。</p> <p>設工認の<u>ト.(ト)(2)②</u>  <u>c. (a) i.-2-1</u>は、事業          変更許可申請書（本          文）の<u>ト.(ト)(2)②c.</u>  <u>(a) i.-2-1</u>を詳細に記          載しており整合してい          る。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>する。</p> <p>a. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> その機能喪失によって放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p> <p>b. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属する容器及び管</p> <p>c. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設又は重大事故等対処設備を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p>d. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 上記 a, b 又は c に直接溶接される支持構造物であり、その破損により当該機器の損壊を生じさせるおそれのあるもの</p> <p>e. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格」設計・建設規格等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等のうち常設のもの(以下「常設重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重、腐食環境その他の使用条件に対して、適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.3.1.2 構造</p> <p>8.3.1.2.1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等</p> <p>(1) 容器及び管</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1</u> 安全機</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の容器及び管(ダクトは除く。)は、第1章共通項目の「8.1 安全機能を有する施設」及び「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、設計上定めた最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態(以下「設計条件」という。)において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のダクトは、設計条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。</p> <p>ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の伸縮継手は、設計条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。</p> <p>(2) ポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関  ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等のポンプ及び弁並びにガスタービン及び内燃機関は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>(3) 支持構造物  ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の支持構造物は、設計条件において、延性破断及び座屈が生じない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.3.1.3 主要な溶接部  ト.(ト)(2)②c.(a) i.-2-1 安全機能を有する施設の容器等及び常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部(溶接金属部及び熱影響部をいう。)は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不連続で特異な形状でない設計とする。</li> </ul>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。</p> <p>地震に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -1</u>「<u>ロ. (ホ) (2) 重大事故等対処施設の耐震設計</u>」に記載する地震力による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -2</u>設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、<u>「ロ. (ト) (2) ② e. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」</u>に基づく設計とする。</p> <p>また、地震に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって機能を損なわない設計するとともに、当該設備周辺の資機材の落下、</p>	<p>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。</p> <p>地震に対して常設重大事故等対処設備は、<u>「イ. (ロ) (5) ②重大事故等対処施設の耐震設計」</u>に記載する地震力による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、<u>「イ. (ハ) (1) ⑤地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」</u>に基づく設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>周辺機器等からの影響について、地震に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって機能を損なわない設計とする。また、当該</p>	<p>設工認申請書 該当事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接による割れが生ずるおそれなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。</li> <li>・適切な強度を有する設計とする。</li> <li>・適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。</li> </ul> <p><u>ト.(ト)(2)②c. (a) i. -2-1</u>なお、上記の主要な溶接部は、使用前事業者検査により加工施設の技術基準に関する規則の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」に適合していることを確認する。</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c. (a) i. -2-1</u>常設重大事故等対処設備の容器等の主要な溶接部の耐圧試験は、母材と同等の方法及び同じ試験圧力にて実施する。</p> <p>8.2.4 環境条件等 (1) 環境条件 &lt;中略&gt;</p> <p>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。</p> <p>地震に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -1</u>「<u>3.1 地震による損傷の防止</u>」に記載する地震力による荷重を考慮して、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -2</u>事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する常設重大事故等対処設備は、<u>「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」</u>に基づく設計とする。</p> <p>さらに、地震に対して常設重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。また、当</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -2</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -2</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、地震により機能が損なわれる場合、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -3</u>代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -4</u>その機能を確保する。</p> <p>溢水に対して常設重大事故等対処設備は、想定する溢水量に対して、機能を損なわない高さへの設置、被水防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>火災に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -5</u>「<u>ロ. (二) (2) 重大事故等対処施設の火災及び爆発の防止</u>」に基づく設計とすることにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、<u>溢水、火災による損傷</u><u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -6</u>及び内部発生飛散物を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又は<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -7, 8</u>それらを適切に組み合わせることで、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>想定する溢水量に対して常設重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被水防護を行う。</p> <p>火災に対して常設重大事故等対処設備は、<u>「イ. (ロ) (4) ① b. 重大事故等対処施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計</u>」に基づく設計とする。</p> <p>ただし、安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、<u>溢水、火災に対して、これら事象による損傷を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと又はこれらを適切に組み合わせることにより、その機能を確保する。また、上記機能が確保できない場合に備え、関連する工程の停止等の手順を整備する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う設計とする。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、地震により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -4</u>機能を損なわない設計とする。<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -3</u>代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</p> <p>溢水に対して常設重大事故等対処設備は、想定する溢水量に対して、機能を損なわない高さへの設置、被水防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>火災に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -5</u>「<u>5. 火災等による損傷の防止</u>」に基づく設計とすることにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、<u>溢水及び火災による損傷を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又は</u><u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -7</u>これらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -8</u>代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -4</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -3</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -5</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -5</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -7</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -7</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -8</u>は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>津波に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -9</u>「<u>ロ. (へ) 耐津波構造</u>」に基づく設計とする。</p> <p>屋内の常設重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響に対して外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所、緊急時対策建屋、再処理施設の制御建屋及び洞道に設置し、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>屋外の常設重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風(台風)及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>凍結、高温及び降水に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、<u>凍結防止対策、高温防止対策及び防水対策により、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備</u></p>	<p>津波に対して常設重大事故等対処設備は、「<u>イ. (ロ) (6) 津波による損傷の防止</u>」に基づく設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>風(台風)、<u>竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発に対して常設重大事故等対処設備は、建屋等に設置し、外部からの衝撃による損傷を防止できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>風(台風)、<u>竜巻、積雪及び火山の影響に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、風(台風)及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>凍結、高温及び降水に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、<u>凍結防止対策、高温防止対策及び防水対策により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>自然現象及び人為事象に対して<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設</u></p>	<p>8.2.4 環境条件等 (1) 環境条件</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -6</u>内部発生飛散物を考慮して、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はそれらを適切に組み合わせることにより、機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程を<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -8</u>停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>津波に対して常設重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -9</u>「<u>3.2 津波による損傷の防止</u>」に基づく設計とする。</p> <p>屋内の常設重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所、緊急時対策建屋、再処理施設の制御建屋及び洞道に設置し、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>屋外の常設重大事故等対処設備は、<u>風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風(台風)及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>凍結、高温及び降水に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、<u>凍結防止対策、高温防止対策及び防水対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>ただし、<u>内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -6</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -6</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -9</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) i. -9</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>は、風（台風）、竜巻、積雪、火山の影響、凍結、高温及び降水により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、その□.（ト）（2） c. (a) i. -10, 11機能を確保する。</p> <p>落雷に対して外部電源系統からの電気の供給の停止及び非常用所内電源設備からの電源の喪失（以下「全交流電源喪失」という。）を要因とせずに発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備は、直撃雷及び間接雷を考慮した設計を行う。</p> <p>直撃雷に対して、当該設備自体が構内接地網と接続した避雷設備を有する設計とする又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に設置することにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>間接雷に対して、雷サージによる影響を軽減することにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、落雷により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、□.（ト）（2） c. (a) i. -12, 13その機能を確保する。</p> <p>生物学的事象に対して常設重大事故等対処設備は、鳥類、昆虫類及び小動物の侵入を</p>	<p>重大事故等対処設備は、当該設備が地震、風（台風）、竜巻、積雪、落雷、火山の影響、凍結、高温、降水及び航空機落下により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと又はこれらを適切に組み合わせることにより、その機能を確保する。また、上記機能が確保できない場合に備え、関連する工程を停止する等の手順を整備する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>落雷に対して外部電源系統からの電気の供給の停止及び非常用所内電源設備からの電源の喪失（以下「全交流電源喪失」という。）を要因とせずに発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備は、直撃雷及び間接雷を考慮した設計を行う。</p> <p>直撃雷に対して、当該設備は当該設備自体が構内接地網と接続した避雷設備を有する設計とする又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に設置する。</p> <p>間接雷に対して、当該設備は雷サージによる影響を軽減できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>自然現象及び人為事象に対して内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、当該設備が地震、風（台風）、竜巻、積雪、落雷、火山の影響、凍結、高温、降水及び航空機落下により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと又はこれらを適切に組み合わせることにより、その機能を確保する。また、上記機能が確保できない場合に備え、関連する工程を停止する等の手順を整備する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>生物学的事象に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、鳥類、昆虫類及び小動物の</p>	<p>は、風（台風）、竜巻、積雪、火山の影響、凍結、高温及び降水により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、□.（ト）（2） c. (a) i. -10機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程□.（ト）（2） c. (a) i. -11を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</p> <p>落雷に対して外部電源系統からの電気の供給の停止及び非常用所内電源設備からの電源の喪失（以下「全交流電源喪失」という。）を要因とせずに発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備は、直撃雷及び間接雷を考慮した設計とする。</p> <p>直撃雷に対して、当該設備自体が構内接地網と接続した避雷設備を有する設計とする又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>間接雷に対して、雷サージによる影響を軽減することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、落雷により機能が損なわれる場合、代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程の停止等又はこれらを適切に組み合わせることにより、□.（ト）（2） c. (a) i. -12機能を損なわない設計とする。代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間で修理の対応を行うこと、関連する工程□.（ト）（2） c. (a) i. -13を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</p> <p>生物学的事象に対して常設重大事故等対処設備は、鳥類、昆虫類及び小動物の侵入</p>	<p>設工認の□.（ト）（2） c. (a) i. -10は、事業変更許可申請書（本文）の□.（ト）（2） c. (a) i. -10と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の□.（ト）（2） c. (a) i. -11は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認の□.（ト）（2） c. (a) i. -12は、事業変更許可申請書（本文）の□.（ト）（2） c. (a) i. -12と同義であり整合している</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の□.（ト）（2） c. (a) i. -13は、保安規定にて対応する。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>考慮し、これら生物の侵入を防止又は抑制することにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して常設重大事故等対処設備は、防火帯の内側に設置することにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保等により、常設重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、森林火災発生時にロ.(ト)(2) c. (a) i.-14消防車による事前散水による延焼防止を図るとともに代替設備により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の常設重大事故等対処設備は、換気設備及び非管理区域の換気空調設備の給気系への除塩フィルタの設置により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、屋外の常設重大事故等対処設備は、屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は受電開閉設備の絶縁性の維持対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の常設重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>電磁的障害に対して常設重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>侵入を考慮し、これら生物の侵入を防止又は抑制できる設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して屋外の常設重大事故等対処設備は、防火帯の内側に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保等により、常設重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、森林火災発生時に消防車による事前散水による延焼防止を図るとともに代替設備により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の常設重大事故等対処設備は、換気設備及び非管理区域の換気空調設備の給気系への除塩フィルタの設置により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、屋外の常設重大事故等対処設備は、屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は受電開閉設備の絶縁性の維持対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいについては、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p><u>電磁的障害に対して常設重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>を考慮し、これら生物の侵入を防止又は抑制することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して常設重大事故等対処設備は、防火帯の内側に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても、離隔距離の確保等により、常設重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ただし、内的事象を要因とする重大事故等へ対処する常設重大事故等対処設備のうち安全上重要な施設以外の安全機能を有する施設と兼用する常設重大事故等対処設備は、森林火災発生時に消防車による事前散水による延焼防止を図るとともに代替設備により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>ロ.(ト)(2) c. (a) i.-14消防車による事前散水を含む火災防護計画を、保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の常設重大事故等対処設備は、換気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系への除塩フィルタ及び粒子フィルタの設置により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、屋外の常設重大事故等対処設備は、屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は受電開閉設備の絶縁性の維持対策により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の常設重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>電磁的障害に対して常設重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により重大事故等への対処に必要な機能を損</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) c. (a) i.-14は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>周辺機器等からの影響について常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ設置することにより機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</p> <p>ii. 可搬型重大事故等対処設備  <u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所（使用場所）及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とする。</p> <p><u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時における建屋等の環境温度、環境圧力を考慮しても機能を損なわない設計とする。</p>	<p>周辺機器等からの影響について常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ設置することにより機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</p> <p>(b) 可搬型重大事故等対処設備  <u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所（使用場所）及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とする。</u></p> <p>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時における建屋等の環境温度、環境圧力を考慮しても機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認申請書 該当事項  <u>なわらない設計とする。</u></p> <p>周辺機器等からの影響について常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ設置することにより重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備  <u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、圧力、湿度、放射線及び荷重を考慮し、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所（使用場所）及び保管場所に応じた耐環境性を有する設計とする。</u></p> <p>閉じ込める機能の喪失の対処に係る可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時における建屋等の環境温度、環境圧力を考慮しても重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>8.3 材料及び構造              8.3.1 材料及び構造  <u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備における材料及び構造にあっては、安全機能を有する施設又は重大事故等対処設備に属するものうち以下のいずれかに該当するものをMOX燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なもの(以下、「安全機能を有する施設にあっては」「安全機能を有する施設の容器等」)、重大事故等対処設備にあっては「重大事故等対処設備の容器等」という。)として材料及び構造の対象とする。</p> <p>a. <u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>その機能喪失によって放射性物質等による災害又は内部エネルギーの解放による災害を及ぼすおそれがある機器区分(加工第1種機器から加工第3種機器)に属する容器及び管</p>	<p>設工認の<u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ト.(ト)(2)②c.(a) ii.-2-1</u>を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>b. <u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 公衆若しくは従事者の放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び放射線障害を防止する機能を有する安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属する容器及び管</p> <p>c. <u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 上記 a 又は b に接続するポンプ及び弁(安全上重要な施設又は重大事故等対処設備を防護するために必要な緊急遮断弁を含む。)</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>e. <u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 安全上重要な施設又は重大事故等対処設備に属するガスタービン及び内燃機関</p> <p><u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 安全機能を有する施設の容器等及び重大事故等対処設備の容器等の材料及び構造(主要な溶接部を含む。)は、施設時において、以下の通りとし、その際、日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に準拠し設計する。</p> <p>8.3.1.1 材料</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p><u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 重大事故等対処設備の容器等のうち可搬型のもの(以下「可搬型重大事故等対処設備の容器等」という。)は、第1章 共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の要求事項を踏まえ、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して、日本産業規格等に適合した適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。</p> <p>8.3.1.2 構造</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>8.3.1.2.2 可搬型重大事故等対処設備の容器等</p> <p><u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 可搬型重大事故等対処設備の容器等(完成品は除く。)は、設計条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。</p> <p><u>ト. (ト) (2) ②c. (a) ii. -2-1</u> 可搬型重大事故等対処設備の容器等の完成品は、消防法に基づく技術上の規格等一般産業用工業品の規格及び基準に適合していることを確認し、使用環境及び使用条件に対して、要求される強度を確保できる設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水する又は尾駁沼で使用する可搬型重大事故等対処設備は、耐腐食性材料を使用する設計とする。また、尾駁沼から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置を講ずる。</u></p> <p>また、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -1</u>設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -2</u>「<u>ロ.(ト)(2) ②e. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p> <p><u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -3</u>「<u>また、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって機能を損なわない設計とするとともに、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う。</u>」</p>	<p><u>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水する又は尾駁沼で使用する可搬型重大事故等対処設備は、耐腐食性材料を使用する設計とする。また、尾駁沼から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</u></p> <p>可搬型重大事故等対処設備の操作は、設置場所で可能な設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置を講ずる。</u></p> <p>また、設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ハ)(1) ⑤地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>周辺機器等からの影響について、地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって機能を損なわない設計とする。また、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p><u>ト.(ト)(2)②c. (a) ii. -2-1</u>ただし、<u>可搬型重大事故等対処設備の容器等のうち内燃機関は、完成品として一般産業用工業品の規格及び基準で規定される温度試験等を実施し、定格負荷状態において、要求される強度を確保できる設計とする。</u></p> <p>8.2.4 環境条件等 (1) 環境条件 &lt;中略&gt;</p> <p><u>重大事故等時に汽水を供給する系統への影響に対して常時汽水を通水する又は尾駁沼で使用する可搬型重大事故等対処設備は、耐腐食性材料を使用する設計とする。また、尾駁沼から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、「3.1 地震による損傷の防止」に記載する地震力による荷重を考慮して、当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置を講ずる設計とする。</u></p> <p>また、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -1</u>事業(変更)許可を受けた設計基準事故において想定した条件より厳しい条件を要因とした外的事象の地震に対して、地震を要因とする重大事故等に対処するために重大事故等時に機能を期待する可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -2</u>「<u>8.2.6. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とする。</p> <p><u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -3</u>さらに、<u>当該設備周辺の機器等からの波及的影響によって重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。また、当該設備周辺の資機材の落下、転倒による損傷を考慮して、当該設備周辺の資機材の落下防止、転倒防止、固縛の措置を行う設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -1</u>及び<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -1</u>及び<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -2</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -3</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>溢水、火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、溢水に対しては想定する溢水量に対して機能を損なわない高さへの設置又は保管、被水防護を行うことにより、火災に対しては、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -4</u>「<u>ロ.(ト)(2) ② f. 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行うことにより、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -5</u>「<u>ロ.(ト)(2) ③ 耐津波構造</u>」に基づく設計とする。</p> <p>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる建屋等内に保管し、重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)及び竜巻に対して風(台風)及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備又は当該設備を収納するものに対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>積雪及び火山の影響に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重を考慮し、損傷防止措置として<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -6</u>除雪、除灰及び屋内への配備を実施することにより、重大事故等に対処するための機能を損</p>	<p>想定する溢水量に対して可搬型重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置又は保管、被水防護を行う。</p> <p>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ハ)(1) ⑥可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行う。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「<u>イ.(ロ)(6) 津波による損傷の防止</u>」に基づく設計とする。</p> <p>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発に対して可搬型重大事故等対処設備は、建屋等に保管し、外部からの衝撃による損傷を防止できる設計とする。</p> <p>風(台風)及び竜巻に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備又は当該設備を収納するものに対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>積雪及び火山の影響に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、積雪に対しては除雪する手順を、火山の影響(降下火砕物による積載荷重)に対しては除灰及び屋内への配備を実施する手順を整備する。</p>	<p>溢水及び火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、溢水に対しては想定する溢水量に対して機能を損なわない高さへの設置又は保管、被水防護を行うことにより、火災に対しては、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -4</u>「<u>8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</u>」に基づく火災防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>津波に対して可搬型重大事故等対処設備の保管場所は、<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -5</u>「<u>3.2 津波による損傷の防止</u>」に示す津波による影響を受けない位置に保管する設計とする。</p> <p>また、可搬型重大事故等対処設備の据付けは、津波による影響を受けるおそれのない場所を選定することとし、使用時に津波による影響を受けるおそれのある場所に据付けける場合は、津波に対して重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪及び火山の影響に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる建屋等内に保管し、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備は、風(台風)及び竜巻に対して風(台風)及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備又は当該設備を収納するものに対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>ただし、固縛する屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、地震時の移動を考慮して地震後の機能を維持する設備は、余長を有する固縛で拘束することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>積雪及び火山の影響に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重を考慮し、損傷防止措置として除雪、除灰及び屋内への配備を実施することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわないよう維持する</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -4</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -4</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -5</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -5</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -6</u>は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>なわないう維持する。</u></p> <p><u>凍結，高温及び降水に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は，凍結防止対策，高温防止対策及び防水対策により，重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>落雷に対して全交流電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備は，直撃雷を考慮した設計を行う。</u></p> <p><u>直撃雷に対して，構内接地網と接続した避雷設備で防護される範囲内に保管する又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に保管することにより，重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>生物学的事象に対して可搬型重大事故等対処設備は，鳥類，昆虫類及び小動物の侵入を考慮し，これら生物の侵入を防止又は抑制することにより，重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して可搬型重大事故等対処設備は，防火帯の内側に保管することにより，重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても，離隔距離の確保等により，可搬型重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は，換気設備及び非管理区域の換気空調設備の給気系への除塩フィルタの設置により，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，屋外の可搬型重大事故等対処設備は，屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は絶縁性の維持対策により，重大事故等</u></p>	<p><u>凍結，高温及び降水に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は，凍結防止対策，高温防止対策及び防水対策により，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p><u>落雷に対して，全交流電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備は，直撃雷を考慮した設計を行う。</u></p> <p><u>直撃雷に対して，構内接地網と接続した避雷設備で防護される範囲内に保管する又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に保管することにより，重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p><u>生物学的事象に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は，鳥類，昆虫類，小動物及び水生植物の付着又は侵入を考慮し，これら生物の侵入を防止又は抑制できる設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は，防火帯の内側に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても，離隔距離の確保等により，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は，換気設備及び非管理区域の換気空調設備の給気系への除塩フィルタの設置により，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，屋外の可搬型重大事故等対処設備は，屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は絶縁性の維持対策により，機能を損な</u></p>	<p>設計とする。<u>ロ.(ト)(2) c. (a) ii. -6 除雪，除灰及び屋内への配備を実施することについては，保安規定に定めて，管理する。</u></p> <p><u>凍結，高温及び降水に対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は，凍結防止対策，高温防止対策及び防水対策により，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>落雷に対して全交流電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備は，直撃雷を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>直撃雷に対して，構内接地網と接続した避雷設備で防護される範囲内に保管する又は構内接地網と接続した避雷設備を有する建屋等に保管することにより，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>生物学的事象に対して可搬型重大事故等対処設備は，鳥類，昆虫類，小動物及び水生植物の付着又は侵入を考慮し，これら生物の侵入を防止又は抑制することにより，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>森林火災に対して可搬型重大事故等対処設備は，防火帯の内側に保管することにより，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，森林火災からの輻射強度の影響を考慮した場合においても，離隔距離の確保等により，可搬型重大事故等対処設備の重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>塩害に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は，換気設備及び非管理区域換気空調設備の給気系への除塩フィルタ及び粒子フィルタの設置により，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また，屋外の可搬型重大事故等対処設備は，屋外施設の塗装等による腐食防止対策又は絶縁性の維持対策により，重大事故等</u></p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響について可搬型重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ保管することにより機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</u></p> <p>(b) 重大事故等対処設備の設置場所  <u>重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計とする。</u></p> <p>(c) 可搬型重大事故等対処設備の設置場所  <u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設</u></p>	<p><u>われない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいについては、屋外の可搬型重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>内部発生飛散物に対して可搬型重大事故等対処設備は、当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物により設計基準事故に対処するための設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、位置的分散を図る。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</u></p> <p>b. 重大事故等対処設備の設置場所  <u>重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置、放射線防護具類等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計とする。</u></p> <p>c. 可搬型重大事故等対処設備の設置場所  <u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及</u></p>	<p><u>への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>敷地内における化学物質の漏えいに対して屋外の可搬型重大事故等対処設備は、機能を損なわない高さへの設置、被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>周辺機器等からの影響について可搬型重大事故等対処設備は、内部発生飛散物に対して当該設備周辺機器の回転機器の回転羽の損壊による飛散物の影響を考慮し、影響を受けない位置へ保管することにより重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備は、同時に発生する可能性のある再処理施設における重大事故等による建屋外の環境条件の影響を受けない設計とする。</u></p> <p>(2) 重大事故等対処設備の設置場所  <u>重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計とする。</u></p> <p>(3) 可搬型重大事故等対処設備の設置場所  <u>可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計により、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p>d. 操作性及び試験・検査性 （a）操作性の確保</p> <p>i. 操作の確実性 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等における条件を考慮し、操作する場所において操作が可能な設計とする。 操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬型照明は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備する。</p> <p>現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は運搬・設置が確実に行えるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張出し又は輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p> <p>現場の操作スイッチは、非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。</p>	<p><u>び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置、放射線防護具類等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計により、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p>④ 操作性及び試験・検査性 a. 操作性の確保</p> <p>（a）操作の確実性 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等時における環境条件を考慮し、操作する場所において操作が可能な設計とする。 操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬型照明は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備する。</p> <p>現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は運搬・設置が確実に行えるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張出し又は輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p> <p>現場の操作スイッチは非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。</p>	<p><u>び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、遮蔽設備を有する緊急時対策所及び再処理施設の中央制御室で操作可能な設計により、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p>8.2.5 操作性及び試験・検査性 (1) 操作性の確保 重大事故等対処設備は、手順書の整備、訓練・教育により、想定される重大事故等が発生した場合においても、確実に操作でき、事業変更許可申請書「六 加工施設において核燃料物質が臨界状態になることその他の事故が発生した場合における当該事故に対処するために必要な施設及び体制の整備に関する事項」ロで考慮した要員数と想定時間内で、アクセスルートの確保を含め重大事故等に対処できる設計とする。これらの運用に係る体制、管理等については、保安規定に定めて、管理する。</p> <p>a. 操作の確実性 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等における条件を考慮し、操作する場所において操作が可能な設計とする。 操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬型照明は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は運搬・設置が確実に行えるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張出し又は輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p> <p>現場の操作スイッチは、非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>現場において人力で操作を行う弁等は、手動操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場での接続操作は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、速やかに、容易かつ確実に接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備には識別表示を設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央監視室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器具は非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器は、その作動状態の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>ii. 系統の切替性  <u>重大事故等対処設備のうち本来の用途（安全機能を有する施設としての用途等）以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備は、通常時に使用する系統から速やかに切替操作が可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</u></p> <p>iii. 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性  <u>可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とし、ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度等の特性に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。また、同一ポンプを接続するホースは、流量に応じて口径を統一すること等により、複数の系統での接続方式を考慮した設計とする。</u></p> <p>iv. 再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路の確保  <u>想定される重大事故等が発生した場合に</u></p>	<p><u>現場において人力で操作を行う弁等は、手動操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場での接続操作は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、速やかに、容易かつ確実に接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備には識別表示を設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央監視室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器具は非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器は、その作動状態の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>(b) 系統の切替性  <u>重大事故等対処設備のうち本来の用途（安全機能を有する施設としての用途等）以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備は、通常時に使用する系統から速やかに切替操作が可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</u></p> <p>(c) 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性  <u>可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とし、ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度等の特性に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。また、同一ポンプを接続するホースは、流量に応じて口径を統一すること等により、複数の系統での接続方式を考慮した設計とする。</u></p> <p>(d) 再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路の確保  <u>想定される重大事故等が発生した場合に</u></p>	<p><u>現場において人力で操作を行う弁等は、手動操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場での接続操作は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、速やかに、容易かつ確実に接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備には識別表示を設置する設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央監視室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器具は非常時対策組織要員の操作性を考慮した設計とする。</u></p> <p><u>想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器は、その作動状態の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>b. 系統の切替性  <u>重大事故等対処設備のうち本来の用途（安全機能を有する施設としての用途等）以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備は、通常時に使用する系統から速やかに切替操作が可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</u></p> <p>c. 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性  <u>可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とし、ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度等の特性に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。また、同一ポンプを接続するホースは、流量に応じて口径を統一すること等により、複数の系統での接続方式を考慮した設計とする。</u></p> <p>d. 再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路の確保  <u>想定される重大事故等が発生した場合におい</u></p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>において、可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所への運搬及び接続場所への敷設、又は他の設備の被害状況を把握するため、再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路をアクセスルートとして<sup>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -1</sup>以下の設計により確保する。</p> <p>アクセスルートは、環境条件として考慮した事象を含め、自然現象、人為事象、溢水、火災を考慮しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。</p> <p>アクセスルートに対する自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波(敷地に遡上する津波を含む。)、洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象及び森林火災を選定する。</p> <p>アクセスルートに対する人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれのある事象として選定する航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダム崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確保する設計とする。</p>	<p>において、可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所への運搬及び接続場所への敷設、又は他の設備の被害状況を把握するため、再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路をアクセスルートとして以下の設計により確保する。</p> <p>アクセスルートは、環境条件として考慮した事象を含め、自然現象、人為事象、溢水、火災を考慮しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数確保する。</p> <p>アクセスルートに対する自然現象については、地震、津波(敷地に遡上する津波を含む。))に加え、敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害等の事象を考慮する。その上で、これらの事象のうち、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波(敷地に遡上する津波を含む。))、洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象及び森林火災を選定する。</p> <p>アクセスルートに対する人為事象については、国内外の文献等から抽出し、さらに事業許可基準規則の解釈第9条に示される飛来物(航空機落下)、有毒ガス、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダム崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。その上で、これらの事象のうち、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれのある事象として選定する航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダム崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、迂回</p>	<p>て、可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所への運搬及び接続場所への敷設、又は他の設備の被害状況を把握するため、再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路をアクセスルートとして<sup>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -1</sup>確保できるよう、以下の設計とする。</p> <p>アクセスルートは、環境条件として考慮した事象を含め、自然現象、人為事象、溢水、火災を考慮しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する設計とする。</p> <p>アクセスルートに対する自然現象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波(敷地に遡上する津波を含む。))、洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象及び森林火災を選定する。</p> <p>アクセスルートに対する人為事象については、重大事故等時における敷地及びその周辺での発生の可能性、アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、アクセスルートに影響を与えるおそれのある事象として選定する航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、電磁的障害、近隣工場等の火災、爆発、ダム崩壊、船舶の衝突及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確保する設計とする。</p> <p>なお、洪水、ダム崩壊及び船舶の衝突については立地的要因により設計上考慮する必要はない。落雷及び電磁的障害に対しては、道路面が直接影響を受けることはないことからアクセスルートへの影響はない。生物学的事象に対しては、容易に排除可能なため、アクセスルートへの影響はない。</p>	<p>設工認の<sup>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -1</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -1</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>屋外のアクセスルートは、<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-2</u>「<u>ロ.(ホ)(2) 重大事故等対処施設の耐震設計</u>」にて考慮する地震の影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)及び人為事象による影響(航空機落下、爆発)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早急に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダを<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-3</u>台使用する。</p> <p>ホイールローダは、必要数として3台に加え、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台、合計7台を保有数とし、分散して保管する設計とする。</p> <p>屋外のアクセスルートは、地震による屋外タンクからの溢水及び降水に対しては、道路上への自然流下も考慮した上で、通行への影響を受けない箇所に確保する設計とする。</p> <p>敷地外水源の取水場所及び取水場所への屋外のアクセスルートに遡上するおそれのある津波に対しては、津波警報の解除後に対応を開始する。</p>	<p>路も考慮した複数のアクセスルートを確認する設計とする。</p> <p>なお、洪水、ダムの崩壊及び船舶の衝突については立地的要因により設計上考慮する必要はない。落雷及び電磁的障害に対しては、道路面が直接影響を受けることはないことからアクセスルートへの影響はない。生物学的事象に対しては、容易に排除可能なため、アクセスルートへの影響はない。</p> <p>屋外のアクセスルートは、「<u>イ... (ロ) (5) ②重大事故等対処施設の耐震設計</u>」にて考慮する地震の影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)及び人為事象による影響(航空機落下、爆発)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早急に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダを3台使用する。</p> <p>ホイールローダは、必要数として3台に加え、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台、合計7台を保有数とし、分散して保管する設計とする。</p> <p>屋外のアクセスルートは、地震による屋外タンクからの溢水及び降水に対しては、道路上への自然流下も考慮した上で、通行への影響を受けない箇所に確保する設計とする。</p> <p>敷地外水源の取水場所及び取水場所への屋外のアクセスルートに遡上するおそれのある津波に対しては、津波警報の解除後に対応を開始する。</p>	<p>屋外のアクセスルートは、<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-2</u>「<u>3.1 地震による損傷の防止</u>」にて考慮する地震の影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)及び人為事象による影響(航空機落下、爆発)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早急に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダを<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-3</u>使用する。</p> <p>ホイールローダは、必要数として<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-3</u>3台に加え、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台、合計7台を保有数とし、分散して保管する設計とする。</p> <p>屋外のアクセスルートは、地震による屋外タンクからの溢水及び降水に対しては、道路上への自然流下も考慮した上で、通行への影響を受けない箇所に確保する設計とする。</p> <p>8.2.5 操作性及び試験・検査性 (1) 操作性の確保          &lt;中略&gt;          再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路を確保するために、上記の設計に加え、以下を保安規定に定めて、管理する。          ・尾駁沼取水場所A、尾駁沼取水場所B又は二又川取水場所A(以下「敷地外水源」という。)の取水場所及び取水場所への屋外のアクセスルートに遡上するおそれのある津波に対しては、津波警報の解除後に対応を開始すること。</p>	<p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-2</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-2</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-3</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ロ.(ト)(2) d.(a) iv.-3</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -4 <u>なお、津波警報の発令を確認時にこれらの場所において対応中の場合に備え、非常時対策組織要員及び可搬型重大事故等対処設備を一時的に退避する手順を整備する。</u></p> <p>屋外のアクセスルートは、ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -5 <u>「ロ.(ホ)(2) 重大事故等対処施設の耐震設計」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりで崩壊土砂が広範囲に到達することを想定した上で、ホイールローダにより崩壊箇所を復旧する又は迂回路を確保する。</u></p> <p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -6 <u>また、不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、段差緩和対策を行う設計とし、</u></p> <p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -7 <u>ホイールローダにより復旧する。</u></p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、道路については融雪剤を配備ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -8 <u>し、車両についてはタイヤチェーン等を装着することにより通行性を確保できる設計とする。</u></p>	<p>なお、津波警報の発令を確認時にこれらの場所において対応中の場合に備え、非常時対策組織要員及び可搬型重大事故等対処設備を一時的に退避する手順を整備する。</p> <p>屋外のアクセスルートは、「イ.(ロ)(5) ②重大事故等対処施設の耐震設計」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりで崩壊土砂が広範囲に到達することを想定した上で、ホイールローダにより崩壊箇所を復旧するか又は迂回路を確保する。</p> <p>また、不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、段差緩和対策を行う設計とし、ホイールローダにより復旧する。</p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、道路については融雪剤を配備し、車両についてはタイヤチェーン等を装着することにより通行性を確保できる設計とする。</p>	<p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -4 <u>また、津波警報の発令を確認時にこれらの場所において対応中の場合に備え、非常時対策組織要員及び可搬型重大事故等対処設備を一時的に退避すること。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>屋外のアクセスルートは、ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -5 <u>「3.1 地震による損傷の防止」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりで崩壊土砂が広範囲に到達することを想定した上で、ホイールローダにより崩壊箇所を復旧する又は迂回路を確保する設計とする。</u></p> <p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -6 <u>不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、段差緩和対策を行う設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -7 <u>再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路を確保するために、上記の設計に加え、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外のアクセスルートは、「3.1 地震による損傷の防止」にて考慮する地震の影響による周辺斜面の崩壊、道路面のすべりによる崩壊土砂及び不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、ホイールローダにより復旧すること。</li> </ul> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、車両はタイヤチェーン等を装着することにより通行性を確保できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -8, 9, 10 <u>再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路を確保するために、上記の設計に加え、以下を保安規定に定めて、管理する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち凍結及び積雪に対して、道路については、融雪剤を配備ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -8 <u>すること。</u></li> </ul>	<p>事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -4は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -5は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -5と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -6は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -6と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -7は、保安規定にて対応する。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2) d. (a) iv. -8は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>敷地内における化学物質の漏えいに対して  <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -9</u>は、必要に応じて薬品防護具の着用により通行する。</p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象及び人為事象のうち森林火災及び近隣工場等の火災に対しては、消防車による初期消火活動を行う<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -10</u>手順を整備する。</p> <p>屋内のアクセスルートは、<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -11</u>「<u>ロ. (ホ) (2) 重大事故等対処施設の耐震設計</u>」の地震を考慮した建屋等に複数確保する設計とする。</p> <p>屋内のアクセスルートは、自然現象及び人為事象として選定する風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発、有毒ガス及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に確保する設計とする。</p> <p>屋内のアクセスルートにおいては、機器からの溢水に対してアクセスルートでの非常時対策組織要員の安全<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -12</u>を考慮した防護具を着用する。                  また、地震時に通行が阻害されないよう</p>	<p>敷地内における化学物質の漏えいに対しては、必要に応じて薬品防護具の着用により通行する。なお、融雪剤の配備等については、「添付書類七 ハ. (イ) (1)②アクセスルートの確保」に示す。</p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象及び人為事象のうち森林火災及び近隣工場等の火災に対しては、消防車による初期消火活動を行う手順を整備する。                  大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムによる大規模損壊時の消火活動等については、「添付書類七 ハ. (ロ) 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応における事項」に示す。</p> <p>屋外のアクセスルートの地震発生時における、火災の発生防止対策（可燃物を収納した容器の固縛による転倒防止）及び火災の拡大防止対策（大量の可燃物を内包する変圧器の防油堤の設置）については、「火災防護計画」に定める。</p> <p>屋内のアクセスルートは、「イ. (ロ) (5) ②重大事故等対処施設の耐震設計」の地震を考慮した建屋等に複数確保する設計とする。                  屋内のアクセスルートは、津波に対して立地的要因によりアクセスルートへの影響はない。</p> <p>屋内のアクセスルートは、風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発、有毒ガス及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に確保する設計とする。</p> <p>屋内のアクセスルートにおいては、機器からの溢水に対してアクセスルートでの非常時対策組織要員の安全を考慮した防護具を着用する。                  また、地震時に通行が阻害されないよう</p>	<p>敷地内における化学物質の漏えいに対して  <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -9</u>薬品防護具を配備し、必要に応じて着用すること。</p> <p>屋外のアクセスルートは、考慮すべき自然現象及び人為事象のうち森林火災及び近隣工場等の火災に対しては、消防車による初期消火活動を行う<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -10</u>こと。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>屋内のアクセスルートは、<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -11</u>「<u>3.1 地震による損傷の防止</u>」の地震を考慮した建屋等に複数確保する設計とする。</p> <p>屋内のアクセスルートは、津波に対して立地的要因によりアクセスルートへの影響はない。</p> <p>屋内のアクセスルートは、自然現象及び人為事象として選定する風(台風)、竜巻、凍結、高温、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、塩害、航空機落下、敷地内における化学物質の漏えい、近隣工場等の火災、爆発、有毒ガス及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -12</u>再処理事業所内の屋外道路及び屋内通路を確保するために、上記の設計に加え、以下を保安規定に定めて、管理する。</p> <p>屋内のアクセスルートにおいては、機器からの溢水<u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -12</u>を考慮し、防護具を配備し、必要に応じて着用すること。また、地震時に通行が阻害されないように、アクセスルート上の資機材の落下防止、転倒防止及</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -9</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -10</u>は、保安規定にて対応する。</p> <p>設工認の <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -11</u>は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -11</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ト)(2) d. (a) iv. -12</u>は、保安規定にて対応する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>に、アクセスルート上の資機材の落下防止、転倒防止及び固縛の措置並びに火災の発生防止対策を実施する。</u></p> <p><u>屋外及び屋内のアクセスルートにおいては、被ばくを考慮した放射線防護具の配備を行い、移動時及び作業時の状況に応じて着用する。</u></p> <p><u>また、夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明を配備する。</u></p> <p>(b) 試験・検査性</p> <p><u>重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するための試験又は検査並びに当該機能を健全に維持するための保守及び修理が実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</u></p> <p><u>試験又は検査は、使用前事業者検査、定期事業者検査、自主検査等が実施可能な設計とする。また、保守及び修理は、維持活動としての点検(日常の運転管理の活用を含む。)、取替え、保修等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>多重性を備えた系統及び機器にあつては、各々が独立して試験又は検査並びに保守及び修理ができる設計とする。</u></p> <p><u>構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放(非破壊検査を含む。)が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>に、アクセスルート上の資機材の落下防止、転倒防止及び固縛の措置並びに火災の発生防止対策を実施する。万一通行が阻害される場合は迂回する又は乗り越える。</u></p> <p><u>屋外及び屋内のアクセスルートにおいては、被ばくを考慮した放射線防護具の配備を行い、移動時及び作業時の状況に応じて着用する。</u></p> <p><u>また、夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明を配備する。</u></p> <p>b. 試験・検査性</p> <p><u>重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するための試験又は検査並びに当該機能を健全に維持するための保守及び修理が実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</u></p> <p><u>試験又は検査は、使用前事業者検査、定期事業者検査、自主検査等が実施可能な設計とする。また、保守及び修理は、維持活動としての点検(日常の運転管理の活用を含む。)、取替え、保修等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>多重性を備えた系統及び機器にあつては、各々が独立して試験又は検査並びに保守及び修理ができる設計とする。</u></p> <p><u>構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放(非破壊検査を含む。)が可能な設計とする。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備のうち点検保守による待機除外時のバックアップが必要な設備については、点検保守中に重大事故等が発生した場合においても確実に対処できるようにするため、同時に点検保守を行う個数を考慮した待機除外時のバックアップを確保する。なお、点検保守時には待機除外時のバックアップを配備した上で点検保守を行うものとする。</u></p>	<p><u>び固縛の措置並びに火災の発生防止対策を実施すること。</u></p> <p>・<u>屋外及び屋内のアクセスルートにおいては、被ばくを考慮した放射線防護具の配備を行い、移動時及び作業時の状況に応じて着用すること。</u></p> <p><u>また、夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明を配備すること。</u></p> <p>(2) 試験・検査性</p> <p><u>重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するための試験又は検査並びに当該機能を健全に維持するための保守及び修理が実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</u></p> <p><u>試験又は検査は、使用前事業者検査、定期事業者検査、自主検査等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>また、保守及び修理は、維持活動としての点検(日常の運転管理の活用を含む。)、取替え、保修等が実施可能な設計とする。</u></p> <p><u>多重性を備えた系統及び機器にあつては、各々が独立して試験又は検査並びに保守及び修理ができる設計とする。</u></p> <p><u>構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放(非破壊検査を含む。)が可能な設計とし、機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検を考慮することにより、分解・開放が不要なものについては外観の確認が可能な設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>e. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</p> <p>(a) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計の基本方針</p> <p><u>基準地震動を超える地震動に対して機能維持が必要な設備については、重大事故等対処施設及び安全機能を有する施設の耐震設計における設計方針を踏襲し、基準地震動の1.2倍の地震力に対して必要な機能が損なわれるおそれがないことを目的として、以下のとおり耐震設計を行う。</u></p> <p>i. <u>□.(ト)(2) e. (a) i.-1</u>重大事故等の起因となる異常事象の選定において基準地震動を1.2倍した地震力を考慮する設備は、<u>基準地震動を1.2倍した地震力に対して、必要な機能が損なわれるおそれがないように設計する。</u></p> <p>ii. <u>地震を要因として発生する重大事故等に対処する重大事故等対処設備は、基準地震動を1.2倍した地震力に対して、□.(ト)(2) e. (a) ii.-1</u>重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがないように設計する。</p>	<p>⑤ 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</p> <p>a. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計の基本方針</p> <p><u>基準地震動を超える地震動に対して機能維持が必要な設備については、重大事故等対処施設及び安全機能を有する施設の耐震設計における設計方針を踏襲し、基準地震動の1.2倍の地震力に対して必要な機能が損なわれるおそれがないことを目的として、以下のとおり耐震設計を行う。</u></p> <p>(a) <u>重大事故等の起因となる異常事象の選定において基準地震動を1.2倍した地震力を考慮する設備は、基準地震動を1.2倍した地震力に対して、必要な機能が損なわれるおそれがないように設計する。</u></p> <p>(b) <u>地震を要因として発生する重大事故等に対処する重大事故等対処設備は、基準地震動を1.2倍した地震力に対して、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがないように設計する。</u></p>	<p>8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</p> <p>(1) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計の基本方針</p> <p><u>基準地震動S<sub>s</sub>を超える地震動に対して機能維持が必要な施設については、重大事故等対処施設及び安全機能を有する施設の耐震設計における設計方針を踏襲し、重大事故等対処施設の構造上の特徴、重大事故等の状態で施設に作用する荷重等を考慮し、基準地震動の1.2倍の地震力に対して必要な機能が損なわれるおそれがないことを目的として、以下のとおり耐震設計を行う。</u></p> <p>a. <u>□.(ト)(2) e. (a) i.-1</u>事業(変更)許可における重大事故の発生を仮定する際の条件の設定及び重大事故の発生を仮定する機器の特定において、<u>基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震動を考慮した際に機能維持できる設計とした設備（以下「起因に対し発生防止を期待する設備」という。）は、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力に対して、閉じ込め機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>起因に対し発生防止を期待する設備を設置する建物・構築物は、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、起因に対し発生防止を期待する設備を支持できる設計とする。</p> <p>b. <u>地震を要因として発生する重大事故等に対処する常設重大事故等対処設備（以下「対処する常設重大事故等対処設備」という。）は、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力に対して、□.(ト)(2) e. (a) ii.-1</u>想定する重大事故等を踏まえ、<u>火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>対処する常設重大事故等対処設備は、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響を考慮し、地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能が維持できる設計とする。</p> <p>対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物は、基準地震動S<sub>s</sub>を1.2倍した地震力によって設置する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、対処する常設重大事故等対処設備を支持できる設計並びに重大事故等の対処に係</p>	<p>設工認の□.(ト)(2) e. (a) i.-1は、事業変更許可申請書（本文）の□.(ト)(2) e. (a) i.-1を具体的に記載しており整合している</p> <p>設工認の□.(ト)(2) e. (a) ii.-1は、事業変更許可申請書（本文）の□.(ト)(2) e. (a) ii.-1を具体的に記載しており整合している</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>る操作場所及びアクセスルートが保持できる設計とする。</p> <p>c. 地震を要因として発生する重大事故等に対処する可搬型重大事故等対処設備（以下「対処する可搬型重大事故等対処設備」という。）は、各保管場所における基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力に対して、想定する重大事故等を踏まえ、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう、転倒しないよう固縛等の措置を講ずるとともに、動的機器については加振試験等により地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれない設計とする。また、ダクト等の静的機器は、複数の保管場所に分散して保管することにより、地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物は、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力によって保管する建物・構築物に生じる変形等の地震影響においても、保管場所、操作場所及びアクセスルートが保持できる設計とする。</p> <p>起因に対し発生防止を期待する設備、対処する常設重大事故等対処設備、対処する可搬型重大事故等対処設備は、個別の設備の機能や設計を踏まえて、地震を要因とする重大事故等時において、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力による影響によって、機能を損なわない設計とする。</p> <p>(2) 地震力の算定方法 地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計に用いる動的地震力は、第1章 3.自然現象等」における「3.1.1(3)b.(a)入力地震動」の解放基盤表面で定義する基準地震動<math>S_s</math>の加速度を1.2倍した地震動により算定した地震力を適用する。</p> <p>(3) 荷重の組合せと許容限界 地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計における荷重の組合せと許容限界は、以下によるものとする。 地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の耐震設計においては、必要な機能である火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能、操作場所及びアクセスルートの保持機能、保管場所の保持機能、支持機能等を</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>維持する設計とする。</p> <p>建物・構築物に要求される操作場所及びアクセスルートの保持機能，保管場所の保持機能並びに支持機能については，基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力に対して，当該機能が要求される施設の構造強度を確保することで機能を維持できる設計とする。</p> <p>機器・配管系に要求される火災感知機能等については，基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力に対して，当該機能が要求される施設の構造強度を確保することで機能を維持できる設計とする。</p> <p>また，機器・配管系に要求される消火機能，閉じ込め機能については，構造強度を確保するとともに，当該機能が要求される各施設の特性に応じて許容限界を適切に設定することで機能を維持できる設計とする。</p> <p>可搬型設備に要求される閉じ込め機能，支援機能等については，可搬型設備の特性に応じて，構造強度を確保する又は当該機能が要求される各施設の特性に応じて許容限界を適切に設定することで機能が維持できる設計とする。</p> <p>a. 耐震設計上考慮する状態 地震以外に設計上考慮する状態を以下に示す。</p> <p>(a) 建物・構築物 第 1 章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「a. 耐震設計上考慮する状態」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし，その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に読み替えて適用する。なお，対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する重大事故等対処施設の建物・構築物も同様に適用する。</p> <p>(b) 機器・配管系 第 1 章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「a. 耐震設計上考慮する状態」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし，その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に読み替えて適用する。</p> <p>(c) 可搬型設備 イ. 通常時の状態 当該設備を保管している状態。 ロ. 地震を要因とする重大事故等時の状態 MOX 燃料加工施設が，地震を要因とする重大事故等に至るおそれがある事故又は地震を要因とする重大事故等の状態で，対処する可搬型重大事故等対処設備の機能を必要とする状態。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ハ. 設計用自然条件 屋外に保管している場合に設計上基本的に考慮しなければならない自然条件（積雪、風）。</p> <p>b. 荷重の種類</p> <p>(a) 建物・構築物 第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「b. 荷重の種類」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に、「地震力」を「基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力」と読み替えて適用する。なお、対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する重大事故等対処施設の建物・構築物も同様に適用する。</p> <p>(b) 機器・配管系 第1章 共通項目の「3.1.1 耐震設計」の「(4) 荷重の組合せと許容限界」の「b. 荷重の種類」の「(b) 重大事故等対処施設」に基づく設計とし、その場合において「重大事故等」を「地震を要因とする重大事故等」に、「地震力」を「基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力」と読み替えて適用する。</p> <p>(c) 可搬型設備</p> <p>イ. 通常時に作用している荷重 通常時に作用している荷重は持続的に生じる荷重であり、自重及び積載荷重とする。</p> <p>ロ. 地震を要因とする重大事故等時の状態で施設に作用する荷重。 対処する可搬型重大事故等対処設備は、保管状態であることから重大事故等起因の荷重は考慮しない。</p> <p>ハ. 対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力、積雪荷重及び風荷重 対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力を考慮する。屋外に保管する設備については、積雪荷重及び風荷重も考慮する。</p> <p>c. 荷重の組合せ 基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力とほかの荷重との組合せは、以下によるものとする。</p> <p>(a) 建物・構築物 イ. 起因に対し発生防止を期待する設備が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重（固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧）、積雪荷重及び風荷重と基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力を組み合わせる。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ロ. 対処する常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設又は対処する可搬型重大事故等対処設備が保管される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重（固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧）、積雪荷重及び風荷重と基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力とを組み合わせる。</p> <p>ハ. 対処する常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設又は対処する可搬型重大事故等対処設備が保管される重大事故等対処施設の建物・構築物については、通常時に作用している荷重（固定荷重、積載荷重、土圧及び水圧）、積雪荷重、風荷重及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重は、その事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力と組み合わせる。この組み合わせについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定し、通常時に作用している荷重のうち、土圧及び水圧については、基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力、弾性設計用地震動による地震力と組み合わせる場合は、当該地震時の土圧及び水圧とする。</p> <p>(b) 機器・配管系</p> <p>イ. 起因に対し発生防止を期待する設備に係る機器・配管系については、通常時に作用している荷重と基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力とを組み合わせる。</p> <p>ロ. 対処する常設重大事故等対処設備に係る機器・配管系については、通常時に作用している荷重と基準地震動<math>S_s</math>を1.2倍した地震力とを組み合わせる。</p> <p>ハ. 対処する常設重大事故等対処設備に係る機器・配管系について、通常時に作用している荷重、設計基準事故時の状態及び重大事故等時の状態で施設に作用する荷重は、その事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の関係を踏まえ、適切な地震力と組み合わせる。この組み合わせについては、事故事象の発生確率、継続時間及び地震動の年超過確率の積等を考慮し、工学的、総合的に勘案の上設定する。なお、継続時間については対策の成立性も考慮した上で設定し、屋外に設置される施設については、建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</p> <p>(c) 可搬型設備</p> <p>イ. 対処する可搬型重大事故等対処設備は、通</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>常時に作用している荷重と対処する可搬型重大事故等対処設備の保管場所における地震力とを組み合わせる。</p> <p>ロ. 対処する可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の荷重の組合せの考え方について、保管状態であることから重大事故等起因の荷重は考慮しない。ただし、屋外に設置される施設については、建物・構築物と同様に積雪荷重及び風荷重を組み合わせる。</p> <p>d. 荷重の組合せ上の留意事項</p> <p>イ. ある荷重の組合せ状態での評価が、その他の荷重の組合せ状態と比較して明らかに厳しいことが判明している場合には、その他の荷重の組合せ状態での評価は行わないことがある。</p> <p>ロ. 対処する常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物の当該部分の支持機能を確認する場合においては、基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力と通常時に作用している荷重及びその他必要な荷重とを組み合わせる。</p> <p>ハ. 積雪荷重については、屋外に設置されている施設のうち、積雪による受圧面積が小さい施設や、通常時に作用している荷重に対して積雪荷重の割合が無視できる施設を除き、基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力との組み合わせを考慮する。</p> <p>ニ. 風荷重については、屋外の直接風を受ける場所に設置されている施設のうち、風荷重の影響が地震荷重と比べて相対的に無視できないような構造、形状及び仕様の施設においては、基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力との組み合わせを考慮する。</p> <p>e. 許容限界</p> <p>基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力と他の荷重とを組み合わせた状態に対する許容限界は、以下のとおりとする。</p> <p>(a) 起因に対し発生防止を期待する設備</p> <p>起因に対し発生防止を期待する設備となる露出した MOX 粉末を取り扱い、さらに火災源を有するグローブボックスは、閉じ込め機能を維持するため、パネルにき裂や破損が生じないこと及び転倒しない設計とする。また、当該グローブボックスの内装機器の落下・転倒防止機能の確保に当たっては、放射性物質（固体）の閉じ込めバウンダリを構成する容器等を保持する設備の破損により、容器等が落下又は転倒しない設計とする。</p> <p>上記の閉じ込め機能を維持するために確保する構造強度の許容限界は、基準地震動 <math>S_s</math> の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベ</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</p> <p>上記構造強度の許容限界のほか、閉じ込め機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</p> <p>(b) 対処する常設重大事故等対処設備          対処する常設重大事故等対処設備の火災感知機能、消火機能、閉じ込め機能等の地震を要因として発生する重大事故等に対処するために必要な機能を維持するために確保する構造強度の許容限界は、基準地震動 <math>S_s</math> の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</p> <p>上記構造強度の許容限界のほか、消火機能、閉じ込め機能等の維持が必要な設備については、その機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</p> <p>(c) 対処する可搬型重大事故等対処設備          対処する可搬型重大事故等対処設備の許容限界は、保管する対処する可搬型重大事故等対処設備の構造を踏まえて設定する。</p> <p>取付ボルト等の構造強度は、基準地震動 <math>S_s</math> の 1.2 倍の地震力に対し、塑性域に達するひずみが生じた場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有し、その施設の機能に影響を及ぼすことがない限界に応力、荷重を制限する値とする。それ以外を適用する場合は各機能が維持できる許容限界とする。</p> <p>上記構造強度の許容限界のほか、閉じ込め機能等の維持が必要な設備については、その機能が維持できる許容限界を適切に設定する。</p> <p>(d) 起因に対し発生防止を期待する設備及び対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物並びに対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物          起因に対し発生防止を期待する設備及び対処する常設重大事故等対処設備を設置する建物・構築物並びに対処する可搬型重大事故等対処設備を保管する建物・構築物は、基準地震動 <math>S_s</math> を 1.2 倍した地震力に対し、建物・構築物全体としての変形能力（耐震壁のせん断ひずみ等）が終局耐力時の変形等の地震影響を考慮しても、地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の機能が維持できる設計とす</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>f. 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針</p> <p>(a) 可搬型重大事故等対処設備の火災発生防止  <u>可搬型重大事故等対処設備を保管する建屋内、建屋近傍、外部保管エリアは、発火性物質又は引火性物質を内包する設備に対する火災発生防止を講ずるとともに、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策及び接地対策、並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(b) 不燃性又は難燃性材料の使用  <u>可搬型重大事故等対処設備は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該可搬型重大事故等対処設備における火災に起因して、他の可搬型重大事故等対処設備の火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p>	<p>⑥ 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針          &lt;中略&gt;</p> <p>a. 可搬型重大事故等対処設備の火災発生防止  <u>可搬型重大事故等対処設備を保管する建屋内、建屋近傍、外部保管エリアは、発火性物質又は引火性物質を内包する設備に対する火災発生防止を講ずるとともに、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策及び接地対策、並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>b. 不燃性又は難燃性材料の使用  <u>可搬型重大事故等対処設備は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該可搬型重大事故等対処設備における火災に起因して、他の可搬型重大事故等対処設備の火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p>	<p>る。その上で、耐震評価においては、地震を要因とする重大事故等に対する重大事故等対処施設の必要な機能が発揮できることを確認するため、機能維持に必要な施設の部材・部位ごとのせん断ひずみ・応力等に対して、妥当な安全余裕を有することを確認する。          なお、終局耐力とは、建物・構築物に対する荷重又は応力を漸次増大していくとき、その変形又はひずみが著しく増加するに至る限界の最大耐力とし、既往の実験式等に基づき適切に定めるものとする。</p> <p>8.2.7 可搬型重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針          可搬型重大事故等対処設備は、共通要因によって設計基準事故に対処するための設備の安全機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故等に対処するために必要な機能と同時にその重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれることがないことを求められている。          MOX 燃料加工施設の重大事故等対処設備の内部火災に対する設計方針については、「5. 火災等による損傷の防止」に示すとおりであり、これを踏まえた、上記の可搬型重大事故等対処設備に求められる設計方針を達成するための内部火災に対する防護方針を以下に示す。</p> <p>(1) 可搬型重大事故等対処設備の火災発生防止  <u>可搬型重大事故等対処設備を保管する建屋内、建屋近傍、外部保管エリアは、発火性物質又は引火性物質を内包する設備に対する火災発生防止を講ずるとともに、発火源に対する対策、水素に対する換気及び漏えい検出対策及び接地対策、並びに電気系統の過電流による過熱及び焼損の防止対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>(2) 不燃性又は難燃性材料の使用  <u>可搬型重大事故等対処設備は、可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料の使用が技術上困難な場合は、代替材料を使用する設計とする。また、代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該可搬型重大事故等対処設備における火災に起因して、他の可搬型重大事故等対処設備の火災が発生することを防止するための措置を講ずる設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(c) 落雷，地震等の自然現象による火災の発生防止 敷地及びその周辺での発生の可能性，可搬型重大事故等対処設備への影響度，事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から，重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として，地震，津波，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，落雷，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害を選定する。</p> <p>風（台風），竜巻及び森林火災は，それぞれの事象に対して重大事故等に対処するために必要な機能を損なうことのないように，自然現象から防護する設計とすることで，火災の発生を防止する。</p> <p>生物学的事象のうちネズミ等の小動物の影響に対しては，侵入防止対策によって影響を受けない設計とする。</p> <p>津波，凍結，高温，降水，積雪，生物学的事象及び塩害は，発火源となり得る自然現象ではなく，火山の影響についても，火山からMOX燃料加工施設に到達するまでに降下火砕物が冷却されることを考慮すると，発火源となり得る自然現象ではない。</p> <p>したがって，MOX燃料加工施設で火災を発生させるおそれのある自然現象として，落雷，地震，竜巻（風（台風）を含む）及び森林火災によって火災が発生しないように，火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>(d) 早期の火災感知及び消火 火災の感知及び消火については，可搬型重大事故等対処設備に対する火災の影響を限定し，早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備に影響を及ぼすおそれのある火災を早期に感知するとともに，火災の発生場所を特定するために，固有の信号を発する異なる種類の火災感知器又は同等の機能を有する機器を組み合わせ設置する設計とする。</p>	<p>c. 落雷，地震等の自然現象による火災の発生防止 敷地及びその周辺での発生の可能性，可搬型重大事故等対処設備への影響度，事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から，重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として，地震，津波，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，落雷，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害を選定する。</p> <p>風（台風），竜巻及び森林火災は，それぞれの事象に対して重大事故等に対処するために必要な機能を損なうことのないように，自然現象から防護する設計とすることで，火災の発生を防止する。</p> <p>生物学的事象のうちネズミ等の小動物の影響に対しては，侵入防止対策によって影響を受けない設計とする。</p> <p>津波，凍結，高温，降水，積雪，生物学的事象及び塩害は，発火源となり得る自然現象ではなく，火山の影響についても，火山からMOX燃料加工施設に到達するまでに降下火砕物が冷却されることを考慮すると，発火源となり得る自然現象ではない。</p> <p>したがって，MOX燃料加工施設で火災を発生させるおそれのある自然現象として，落雷，地震，竜巻（風（台風）を含む）及び森林火災によって火災が発生しないように，火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>d. 早期の火災感知及び消火 火災の感知及び消火については，可搬型重大事故等対処設備に対する火災の影響を限定し，早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備に影響を及ぼすおそれのある火災を早期に感知するとともに，火災の発生場所を特定するために，固有の信号を発する異なる種類の火災感知器又は同等の機能を有する機器を組み合わせ設置する設計とする。</p>	<p>(3) 落雷，地震等の自然現象による火災の発生防止 敷地及びその周辺での発生の可能性，可搬型重大事故等対処設備への影響度，事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から，重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として，地震，津波，風（台風），竜巻，凍結，高温，降水，積雪，落雷，火山の影響，生物学的事象，森林火災及び塩害を選定する。</p> <p>風（台風），竜巻及び森林火災は，それぞれの事象に対して重大事故等に対処するために必要な機能を損なうことのないように，自然現象から防護する設計とすることで，火災の発生を防止する。</p> <p>生物学的事象のうちネズミ等の小動物の影響に対しては，侵入防止対策によって影響を受けない設計とする。</p> <p>津波，凍結，高温，降水，積雪，生物学的事象及び塩害は，発火源となり得る自然現象ではなく，火山の影響についても，火山からMOX燃料加工施設に到達するまでに降下火砕物が冷却されることを考慮すると，発火源となり得る自然現象ではない。</p> <p>したがって，MOX燃料加工施設で火災を発生させるおそれのある自然現象として，落雷，地震，竜巻（風（台風）を含む）及び森林火災によって火災が発生しないように，火災防護対策を講ずる設計とする。</p> <p>(4) 早期の火災感知及び消火 火災の感知及び消火については，可搬型重大事故等対処設備に対する火災の影響を限定し，早期の火災感知及び消火を行うための火災感知設備及び消火設備を設置する設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備に影響を及ぼすおそれのある火災を早期に感知するとともに，火災の発生場所を特定するために，固有の信号を発する異なる種類の火災感知器又は同等の機能を有する機器を組み合わせ設置する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>消火設備のうち消火栓，消火器等は，火災の二次的影響が重大事故等対処設備に及ばないよう適切に配置する設計とする。</u></p> <p><u>消火設備は，可燃性物質の性状を踏まえ，想定される火災の性質に応じた容量の消火剤を備える設計とする。</u></p> <p><u>火災時の消火活動のため，大型化学高所放水車，消防ポンプ付水槽車及び化学粉末消防車を配備する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処を行う屋内のアクセスルートには，重大事故等が発生した場合のアクセスルート上の火災に対して初期消火活動ができるよう消火器を配備し，初期消火活動<u>ロ.(ト)(2) f. (d)-1</u>ができる手順を整備する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備の保管場所のうち，火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となるところには，固定式消火設備を設置することにより，消火活動が可能な設計とする。</u></p> <p><u>消火設備の現場盤操作等に必要な照明器具として，蓄電池を内蔵した照明器具を設置する。</u></p> <p>(e) 火災感知設備及び消火設備に対する自然現象の考慮  <u>火災感知設備及び消火設備は，地震等の自然現象によっても，火災感知及び消火の機能，性能が維持されるよう，凍結，風水害，地震時の地盤変位を考慮した設計とする。</u></p>	<p><u>消火設備のうち消火栓，消火器等は，火災の二次的影響が重大事故等対処設備に及ばないよう適切に配置する設計とする。</u></p> <p><u>消火設備は，可燃性物質の性状を踏まえ，想定される火災の性質に応じた容量の消火剤を備える設計とする。</u></p> <p><u>火災時の消火活動のため，大型化学高所放水車，消防ポンプ付水槽車及び化学粉末消防車を配備する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処を行う屋内のアクセスルートには，重大事故等が発生した場合のアクセスルート上の火災に対して初期消火活動ができるよう消火器を配備し，初期消火活動ができる手順を整備する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備の保管場所のうち，火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となるところには，固定式消火設備を設置することにより，消火活動が可能な設計とする。</u></p> <p><u>消火設備の現場盤操作等に必要な照明器具として，蓄電池を内蔵した照明器具を設置する。</u></p> <p>e. 火災感知設備及び消火設備に対する自然現象の考慮  <u>火災感知設備及び消火設備は，地震等の自然現象によっても，火災感知及び消火の機能，性能が維持されるよう，凍結，風水害，地震時の地盤変位を考慮した設計とする。</u></p>	<p><u>消火設備のうち消火栓，消火器等は，火災の二次的影響が重大事故等対処設備に及ばないよう適切に配置する設計とする。</u></p> <p><u>消火設備は，可燃性物質の性状を踏まえ，想定される火災の性質に応じた容量の消火剤を備える設計とする。</u></p> <p><u>火災時の消火活動のため，大型化学高所放水車，消防ポンプ付水槽車及び化学粉末消防車を配備する設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処を行う屋内のアクセスルートには，重大事故等が発生した場合のアクセスルート上の火災に対して初期消火活動ができるよう消火器を配備し，初期消火活動<u>ロ.(ト)(2) f. (d)-1</u>については保安規定に定めて，管理する。</u></p> <p><u>可搬型重大事故等対処設備の保管場所のうち，火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となるところには，固定式消火設備を設置することにより，消火活動が可能な設計とする。</u></p> <p><u>消火設備の現場盤操作等に必要な照明器具として，蓄電池を内蔵した照明器具を設置する設計とする。</u></p> <p>(5) 火災感知設備及び消火設備に対する自然現象の考慮  <u>火災感知設備及び消火設備は，地震等の自然現象によっても，火災感知及び消火の機能，性能が維持されるよう，凍結，風水害，地震時の地盤変位を考慮した設計とする。</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）の <u>ロ.(ト)(2) f. (d)-1</u> は，保安規定にて対応する。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>③ 臨界事故の拡大を防止するための設備  <u>ロ. (ト) (2) ③-1 「六. ロ. (ハ) (1) ① a. (d) i. 臨界事故」に示すとおり、MOX燃料加工施設では臨界事故の発生が想定されないことから、臨界事故の拡大を防止するための設備は不要である。</u></p> <p>④ 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備</p> <p><u>ロ. (ト) (2) ④-1 重大事故の発生を仮定するグローブボックスには、重大事故の拡大を防止するために必要な次に掲げる重大事故等対処設備を設ける設計とする。</u></p>	<p>⑧ 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備          &lt;中略&gt;</p> <p>適合のための設計方針  <u>プルトニウムを取り扱う加工施設には、加工規則第二条の二第二号に規定する重大事故の拡大を防止するために必要な次に掲げる重大事故等対処設備を設ける設計とする。</u></p>	<p>(基本設計方針)          第1章 共通項目          1. 核燃料物質の臨界防止          1.7 臨界事故の拡大防止に関する設計  <u>ロ. (ト) (2) ③-1 MOX燃料加工施設では、臨界事故の発生が想定されないことから、臨界事故の拡大を防止するための設備は設置しない。</u>          &lt;中略&gt;</p> <p>4. 閉じ込める機能          4.3 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備</p> <p><u>ロ. (ト) (2) ④-1 MOX燃料加工施設の事業(変更)許可において想定している重大事故は、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失であり、露出したMOX粉末を取り扱い、火災源となる潤滑油を有するグローブボックス(以下「重大事故の発生を仮定するグローブボックス」という。)で火災が発生し、設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が、外的事象の「地震」又は内的事象の「動的機器の多重故障」で喪失することにより火災が継続し、核燃料物質等が火災により発生する気流によって気相中へ移行し、大気中へ放射性物質が放出されることである。</u></p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の対処では、火災の継続時間に応じて、外部への放射性物質の総放出量が増加するため、速やかに火災の確認及び消火を実施することにより、外部への放射性物質の放出を低減させる。</p> <p>また、火災の影響を受けたMOX粉末の外部への放出経路を速やかに遮断する対策を実施することにより、外部への放射性物質の放出を低減させる。</p> <p>上記対策後、核燃料物質等を回収するための作業環境を確保するため、核燃料物質等の閉じ込める機能を回復させるための対策を実施し、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認した後に核燃料物質の回収作業を実施する。</p>	<p>設工認の<u>ロ. (ト) (2) ③-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (ト) (2) ③-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ロ. (ト) (2) ④-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>ロ. (ト) (2) ④-1</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>MOX燃料加工施設ロ.(ト)(2)④-2には、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失に対処するため、核燃料物質等の飛散又は漏えいを防止し、飛散又は漏えいした核燃料物質等を回収するとともに、核燃料物質等を閉じ込める機能を回復するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>閉じ込める機能の喪失に対処するための設備は、ロ.(ト)(2)④-3代替火災感知設備、代替消火設備、外部放出抑制設備、工程室放射線計測設備及び代替グローブボックス排気設備で構成する。</p>	<p>第一号について</p> <p>核燃料物質等の飛散又は漏えいを防止し、飛散又は漏えいした核燃料物質等を回収するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する設計とする。</p>	<p>MOX燃料加工施設ロ.(ト)(2)④-2は、上記の核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失に対処するため、核燃料物質等の飛散又は漏えいを防止し、飛散又は漏えいした核燃料物質等を回収するとともに、核燃料物質等を閉じ込める機能を回復するために必要な重大事故等対処設備を設ける設計とする。</p> <p>閉じ込める機能の喪失に対処するための設備は、ロ.(ト)(2)④-3重大事故の発生を仮定するグローブボックス、代替火災感知設備、代替消火設備、外部放出抑制設備、工程室放射線計測設備及び代替グローブボックス排気設備で構成する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能の喪失を確認した場合、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災を速やかに確認するとともに、核燃料物質等の飛散又は漏えいの原因となる火災を速やかに消火するために必要な重大事故等対処設備として、代替火災感知設備及び代替消火設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、代替火災感知設備及び代替消火設備の設計方針については、第2章 個別項目の「7.1.1 火災防護設備」に示す。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失し、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内において火災が発生及び継続した場合、火災の影響を受けたMOX粉末がグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行し、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備が外部への放出経路となり得ることから、速やかに放出経路を遮断するために必要な重大事故等対処設備として、外部放出抑制設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、外部放出抑制設備の設計方針については、第2章 個別項目の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p>	<p>設工認のロ.(ト)(2)④-2は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2)④-2と同義であり整合している。</p> <p>設工認のロ.(ト)(2)④-3は、事業変更許可申請書（本文）のロ.(ト)(2)④-3を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類五）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>核燃料物質等の回収については、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認した後に実施するものとし、回収作業時の MOX 粉末の舞い上がりを考慮してサイクロン集塵機等の設備は用いず、ウエス等の資機材により MOX 粉末を回収することから、核燃料物質等を回収するために必要な重大事故等対処設備は設けない。ただし、回収作業に着手する判断として、工程室内雰囲気が安定した状態であることを確認するために必要な重大事故等対処設備として、工程室放射線計測設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、工程室放射線計測設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「6.1.2 代替モニタリング設備」に示す。</p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の回復は、核燃料物質等の回収の一環として、設計基準対象の施設であるグローブボックス排風機の復旧等に時間を要することが想定されるため、可搬型排風機付フィルタユニット等をグローブボックス排気設備に接続し、工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保することで工程室内の MOX 粉末を回収する際の作業環境を確保する。これらの可搬型排風機付フィルタユニット等により工程室内の MOX 粉末を回収する際の作業環境を確保するために必要な重大事故等対処設備として、代替グローブボックス排気設備を設ける設計とする。</p> <p>なお、代替グローブボックス排気設備の設計方針については、第 2 章 個別項目の「5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備」に示す。</p>		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ハ、加工設備本体の構造及び設備</p> <p>(イ) 化学処理施設 該当なし</p> <p>(ロ) 濃縮施設 該当なし</p> <p>(ハ) 成形施設</p> <p>(1) 施設の種類 成形施設は、原料粉末受入工程、粉末調整工程及びペレット加工工程で構成 <u>ハ.(ハ)(1)-①</u>し、燃料加工建屋に収納する。</p> <p>燃料加工建屋の主要構造は、地上2階、地下3階の</p> <p>鉄筋コンクリート造</p> <p><u>ハ.(ハ)(1)-②</u>で、建築面積約8000m<sup>2</sup>の耐火建築物 <u>ハ.(ハ)(1)-③</u>である。</p> <p>また、燃料加工建屋の屋根、壁等は、漏水のおそれのない構造とする。 <u>ハ.(ハ)(1)-④</u>燃料加工建屋は、再処理施設からウラン・プルトニウム混合酸化物を収納する混合酸化物貯蔵容器を受け入れるため、地下3階中2階において貯蔵容器搬送用洞道を介して再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋とエキスパンションジョイントにより接続する。</p>	<p>(1) 燃料加工建屋 燃料加工建屋は、成形施設、被覆施設、組立施設、核燃料物質の貯蔵施設、放射性廃棄物の廃棄施設等を収納する。</p> <p>主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階(地上高さ約23m)、地下3階、平面が約87m(南北方向)×約88m(東西方向)の建物であり、堅固な基礎版上に設置する。</p> <p>燃料加工建屋は、再処理施設からウラン・プルトニウム混合酸化物を収納する混合酸化物貯蔵容器を受け入れるため、地下3階中2階において貯蔵容器搬送用洞道を介して再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と接続する。</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 1. 成形施設 成形施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1.核燃料物質の臨界防止」、「2.地盤」、「3.自然現象等」、「4.閉じ込めの機能」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7.遮蔽」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。 成形施設は、原料粉末受入工程、粉末調整工程及びペレット加工工程で構成 <u>ハ.(ハ)(1)-①</u>する。</p> <p>成形施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。 燃料加工建屋の主要構造は、地上2階、地下3階の耐火建築物 <u>ハ.(ハ)(1)-③</u>とする設計とする。</p> <p>施設共通(基本設計方針) 第2章 個別項目 1. 成形施設 ＜中略＞ また、燃料加工建屋の屋根、壁等は、漏水のおそれのない構造とする。 <u>ハ.(ハ)(1)-④</u>貯蔵容器搬送用洞道(再処理施設と共用(以下同じ。))は、再処理施設からウラン・プルトニウム混合酸化物を収納する混合酸化物貯蔵容器を受け入れることができるように燃料加工建屋の地下3階中2階及び再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋とエキスパンションジョイントにより接続する設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書(本文)第三号ハ項において、設工認の内容は以下のとおり整合している。</p> <p>設工認の <u>ハ.(ハ)(1)-①</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ.(ハ)(1)-①</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ハ.(ハ)(1)-③</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ.(ハ)(1)-③</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ハ.(ハ)(1)-④</u> は、エキスパンションジョイントによる接続は、貯蔵容器搬送用洞道の設計であることから、主語の適正化及びそれに伴う記載の適正化をしたため、事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ.(ハ)(1)-④</u> と同義であり整合している。</p>	<p>備考</p>
<p>事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ.(ハ)(1)-②</u> は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書にて認可済みであり、整合している。</p>				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																
<p>ハ.(ハ)(1)-⑤このため、再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との接続に伴い、貯蔵容器搬送用洞道及び燃料加工建屋の一部は、<u>負圧管理の境界として再処理施設と共用する。</u></p> <p>共用の範囲には、再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との境界に設置する扉(以下「再処理施設境界の扉」という。)及び貯蔵容器搬送用洞道と燃料加工建屋との境界に設置する扉(以下「加工施設境界の扉」という。)を含む。</p> <p>ハ.(ハ)(1)-⑥貯蔵容器搬送用洞道及び燃料加工建屋の一部は、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>また、洞道搬送台車は、再処理施設と共用する。</p>	<p>このため、再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との接続に伴い、貯蔵容器搬送用洞道及び燃料加工建屋の一部は、<u>負圧管理の境界として再処理施設と共用する。</u></p> <p>共用の範囲には、再処理施設境界の扉及びMOX燃料加工施設境界の扉を含む。</p> <p>ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設 (イ) 気体廃棄物の廃棄設備 ① 設計基準対象の施設廃 ② 設計方針 f. 共用 貯蔵容器搬送用洞道は、MOX燃料加工施設境界の扉開放時には、MOX燃料加工施設の気体廃棄物の廃棄設備により負圧に維持する設計とし、再処理施設境界の扉開放時には、再処理施設の気体廃棄物の廃棄施設により貯蔵容器搬送用洞道を負圧に維持する設計とすること、また、MOX燃料加工施設境界の扉及び再処理施設境界の扉は、同時に開放しない設計とすること、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>ハ.(ハ)(1)-⑤再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との接続に伴い、貯蔵容器搬送用洞道及び燃料加工建屋の一部は、<u>負圧管理の境界として再処理施設と共用する。</u></p> <p>共用の範囲には、再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋と貯蔵容器搬送用洞道との境界に設置する扉(以下「再処理施設境界の扉」という。)及び貯蔵容器搬送用洞道と燃料加工建屋との境界に設置する扉(以下「加工施設境界の扉」という。)を含む。</p> <p>ハ.(ハ)(1)-⑥貯蔵容器搬送用洞道は、MOX燃料加工施設境界の扉開放時には、MOX燃料加工施設の気体廃棄物の廃棄設備により負圧に維持する設計とし、再処理施設境界の扉開放時には、再処理施設の気体廃棄物の廃棄施設により貯蔵容器搬送用洞道を負圧に維持する設計とすること、また、MOX燃料加工施設境界の扉及び再処理施設境界の扉は、同時に開放しない設計とすること、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>【成形施設 仕様表】</p> <p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.2 貯蔵容器搬送用洞道</p> <p>(1) 建物・構築物</p> <p>a. 建屋・洞道</p> <table border="1" data-bbox="1519 1304 2131 1650"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>貯蔵容器搬送用洞道*1 (再処理施設と共用)</td> <td>ハ.(ハ)(1)-2-①</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>種類**</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>7.60~8.30*2</td> </tr> <tr> <td>高さ**</td> <td>5.55~5.90*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">壁厚</td> <td>側壁</td> <td>1.30~1.65*2*4</td> </tr> <tr> <td>頂版</td> <td>1.30~1.65*2*4</td> </tr> <tr> <td>底版</td> <td>1.40*2*4</td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>T. M. S. L. 36.85m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>鉄筋コンクリート*5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 貯蔵容器搬送用洞道は、MOX燃料加工施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。 *3: 記載の適正化。既設工認には「主要構造」と記載。 *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *5: 記載の適正化。既設工認には「鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート: JASSNの規定による普通コンクリート設計基準強度<math>F_c=30N/mm^2</math> 密度<math>2.15 \times 10^3 kg/m^3</math>以上」と記載。 *6: 高さは、底版を含めた高さ示す。</p>			変更前	変更後	名称		貯蔵容器搬送用洞道*1 (再処理施設と共用)	ハ.(ハ)(1)-2-①	主要寸法	種類**	鉄筋コンクリート造	変更なし	幅	7.60~8.30*2	高さ**	5.55~5.90*2	壁厚	側壁	1.30~1.65*2*4	頂版	1.30~1.65*2*4	底版	1.40*2*4	底面の標高	T. M. S. L. 36.85m		主要材料	鉄筋コンクリート*5		個数	1		<p>設工認のハ.(ハ)(1)-⑤は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ハ)(1)-⑤と同義であり整合している。</p> <p>設工認のハ.(ハ)(1)-⑥は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ハ)(1)-⑥を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のハ.(ハ)(1)-2-①は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ハ)(1)-2-①と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																	
名称		貯蔵容器搬送用洞道*1 (再処理施設と共用)	ハ.(ハ)(1)-2-①																																	
主要寸法	種類**	鉄筋コンクリート造	変更なし																																	
	幅	7.60~8.30*2																																		
	高さ**	5.55~5.90*2																																		
	壁厚	側壁		1.30~1.65*2*4																																
		頂版		1.30~1.65*2*4																																
底版	1.40*2*4																																			
底面の標高	T. M. S. L. 36.85m																																			
主要材料	鉄筋コンクリート*5																																			
個数	1																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>洞道搬送台車は、共用によって MOX 燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p><u>ハ. (ハ) (1)-2-2 燃料加工建屋の主要な設備・機器の配置図を第 5 図に示し、</u></p> <p><u>ハ. (ハ) (1)-⑦ 燃料加工建屋部屋配置概要図を第 6 図に示す。</u></p> <p><u>成形施設は、原料 MOX 粉末又は原料ウラン粉末を受け入れ、所定の粉末調整、圧縮成形、焼結、研削及び検査を行い、製品ペレットとする施設である。また、各工程から発生する規格外品等のスクラップ処理も併せて行う。</u></p> <p>原料粉末受入工程は、制御第 1 室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p> <p>粉末調整工程は、制御第 1 室、制御第 4 室及び現場監視第 1 室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p> <p>ペレット加工工程は、制御第 1 室、制御第 3 室及び現場監視第 2 室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p> <p>(2) 主要な設備及び機器の種類及び個数</p> <p>① 原料粉末受入工程</p> <p>a. 貯蔵容器受入設備</p> <p>(a) 洞道搬送台車 (再処理施設と共用)</p> <p>i. 設置場所</p> <p>貯蔵容器受入第 1 室、貯蔵容器搬送用洞道及び再処理施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋</p> <p>ii. 個数</p> <p>1 台</p> <p>(b) 受渡天井クレーン</p> <p>i. 設置場所</p> <p>貯蔵容器受入第 1 室</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>成形施設は、原料 MOX 粉末又は原料ウラン粉末を受け入れ、所定の粉末調整、圧縮成形、焼結、研削及び検査を行い、製品ペレットに加工することができる設計とする。また、各工程から発生する規格外品等のスクラップ処理も併せて行うことができる設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ. (ハ) (1)-⑦</u> は、設工認の添付書類「V-2-2 平面図及び断面図」及び「V-2-4 配置図」にて、主要な設備・機器の配置を示しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ. (ハ) (1)-⑦</u> は、設工認の添付書類「V-2-2 平面図及び断面図」にて、燃料加工建屋部屋配置を記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>ii. 個数 1台</li> <li>(c) 受渡ピット <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 貯蔵容器受入第1室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> <li>(d) 保管室クレーン <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 貯蔵容器受入第1室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> <li>(e) 貯蔵容器検査装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 貯蔵容器受入第2室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> <li>b. ウラン受入設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) ウラン粉末缶受払移載装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ウラン貯蔵室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> <li>(b) ウラン粉末缶受払搬送装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ウラン貯蔵室及びウラン粉末準備室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>c. 原料粉末受払設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 外蓋着脱装置オープンポートボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 原料受払室</li> <li>ii. 個数 1基</li> </ul> </li> <li>(b) 外蓋着脱装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 原料受払室</li> <li>ii. 個数 1台</li> </ul> </li> <li>(c) 貯蔵容器受払装置オープンポートボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 原料受払室</li> <li>ii. 個数 1基</li> </ul> </li> <li>(d) 貯蔵容器受払装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 原料受払室</li> <li>ii. 個数</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">今回の申請の対象範囲外</div>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>1台</p> <p>(e) ウラン粉末払出装置オープンポートボックス</p> <p>i. 設置場所 ウラン粉末準備室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>(f) ウラン粉末払出装置</p> <p>i. 設置場所 ウラン粉末準備室及び粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>d. グローブボックス負圧・温度監視設備</p> <p>(a) 個数 1式</p> <p>原料粉末受入工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</p> <p>② 粉末調整工程</p> <p>粉末調整工程のグローブボックス等については、「ロ.(ハ) 核燃料物質の閉じ込めに関する構造」での非密封で放射性物質を取り扱うグローブボックス等に対して講じるとした設計、「ロ.(ニ) 火災及び爆発の防止に関する構造」でのMOX粉末を取り扱うグローブボックスに対して講じるとした設計を行うとともに、露出した状態でMOX粉末を取り扱うグローブボックスは、重大事故の発生を想定する地震動に対し、グローブボックスから工程室に多量のMOX粉末が漏えいすることがないように、グローブボックスが倒壊しない、パネルの脱落が発生しない、また、グローブボックスに内装する機器が倒壊しない設計とする。</p> <p>a. 原料MOX粉末缶取出設備</p> <p>(a) 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 原料受払室及び粉末調整第1室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等(1基あたり) MOX質量：50kg・MOX Pu富化度：60% 主に取り扱う容器：粉末缶</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) 原料MOX粉末缶取出装置</p> <p>i. 設置場所 原料受払室及び粉末調整第1室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>b. 一次混合設備</p> <p>(a) 原料MOX粉末秤量・分取装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第2室及び粉末調整第3室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：60 kg・MOX Pu富化度：60% 主に取り扱う容器：粉末缶，J18</p> <p>(b) 原料MOX粉末秤量・分取装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第2室及び粉末調整第3室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第3室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：258 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：J40，J60，J85，1缶バスケット，5缶バスケット</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(d) ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第3室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) 予備混合装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第2室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：87 kg・MOX Pu富化度：60% 主に取り扱う容器：J18, J40, J60, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(f) 予備混合装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第2室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量：3L</p> <p>(g) 一次混合装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第6室及び粉末調整第7室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：96 kg・MOX Pu富化度：33% 主に取り扱う容器：J60, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(h) 一次混合装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第6室及び粉末調整第7室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(i) 容器 (J18, J40)</p> <p>i. 個数 1式</p> <p>c. 二次混合設備</p> <p>(a) 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) MOX質量：258 kg・MOX Pu富化度：33% 主に取り扱う容器：J60, J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(b) 一次混合粉末秤量・分取装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>(d) ウラン粉末秤量・分取装置</p> <p>i. 設置場所</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) 容器 (U85)</p> <p>i. 個数 1式</p> <p>(f) 均一化混合装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第5室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) MOX質量：311 kg・MOX Pu富化度：33% 主に取り扱う容器：J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(g) 均一化混合装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第5室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量： 6 L</p> <p>(h) 造粒装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第5室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) MOX質量：128 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(i) 造粒装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第5室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量： 1L, 22L</p> <p>(j) 添加剤混合装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：208 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(k) 添加剤混合装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量： 3L</p> <p>d. 分析試料採取設備</p> <p>(a) 原料MOX分析試料採取装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第2室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：32 kg・MOX</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>Pu 富化度：60%  主に取り扱う容器：粉末缶</p> <p>(b) 原料MOX分析試料採取装置</p> <p>i. 設置場所  粉末調整第2室</p> <p>ii. 個数  1台</p> <p>iii. 主要な構成材  ステンレス鋼</p> <p>(c) 分析試料採取・詰替装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所  粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数  1基</p> <p>iii. 主要な構成材  缶体：ステンレス鋼  パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気  窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）  MOX質量：213 kg・MOX  Pu 富化度：33%  主に取り扱う容器：J60, J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(d) 分析試料採取・詰替装置</p> <p>i. 設置場所  粉末調整第4室</p> <p>ii. 個数  1台</p> <p>iii. 主要な構成材  ステンレス鋼</p> <p>e. スクラップ処理設備</p> <p>(a) 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所  粉末調整第6室</p> <p>ii. 個数  1基</p> <p>iii. 主要な構成材  缶体：ステンレス鋼  パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気  窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）  MOX質量：247 kg・MOX</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>Pu富化度：18%</p> <p>主に取り扱う容器：J60, J85, 焼結ボート, スクラップ焼結ボート, ペレット保管容器, 規格外ペレット保管容器, 1缶バスケット, 5缶バスケット, 9缶バスケット</p> <p>(b) 回収粉末処理・詰替装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第6室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) 回収粉末微粉碎装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：96 kg・MOX Pu富化度：33% 主に取り扱う容器：J60, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(d) 回収粉末微粉碎装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) 回収粉末処理・混合装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第7室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり)</p> <p>MOX質量: 186 kg・MOX</p> <p>Pu富化度: 33%</p> <p>主に取り扱う容器: J60, J85, 1缶バスケット, 5缶バスケット</p> <p>(f) 回収粉末処理・混合装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第7室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量: 3L</p> <p>(g) 再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 スクラップ処理室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり)</p> <p>MOX質量: 38 kg・MOX</p> <p>Pu富化度: 60%</p> <p>主に取り扱う容器: 原料MOXポット</p> <p>(h) 再生スクラップ焙焼処理装置</p> <p>i. 設置場所 スクラップ処理室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(i) 再生スクラップ受払装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 スクラップ処理室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</li> <li>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) MOX質量: 63 kg・MOX Pu富化度: 60% 主に取り扱う容器: 1缶バスケット, 5缶バスケット</li> <li>(j) 再生スクラップ受払装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 スクラップ処理室</li> <li>ii. 個数 1台</li> <li>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</li> </ul> </li> <li>(k) 容器移送装置グローブボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 スクラップ処理室及び分析第3室</li> <li>ii. 個数 6基</li> <li>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</li> </ul> </li> <li>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</li> <li>(l) 容器移送装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 スクラップ処理室及び分析第3室</li> <li>ii. 個数 6台</li> <li>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</li> </ul> </li> <li>f. 粉末調整工程搬送設備</li> <li>(a) 原料粉末搬送装置グローブボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 粉末調整第1室, 粉末調整第2室及び粉末調整第3室</li> <li>ii. 個数 9基</li> <li>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</li> </ul> </li> <li>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</li> <li>(b) 原料粉末搬送装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 粉末調整第1室, 粉末調整第2室及び粉末調整第3室</li> <li>ii. 個数</li> </ul> </li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">今回の申請の対象範囲外</div>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) 再生スクラップ搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第4室及びスクラップ処理室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>(d) 再生スクラップ搬送装置</p> <p>i. 設置場所 粉末調整第4室及びスクラップ処理室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) 添加剤混合粉末搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 3基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>(f) 添加剤混合粉末搬送装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(g) 調整粉末搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 粉末一時保管室, 粉末調整第1室, 粉末調整第2室, 粉末調整第3室, 粉末調整第4室, 粉末調整第5室, 粉末調整第6室, 粉末調整第7室及びペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 14基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>(h) 調整粉末搬送装置</p> <p>i. 設置場所 粉末一時保管室，粉末調整第1室，粉末調整第2室，粉末調整第3室，粉末調整第4室，粉末調整第5室，粉末調整第6室，粉末調整第7室及びペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 15台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>g. グローブボックス負圧・温度監視設備</p> <p>(a) 個数 1式</p> <p>粉末調整工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</p> <p>③ ペレット加工工程</p> <p>ペレット加工工程のグローブボックス等については、「ロ. (ハ) 核燃料物質の閉じ込めに関する構造」での非密封で放射性物質を取り扱うグローブボックス等に対して講じた設計，「ロ. (ニ) 火災及び爆発の防止に関する構造」でのMOX粉末を取り扱うグローブボックスに対して講じた設計を行うとともに，露出した状態でMOX粉末を取り扱うグローブボックスは，重大事故の発生を想定する地震動に対し，グローブボックスから工程室に多量のMOX粉末が漏えいすることがないように，グローブボックスが倒壊しない，パネルの脱落が発生しない，また，グローブボックスに内装する機器が倒壊しない設計とする。</p> <p>a. 圧縮成形設備</p> <p>(a) プレス装置(粉末取扱部)グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等(1基あたり)<sup>(注1)</sup> MOX質量：245 kg・MOX Pu富化度：18%</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>主に取り扱う容器：J85，焼結ボート，スクラップ焼結ボート，1 缶バスケット，5 缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は，プレス装置(プレス部)グローブボックス及びグリーンペレット積込装置グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(b) プレス装置(粉末取扱部)</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) プレス装置(プレス部)グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等(1基あたり)<sup>(注1)</sup> MOX質量：245 kg・MOX Pu富化度：18%</p> <p>主に取り扱う容器：J85，焼結ボート，スクラップ焼結ボート，1 缶バスケット，5 缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は，プレス装置(粉末取扱部)グローブボックス及びグリーンペレット積込装置グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(d) プレス装置(プレス部)</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. 火災源となる潤滑油を内包 潤滑油量：</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2.2L</p> <p>(e) 空焼結ボート取扱装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり） MOX質量：36 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：スクラップ焼結ボート</p> <p>(f) 空焼結ボート取扱装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(g) グリーンペレット積込装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）<sup>(注1)</sup> MOX質量：245 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：J85，焼結ボート，スクラップ焼結ボート，1缶バスケット，5缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は，プレス装置(粉末取扱部)グローブボックス及びプレス装置(プレス部)グローブボックスの合計値として設定する。</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(h) グリーンペレット積込装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>b. 焼結設備</p> <p>(a) 焼結ボート供給装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）<sup>(注1)</sup> MOX質量：411 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：焼結ボート，スクラップ焼結ボート，先行試験ボート (注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は，焼結炉及び焼結ボート取出装置グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(b) 焼結ボート供給装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) 焼結炉</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>iv. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）<sup>(注1)</sup> MOX質量：411 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：焼結ボート，スクラップ焼結ボート，先</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p style="text-align: center;">行試験ボート</p> <p>(注1) 焼結炉内で取り扱うMOX粉末等は、焼結ボート供給装置グローブボックス及び焼結ボート取出装置グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(d) 焼結ボート取出装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等(1基あたり)<sup>(注1)</sup> MOX質量：411 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：焼結ボート、スクラップ焼結ボート、先行試験ボート</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は、焼結ボート供給装置グローブボックス及び焼結炉の合計値として設定する。</p> <p>(e) 焼結ボート取出装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(f) 排ガス処理装置グローブボックス(上部)</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p> <p>ii. 個数 3基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p> <p>(g) 排ガス処理装置グローブボックス(下部)</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第2室</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">今回の申請の対象範囲外</div>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>ii. 個数 3基</li> <li>(h) 排ガス処理装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ペレット加工第2室</li> <li>ii. 個数 3台</li> <li>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</li> </ul> </li> <li>c. 研削設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 焼結ペレット供給装置グローブボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ペレット加工第3室</li> <li>ii. 個数 2基</li> <li>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</li> <li>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</li> <li>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）<sup>(注1)</sup> MOX質量：301 kg・MOX Pu富化度：18% 主に取り扱う容器：焼結ポート，規格外 ペレット保管容器， ペレット保管容器， 9缶バスケット  (注1) グローブボックス内で取り扱う MOX質量等は，研削装置グローブボックス，研削粉回収装置 グローブボックス及びペレット 検査設備グローブボックスの合計値として設定する。</li> </ul> </li> <li>(b) 焼結ペレット供給装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ペレット加工第3室</li> <li>ii. 個数 2台</li> <li>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</li> </ul> </li> <li>(c) 研削装置グローブボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 設置場所 ペレット加工第3室</li> <li>ii. 個数 2基</li> <li>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) (注1) MOX質量: 301 kg・MOX Pu富化度: 18% 主に取り扱う容器: 焼結ボート, 規格外 ペレット保管容器, ペレット保管容器, 9缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は, 焼結ペレット供給装置グローブボックス, 研削粉回収装置グローブボックス及びペレット検査設備グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(d) 研削装置 i. 設置場所 ペレット加工第3室 ii. 個数 2台 iii. 主要な構成材 ステンレス鋼及び鋼材</p> <p>(e) 研削粉回収装置グローブボックス i. 設置場所 ペレット加工第3室 ii. 個数 2基 iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等 (1基あたり) (注1) MOX質量: 301 kg・MOX Pu富化度: 18% 主に取り扱う容器: 焼結ボート, 規格外 ペレット保管容器, ペレット保管容器, 9缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は, 焼結ペレット供給装置グローブボックス, 研削装置グローブボックス及びペレット検査設備グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(f) 研削粉回収装置</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>i. 設置場所 ペレット加工第3室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>d. ペレット検査設備</p> <p>(a) ペレット検査設備グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室</p> <p>ii. 個数 2基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p> <p>v. グローブボックス内で取り扱うMOX質量等（1基あたり）<sup>(注1)</sup> MOX質量：301 kg・MOX Pu 富化度：18% 主に取り扱う容器：焼結ポート，規格外 ペレット保管容器， ペレット保管容器， 9缶バスケット</p> <p>(注1) グローブボックス内で取り扱うMOX質量等は，焼結ペレット供給装置グローブボックス，研削装置グローブボックス及び研削粉回収装置グローブボックスの合計値として設定する。</p> <p>(b) 外観検査装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) 寸法・形状・密度検査装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(d) 仕上がりペレット収容装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室</p> <p>ii. 個数</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) ペレット立会検査装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット立会室</p> <p>ii. 個数 1基</p> <p>(f) ペレット立会検査装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット立会室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>e. ペレット加工工程搬送設備</p> <p>(a) 焼結ボート搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室, ペレット加工第2室, ペレット加工第3室, ペレット加工第4室, 粉末調整第6室, ペレット一時保管室及び分析第3室</p> <p>ii. 個数 53基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気又は窒素雰囲気</p> <p>(b) 焼結ボート搬送装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第1室, ペレット加工第2室, ペレット加工第3室, ペレット加工第4室, 粉末調整第6室, ペレット一時保管室及び分析第3室</p> <p>ii. 個数 10台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(c) ペレット保管容器搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室, ペレット加工第4室, 点検第3室, 点検第4室及び燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 14基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>空気雰囲気又は窒素雰囲気</p> <p>(d) ペレット保管容器搬送装置</p> <p>i. 設置場所 ペレット加工第3室, ペレット加工第4室, 点検第3室, 点検第4室及び燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>(e) 回収粉末容器搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 点検第3室及び粉末調整第6室</p> <p>ii. 個数 3基</p> <p>iii. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>iv. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>(f) 回収粉末容器搬送装置</p> <p>i. 設置場所 点検第3室及び粉末調整第6室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>iii. 主要な構成材 ステンレス鋼</p> <p>f. グローブボックス負圧・温度監視設備</p> <p>(a) 個数 1式</p> <p>ペレット加工工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
<p>(3) 処理する核燃料物質の種類及び最大処理能力</p> <p>① 核燃料物質の種類</p> <p>a. <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1} \text{MOX}}{\text{プルトニウム富化度}^{(注1)}} \leq 60\%</math>以下</p> <p><math>\frac{\text{プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率}^{(注2)}}{17\%} \geq 1</math></p> <p><math>\frac{\text{ウラン中のウラン-235 含有率}^{(注2)}}{1.6\%} \leq 1</math></p> <p><math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}{\text{(注1) プルトニウム富化度 (\%)}} = \frac{\text{プルトニウム質量}}{\text{プルトニウム質量+ウラン質量}} \times 100</math> 以下同じ。</p> <p><math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}{\text{(注2) 質量百分率を示す。}} \leq 1</math> 以下同じ。</p> <p>b. <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}{\text{ウラン中のウラン-235 含有率}} \leq \frac{\text{天然ウラン中の含有率}}{\text{天然ウラン中の含有率}}</math></p> <p>(注1) 再処理により得られたウランは用いない。以下同じ。</p>		<p>(基本設計方針)</p> <p>第1章 共通項目</p> <p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p>1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(1) 臨界管理の対象とする核燃料物質</p> <p>MOX 燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、<math>\frac{\text{プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率}}{17\%} \geq 1</math>及び</p> <p><math>\frac{\text{ウラン中のウラン-235 含有率}}{1.6\%} \leq 1</math>以下の</p> <p><math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}{\text{ウラン・プルトニウム混合酸化物}}</math></p> <p><math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}{\text{ウラン中のウラン-235 含有率}} \leq 5\%</math>以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり、このうちウラン・プルトニウム混合酸化物、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器に対して単一ユニット、複数ユニットを設定し、臨界管理を行う設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1.1.2 成形施設の臨界防止</p> <p>1.1.2.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <table border="1" data-bbox="1513 1260 2122 1596"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度*1</th> <th>含水率*2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混合酸化物貯蔵容器</td> <td>原料MOX粉末</td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下</td> <td>1体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-1</td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>1.5%以下</td> <td>35.0kg-Pu*3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-2</td> <td>33%以下</td> <td>-</td> <td>2.5%以下</td> <td>45.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-3</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-4</td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下</td> <td>83.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-1</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-3</td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>3.5%以下</td> <td>7.50kg-Pu*4</td> </tr> </tbody> </table> <p><math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}{\text{注記 *1: } \frac{\text{核分裂性プルトニウム富化度 (\%)}}{= \frac{\text{プルトニウム-239 質量+プルトニウム-241 質量}}{\text{プルトニウム質量+ウラン質量}} \times 100} \leq 1</math> 以下同じ。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	形態	取扱単位	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度*1	含水率*2	混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	-	0.5%以下	1体		MOX粉末-1	60%以下	-	1.5%以下	35.0kg-Pu*3		MOX粉末-2	33%以下	-	2.5%以下	45.0kg-Pu*		MOX粉末-3	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*		MOX粉末-4	18%以下	-	0.5%以下	83.0kg-Pu*		ペレット-1	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*		ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu*		ペレット-3	60%以下	-	3.5%以下	7.50kg-Pu*4	<p>設工認の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}</math> は、事業変更許可申請書(本文)の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -1}}</math> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}</math> は、事業変更許可申請書(本文)の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}{\text{ハ. (ハ) (3) ①a. -2}}</math> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}</math> は、事業変更許可申請書(本文)の <math>\frac{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}{\text{ハ. (ハ) (3) ②b.}}</math> と同義であり整合している。</p>	
形態	取扱単位	設定条件			核的制限値																																																								
		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度*1	含水率*2																																																									
混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	-	0.5%以下	1体																																																								
	MOX粉末-1	60%以下	-	1.5%以下	35.0kg-Pu*3																																																								
	MOX粉末-2	33%以下	-	2.5%以下	45.0kg-Pu*																																																								
	MOX粉末-3	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*																																																								
	MOX粉末-4	18%以下	-	0.5%以下	83.0kg-Pu*																																																								
	ペレット-1	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*																																																								
	ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu*																																																								
	ペレット-3	60%以下	-	3.5%以下	7.50kg-Pu*4																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																		
<p>② 最大処理能力 155t・HM/年 (t・HMは金属ウランと金属プルトニウムの換算質量の合計を表す。以下同じ。)</p> <p>(4) 主要な核的及び熱的制限値</p> <p>① 核的制限値</p> <p>a. 単一ユニット</p> <p>成形施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱以上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように体数又は質量を設定する。</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="273 913 795 1438"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度<sup>注1)</sup></th> <th>含水率<sup>注2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混合酸化物貯蔵容器</td> <td>原料MOX粉末</td> <td>80%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下</td> <td>1体</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-1</td> <td></td> <td>80%以下</td> <td>-</td> <td>1.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>35.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-2</td> <td></td> <td>33%以下</td> <td>-</td> <td>2.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>45.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-3</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>29.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-4</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>33.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>ペレット-1</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>29.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>ペレット-2</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.1%以下<sup>注3)</sup></td> <td>36.0kg・Pu</td> </tr> <tr> <td>ペレット-3</td> <td></td> <td>80%以下</td> <td>-</td> <td>3.5%以下<sup>注3)</sup></td> <td>7.50kg・Pu</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 核分裂性プルトニウム富化度 (%)  <math display="block">= \left( \frac{\text{プルトニウム-239質量} + \text{プルトニウム-241質量}}{\text{プルトニウム質量} + \text{ウラン質量}} \right) \times 100</math> 以下同じ。</p> <p>注2 含水率 (%) = <math>\frac{\text{水分質量}}{\text{MOX質量} + \text{水分質量}} \times 100</math> 以下同じ。</p> <p>注3 Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。以下同じ。</p>	取扱単位	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度 <sup>注1)</sup>	含水率 <sup>注2)</sup>	混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	80%以下	-	0.5%以下	1体	MOX粉末-1		80%以下	-	1.5%以下 <sup>注3)</sup>	35.0kg・Pu	MOX粉末-2		33%以下	-	2.5%以下 <sup>注3)</sup>	45.0kg・Pu	MOX粉末-3		18%以下	11.6%以下	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	29.0kg・Pu	MOX粉末-4		18%以下	-	0.5%以下 <sup>注3)</sup>	33.0kg・Pu	ペレット-1		18%以下	11.6%以下	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	29.0kg・Pu	ペレット-2		18%以下	-	0.1%以下 <sup>注3)</sup>	36.0kg・Pu	ペレット-3		80%以下	-	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	7.50kg・Pu		<p>1.1.2 成形施設の臨界防止</p> <p>1.1.2.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>成形施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱以上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように体数又は質量を設定する。</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1513 934 2122 1270"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度<sup>*1)</sup></th> <th>含水率<sup>*2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混合酸化物貯蔵容器</td> <td>原料MOX粉末</td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下</td> <td>1体</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-1</td> <td></td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>1.5%以下</td> <td>35.0kg・Pu<sup>*3)</sup></td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-2</td> <td></td> <td>33%以下</td> <td>-</td> <td>2.5%以下</td> <td>45.0kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-3</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>MOX粉末-4</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.5%以下</td> <td>33.0kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>ペレット-1</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>ペレット-2</td> <td></td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>ペレット-3</td> <td></td> <td>60%以下</td> <td>-</td> <td>3.5%以下</td> <td>7.50kg・Pu<sup>*4)</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 核分裂性プルトニウム富化度 (%)  <math display="block">= \left( \frac{\text{プルトニウム-239質量} + \text{プルトニウム-241質量}}{\text{プルトニウム質量} + \text{ウラン質量}} \right) \times 100</math> 以下同じ。</p> <p>*2: 含水率 (%) = <math>\frac{\text{水分質量}}{\text{MOX質量} + \text{水分質量}} \times 100</math> 以下同じ。</p> <p>*3: Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。以下同じ。</p>	取扱単位	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度 <sup>*1)</sup>	含水率 <sup>*2)</sup>	混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	-	0.5%以下	1体	MOX粉末-1		60%以下	-	1.5%以下	35.0kg・Pu <sup>*3)</sup>	MOX粉末-2		33%以下	-	2.5%以下	45.0kg・Pu*	MOX粉末-3		18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*	MOX粉末-4		18%以下	-	0.5%以下	33.0kg・Pu*	ペレット-1		18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*	ペレット-2		18%以下	-	0.1%以下	36.0kg・Pu*	ペレット-3		60%以下	-	3.5%以下	7.50kg・Pu <sup>*4)</sup>	<p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けた「最大処理能力」は、本設工認の対象外である。</p>	
取扱単位			形態	設定条件			核的制限値																																																																																																															
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度 <sup>注1)</sup>		含水率 <sup>注2)</sup>																																																																																																																		
混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	80%以下	-	0.5%以下	1体																																																																																																																	
MOX粉末-1		80%以下	-	1.5%以下 <sup>注3)</sup>	35.0kg・Pu																																																																																																																	
MOX粉末-2		33%以下	-	2.5%以下 <sup>注3)</sup>	45.0kg・Pu																																																																																																																	
MOX粉末-3		18%以下	11.6%以下	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	29.0kg・Pu																																																																																																																	
MOX粉末-4		18%以下	-	0.5%以下 <sup>注3)</sup>	33.0kg・Pu																																																																																																																	
ペレット-1		18%以下	11.6%以下	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	29.0kg・Pu																																																																																																																	
ペレット-2		18%以下	-	0.1%以下 <sup>注3)</sup>	36.0kg・Pu																																																																																																																	
ペレット-3		80%以下	-	3.5%以下 <sup>注3)</sup>	7.50kg・Pu																																																																																																																	
取扱単位	形態	設定条件			核的制限値																																																																																																																	
		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度 <sup>*1)</sup>	含水率 <sup>*2)</sup>																																																																																																																		
混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	-	0.5%以下	1体																																																																																																																	
MOX粉末-1		60%以下	-	1.5%以下	35.0kg・Pu <sup>*3)</sup>																																																																																																																	
MOX粉末-2		33%以下	-	2.5%以下	45.0kg・Pu*																																																																																																																	
MOX粉末-3		18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*																																																																																																																	
MOX粉末-4		18%以下	-	0.5%以下	33.0kg・Pu*																																																																																																																	
ペレット-1		18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg・Pu*																																																																																																																	
ペレット-2		18%以下	-	0.1%以下	36.0kg・Pu*																																																																																																																	
ペレット-3		60%以下	-	3.5%以下	7.50kg・Pu <sup>*4)</sup>																																																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考								
<p>注4 <u>二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。</u></p> <p>b. 複数ユニット  <u>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定する。</u></p> <p>② 熱的制限値  核燃料物質を加熱する設備の熱的制限値を以下のとおり設定する。</p> <table border="1" data-bbox="278 751 828 877"> <thead> <tr> <th>建物</th> <th>設置場所</th> <th>設備・機器の種類</th> <th>熱的制限値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料加工建屋</td> <td>ペレット加工第2室</td> <td>焼結設備 焼結炉</td> <td>1800℃</td> </tr> </tbody> </table>	建物	設置場所	設備・機器の種類	熱的制限値	燃料加工建屋	ペレット加工第2室	焼結設備 焼結炉	1800℃		<p>*4: <u>二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。</u></p> <p>1.1.2.2 複数ユニットの臨界安全設計  <u>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	
建物	設置場所	設備・機器の種類	熱的制限値									
燃料加工建屋	ペレット加工第2室	焼結設備 焼結炉	1800℃									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(二) 被覆施設</p> <p>(1) 施設の種類の 被覆施設は、燃料棒加工工程で構成 ハ.(二)(1)-①し、燃料加工建屋に収納する。</p> <p>燃料加工建屋の主要構造は「ハ.(ハ)成型施設(1)施設の種類の」に示す。</p> <p>被覆施設は、製品ペレットを被覆管に挿入した後、密封溶接及び検査を行い、MOX燃料棒とする施設である。また、必要に応じ、ウラン燃料棒の検査も行う。</p> <p>燃料棒加工工程は、制御第3室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p>		<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 2. 被覆施設 被覆施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1.核燃料物質の臨界防止」、「3.自然現象等」、「4.閉じ込めの機能」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7.遮蔽」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>被覆施設は、燃料棒加工工程で構成ハ.(二)(1)-①する。 被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p>被覆施設は、製品ペレットを被覆管に挿入した後、密封溶接及び検査を行い、MOX燃料棒に加工することができる設計とする。また、必要に応じ、ウラン燃料棒の検査も行うことができる設計とする。</p> <p>2.1 燃料棒加工工程 2.1.1 燃料棒加工工程の構成 燃料棒加工工程は、製品ペレットを所定の長さのスタックに編成し、乾燥した後、下部端栓付被覆管に挿入する設計とする。また、上部端栓を溶接して密封し、BWR燃料棒で17%以下、PWR燃料棒で18%以下のプルトニウム富化度のMOX燃料棒に加工する設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程は、MOX燃料棒について、ヘリウムリーク検査、X線検査、MOX燃料棒内部の健全性確認及び外観寸法検査を実施する設計とする。 燃料棒加工工程は、規格外のMOX燃料棒を解体し、取り出したペレットを再使用のためペレット加工工程へ搬送する設計とする、又はスクラップ処理のため粉末調整工程へ搬送する設計とする。</p> <p>燃料棒加工工程は、制御第3室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p> <p>2.1.2 主要設備の系統構成 燃料棒加工工程は、スタック編成設備、スタック乾燥設備、挿入溶接設備、燃料棒検査設備、燃料棒収容設備、燃料棒解体設備及び燃料棒加工工程搬送設備で構成する。</p>	<p>設工認のハ.(二)(1)-①は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(二)(1)-①と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)「ハ.(ハ)成型施設(1)施設の種類の」に示す。</p>	



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
<p>(2) 主要な設備及び機器の種類及び個数</p> <p>① 燃料棒加工工程</p> <p>a. スタック編成設備</p> <p>(a) <u>スタック編成設備グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p>	<p>ハ. 加工設備本体</p> <p>(ロ) 被覆施設</p> <p>(1) 燃料棒加工工程</p> <p>⑥ 燃料棒加工工程の主要設備の仕様</p> <p>a. スタック編成設備</p> <p>(a) <u>スタック編成設備グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p>	<p>(1) スタック編成設備</p> <p>スタック編成設備は、ペレットを MOX 燃料棒 1 本の長さに編成する設計とする。</p> <p>スタック編成設備は、スタック編成設備グローブボックス、波板トレイ取出装置、スタック編成装置、スタック収容装置、空乾燥ポート取扱装置グローブボックス及び空乾燥ポート取扱装置で構成する。</p> <p>【被覆施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1507 552 2128 1289"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称*2</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td>スタック編成設備 グローブボックス*3 (PA0141-B-11700, -21700)</td> <td>スタック編成設備 グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>核燃料 制限値*13</td> <td>取扱Pu* 質量*14</td> <td>kg・Pu* 36.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>他の単一ユニットとの 相互間隔</td> <td>mm 300以上</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井 までの距離*5</td> <td>mm 300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の 壁厚さ</td> <td>mm 305以上*15</td> </tr> <tr> <td>漏れ率**17</td> <td>vol%/h 0.25以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*8</td> <td>開口部風速*7*16</td> <td>m/s 0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm 4000*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 1300*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*9</td> <td>高さ</td> <td>mm 2800*1*15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>— SUS304, SUS304TP</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>窓板部</td> <td>— メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート 樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*10</td> <td>— 2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所 *11</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*15</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>— —*12</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>— —*12</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「スタック編成設備Aグローブボックス」及び「スタック編成設備Bグローブボックス」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *10: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *11: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *12: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *13: スタック編成設備Aグローブボックスに単一ユニット(スタック編成ユニットA)、スタック編成設備Bグローブボックスに単一ユニット(スタック編成ユニットB)を設定する。 *14: Puは、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Puは、その合計質量とする。 *15: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *16: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。 *17: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称*2		変更前	変更後	種類*4		スタック編成設備 グローブボックス*3 (PA0141-B-11700, -21700)	スタック編成設備 グローブボックス	核燃料 制限値*13	取扱Pu* 質量*14	kg・Pu* 36.0		臨 界 管 理	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm 300以上	変更なし	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm 300以上	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm 305以上*15	漏れ率**17	vol%/h 0.25以下	主要寸法*8	開口部風速*7*16	m/s 0.5以上		たて	mm 4000*1		横	mm 1300*1		主要材料*9	高さ	mm 2800*1*15		本体	— SUS304, SUS304TP			窓板部	— メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂	個数*10		— 2	変更なし	取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—		設置床	— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*15	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	— —*12			溢水防護上の配慮が 必要な高さ	— —*12	変更なし		
名称*2		変更前	変更後																																																														
種類*4		スタック編成設備 グローブボックス*3 (PA0141-B-11700, -21700)	スタック編成設備 グローブボックス																																																														
核燃料 制限値*13	取扱Pu* 質量*14	kg・Pu* 36.0																																																															
臨 界 管 理	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm 300以上	変更なし																																																														
	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm 300以上																																																															
	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm 305以上*15																																																															
	漏れ率**17	vol%/h 0.25以下																																																															
主要寸法*8	開口部風速*7*16	m/s 0.5以上																																																															
	たて	mm 4000*1																																																															
	横	mm 1300*1																																																															
主要材料*9	高さ	mm 2800*1*15																																																															
	本体	— SUS304, SUS304TP																																																															
	窓板部	— メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂																																																														
個数*10		— 2	変更なし																																																														
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—																																																															
	設置床	— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*15	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																														
	溢水防護上の区画番号	— —*12																																																															
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	— —*12	変更なし																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																													
<p>(b) 波板トレイ取出装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<p>(b) 波板トレイ取出装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000)*3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">クレーン方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量*5</td> <td>ペレット保管容器 移載機</td> <td>kg</td> <td>35</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>波板トレイ取扱機</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実ペレット保管容器 設置テーブル-1*6</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法 *7*12</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3900*1</td> <td colspan="2" rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>960*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2660*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*8</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所 *10</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*6</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">—*11</td> <td colspan="2" rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配置が 必要な高さ</td> <td colspan="2">—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「波板トレイ取出装置A」及び「波板トレイ取出装置B」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *6: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。  *12: 波板トレイ取出装置A、スタック編成装置A及びスタック取容装置Aの合計寸法又は波板トレイ取出装置B、スタック編成装置B及びスタック取容装置Bの合計寸法を示す。。</p>			変更前		変更後		名称*2		波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000)*3				種類*4		—		クレーン方式		容量*5	ペレット保管容器 移載機	kg	35	変更なし		波板トレイ取扱機	kg	35	実ペレット保管容器 設置テーブル-1*6	kg	35	主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1			横	mm	960*1	高さ	mm	2660*1	主要材料*8		—		SUS304		個数*9		—		2		取付箇所 *10	系統名(ライン名)		—				設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*6		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m		溢水防護上の 区画番号		—*11		変更なし		溢水防護上の配置が 必要な高さ		—*11			
		変更前		変更後																																																																													
名称*2		波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000)*3																																																																															
種類*4		—		クレーン方式																																																																													
容量*5	ペレット保管容器 移載機	kg	35	変更なし																																																																													
	波板トレイ取扱機	kg	35																																																																														
	実ペレット保管容器 設置テーブル-1*6	kg	35																																																																														
主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1																																																																														
	横	mm	960*1																																																																														
	高さ	mm	2660*1																																																																														
主要材料*8		—		SUS304																																																																													
個数*9		—		2																																																																													
取付箇所 *10	系統名(ライン名)		—																																																																														
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*6		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																																												
	溢水防護上の 区画番号		—*11		変更なし																																																																												
	溢水防護上の配置が 必要な高さ		—*11																																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																			
<p>(c) <u>スタック編成装置</u>                      i. <u>設置場所</u>  <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. <u>個数</u>  <u>2台</u></p>	<p>(c) <u>スタック編成装置</u>                      i. <u>設置場所</u>  <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. <u>個数</u>  <u>2台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000)*3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">マグネスケール方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量*5</td> <td>波板トレイスライ ドテーブル*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>スタックトレイス ライドテーブル*6</td> <td>kg</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法 *7*12</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3900*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>960*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2660*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*8</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所 *10</td> <td>設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">-*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮 が必要な高さ</td> <td colspan="2">-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。                      *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3:記載の適正化。既設工認では「スタック編成装置A」及び「スタック編成装 置B」と記載。                      *4:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *5:記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。                      *6:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。                      *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *11:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。                      *12:波板トレイ取出装置A、スタック編成装置A及びスタック取容装置Aの合計寸 法又は波板トレイ取出装置B、スタック編成装置B及びスタック取容装置Bの 合計寸法を示す。</p>			変更前	変更後	名称*2		スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000)*3		種類*4		マグネスケール方式		容量*5	波板トレイスライ ドテーブル*6	kg	5	スタックトレイス ライドテーブル*6	kg	8	主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1	横	mm	960*1	高さ	mm	2660*1	主要材料*8		SUS304		個数*9		2		系統名(ライン名)		-		取付箇所 *10	設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の 区画番号	-*11		溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*11			
		変更前	変更後																																																				
名称*2		スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000)*3																																																					
種類*4		マグネスケール方式																																																					
容量*5	波板トレイスライ ドテーブル*6	kg	5																																																				
	スタックトレイス ライドテーブル*6	kg	8																																																				
主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1																																																				
	横	mm	960*1																																																				
	高さ	mm	2660*1																																																				
主要材料*8		SUS304																																																					
個数*9		2																																																					
系統名(ライン名)		-																																																					
取付箇所 *10	設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																				
	溢水防護上の 区画番号	-*11																																																					
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*11																																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																											
(d) <u>スタック収容装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u>	(d) <u>スタック収容装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)*3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">クレーン方式, リフタ方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量*5</td> <td>スタック秤量テーブル*6</td> <td>kg</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>スタックトレイ 取扱機*6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>乾燥ポート 段積テーブル*6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>乾燥ポート移動機-1*6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>乾燥ポート移動機-2*6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7*12</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3900*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>960*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2660*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*8</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">-*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必 要な高さ</td> <td colspan="2">-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>           注記 *1:公称値を示す。            *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3:記載の適正化。既設工認では「スタック収容装置A」及び「スタック収容装置B」と記載。            *4:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *5:記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *6:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。            *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *11:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。            *12:波板トレイ取出装置A、スタック編成装置A及びスタック収容装置Aの合計寸法又は波板トレイ取出装置B、スタック編成装置B及びスタック収容装置Bの合計寸法を示す。         </p>			変更前	変更後	名称*2		スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)*3		種類*4		クレーン方式, リフタ方式		容量*5	スタック秤量テーブル*6	kg	8	スタックトレイ 取扱機*6	kg	60	乾燥ポート 段積テーブル*6	kg	60	乾燥ポート移動機-1*6	kg	60	乾燥ポート移動機-2*6	kg	60	主要寸法*7*12	たて	mm	3900*1	横	mm	960*1	高さ	mm	2660*1	主要材料*8		SUS304		個数*9		2		取付箇所*10	系統名(ライン名)	-		設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	-*11		溢水防護上の配慮が必 要な高さ	-*11		変更なし	変更なし
		変更前	変更後																																																												
名称*2		スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)*3																																																													
種類*4		クレーン方式, リフタ方式																																																													
容量*5	スタック秤量テーブル*6	kg	8																																																												
	スタックトレイ 取扱機*6	kg	60																																																												
	乾燥ポート 段積テーブル*6	kg	60																																																												
	乾燥ポート移動機-1*6	kg	60																																																												
	乾燥ポート移動機-2*6	kg	60																																																												
主要寸法*7*12	たて	mm	3900*1																																																												
	横	mm	960*1																																																												
	高さ	mm	2660*1																																																												
主要材料*8		SUS304																																																													
個数*9		2																																																													
取付箇所*10	系統名(ライン名)	-																																																													
	設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*6	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																												
	溢水防護上の区画番号	-*11																																																													
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	-*11																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																			
<p>(e) <u>空乾燥ボート取扱装置グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>1基</u></p>	<p>(e) <u>空乾燥ボート取扱装置グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>1基</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>空乾燥ボート取扱装置 グローブボックス (PA0141-B-30700)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界 管理</td> <td>核的制 限值*12</td> <td>取扱Pu* 質量*13 kg・Pu*</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの 相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井 までの距離*4</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の 壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*14</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*5*16</td> <td>vol% /h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*6*15</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法 *7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2500*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要 材料 *8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所 *10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番 号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4:記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。 *5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。 *6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。 *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *12:本グローブボックスに単一ユニット(空乾燥ボート取扱ユニット)を設定する。 *13:Pu*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、 kg・Pu*は、その合計質量とする。 *14:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *15:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。 *16:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		空乾燥ボート取扱装置 グローブボックス (PA0141-B-30700)		種類*3		グローブボックス		臨界 管理	核的制 限值*12	取扱Pu* 質量*13 kg・Pu*	36.0	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井 までの距離*4	mm	300以上	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*14	漏れ率*5*16		vol% /h	0.25以下	開口部風速*6*15		m/s	0.5以上	主要 寸法 *7	たて	mm	2500*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*14	主要 材料 *8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*9		—	1	取付 箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14	溢水防護上の区画番 号	—	—*11	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	<p>変更なし</p> <p>変更なし</p> <p>変更なし</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																																				
名称*2		空乾燥ボート取扱装置 グローブボックス (PA0141-B-30700)																																																																					
種類*3		グローブボックス																																																																					
臨界 管理	核的制 限值*12	取扱Pu* 質量*13 kg・Pu*	36.0																																																																				
	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上																																																																				
	設置する室の壁・天井 までの距離*4	mm	300以上																																																																				
	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*14																																																																				
漏れ率*5*16		vol% /h	0.25以下																																																																				
開口部風速*6*15		m/s	0.5以上																																																																				
主要 寸法 *7	たて	mm	2500*1																																																																				
	横	mm	800*1																																																																				
	高さ	mm	1000*1*14																																																																				
主要 材料 *8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																				
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																				
個数*9		—	1																																																																				
取付 箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—																																																																				
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14																																																																				
	溢水防護上の区画番 号	—	—*11																																																																				
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11																																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項			整合性	備考																																																																										
(f) 空乾燥ボート取扱装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 1台	(f) 空乾燥ボート取扱装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 1台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">空乾燥ボート取扱装置 (PA0141-M-30000)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">コンベア方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量*4</td> <td>乾燥ボート ストックコンベア</td> <td>kg</td> <td>540</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>乾燥ボート移載機</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>乾燥ボート 秤量テーブル*5</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4240*1</td> <td colspan="2" rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>500*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>469*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*9</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*5</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>-</td> <td>-*10</td> <td colspan="2" rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮 が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。            *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4:記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *5:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。            *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</p>					変更前		変更後		名称*2		空乾燥ボート取扱装置 (PA0141-M-30000)				種類*3		-		コンベア方式		容量*4	乾燥ボート ストックコンベア	kg	540	変更なし		乾燥ボート移載機	kg	60	乾燥ボート 秤量テーブル*5	kg	60	主要寸法*6	たて	mm	4240*1			横	mm	500*1	高さ	mm	469*1	主要材料*7		-		SUS304		個数*8		-		1		系統名(ライン名)		-		-		取付箇所*9	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*5	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m		溢水防護上の 区画番号	-	-*10	変更なし		溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-	-*10		
		変更前		変更後																																																																												
名称*2		空乾燥ボート取扱装置 (PA0141-M-30000)																																																																														
種類*3		-		コンベア方式																																																																												
容量*4	乾燥ボート ストックコンベア	kg	540	変更なし																																																																												
	乾燥ボート移載機	kg	60																																																																													
	乾燥ボート 秤量テーブル*5	kg	60																																																																													
主要寸法*6	たて	mm	4240*1																																																																													
	横	mm	500*1																																																																													
	高さ	mm	469*1																																																																													
主要材料*7		-		SUS304																																																																												
個数*8		-		1																																																																												
系統名(ライン名)		-		-																																																																												
取付箇所*9	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*5	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																												
	溢水防護上の 区画番号	-	-*10	変更なし																																																																												
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-	-*10																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																				
<p>b. スタック乾燥設備                      (a) <u>乾燥ポート供給装置グローブボックス</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. 個数  <u>2基</u></p>	<p>b. スタック乾燥設備                      (a) <u>乾燥ポート供給装置グローブボックス</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. 個数  <u>2基</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">乾燥ポート供給装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-11700, -21700)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値*13 取扱Pu* 質量*14</td> <td>kg・Pu*</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの 相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井 までの距離*5</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の 壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*15</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*6*17</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*7*16</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*8</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2500*8</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300*8</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2800*14*15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*9</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*10</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所 *11</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*15</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*12</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*12</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「乾燥ポート供給装置Aグローブボックス」及び「乾燥ポート供給装置Bグローブボックス」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。                      *9: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *10: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *11: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *12: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。                      *13: 乾燥ポート供給装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットA)、乾燥ポート供給装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットB)を設定する。                      *14: Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。                      *15: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *16: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。                      *17: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ポート供給装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-11700, -21700)		種類*4		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制限値*13 取扱Pu* 質量*14	kg・Pu*	36.0	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm	300以上	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*15	漏れ率*6*17		vol%/h	0.25以下	開口部風速*7*16		m/s	0.5以上	主要寸法*8	たて	mm	2500*8	横	mm	1300*8	高さ	mm	2800*14*15	主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*10		—	2	取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*15	溢水防護上の区画番号	—	—*12	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*12	<p>変更なし</p> <p>ポリカーボネート樹脂</p> <p>変更なし</p> <p>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</p> <p>変更なし</p>	
		変更前	変更後																																																																					
名称*2		乾燥ポート供給装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-11700, -21700)																																																																						
種類*4		グローブボックス																																																																						
臨 界 管 理	核的制限値*13 取扱Pu* 質量*14	kg・Pu*	36.0																																																																					
	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上																																																																					
	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm	300以上																																																																					
	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*15																																																																					
漏れ率*6*17		vol%/h	0.25以下																																																																					
開口部風速*7*16		m/s	0.5以上																																																																					
主要寸法*8	たて	mm	2500*8																																																																					
	横	mm	1300*8																																																																					
	高さ	mm	2800*14*15																																																																					
主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																					
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																					
個数*10		—	2																																																																					
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—	—																																																																					
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*15																																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	—*12																																																																					
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*12																																																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																										
(b) 乾燥ボート供給装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 2台	(b) 乾燥ボート供給装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 2台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称*2</td> <td></td> <td>乾燥ボート供給装置 (PA0142-M-11000, -21000)*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*4</td> <td>クレーン方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量*5</td> <td>乾燥ボート移載機</td> <td>kg 60</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>乾燥ボート取扱機</td> <td>kg 60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm 2230*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 1050*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1904*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料*7</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数*8</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*11</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画 番号</td> <td>- *10</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮 が必要な高さ</td> <td>- *10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート供給装置A」及び「乾燥ボート供給装置B」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。            *11: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート供給装置 (PA0142-M-11000, -21000)*3		種類*4	クレーン方式		容量*5	乾燥ボート移載機	kg 60	変更なし	乾燥ボート取扱機	kg 60	主要寸法*6	たて	mm 2230*1	横	mm 1050*1	高さ	mm 1904*1	主要材料*7		SUS304	個数*8		2	取付箇所*9	系統名 (ライン名)	-		設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*11	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画 番号	- *10	変更なし	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	- *10		
		変更前	変更後																																											
名称*2		乾燥ボート供給装置 (PA0142-M-11000, -21000)*3																																												
	種類*4	クレーン方式																																												
容量*5	乾燥ボート移載機	kg 60	変更なし																																											
	乾燥ボート取扱機	kg 60																																												
主要寸法*6	たて	mm 2230*1																																												
	横	mm 1050*1																																												
	高さ	mm 1904*1																																												
主要材料*7		SUS304																																												
個数*8		2																																												
取付箇所*9	系統名 (ライン名)	-																																												
	設置床	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*11	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																											
	溢水防護上の区画 番号	- *10	変更なし																																											
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	- *10																																												



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
<p>(c) <u>スタック乾燥装置</u>                      i. <u>設置場所</u>                          <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. <u>個数</u>                          <u>2台</u></p>	<p>(c) <u>スタック乾燥装置</u>                      i. <u>設置場所</u>                          <u>燃料棒加工第1室</u>                      ii. <u>個数</u>                          <u>2台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">スタック乾燥装置 (PA0142-M-12000, -22000)*3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">電気加熱方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界 管理</td> <td>核的制限値 *12</td> <td>Pu*質量*13 kg・Pu*</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互 間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井まで の距離*5</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚 さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*14</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率**15</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法 *7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>10060*1</td> </tr> <tr> <td>よこ</td> <td>mm</td> <td>1518*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1332*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*8</td> <td colspan="2">SUS304, STKR400 SUS304TP, SUS316</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付 箇所 *10</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な 高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「スタック乾燥装置 A」及び「スタック乾燥装置 B」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。  *12:スタック乾燥設備A グローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニット A)、スタック乾燥設備 B グローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニット B)を設定する。  *13:Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241 及びウラン-235 の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。  *14:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *15:グローブボックスと同等の漏れ率を担保するため、JIS Z 4820 グローブボックス気密試験方法に基づき、焼結炉の給排気系等を防止した状態で炉内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧と炉内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		スタック乾燥装置 (PA0142-M-12000, -22000)*3		種類*4		電気加熱方式		臨界 管理	核的制限値 *12	Pu*質量*13 kg・Pu*	36.0	他の単一ユニットとの相互 間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井まで の距離*5	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚 さ	mm	305以上*14	漏れ率**15		vol%/h	0.25以下	主要 寸法 *7	たて	mm	10060*1	よこ	mm	1518*1	高さ	mm	1332*1	主要材料*8		SUS304, STKR400 SUS304TP, SUS316		個数*9		2		系統名(ライン名)		-		取付 箇所 *10	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14	溢水防護上の区画番号	-	-*11	溢水防護上の配慮が必要な 高さ	-	-*11	<p>変更なし</p> <p>変更なし</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																														
名称*2		スタック乾燥装置 (PA0142-M-12000, -22000)*3																																																															
種類*4		電気加熱方式																																																															
臨界 管理	核的制限値 *12	Pu*質量*13 kg・Pu*	36.0																																																														
	他の単一ユニットとの相互 間隔	mm	300以上																																																														
	設置する室の壁・天井まで の距離*5	mm	300以上																																																														
	単一ユニット相互間の壁厚 さ	mm	305以上*14																																																														
漏れ率**15		vol%/h	0.25以下																																																														
主要 寸法 *7	たて	mm	10060*1																																																														
	よこ	mm	1518*1																																																														
	高さ	mm	1332*1																																																														
主要材料*8		SUS304, STKR400 SUS304TP, SUS316																																																															
個数*9		2																																																															
系統名(ライン名)		-																																																															
取付 箇所 *10	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*14																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ	-	-*11																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																			
<p>(d) 乾燥ボート取出装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<p>(d) 乾燥ボート取出装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">乾燥ボート取出装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-13700, -23700)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*4</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>核的制 限值*13</td> <td>取扱Pu* 質量*14 kg・Pu*</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの 相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井 までの距離*5</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の 壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*15</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*9*17</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*1*16</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*8</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3000*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2800*15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*9</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*10</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *11</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*15</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*12</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*12</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート取出装置Aグローブボックス」及び「乾燥ボート取出装置Bグローブボックス」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *11: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *12: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。  *13: 乾燥ボート取出装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットA)、乾燥ボート取出装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットB)を設定する。  *14: Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。  *15: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *16: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *17: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート取出装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-13700, -23700)		種類*4		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制 限值*13	取扱Pu* 質量*14 kg・Pu*	36.0	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm	300以上	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*15	漏れ率*9*17		vol%/h	0.25以下	開口部風速*1*16		m/s	0.5以上	主要寸法*8	たて	mm	3000*	横	mm	1300*	高さ	mm	2800*15	主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*10		—	2	取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*15	溢水防護上の区画番号	—	—*12	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*12	<p>変更なし</p> <p>ポリカーボネート樹脂</p> <p>変更なし</p> <p>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</p> <p>変更なし</p>	
		変更前	変更後																																																																				
名称*2		乾燥ボート取出装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-13700, -23700)																																																																					
種類*4		グローブボックス																																																																					
臨 界 管 理	核的制 限值*13	取扱Pu* 質量*14 kg・Pu*	36.0																																																																				
	他の単一ユニットとの 相互間隔	mm	300以上																																																																				
	設置する室の壁・天井 までの距離*5	mm	300以上																																																																				
	単一ユニット相互間の 壁厚さ	mm	305以上*15																																																																				
漏れ率*9*17		vol%/h	0.25以下																																																																				
開口部風速*1*16		m/s	0.5以上																																																																				
主要寸法*8	たて	mm	3000*																																																																				
	横	mm	1300*																																																																				
	高さ	mm	2800*15																																																																				
主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																				
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																				
個数*10		—	2																																																																				
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)	—	—																																																																				
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*15																																																																				
	溢水防護上の区画番号	—	—*12																																																																				
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*12																																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																	
<p>(e) 乾燥ボート取出装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>  <p>c. 挿入溶接設備</p> <p>(a) 被覆管乾燥装置</p> <p>i. 設置場所 ハ. (ニ) (2) ①c. (a) i. 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<p>(e) 乾燥ボート取出装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>  <p>c. 挿入溶接設備</p> <p>(a) 被覆管乾燥装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称*2</td> <td></td> <td>乾燥ボート取出装置 (PA0142-M-13000,-23000)*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*4</td> <td></td> <td>クレーン方式、リフト方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量*5</td> <td>乾燥ボート取扱機</td> <td>kg 60</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>乾燥ボートリフト</td> <td>kg 60</td> </tr> <tr> <td>乾燥ボート秤量テーブル*6</td> <td>kg 60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm 2780*1</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 1050*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 2633*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料*8</td> <td></td> <td>SUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数*9</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*10</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート取出装置A」及び「乾燥ボート取出装置B」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *6: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</p> <p>(3) 挿入溶接設備  &lt;中略&gt;  挿入溶接設備のうち、被覆管乾燥装置を2台、被覆管供給装置を2台、部材供給装置(部材供給部)を2台、部材供給装置(部材搬送部)を2台、挿入溶接装置を2台設置する設計とする。  &lt;中略&gt;</p> <p>2. 被覆施設  &lt;中略&gt;  ハ. (ニ) (2) ①c. (a) i. 被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート取出装置 (PA0142-M-13000,-23000)*3		種類*4		クレーン方式、リフト方式		容量*5	乾燥ボート取扱機	kg 60	変更なし	乾燥ボートリフト	kg 60	乾燥ボート秤量テーブル*6	kg 60	主要寸法*7	たて	mm 2780*1	変更なし	横	mm 1050*1	高さ	mm 2633*1	主要材料*8		SUS304		個数*9		2		取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-	設置床	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*10	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	-	*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	*11	<p>設工認のハ. (ニ) (2) ①c. (a) i. は、事業変更許可申請書(本文)のハ. (ニ) (2) ①c. (a) i. と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																		
名称*2		乾燥ボート取出装置 (PA0142-M-13000,-23000)*3																																																			
種類*4		クレーン方式、リフト方式																																																			
容量*5	乾燥ボート取扱機	kg 60	変更なし																																																		
	乾燥ボートリフト	kg 60																																																			
	乾燥ボート秤量テーブル*6	kg 60																																																			
主要寸法*7	たて	mm 2780*1	変更なし																																																		
	横	mm 1050*1																																																			
	高さ	mm 2633*1																																																			
主要材料*8		SUS304																																																			
個数*9		2																																																			
取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-																																																		
	設置床	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*10	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																		
	溢水防護上の区画番号	-	*11																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	*11																																																		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																														
<p>(b) <u>被覆管供給装置オープンポートボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p> <p>(c) <u>被覆管供給装置</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>ハ.(ニ)(2)①c.(c)i.燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2台</u></p>	<p>(b) <u>被覆管供給装置オープンポートボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p> <p>(c) <u>被覆管供給装置</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2台</u></p>	<p>【被覆施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1507 247 2128 747"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">被覆管供給装置 オープンポートボックス (PA0143-B-12700, -22700)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">オープンポートボックス</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置棟</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43, 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3: 通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。</p> <p>(3) 挿入溶接設備          &lt;中略&gt;          挿入溶接設備のうち、被覆管乾燥装置を2台、被覆管供給装置を2台、部材供給装置(部材供給部)を2台、部材供給装置(部材搬送部)を2台、挿入溶接装置を2台設置する設計とする。          &lt;中略&gt;</p> <p>2. 被覆施設          &lt;中略&gt;          ハ.(ニ)(2)①c.(c)i.被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p>	名称		被覆管供給装置 オープンポートボックス (PA0143-B-12700, -22700)		種類	—	オープンポートボックス		開口部風速*3	m/s	0.5以上		主要寸法	たて	mm	5000*1	横	mm	600*1	高さ	mm	1000*1	主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数	—	2		取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置棟	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43, 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	<p>設工認のハ.(ニ)(2)①c.(c)i.は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ニ)(2)①c.(c)i.と同義であり整合している。</p>	
名称		被覆管供給装置 オープンポートボックス (PA0143-B-12700, -22700)																																																
種類	—	オープンポートボックス																																																
開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																
主要寸法	たて	mm	5000*1																																															
	横	mm	600*1																																															
	高さ	mm	1000*1																																															
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																															
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																															
個数	—	2																																																
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																															
	設置棟	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43, 20m																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																		
<p>(d) <u>スタック供給装置グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p> <p>(e) <u>スタック供給装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2台</u></p>	<p>(d) <u>スタック供給装置グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p> <p>(e) <u>スタック供給装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2台</u></p>	<p><b>【被覆施設】 (仕様表)</b></p> <table border="1" data-bbox="1507 247 2119 877"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">スタック供給装置 グローブボックス (PA0143-B-13700, -23700)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">グローブボックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>取扱Pu*質量*4</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td colspan="2">他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*5</td> <td>vol%/h</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*5</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2500*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2800*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td><u>2</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3: スタック供給装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA), スタック供給装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。 *4: Pu*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。 *5: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。 *6: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p> <table border="1" data-bbox="1507 1213 2119 1745"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">スタック供給装置 (PA0143-M-13000, -23000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">クレーン方式 リフト方式 スライドテーブル方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">容 量</td> <td>搬出入リフト</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>スタックトレイ取扱機</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>スタックトレイ搬送機</td> <td>kg</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>乾燥ポート秤量テーブル</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>965*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2420*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2676*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td><u>2</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		スタック供給装置 グローブボックス (PA0143-B-13700, -23700)		種類		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	設置する室の壁・天井までの距離		mm	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	漏れ率*5		vol%/h	開口部風速*5		m/s	0.5以上	主 要 寸 法	たて	mm	2500*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	2800*1	主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数		—	<u>2</u>	取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2	名称		スタック供給装置 (PA0143-M-13000, -23000)		種類		クレーン方式 リフト方式 スライドテーブル方式		容 量	搬出入リフト	kg	60	スタックトレイ取扱機	kg	60	スタックトレイ搬送機	kg	8	乾燥ポート秤量テーブル	kg	60	主 要 寸 法	たて	mm	965*1	横	mm	2420*1	高さ	mm	2676*1	主要材料		—	SUS304	個数		—	<u>2</u>	取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2		
名称		スタック供給装置 グローブボックス (PA0143-B-13700, -23700)																																																																																																																				
種類		グローブボックス																																																																																																																				
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*																																																																																																																			
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm																																																																																																																			
	設置する室の壁・天井までの距離		mm																																																																																																																			
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm																																																																																																																			
	漏れ率*5		vol%/h																																																																																																																			
開口部風速*5		m/s	0.5以上																																																																																																																			
主 要 寸 法	たて	mm	2500*1																																																																																																																			
	横	mm	1200*1																																																																																																																			
	高さ	mm	2800*1																																																																																																																			
主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																																																																			
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																																																																			
個数		—	<u>2</u>																																																																																																																			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—																																																																																																																			
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号		—*2																																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2																																																																																																																			
名称		スタック供給装置 (PA0143-M-13000, -23000)																																																																																																																				
種類		クレーン方式 リフト方式 スライドテーブル方式																																																																																																																				
容 量	搬出入リフト	kg	60																																																																																																																			
	スタックトレイ取扱機	kg	60																																																																																																																			
	スタックトレイ搬送機	kg	8																																																																																																																			
	乾燥ポート秤量テーブル	kg	60																																																																																																																			
主 要 寸 法	たて	mm	965*1																																																																																																																			
	横	mm	2420*1																																																																																																																			
	高さ	mm	2676*1																																																																																																																			
主要材料		—	SUS304																																																																																																																			
個数		—	<u>2</u>																																																																																																																			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—																																																																																																																			
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号		—*2																																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2																																																																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																														
<p>(f) <u>部材供給装置(部材供給部) オープンポ ートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u></p> <p>(g) <u>部材供給装置(部材供給部)</u> i. 設置場所 <u>ハ.(ニ)(2)①c.(g) i. 燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2台</u></p> <p>(h) <u>部材供給装置(部材搬送部) オープンポ ートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u></p>	<p>(f) <u>部材供給装置(部材供給部) オープンポ ートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u></p> <p>(g) <u>部材供給装置(部材供給部)</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2台</u></p> <p>(h) <u>部材供給装置(部材搬送部) オープンポ ートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u></p>	<table border="1" data-bbox="1513 220 2122 703"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">部材供給装置(部材供給部) オープンポートボックス (PA0143-B-14701, -24701)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">オープンポートボックス</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>890*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1700*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3:通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。</p> <p>(3) 挿入溶接設備     &lt;中略&gt; 挿入溶接設備のうち、被覆管乾燥装置を2台、被覆管供給装置を2台、部材供給装置(部材供給部)を2台、部材供給装置(部材搬送部)を2台、挿入溶接装置を2台設置する設計とする。     &lt;中略&gt;</p> <p>2. 被覆施設     &lt;中略&gt;     <u>ハ.(ニ)(2)①c.(g) i. 被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p> <p>【被覆施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1513 1365 2122 1848"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">部材供給装置(部材搬送部) オープンポートボックス (PA0143-B-14700, -24700)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">オープンポートボックス</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>804*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1700*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3:通常運転時におけるポート開口部(ポート1箇所開放)の面風速を示す。</p>	名称		部材供給装置(部材供給部) オープンポートボックス (PA0143-B-14701, -24701)		種類	—	オープンポートボックス		開口部風速*3	m/s	0.5以上		主要寸法	たて	mm	890*1	横	mm	1000*1	高さ	mm	1700*1	主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数		—	2	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	名称		部材供給装置(部材搬送部) オープンポートボックス (PA0143-B-14700, -24700)		種類	—	オープンポートボックス		開口部風速*3	m/s	0.5以上		主要寸法	たて	mm	804*1	横	mm	1000*1	高さ	mm	1700*1	主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数		—	2	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	<p>設工認の <u>ハ.(ニ)(2)①c.(g) i.</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ.(ニ)(2)①c.(g) i.</u> と同義であり整合している。</p>	
名称		部材供給装置(部材供給部) オープンポートボックス (PA0143-B-14701, -24701)																																																																																																
種類	—	オープンポートボックス																																																																																																
開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																																																																
主要寸法	たて	mm	890*1																																																																																															
	横	mm	1000*1																																																																																															
	高さ	mm	1700*1																																																																																															
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																																															
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																																															
個数		—	2																																																																																															
系統名(ライン名)		—	—																																																																																															
取付箇所	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																																															
名称		部材供給装置(部材搬送部) オープンポートボックス (PA0143-B-14700, -24700)																																																																																																
種類	—	オープンポートボックス																																																																																																
開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																																																																
主要寸法	たて	mm	804*1																																																																																															
	横	mm	1000*1																																																																																															
	高さ	mm	1700*1																																																																																															
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																																															
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																																															
個数		—	2																																																																																															
系統名(ライン名)		—	—																																																																																															
取付箇所	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																		
<p>(i) 部材供給装置(部材搬送部)</p> <p>i. 設置場所 ハ.(ニ)(2)①c.(i) i. 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>(j) 挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<p>(i) 部材供給装置(部材搬送部)</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p> <p>(j) 挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<p>(3) 挿入溶接設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>挿入溶接設備のうち、被覆管乾燥装置を2台、被覆管供給装置を2台、部材供給装置(部材供給部)を2台、部材供給装置(部材搬送部)を2台、挿入溶接装置を2台設置する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2. 被覆施設</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ハ.(ニ)(2)①c.(i) i. 被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p>【被覆施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1516 638 2125 1268"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス (PA0143-B-15700, -25700)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>取扱Pu*質量**</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>漏れ率*5</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開口部風速*5</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1400*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4000*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *3:挿入溶接装置(被覆管取扱部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、挿入溶接装置(被覆管取扱部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。 *4:Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。 *5:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。 *6:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称		挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス (PA0143-B-15700, -25700)		種類		グローブボックス		臨界管理	核的制限値*3	取扱Pu*質量**	kg・Pu*		他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上		設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上		漏れ率*5	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5	m/s	0.5以上	主要寸法	たて	mm	5000*1	横	mm	1400*1	高さ	mm	4000*1	主要材料	本体	-	SUS304, SUS304TP	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂	個数		-	2	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2	<p>設工認のハ.(ニ)(2)①c.(i) i. は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ニ)(2)①c.(i) i. と同義であり整合している。</p>	
名称		挿入溶接装置(被覆管取扱部) グローブボックス (PA0143-B-15700, -25700)																																																																				
種類		グローブボックス																																																																				
臨界管理	核的制限値*3	取扱Pu*質量**	kg・Pu*																																																																			
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上																																																																			
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上																																																																			
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																			
	漏れ率*5	vol%/h	0.25以下																																																																			
	開口部風速*5	m/s	0.5以上																																																																			
主要寸法	たて	mm	5000*1																																																																			
	横	mm	1400*1																																																																			
	高さ	mm	4000*1																																																																			
主要材料	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																																			
	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂																																																																			
個数		-	2																																																																			
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																			
	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																			
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																													
(k) 挿入溶接装置(被覆管取扱部) i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 2台	(k) 挿入溶接装置(被覆管取扱部) i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 2台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">TIG溶接方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">容量</td> <td rowspan="5">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>被覆管昇降機</td> <td>kg</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>スタック取扱部 搬送機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>部材供給部搬送機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒溶接部搬送機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒払出機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>スタックトレイ 取扱機</td> <td>kg</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>スタック</td> <td>kg</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>950*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4695*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3803*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>700*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3192*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1030*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>764*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3088*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1969*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置(燃料棒溶接部)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</p>	名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)		種類		TIG溶接方式		容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg	10	スタック取扱部 搬送機	kg	5	部材供給部搬送機	kg	5	燃料棒溶接部搬送機	kg	5	燃料棒払出機	kg	5	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	スタックトレイ 取扱機	kg	8	スタック	kg	8	秤量テーブル			主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	たて	mm	950*1	横	mm	4695*1	高さ	mm	3803*1	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	たて	mm	700*1	横	mm	3192*1	高さ	mm	1030*1	挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)	たて	mm	764*1	横	mm	3088*1	高さ	mm	1969*1	主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	-	SUS304	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	-	SUS304	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	-	SUS304	個数		-	2	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2		
名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)																																																																																															
種類		TIG溶接方式																																																																																															
容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg	10																																																																																													
		スタック取扱部 搬送機	kg	5																																																																																													
		部材供給部搬送機	kg	5																																																																																													
		燃料棒溶接部搬送機	kg	5																																																																																													
		燃料棒払出機	kg	5																																																																																													
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	スタックトレイ 取扱機	kg	8																																																																																													
		スタック	kg	8																																																																																													
		秤量テーブル																																																																																															
	主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	たて	mm	950*1																																																																																												
			横	mm	4695*1																																																																																												
高さ			mm	3803*1																																																																																													
挿入溶接装置 (スタック取扱部)		たて	mm	700*1																																																																																													
		横	mm	3192*1																																																																																													
		高さ	mm	1030*1																																																																																													
挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)		たて	mm	764*1																																																																																													
		横	mm	3088*1																																																																																													
		高さ	mm	1969*1																																																																																													
主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	-	SUS304																																																																																														
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	-	SUS304																																																																																														
	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	-	SUS304																																																																																														
個数		-	2																																																																																														
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																														
	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																																														



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
<p>(1) 挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<p>(1) 挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2基</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス (PA0143-B-15701, -25701)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界管理</td> <td>核的制限値**</td> <td>取扱Pu*質量**</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>漏れ率**</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開口部風速**</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3400*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1900*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3: 挿入溶接装置(スタック取扱部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、挿入溶接装置(スタック取扱部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。 *4: Pu*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。 *5: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。 *6: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称		挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス (PA0143-B-15701, -25701)		種類	—	グローブボックス		臨界管理	核的制限値**	取扱Pu*質量**	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上		漏れ率**	vol%/h	0.25以下		開口部風速**	m/s	0.5以上	主要寸法	たて	mm	3400*1	横	mm	1000*1	高さ	mm	1900*1	主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂		個数	—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2		
名称		挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボックス (PA0143-B-15701, -25701)																																																																	
種類	—	グローブボックス																																																																	
臨界管理	核的制限値**	取扱Pu*質量**	kg・Pu*																																																																
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上																																																																
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上																																																																
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																
	漏れ率**	vol%/h	0.25以下																																																																
	開口部風速**	m/s	0.5以上																																																																
主要寸法	たて	mm	3400*1																																																																
	横	mm	1000*1																																																																
	高さ	mm	1900*1																																																																
主要材料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																
	個数	—	2																																																																
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																												
<p>(m) 挿入溶接装置 (スタック取扱部)</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<p>(m) 挿入溶接装置 (スタック取扱部)</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">TIG溶接方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">容量</td> <td rowspan="5">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>被覆管昇降機</td> <td>kg 10</td> </tr> <tr> <td>スタック取扱部 搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>部材供給部搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒溶接部搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒払出機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>スタックトレイ 取扱機</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td>スタック</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>たて</td> <td>mm 950*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4695*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 3803*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>たて</td> <td>mm 700*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 3192*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1030*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)</td> <td>たて</td> <td>mm 764*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 3088*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1969*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置(燃料棒溶接部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)		種類		TIG溶接方式		容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg 10	スタック取扱部 搬送機	kg 5	部材供給部搬送機	kg 5	燃料棒溶接部搬送機	kg 5	燃料棒払出機	kg 5	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	スタックトレイ 取扱機	kg 8	スタック	kg 8	秤量テーブル	kg 8	主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	たて	mm 950*1	横	mm 4695*1	高さ	mm 3803*1	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	たて	mm 700*1	横	mm 3192*1	高さ	mm 1030*1	挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)	たて	mm 764*1	横	mm 3088*1	高さ	mm 1969*1	主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	—	SUS304	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	—	SUS304	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	—	SUS304	個数		—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2		
名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)																																																																														
種類		TIG溶接方式																																																																														
容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg 10																																																																													
		スタック取扱部 搬送機	kg 5																																																																													
		部材供給部搬送機	kg 5																																																																													
		燃料棒溶接部搬送機	kg 5																																																																													
		燃料棒払出機	kg 5																																																																													
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	スタックトレイ 取扱機	kg 8																																																																													
		スタック	kg 8																																																																													
		秤量テーブル	kg 8																																																																													
	主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	たて	mm 950*1																																																																												
			横	mm 4695*1																																																																												
高さ			mm 3803*1																																																																													
挿入溶接装置 (スタック取扱部)		たて	mm 700*1																																																																													
		横	mm 3192*1																																																																													
		高さ	mm 1030*1																																																																													
挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)		たて	mm 764*1																																																																													
		横	mm 3088*1																																																																													
		高さ	mm 1969*1																																																																													
主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	—	SUS304																																																																													
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	—	SUS304																																																																													
	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	—	SUS304																																																																													
個数		—	2																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																													
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
<p>(n) <u>挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p>	<p>(n) <u>挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス (PA0143-B-15702, -25702)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値*1</td> <td>取扱Pu*質量**</td> <td>kg·Pu*</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率**</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速**</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3300*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2200*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *3:挿入溶接装置(燃料棒溶接部)Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、挿入溶接装置(燃料棒溶接部)Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。 *4:Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg·Pu*は、その合計質量とする。 *5:グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。 *6:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉じた状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称		挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス (PA0143-B-15702, -25702)		種類		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制限値*1	取扱Pu*質量**	kg·Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	漏れ率**		vol%/h	0.25以下	開口部風速**		m/s	0.5以上	主 要 寸 法	たて	mm	3300*1	横	mm	1000*1	高さ	mm	2200*1	主 要 材 料	本体	-	SUS304, SUS304TP	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂	個数		-	2	取 付 箇 所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2		
名称		挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボックス (PA0143-B-15702, -25702)																																																																	
種類		グローブボックス																																																																	
臨 界 管 理	核的制限値*1	取扱Pu*質量**	kg·Pu*																																																																
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上																																																																
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上																																																																
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																
漏れ率**		vol%/h	0.25以下																																																																
開口部風速**		m/s	0.5以上																																																																
主 要 寸 法	たて	mm	3300*1																																																																
	横	mm	1000*1																																																																
	高さ	mm	2200*1																																																																
主 要 材 料	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																																
	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂																																																																
個数		-	2																																																																
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	-	-																																																																
	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																											
<p>(o) 挿入溶接装置(燃料棒溶接部)</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<p>(o) 挿入溶接装置(燃料棒溶接部)</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 2台</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">TIG溶接方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">容量</td> <td rowspan="5">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>被覆管昇降機</td> <td>kg 10</td> </tr> <tr> <td>スタック取扱部</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>部材供給部搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒溶接部搬送機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>燃料棒引出機</td> <td>kg 5</td> </tr> <tr> <td>スタックトレイ</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td>取扱機</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>スタック</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル</td> <td>kg 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)</td> <td>たて</td> <td>mm 950*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4695*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 3803*1</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm 700*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 3192*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1030*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>挿入溶接装置 (被覆管取扱部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置 (スタック取扱部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>挿入溶接装置(燃料棒溶接部)</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)		種類		TIG溶接方式		容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg 10	スタック取扱部	kg 5	搬送機	kg 5	部材供給部搬送機	kg 5	燃料棒溶接部搬送機	kg 5	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	燃料棒引出機	kg 5	スタックトレイ	kg 8	取扱機	kg 8	主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	スタック	kg 8	秤量テーブル	kg 8			挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)	たて	mm 950*1	横	mm 4695*1	高さ	mm 3803*1	たて	mm 700*1	横	mm 3192*1	高さ	mm 1030*1	主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	—	SUS304	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	—	SUS304	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	—	SUS304	個数		—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2		
名称		挿入溶接装置 (PA0143-M-15000, -25000)																																																																													
種類		TIG溶接方式																																																																													
容量	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	被覆管昇降機	kg 10																																																																												
		スタック取扱部	kg 5																																																																												
		搬送機	kg 5																																																																												
		部材供給部搬送機	kg 5																																																																												
		燃料棒溶接部搬送機	kg 5																																																																												
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	燃料棒引出機	kg 5																																																																												
		スタックトレイ	kg 8																																																																												
		取扱機	kg 8																																																																												
	主要寸法	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	スタック	kg 8																																																																											
			秤量テーブル	kg 8																																																																											
挿入溶接装置 (燃料棒溶接部)		たて	mm 950*1																																																																												
		横	mm 4695*1																																																																												
		高さ	mm 3803*1																																																																												
		たて	mm 700*1																																																																												
		横	mm 3192*1																																																																												
		高さ	mm 1030*1																																																																												
主要材料	挿入溶接装置 (被覆管取扱部)	—	SUS304																																																																												
	挿入溶接装置 (スタック取扱部)	—	SUS304																																																																												
	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)	—	SUS304																																																																												
個数		—	2																																																																												
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																												
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																												
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																												

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																
<p>(p) <u>除染装置グローブボックス</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p> <p>(q) <u>除染装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u></p>	<p>(p) <u>除染装置グローブボックス</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2基</u></p> <p>(q) <u>除染装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">除染装置グローブボックス (PA0143-B-16700, -26700)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">グローブボックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>取扱Pu*質量*4</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td colspan="2">他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*5</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*5</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>900*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3: 除染装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA)、除染装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。 *4: Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。 *5: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。 *6: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">除染装置 (PA0143-M-16000, -26000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">全長拭取方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">容 量</td> <td>燃料棒受入機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移載機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒払出機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>590*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>863*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		除染装置グローブボックス (PA0143-B-16700, -26700)		種類		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	設置する室の壁・天井までの距離		mm	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	漏れ率*5		vol%/h	0.25以下	開口部風速*5		m/s	0.5以上	主 要 寸 法	たて	mm	5000*1	横	mm	900*1	高さ	mm	1500*1	主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数		—	2	取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	設置床		燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2	名称		除染装置 (PA0143-M-16000, -26000)		種類		全長拭取方式		容 量	燃料棒受入機	kg	5	燃料棒移載機	kg	5	燃料棒払出機	kg	5	主 要 寸 法	たて	mm	590*1	横	mm	4600*1	高さ	mm	863*1	主要材料		—	SUS304	個数		—	2	取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	設置床		燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2		
名称		除染装置グローブボックス (PA0143-B-16700, -26700)																																																																																																																		
種類		グローブボックス																																																																																																																		
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*																																																																																																																	
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm																																																																																																																	
	設置する室の壁・天井までの距離		mm																																																																																																																	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm																																																																																																																	
漏れ率*5		vol%/h	0.25以下																																																																																																																	
開口部風速*5		m/s	0.5以上																																																																																																																	
主 要 寸 法	たて	mm	5000*1																																																																																																																	
	横	mm	900*1																																																																																																																	
	高さ	mm	1500*1																																																																																																																	
主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																																																																	
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																																																																	
個数		—	2																																																																																																																	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—																																																																																																																	
	設置床		燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号		—*2																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2																																																																																																																	
名称		除染装置 (PA0143-M-16000, -26000)																																																																																																																		
種類		全長拭取方式																																																																																																																		
容 量	燃料棒受入機	kg	5																																																																																																																	
	燃料棒移載機	kg	5																																																																																																																	
	燃料棒払出機	kg	5																																																																																																																	
主 要 寸 法	たて	mm	590*1																																																																																																																	
	横	mm	4600*1																																																																																																																	
	高さ	mm	863*1																																																																																																																	
主要材料		—	SUS304																																																																																																																	
個数		—	2																																																																																																																	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—																																																																																																																	
	設置床		燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号		—*2																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2																																																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																									
(r) <u>汚染検査装置オープンポートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u>	(r) <u>汚染検査装置オープンポートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2基</u>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">汚染検査装置 オープンポートボックス (PA0143-B-17700, -27700)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>—</th> <th colspan="2">オープンポートボックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値**</td> <td>取扱Pu*質量**</td> <td>kg・Pu*</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td colspan="2">300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td colspan="2">300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">305以上</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">5000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">1000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">1500*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td colspan="2">ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。                      *3: 通常運転時におけるポート開口部(ポート4箇所開放)の面風速を示す。                      *4: 汚染検査装置Aオープンポートボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットA), 汚染検査装置Bオープンポートボックスに単一ユニット(スタック供給・挿入溶接ユニットB)を設定する。                      *5: Pu*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。</p>	名称		汚染検査装置 オープンポートボックス (PA0143-B-17700, -27700)		種類	—	オープンポートボックス		臨 界 管 理	核的制限値**	取扱Pu*質量**	kg・Pu*	36.0	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上		設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上		開口部風速*3	m/s	0.5以上		主 要 寸 法	たて	mm	5000*1		横	mm	1000*1		高さ	mm	1500*1		主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP		窓板部	—	ポリカーボネート樹脂		個数		—	2		取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m		溢水防護上の区画番号	—	—*2		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2			
名称		汚染検査装置 オープンポートボックス (PA0143-B-17700, -27700)																																																																											
種類	—	オープンポートボックス																																																																											
臨 界 管 理	核的制限値**	取扱Pu*質量**	kg・Pu*	36.0																																																																									
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上																																																																										
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	300以上																																																																										
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																										
	開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																																										
主 要 寸 法	たて	mm	5000*1																																																																										
	横	mm	1000*1																																																																										
	高さ	mm	1500*1																																																																										
主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																										
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																										
個数		—	2																																																																										
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—																																																																										
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m																																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																										
(s) <u>汚染検査装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2台</u>	(s) <u>汚染検査装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室</u> ii. 個数 <u>2台</u>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">汚染検査装置 (PA0143-M-17000, -27000)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>—</th> <th colspan="2">α線測定方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">容 量</td> <td>燃料棒受入機</td> <td>kg</td> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移送機</td> <td>kg</td> <td colspan="2">10</td> </tr> <tr> <td>燃料棒払出機</td> <td>kg</td> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">531*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4680*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">1389*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		汚染検査装置 (PA0143-M-17000, -27000)		種類	—	α線測定方式		容 量	燃料棒受入機	kg	5		燃料棒移送機	kg	10		燃料棒払出機	kg	5		主 要 寸 法	たて	mm	531*1		横	mm	4680*1		高さ	mm	1389*1		主要材料		—	SUS304		個数		—	2		取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m		溢水防護上の区画番号	—	—*2		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2															
名称		汚染検査装置 (PA0143-M-17000, -27000)																																																																											
種類	—	α線測定方式																																																																											
容 量	燃料棒受入機	kg	5																																																																										
	燃料棒移送機	kg	10																																																																										
	燃料棒払出機	kg	5																																																																										
主 要 寸 法	たて	mm	531*1																																																																										
	横	mm	4680*1																																																																										
	高さ	mm	1389*1																																																																										
主要材料		—	SUS304																																																																										
個数		—	2																																																																										
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—																																																																										
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43. 20m																																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																							
<p>d. 燃料棒検査設備                      (a) <u>ヘリウムリーク検査装置</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒加工第2室</u>                      ii. 個数  <u>1台</u></p>	<p>d. 燃料棒検査設備                      (a) <u>ヘリウムリーク検査装置</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒加工第2室</u>                      ii. 個数  <u>1台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">ヘリウムリーク検査装置 (PA0146-M-10000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">真空容器法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>平板厚さ</td> <td>nm</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>nm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量</td> <td colspan="2">移載機-1</td> <td>kg</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移載機-2</td> <td>kg</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-1</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-2</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">押出入機</td> <td>kg</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料棒仮置機</td> <td>kg</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">搬送部</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4900*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>852*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料棒仮置機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>709*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4508*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1969*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">真空容器</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>470*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4520*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1275*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>搬送部</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒仮置機</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>真空容器</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td><u>燃料棒加工第2室</u> T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。                      *3: 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。</p>	名称		ヘリウムリーク検査装置 (PA0146-M-10000)		種類		真空容器法		臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	nm	150	単一ユニット相互間の壁厚さ		nm	305以上	容量	移載機-1		kg	176	移載機-2		kg	176	ローラコンベア-1		kg	40	ローラコンベア-2		kg	40	押出入機		kg	176	燃料棒仮置機		kg	80	主要寸法	搬送部	たて	mm	2000*1	横	mm	4900*1	高さ	mm	852*1	燃料棒仮置機	たて	mm	709*1	横	mm	4508*1	高さ	mm	1969*1	真空容器	たて	mm	470*1	横	mm	4520*1	高さ	mm	1275*1	主要材料	搬送部	—	SS400, STKR400	燃料棒仮置機	—	SS400, STKR400	真空容器	—	SS400	個数		—	1	取付箇所	系統名(ライン名)		—	設置床		—	<u>燃料棒加工第2室</u> T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		—	*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	*2		
名称		ヘリウムリーク検査装置 (PA0146-M-10000)																																																																																																									
種類		真空容器法																																																																																																									
臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	nm	150																																																																																																							
	単一ユニット相互間の壁厚さ		nm	305以上																																																																																																							
容量	移載機-1		kg	176																																																																																																							
	移載機-2		kg	176																																																																																																							
	ローラコンベア-1		kg	40																																																																																																							
	ローラコンベア-2		kg	40																																																																																																							
	押出入機		kg	176																																																																																																							
燃料棒仮置機		kg	80																																																																																																								
主要寸法	搬送部	たて	mm	2000*1																																																																																																							
		横	mm	4900*1																																																																																																							
		高さ	mm	852*1																																																																																																							
	燃料棒仮置機	たて	mm	709*1																																																																																																							
		横	mm	4508*1																																																																																																							
		高さ	mm	1969*1																																																																																																							
	真空容器	たて	mm	470*1																																																																																																							
		横	mm	4520*1																																																																																																							
		高さ	mm	1275*1																																																																																																							
主要材料	搬送部	—	SS400, STKR400																																																																																																								
	燃料棒仮置機	—	SS400, STKR400																																																																																																								
	真空容器	—	SS400																																																																																																								
個数		—	1																																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)		—																																																																																																								
	設置床		—	<u>燃料棒加工第2室</u> T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																							
	溢水防護上の区画番号		—	*2																																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	*2																																																																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																													
(b) <u>X線検査装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第2室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	(b) <u>X線検査装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒加工第2室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">X線検査装置 (PA0146-M-20000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>平板厚さ</td> <td>mm 150</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm 305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">容量</td> <td>ローラコンベア-1</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ローラコンベア-2</td> <td>kg</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>トレイ搬送機</td> <td>kg</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>燃料棒取扱機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移載機</td> <td>kg</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>燃料棒待避機</td> <td>kg</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主要寸法</td> <td rowspan="3">搬出入部</td> <td>たて</td> <td>mm 2100*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1813*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">X線撮影部</td> <td>たて</td> <td>mm 2360*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 1960*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 2941*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">トレイ操作部</td> <td>たて</td> <td>mm 1435*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4500*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1758*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料棒待避機</td> <td>たて</td> <td>mm 709*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4508*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1969*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>搬出入部</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>X線撮影部</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>トレイ操作部</td> <td>—</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒待避機</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。            *3: 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。</p>	名称		X線検査装置 (PA0146-M-20000)		種類		—		臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上	容量	ローラコンベア-1	kg	5	ローラコンベア-2	kg	80	トレイ搬送機	kg	217	燃料棒取扱機	kg	5	燃料棒移載機	kg	80	燃料棒待避機	kg	80	主要寸法	搬出入部	たて	mm 2100*1	横	mm 4600*1	高さ	mm 1813*1	X線撮影部	たて	mm 2360*1	横	mm 1960*1	高さ	mm 2941*1	トレイ操作部	たて	mm 1435*1	横	mm 4500*1	高さ	mm 1758*1	燃料棒待避機	たて	mm 709*1	横	mm 4508*1	高さ	mm 1969*1	主要材料	搬出入部	—	SS400, STKR400	X線撮影部	—	SS400, STKR400	トレイ操作部	—	STKR400	燃料棒待避機	—	SS400, STKR400	個数		—	1	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2		
名称		X線検査装置 (PA0146-M-20000)																																																																																															
種類		—																																																																																															
臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150																																																																																														
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm 305以上																																																																																														
容量	ローラコンベア-1	kg	5																																																																																														
	ローラコンベア-2	kg	80																																																																																														
	トレイ搬送機	kg	217																																																																																														
	燃料棒取扱機	kg	5																																																																																														
	燃料棒移載機	kg	80																																																																																														
	燃料棒待避機	kg	80																																																																																														
主要寸法	搬出入部	たて	mm 2100*1																																																																																														
		横	mm 4600*1																																																																																														
		高さ	mm 1813*1																																																																																														
	X線撮影部	たて	mm 2360*1																																																																																														
		横	mm 1960*1																																																																																														
		高さ	mm 2941*1																																																																																														
	トレイ操作部	たて	mm 1435*1																																																																																														
		横	mm 4500*1																																																																																														
		高さ	mm 1758*1																																																																																														
	燃料棒待避機	たて	mm 709*1																																																																																														
		横	mm 4508*1																																																																																														
		高さ	mm 1969*1																																																																																														
主要材料	搬出入部	—	SS400, STKR400																																																																																														
	X線撮影部	—	SS400, STKR400																																																																																														
	トレイ操作部	—	STKR400																																																																																														
	燃料棒待避機	—	SS400, STKR400																																																																																														
個数		—	1																																																																																														
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																														
	設置床	—	燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																																														



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																							
(c) <u>ロッドスキャニング装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第2室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u>	(c) <u>ロッドスキャニング装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第2室</u> ii. <u>個数</u> <u>2台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>ロッドスキャニング装置 (PA0146-M-31000, 32000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">容量</td> <td>設置室の周囲の壁厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ローラコンベア-1</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>移載機-1</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>ストッカ-A, -B, -C, -D</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>精密送り機-1</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>精密送り機-2</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>ローラコンベア-4</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>移載機-2</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>ローラコンベア-2</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">搬出入部</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">検査部</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">移載部</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>搬出入部</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検査部</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>移載部</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 本装置は、溢水防護対象ではないため「—」とする。            *3: 本装置、ヘリウムリーク検査装置、X線検査装置、外観寸法検査装置、燃料棒移載装置及び燃料棒収容装置の一部をまとめて単一ユニット(燃料棒検査ユニット)に設定する。</p>	名称		ロッドスキャニング装置 (PA0146-M-31000, 32000)	種類	—		臨界管理	核的制限値*3		平板厚さ	mm	容量	設置室の周囲の壁厚さ	mm	ローラコンベア-1	kg	移載機-1	kg	ストッカ-A, -B, -C, -D	kg	精密送り機-1	kg	精密送り機-2	kg	ローラコンベア-4	kg	移載機-2	kg	ローラコンベア-2	kg	主要寸法	搬出入部	たて	mm	横	mm	高さ	mm	検査部	たて	mm	横	mm	高さ	mm	移載部	たて	mm	横	mm	高さ	mm	主要材料	搬出入部	—	検査部	—	移載部	—	個数	—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の区画番号	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2		
名称		ロッドスキャニング装置 (PA0146-M-31000, 32000)																																																																									
種類	—																																																																										
臨界管理	核的制限値*3																																																																										
	平板厚さ	mm																																																																									
容量	設置室の周囲の壁厚さ	mm																																																																									
	ローラコンベア-1	kg																																																																									
	移載機-1	kg																																																																									
	ストッカ-A, -B, -C, -D	kg																																																																									
	精密送り機-1	kg																																																																									
	精密送り機-2	kg																																																																									
	ローラコンベア-4	kg																																																																									
	移載機-2	kg																																																																									
	ローラコンベア-2	kg																																																																									
主要寸法	搬出入部	たて	mm																																																																								
		横	mm																																																																								
		高さ	mm																																																																								
	検査部	たて	mm																																																																								
		横	mm																																																																								
		高さ	mm																																																																								
	移載部	たて	mm																																																																								
		横	mm																																																																								
		高さ	mm																																																																								
主要材料	搬出入部	—																																																																									
	検査部	—																																																																									
	移載部	—																																																																									
個数	—	2																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	—																																																																									
	設置床	—																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—*2																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
(d) 外観寸法検査装置 i. 設置場所 燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	(d) 外観寸法検査装置 i. 設置場所 燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">外観寸法検査装置 (PA0146-M-40000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">—</th> </tr> <tr> <th colspan="2">臨界管理</th> <th colspan="2">遠隔目視検査方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>平板厚さ</td> <td>mm 150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm 305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">容量</td> <td>燃料棒取扱機</td> <td>kg</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移載機-1</td> <td>kg</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移載機-2</td> <td>kg</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>燃料棒移載機-3</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ローコンベア-1</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ローコンベア-2</td> <td>kg</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">搬送部</td> <td>たて</td> <td>mm 1345*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 855*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料棒分別機</td> <td>たて</td> <td>mm 620*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4750*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1985*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">検査部</td> <td>たて</td> <td>mm 1800*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 5000*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1838*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>搬送部</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒分別機</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>検査部</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。            *3: 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。</p>	名称		外観寸法検査装置 (PA0146-M-40000)		種類		—		臨界管理		遠隔目視検査方式		臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm 305以上	容量	燃料棒取扱機	kg	10	燃料棒移載機-1	kg	20	燃料棒移載機-2	kg	15	燃料棒移載機-3	kg	5	ローコンベア-1	kg	5	ローコンベア-2	kg	20	主要寸法	搬送部	たて	mm 1345*1	横	mm 4800*1	高さ	mm 855*1	燃料棒分別機	たて	mm 620*1	横	mm 4750*1	高さ	mm 1985*1	検査部	たて	mm 1800*1	横	mm 5000*1	高さ	mm 1838*1	主要材料	搬送部	—	SS400, STKR400	燃料棒分別機	—	SS400, STKR400	検査部	—	SS400, STKR400		個数	—	1	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2		
名称		外観寸法検査装置 (PA0146-M-40000)																																																																																									
種類		—																																																																																									
臨界管理		遠隔目視検査方式																																																																																									
臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150																																																																																								
		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm 305以上																																																																																								
容量	燃料棒取扱機	kg	10																																																																																								
	燃料棒移載機-1	kg	20																																																																																								
	燃料棒移載機-2	kg	15																																																																																								
	燃料棒移載機-3	kg	5																																																																																								
	ローコンベア-1	kg	5																																																																																								
	ローコンベア-2	kg	20																																																																																								
主要寸法	搬送部	たて	mm 1345*1																																																																																								
		横	mm 4800*1																																																																																								
		高さ	mm 855*1																																																																																								
	燃料棒分別機	たて	mm 620*1																																																																																								
		横	mm 4750*1																																																																																								
		高さ	mm 1985*1																																																																																								
	検査部	たて	mm 1800*1																																																																																								
		横	mm 5000*1																																																																																								
		高さ	mm 1838*1																																																																																								
主要材料	搬送部	—	SS400, STKR400																																																																																								
	燃料棒分別機	—	SS400, STKR400																																																																																								
	検査部	—	SS400, STKR400																																																																																								
	個数	—	1																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																								
	設置床	—	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																						
(e) 燃料棒移載装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室及び燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	(e) 燃料棒移載装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室及び燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名称*2</td> <td colspan="2">燃料棒移載装置 (PA0146-M-60000)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種類*3</td> <td colspan="2">台車方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値*4</td> <td>燃料棒の 平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*6</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">容量*5</td> <td colspan="2">移載機-1</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移載機-2</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移載機-3</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移載機-4</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移載機-5</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-1*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-2*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-3*6</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-4*6</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-5*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-6*6</td> <td>kg</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-7*6</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-8*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-9*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-10*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-11*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-12*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-13*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-14*6</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ローラコンベア-15*6</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法*7</td> <td rowspan="3">燃料棒移載装置</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4600*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>32200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1225*1</td> </tr> <tr> <td>ゲート-1</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>140*1</td> </tr> <tr> <td>ゲート-2</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>140*1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要寸法*7</td> <td>ゲート-3</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>140*1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">燃料棒移載装置</td> <td>—</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ゲート-1</td> <td>—</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ゲート-2</td> <td>—</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ゲート-3</td> <td>—</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">個数*9</td> <td>—</td> <td>1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*11</td> <td colspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 42.60m*8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必 要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*12</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。            *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *6: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *10: 記載の適正化。既設工認では「1台」と記載。記載内容は、設計図書による。            *11: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *12: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>				変更前	変更後	名称*2			燃料棒移載装置 (PA0146-M-60000)		種類*3			台車方式		臨界管理	核的制限値*4	燃料棒の 平板厚さ	mm	150	単一ユニット相互間の壁 厚さ		mm	305以上*6	容量*5	移載機-1		kg	5	移載機-2		kg	40	移載機-3		kg	5	移載機-4		kg	5	移載機-5		kg	5	ローラコンベア-1*6		kg	5	ローラコンベア-2*6		kg	5	ローラコンベア-3*6		kg	40	ローラコンベア-4*6		kg	40	ローラコンベア-5*6		kg	5	ローラコンベア-6*6		kg	80	ローラコンベア-7*6		kg	40	ローラコンベア-8*6		kg	5	ローラコンベア-9*6		kg	5	ローラコンベア-10*6		kg	5	ローラコンベア-11*6		kg	5	ローラコンベア-12*6		kg	5	ローラコンベア-13*6		kg	5	ローラコンベア-14*6		kg	5	ローラコンベア-15*6		kg	40	主要寸法*7	燃料棒移載装置	たて	mm	4600*1	横	mm	32200*1	高さ	mm	1225*1	ゲート-1	高さ	mm	140*1	ゲート-2	高さ	mm	140*1				変更前	変更後	主要寸法*7	ゲート-3	高さ	mm	140*1	燃料棒移載装置			—	STKR400	ゲート-1			—	STKR400	ゲート-2			—	STKR400	ゲート-3			—	STKR400	個数*9			—	1*10	系統名(ライン名)			—		取付箇所*11	設置床		—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 42.60m*8	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室		—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*12		溢水防護上の配慮が必 要な高さ		—	—*12	変更なし	変更なし	備考
			変更前	変更後																																																																																																																																																																																						
名称*2			燃料棒移載装置 (PA0146-M-60000)																																																																																																																																																																																							
種類*3			台車方式																																																																																																																																																																																							
臨界管理	核的制限値*4	燃料棒の 平板厚さ	mm	150																																																																																																																																																																																						
	単一ユニット相互間の壁 厚さ		mm	305以上*6																																																																																																																																																																																						
容量*5	移載機-1		kg	5																																																																																																																																																																																						
	移載機-2		kg	40																																																																																																																																																																																						
	移載機-3		kg	5																																																																																																																																																																																						
	移載機-4		kg	5																																																																																																																																																																																						
	移載機-5		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-1*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-2*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-3*6		kg	40																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-4*6		kg	40																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-5*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-6*6		kg	80																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-7*6		kg	40																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-8*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-9*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
	ローラコンベア-10*6		kg	5																																																																																																																																																																																						
ローラコンベア-11*6		kg	5																																																																																																																																																																																							
ローラコンベア-12*6		kg	5																																																																																																																																																																																							
ローラコンベア-13*6		kg	5																																																																																																																																																																																							
ローラコンベア-14*6		kg	5																																																																																																																																																																																							
ローラコンベア-15*6		kg	40																																																																																																																																																																																							
主要寸法*7	燃料棒移載装置	たて	mm	4600*1																																																																																																																																																																																						
		横	mm	32200*1																																																																																																																																																																																						
		高さ	mm	1225*1																																																																																																																																																																																						
	ゲート-1	高さ	mm	140*1																																																																																																																																																																																						
	ゲート-2	高さ	mm	140*1																																																																																																																																																																																						
			変更前	変更後																																																																																																																																																																																						
主要寸法*7	ゲート-3	高さ	mm	140*1																																																																																																																																																																																						
	燃料棒移載装置			—	STKR400																																																																																																																																																																																					
	ゲート-1			—	STKR400																																																																																																																																																																																					
	ゲート-2			—	STKR400																																																																																																																																																																																					
ゲート-3			—	STKR400																																																																																																																																																																																						
個数*9			—	1*10																																																																																																																																																																																						
系統名(ライン名)			—																																																																																																																																																																																							
取付箇所*11	設置床		—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 42.60m*8																																																																																																																																																																																						
	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室		—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T.M.S.L. 43.20m																																																																																																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—	—*12																																																																																																																																																																																							
溢水防護上の配慮が必 要な高さ		—	—*12	変更なし																																																																																																																																																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																								
(f) 燃料棒立会検査装置 i. 設置場所 燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	(f) 燃料棒立会検査装置 i. 設置場所 燃料棒加工第2室 ii. 個数 1台	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">燃料棒立会検査装置 (PA0146-M-50000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">種類</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">連隔目視検査方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">臨界管理</td> <td style="text-align: center;">核的制限値*3</td> <td style="text-align: center;">平板厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm 150</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">容量</td> <td style="text-align: center;">移載機-1</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">移載機-2</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">移載機-3</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">移載機-4</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">移載機-5</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃料棒搬出入機</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">燃料棒取扱機</td> <td style="text-align: center;">kg</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">主要寸法</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">搬送部</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm 2095*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm 4300*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm 1441*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">検査部</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm 1990*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm 4900*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm 1844*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ゲート-4</td> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm 140*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要材料</td> <td style="text-align: center;">搬送部</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検査部</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ゲート-4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">STKR400</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">個数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。                      *3: 本装置に単一ユニット(燃料棒立会検査ユニット)を設定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">種類*3</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">臨界管理</td> <td style="text-align: center;">貯蔵マガジンの形状(外形)*4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">格子配列方式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離*5</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">360mm×360mm以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃料棒間隔*5*10</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">39以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中性子吸収材*6</td> <td style="text-align: center;">厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">17以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容量</td> <td style="text-align: center;">燃料棒収納数</td> <td style="text-align: center;">本</td> <td style="text-align: center;">256</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">最高使用圧力</td> <td style="text-align: center;">Pa</td> <td style="text-align: center;">大気圧*11</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">最高使用温度</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">75</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">主要寸法*7</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4500*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">400*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">440*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">37*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃料棒間隔</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">16. 3*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">厚さ</td> <td style="text-align: center;">中性子吸収材</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3*1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">主要材料*8</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">個数*9</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「貯蔵マガジンの形状」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「燃料棒の配置」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「中性子吸収剤(ほう素入りステンレス鋼)」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>	名称		燃料棒立会検査装置 (PA0146-M-50000)		種類		連隔目視検査方式		臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	容量	移載機-1	kg	10	移載機-2	kg	15	移載機-3	kg	5	移載機-4	kg	5	移載機-5	kg	35	燃料棒搬出入機	kg	40		燃料棒取扱機	kg	5	主要寸法	搬送部	たて	mm 2095*1	横	mm 4300*1	高さ	mm 1441*1	検査部	たて	mm 1990*1	横	mm 4900*1	高さ	mm 1844*2	ゲート-4	高さ	mm 140*1	主要材料	搬送部	-	SS400, STKR400	検査部	-	SS400, STKR400	ゲート-4	-	STKR400		個数	-	1	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2	名称*2		変更前	変更後	種類*3		貯蔵マガジン		臨界管理	貯蔵マガジンの形状(外形)*4	-	格子配列方式	貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離*5	mm	360mm×360mm以上	燃料棒間隔*5*10	mm	39以下	中性子吸収材*6	厚さ	mm	17以下	材料	-	3以上	ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)	-	ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)	-	容量	燃料棒収納数	本	256		最高使用圧力	Pa	大気圧*11		最高使用温度	℃	75	主要寸法*7	たて	mm	4500*1	横	mm	400*1	高さ	mm	440*1	貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離	mm	37*1	燃料棒間隔	mm	16. 3*1	厚さ	中性子吸収材	mm	3*1		主要材料*8	-	ステンレス鋼		個数*9	-	72		
名称		燃料棒立会検査装置 (PA0146-M-50000)																																																																																																																																																										
種類		連隔目視検査方式																																																																																																																																																										
臨界管理	核的制限値*3	平板厚さ	mm 150																																																																																																																																																									
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																																																																																									
容量	移載機-1	kg	10																																																																																																																																																									
	移載機-2	kg	15																																																																																																																																																									
	移載機-3	kg	5																																																																																																																																																									
	移載機-4	kg	5																																																																																																																																																									
	移載機-5	kg	35																																																																																																																																																									
	燃料棒搬出入機	kg	40																																																																																																																																																									
	燃料棒取扱機	kg	5																																																																																																																																																									
主要寸法	搬送部	たて	mm 2095*1																																																																																																																																																									
		横	mm 4300*1																																																																																																																																																									
		高さ	mm 1441*1																																																																																																																																																									
	検査部	たて	mm 1990*1																																																																																																																																																									
		横	mm 4900*1																																																																																																																																																									
	高さ	mm 1844*2																																																																																																																																																										
ゲート-4	高さ	mm 140*1																																																																																																																																																										
主要材料	搬送部	-	SS400, STKR400																																																																																																																																																									
	検査部	-	SS400, STKR400																																																																																																																																																									
	ゲート-4	-	STKR400																																																																																																																																																									
	個数	-	1																																																																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																																																																									
	設置床	-	燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																																																																																																									
名称*2		変更前	変更後																																																																																																																																																									
種類*3		貯蔵マガジン																																																																																																																																																										
臨界管理	貯蔵マガジンの形状(外形)*4	-	格子配列方式																																																																																																																																																									
	貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離*5	mm	360mm×360mm以上																																																																																																																																																									
	燃料棒間隔*5*10	mm	39以下																																																																																																																																																									
	中性子吸収材*6	厚さ	mm	17以下																																																																																																																																																								
		材料	-	3以上																																																																																																																																																								
ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)	-	ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度: 0. 8%以上)	-																																																																																																																																																									
容量	燃料棒収納数	本	256																																																																																																																																																									
	最高使用圧力	Pa	大気圧*11																																																																																																																																																									
	最高使用温度	℃	75																																																																																																																																																									
主要寸法*7	たて	mm	4500*1																																																																																																																																																									
	横	mm	400*1																																																																																																																																																									
	高さ	mm	440*1																																																																																																																																																									
	貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離	mm	37*1																																																																																																																																																									
	燃料棒間隔	mm	16. 3*1																																																																																																																																																									
	厚さ	中性子吸収材	mm	3*1																																																																																																																																																								
	主要材料*8	-	ステンレス鋼																																																																																																																																																									
	個数*9	-	72																																																																																																																																																									
e. 燃料棒収容設備 (a) 貯蔵マガジン i. 設置場所 ハ. (ニ) (2) ①d. (a) i. 燃料棒貯蔵室 ii. 個数 72基	e. 燃料棒収容設備 (a) 貯蔵マガジン i. 設置場所 燃料棒貯蔵室 ii. 個数 72基	変更なし																																																																																																																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																							
		<p>※8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>※9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>※10: 燃料棒を8行×8列正方形格子に配列したものを2行×2列格子に配置する。</p> <p>※11: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p> <p>4. 核燃料物質の貯蔵施設 (8) 燃料棒貯蔵設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>ハ.(二)(2)①d.(a) i. 燃料棒貯蔵設備は、MOX燃料棒、ウラン燃料棒又は被覆管を貯蔵する設計とする。また、MOX燃料棒、ウラン燃料棒及び被覆管は、貯蔵マガジンに収納し貯蔵する。</p> <p>燃料棒貯蔵設備は、燃料棒貯蔵棚、貯蔵マガジン入出庫装置及びウラン燃料棒収容装置で構成する。</p> <p>なお、ウラン燃料棒は外部より受け入れ貯蔵する。</p> <p>【被覆施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1567 739 2131 1522"> <thead> <tr> <th colspan="4"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">名称<sup>*2</sup></td> <td>燃料棒貯蔵棚-1、-2 (PA0148-M-10101, 10102)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">種類<sup>*3</sup></td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨界管理</td> <td>中心間距離</td> <td>棚間隔<sup>*11</sup></td> <td>mm</td> <td>段方向700以上 行方向750以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設置する室の壁・床・天井までの距離<sup>*4</sup></td> <td>東壁</td> <td>mm</td> <td>4000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>460</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>mm</td> <td>790</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">設置室の周囲の壁厚さ<sup>*12</sup></td> <td>mm</td> <td>305以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">容量<sup>*5</sup></td> <td>t・HM 60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法<sup>*6</sup></td> <td colspan="2">たて</td> <td>mm</td> <td>燃料棒貯蔵棚-1 8125<sup>*1</sup> 燃料棒貯蔵棚-2 6525<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">横</td> <td>mm</td> <td>4793<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">高さ</td> <td>mm</td> <td>4815<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中心間距離</td> <td>棚間隔</td> <td>mm</td> <td>段方向750<sup>*1</sup> 行方向800<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">主要材料<sup>*7</sup></td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="4">個数<sup>*8</sup></td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所<sup>*9</sup></td> <td colspan="3">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42. 60m<sup>*12</sup> 燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td colspan="3">溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—<sup>*10</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <p>*1: 公称値を示す。</p> <p>*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。</p> <p>*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。</p> <p>*4: 記載の適正化。既設工認では「注1 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。</p> <p>*5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。</p> <p>*6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。</p> <p>*7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>*8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>*9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。</p> <p>*10: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p> <p>*11: 貯蔵単位(貯蔵マガジン)の配列(4段×10行、4段×8行)を核的に安全な配置とする。</p> <p>*12: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>					変更前	変更後	名称 <sup>*2</sup>				燃料棒貯蔵棚-1、-2 (PA0148-M-10101, 10102)		種類 <sup>*3</sup>				—	棚段貯蔵方式	臨界管理	中心間距離	棚間隔 <sup>*11</sup>	mm	段方向700以上 行方向750以上		設置する室の壁・床・天井までの距離 <sup>*4</sup>	東壁	mm	4000		床	mm	460		天井	mm	790		設置室の周囲の壁厚さ <sup>*12</sup>			mm	305以上		容量 <sup>*5</sup>				t・HM 60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)	変更なし	主要寸法 <sup>*6</sup>	たて		mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125 <sup>*1</sup> 燃料棒貯蔵棚-2 6525 <sup>*1</sup>		横		mm	4793 <sup>*1</sup>		高さ		mm	4815 <sup>*1</sup>		中心間距離	棚間隔	mm	段方向750 <sup>*1</sup> 行方向800 <sup>*1</sup>		主要材料 <sup>*7</sup>				—	SS400, STKR400	個数 <sup>*8</sup>				—	2	取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)			—	—	設置床			—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42. 60m <sup>*12</sup> 燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号			—	— <sup>*10</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	— <sup>*10</sup>	<p>貯蔵マガジンは燃料棒貯蔵棚に収納することから、設工認のハ.(二)(2)①d.(a) i. は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(二)(2)①d.(a) i. と同義であり整合している。</p>	
				変更前	変更後																																																																																																						
名称 <sup>*2</sup>				燃料棒貯蔵棚-1、-2 (PA0148-M-10101, 10102)																																																																																																							
種類 <sup>*3</sup>				—	棚段貯蔵方式																																																																																																						
臨界管理	中心間距離	棚間隔 <sup>*11</sup>	mm	段方向700以上 行方向750以上																																																																																																							
	設置する室の壁・床・天井までの距離 <sup>*4</sup>	東壁	mm	4000																																																																																																							
		床	mm	460																																																																																																							
		天井	mm	790																																																																																																							
	設置室の周囲の壁厚さ <sup>*12</sup>			mm	305以上																																																																																																						
容量 <sup>*5</sup>				t・HM 60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)	変更なし																																																																																																						
主要寸法 <sup>*6</sup>	たて		mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125 <sup>*1</sup> 燃料棒貯蔵棚-2 6525 <sup>*1</sup>																																																																																																							
	横		mm	4793 <sup>*1</sup>																																																																																																							
	高さ		mm	4815 <sup>*1</sup>																																																																																																							
	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750 <sup>*1</sup> 行方向800 <sup>*1</sup>																																																																																																							
	主要材料 <sup>*7</sup>				—	SS400, STKR400																																																																																																					
個数 <sup>*8</sup>				—	2																																																																																																						
取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)			—	—																																																																																																						
	設置床			—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42. 60m <sup>*12</sup> 燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号			—	— <sup>*10</sup>																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	— <sup>*10</sup>																																																																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項		整合性	備考																																																																																								
(b) 燃料棒収容装置 i. 設置場所 燃料棒加工第3室 ii. 個数 1台	(b) 燃料棒収容装置 i. 設置場所 燃料棒加工第3室 ii. 個数 1台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td></td> <td colspan="2">燃料棒収容装置 (PA0147-M-10000)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td></td> <td colspan="2">コンベア方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨界 管理</td> <td rowspan="2">核的制限値 *10</td> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン 取扱段数</td> <td>段</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">305以上*11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量 *4</td> <td></td> <td>燃料棒挿入機</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容マガジン取扱機</td> <td>kg</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要 寸法 *5</td> <td rowspan="3">燃料棒挿入機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5755*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>400*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>951*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">収容マガジン 取扱機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4480*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1150*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1661*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要 材料 *6</td> <td></td> <td>燃料棒挿入機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容マガジン取扱機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数*7</td> <td></td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所 *8</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第3室 T.M.S.L. 42.60m*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-</td> <td>..*9</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な 高さ</td> <td></td> <td>-</td> <td>..*9</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称*2			燃料棒収容装置 (PA0147-M-10000)		種類*3			コンベア方式		臨界 管理	核的制限値 *10	平板厚さ	mm	150	貯蔵マガジン 取扱段数	段	1		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*11		容量 *4		燃料棒挿入機	kg	40		収容マガジン取扱機	kg	1600	主要 寸法 *5	燃料棒挿入機	たて	mm	5755*1	横	mm	400*1	高さ	mm	951*1	収容マガジン 取扱機	たて	mm	4480*1	横	mm	1150*1	高さ	mm	1661*1	主要 材料 *6		燃料棒挿入機	-	SS400, STKR400		収容マガジン取扱機	-	SS400, STKR400		個数*7		-	1	取付 箇所 *8	系統名(ライン名)		-	-	設置床		-	燃料棒加工第3室 T.M.S.L. 42.60m*11	溢水防護上の区画番号		-	..*9	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		-	..*9		
			変更前	変更後																																																																																									
名称*2			燃料棒収容装置 (PA0147-M-10000)																																																																																										
種類*3			コンベア方式																																																																																										
臨界 管理	核的制限値 *10	平板厚さ	mm	150																																																																																									
		貯蔵マガジン 取扱段数	段	1																																																																																									
		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*11																																																																																									
容量 *4		燃料棒挿入機	kg	40																																																																																									
		収容マガジン取扱機	kg	1600																																																																																									
主要 寸法 *5	燃料棒挿入機	たて	mm	5755*1																																																																																									
		横	mm	400*1																																																																																									
		高さ	mm	951*1																																																																																									
	収容マガジン 取扱機	たて	mm	4480*1																																																																																									
		横	mm	1150*1																																																																																									
		高さ	mm	1661*1																																																																																									
主要 材料 *6		燃料棒挿入機	-	SS400, STKR400																																																																																									
		収容マガジン取扱機	-	SS400, STKR400																																																																																									
	個数*7		-	1																																																																																									
取付 箇所 *8	系統名(ライン名)		-	-																																																																																									
	設置床		-	燃料棒加工第3室 T.M.S.L. 42.60m*11																																																																																									
	溢水防護上の区画番号		-	..*9																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		-	..*9																																																																																									
		注記 *1:公称値を示す。 *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4:記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *5:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。 *6:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *8:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *9:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *10:本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット、燃料棒収容ユニット)を設定する。 *11:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。																																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																			
<p>(c) 燃料棒供給装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第3室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<p>(c) 燃料棒供給装置</p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第3室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td colspan="2">燃料棒供給装置 (PA0147-M-20000)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>*3</sup></td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">コンベア方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界管理</td> <td rowspan="2">核的制限値<sup>*10</sup></td> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>150</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン取扱段数</td> <td>段</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量<sup>*4</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>燃料棒挿抜機</td> <td>kg</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>供給マガジン取扱機</td> <td>kg</td> <td>1600</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法<sup>*5</sup></td> <td rowspan="3">燃料棒挿抜機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5755<sup>*1</sup></td> <td rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>400<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>951<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">供給マガジン取扱機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4480<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1150<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1661<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">押出機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3500<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>460<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>956<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>ゲート</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>140<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料<sup>*6</sup></td> <td colspan="2">燃料棒挿抜機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">供給マガジン取扱機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">押出機</td> <td>-</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">ゲート</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*7</sup></td> <td colspan="2">-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所<sup>*8</sup></td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒加工第3室 T.M.S.L.42.60m<sup>*11</sup></td> <td>燃料棒加工第3室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*9</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *9:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。  *10:本装置に単一ユニット(燃料棒立会検査ユニット、燃料棒供給ユニット)を設定する。  *11:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前		変更後		名称 <sup>*2</sup>		燃料棒供給装置 (PA0147-M-20000)				種類 <sup>*3</sup>		-		コンベア方式		臨界管理	核的制限値 <sup>*10</sup>	平板厚さ	mm	150	変更なし	貯蔵マガジン取扱段数	段	1	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上 <sup>*11</sup>	容量 <sup>*4</sup>						燃料棒挿抜機	kg	40				供給マガジン取扱機	kg	1600		主要寸法 <sup>*5</sup>	燃料棒挿抜機	たて	mm	5755 <sup>*1</sup>	変更なし	横	mm	400 <sup>*1</sup>	高さ	mm	951 <sup>*1</sup>	供給マガジン取扱機	たて	mm	4480 <sup>*1</sup>	横	mm	1150 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1661 <sup>*1</sup>	押出機	たて	mm	3500 <sup>*1</sup>	横	mm	460 <sup>*1</sup>	高さ	mm	956 <sup>*1</sup>	ゲート	高さ	mm	140 <sup>*1</sup>	主要材料 <sup>*6</sup>	燃料棒挿抜機		-	SS400, STKR400		供給マガジン取扱機		-	SS400, STKR400		押出機		-	SS400		ゲート		-	STKR400		個数 <sup>*7</sup>		-		1		取付箇所 <sup>*8</sup>	系統名(ライン名)		-			設置床		-	燃料棒加工第3室 T.M.S.L.42.60m <sup>*11</sup>	燃料棒加工第3室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号		-			溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	- <sup>*9</sup>	変更なし		
		変更前		変更後																																																																																																																																			
名称 <sup>*2</sup>		燃料棒供給装置 (PA0147-M-20000)																																																																																																																																					
種類 <sup>*3</sup>		-		コンベア方式																																																																																																																																			
臨界管理	核的制限値 <sup>*10</sup>	平板厚さ	mm	150	変更なし																																																																																																																																		
		貯蔵マガジン取扱段数	段	1																																																																																																																																			
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上 <sup>*11</sup>																																																																																																																																			
	容量 <sup>*4</sup>																																																																																																																																						
		燃料棒挿抜機	kg	40																																																																																																																																			
		供給マガジン取扱機	kg	1600																																																																																																																																			
主要寸法 <sup>*5</sup>	燃料棒挿抜機	たて	mm	5755 <sup>*1</sup>	変更なし																																																																																																																																		
		横	mm	400 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
		高さ	mm	951 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
	供給マガジン取扱機	たて	mm	4480 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
		横	mm	1150 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
		高さ	mm	1661 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
	押出機	たて	mm	3500 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
		横	mm	460 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
		高さ	mm	956 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
	ゲート	高さ	mm	140 <sup>*1</sup>																																																																																																																																			
主要材料 <sup>*6</sup>	燃料棒挿抜機		-	SS400, STKR400																																																																																																																																			
	供給マガジン取扱機		-	SS400, STKR400																																																																																																																																			
	押出機		-	SS400																																																																																																																																			
	ゲート		-	STKR400																																																																																																																																			
個数 <sup>*7</sup>		-		1																																																																																																																																			
取付箇所 <sup>*8</sup>	系統名(ライン名)		-																																																																																																																																				
	設置床		-	燃料棒加工第3室 T.M.S.L.42.60m <sup>*11</sup>	燃料棒加工第3室 T.M.S.L.43.20m																																																																																																																																		
	溢水防護上の区画番号		-																																																																																																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	- <sup>*9</sup>	変更なし																																																																																																																																		





事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
<p>f. 燃料棒解体設備                      (a) <u>燃料棒搬入オープンポートボックス</u>                      i. 設置場所                          <u>燃料棒解体室</u>                      ii. 個数                          <u>1基</u></p>	<p>f. 燃料棒解体設備                      (a) <u>燃料棒搬入オープンポートボックス</u>                      i. 設置場所                          <u>燃料棒解体室</u>                      ii. 個数                          <u>1基</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料棒搬入 オープンポートボックス (PA0145-B-10701)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">オープンポートボックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値**4</td> <td>取扱Pu*質量*5</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>壁 50以上 天井 300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。                      *3: 通常運転時におけるポート開口部(ポート2箇所開放)の面風速を示す。                      *4: 本オープンポートボックスに単一ユニット(燃料棒解体ユニット)を設定する。                      *5: Pu*は、プルトニウム-239, プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし, k                      g・Pu*は、その合計質量とする。</p>	名称		燃料棒搬入 オープンポートボックス (PA0145-B-10701)		種類		オープンポートボックス		臨 界 管 理	核的制限値**4	取扱Pu*質量*5	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上	設置する室の壁・天井までの距離	mm	壁 50以上 天井 300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	開口部風速*3	m/s	0.5以上	主 要 寸 法	たて	mm	1000*1	横	mm	600*1	高さ	mm	1000*1	主 要 材 料	本体	-	SUS304	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂	個数		-	1	取 付 箇 所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2		
名称		燃料棒搬入 オープンポートボックス (PA0145-B-10701)																																																												
種類		オープンポートボックス																																																												
臨 界 管 理	核的制限値**4	取扱Pu*質量*5	kg・Pu*																																																											
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	300以上																																																											
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	壁 50以上 天井 300以上																																																											
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																											
	開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																											
主 要 寸 法	たて	mm	1000*1																																																											
	横	mm	600*1																																																											
	高さ	mm	1000*1																																																											
主 要 材 料	本体	-	SUS304																																																											
	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂																																																											
個数		-	1																																																											
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	-	-																																																											
	設置床	-	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m																																																											
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
<p>(b) <u>燃料棒解体装置グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒解体室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>1基</u></p>	<p>(b) <u>燃料棒解体装置グローブボックス</u></p> <p>i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒解体室</u></p> <p>ii. <u>個数</u> <u>1基</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料棒解体装置 グローブボックス (PA0145-B-10702)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>核的制限値*3</td> <td>取扱Pu*質量*4</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td colspan="2">他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*5</td> <td>vol%/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*5</td> <td>m/s</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。 *3:本グローブボックスに単一ユニット(燃料棒解体ユニット)を設定する。 *4:Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*は、その合計質量とする。 *5:グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。 *6:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称		燃料棒解体装置 グローブボックス (PA0145-B-10702)		種類		グローブボックス		臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔		mm	設置する室の壁・天井までの距離		mm	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	漏れ率*5		vol%/h		開口部風速*5		m/s		主 要 寸 法	たて	mm		横	mm		高さ	mm		主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂	個数		—	1	取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	設置床		燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2		
名称		燃料棒解体装置 グローブボックス (PA0145-B-10702)																																																																	
種類		グローブボックス																																																																	
臨 界 管 理	核的制限値*3	取扱Pu*質量*4	kg・Pu*																																																																
	他の単一ユニットとの相互間隔		mm																																																																
	設置する室の壁・天井までの距離		mm																																																																
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm																																																																
漏れ率*5		vol%/h																																																																	
開口部風速*5		m/s																																																																	
主 要 寸 法	たて	mm																																																																	
	横	mm																																																																	
	高さ	mm																																																																	
主 要 材 料	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																
	窓板部	—	ポリカーボネート樹脂																																																																
個数		—	1																																																																
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—																																																																
	設置床		燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m																																																																
	溢水防護上の区画番号		—*2																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*2																																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																								
(c) <u>燃料棒解体装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒解体室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	(c) <u>燃料棒解体装置</u> i. 設置場所 <u>燃料棒解体室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料棒解体装置 (PA0145-M-10000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>コンベア方式、プッシュ方式、リフタ方式、クレーン方式。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容量</td> <td>燃料棒搬入機</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ペレット保管容器リフタ</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>波板トレイ取扱機</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">燃料棒搬入機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6165*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1060*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料棒解体機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6774*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2740*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">OPB搬入機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>600*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>102*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>171*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>燃料棒搬入機</td> <td></td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒解体機</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>OPB搬入機</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>厚さ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>5 (■)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>85 (■)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>12 (■)</td> </tr> <tr> <td>内側</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td></td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする</p>	名称		燃料棒解体装置 (PA0145-M-10000)		種類			コンベア方式、プッシュ方式、リフタ方式、クレーン方式。	容量	燃料棒搬入機	kg	5	ペレット保管容器リフタ	kg	35	波板トレイ取扱機	kg	35	秤量テーブル-1	kg	35	主要寸法	燃料棒搬入機	たて	mm	6165*1	横	mm	650*1	高さ	mm	1060*1	燃料棒解体機	たて	mm	6774*1	横	mm	950*1	高さ	mm	2740*1	OPB搬入機	たて	mm	600*1	横	mm	102*1	高さ	mm	171*1	主要材料	燃料棒搬入機		STKR400	燃料棒解体機		SUS304	OPB搬入機		SUS304	遮蔽体	主要寸法	厚さ			内側	mm	5 (■)	中間	mm	85 (■)	主要材料	外側	mm	12 (■)	内側		SUS304	中間		ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側		SUS304	個数			1	取付箇所	系統名(ライン名)		-	設置床		燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		-*2	取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-*2		
名称		燃料棒解体装置 (PA0145-M-10000)																																																																																																										
種類			コンベア方式、プッシュ方式、リフタ方式、クレーン方式。																																																																																																									
容量	燃料棒搬入機	kg	5																																																																																																									
	ペレット保管容器リフタ	kg	35																																																																																																									
	波板トレイ取扱機	kg	35																																																																																																									
	秤量テーブル-1	kg	35																																																																																																									
主要寸法	燃料棒搬入機	たて	mm	6165*1																																																																																																								
		横	mm	650*1																																																																																																								
		高さ	mm	1060*1																																																																																																								
	燃料棒解体機	たて	mm	6774*1																																																																																																								
		横	mm	950*1																																																																																																								
		高さ	mm	2740*1																																																																																																								
	OPB搬入機	たて	mm	600*1																																																																																																								
		横	mm	102*1																																																																																																								
		高さ	mm	171*1																																																																																																								
主要材料	燃料棒搬入機		STKR400																																																																																																									
	燃料棒解体機		SUS304																																																																																																									
	OPB搬入機		SUS304																																																																																																									
遮蔽体	主要寸法	厚さ																																																																																																										
		内側	mm	5 (■)																																																																																																								
		中間	mm	85 (■)																																																																																																								
	主要材料	外側	mm	12 (■)																																																																																																								
		内側		SUS304																																																																																																								
		中間		ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																								
		外側		SUS304																																																																																																								
個数			1																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)		-																																																																																																									
	設置床		燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号		-*2																																																																																																									
取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-*2																																																																																																									
(d) <u>溶接試料前処理装置オープンポートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒解体室</u> ii. 個数 <u>1基</u>	(d) <u>溶接試料前処理装置オープンポートボックス</u> i. 設置場所 <u>燃料棒解体室</u> ii. 個数 <u>1基</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">溶接試料前処理装置 オープンポートボックス (PA0145-B-20702)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>オープンポートボックス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開口部風速*3</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td></td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *3: 通常運転時におけるポート開口部(ポート2箇所開放)の面風速を示す。</p>	名称		溶接試料前処理装置 オープンポートボックス (PA0145-B-20702)		種類			オープンポートボックス		開口部風速*3	m/s	0.5以上	主要寸法	たて	mm	1000*1	横	mm	600*1	高さ	mm	1000*2	主要材料	本体		SUS304	窓板部		ポリカーボネート樹脂	個数			1	取付箇所	系統名(ライン名)		-	設置床		燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-*2																																																												
名称		溶接試料前処理装置 オープンポートボックス (PA0145-B-20702)																																																																																																										
種類			オープンポートボックス																																																																																																									
	開口部風速*3	m/s	0.5以上																																																																																																									
主要寸法	たて	mm	1000*1																																																																																																									
	横	mm	600*1																																																																																																									
	高さ	mm	1000*2																																																																																																									
主要材料	本体		SUS304																																																																																																									
	窓板部		ポリカーボネート樹脂																																																																																																									
個数			1																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)		-																																																																																																									
	設置床		燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号		-*2																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-*2																																																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
<p>(e) <u>溶接試料前処理装置グローブボックス</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒解体室</u>                      ii. 個数  <u>1基</u></p>	<p>(e) <u>溶接試料前処理装置グローブボックス</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒解体室</u>                      ii. 個数  <u>1基</u></p>	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td colspan="2"><u>溶接試料前処理装置グローブボックス (PA0145-B-20701)</u></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率**</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速**</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1000*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td><u>1</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td><u>燃料棒解体室</u> T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>- *2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>- *2</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。                      *3: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。                      *4: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>	名称	<u>溶接試料前処理装置グローブボックス (PA0145-B-20701)</u>		種類	-	グローブボックス	漏れ率**	vol%/h	0.25以下	開口部風速**	m/s	0.5以上	主要寸法	たて	mm 2000*1	横	mm 600*1	高さ	mm 1000*1	主要材料	本体	SUS304, SUS304TP	窓板部	ポリカーボネート樹脂	個数	-	<u>1</u>	取付箇所	系統名(ライン名)	-	設置床	<u>燃料棒解体室</u> T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	- *2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	- *2		
名称	<u>溶接試料前処理装置グローブボックス (PA0145-B-20701)</u>																																							
種類	-	グローブボックス																																						
漏れ率**	vol%/h	0.25以下																																						
開口部風速**	m/s	0.5以上																																						
主要寸法	たて	mm 2000*1																																						
	横	mm 600*1																																						
	高さ	mm 1000*1																																						
主要材料	本体	SUS304, SUS304TP																																						
	窓板部	ポリカーボネート樹脂																																						
個数	-	<u>1</u>																																						
取付箇所	系統名(ライン名)	-																																						
	設置床	<u>燃料棒解体室</u> T. M. S. L. 43. 20m																																						
	溢水防護上の区画番号	- *2																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	- *2																																						
<p>(f) <u>溶接試料前処理装置</u>                      i. 設置場所  <u>ハ. (ニ) (2) ①f. (f) i. 燃料棒解体室</u>                      ii. 個数  <u>1台</u></p>	<p>(f) <u>溶接試料前処理装置</u>                      i. 設置場所  <u>燃料棒解体室</u>                      ii. 個数  <u>1台</u></p>	<p>(6) 燃料棒解体設備                      &lt;中略&gt;                      燃料棒解体設備は、燃料棒搬入オープンポートボックス、燃料棒解体装置グローブボックス、燃料棒解体装置、溶接試料前処理装置オープンポートボックス、溶接試料前処理装置グローブボックス及び溶接試料前処理装置で構成する。燃料棒解体設備のうち、<u>溶接試料前処理装置を1台設置する設計とする。</u>                      &lt;中略&gt;                      2. 被覆施設                      &lt;中略&gt;  <u>ハ. (ニ) (2) ①f. (f) i. 被覆施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</u></p>	<p>設工認の <u>ハ. (ニ) (2) ①f. (f) i.</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>ハ. (ニ) (2) ①f. (f) i.</u> と同義であり整合している。</p>																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
<p>g. 燃料棒加工工程搬送設備</p> <p>(a) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)</span>ペレット保管容器搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所</p> <p>燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii. 12基</span></p>	<p>g. 燃料棒加工工程搬送設備</p> <p>(a) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)</span>ペレット保管容器搬送装置グローブボックス</p> <p>i. 設置場所</p> <p>燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数</p> <p>12基</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii.</span></p>	<p><b>【被覆施設】 (仕様表)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称*2</td> <td></td> <td>ペレット保管容器搬送装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>グローブボックス-1 (PA0144-B-10701)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="7">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td>たたて</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法*7</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1130*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>密板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数*9</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ペレット保管容器搬送装置			グローブボックス-1 (PA0144-B-10701)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速**12	m/s	0.5以上	たたて	mm	1000*1	主要寸法*7	横	mm	1130*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	密板部	—	メタクリル樹脂	個数*9	—	—	1	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)</span>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii.</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii.</span>を詳細に記載しており整合している。 (1基×12=12基)</p>	
		変更前	変更後																																																								
名称*2		ペレット保管容器搬送装置																																																									
		グローブボックス-1 (PA0144-B-10701)																																																									
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																								
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																									
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																									
	たたて	mm		1000*1																																																							
主要寸法*7	横	mm		1130*1																																																							
	高さ	mm		1000*1*4																																																							
主要材料*8	本体	—		SUS304, SUS304TP																																																							
	密板部	—	メタクリル樹脂																																																								
個数*9	—	—	1																																																								
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																								
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<p>ハ. (ニ) (2) ①g. (a)</p> <p>ハ. (ニ) (2) ①g. (a) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-10702)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>900*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2800*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉じた状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-10702)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	1000*1	横	mm	900*1	高さ	mm	2800*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称*2		ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-10702)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm		1000*1																																																										
	横	mm	900*1																																																											
	高さ	mm	2800*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<p>ハ.(ニ)(2)①g.(a)</p> <p>ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ベレット保管装置搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-10703)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1550*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット保管装置搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-10703)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	1550*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称*2		ベレット保管装置搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-10703)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm		1550*1																																																										
	横	mm	1200*1																																																											
	高さ	mm	1500*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.43.20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																											
	ハ. (二) (2) ①g. (a)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ベレット低置気密機送排装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-10704)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率**13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3300*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット低置気密機送排装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-10704)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率**13	vol%/h	0.25以下	開口部風速**12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	3300*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.42.60m*4	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11			溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																												
名称*2		ベレット低置気密機送排装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-10704)																																																													
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																												
漏れ率**13	vol%/h	0.25以下																																																													
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																													
主要寸法*7	たて	mm		3300*1																																																											
	横	mm	800*1																																																												
	高さ	mm	1000*1*4																																																												
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																												
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																											
個数*9		—	1	変更なし																																																											
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																												
	設置床	—	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.42.60m*4	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T.M.S.L.43.20m																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																											
	ハ. (二) (2) ①g. (a) ii.																																																														



事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ. (二) (2) ①g. (a)

ハ. (二) (2) ①g. (a) ii.

			変更前	変更後
名称*2			ベレット保管容器搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-10705)	
種類*3			グローブボックス	変更なし
漏れ率**13			vol%/h 0.25以下	
開口部風速**12			m/s 0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	2400*4	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	ポリカーボネート樹脂
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*9			—	1
取付箇所*10	系統名(ライン名)		—	—
	設置床		燃料棟解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棟解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—*11	—
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—*11	変更なし

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
	<p style="text-align: center;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)</p> <p style="text-align: center;">ハ.(ニ)(2)①g.(a)ii.</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ベレット保管容器搬送装置 グローブボックス-B (PA0144-B-10706)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棟解体室 T.M.S.L.42.60m*4</td> </tr> <tr> <td>燃料棟解体室 ベレット立会室 T.M.S.L.43.20m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">*10</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。  *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  *13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の擾乱圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット保管容器搬送装置 グローブボックス-B (PA0144-B-10706)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	3000*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*9		—	1	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所	設置床	—	燃料棟解体室 T.M.S.L.42.60m*4	燃料棟解体室 ベレット立会室 T.M.S.L.43.20m			*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																										
名称*2		ベレット保管容器搬送装置 グローブボックス-B (PA0144-B-10706)																																																											
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																										
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																											
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																											
主要寸法*7	たて	mm		3000*1																																																									
	横	mm	800*1																																																										
	高さ	mm	1000*1*4																																																										
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																										
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																										
個数*9		—	1																																																										
系統名(ライン名)		—	—																																																										
取付箇所	設置床	—	燃料棟解体室 T.M.S.L.42.60m*4																																																										
	燃料棟解体室 ベレット立会室 T.M.S.L.43.20m																																																												
*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																										
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11																																																										

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ.(二)(2)①g.(a)

ハ.(二)(2)①g.(a) ii.

			変更前	変更後
名称*2		ペレット保管装置搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-10707)		
種類*3	—		グローブボックス	
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	4000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	密板部	—	メタクリル樹脂	
個数*9		—	1	
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L.42.60m*4	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	

変更なし

ポリカーボネート樹脂

変更なし

燃料棒加工第1室  
T.M.S.L.43.20m

変更なし

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ. (二) (2) ①g. (a)

ハ. (二) (2) ①g. (a) ii.

		変更前	変更後
名称*2		ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-8 (PA0144-B-10708)	
種類*3		—	グローブボックス
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下
開口部風速*12		m/s	0.5以上
主要寸法*7	たて	mm	3000*1
	横	mm	800*1
	高さ	mm	1000*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9		—	1
系統名(ライン名)		—	—
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4 T.M.S.L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
	溢水防護上の配達が必要な高さ	—	—*11

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<p data-bbox="1264 264 1478 296" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(二)(2)①g.(a)</p> <p data-bbox="1228 562 1478 594" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(二)(2)①g.(a) ii.</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="width: 15%;"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">名称*2</td> <td></td> <td colspan="2">ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-10709)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類*3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">漏れ率*5*13</td> <td style="text-align: center;">vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開口部風速*6*12</td> <td style="text-align: center;">m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要寸法*7</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>1800*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要材料*8</td> <td style="text-align: center;">本体</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">窓板部</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">個数*9</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">取付箇所*10</td> <td style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1516 743 2122 1140" style="font-size: small;">           注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。            *12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。            *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。         </p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-10709)		種類*3	-	グローブボックス		漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		主要寸法*7	たて	mm	1800*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	-	SUS304, SUS304TP	窓板部	-	メタクリル樹脂	個数*9		-	1	取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	溢水防護上の区画番号	-	-*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-10709)																																																								
種類*3	-	グローブボックス																																																								
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*7	たて	mm	1800*1																																																							
	横	mm	800*1																																																							
	高さ	mm	1000*1*4																																																							
主要材料*8	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	-	メタクリル樹脂																																																							
個数*9		-	1																																																							
取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-																																																							
	設置床	-	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4																																																							
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11																																																							

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ.(ニ)(2)①g.(a)

ハ.(ニ)(2)①g.(a) ii.

		変更前	変更後
名称*		ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-10 (PA0144-B-10710)	
種類*	—	グローブボックス	変更なし
漏れ率**13	vol%/h	0.25以下	
開口部風速**12	m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1800*1
	横	mm	800*1
	高さ	mm	1000*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9	—	1	変更なし
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4
	溢水防護上の区画番号	—	*11
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*11

- 注記
- \*1: 公称値を示す。
  - \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。
  - \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
  - \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
  - \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。
  - \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
  - \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。
  - \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
  - \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
  - \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
  - \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。
  - \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
  - \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																				
	<p style="text-align: center;">ハ. (二) (2) ①g. (a)</p> <p style="text-align: center;">ハ. (二) (2) ①g. (a) ii.</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">名称*2</td> <td></td> <td>ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-10711)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類*3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">漏れ率*5*13</td> <td style="text-align: center;">vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開口部風速*6*12</td> <td style="text-align: center;">m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要寸法*7</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3000*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">800*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要材料*8</td> <td style="text-align: center;">本体</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">窓板部</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">個数*9</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所*10</td> <td style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">燃料焼解体室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—*11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。  *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12：グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-10711)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	3000*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂		個数*9	—	1	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料焼解体室 T.M.S.L. 42.60m*4	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																					
名称*2		ベレット保質容器搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-10711)																																																						
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																					
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																						
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																						
主要寸法*7	たて	mm		3000*1																																																				
	横	mm	800*1																																																					
	高さ	mm	1000*1*4																																																					
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																					
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																					
	個数*9	—	1																																																					
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																					
	設置床	—	燃料焼解体室 T.M.S.L. 42.60m*4																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																											
	<p data-bbox="1255 262 1472 294">ハ. (ニ) (2) ①g. (a)</p> <p data-bbox="1222 556 1472 588">ハ. (ニ) (2) ①g. (a) ii.</p>	<table border="1" data-bbox="1516 216 2122 743"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ベレット保管装置脱離装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-10712)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2600*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棟解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4</td> <td>燃料棟解体室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1516 747 2122 1150">           注記 *1：公称値を示す。            *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。            *6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。            *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。            *12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。            *13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。         </p>			変更前	変更後	名称*2		ベレット保管装置脱離装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-10712)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速**12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2600*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棟解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棟解体室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11			溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																												
名称*2		ベレット保管装置脱離装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-10712)																																																													
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																												
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																													
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																													
主要寸法*7	たて	mm		2600*1																																																											
	横	mm	1200*1																																																												
	高さ	mm	1500*1*4																																																												
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																												
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																											
個数*9		—	1	変更なし																																																											
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																												
	設置床	—	燃料棟解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棟解体室 T. M. S. L. 43. 20m																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																											



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																										
(b) <u>ペレット保管容器搬送装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室及びペレット立会室</u> ii. <u>個数</u> <u>1台</u>	(b) <u>ペレット保管容器搬送装置</u> i. <u>設置場所</u> <u>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室及びペレット立会室</u> ii. <u>個数</u> <u>1台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">ペレット保管容器搬送装置 (PA0144-M-10000)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">台車方式 クレーン方式 リフタ方式</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>ペレット積載部高さ</td> <td>mm</td> <td>105以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">容量*4</td> <td>搬送台車-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>搬送台車-2</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>搬送台車-3</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機付搬送台車</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機付 スライド台車-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機付 スライド台車-2</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機-2</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機-3</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>移載機-4</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>取扱機-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>取扱機-2</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>リフタ</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-1</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-2</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-3</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-4</td> <td>kg</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法*5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>9005*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>19619*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4491*1</td> </tr> <tr> <td>高さ確認ゲート-1,-2</td> <td>高さ</td> <td>98*1*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">主要材料*6</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td>—</td> <td>1*8</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 42. 60m*11</td> <td>燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—*10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必 要な高さ</td> <td>—*10</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。            *11: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称*2		ペレット保管容器搬送装置 (PA0144-M-10000)		種類*3	—	台車方式 クレーン方式 リフタ方式		臨界管理	ペレット積載部高さ	mm	105以下	容量*4	搬送台車-1	kg	35	搬送台車-2	kg	35	搬送台車-3	kg	35	移載機付搬送台車	kg	35	移載機付 スライド台車-1	kg	35	移載機付 スライド台車-2	kg	35	移載機-1	kg	35	移載機-2	kg	35	移載機-3	kg	35	移載機-4	kg	35	取扱機-1	kg	35	取扱機-2	kg	35	リフタ	kg	35	秤量テーブル-1	kg	35	秤量テーブル-2	kg	35	秤量テーブル-3	kg	35	秤量テーブル-4	kg	35	主要寸法*5	たて	mm	9005*1	横	mm	19619*1	高さ	mm	4491*1	高さ確認ゲート-1,-2	高さ	98*1*11			変更前	変更後	主要材料*6		—	SUS304	個数*7		—	1*8	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 42. 60m*11	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の 区画番号	—*10	—	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—*10	—		
		変更前	変更後																																																																																																											
名称*2		ペレット保管容器搬送装置 (PA0144-M-10000)																																																																																																												
種類*3	—	台車方式 クレーン方式 リフタ方式																																																																																																												
臨界管理	ペレット積載部高さ	mm	105以下																																																																																																											
容量*4	搬送台車-1	kg	35																																																																																																											
	搬送台車-2	kg	35																																																																																																											
	搬送台車-3	kg	35																																																																																																											
	移載機付搬送台車	kg	35																																																																																																											
	移載機付 スライド台車-1	kg	35																																																																																																											
	移載機付 スライド台車-2	kg	35																																																																																																											
	移載機-1	kg	35																																																																																																											
	移載機-2	kg	35																																																																																																											
	移載機-3	kg	35																																																																																																											
	移載機-4	kg	35																																																																																																											
	取扱機-1	kg	35																																																																																																											
	取扱機-2	kg	35																																																																																																											
	リフタ	kg	35																																																																																																											
	秤量テーブル-1	kg	35																																																																																																											
	秤量テーブル-2	kg	35																																																																																																											
	秤量テーブル-3	kg	35																																																																																																											
秤量テーブル-4	kg	35																																																																																																												
主要寸法*5	たて	mm	9005*1																																																																																																											
	横	mm	19619*1																																																																																																											
	高さ	mm	4491*1																																																																																																											
	高さ確認ゲート-1,-2	高さ	98*1*11																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																											
主要材料*6		—	SUS304																																																																																																											
個数*7		—	1*8																																																																																																											
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																																																																											
	設置床	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 42. 60m*11	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																											
	溢水防護上の 区画番号	—*10	—																																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—*10	—																																																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
<p>(c) <u>ハ.(ニ)(2)①g.(b)乾燥ボート搬送装置グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 <u>ハ.(ニ)(2)①g.(b) ii. 14基</u></p>	<p><u>ハ.(ニ)(2)①g.(b)</u></p> <p>(c) <u>乾燥ボート搬送装置グローブボックス</u></p> <p>i. 設置場所 燃料棒加工第1室</p> <p>ii. 個数 14基</p> <p><u>ハ.(ニ)(2)①g.(b) ii.</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-1 (PA0144-B-20701)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>底板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-1 (PA0144-B-20701)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	1500*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	底板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし	<p>設工認の<u>ハ.(ニ)(2)①g.(b)</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ニ)(2)①g.(b)</u>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ハ.(ニ)(2)①g.(b) ii.</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ニ)(2)①g.(b) ii.</u>を詳細に記載しており整合している。 (1基×14=14基)</p>	
		変更前	変更後																																																											
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-1 (PA0144-B-20701)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm	1500*1																																																											
	横	mm	800*1																																																											
	高さ	mm	1000*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	底板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
	<p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b)</p> <p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-20702)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-20702)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	1500*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	変更なし	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																										
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-20702)																																																											
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																										
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																											
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																											
主要寸法*7	たて	mm		1500*1																																																									
	横	mm	800*1																																																										
	高さ	mm	1000*1*4																																																										
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																										
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																									
個数*9		—	1	変更なし																																																									
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	変更なし																																																									
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 43.20m																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																										

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ.(ニ)(2)①g.(b)

ハ.(ニ)(2)①g.(b) ii.

		変更前	変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-20703)	
種類*3	—	グローブボックス	変更なし
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	
	横	mm	1200*1
	高さ	mm	1500*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9		—	1
系統名(ライン名)		—	—
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11

注記 \*1:公称値を示す。  
 \*2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  
 \*8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  
 \*13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
	<p>ハ.(ニ)(2)①g.(b)</p> <p>ハ.(ニ)(2)①g.(b)ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-20704)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2885*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*10</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉じた状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-20704)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2885*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																										
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-20704)																																																											
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																										
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																											
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																											
主要寸法*7	たて	mm		2885*1																																																									
	横	mm	800*1																																																										
	高さ	mm	1000*1*4																																																										
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																										
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																									
個数*9		—	1	変更なし																																																									
系統名(ライン名)		—	—																																																										
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
	<p>ハ.(二)(2)①g.(b)</p> <p>ハ.(二)(2)①g.(b)ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-20705)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-20705)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2000*2	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	系統名(ライン名)		—	—		取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし						
		変更前	変更後																																																																
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-20705)																																																																	
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																																
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																																	
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																																	
主要寸法*7	たて	mm		2000*2																																																															
	横	mm	800*1																																																																
	高さ	mm	1000*1*4																																																																
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																															
個数*9		—	1	変更なし																																																															
系統名(ライン名)		—	—																																																																
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
	<p>ハ.(ニ)(2)①g.(b)</p> <p>ハ.(ニ)(2)①g.(b)ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-6 (PA0144-B-20706)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3775*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">注記</td> <td colspan="2"> <p>*1:公称値を示す。</p> <p>*2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。</p> <p>*3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。</p> <p>*4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。</p> <p>*6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。</p> <p>*7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。</p> <p>*8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>*9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>*10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。</p> <p>*11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p> <p>*12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。</p> <p>*13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-6 (PA0144-B-20706)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	3775*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	注記		<p>*1:公称値を示す。</p> <p>*2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。</p> <p>*3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。</p> <p>*4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。</p> <p>*6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。</p> <p>*7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。</p> <p>*8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>*9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>*10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。</p> <p>*11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p> <p>*12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。</p> <p>*13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			
		変更前	変更後																																																														
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-6 (PA0144-B-20706)																																																															
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																														
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																															
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																															
主要寸法*7	たて	mm		3775*1																																																													
	横	mm	800*1																																																														
	高さ	mm	1000*1*4																																																														
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																														
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																													
個数*9		—	1	変更なし																																																													
系統名(ライン名)		—	—																																																														
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																														
	注記		<p>*1:公称値を示す。</p> <p>*2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。</p> <p>*3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。</p> <p>*4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。</p> <p>*6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。</p> <p>*7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。</p> <p>*8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>*9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>*10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。</p> <p>*11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p> <p>*12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。</p> <p>*13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b)</p> <p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-20707)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2200*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-20707)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2200*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-20707)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm		2200*1																																																										
	横	mm	1200*1																																																											
	高さ	mm	1500*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										



事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ. (ニ) (2) ①g. (b)

ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.

		変更前	変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-8 (PA0144-B-20708)	
種類*3	—	グローブボックス	変更なし
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	
	横	mm	800*1
	高さ	mm	1000*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9		—	1
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<p>ハ.(二)(2)①g.(b)</p> <p>ハ.(二)(2)①g.(b)ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-20709)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2200*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5:記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12:グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-20709)		種類*3		グローブボックス		漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2200*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*9		—	1	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-20709)																																																								
種類*3		グローブボックス																																																								
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下																																																							
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上																																																							
主要寸法*7	たて	mm	2200*1																																																							
	横	mm	1200*1																																																							
	高さ	mm	1500*1*4																																																							
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*9		—	1																																																							
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																							

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ. (ニ) (2) ①g. (b)

ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.

		変更前	変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-10 (PA0144-B-20710)	
種類*3		—	グローブボックス
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上
主要寸法*7	たて	mm	1580*2
	横	mm	800*1
	高さ	mm	1000*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9		—	1
系統名(ライン名)		—	—
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*11

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b)</p> <p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-20711)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1100*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉じた状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-20711)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	1000*1	横	mm	1100*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-20711)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm		1000*1																																																										
	横	mm	1100*1																																																											
	高さ	mm	1500*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b)</p> <p>ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-20712)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-20712)		種類*3	—	グローブボックス	変更なし	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	2000*1	横	mm	800*1	高さ	mm	1000*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-20712)																																																												
種類*3	—	グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法*7	たて	mm		2000*1																																																										
	横	mm	800*1																																																											
	高さ	mm	1000*1*4																																																											
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																										
個数*9		—	1	変更なし																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																										

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ハ. (ニ) (2) ①g. (b)

ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.

		変更前	変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-13 (PA0144-B-20713)	
種類*3	—	グローブボックス	変更なし
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	
	横	mm	800*1
	高さ	mm	1000*1*4
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP
	窓板部	—	メタクリル樹脂
個数*9		—	1
系統名(ライン名)		—	—
取付箇所*10	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11
		—	—*11

注記 \*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  
 \*8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  
 \*10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  
 \*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  
 \*12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  
 \*13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
	<p style="text-align: center;">ハ. (ニ) (2) ①g. (b)</p> <p style="text-align: center;">ハ. (ニ) (2) ①g. (b) ii.</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-14 (PA0144-B-20714)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*5*13</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*6*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*1*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*9</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *12: グローブ1個が破損した場合のグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p>			変更前	変更後	名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-14 (PA0144-B-20714)	変更なし	種類*3	—	グローブボックス	漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下	開口部風速*6*12	m/s	0.5以上	主要寸法*7	たて	mm	6000*1	横	mm	1200*1	高さ	mm	1500*1*4	主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	個数*9		—	1	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	変更なし	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし		
		変更前	変更後																																																								
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-14 (PA0144-B-20714)	変更なし																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																									
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下																																																									
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上																																																									
主要寸法*7	たて	mm		6000*1																																																							
	横	mm	1200*1																																																								
	高さ	mm	1500*1*4																																																								
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																								
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂																																																							
個数*9		—	1	変更なし																																																							
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—	—	変更なし																																																							
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T.M.S.L. 42.60m*4																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																		
(d) 乾燥ボート搬送装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 1台	(d) 乾燥ボート搬送装置 i. 設置場所 燃料棒加工第1室 ii. 個数 1台	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称*2</th> <th colspan="2">乾燥ボート搬送装置 (PA0144-M-20000)</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類*3</th> <th colspan="2">台車方式 クレーン方式</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">容量*4</td> <td>搬送台車</td> <td>kg</td> <td>60</td> <td colspan="2" rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>移載機付搬送台車-1</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機付搬送台車-2</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機付搬送台車-3</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機付スライド台車</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機-1</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機-2</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機-3</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機-4</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>移載機-5</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-1</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-2</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-3</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-4</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-5</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>取扱機-6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-1</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-2</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-3</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-4</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-5</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-6</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル-7</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>スライド付仮置台</td> <td>kg</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">主要寸法*5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>13024*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>15618*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1363*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">主要材料*6</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">個数*7</td> <td>—</td> <td>1*8</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(続き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*11</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*10</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>			変更前		変更後		名称*2		乾燥ボート搬送装置 (PA0144-M-20000)				種類*3		台車方式 クレーン方式				容量*4	搬送台車	kg	60	変更なし		移載機付搬送台車-1	kg	60	移載機付搬送台車-2	kg	60	移載機付搬送台車-3	kg	60	移載機付スライド台車	kg	60	移載機-1	kg	60	移載機-2	kg	60	移載機-3	kg	60	移載機-4	kg	60	移載機-5	kg	60	取扱機-1	kg	60	取扱機-2	kg	60	取扱機-3	kg	60	取扱機-4	kg	60	取扱機-5	kg	60	取扱機-6	kg	60	秤量テーブル-1	kg	60	秤量テーブル-2	kg	60	秤量テーブル-3	kg	60	秤量テーブル-4	kg	60	秤量テーブル-5	kg	60	秤量テーブル-6	kg	60	秤量テーブル-7	kg	60	スライド付仮置台	kg	60	主要寸法*5	たて	mm	13024*1			横	mm	15618*1			高さ	mm	1363*1			主要材料*6		—	SUS304			個数*7		—	1*8					変更前		変更後		取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし		設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*11	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m		溢水防護上の 区画番号	—	—*10	変更なし		溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*10		
		変更前		変更後																																																																																																																																																		
名称*2		乾燥ボート搬送装置 (PA0144-M-20000)																																																																																																																																																				
種類*3		台車方式 クレーン方式																																																																																																																																																				
容量*4	搬送台車	kg	60	変更なし																																																																																																																																																		
	移載機付搬送台車-1	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機付搬送台車-2	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機付搬送台車-3	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機付スライド台車	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機-1	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機-2	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機-3	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機-4	kg	60																																																																																																																																																			
	移載機-5	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-1	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-2	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-3	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-4	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-5	kg	60																																																																																																																																																			
	取扱機-6	kg	60																																																																																																																																																			
	秤量テーブル-1	kg	60																																																																																																																																																			
	秤量テーブル-2	kg	60																																																																																																																																																			
	秤量テーブル-3	kg	60																																																																																																																																																			
	秤量テーブル-4	kg	60																																																																																																																																																			
秤量テーブル-5	kg	60																																																																																																																																																				
秤量テーブル-6	kg	60																																																																																																																																																				
秤量テーブル-7	kg	60																																																																																																																																																				
スライド付仮置台	kg	60																																																																																																																																																				
主要寸法*5	たて	mm	13024*1																																																																																																																																																			
	横	mm	15618*1																																																																																																																																																			
	高さ	mm	1363*1																																																																																																																																																			
主要材料*6		—	SUS304																																																																																																																																																			
個数*7		—	1*8																																																																																																																																																			
		変更前		変更後																																																																																																																																																		
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし																																																																																																																																																		
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*11	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m																																																																																																																																																		
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	変更なし																																																																																																																																																		
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*10																																																																																																																																																			



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
<p>(e) <u>燃料棒搬送装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室及び燃料棒加工第2室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>  <p>h. グローブボックス負圧・温度監視設備</p> <p>(a) 個数 1式</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ニ)(2)-2-1</span> <u>燃料棒加工工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</u></p>	<p>(e) <u>燃料棒搬送装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料棒加工第1室及び燃料棒加工第2室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">燃料棒搬送装置 (PA0144-M-30000)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">台車方式 スライドテーブル方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量*4</td> <td>搬送台車</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>解体投入機</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>再検査投入機</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>取出機</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>出入機</td> <td>kg</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>ローラコンベア-3*5</td> <td>kg</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5048*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>41480*1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2192*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td colspan="2">SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td colspan="2">1*9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="2">燃料棒加工第1室、 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 42. 60m*5</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *5: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。  *10: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *11: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">今回の申請の対象範囲外</p>			変更前	変更後	名称*2		燃料棒搬送装置 (PA0144-M-30000)		種類*3	—	台車方式 スライドテーブル方式		容量*4	搬送台車	kg	40	解体投入機	kg	40	再検査投入機	kg	40	取出機	kg	40	出入機	kg	40	主要寸法*6	ローラコンベア-3*5	kg	5	たて	mm	5048*1	横	mm	41480*1		高さ	mm	2192*1	主要材料*7		SS400, STKR400		個数*8		1*9		取付箇所*10	系統名(ライン名)	—		設置床	燃料棒加工第1室、 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 42. 60m*5		溢水防護上の区画番号	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*11		<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ.(ホ)(2)②-2-1</span>は、設工認の「V-2-4 配置図」に示しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																
名称*2		燃料棒搬送装置 (PA0144-M-30000)																																																																	
種類*3	—	台車方式 スライドテーブル方式																																																																	
容量*4	搬送台車	kg	40																																																																
	解体投入機	kg	40																																																																
	再検査投入機	kg	40																																																																
	取出機	kg	40																																																																
	出入機	kg	40																																																																
主要寸法*6	ローラコンベア-3*5	kg	5																																																																
	たて	mm	5048*1																																																																
	横	mm	41480*1																																																																
	高さ	mm	2192*1																																																																
主要材料*7		SS400, STKR400																																																																	
個数*8		1*9																																																																	
取付箇所*10	系統名(ライン名)	—																																																																	
	設置床	燃料棒加工第1室、 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 42. 60m*5																																																																	
	溢水防護上の区画番号	—*11																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*11																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																												
<p>(3) 処理する核燃料物質の種類及び最大処理能力</p> <p>① 核燃料物質の種類</p> <p>a. <u>ハ.(ニ)(3)①a.-2-1</u>MOX プルトニウム富化度 18%以下</p> <p>プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率 17%以上</p> <p>ウラン中のウラン-235 含有率 1.6%以下</p> <p>b. ウラン酸化物 <u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-1</u> ウラン中のウラン-235 含有率 天然ウラン中の含有率以下</p> <p><u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-2</u> ウラン燃料棒として5%以下</p>	<p><u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-2</u></p>	<p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p>1.1.3 被覆施設の臨界防止</p> <p>1.1.3.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <table border="1" data-bbox="1513 378 2122 735"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg-Pu**1</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">平板厚さ15.0cm</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。 *2: ウラン中のウラン-235含有率を示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(1) 臨界管理の対象とする核燃料物質</p> <p>MOX 燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、プルトニウム富化度60%以下、<u>プルトニウム中のプルトニウム-240含有率17%以上</u>及びウラン中のウラン-235含有率1.6%以下の<u>ハ.(ニ)(3)①a.-2-1</u>ウラン・プルトニウム混合酸化物、<u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-1</u>ウラン中のウラン-235含有率5%以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり、このうちウラン・プルトニウム混合酸化物、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器に対して単一ユニット、複数ユニットを設定し、臨界管理を行う設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1.1.3.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <table border="1" data-bbox="1513 1543 2122 1900"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg-Pu**1</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">平板厚さ15.0cm</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。 *2: ウラン中のウラン-235含有率を示す。</p>	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu**1	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu**1	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下	<p>設工認の<u>ハ.(ニ)(3)①a.-2-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ニ)(3)①a.-2-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-2</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ニ)(3)①b.-2-2</u>と同義であり整合している。</p>	
形態	設定条件			核的制限値																																																																												
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																													
ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu**1																																																																												
BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm																																																																												
PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																													
ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下																																																																													
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段																																																																												
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下																																																																													
	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-		0.1%以下																																																																											
形態	設定条件			核的制限値																																																																												
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																													
ペレット-2	18%以下	-	0.1%以下	36.0kg-Pu**1																																																																												
BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm																																																																												
PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																													
ウラン燃料棒	(5%以下)**	-	0.1%以下																																																																													
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段																																																																												
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下																																																																													
	ウラン燃料棒	(5%以下)**	-		0.1%以下																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項 ＜中略＞	整合性	備考																																																																												
<p>② 最大処理能力 130t・HM/年</p> <p>(4) 主要な核的制限値</p> <p>① 単一ユニット</p> <p><u>被覆施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように質量、平板厚さ又は段数を設定する。</u></p> <p><u>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにする。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg・Pu* (注1)</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">平板厚さ15.0cm</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下) (注2)</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下) (注2)</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 <u>二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。</u></p> <p>注2 <u>ウラン中のウラン-235含有率を示す。</u></p> <p>② 複数ユニット</p> <p><u>数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定する。</u></p>	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu* (注1)	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下) (注2)	—	0.1%以下	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	ウラン燃料棒	(5%以下) (注2)	—	0.1%以下		<p>1.1.3.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p><u>被覆施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように質量、平板厚さ又は段数を設定する。</u></p> <p><u>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにする。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg・Pu* **</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">平板厚さ15.0cm</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: <u>二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。</u></p> <p>*2: <u>ウラン中のウラン-235含有率を示す。</u></p> <p>1.1.3.2 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p><u>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定する。</u></p>	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu* **	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	0.1%以下	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	0.1%以下	<p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けた「最大処理能力」は、本設工認の対象外である。</p>	
形態		設定条件				核的制限値																																																																										
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																													
ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu* (注1)																																																																												
BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm																																																																												
PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																													
ウラン燃料棒	(5%以下) (注2)	—	0.1%以下																																																																													
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段																																																																												
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下																																																																													
	ウラン燃料棒	(5%以下) (注2)	—		0.1%以下																																																																											
形態	設定条件			核的制限値																																																																												
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																													
ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg・Pu* **																																																																												
BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm																																																																												
PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																													
ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	0.1%以下																																																																													
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段																																																																												
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下																																																																													
	ウラン燃料棒	(5%以下)**	—		0.1%以下																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ホ) 組立施設</p> <p>(1) 施設の種類 組立施設は、燃料集合体組立工程及び梱包出荷工程で構成ハ.(ホ)(1)-①し、燃料加工建屋に収納する。</p> <p>燃料加工建屋の主要構造は「ハ.(ハ)成型施設(1)施設の種類」に示す。</p> <p>組立施設は、MOX燃料棒、燃料集合体部材及びウラン燃料棒を組み合わせて、BWR型又はPWR型の燃料集合体とし、さらに燃料集合体を梱包し、出荷するハ.(ホ)(1)-②施設である。</p> <p>燃料集合体組立工程は、制御第5室及び制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p>		<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 3. 組立施設 組立施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1.核燃料物質の臨界防止」、「3.自然現象等」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7.遮蔽」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>組立施設は、燃料集合体組立工程及び梱包出荷工程で構成ハ.(ホ)(1)-①する。</p> <p>組立施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p>組立施設は、MOX燃料棒、燃料集合体部材及びウラン燃料棒を組み合わせて、BWR型又はPWR型の燃料集合体とし、さらに燃料集合体を梱包し、出荷するハ.(ホ)(1)-②ことができる設計とする。</p> <p>3.1 燃料集合体組立工程 3.1.1 燃料集合体組立工程の構成 燃料集合体組立工程は、MOX燃料棒と支持格子等の部材を組み合わせて、燃料集合体平均のプルトニウム富化度をBWR燃料集合体では11%以下、PWR燃料集合体では14%以下で燃料集合体を組み立てる設計とする。なお、BWR燃料集合体については、外部からウラン中のウラン-235含有率が5%以下のウラン燃料棒を受け入れ、組み合わせる。</p> <p>燃料集合体組立工程は、組み立てた燃料集合体を洗浄し、寸法検査、外観検査、機能検査及び重量測定を実施する設計とする。</p> <p>燃料集合体組立工程は、規格外の燃料集合体は解体し、取り出した燃料棒を再使用又は解体のため燃料棒加工工程へ搬送する設計とする。</p> <p>燃料集合体組立工程は、制御第5室及び制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p>	<p>設工認のハ.(ホ)(1)-①は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(1)-①と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の「ハ.(ハ)成型施設(1)施設の種類」に示す。</p> <p>設工認のハ.(ホ)(1)-②は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(1)-②と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>梱包出荷工程は、制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行える設計とする。</p>		<p>3.1.2 主要設備の系統構成 燃料集合体組立工程は、燃料集合体組立設備、燃料集合体洗浄設備、燃料集合体検査設備及び燃料集合体組立工程搬送設備で構成する。</p> <p>(1) 燃料集合体組立設備 燃料集合体組立設備は、MOX燃料棒及びウラン燃料棒を燃料集合体部材と組み合わせて燃料集合体に組み立てる設計とする。燃料集合体は燃料集合体洗浄設備へ払い出す設計とする。 燃料集合体組立設備は、マガジン編成装置、組立マガジン、スケルトン組立装置及び燃料集合体組立装置で構成する。燃料集合体組立設備のうち、スケルトン組立装置を1台設置する設計とする。</p> <p>(2) 燃料集合体洗浄設備 燃料集合体洗浄設備は、燃料集合体組立設備にて組み立てた燃料集合体を洗浄する設計とする。燃料集合体洗浄設備は、洗浄後の燃料集合体を燃料集合体検査設備へ払い出す設計とする。 燃料集合体洗浄設備は、燃料集合体洗浄装置で構成する。</p> <p>(3) 燃料集合体検査設備 燃料集合体検査設備は、燃料集合体洗浄設備にて洗浄した燃料集合体の寸法検査、外観検査、機能検査及び重量測定を行う設計とする。燃料集合体検査設備は、検査後の燃料集合体を貯蔵施設の燃料集合体貯蔵設備へ払い出す設計とする。 燃料集合体検査設備は、燃料集合体第1検査装置、燃料集合体第2検査装置、燃料集合体仮置台及び燃料集合体立会検査装置で構成する。</p> <p>(4) 燃料集合体組立工程搬送設備 燃料集合体組立工程搬送設備は、燃料集合体組立工程において燃料集合体の搬送を行う設計とする。 燃料集合体組立工程搬送設備は、組立クレーン及びリフトで構成する。</p> <p>3.2 梱包出荷工程 3.2.1 梱包出荷工程の構成 梱包出荷工程は、燃料集合体を輸送容器へ梱包し、出荷する設計とする。 梱包出荷工程は、制御第6室にて施設の状態監視、運転操作及び工程停止操作を行うことができる設計とする。</p>		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>3.2.2 主要設備の系統構成</p> <p>梱包出荷工程は、梱包・出荷設備で構成する。</p> <p>(1) 梱包・出荷設備</p> <p>梱包・出荷設備は、燃料集合体の梱包及び出荷を行う設計とする。</p> <p>梱包・出荷設備は、貯蔵梱包クレーン、燃料ホルダ取付装置、容器蓋取付装置、梱包天井クレーン、容器移載装置及び保管室天井クレーンで構成する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																	
<p>(2) 主要な設備及び機器の種類及び個数</p> <p>① 燃料集合体組立工程</p> <p>a. 燃料集合体組立設備</p> <p>(a) <u>マガジン編成装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>	<p>(ハ) 組立施設</p> <p>(1) 燃料集合体組立工程     &lt;中略&gt;</p> <p>⑥ 燃料集合体組立工程の主要設備の仕様</p> <p>a. 燃料集合体組立設備</p> <p>(a) <u>マガジン編成装置</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>	<p>【組立施設】 (仕様表)</p> <p>(2) 機械装置</p> <p>a. 機械・検査装置</p> <table border="1" data-bbox="1516 363 2125 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">押込方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>※1</sup></td> <td>貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数</td> <td>段</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">容量</td> <td colspan="2">貯蔵マガジン受入台</td> <td>t</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貯蔵マガジン移載台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貯蔵マガジン押出台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貯蔵マガジン待機台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組立マガジン移載台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組立マガジン挿入台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組立マガジン待機台</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">マガジン搬送コンベア</td> <td>t</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主要寸法</td> <td rowspan="3">貯蔵マガジン受入台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3870<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1365<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1898<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン移載台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>900<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>990<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貯蔵マガジン押出台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貯蔵マガジン待機台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1687<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料棒挿入機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>5700<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">組立マガジン移載台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1046<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">組立マガジン待機台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>900<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">組立マガジン挿入台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>990<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table>	名称		マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)		種類		押込方式		臨界管理	核的制限値 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	容量	貯蔵マガジン受入台		t	1.6	貯蔵マガジン移載台		t	2.0	貯蔵マガジン押出台		t	2.0	貯蔵マガジン待機台		t	2.0	組立マガジン移載台		t	2.0	組立マガジン挿入台		t	2.0	組立マガジン待機台		t	2.0	マガジン搬送コンベア		t	2.0	主要寸法	貯蔵マガジン受入台	たて	mm	3870 <sup>※1</sup>	横	mm	1365 <sup>※1</sup>	高さ	mm	1898 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>	横	mm	900 <sup>※1</sup>	高さ	mm	990 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン押出台	たて	mm	4260 <sup>※1</sup>	横	mm	1300 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン待機台	たて	mm	1687 <sup>※1</sup>	横	mm	4260 <sup>※1</sup>	燃料棒挿入機	たて	mm	5700 <sup>※1</sup>	横	mm	300 <sup>※1</sup>	組立マガジン移載台	たて	mm	1046 <sup>※1</sup>	横	mm	3776 <sup>※1</sup>	組立マガジン待機台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>	横	mm	900 <sup>※1</sup>	組立マガジン挿入台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>	横	mm	990 <sup>※1</sup>		
名称		マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)																																																																																																																			
種類		押込方式																																																																																																																			
臨界管理	核的制限値 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1																																																																																																																	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上																																																																																																																	
容量	貯蔵マガジン受入台		t	1.6																																																																																																																	
	貯蔵マガジン移載台		t	2.0																																																																																																																	
	貯蔵マガジン押出台		t	2.0																																																																																																																	
	貯蔵マガジン待機台		t	2.0																																																																																																																	
	組立マガジン移載台		t	2.0																																																																																																																	
	組立マガジン挿入台		t	2.0																																																																																																																	
	組立マガジン待機台		t	2.0																																																																																																																	
	マガジン搬送コンベア		t	2.0																																																																																																																	
主要寸法	貯蔵マガジン受入台	たて	mm	3870 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		横	mm	1365 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		高さ	mm	1898 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
	貯蔵マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		横	mm	900 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		高さ	mm	990 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
	貯蔵マガジン押出台	たて	mm	4260 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		横	mm	1300 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
	貯蔵マガジン待機台	たて	mm	1687 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		横	mm	4260 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
	燃料棒挿入機	たて	mm	5700 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
		横	mm	300 <sup>※1</sup>																																																																																																																	
組立マガジン移載台	たて	mm	1046 <sup>※1</sup>																																																																																																																		
	横	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																																		
組立マガジン待機台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																																		
	横	mm	900 <sup>※1</sup>																																																																																																																		
組立マガジン挿入台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																																		
	横	mm	990 <sup>※1</sup>																																																																																																																		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																															
		<p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">組立マガジン挿入台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1687<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">組立マガジン待機台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1687<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">マガジン搬送コンベア</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1545<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>516<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>211<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">遮蔽体</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>8350<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>720<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1900<sup>*1</sup></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="8">主要材料</td> <td>貯蔵マガジン受入台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン移載台</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン押出台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン待機台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒挿入機</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン移載台</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン挿入台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン待機台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>マガジン搬送コンベア</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>遮蔽体</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>4( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>120( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>14( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体組立第1室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。  *3: 本装置に単一ユニット(マガジン編成ユニット)を設定する。</p>	主要寸法	組立マガジン挿入台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	横	mm	1300 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>		組立マガジン待機台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	横	mm	1300 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>		マガジン搬送コンベア	たて	mm	1545 <sup>*1</sup>	横	mm	516 <sup>*1</sup>	高さ	mm	211 <sup>*1</sup>		遮蔽体	たて	mm	8350 <sup>*1</sup>	横	mm	720 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1900 <sup>*1</sup>	主要材料	貯蔵マガジン受入台	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン移載台	-	STKR400	貯蔵マガジン押出台	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン待機台	-	SS400, STKR400	燃料棒挿入機	-	STKR400	組立マガジン移載台	-	STKR400	組立マガジン挿入台	-	SS400, STKR400	組立マガジン待機台	-	SS400, STKR400		マガジン搬送コンベア	-	STKR400	遮蔽体	-	STKR400	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )	中間	mm	120( )	外側	mm	14( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料集合体組立第1室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>		
主要寸法	組立マガジン挿入台	たて			mm	4260 <sup>*1</sup>																																																																																																													
		横			mm	1300 <sup>*1</sup>																																																																																																													
		高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>																																																																																																															
	組立マガジン待機台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		横	mm	1300 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>																																																																																																															
	マガジン搬送コンベア	たて	mm	1545 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		横	mm	516 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		高さ	mm	211 <sup>*1</sup>																																																																																																															
	遮蔽体	たて	mm	8350 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		横	mm	720 <sup>*1</sup>																																																																																																															
		高さ	mm	1900 <sup>*1</sup>																																																																																																															
主要材料	貯蔵マガジン受入台	-	SS400, STKR400																																																																																																																
	貯蔵マガジン移載台	-	STKR400																																																																																																																
	貯蔵マガジン押出台	-	SS400, STKR400																																																																																																																
	貯蔵マガジン待機台	-	SS400, STKR400																																																																																																																
	燃料棒挿入機	-	STKR400																																																																																																																
	組立マガジン移載台	-	STKR400																																																																																																																
	組立マガジン挿入台	-	SS400, STKR400																																																																																																																
	組立マガジン待機台	-	SS400, STKR400																																																																																																																
	マガジン搬送コンベア	-	STKR400																																																																																																																
	遮蔽体	-	STKR400																																																																																																																
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )																																																																																																														
			中間	mm	120( )																																																																																																														
			外側	mm	14( )																																																																																																														
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																																															
中間		-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																
外側		-	SUS304																																																																																																																
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																																
	設置床	-	燃料集合体組立第1室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																			
<p>(b) <u>組立マガジン</u></p> <p>i. 設置場所 ハ.(ホ)(2)①a.(b)-2-1 <u>燃料集合体組立第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p>	<p>(b) <u>組立マガジン</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2基</u></p>	<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 燃料集合体組立工程</p> <p>1.1.1 燃料集合体組立設備</p> <p>(1) 運搬・製品容器</p> <table border="1" data-bbox="1522 384 2119 1058"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">組立マガジン (PA0151-M-10121, -10122)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">格子配列方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>組立マガジンの形状(外形)</td> <td>mm</td> <td>360×360以上</td> </tr> <tr> <td>燃料棒収容領域</td> <td>mm</td> <td>240×240以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量</td> <td>燃料棒収容数<sup>1)</sup></td> <td>本</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td>大気圧</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">主要寸法</td> <td rowspan="3">たて</td> <td>mm</td> <td>4400</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料棒収納領域</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>2( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>50( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>10( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>鉛 (密度 11.00×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 最大収容数 (PWR17×17型燃料用仕切板使用時) を示す。 *2: 公称値を示す。</p> <p>3. 組立施設</p> <p>3.1 燃料集合体組立工程</p> <p>3.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>(1) 燃料集合体組立設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>ハ.(ホ)(2)①a.(b)-2-1 <u>燃料集合体組立設備</u> は、MOX燃料棒及びウラン燃料棒を燃料集合体部材と組み合わせて燃料集合体に組み立てる設計とする。</p> <p>燃料集合体は燃料集合体洗浄設備へ払い出す設計とする。</p> <p>ハ.(ホ)(2)①a.(b)-2-1 <u>燃料集合体組立設備</u> は、<u>マガジン編成装置</u>、<u>組立マガジン</u>、<u>スケルトン組立装置</u>及び<u>燃料集合体組立装置</u>で構成する。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p>	名称		組立マガジン (PA0151-M-10121, -10122)		種類	-	格子配列方式		臨界管理	組立マガジンの形状(外形)	mm	360×360以上	燃料棒収容領域	mm	240×240以下	容量	燃料棒収容数 <sup>1)</sup>	本	289	最高使用圧力	Pa	大気圧	最高使用温度		℃	50	主要寸法	たて	mm	4400	横	mm	396	高さ	mm	408	燃料棒収納領域	たて	mm	220	横	mm	220	厚さ	内側	mm	6	中間	mm	51	外側	mm	10	主要材料		-	SUS304	個数		-	2	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	2( )	中間	mm	50( )	外側	mm	10( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	鉛 (密度 11.00×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	<p>組立マガジンはマガジン編成装置で取り扱うことから、設工認のハ.(ホ)(2)①a.(b)-2-1は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(2)①a.(b)-2-1と同義であり整合している。</p>	
名称		組立マガジン (PA0151-M-10121, -10122)																																																																																					
種類	-	格子配列方式																																																																																					
臨界管理	組立マガジンの形状(外形)	mm	360×360以上																																																																																				
	燃料棒収容領域	mm	240×240以下																																																																																				
容量	燃料棒収容数 <sup>1)</sup>	本	289																																																																																				
	最高使用圧力	Pa	大気圧																																																																																				
最高使用温度		℃	50																																																																																				
主要寸法	たて	mm	4400																																																																																				
		横	mm	396																																																																																			
		高さ	mm	408																																																																																			
	燃料棒収納領域	たて	mm	220																																																																																			
		横	mm	220																																																																																			
	厚さ	内側	mm	6																																																																																			
		中間	mm	51																																																																																			
		外側	mm	10																																																																																			
主要材料		-	SUS304																																																																																				
個数		-	2																																																																																				
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	2( )																																																																																		
			中間	mm	50( )																																																																																		
			外側	mm	10( )																																																																																		
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																			
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																			
		外側	-	鉛 (密度 11.00×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																						
		<p>【組立施設】 (仕様表)</p> <p>(2) 機械装置</p> <p>a. 機械・検査装置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">-</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">押込方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">臨界管理</td> <td style="text-align: center;">核的制限値<sup>※1</sup></td> <td style="text-align: center;">貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数</td> <td style="text-align: center;">段</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">容量</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン受入台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン移載台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン押出台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン待機台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">組立マガジン移載台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">組立マガジン挿入台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">組立マガジン待機台</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">マガジン搬送コンベア</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主要寸法</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">貯蔵マガジン受入台</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3870<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1365<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1898<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">貯蔵マガジン移載台</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">900<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">990<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン押出台</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4260<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1300<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貯蔵マガジン待機台</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1687<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4260<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">燃料棒挿入機</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">5700<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">300<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1046<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">組立マガジン移載台</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3776<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">990<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table>	名称		マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)		種類	-	押込方式		臨界管理	核的制限値 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上	容量	貯蔵マガジン受入台		t	1.6	貯蔵マガジン移載台		t	2.0	貯蔵マガジン押出台		t	2.0	貯蔵マガジン待機台		t	2.0	組立マガジン移載台		t	2.0	組立マガジン挿入台		t	2.0	組立マガジン待機台		t	2.0	マガジン搬送コンベア		t	2.0	主要寸法	貯蔵マガジン受入台	たて	mm	3870 <sup>※1</sup>	横	mm	1365 <sup>※1</sup>	高さ	mm	1898 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>	横	mm	900 <sup>※1</sup>	高さ	mm	990 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン押出台	たて	mm	4260 <sup>※1</sup>	横	mm	1300 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン待機台	たて	mm	1687 <sup>※1</sup>	高さ	mm	4260 <sup>※1</sup>	燃料棒挿入機	たて	mm	5700 <sup>※1</sup>	横	mm	300 <sup>※1</sup>	高さ	mm	1046 <sup>※1</sup>	組立マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>	高さ	mm	990 <sup>※1</sup>		
名称		マガジン編成装置 (PA0151-M-10000)																																																																																																								
種類	-	押込方式																																																																																																								
臨界管理	核的制限値 <sup>※1</sup>	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1																																																																																																						
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上																																																																																																						
容量	貯蔵マガジン受入台		t	1.6																																																																																																						
	貯蔵マガジン移載台		t	2.0																																																																																																						
	貯蔵マガジン押出台		t	2.0																																																																																																						
	貯蔵マガジン待機台		t	2.0																																																																																																						
	組立マガジン移載台		t	2.0																																																																																																						
	組立マガジン挿入台		t	2.0																																																																																																						
	組立マガジン待機台		t	2.0																																																																																																						
	マガジン搬送コンベア		t	2.0																																																																																																						
主要寸法	貯蔵マガジン受入台	たて	mm	3870 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		横	mm	1365 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		高さ	mm	1898 <sup>※1</sup>																																																																																																						
	貯蔵マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		横	mm	900 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		高さ	mm	990 <sup>※1</sup>																																																																																																						
	貯蔵マガジン押出台	たて	mm	4260 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		横	mm	1300 <sup>※1</sup>																																																																																																						
	貯蔵マガジン待機台	たて	mm	1687 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		高さ	mm	4260 <sup>※1</sup>																																																																																																						
	燃料棒挿入機	たて	mm	5700 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		横	mm	300 <sup>※1</sup>																																																																																																						
		高さ	mm	1046 <sup>※1</sup>																																																																																																						
	組立マガジン移載台	たて	mm	3776 <sup>※1</sup>																																																																																																						
高さ		mm	990 <sup>※1</sup>																																																																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																											
		<p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">組立マガジン挿入台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1687<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立マガジン待機台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4260<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1687<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">マガジン搬送コンベア</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1545<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>516<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>211<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">遮蔽体</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>8350<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>720<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1900<sup>*1</sup></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="9">主要材料</td> <td>貯蔵マガジン受入台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン移載台</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン押出台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン待機台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒挿入機</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン移載台</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン挿入台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立マガジン待機台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>マガジン搬送コンベア</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>遮蔽体</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>4( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>120( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>14( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体組立第1室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。  *3: 本装置に単一ユニット(マガジン編成ユニット)を設定する。</p>	主要寸法	組立マガジン挿入台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	横	mm	1300 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>	組立マガジン待機台	たて	mm	4260 <sup>*1</sup>	横	mm	1300 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1687 <sup>*1</sup>	マガジン搬送コンベア	たて	mm	1545 <sup>*1</sup>	横	mm	516 <sup>*1</sup>	高さ	mm	211 <sup>*1</sup>	遮蔽体	たて	mm	8350 <sup>*1</sup>	横	mm	720 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1900 <sup>*1</sup>	主要材料	貯蔵マガジン受入台	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン移載台	-	STKR400	貯蔵マガジン押出台	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン待機台	-	SS400, STKR400	燃料棒挿入機	-	STKR400	組立マガジン移載台	-	STKR400	組立マガジン挿入台	-	SS400, STKR400	組立マガジン待機台	-	SS400, STKR400	マガジン搬送コンベア	-	STKR400	遮蔽体	-	STKR400	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )	中間	mm	120( )	外側	mm	14( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料集合体組立第1室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>		
主要寸法	組立マガジン挿入台	たて			mm	4260 <sup>*1</sup>																																																																																																									
		横			mm	1300 <sup>*1</sup>																																																																																																									
		高さ		mm	1687 <sup>*1</sup>																																																																																																										
	組立マガジン待機台	たて		mm	4260 <sup>*1</sup>																																																																																																										
		横		mm	1300 <sup>*1</sup>																																																																																																										
		高さ		mm	1687 <sup>*1</sup>																																																																																																										
	マガジン搬送コンベア	たて		mm	1545 <sup>*1</sup>																																																																																																										
		横		mm	516 <sup>*1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	211 <sup>*1</sup>																																																																																																											
遮蔽体	たて	mm	8350 <sup>*1</sup>																																																																																																												
	横	mm	720 <sup>*1</sup>																																																																																																												
	高さ	mm	1900 <sup>*1</sup>																																																																																																												
主要材料	貯蔵マガジン受入台	-	SS400, STKR400																																																																																																												
	貯蔵マガジン移載台	-	STKR400																																																																																																												
	貯蔵マガジン押出台	-	SS400, STKR400																																																																																																												
	貯蔵マガジン待機台	-	SS400, STKR400																																																																																																												
	燃料棒挿入機	-	STKR400																																																																																																												
	組立マガジン移載台	-	STKR400																																																																																																												
	組立マガジン挿入台	-	SS400, STKR400																																																																																																												
	組立マガジン待機台	-	SS400, STKR400																																																																																																												
	マガジン搬送コンベア	-	STKR400																																																																																																												
遮蔽体	-	STKR400																																																																																																													
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )																																																																																																										
			中間	mm	120( )																																																																																																										
			外側	mm	14( )																																																																																																										
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																																											
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																											
		外側	-	SUS304																																																																																																											
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																												
	設置床	-	燃料集合体組立第1室 T.M.S.L.43.20m																																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																												

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(c) <u>スケルトン組立装置</u></p> <p>i. <u>設置場所</u>  <u>ハ.(ホ)(2)①a.(c)-2-1</u> <u>燃料集合体部材準備室</u></p> <p>ii. <u>個数</u>  <u>1台</u></p>	<p>(c) <u>スケルトン組立装置</u></p> <p>i. <u>設置場所</u>  <u>燃料集合体部材準備室</u></p> <p>ii. <u>個数</u>  <u>1台</u></p>	<p>3. 組立施設</p> <p>3.1 燃料集合体組立工程</p> <p>3.1.2 主要設備の系統構成</p> <p>(1) 燃料集合体組立設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>燃料集合体組立設備は、マガジン編成装置、組立マガジン、スケルトン組立装置及び燃料集合体組立装置で構成する。燃料集合体組立設備のうち、<u>スケルトン組立装置を1台設置する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>3. 組立施設</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p><u>ハ.(ホ)(2)①a.(c)-2-1</u>組立施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p>	<p>設工認の<u>ハ.(ホ)(2)①a.(c)-2-1</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ホ)(2)①a.(c)-2-1</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																										
(d) <u>燃料集合体組立装置</u> i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第2室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	(d) <u>燃料集合体組立装置</u> i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第2室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	【組立施設】 (仕様表) <table border="1" data-bbox="1516 415 2125 1323"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体組立装置 (PA0151-M-20000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">引込方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">核的制限値*</td> <td>貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数</td> <td>段</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨界管理</td> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量</td> <td>固定搬送台</td> <td>kg</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>マガジン台</td> <td>kg</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>燃料繰引込機</td> <td>kg</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">主要寸法</td> <td rowspan="3">固定搬送台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2500<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>570<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>977<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">マガジン台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4739<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2027<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4853<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>520<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>965<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料繰引込機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6033<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>500<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1321<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">上部取扱装置台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3925<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1925<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>677<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下部取扱装置台</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3730<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2000<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>917<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">キーマスター</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4475<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>405<sup>φ1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1364<sup>φ1</sup></td> </tr> </tbody> </table>	名称		燃料集合体組立装置 (PA0151-M-20000)		種類		引込方式		核的制限値*	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1	燃料集合体取扱体数	体	1	臨界管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	容量	固定搬送台	kg	2000	マガジン台	kg	2000	燃料繰引込機	kg	45	主要寸法	固定搬送台	たて	mm	2500 <sup>φ1</sup>	横	mm	570 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	977 <sup>φ1</sup>	マガジン台	たて	mm	4739 <sup>φ1</sup>	横	mm	1600 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	2027 <sup>φ1</sup>	組立台	たて	mm	4853 <sup>φ1</sup>	横	mm	520 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	965 <sup>φ1</sup>	燃料繰引込機	たて	mm	6033 <sup>φ1</sup>	横	mm	500 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	1321 <sup>φ1</sup>	上部取扱装置台	たて	mm	3925 <sup>φ1</sup>	横	mm	1925 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	677 <sup>φ1</sup>	下部取扱装置台	たて	mm	3730 <sup>φ1</sup>	横	mm	2000 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	917 <sup>φ1</sup>	キーマスター	たて	mm	4475 <sup>φ1</sup>	横	mm	405 <sup>φ1</sup>	高さ	mm	1364 <sup>φ1</sup>		
名称		燃料集合体組立装置 (PA0151-M-20000)																																																																																																												
種類		引込方式																																																																																																												
核的制限値*	貯蔵マガジン又は組立マガジン取扱段数	段	1																																																																																																											
	燃料集合体取扱体数	体	1																																																																																																											
臨界管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																																																																											
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																																																																											
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																																											
容量	固定搬送台	kg	2000																																																																																																											
	マガジン台	kg	2000																																																																																																											
	燃料繰引込機	kg	45																																																																																																											
主要寸法	固定搬送台	たて	mm	2500 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		横	mm	570 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	977 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
	マガジン台	たて	mm	4739 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		横	mm	1600 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	2027 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
	組立台	たて	mm	4853 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		横	mm	520 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	965 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
	燃料繰引込機	たて	mm	6033 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		横	mm	500 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	1321 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
	上部取扱装置台	たて	mm	3925 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		横	mm	1925 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
		高さ	mm	677 <sup>φ1</sup>																																																																																																										
下部取扱装置台	たて	mm	3730 <sup>φ1</sup>																																																																																																											
	横	mm	2000 <sup>φ1</sup>																																																																																																											
	高さ	mm	917 <sup>φ1</sup>																																																																																																											
キーマスター	たて	mm	4475 <sup>φ1</sup>																																																																																																											
	横	mm	405 <sup>φ1</sup>																																																																																																											
	高さ	mm	1364 <sup>φ1</sup>																																																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																								
		<p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">燃料棒搬送機</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4480<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>550<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1438<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">遮蔽体</td> <td rowspan="3"></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4890<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2820<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2955<sup>*1</sup></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="8">主要材料</td> <td>固定搬送台</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>マガジ台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>組立台</td> <td>-</td> <td>SS400, SUS304</td> </tr> <tr> <td>燃料棒引込機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>上部取扱装置台</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>下部取扱装置台</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>キーマスター</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>燃料棒搬送機</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>遮蔽体</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>4( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>120( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>14( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。  *3: 本装置に単一ユニット(マガジン編成ユニット及び燃料集合体組立ユニット)を設定する。</p>	主要寸法	燃料棒搬送機	たて	mm	4480 <sup>*1</sup>	横	mm	550 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1438 <sup>*1</sup>	遮蔽体		たて	mm	4890 <sup>*1</sup>	横	mm	2820 <sup>*1</sup>	高さ	mm	2955 <sup>*1</sup>	主要材料	固定搬送台	-	SS400	マガジ台	-	SS400, STKR400	組立台	-	SS400, SUS304	燃料棒引込機	-	SS400, STKR400	上部取扱装置台	-	SS400	下部取扱装置台	-	SS400, STKR400	キーマスター	-	SS400	燃料棒搬送機	-	STKR400	遮蔽体	-	SS400, STKR400	個数	-	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )	中間	mm	120( )	外側	mm	14( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>		
主要寸法	燃料棒搬送機	たて			mm	4480 <sup>*1</sup>																																																																																						
		横			mm	550 <sup>*1</sup>																																																																																						
		高さ	mm	1438 <sup>*1</sup>																																																																																								
遮蔽体		たて	mm	4890 <sup>*1</sup>																																																																																								
		横	mm	2820 <sup>*1</sup>																																																																																								
		高さ	mm	2955 <sup>*1</sup>																																																																																								
主要材料	固定搬送台	-	SS400																																																																																									
	マガジ台	-	SS400, STKR400																																																																																									
	組立台	-	SS400, SUS304																																																																																									
	燃料棒引込機	-	SS400, STKR400																																																																																									
	上部取扱装置台	-	SS400																																																																																									
	下部取扱装置台	-	SS400, STKR400																																																																																									
	キーマスター	-	SS400																																																																																									
	燃料棒搬送機	-	STKR400																																																																																									
遮蔽体	-	SS400, STKR400																																																																																										
個数	-	1																																																																																										
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	4( )																																																																																							
			中間	mm	120( )																																																																																							
			外側	mm	14( )																																																																																							
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																								
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																								
		外側	-	SUS304																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																									
	設置床	-	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																											
b. 燃料集合体洗浄設備 (a) 燃料集合体洗浄装置 i. 設置場所 燃料集合体洗浄検査室 ii. 個数 1台	b. 燃料集合体洗浄設備 (a) 燃料集合体洗浄装置 i. 設置場所 燃料集合体洗浄検査室 ii. 個数 1台	1.1.2 燃料集合体洗浄設備 (1) 機械装置 a. 機械・検査装置 <table border="1" data-bbox="1519 352 2122 1018"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体洗浄装置 (PA0152-M-10000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>空素ガス吹きつけ方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核的制限値<sup>*1</sup></td> <td>燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨界 管理</td> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1400<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4952<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>STKR400, SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>3( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>90( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>10( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。            *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体洗浄ユニット)を設定する。</p>	名称		燃料集合体洗浄装置 (PA0152-M-10000)		種類	-	空素ガス吹きつけ方式		核的制限値 <sup>*1</sup>	燃料集合体取扱体数	体	1	臨界 管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要 寸法	たて	mm	1500 <sup>*2</sup>	横	mm	1400 <sup>*2</sup>	高さ	mm	4952 <sup>*2</sup>	主要材料		-	STKR400, SS400	個数		-	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )	中間	mm	90( )	外側	mm	10( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付 箇所	系統名(ライン名)		-	設置床		燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号		- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ		- <sup>*2</sup>		
名称		燃料集合体洗浄装置 (PA0152-M-10000)																																																																													
種類	-	空素ガス吹きつけ方式																																																																													
核的制限値 <sup>*1</sup>	燃料集合体取扱体数	体	1																																																																												
臨界 管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																																												
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																																												
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																												
主要 寸法	たて	mm	1500 <sup>*2</sup>																																																																												
	横	mm	1400 <sup>*2</sup>																																																																												
	高さ	mm	4952 <sup>*2</sup>																																																																												
主要材料		-	STKR400, SS400																																																																												
個数		-	1																																																																												
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )																																																																										
			中間	mm	90( )																																																																										
			外側	mm	10( )																																																																										
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																											
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																											
外側	-	SUS304																																																																													
取付 箇所	系統名(ライン名)		-																																																																												
	設置床		燃料集合体洗浄検査室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																												
	溢水防護上の区画番号		- <sup>*2</sup>																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		- <sup>*2</sup>																																																																												

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																				
<p>c. 燃料集合体検査設備</p> <p>(a) 燃料集合体第1検査装置</p> <p>i. 設置場所 燃料集合体洗淨検査室</p> <p>ii. 個数 1台</p>  <p>(b) 燃料集合体第2検査装置</p> <p>i. 設置場所 燃料集合体洗淨検査室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<p>c. 燃料集合体検査設備</p> <p>(a) 燃料集合体第1検査装置</p> <p>i. 設置場所 燃料集合体洗淨検査室</p> <p>ii. 個数 1台</p>  <p>(b) 燃料集合体第2検査装置</p> <p>i. 設置場所 燃料集合体洗淨検査室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<p>1.1.3 燃料集合体検査設備</p> <p>(1) 機械装置</p> <p>a. 機械・検査装置</p> <table border="1" data-bbox="1516 352 2119 1024"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体第1検査装置 (PA0153-M-10000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td>センサ計測方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界 管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2400<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2690<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5552<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td>-</td> <td>SS400, SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>3( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>90( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>10( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体第1検査ユニット)を設定する。  </p> <table border="1" data-bbox="1516 1115 2119 1787"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体第2検査装置 (PA0153-M-30000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td>遠隔目視検査方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界 管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1950<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5536<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td>-</td> <td>STKR400, SS400, SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>3( )</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>90( )</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>10( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度 0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体第2検査ユニット)を設定する。</p>	名称		燃料集合体第1検査装置 (PA0153-M-10000)		種類		-	センサ計測方式	臨界 管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要 寸法	たて	mm	2400 <sup>*1</sup>	横	mm	2690 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5552 <sup>*1</sup>	主要材料		-	SS400, SUS304	個数			1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )	中間	mm	90( )	外側	mm	10( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	名称		燃料集合体第2検査装置 (PA0153-M-30000)		種類		-	遠隔目視検査方式	臨界 管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要 寸法	たて	mm	1670 <sup>*1</sup>	横	mm	1950 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5536 <sup>*1</sup>	主要材料		-	STKR400, SS400, SUS304	個数			1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )	中間	mm	90( )	外側	mm	10( )	主要材料	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>		
名称		燃料集合体第1検査装置 (PA0153-M-10000)																																																																																																																																																						
種類		-	センサ計測方式																																																																																																																																																					
臨界 管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1																																																																																																																																																					
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																																																																																																																					
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																																																																																																																					
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																																																																																					
主要 寸法	たて	mm	2400 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
	横	mm	2690 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
	高さ	mm	5552 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
主要材料		-	SS400, SUS304																																																																																																																																																					
個数			1																																																																																																																																																					
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )																																																																																																																																																			
			中間	mm	90( )																																																																																																																																																			
			外側	mm	10( )																																																																																																																																																			
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																																																																																				
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																																				
		外側	-	SUS304																																																																																																																																																				
取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																																																																					
	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																																																					
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																					
名称		燃料集合体第2検査装置 (PA0153-M-30000)																																																																																																																																																						
種類		-	遠隔目視検査方式																																																																																																																																																					
臨界 管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1																																																																																																																																																					
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																																																																																																																					
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																																																																																																																					
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																																																																																					
主要 寸法	たて	mm	1670 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
	横	mm	1950 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
	高さ	mm	5536 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																					
主要材料		-	STKR400, SS400, SUS304																																																																																																																																																					
個数			1																																																																																																																																																					
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	mm	3( )																																																																																																																																																			
			中間	mm	90( )																																																																																																																																																			
			外側	mm	10( )																																																																																																																																																			
	主要材料	内側	-	SUS304																																																																																																																																																				
		中間	-	ポリエチレン (密度 0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																																				
		外側	-	SUS304																																																																																																																																																				
取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																																																																					
	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																																																					
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																					



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
(c) <u>燃料集合体仮置台</u> i. 設置場所 <u>燃料集合体洗淨検査室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	(c) <u>燃料集合体仮置台</u> i. 設置場所 <u>燃料集合体洗淨検査室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体仮置台 (PA0153-M-50000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td>-</td> <td>置台方式</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1350<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1430<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5522<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>STKR400, SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">注記</td> <td colspan="2">*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体仮置ユニット)を設定する。</td> </tr> </tbody> </table>	名称		燃料集合体仮置台 (PA0153-M-50000)		種類		-	置台方式	臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要寸法	たて	mm	1350 <sup>*1</sup>	横	mm	1430 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5522 <sup>*1</sup>	主要材料		-	STKR400, SS400	個数		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	注記		*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体仮置ユニット)を設定する。			
名称		燃料集合体仮置台 (PA0153-M-50000)																																																											
種類		-	置台方式																																																										
臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1																																																										
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																										
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																										
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																										
主要寸法	たて	mm	1350 <sup>*1</sup>																																																										
	横	mm	1430 <sup>*1</sup>																																																										
	高さ	mm	5522 <sup>*1</sup>																																																										
主要材料		-	STKR400, SS400																																																										
個数		-	1																																																										
系統名(ライン名)		-	-																																																										
取付箇所	設置床	-	燃料集合体洗淨検査室 T. M. S. L. 43. 20m																																																										
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																										
	注記		*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体仮置ユニット)を設定する。																																																										
(d) <u>燃料集合体立会検査装置</u> i. 設置場所 <u>梱包室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	(d) <u>燃料集合体立会検査装置</u> i. 設置場所 <u>梱包室</u> ii. 個数 <u>1台</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体立会検査装置 (PA0153-M-40000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td>-</td> <td>センサ計測方式、 遠隔目視検査方式</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2400<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2690<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5552<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>SS400, SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>梱包室 T. M. S. L. 50. 30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">注記</td> <td colspan="2">*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体立会検査ユニット)を設定する。</td> </tr> </tbody> </table>	名称		燃料集合体立会検査装置 (PA0153-M-40000)		種類		-	センサ計測方式、 遠隔目視検査方式	臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要寸法	たて	mm	2400 <sup>*1</sup>	横	mm	2690 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5552 <sup>*1</sup>	主要材料		-	SS400, SUS304	個数		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	梱包室 T. M. S. L. 50. 30m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	注記		*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体立会検査ユニット)を設定する。			
名称		燃料集合体立会検査装置 (PA0153-M-40000)																																																											
種類		-	センサ計測方式、 遠隔目視検査方式																																																										
臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1																																																										
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																										
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																										
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																										
主要寸法	たて	mm	2400 <sup>*1</sup>																																																										
	横	mm	2690 <sup>*1</sup>																																																										
	高さ	mm	5552 <sup>*1</sup>																																																										
主要材料		-	SS400, SUS304																																																										
個数		-	1																																																										
系統名(ライン名)		-	-																																																										
取付箇所	設置床	-	梱包室 T. M. S. L. 50. 30m																																																										
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																										
	注記		*1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対策でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料集合体立会検査ユニット)を設定する。																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
d. 燃料集合体組立工程搬送設備 (a) 組立クレーン i. 設置場所 燃料集合体組立クレーン室 ii. 個数 1台	d. 燃料集合体組立工程搬送設備 (a) 組立クレーン i. 設置場所 燃料集合体組立クレーン室 ii. 個数 1台	1. 設計条件及び仕様 1.1 燃料集合体組立工程 1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備 (1) 搬送設備 <table border="1" data-bbox="1519 380 2122 972"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td>組立クレーン (PA0154-M-10000)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>*2</sup></td> <td>床上走行式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>*11</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm, 305以上<sup>*12</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量<sup>*8</sup></td> <td>t, 1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法<sup>*3</sup></td> <td>走行レール間距離</td> <td>mm, 8000<sup>*1</sup></td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm, 3016<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm, 5744<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm, 580<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料<sup>*6</sup></td> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm, 740<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガード</td> <td>- , SS400<sup>*7</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*9</sup></td> <td>- , 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>- , -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所<sup>*5</sup></td> <td>設置床</td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 49. 10m<sup>*12</sup></td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 50. 30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>- , -<sup>*10</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>- , -<sup>*10</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位:mm)」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「鋼材」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。                      *11: 本装置に単一ユニット(組立クレーンユニット)を設定する。                      *12: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>*2</sup>		組立クレーン (PA0154-M-10000)		種類 <sup>*2</sup>		床上走行式		臨界管理	核的制限値 <sup>*11</sup> 燃料集合体取扱体数	1		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm, 305以上 <sup>*12</sup>		容量 <sup>*8</sup>		t, 1.2		主要寸法 <sup>*3</sup>	走行レール間距離	mm, 8000 <sup>*1</sup>	変更なし	クレーン本体ガード距離	mm, 3016 <sup>*1</sup>	高さ	mm, 5744 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード幅	mm, 580 <sup>*1</sup>	主要材料 <sup>*6</sup>	クレーン本体ガード高さ	mm, 740 <sup>*1</sup>		ガード	- , SS400 <sup>*7</sup>		個数 <sup>*9</sup>		- , 1		系統名(ライン名)		- , -		取付箇所 <sup>*5</sup>	設置床	燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 49. 10m <sup>*12</sup>	燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 50. 30m	溢水防護上の区画番号	- , - <sup>*10</sup>		溢水防護上の配管が必要な高さ	- , - <sup>*10</sup>	変更なし		
		変更前	変更後																																																											
名称 <sup>*2</sup>		組立クレーン (PA0154-M-10000)																																																												
種類 <sup>*2</sup>		床上走行式																																																												
臨界管理	核的制限値 <sup>*11</sup> 燃料集合体取扱体数	1																																																												
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm, 305以上 <sup>*12</sup>																																																												
容量 <sup>*8</sup>		t, 1.2																																																												
主要寸法 <sup>*3</sup>	走行レール間距離	mm, 8000 <sup>*1</sup>	変更なし																																																											
	クレーン本体ガード距離	mm, 3016 <sup>*1</sup>																																																												
	高さ	mm, 5744 <sup>*1</sup>																																																												
	クレーン本体ガード幅	mm, 580 <sup>*1</sup>																																																												
主要材料 <sup>*6</sup>	クレーン本体ガード高さ	mm, 740 <sup>*1</sup>																																																												
	ガード	- , SS400 <sup>*7</sup>																																																												
個数 <sup>*9</sup>		- , 1																																																												
系統名(ライン名)		- , -																																																												
取付箇所 <sup>*5</sup>	設置床	燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 49. 10m <sup>*12</sup>	燃料集合体組立クレーン室 T. M. S. L. 50. 30m																																																											
	溢水防護上の区画番号	- , - <sup>*10</sup>																																																												
	溢水防護上の配管が必要な高さ	- , - <sup>*10</sup>	変更なし																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																
<p>(b) <u>リフタ</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第2室及びリフタ室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p> <p>ハ.(ホ)(2)①-2-1 <u>燃料集合体組立工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</u></p>	<p>(b) <u>リフタ</u></p> <p>i. 設置場所 <u>燃料集合体組立第2室及びリフタ室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>	<p>1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備</p> <p>(1) 搬送設備</p> <table border="1" data-bbox="1516 327 2119 1066"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">リフタ (PA0154-M-20000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">リフタ方式</td> </tr> <tr> <td>核的率限値<sup>※1</sup></td> <td>燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界管理</td> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離</td> <td>mm</td> <td>1000以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td>水平移送装置</td> <td>kg</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">水平移送装置</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>8333<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1350<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1735<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">昇降装置</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2105<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1995<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>7935<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>水平移送装置</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>昇降装置</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設置床</td> <td>-</td> <td colspan="2">燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43.20m</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td colspan="2">リフタ室 T. M. S. L. 50.30m</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td colspan="2">-<sup>※3</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td colspan="2">-<sup>※3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。          *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。          *3: 本装置に単一ユニット(リフトユニット)を設定する。</p>	名称		リフタ (PA0154-M-20000)		種類	-	リフタ方式		核的率限値 <sup>※1</sup>	燃料集合体取扱体数	体	1	臨界管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	水平移送装置	kg	700	主要寸法	水平移送装置	たて	mm	8333 <sup>※2</sup>	横	mm	1350 <sup>※2</sup>	高さ	mm	1735 <sup>※2</sup>	昇降装置	たて	mm	2105 <sup>※2</sup>	横	mm	1995 <sup>※2</sup>	高さ	mm	7935 <sup>※2</sup>	主要材料	水平移送装置	-	SS400, STKR400	昇降装置	-	SS400, STKR400	個数	-	1		取付箇所	系統名(ライン名)	-	-		設置床	-	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43.20m		-	リフタ室 T. M. S. L. 50.30m		-	-		溢水防護上の区画番号	-	- <sup>※3</sup>		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>※3</sup>		<p>事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(2)①-2-1は、設工認の「V-2-4 配置図」に示しており整合している。</p>	
名称		リフタ (PA0154-M-20000)																																																																																		
種類	-	リフタ方式																																																																																		
核的率限値 <sup>※1</sup>	燃料集合体取扱体数	体	1																																																																																	
臨界管理	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	500以上																																																																																	
	燃料集合体取扱中心から設置する室の壁までの距離	mm	1000以上																																																																																	
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																	
	水平移送装置	kg	700																																																																																	
主要寸法	水平移送装置	たて	mm	8333 <sup>※2</sup>																																																																																
		横	mm	1350 <sup>※2</sup>																																																																																
		高さ	mm	1735 <sup>※2</sup>																																																																																
	昇降装置	たて	mm	2105 <sup>※2</sup>																																																																																
		横	mm	1995 <sup>※2</sup>																																																																																
		高さ	mm	7935 <sup>※2</sup>																																																																																
主要材料	水平移送装置	-	SS400, STKR400																																																																																	
	昇降装置	-	SS400, STKR400																																																																																	
個数	-	1																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																	
	設置床	-	燃料集合体組立第2室 T. M. S. L. 43.20m																																																																																	
		-	リフタ室 T. M. S. L. 50.30m																																																																																	
		-	-																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>※3</sup>																																																																																	
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>※3</sup>																																																																																		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																								
<p>② 梱包出荷工程</p> <p>a. 梱包・出荷設備</p> <p>(a) 貯蔵梱包クレーン</p> <p>i. 設置場所 貯蔵梱包クレーン室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>(b) 燃料ホルダ取付装置</p> <p>i. 設置場所 梱包室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<p>(2) 梱包出荷工程 ＜中略＞</p> <p>⑥ 梱包出荷工程の主要設備の仕様</p> <p>a. 梱包・出荷設備</p> <p>(a) 貯蔵梱包クレーン</p> <p>i. 設置場所 貯蔵梱包クレーン室</p> <p>ii. 個数 1台</p> <p>(b) 燃料ホルダ取付装置</p> <p>i. 設置場所 梱包室</p> <p>ii. 個数 1台</p>	<p>1.2 梱包出荷工程</p> <p>1.2.1 梱包・出荷設備</p> <p>(1) 搬送設備</p> <table border="1" data-bbox="1516 352 2119 846"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">貯蔵梱包クレーン (PA0156-M-70000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">床上走行式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>t</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>走行レール間距離</td> <td>mm</td> <td>10340<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td>3616<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>8207<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td>580<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td>1000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>ガード</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 56. 80m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(貯蔵梱包クレーンユニット)を設定する。</p> <p>(2) 機械装置</p> <p>a. 機械・検査装置</p> <table border="1" data-bbox="1516 1035 2119 1476"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料ホルダ取付装置 (PA0156-M-20000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">傾斜装置方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値<sup>*1</sup> BWR燃料集合体</td> <td>体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2060<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1873<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5405<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td colspan="2">STKR400, SS400, SNCH439</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>梱包室 T. M. S. L. 50. 80m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *3: 本装置に単一ユニット(燃料ホルダ取付ユニット)を設定する。</p>	名称		貯蔵梱包クレーン (PA0156-M-70000)		種類		床上走行式		臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	305以上	容量		t	1.2	主要寸法	走行レール間距離	mm	10340 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード距離	mm	3616 <sup>*1</sup>	高さ	mm	8207 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード幅	mm	580 <sup>*1</sup>	主要材料	クレーン本体ガード高さ	mm	1000 <sup>*1</sup>	ガード	-	SS400	個数		1		系統名(ライン名)		-		取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 56. 80m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	名称		燃料ホルダ取付装置 (PA0156-M-20000)		種類		傾斜装置方式		臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> BWR燃料集合体	体	1	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上	主要寸法	たて	mm	2060 <sup>*1</sup>	横	mm	1873 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5405 <sup>*1</sup>	主要材料		STKR400, SS400, SNCH439		個数		1		系統名(ライン名)		-		取付箇所	設置床	-	梱包室 T. M. S. L. 50. 80m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>		
名称		貯蔵梱包クレーン (PA0156-M-70000)																																																																																																										
種類		床上走行式																																																																																																										
臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> 燃料集合体取扱体数	体	1																																																																																																									
	他の単一ユニットとの燃料集合体取扱中心間距離	mm	305以上																																																																																																									
容量		t	1.2																																																																																																									
主要寸法	走行レール間距離	mm	10340 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	クレーン本体ガード距離	mm	3616 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	高さ	mm	8207 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	クレーン本体ガード幅	mm	580 <sup>*1</sup>																																																																																																									
主要材料	クレーン本体ガード高さ	mm	1000 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	ガード	-	SS400																																																																																																									
個数		1																																																																																																										
系統名(ライン名)		-																																																																																																										
取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室 T. M. S. L. 56. 80m																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																									
名称		燃料ホルダ取付装置 (PA0156-M-20000)																																																																																																										
種類		傾斜装置方式																																																																																																										
臨界管理	核的制限値 <sup>*1</sup> BWR燃料集合体	体	1																																																																																																									
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上																																																																																																									
主要寸法	たて	mm	2060 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	横	mm	1873 <sup>*1</sup>																																																																																																									
	高さ	mm	5405 <sup>*1</sup>																																																																																																									
主要材料		STKR400, SS400, SNCH439																																																																																																										
個数		1																																																																																																										
系統名(ライン名)		-																																																																																																										
取付箇所	設置床	-	梱包室 T. M. S. L. 50. 80m																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																							
<p>(c) <u>容器蓋取付装置</u> i. 設置場所 <u>梱包室及び貯蔵梱包クレーン室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p> <p>(d) <u>梱包天井クレーン</u> i. 設置場所 <u>貯蔵梱包クレーン室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p> <p>(e) <u>容器移載装置</u> i. 設置場所 <u>貯蔵梱包クレーン室及び輸送容器検査室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p>	<p>(c) <u>容器蓋取付装置</u> i. 設置場所 <u>梱包室及び貯蔵梱包クレーン室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p> <p>(d) <u>梱包天井クレーン</u> i. 設置場所 <u>貯蔵梱包クレーン室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p> <p>(e) <u>容器移載装置</u> i. 設置場所 <u>貯蔵梱包クレーン室及び輸送容器検査室</u> ii. 個数 <u>1台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">容器蓋取付装置 (PA0156-M-30000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>縦置き式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">輸送容器固定機</td> <td>たて</td> <td>mm 4560<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 2360<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 460<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">輸送容器置台-1</td> <td>外径</td> <td>mm φ2000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 2527<sup>*1</sup>(PWR用) 2235<sup>*1</sup>(BWR用)</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 2527<sup>*1</sup>(PWR用) 2235<sup>*1</sup>(BWR用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>輸送容器固定機</td> <td>-</td> <td>SS400, STR400</td> </tr> <tr> <td>輸送容器置台-1</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>輸送容器置台-2</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>梱包室 T.M.S.L.50.30m 貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.56.80m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>注記</td> <td colspan="2">*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">梱包天井クレーン (PA0156-M-50000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>天井走行式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>容量</td> <td>t</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>走行レール間距離</td> <td>mm</td> <td>10370<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td>3850<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1889<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td>650<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td>1400<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ガード</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.70.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>注記</td> <td colspan="2">*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">容器移載装置 (PA0156-M-40000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>電動式有軌道台車</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>容量</td> <td>t</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>8038<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1100<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>貯蔵梱包クレーン室及び 輸送容器検査室 T.M.S.L.56.80m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>注記</td> <td colspan="2">*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</td> </tr> </tbody> </table>	名称		容器蓋取付装置 (PA0156-M-30000)		種類	-	縦置き式		主要寸法	輸送容器固定機	たて	mm 4560 <sup>*1</sup>	横	mm 2360 <sup>*1</sup>	高さ	mm 460 <sup>*1</sup>	輸送容器置台-1	外径	mm φ2000 <sup>*1</sup>	高さ	mm 2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)	高さ	mm 2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)	主要材料	輸送容器固定機	-	SS400, STR400	輸送容器置台-1	-	SS400	輸送容器置台-2	-	SS400	個数		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	梱包室 T.M.S.L.50.30m 貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.56.80m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。		名称		梱包天井クレーン (PA0156-M-50000)		種類	-	天井走行式		主要寸法	容量	t	35	走行レール間距離	mm	10370 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード距離	mm	3850 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1889 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード幅	mm	650 <sup>*1</sup>	クレーン本体ガード高さ	mm	1400 <sup>*1</sup>	主要材料	ガード	-	SS400	個数	-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.70.20m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。		名称		容器移載装置 (PA0156-M-40000)		種類	-	電動式有軌道台車		主要寸法	容量	t	33	たて	mm	3000 <sup>*1</sup>	横	mm	8038 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1100 <sup>*1</sup>	主要材料	-	SS400		個数		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室及び 輸送容器検査室 T.M.S.L.56.80m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。			
名称		容器蓋取付装置 (PA0156-M-30000)																																																																																																																																																									
種類	-	縦置き式																																																																																																																																																									
主要寸法	輸送容器固定機	たて	mm 4560 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
		横	mm 2360 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
		高さ	mm 460 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	輸送容器置台-1	外径	mm φ2000 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
		高さ	mm 2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)																																																																																																																																																								
		高さ	mm 2527 <sup>*1</sup> (PWR用) 2235 <sup>*1</sup> (BWR用)																																																																																																																																																								
主要材料	輸送容器固定機	-	SS400, STR400																																																																																																																																																								
	輸送容器置台-1	-	SS400																																																																																																																																																								
	輸送容器置台-2	-	SS400																																																																																																																																																								
個数		-	1																																																																																																																																																								
系統名(ライン名)		-	-																																																																																																																																																								
取付箇所	設置床	-	梱包室 T.M.S.L.50.30m 貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.56.80m																																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。																																																																																																																																																									
名称		梱包天井クレーン (PA0156-M-50000)																																																																																																																																																									
種類	-	天井走行式																																																																																																																																																									
主要寸法	容量	t	35																																																																																																																																																								
	走行レール間距離	mm	10370 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	クレーン本体ガード距離	mm	3850 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	高さ	mm	1889 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	クレーン本体ガード幅	mm	650 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	クレーン本体ガード高さ	mm	1400 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
主要材料	ガード	-	SS400																																																																																																																																																								
	個数	-	1																																																																																																																																																								
系統名(ライン名)		-	-																																																																																																																																																								
取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室 T.M.S.L.70.20m																																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。																																																																																																																																																									
名称		容器移載装置 (PA0156-M-40000)																																																																																																																																																									
種類	-	電動式有軌道台車																																																																																																																																																									
主要寸法	容量	t	33																																																																																																																																																								
	たて	mm	3000 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
	横	mm	8038 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																								
高さ	mm	1100 <sup>*1</sup>																																																																																																																																																									
主要材料	-	SS400																																																																																																																																																									
個数		-	1																																																																																																																																																								
系統名(ライン名)		-	-																																																																																																																																																								
取付箇所	設置床	-	貯蔵梱包クレーン室及び 輸送容器検査室 T.M.S.L.56.80m																																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																																																																																								
	注記	*1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。																																																																																																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																	
<p>(f) <u>保管室天井クレーン</u></p> <p>i. 設置場所 <u>輸送容器保管室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p> <p><u>ハ.(ホ)(2)②-2-1</u> 梱包出荷工程の主要な設備・機器の配置図を第5図に示す。</p> <p>(3) 処理する核燃料物質の種類及び最大処理能力</p> <p>① 核燃料物質の種類</p> <p>a. <u>ハ.(ホ)(3)①a. MOX</u> <u>プルトニウム富化度 18%以下</u></p>	<p>(f) <u>保管室天井クレーン</u></p> <p>i. 設置場所 <u>輸送容器保管室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1台</u></p>	<table border="1" data-bbox="1546 285 2089 751"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">保管室天井クレーン (PA0158-M-80000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">天井走行式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>t</td> <td colspan="2">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>走行レール間距離</td> <td>mm</td> <td>16620*1</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td>4250*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1992*1</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td>550*1</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td>1400*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ガード</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">価格</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>輸送容器保管室 T.W.S.L.70.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。</p> <p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p>1.1.4 組立施設の臨界防止</p> <p>1.1.4.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p style="text-align: center;">各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1525 1318 2133 1654"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体</td> <td>BWR燃料集合体</td> <td>11%以下*2</td> <td>6.1%以下*2</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="2">1体</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料集合体</td> <td>14%以下*2</td> <td>9.1%以下*2</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:ウラン中のウラン-235含有率を示す。 *2:燃料集合体平均(燃料集合体中のMOX燃料棒の平均)</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p>	名称		保管室天井クレーン (PA0158-M-80000)		種類	-	天井走行式		容量	t	40		主要寸法	走行レール間距離	mm	16620*1	クレーン本体ガード距離	mm	4250*1	高さ	mm	1992*1	クレーン本体ガード幅	mm	550*1	クレーン本体ガード高さ	mm	1400*1	主要材料	ガード	-	SS400	価格		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	輸送容器保管室 T.W.S.L.70.20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2	取扱単位	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下	組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下	燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下*2	6.1%以下*2	0.1%以下	1体	PWR燃料集合体	14%以下*2	9.1%以下*2	0.1%以下	<p>事業変更許可申請書(本文)の<u>ハ.(ホ)(2)②-2-1</u>は、設工認の「V-2-4 配置図」に示しており整合している。</p>	
名称		保管室天井クレーン (PA0158-M-80000)																																																																																																			
種類	-	天井走行式																																																																																																			
容量	t	40																																																																																																			
主要寸法	走行レール間距離	mm	16620*1																																																																																																		
	クレーン本体ガード距離	mm	4250*1																																																																																																		
	高さ	mm	1992*1																																																																																																		
	クレーン本体ガード幅	mm	550*1																																																																																																		
	クレーン本体ガード高さ	mm	1400*1																																																																																																		
主要材料	ガード	-	SS400																																																																																																		
価格		-	1																																																																																																		
系統名(ライン名)		-	-																																																																																																		
取付箇所	設置床	-	輸送容器保管室 T.W.S.L.70.20m																																																																																																		
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																																																		
取扱単位	形態	設定条件			核的制限値																																																																																																
		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																																																	
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																																
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																																	
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下																																																																																																	
組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																																
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																																	
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下																																																																																																	
燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下*2	6.1%以下*2	0.1%以下	1体																																																																																																
	PWR燃料集合体	14%以下*2	9.1%以下*2	0.1%以下																																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																															
<p>プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率 17%以上</p> <p>ウラン中のウラン-235 含有率 1.6%以下</p> <p>b. ウラン酸化物 ウラン中のウラン-235 含有率 天然ウラン中の含有率以下</p> <p>ハ.(ホ)(3)①b. ウラン燃料棒として5%以下</p> <p>② 最大処理能力 218t・HM/年</p>	<p>ハ.(ホ)(3)①b.</p>	<p>1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計 &lt;中略&gt;</p> <p>(1) 臨界管理の対象とする核燃料物質 MOX 燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は、プルトニウム富化度 60%以下、<u>プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率 17%以上</u>及び<u>ウラン中のウラン-235 含有率 1.6%以下</u>のハ.(ホ)(3)①a.ウラン・プルトニウム混合酸化物、</p> <p>ウラン中のウラン-235 含有率 5%以下の濃縮ウラン、天然ウラン、劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり、このうちウラン・プルトニウム混合酸化物、濃縮ウラン、標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器に対して単一ユニット、複数ユニットを設定し、臨界管理を行う設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>1.1.4.1 単一ユニットの臨界安全設計 &lt;中略&gt;</p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1516 1129 2122 1465"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR 燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1 段</td> </tr> <tr> <td>FWR 燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立マガジン</td> <td>BWR 燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1 段</td> </tr> <tr> <td>FWR 燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>-</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体</td> <td>BWR 燃料集合体</td> <td>11%以下**</td> <td>6.1%以下**</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="2">1 体</td> </tr> <tr> <td>FWR 燃料集合体</td> <td>14%以下**</td> <td>9.1%以下**</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：ウラン中のウラン-235 含有率を示す。 *2：燃料集合体平均（燃料集合体中の MOX 燃料棒の平均） &lt;中略&gt;</p>	形態	取扱単位	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	貯蔵マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段	FWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下	組立マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段	FWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下	燃料集合体	BWR 燃料集合体	11%以下**	6.1%以下**	0.1%以下	1 体	FWR 燃料集合体	14%以下**	9.1%以下**	0.1%以下	<p>設工認のハ.(ホ)(3)①a.は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(3)①a.と同義であり整合している。</p> <p>設工認のハ.(ホ)(3)①b.は、事業変更許可申請書(本文)のハ.(ホ)(3)①b.と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けた「最大処理能力」は、本設工認の対象外である。</p>	
形態	取扱単位	設定条件			核的制限値																																														
		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																															
貯蔵マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段																																														
	FWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																															
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下																																															
組立マガジン	BWR 燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1 段																																														
	FWR 燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																															
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	-	0.1%以下																																															
燃料集合体	BWR 燃料集合体	11%以下**	6.1%以下**	0.1%以下	1 体																																														
	FWR 燃料集合体	14%以下**	9.1%以下**	0.1%以下																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																														
<p>(4) 主要な核的制限値</p> <p>① 単一ユニット</p> <p><u>組立施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように段数又は体数を設定する。</u></p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="225 703 834 1241"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下) (注1)</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下) (注1)</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体</td> <td>BWR燃料集合体</td> <td>11%以下 (注2)</td> <td>6.1%以下 (注2)</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="2">1体</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料集合体</td> <td>14%以下 (注2)</td> <td>9.1%以下 (注2)</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 <u>ウラン中のウラン-235含有率を示す。</u></p> <p>注2 <u>燃料集合体平均（燃料集合体中のMOX燃料棒の平均 以下同じ。）</u></p> <p>② 複数ユニット</p> <p><u>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定する。</u></p>	取扱単位	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下) (注1)	—	0.1%以下	組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下) (注1)	—	0.1%以下	燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下 (注2)	6.1%以下 (注2)	0.1%以下	1体	PWR燃料集合体	14%以下 (注2)	9.1%以下 (注2)	0.1%以下		<p>1.1.4 組立施設の臨界防止</p> <p>1.1.4.1 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p><u>組立施設の臨界管理のために、核燃料物質取扱い上の一つの単位となる単一ユニットを設定する。単一ユニットの核的制限値は、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように段数又は体数を設定する。</u></p> <p>各単一ユニットでの核燃料物質の取扱量は下表の核的制限値以下となるようにすることにより臨界を防止する設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1513 739 2122 1075"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム富化度</th> <th>核分裂性プルトニウム富化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">組立マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体</td> <td>BWR燃料集合体</td> <td>11%以下*2</td> <td>6.1%以下*2</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="2">1体</td> </tr> <tr> <td>PWR燃料集合体</td> <td>14%以下*2</td> <td>9.1%以下*2</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：<u>ウラン中のウラン-235含有率を示す。</u></p> <p>*2：<u>燃料集合体平均（燃料集合体中のMOX燃料棒の平均）</u></p> <p>1.1.4.2 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p><u>複数ユニットは、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードで中性子実効増倍率が0.95以下となるように単一ユニットの配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。</u></p>	取扱単位	形態	設定条件			核的制限値	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下	組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下	燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下*2	6.1%以下*2	0.1%以下	1体	PWR燃料集合体	14%以下*2	9.1%以下*2	0.1%以下		
取扱単位			形態	設定条件			核的制限値																																																																																											
	プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度		含水率																																																																																														
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																													
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																														
	ウラン燃料棒	(5%以下) (注1)	—	0.1%以下																																																																																														
組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																													
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																														
	ウラン燃料棒	(5%以下) (注1)	—	0.1%以下																																																																																														
燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下 (注2)	6.1%以下 (注2)	0.1%以下	1体																																																																																													
	PWR燃料集合体	14%以下 (注2)	9.1%以下 (注2)	0.1%以下																																																																																														
取扱単位	形態	設定条件			核的制限値																																																																																													
		プルトニウム富化度	核分裂性プルトニウム富化度	含水率																																																																																														
貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																													
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																														
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下																																																																																														
組立マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																													
	PWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																														
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下																																																																																														
燃料集合体	BWR燃料集合体	11%以下*2	6.1%以下*2	0.1%以下	1体																																																																																													
	PWR燃料集合体	14%以下*2	9.1%以下*2	0.1%以下																																																																																														



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ニ. 核燃料物質の貯蔵施設の構造及び設備 (イ) 施設の種類の種類 貯蔵施設は、原料粉末を受け入れてから成形、被覆、組立を経て燃料集合体とするまでの各工程間の貯蔵及び燃料集合体出荷までの貯蔵を行う二.(イ)-①施設であり、燃料加工建屋に収納する。</p> <p>燃料加工建屋の主要構造は「ハ.(ハ)成型施設(1) 施設の種類の種類」に示す。</p> <p>なお、ウラン燃料棒は外部より受け入れ貯蔵する。</p> <p>貯蔵施設は、各工程における核燃料物質の形態に応じて貯蔵するために、必要な容量を有する設計とする。</p>	<p>適合のための設計方針 第一号について ウラン貯蔵設備及び燃料集合体貯蔵設備の貯蔵容量は、原料ウラン粉末及び燃料集合体それぞれの輸送を考慮し、MOX燃料加工施設の年間最大処理能力130 t・HMに対し、必要な容量を有する設計とする。また、各工程間の一時保管設備及び貯蔵設備は、次工程への払出しまでに必要な検査等を考慮し、円滑な運転ができる容量を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 4. 核燃料物質の貯蔵施設 核燃料物質の貯蔵施設の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1.核燃料物質の臨界防止」、「3.自然現象等」、「4.閉じ込めの機能」、「5.火災等による損傷の防止」、「6.加工施設内における溢水による損傷の防止」、「7.遮蔽」及び「8.設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>MOX燃料加工施設は、核燃料物質を貯蔵するために必要な容量を有する貯蔵容器一時保管設備、燃料集合体貯蔵設備等の貯蔵施設を設ける設計とする。</p> <p>また、燃料集合体貯蔵設備等は、建屋排気設備又はグローブボックス排気設備で換気することにより崩壊熱を適切に除去する設計とする。</p> <p>なお、換気設備に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2換気設備」に示す。</p> <p>貯蔵施設は、原料粉末を受け入れてから成形、被覆、組立を経て燃料集合体とするまでの各工程間の貯蔵及び燃料集合体出荷までの貯蔵を行う二.(イ)-①設計とする。</p> <p>貯蔵施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(8) 燃料棒貯蔵設備 &lt;中略&gt; なお、ウラン燃料棒は外部より受け入れ貯蔵する。</p> <p>貯蔵施設は、各工程における核燃料物質の形態に応じて貯蔵するために、必要な容量を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の二.(イ)-①は、事業変更許可申請書(本文)の二.(イ)-①と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)「ハ.(ハ)成型施設(1)施設の種類の種類」に示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>二.(イ)-2-①また、貯蔵施設は、MOXの形態に応じて、臨界防止、</p> <p>二.(イ)-2-②遮蔽及び</p>	<p>(ロ) 設計方針</p> <p>(1) 臨界安全 貯蔵施設の臨界安全管理を要する機器は、技術的にみて想定されるいかなる場合でも、単一ユニットとして臨界を防止できる設計とする。</p> <p>また、各単一ユニットは、適切に配置することにより、複数ユニットとして臨界を防止できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>1. 核燃料物質の臨界防止</p> <p>1.1 安全機能を有する施設の臨界防止</p> <p>1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 単一ユニットの臨界安全設計</p> <p>二.(イ)-2-①核燃料物質の取扱い上の一つの単位を単一ユニットとし、これに、核的制限値(臨界管理を行う体系の未臨界確保のために設定する値)を設定する。単一ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、形状寸法、質量、減速材、同位体組成、プルトニウム富化度等の制限及び中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せによって核的に制限することにより臨界を防止する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(3) 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p>二.(イ)-2-①二つ以上の単一ユニットが存在する複数ユニットについては、技術的にみて想定されるいかなる場合でも臨界を防止するために、核的に安全な配置とした単一ユニット相互の間隔の維持及び単一ユニット相互間における中性子吸収材の使用並びにこれらの組合せにより、最も厳しい状態においても臨界に達しない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7. 遮蔽</p> <p>二.(イ)-2-②安全機能を有する施設は、周辺監視区域外の線量及び放射線業務従事者の被ばく線量が、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」(以下「線量告示」という。)に定められた線量限度を超えないことはもとより、公衆の被ばく線量及び放射線業務従事者が立ち入る場所における線量を合理的に達成できる限り低くするため、以下の遮蔽等の対策を講ずる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の二.(イ)-2-①は、事業変更許可申請書(本文)の二.(イ)-2-①を詳細に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>二.(イ)-2-③閉じ込め機能の安全機能を確保する設計とする。</p> <p>再処理施設の混合酸化物貯蔵容器及び粉末缶は、再処理施設と共用する。共用する混合酸化物貯蔵容器及び粉末缶は、共用によってMOX燃料加工施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>(3) 閉じ込め</p> <p>貯蔵容器一時保管設備は、MOX粉末充てん済みの粉末缶を混合酸化物貯蔵容器に封入することにより、閉じ込め機能を確保できる設計とする。</p> <p>また、非密封のMOXを取り扱う貯蔵施設は、作業環境中にMOXが飛散又は漏えいすることのないように、給排気口を除き密閉できるグローブボックスに収納する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>4. 閉じ込めの機能</p> <p>4.1 閉じ込め</p> <p>(1) 閉じ込めに係る基本方針</p> <p>二.(イ)-2-③安全機能を有する施設は、放射性物質を限定された区域に適切に閉じ込める設計とする。</p> <p>二.(イ)-2-③核燃料物質及び核燃料物質によって汚染された物(以下「核燃料物質等」という。)は、混合酸化物貯蔵容器、燃料棒等に封入した状態で取り扱うか、MOX粉末、グリーンペレット、ペレットについてはグローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する焼結炉、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置(以下「グローブボックス等」という。)で、ウラン粉末は取扱量、取扱形態に応じてグローブボックス又はオープンポートボックスで、放射性廃棄物のサンプリング試料等の汚染のおそれのある物品はフードで取り扱う設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>設工認の二.(イ)-③は、事業変更許可申請書(本文)の二.(イ)-③を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																			
<p>(ロ) 主要な設備及び機器の種類及び個数                      (1) 貯蔵施設                      ① 貯蔵容器一時保管設備                      a. 一時保管ピット                      (a) 設置場所                      貯蔵容器一時保管室                      (b) 個数                      1台                      (c) 貯蔵容量                      32ピット<sup>(注1)</sup>                      (注1) 二.(ロ)(1)①a.(c) 1ピット当たり混合酸化物貯蔵容器1体</p> <p>b. 混合酸化物貯蔵容器 (再処理施設と共用)                      (a) 個数                      1式                      (b) 主要な構成材                      ステンレス鋼                      (c) 容量                      粉末缶3缶/貯蔵容器                      c. 容器(粉末缶) (再処理施設と共用)                      (a) 個数                      1式</p>	<p>(へ) 核燃料物質の貯蔵施設の主要設備の仕様                      (1) 貯蔵容器一時保管設備                      ① 一時保管ピット                      a. 設置場所                      貯蔵容器一時保管室                      (b) 個数                      1台                      (c) 貯蔵容量                      32ピット<sup>(注1)</sup>                      (注1) 1ピット当たり混合酸化物貯蔵容器1体</p>	<p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称<sup>*2</sup></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類<sup>*3</sup></td> <td>縦置貯蔵方式<sup>*9</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">中心間距離(ピット間隔)<sup>*12</sup></td> <td>mm</td> <td>行方向600以上 列方向600以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>設置する室の壁・床・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>南壁 1300以上 北壁 1300以上 床 500以上 天井 100以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>容量<sup>*4</sup></td> <td>t・HM</td> <td>1.2(32ピット)</td> </tr> <tr> <td>主要寸法<sup>*5</sup></td> <td>mm</td> <td>たて 3070<sup>*1</sup> 横 6370<sup>*1</sup> 高さ 2010<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">中心間距離(ピット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向825<sup>*1*10</sup> 列方向825<sup>*1*10</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>*6</sup></td> <td></td> <td>SS400, SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*7</sup></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所<sup>*8</sup></td> <td>設置床</td> <td></td> <td>貯蔵容器一時保管室 T.M.S.L. 35.00m<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *9: 記載の適正化。既設工認では「床下保管方式」と記載。                      *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。                      *12: 貯蔵単位(混合酸化物貯蔵容器)の配列(4行×8列)を統的に安全な配置とする。</p> <p>二.(ロ)(1)①a.(c)                      今回の申請の対象範囲外</p>	名称 <sup>*2</sup>		変更前	変更後	種類 <sup>*3</sup>		縦置貯蔵方式 <sup>*9</sup>		中心間距離(ピット間隔) <sup>*12</sup>		mm	行方向600以上 列方向600以上	臨 界 管 理	設置する室の壁・床・天井までの距離	mm	南壁 1300以上 北壁 1300以上 床 500以上 天井 100以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上 <sup>*10</sup>	容量 <sup>*4</sup>	t・HM	1.2(32ピット)	主要寸法 <sup>*5</sup>	mm	たて 3070 <sup>*1</sup> 横 6370 <sup>*1</sup> 高さ 2010 <sup>*1</sup>	中心間距離(ピット間隔)		mm	行方向825 <sup>*1*10</sup> 列方向825 <sup>*1*10</sup>	主要材料 <sup>*6</sup>			SS400, SUS304	個数 <sup>*7</sup>			1	系統名(ライン名)			-	取 付 箇 所 <sup>*8</sup>	設置床		貯蔵容器一時保管室 T.M.S.L. 35.00m <sup>*10</sup>	溢水防護上の区画番号		- <sup>*11</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ		- <sup>*11</sup>	<p>設工認の二.(ロ)(1)①a.(c)は、事業変更許可申請書(本文)の二.(ロ)(1)①a.(c)と同義であり整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	
名称 <sup>*2</sup>		変更前	変更後																																																				
種類 <sup>*3</sup>		縦置貯蔵方式 <sup>*9</sup>																																																					
中心間距離(ピット間隔) <sup>*12</sup>		mm	行方向600以上 列方向600以上																																																				
臨 界 管 理	設置する室の壁・床・天井までの距離	mm	南壁 1300以上 北壁 1300以上 床 500以上 天井 100以上																																																				
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上 <sup>*10</sup>																																																				
	容量 <sup>*4</sup>	t・HM	1.2(32ピット)																																																				
	主要寸法 <sup>*5</sup>	mm	たて 3070 <sup>*1</sup> 横 6370 <sup>*1</sup> 高さ 2010 <sup>*1</sup>																																																				
中心間距離(ピット間隔)		mm	行方向825 <sup>*1*10</sup> 列方向825 <sup>*1*10</sup>																																																				
主要材料 <sup>*6</sup>			SS400, SUS304																																																				
個数 <sup>*7</sup>			1																																																				
系統名(ライン名)			-																																																				
取 付 箇 所 <sup>*8</sup>	設置床		貯蔵容器一時保管室 T.M.S.L. 35.00m <sup>*10</sup>																																																				
	溢水防護上の区画番号		- <sup>*11</sup>																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		- <sup>*11</sup>																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																			
<p>② 原料MOX粉末缶一時保管設備</p> <p>a. 原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス</p> <p>(a) 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>(b) 個数 1基</p> <p>(c) 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>(d) グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p>	<p>(2) 原料MOX粉末缶一時保管設備</p> <p>① 原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス</p> <p>a. 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>b. 個数 1基</p> <p>c. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>d. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p>	<p>③ 核物質等取扱ボックス</p> <table border="1" data-bbox="1528 352 2122 877"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率<sup>*2</sup></td> <td>μg/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速<sup>*3</sup></td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1200<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>5500<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3200<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>PA-1-08</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T. M. S. L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1：公称値を示す。</p> <p>*2：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。</p> <p>*3：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。</p> <p>*4：本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>	名称		原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス		種類	-	グローブボックス		漏れ率 <sup>*2</sup>	μg/h	0.25以下		開口部風速 <sup>*3</sup>	m/s	0.5以上		主要寸法	たて	mm	1200 <sup>*1</sup>	横	mm	5500 <sup>*1</sup>	高さ	mm	3200 <sup>*1</sup>	主要材料	本体	-	SUS304, SUS304TP	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂	個数	-	1		取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m	溢水防護上の区画番号	-	PA-1-08		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T. M. S. L. 35.00m以上		
名称		原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス																																																					
種類	-	グローブボックス																																																					
漏れ率 <sup>*2</sup>	μg/h	0.25以下																																																					
開口部風速 <sup>*3</sup>	m/s	0.5以上																																																					
主要寸法	たて	mm	1200 <sup>*1</sup>																																																				
	横	mm	5500 <sup>*1</sup>																																																				
	高さ	mm	3200 <sup>*1</sup>																																																				
主要材料	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																				
	窓板部	-	ポリカーボネート樹脂																																																				
個数	-	1																																																					
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																				
	設置床	-	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35.00m																																																				
	溢水防護上の区画番号	-	PA-1-08																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T. M. S. L. 35.00m以上																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																		
b. 原料MOX粉末缶一時保管装置 (a) 設置場所 <u>粉末調整第1室</u> (b) 個数 <u>1台</u> (c) 貯蔵容量 <u>24ピット</u> (d) 主要な構成材 <u>ステンレス鋼</u>	② 原料MOX粉末缶一時保管装置 a. 設置場所 <u>粉末調整第1室</u> b. 個数 <u>1台</u> c. 貯蔵容量 <u>24ピット</u> d. 主要な構成材 <u>ステンレス鋼</u>	<table border="1" data-bbox="1507 317 2128 1203"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">たて置きラック式</td> </tr> <tr> <td>中心間距離 (ピット間隔)*3</td> <td>mm</td> <td colspan="2">行方向300以上 列方向260以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設置する室の 壁・床・天井ま での距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>350以上</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>350以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>mm</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">305以上*4</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>t・HM</td> <td colspan="2">0.3(24ピット)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1088*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4102*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>948*1</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(ピット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向340*1 列方向305*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">遮蔽 体</td> <td rowspan="6">厚さ 1, 2</td> <td rowspan="3">ビット</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>5(7*1)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>70(71*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グロー ブポッ クス外</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>4(6*1)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>125(126*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>30(33*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 材料</td> <td rowspan="4">ビット</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(続き)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">遮蔽 体</td> <td rowspan="3">厚さ 1, 2</td> <td rowspan="3">ビット</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グロー ブポッ クス外</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>鉛 (密度11.0×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td colspan="2">粉末調整第1室 T.M.S.L. 35.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1507 1682 2128 1755">           注記 *1: 公称値を示す。            *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。            *3: 貯蔵単位(粉末缶)の配列(2行×12列)を核的に安全な配置とする。         </p>	名称		原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)		種類	—	たて置きラック式		中心間距離 (ピット間隔)*3	mm	行方向300以上 列方向260以上		設置する室の 壁・床・天井ま での距離	南壁	mm	350以上	北壁	mm	350以上	床	mm	500以上	天井	mm	500以上	設置室の周囲の壁厚さ	mm	305以上*4		容量	t・HM	0.3(24ピット)		主要 寸法	たて	mm	1088*1	横	mm	4102*1	高さ	mm	948*1	中心間距離(ピット間隔)	mm	行方向340*1 列方向305*1	主要材料	—	SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400		個数	—	1		遮蔽 体	厚さ 1, 2	ビット	内側	mm	5(7*1)	中間	mm	70(71*1)	外側	mm	20(23*1)	グロー ブポッ クス外	内側	mm	4(6*1)	中間	mm	125(126*1)	外側	mm	30(33*1)	主要 材料	ビット	内側	—	SUS304	中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	(続き)				遮蔽 体	厚さ 1, 2	ビット	内側	—	SUS304	中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	グロー ブポッ クス外	内側	—	鉛 (密度11.0×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	粉末調整第1室 T.M.S.L. 35.00m		溢水防護上の区画番号	—	—*2		溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*2			
名称		原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)																																																																																																																																				
種類	—	たて置きラック式																																																																																																																																				
中心間距離 (ピット間隔)*3	mm	行方向300以上 列方向260以上																																																																																																																																				
設置する室の 壁・床・天井ま での距離	南壁	mm	350以上																																																																																																																																			
	北壁	mm	350以上																																																																																																																																			
	床	mm	500以上																																																																																																																																			
	天井	mm	500以上																																																																																																																																			
設置室の周囲の壁厚さ	mm	305以上*4																																																																																																																																				
容量	t・HM	0.3(24ピット)																																																																																																																																				
主要 寸法	たて	mm	1088*1																																																																																																																																			
	横	mm	4102*1																																																																																																																																			
	高さ	mm	948*1																																																																																																																																			
	中心間距離(ピット間隔)	mm	行方向340*1 列方向305*1																																																																																																																																			
主要材料	—	SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400																																																																																																																																				
個数	—	1																																																																																																																																				
遮蔽 体	厚さ 1, 2	ビット	内側	mm	5(7*1)																																																																																																																																	
			中間	mm	70(71*1)																																																																																																																																	
			外側	mm	20(23*1)																																																																																																																																	
		グロー ブポッ クス外	内側	mm	4(6*1)																																																																																																																																	
			中間	mm	125(126*1)																																																																																																																																	
			外側	mm	30(33*1)																																																																																																																																	
	主要 材料	ビット	内側	—	SUS304																																																																																																																																	
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																	
			外側	—	SUS304																																																																																																																																	
			(続き)																																																																																																																																			
遮蔽 体	厚さ 1, 2	ビット	内側	—	SUS304																																																																																																																																	
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																	
			外側	—	SUS304																																																																																																																																	
	グロー ブポッ クス外	内側	—	鉛 (密度11.0×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																		
		中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																		
		外側	—	SUS304																																																																																																																																		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																																																																			
	設置床	—	粉末調整第1室 T.M.S.L. 35.00m																																																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*2																																																																																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																											
<p>c. 原料MOX粉末缶一時保管搬送装置</p> <p>(a) 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>(b) 個数 1台</p> <p>③ ウラン貯蔵設備</p> <p>a. ウラン貯蔵棚</p> <p>(a) 設置場所 ウラン貯蔵室</p> <p>(b) 個数 2台</p> <p>(c) 貯蔵容量 ニ.(ロ)(1)③a.(c)676棚(2704缶)</p>	<p>③ 原料MOX粉末缶一時保管搬送装置</p> <p>a. 設置場所 粉末調整第1室</p> <p>b. 個数 1台</p> <p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p>① ウラン貯蔵棚</p> <p>a. 設置場所 ウラン貯蔵室</p> <p>b. 個数 2台</p> <p>c. 貯蔵容量 676棚(2704缶)</p>	<p>② 搬送設備</p> <table border="1" data-bbox="1516 352 2122 823"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">原料MOX粉末缶一時保管搬送装置 (PA0122-M-01100)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">クレーン方式, コンベア方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量</td> <td>原料MOX粉末缶一時保管搬送装置</td> <td>kg</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>搬送コンベア</td> <td>kg</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>5300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3077<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>粉末調整第1室 T.M.S.L.35.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「-」とする。</p> <p>1.3 ウラン貯蔵設備</p> <p>(1) ラック/ピット/棚</p> <table border="1" data-bbox="1516 1241 2122 1675"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">棚貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>t・HM</td> <td colspan="2">80(876棚×4缶)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6100<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>20770<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5110<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400, STKR400, STK400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ウラン貯蔵室 T.M.S.L.50.30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称		原料MOX粉末缶一時保管搬送装置 (PA0122-M-01100)		種類	-	クレーン方式, コンベア方式		容量	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	kg	30	搬送コンベア	kg	50	主要寸法	たて	mm	1000 <sup>*1</sup>	横	mm	5300 <sup>*1</sup>	高さ	mm	3077 <sup>*1</sup>	主要材料	-	SUS304, SUS304TP		個数	-	1		系統名(ライン名)	-	-		取付箇所	設置床	-	粉末調整第1室 T.M.S.L.35.00m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	名称		ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)		種類	-	棚貯蔵方式		容量	t・HM	80(876棚×4缶)		主要寸法	たて	mm	6100 <sup>*1</sup>	横	mm	20770 <sup>*1</sup>	高さ	mm	5110 <sup>*1</sup>	主要材料	-	SS400, STKR400, STK400		個数	-	2		系統名(ライン名)	-	-		取付箇所	設置床	-	ウラン貯蔵室 T.M.S.L.50.30m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>	<p>676 棚×4 缶=2704 缶であることから, 設工認のニ.(ロ)(1)③a.(c)は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)③a.(c)と同義であり整合している。</p>	
名称		原料MOX粉末缶一時保管搬送装置 (PA0122-M-01100)																																																																																													
種類	-	クレーン方式, コンベア方式																																																																																													
容量	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	kg	30																																																																																												
	搬送コンベア	kg	50																																																																																												
主要寸法	たて	mm	1000 <sup>*1</sup>																																																																																												
	横	mm	5300 <sup>*1</sup>																																																																																												
	高さ	mm	3077 <sup>*1</sup>																																																																																												
主要材料	-	SUS304, SUS304TP																																																																																													
個数	-	1																																																																																													
系統名(ライン名)	-	-																																																																																													
取付箇所	設置床	-	粉末調整第1室 T.M.S.L.35.00m																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																												
名称		ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)																																																																																													
種類	-	棚貯蔵方式																																																																																													
容量	t・HM	80(876棚×4缶)																																																																																													
主要寸法	たて	mm	6100 <sup>*1</sup>																																																																																												
	横	mm	20770 <sup>*1</sup>																																																																																												
	高さ	mm	5110 <sup>*1</sup>																																																																																												
主要材料	-	SS400, STKR400, STK400																																																																																													
個数	-	2																																																																																													
系統名(ライン名)	-	-																																																																																													
取付箇所	設置床	-	ウラン貯蔵室 T.M.S.L.50.30m																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*2</sup>																																																																																												

ニ.(ロ)(1)③a.(c)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																											
<p>b. <u>ウラン粉末缶貯蔵容器</u></p> <p>(a) 設置場所 燃料集合体組立クレーン室</p> <p>(b) 個数 最大 128 基</p> <p>c. <u>ウラン粉末缶入出庫装置</u></p> <p>(a) 設置場所 ニ.(ロ)(1)③c.(a)ウラン貯蔵室</p> <p>(b) 個数 2 台</p> <p>d. <u>収納パレット</u></p> <p>(a) 設置場所 ニ.(ロ)(1)③d.(a)ウラン貯蔵室</p> <p>(b) 個数 676 基</p>	<p>② ウラン粉末缶貯蔵容器</p> <p>a. 設置場所 燃料集合体組立クレーン室</p> <p>b. 個数 最大 128 基</p> <p>③ ウラン粉末缶入出庫装置</p> <p>a. 設置場所 ウラン貯蔵室</p> <p>b. 個数 2 台</p> <p>④ <u>収納パレット</u></p> <p>a. 設置場所 ウラン貯蔵室</p> <p>b. 個数 676 基</p> <p style="text-align: center;">ニ.(ロ)(1)③d.(a)</p>	<p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>なお、<u>ウラン粉末缶貯蔵容器</u>の基数は最大 128 基設ける設計とし、これを超えないことを保安規定に定めて、管理する。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p style="text-align: center;">今回の申請の対象範囲外</p> <p>ウラン貯蔵設備のうち、<u>ウラン粉末缶入出庫装置</u>は 2 台設置する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>4. 核燃料物質の貯蔵施設</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>ニ.(ロ)(1)③c.(a)貯蔵施設は、燃料加工建屋に収納する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>ウラン貯蔵設備は、<u>収納パレット</u>を 676 基及び容器 (ウラン粉末缶) を取り扱う設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <p>1.3□ウラン貯蔵設備<sup>ウ</sup> (1)□ラック/ピット/櫃<sup>ウ</sup></p> <table border="1" data-bbox="1513 1417 2122 1806"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称<sup>ウ</sup></th> <th colspan="2">ウラン貯蔵櫃<sup>ウ</sup> (PA0114-M-02111, -02121)<sup>ウ</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>種類<sup>ウ</sup></td> <td>櫃貯蔵方式<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>容量<sup>ウ</sup></td> <td>t・M<sup>ウ</sup></td> <td>容量<sup>ウ</sup></td> <td>80(878櫃×4缶)<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法<sup>ウ</sup></td> <td>たて<sup>ウ</sup></td> <td>mm<sup>ウ</sup></td> <td>6100<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>横<sup>ウ</sup></td> <td>mm<sup>ウ</sup></td> <td>20770<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ<sup>ウ</sup></td> <td>mm<sup>ウ</sup></td> <td>5110<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>主要材料<sup>ウ</sup></td> <td>SS400, STK400, STK400<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>個数<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>個数<sup>ウ</sup></td> <td>2<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所<sup>ウ</sup></td> <td>系統名(ライン名)<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>設置床<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>ウラン貯蔵室<sup>ウ</sup> I.W.S.L.50.30m<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>- *2<sup>ウ</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ<sup>ウ</sup></td> <td>-<sup>ウ</sup></td> <td>- *2<sup>ウ</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。<sup>ウ</sup> *2: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。<sup>ウ</sup></p>	名称 <sup>ウ</sup>		ウラン貯蔵櫃 <sup>ウ</sup> (PA0114-M-02111, -02121) <sup>ウ</sup>		種類 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	種類 <sup>ウ</sup>	櫃貯蔵方式 <sup>ウ</sup>	容量 <sup>ウ</sup>	t・M <sup>ウ</sup>	容量 <sup>ウ</sup>	80(878櫃×4缶) <sup>ウ</sup>	主要寸法 <sup>ウ</sup>	たて <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	6100 <sup>ウ</sup>	横 <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	20770 <sup>ウ</sup>	高さ <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	5110 <sup>ウ</sup>	主要材料 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	主要材料 <sup>ウ</sup>	SS400, STK400, STK400 <sup>ウ</sup>	個数 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	個数 <sup>ウ</sup>	2 <sup>ウ</sup>	取付箇所 <sup>ウ</sup>	系統名(ライン名) <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	設置床 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	ウラン貯蔵室 <sup>ウ</sup> I.W.S.L.50.30m <sup>ウ</sup>	溢水防護上の区画番号 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- *2 <sup>ウ</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- *2 <sup>ウ</sup>	<p>ウラン粉末缶貯蔵容器の保管エリアは、次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)③c.(a)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)③c.(a)と同義であり整合している。</p> <p>収納パレットはウラン貯蔵棚で取り扱うことから、設工認のニ.(ロ)(1)③d.(a)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)③d.(a)と同義であり整合している。</p>	
名称 <sup>ウ</sup>		ウラン貯蔵櫃 <sup>ウ</sup> (PA0114-M-02111, -02121) <sup>ウ</sup>																																													
種類 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	種類 <sup>ウ</sup>	櫃貯蔵方式 <sup>ウ</sup>																																												
容量 <sup>ウ</sup>	t・M <sup>ウ</sup>	容量 <sup>ウ</sup>	80(878櫃×4缶) <sup>ウ</sup>																																												
主要寸法 <sup>ウ</sup>	たて <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	6100 <sup>ウ</sup>																																												
	横 <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	20770 <sup>ウ</sup>																																												
	高さ <sup>ウ</sup>	mm <sup>ウ</sup>	5110 <sup>ウ</sup>																																												
主要材料 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	主要材料 <sup>ウ</sup>	SS400, STK400, STK400 <sup>ウ</sup>																																												
個数 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	個数 <sup>ウ</sup>	2 <sup>ウ</sup>																																												
取付箇所 <sup>ウ</sup>	系統名(ライン名) <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>																																												
	設置床 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	ウラン貯蔵室 <sup>ウ</sup> I.W.S.L.50.30m <sup>ウ</sup>																																												
	溢水防護上の区画番号 <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- *2 <sup>ウ</sup>																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ <sup>ウ</sup>	- <sup>ウ</sup>	- *2 <sup>ウ</sup>																																												



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
<p>e. 容器 (ウラン粉末缶)</p> <p>(a) 個数 ニ.(ロ)(1)③e.(a) 1式</p> <p>④ 粉末一時保管設備 ニ.(ロ)(1)④a.</p> <p>a. 粉末一時保管装置グローブボックス</p> <p>(a) 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>(b) 個数 ニ.(ロ)(1)④a.(b) 6基</p> <p>(c) 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>(d) グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p>	<p>⑤ 容器 (ウラン粉末缶)</p> <p>a. 個数 1式</p> <p>(4) 粉末一時保管設備</p> <p>① 粉末一時保管装置グローブボックス</p> <p>a. 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>b. 個数 6基</p> <p>c. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>d. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>ニ.(ロ)(1)④a.(b)</p>	<p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>ウラン貯蔵設備は, 収納パレットを676基及びニ.(ロ)(1)③e.(a)容器 (ウラン粉末缶) を取り扱う設計とする。</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1513 546 2122 1165"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>粉末一時保管装置グローブボックス*</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(PA0126-B-04701)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類**</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率***</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速****</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法**</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1200*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3564*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料**</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>底板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数**</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所**</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第1室 T.M.S.L.35.00m**</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。 *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき, グローブボックスの給排気系, グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の機械圧力より深い負圧に維持した状態における, 測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。 *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。 *13: 本グローブボックスは, 窒素雰囲気とする。</p>			変更前	変更後	名称*		粉末一時保管装置グローブボックス*				(PA0126-B-04701)		種類**	—	グローブボックス		漏れ率***	vol%/h	0.25以下		開口部風速****	m/s	0.5以上		主要寸法**	たて	mm	1200*	横	mm	3564*	高さ	mm	3800**	主要材料**	本体	—	SUS304, SUS304TP	底板部	—	メタクリル樹脂	個数**	—	1		取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第1室 T.M.S.L.35.00m**	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>設工認のニ.(ロ)(1)③e.(a)は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)③e.(a)と同義であり整合している。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)④a.は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)④a.を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)④a.(b)は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)④a.(b)を詳細に記載しており整合している。 (1基×6=6基)</p>	
		変更前	変更後																																																											
名称*		粉末一時保管装置グローブボックス*																																																												
		(PA0126-B-04701)																																																												
種類**	—	グローブボックス																																																												
漏れ率***	vol%/h	0.25以下																																																												
開口部風速****	m/s	0.5以上																																																												
主要寸法**	たて	mm	1200*																																																											
	横	mm	3564*																																																											
	高さ	mm	3800**																																																											
主要材料**	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																											
	底板部	—	メタクリル樹脂																																																											
個数**	—	1																																																												
取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—																																																											
	設置床	—	点検第1室 T.M.S.L.35.00m**																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>粉末一時保管装置グローブボックス*12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(PA0126-B-04702)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td></td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>12741*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800*1*13</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">数量*8</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>22 (23.5*9)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td>粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>PA-1-10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>窓蓋遮断気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		粉末一時保管装置グローブボックス*12				(PA0126-B-04702)		種類*3		グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	2000*1	横	mm	12741*1	高さ	mm	3800*1*13	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	数量*8		—	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22 (23.5*9)	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所*9	系統名(ライン名)		—	—	設置床		—	粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号		—	PA-1-10	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																																								
名称*2		粉末一時保管装置グローブボックス*12																																																																									
		(PA0126-B-04702)																																																																									
種類*3		グローブボックス																																																																									
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																																									
開口部風速*12	m/s	0.5以上																																																																									
主要寸法*6	たて	mm	2000*1																																																																								
	横	mm	12741*1																																																																								
	高さ	mm	3800*1*13																																																																								
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																								
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																								
数量*8		—	1																																																																								
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22 (23.5*9)																																																																							
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)		—	—																																																																							
	設置床		—	粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																							
	溢水防護上の区画番号		—	PA-1-10																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td>粉塵一時保管装置グローブボックス<sup>*13</sup> (PA0126-B-04703)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>*3</sup></td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率<sup>*4</sup></td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速<sup>*5</sup></td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法<sup>*6</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>11340<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料<sup>*7</sup></td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*8</sup></td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法 厚さ</td> <td>mm</td> <td>22(23.5<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所<sup>*9</sup></td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>粉塵一時保管室 T.M.S.L.35.00m<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の機内圧力より低い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>室差調整用</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>*2</sup>		粉塵一時保管装置グローブボックス <sup>*13</sup> (PA0126-B-04703)		種類 <sup>*3</sup>		グローブボックス		漏れ率 <sup>*4</sup>		vol%/h	0.25以下	開口部風速 <sup>*5</sup>		m/s	0.5以上	主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	2000 <sup>*1</sup>	横	mm	11340 <sup>*1</sup>	高さ	mm	3800 <sup>*1</sup>	主要材料 <sup>*7</sup>	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数 <sup>*8</sup>		—	1	遮蔽体	主要寸法 厚さ	mm	22(23.5 <sup>*1</sup> )	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	粉塵一時保管室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配管が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																														
名称 <sup>*2</sup>		粉塵一時保管装置グローブボックス <sup>*13</sup> (PA0126-B-04703)																																																															
種類 <sup>*3</sup>		グローブボックス																																																															
漏れ率 <sup>*4</sup>		vol%/h	0.25以下																																																														
開口部風速 <sup>*5</sup>		m/s	0.5以上																																																														
主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	2000 <sup>*1</sup>																																																														
	横	mm	11340 <sup>*1</sup>																																																														
	高さ	mm	3800 <sup>*1</sup>																																																														
主要材料 <sup>*7</sup>	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																														
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																														
個数 <sup>*8</sup>		—	1																																																														
遮蔽体	主要寸法 厚さ	mm	22(23.5 <sup>*1</sup> )																																																														
	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																														
取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	—	—																																																														
	設置床	—	粉塵一時保管室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>																																																														
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																														
	溢水防護上の配管が必要な高さ	—	—																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
		<table border="1" data-bbox="1519 321 2122 1014"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td>粉木一時保管装置グローブボックス<sup>*13</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>クヌー<sup>*13</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(PA0126-B-04704)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*3</sup></td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率<sup>*4</sup></td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速<sup>*5</sup></td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法<sup>*6</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>9570<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800<sup>*1</sup><sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料<sup>*7</sup></td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*8</sup></td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>22(23.5<sup>*9</sup>) 含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所<sup>*9</sup></td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置法</td> <td>—</td> <td>粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>漏水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>漏水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1519 1018 2122 1428">           注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *11: JIS Z 4020グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。            *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。            *13: 本グローブボックスは、<u>空気浄化装置</u>とする。         </p>			変更前	変更後	名称 <sup>*2</sup>		粉木一時保管装置グローブボックス <sup>*13</sup>				クヌー <sup>*13</sup>				(PA0126-B-04704)		種類 <sup>*3</sup>	—	グローブボックス		漏れ率 <sup>*4</sup>	vol%/h	0.25以下		開口部風速 <sup>*5</sup>	m/s	0.5以上		主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	2000 <sup>*1</sup>	横	mm	9570 <sup>*1</sup>	高さ	mm	3800 <sup>*1</sup> <sup>*10</sup>	主要材料 <sup>*7</sup>	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数 <sup>*8</sup>		—	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	主要材料	—	22(23.5 <sup>*9</sup> ) 含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	—	—	設置法	—	粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>	漏水防護上の区画番号	—	—		漏水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																																							
名称 <sup>*2</sup>		粉木一時保管装置グローブボックス <sup>*13</sup>																																																																								
		クヌー <sup>*13</sup>																																																																								
		(PA0126-B-04704)																																																																								
種類 <sup>*3</sup>	—	グローブボックス																																																																								
漏れ率 <sup>*4</sup>	vol%/h	0.25以下																																																																								
開口部風速 <sup>*5</sup>	m/s	0.5以上																																																																								
主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	2000 <sup>*1</sup>																																																																							
	横	mm	9570 <sup>*1</sup>																																																																							
	高さ	mm	3800 <sup>*1</sup> <sup>*10</sup>																																																																							
主要材料 <sup>*7</sup>	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																							
個数 <sup>*8</sup>		—	1																																																																							
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm																																																																							
	主要材料	—	22(23.5 <sup>*9</sup> ) 含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																							
取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	—	—																																																																							
	設置法	—	粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>																																																																							
	漏水防護上の区画番号	—	—																																																																							
	漏水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上																																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">粉体一時保管装置グローブボックス-R*12 (PA0126-B-04706)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*4</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>13471*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>粉体一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		粉体一時保管装置グローブボックス-R*12 (PA0126-B-04706)		種類*3		グローブボックス		漏れ率**11		vol%/h	0.25以下	開口部風速**12		m/s	0.5以上	主要寸法*4	たて	mm	2000*1	横	mm	13471*1	高さ	mm	3800*1*10	主要材料*7	本体	-	SUS304, SUS304TP	窓板部	-	メタクリル樹脂	個数*8		-	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	主要材料	-	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所*9	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	粉体一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-		
		変更前	変更後																																																														
名称*2		粉体一時保管装置グローブボックス-R*12 (PA0126-B-04706)																																																															
種類*3		グローブボックス																																																															
漏れ率**11		vol%/h	0.25以下																																																														
開口部風速**12		m/s	0.5以上																																																														
主要寸法*4	たて	mm	2000*1																																																														
	横	mm	13471*1																																																														
	高さ	mm	3800*1*10																																																														
主要材料*7	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																														
	窓板部	-	メタクリル樹脂																																																														
個数*8		-	1																																																														
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm																																																														
	主要材料	-	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																														
取付箇所*9	系統名(ライン名)	-	-																																																														
	設置床	-	粉体一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																														
		<p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS 2 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気率、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の標準圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>																																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>粉体一時保管装置グローブボックス-R*10 (PA0126-B-04706)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*4</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1200*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3564*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*5</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所**</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第2室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS 2 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>重要排気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		粉体一時保管装置グローブボックス-R*10 (PA0126-B-04706)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速**12	m/s	0.5以上		主要寸法*4	たて	mm	1200*1	横	mm	3564*1	高さ	mm	3800*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*5		—	1	取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第2室 T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		粉体一時保管装置グローブボックス-R*10 (PA0126-B-04706)																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																								
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*4	たて	mm	1200*1																																																							
	横	mm	3564*1																																																							
	高さ	mm	3800*1*10																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*5		—	1																																																							
取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	点検第2室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																
<p>b. 粉末一時保管装置</p> <p>(a) 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>(b) 個数 12台</p> <p>(c) 貯蔵容量 94ピット</p> <p>(d) 主要な構成材 ステンレス鋼及び鋼材</p>	<p>② 粉末一時保管装置</p> <p>a. 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>b. 個数 12台</p> <p>c. 貯蔵容量 94ピット</p> <p>d. 主要な構成材 ステンレス鋼及び鋼材</p>	<p>(2) ロック/ピット/欄</p> <table border="1" data-bbox="1519 342 2122 1182"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>1)</sup></td> <td>粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>2)</sup></td> <td>たて置きラック式<sup>3)</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界管理<sup>4)</sup></td> <td>中心間距離 (ピット間隔)<sup>5)</sup></td> <td>mm</td> <td>行方向650以上, 列方向650以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・ 床までの距離</td> <td>mm</td> <td>1500以上</td> </tr> <tr> <td>東西壁・ 床</td> <td>mm</td> <td>750以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上<sup>6)</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量<sup>7)</sup></td> <td>t HM</td> <td>6.1(94ピット)<sup>8)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主要寸法<sup>9)</sup></td> <td rowspan="3">粉末一時保管装置 置1, 12</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4390<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粉末一時保管装置 置2, 4, 11</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2948<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粉末一時保管装置 置3, 7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1588<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粉末一時保管装置 置5, 9, 10</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2268<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粉末一時保管装置 置6, 8</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3628<sup>10)</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>10)</sup></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称 <sup>1)</sup>		粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)		種類 <sup>2)</sup>		たて置きラック式 <sup>3)</sup>		臨界管理 <sup>4)</sup>	中心間距離 (ピット間隔) <sup>5)</sup>	mm	行方向650以上, 列方向650以上	設置する室の壁・ 床までの距離	mm	1500以上	東西壁・ 床	mm	750以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上 <sup>6)</sup>	容量 <sup>7)</sup>		t HM	6.1(94ピット) <sup>8)</sup>	主要寸法 <sup>9)</sup>	粉末一時保管装置 置1, 12	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>	横	mm	4390 <sup>10)</sup>	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>	粉末一時保管装置 置2, 4, 11	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>	横	mm	2948 <sup>10)</sup>	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>	粉末一時保管装置 置3, 7	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>	横	mm	1588 <sup>10)</sup>	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>	粉末一時保管装置 置5, 9, 10	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>	横	mm	2268 <sup>10)</sup>	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>	粉末一時保管装置 置6, 8	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>	横	mm	3628 <sup>10)</sup>	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>		
		変更前	変更後																																																																																	
名称 <sup>1)</sup>		粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)																																																																																		
種類 <sup>2)</sup>		たて置きラック式 <sup>3)</sup>																																																																																		
臨界管理 <sup>4)</sup>	中心間距離 (ピット間隔) <sup>5)</sup>	mm	行方向650以上, 列方向650以上																																																																																	
	設置する室の壁・ 床までの距離	mm	1500以上																																																																																	
	東西壁・ 床	mm	750以上																																																																																	
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上 <sup>6)</sup>																																																																																	
容量 <sup>7)</sup>		t HM	6.1(94ピット) <sup>8)</sup>																																																																																	
主要寸法 <sup>9)</sup>	粉末一時保管装置 置1, 12	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>																																																																																
		横	mm	4390 <sup>10)</sup>																																																																																
		高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>																																																																																
	粉末一時保管装置 置2, 4, 11	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>																																																																																
		横	mm	2948 <sup>10)</sup>																																																																																
		高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>																																																																																
	粉末一時保管装置 置3, 7	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>																																																																																
		横	mm	1588 <sup>10)</sup>																																																																																
		高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>																																																																																
	粉末一時保管装置 置5, 9, 10	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>																																																																																
		横	mm	2268 <sup>10)</sup>																																																																																
		高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>																																																																																
粉末一時保管装置 置6, 8	たて	mm	1670 <sup>10)</sup>																																																																																	
	横	mm	3628 <sup>10)</sup>																																																																																	
	高さ	mm	1216 <sup>10)</sup>																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																								
		<p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SS400</td> <td rowspan="20">変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主要寸法</td> <td rowspan="3">ピット</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>10(12<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>150(152<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>32(36<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-1</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>200(202<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 南北</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>200(202<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-2</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>3(4<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>166(168<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>3(4<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">遮蔽体</td> <td rowspan="3">ピット</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-1</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 南北</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-2</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>粉末一時保管室 点検第1室<sup>*10</sup>、点検第2室<sup>*10</sup> T.M.S.L.95.00m<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配座が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> </table> <p>注記□ *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「ピット方式」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。  *12: 貯蔵単位(J60, J85, 5缶バスケット)の配列(47行×2列)を核的に安全な配置とする。</p>	主要材料	本体	-	SUS304, SS400	変更なし	個数	-	12	主要寸法	ピット	内側	mm	10(12 <sup>*2</sup> )	中間	mm	150(152 <sup>*2</sup> )	外側	mm	32(36 <sup>*2</sup> )	区画壁 東西-1	内側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )	中間	mm	200(202 <sup>*2</sup> )	外側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )	区画壁 南北	内側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )	中間	mm	200(202 <sup>*2</sup> )	外側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )	区画壁 東西-2	内側	mm	3(4 <sup>*2</sup> )	中間	mm	166(168 <sup>*2</sup> )	外側	mm	3(4 <sup>*2</sup> )	遮蔽体	ピット	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SS400	区画壁 東西-1	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	区画壁 南北	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	区画壁 東西-2	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	変更なし	設置床	-	粉末一時保管室 点検第1室 <sup>*10</sup> 、点検第2室 <sup>*10</sup> T.M.S.L.95.00m <sup>*10</sup>	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>	溢水防護上の配座が必要な高さ	-	- <sup>*11</sup>		
主要材料	本体	-		SUS304, SS400	変更なし																																																																																																							
	個数	-	12																																																																																																									
主要寸法	ピット	内側	mm	10(12 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		中間	mm	150(152 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		外側	mm	32(36 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
	区画壁 東西-1	内側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		中間	mm	200(202 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		外側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
	区画壁 南北	内側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		中間	mm	200(202 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		外側	mm	25(28 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
	区画壁 東西-2	内側	mm	3(4 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		中間	mm	166(168 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
		外側	mm	3(4 <sup>*2</sup> )																																																																																																								
遮蔽体	ピット	内側	-	SUS304																																																																																																								
		中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																								
		外側	-	SS400																																																																																																								
	区画壁 東西-1	内側	-	SUS304																																																																																																								
		中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																								
		外側	-	SUS304																																																																																																								
	区画壁 南北	内側	-	SUS304																																																																																																								
		中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																								
		外側	-	SUS304																																																																																																								
	区画壁 東西-2	内側	-	SUS304																																																																																																								
		中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																								
		外側	-	SUS304																																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	変更なし																																																																																																								
	設置床	-	粉末一時保管室 点検第1室 <sup>*10</sup> 、点検第2室 <sup>*10</sup> T.M.S.L.95.00m <sup>*10</sup>																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>																																																																																																									
	溢水防護上の配座が必要な高さ	-	- <sup>*11</sup>																																																																																																									



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																									
<p>c. 粉末一時保管搬送装置</p> <p>(a) 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>(b) 個数 4台</p>	<p>③ 粉末一時保管搬送装置</p> <p>a. 設置場所 粉末一時保管室, 点検第1室及び点検第2室</p> <p>b. 個数 4台</p>	<p>(3) 搬送設備</p> <table border="1" data-bbox="1516 346 2119 1171"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">粉末一時保管搬送装置 (PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td colspan="2">クレーン方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量</td> <td>本体</td> <td>kg</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>秤量テーブル</td> <td>kg</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">主要寸法</td> <td rowspan="3">走行架台1, 6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3124</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3723</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">走行架台2</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>12292</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2327</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">走行架台3</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>11218</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2491</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">走行架台4</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>9281</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2327</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">走行架台5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>13002</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP, STKR400, SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>点検第1室, 点検第2室 粉末一時保管室 T.M.S.L. 35.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□ *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「粉末一時保管搬送装置A, B, C, D」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称		変更前	変更後	種類		粉末一時保管搬送装置 (PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)		容量		クレーン方式		容量	本体	kg	220	秤量テーブル	kg	220	主要寸法	走行架台1, 6	たて	mm	850	横	mm	3124	高さ	mm	3723	走行架台2	たて	mm	1650	横	mm	12292	高さ	mm	2327	走行架台3	たて	mm	1650	横	mm	11218	高さ	mm	2491	走行架台4	たて	mm	1650	横	mm	9281	高さ	mm	2327	走行架台5	たて	mm	1650	横	mm	13002	主要材料		-	SUS304, SUS304TP, STKR400, SS400	個数		-	4	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所	設置床	-	点検第1室, 点検第2室 粉末一時保管室 T.M.S.L. 35.00m	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	<p>変更なし</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																										
種類		粉末一時保管搬送装置 (PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)																																																																																											
容量		クレーン方式																																																																																											
容量	本体	kg	220																																																																																										
	秤量テーブル	kg	220																																																																																										
主要寸法	走行架台1, 6	たて	mm	850																																																																																									
		横	mm	3124																																																																																									
		高さ	mm	3723																																																																																									
	走行架台2	たて	mm	1650																																																																																									
		横	mm	12292																																																																																									
		高さ	mm	2327																																																																																									
	走行架台3	たて	mm	1650																																																																																									
		横	mm	11218																																																																																									
		高さ	mm	2491																																																																																									
	走行架台4	たて	mm	1650																																																																																									
		横	mm	9281																																																																																									
		高さ	mm	2327																																																																																									
	走行架台5	たて	mm	1650																																																																																									
		横	mm	13002																																																																																									
	主要材料		-	SUS304, SUS304TP, STKR400, SS400																																																																																									
個数		-	4																																																																																										
系統名(ライン名)		-	-																																																																																										
取付箇所	設置床	-	点検第1室, 点検第2室 粉末一時保管室 T.M.S.L. 35.00m																																																																																										
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																			
<p>d. 容器 (J60, J85, U85, 5缶バスケット, 1缶バスケット, CS・RS保管ポット, CS・RS回収ポット及び先行試験ポット)</p> <p>(a) 個数 ニ.(ロ)(1)④d.(a) 1式</p>	<p>④ 容器 (J60, J85, U85, 5缶バスケット, 1缶バスケット, CS・RS保管ポット, CS・RS回収ポット及び先行試験ポット)</p> <p>a. 個数 1式</p>	<p>(4) 粉末一時保管設備 &lt;中略&gt; 粉末一時保管設備は、容器 (J60, J85, U85, 5缶バスケット, 1缶バスケット, CS・RS保管ポット, CS・RS回収ポット及び先行試験ポット) 二.(ロ)(1)④d.(a)を取り扱う設計とする。</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <p>1.4 粉末一時保管設備 → (1) 運搬・製品容器</p> <table border="1" data-bbox="1516 657 2122 1150"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称<sup>#2</sup></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類<sup>#3</sup></td> <td>容器(J60)</td> <td>たて罫円筒形</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨 界 管 理</td> <td>内径</td> <td>mm</td> <td>410以下</td> </tr> <tr> <td>内管の外径</td> <td>mm</td> <td>190以上</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>650以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>kg・MOX</td> <td>65<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td>大気圧<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>60<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法<sup>#5</sup></td> <td>内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内管の外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>#6</sup></td> <td></td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>#7</sup></td> <td></td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>	名称 <sup>#2</sup>		変更前	変更後	種類 <sup>#3</sup>		容器(J60)	たて罫円筒形	臨 界 管 理	内径	mm	410以下	内管の外径	mm	190以上	高さ	mm	650以上	容量		kg・MOX	65 <sup>#4</sup>	最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>	最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>	主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	内径	mm		厚さ	mm		内管の外径	mm		高さ	mm		主要材料 <sup>#6</sup>			ステンレス鋼	個数 <sup>#7</sup>			30	<p>設工認のニ.(ロ)(1)④d.(a)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)④d.(a)を詳細に記載しており整合している。</p>	
名称 <sup>#2</sup>		変更前	変更後																																																				
種類 <sup>#3</sup>		容器(J60)	たて罫円筒形																																																				
臨 界 管 理	内径	mm	410以下																																																				
	内管の外径	mm	190以上																																																				
	高さ	mm	650以上																																																				
容量		kg・MOX	65 <sup>#4</sup>																																																				
最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>																																																				
最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>																																																				
主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	内径	mm																																																					
	厚さ	mm																																																					
	内管の外径	mm																																																					
	高さ	mm																																																					
主要材料 <sup>#6</sup>			ステンレス鋼																																																				
個数 <sup>#7</sup>			30																																																				

ニ.(ロ)(1)④d.(a)

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ニ.(ロ)(1)④d.(a)

		変更前		変更後
名称 <sup>#2</sup>		容器(JIS)		変更なし
種類 <sup>#3</sup>		-	たて蓋円筒形	
臨 界 管 理	内径	mm	470以下	
	内管の外径	mm	135以上	
	高さ	mm	650以上	
	容量	kg・ MOX	90 <sup>#4</sup>	
	最高使用圧力	Pa	大気圧 <sup>#4</sup>	
	最高使用温度	℃	60 <sup>#4</sup>	
主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	内径	mm		
	厚さ	mm		
	内管の外径	mm		
	高さ	mm		
	主要材料 <sup>#6</sup>	-	ステンレス鋼	
	個数 <sup>#7</sup>	-	46	

注記□\*1: 公称値を示す。

- \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。
- \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- \*5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- \*6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- \*7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

1.4□粉末一時保管設備

(1)□運輸・製品容器

ニ.(ロ)(1)④d.(a)

		変更前		変更後
名称 <sup>#2</sup>		容器(5缶バスケ ット)	容器(1缶バスケ ット)	変更なし
種類 <sup>#3</sup>		-	5缶積載式、 1缶積載式	
臨 界 管 理	CS・RS保管ポット収納数	-	5以下	
	先行試験ポット収納数 <sup>#4</sup>	-	5以下	
	CS・RS回収ポット収納数 <sup>#4</sup>	-	5以下	
	容量	kg	19 <sup>#4</sup> 、 3.8 <sup>#4</sup>	
	最高使用圧力	Pa	大気圧 <sup>#4</sup>	
	最高使用温度	℃	60 <sup>#4</sup>	
主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
	厚さ	mm		
	主要材料 <sup>#6</sup>	-	ステンレス鋼	
	個数 <sup>#7</sup>	-	8、 1	

注記□\*1: 公称値を示す。

- \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。
- \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- \*5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- \*6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- \*7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

事業変更許可申請書(本文)

事業変更許可申請書(添付書類五)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考

ニ。(ロ)(1)④d.(a)

ニ。(ロ)(1)④d.(a)

ニ。(ロ)(1)④d.(a)

名称 <sup>※2</sup>		変更前	変更後
種類 <sup>※3</sup>	-	容器(CS・RS保管ポット)	-
臨界管理	内径	mm	90以下
	高さ	mm	250以下
容量	粉末	kg	2 <sup>※4</sup>
	ペレット	MOX	6 <sup>※4</sup>
最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>※4</sup>
最高使用温度		℃	60 <sup>※5</sup>
主要寸法 <sup>※6</sup>	内径	mm	■
	厚さ	mm	■
	高さ	mm	■
主要材料 <sup>※6</sup>		-	ステンレス鋼
個数 <sup>※7</sup>		-	1944

注記□\*1: 公称値を示す。  
 \*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  
 \*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  
 \*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  
 \*5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  
 \*6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  
 \*7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

名称		変更前	変更後
種類	-	容器(CS・RS回収ポット)	-
臨界管理	内径	mm	90以下
	高さ	mm	250以下
容量	粉末	kg	2
	MOX	MOX	6
最高使用圧力		Pa	大気圧
最高使用温度		℃	60
主要寸法	内径	mm	■
	厚さ	mm	■
	高さ	mm	■
主要材料		-	ステンレス鋼
個数		-	10

注記□\*: 公称値を示す。

名称		変更前	変更後
種類	-	容器(先行試験ポット)	-
臨界管理	内径	mm	90以下
	高さ	mm	250以下
容量	粉末	kg	2
	MOX	MOX	6
最高使用圧力		Pa	大気圧
最高使用温度		℃	60
主要寸法	内径	mm	■
	厚さ	mm	■
	高さ	mm	■
主要材料		-	ステンレス鋼
個数		-	2

注記□\*: 公称値を示す。

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
<p>⑤ ペレット一時保管設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</span>                      a. ペレット一時保管棚グローブボックス                      (a) 設置場所                          ペレット一時保管室                      (b) 個数  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤a.(b) 3基</span>                      (c) 主要な構成材                          缶体：ステンレス鋼                          パネル：ポリカーボネート樹脂                      (d) グローブボックス内雰囲気                          窒素雰囲気</p>	<p>(5) ペレット一時保管設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</span>                      ① ペレット一時保管棚グローブボックス                      a. 設置場所                          ペレット一時保管室                      (b) 個数                          3基                      (c) 主要な構成材                          缶体：ステンレス鋼                          パネル：ポリカーボネート樹脂                      (d) グローブボックス内雰囲気                          窒素雰囲気  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px;">ニ.(ロ)(1)⑤a.(b)</span></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>粉体一時保管装置グローブボックス*</td> <td>グローブボックス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類**</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率***</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速****</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法**</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1200*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3564*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800*<sup>10</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料**</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数**</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所**</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第1室 T.M.S.L.35.00m*<sup>10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>高さ</td> <td>—</td> <td>PA-1-09 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。                      *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。                      *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で定める仕様」と記載。                      *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。                      *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。                      *13：本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>			変更前	変更後	名称*		粉体一時保管装置グローブボックス*	グローブボックス	種類**		—	—	漏れ率***		vol%/h	0.25以下	開口部風速****		m/s	0.5以上	主要寸法**	たて	mm	1200*	横	mm	3564*	高さ	mm	3800* <sup>10</sup>	主要材料**	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数**		—	1	取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第1室 T.M.S.L.35.00m* <sup>10</sup>	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の区画番号	高さ	—	PA-1-09 T.M.S.L. 35.00m以上	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</span>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</span>a.(b)は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤a.(b)</span>を詳細に記載しており整合している。                      (1基×3=3基)</p>	
		変更前	変更後																																																								
名称*		粉体一時保管装置グローブボックス*	グローブボックス																																																								
種類**		—	—																																																								
漏れ率***		vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速****		m/s	0.5以上																																																								
主要寸法**	たて	mm	1200*																																																								
	横	mm	3564*																																																								
	高さ	mm	3800* <sup>10</sup>																																																								
主要材料**	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																								
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																								
個数**		—	1																																																								
取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—																																																								
	設置床	—	点検第1室 T.M.S.L.35.00m* <sup>10</sup>																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																								
溢水防護上の区画番号	高さ	—	PA-1-09 T.M.S.L. 35.00m以上																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																														
	<div data-bbox="1291 331 1486 380" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ。(ロ)(1)⑤</div> <div data-bbox="1199 726 1486 774" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ。(ロ)(1)⑤a.(b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">粉末一時保管装置グローブボック クスス*13 (PA0126-B-04702)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>12741*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3800*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法</td> <td>厚さ mm</td> <td>22(23.5*1)</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で定める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブボートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		粉末一時保管装置グローブボック クスス*13 (PA0126-B-04702)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速**12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	2000*1	横	mm	12741*1	高さ	mm	3800*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	1	遮蔽体	主要寸法	厚さ mm	22(23.5*1)	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																															
名称*2		粉末一時保管装置グローブボック クスス*13 (PA0126-B-04702)																																																																
種類*3	—	グローブボックス																																																																
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																																
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																																
主要寸法*6	たて	mm	2000*1																																																															
	横	mm	12741*1																																																															
	高さ	mm	3800*1*10																																																															
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																															
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																															
個数*8		—	1																																																															
遮蔽体	主要寸法	厚さ mm	22(23.5*1)																																																															
	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																															
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																															
	設置床	—	粉末一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10																																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上																																																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																		
	<div data-bbox="1285 359 1466 394" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤</div> <div data-bbox="1219 751 1442 787" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤a.(b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>粉木一時保管装置グローブボックス-3*12 (PA0126-B-04703)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>11340*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3900*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽体</td> <td>主要寸法 厚さ</td> <td>mm</td> <td>22(23.5*1)</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所**</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>漏水防護上の区分番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>漏水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉じた状態でグローブボックス内の標準圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		粉木一時保管装置グローブボックス-3*12 (PA0126-B-04703)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速**12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	2000*1	横	mm	11340*1	高さ	mm	3900*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	1	遮蔽体	主要寸法 厚さ	mm	22(23.5*1)	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10	漏水防護上の区分番号	—	—		漏水防護上の配慮が必要な高さ	—	—				PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																																			
名称*2		粉木一時保管装置グローブボックス-3*12 (PA0126-B-04703)																																																																				
種類*3	—	グローブボックス																																																																				
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																																				
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																																				
主要寸法*6	たて	mm	2000*1																																																																			
	横	mm	11340*1																																																																			
	高さ	mm	3900*1*10																																																																			
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																			
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																			
個数*8		—	1																																																																			
遮蔽体	主要寸法 厚さ	mm	22(23.5*1)																																																																			
	主要材料	—	含鉛メタクリル樹脂 (密度1.55×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																			
取付箇所**	系統名(ライン名)	—	—																																																																			
	設置床	—	粉木一時保管室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																			
	漏水防護上の区分番号	—	—																																																																			
	漏水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																			
			PA-1-10 T.M.S.L. 35.00m以上																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																			
<p>ニ.(ロ)(1)⑤b.</p> <p>b. <u>ペレット一時保管棚</u></p> <p>(a) <u>設置場所</u> ペレット一時保管室</p> <p>(b) <u>個数</u> 3台</p> <p>(c) <u>貯蔵容量</u> 192 棚</p> <p>(d) <u>主要な構成材</u> ステンレス鋼</p>	<p>② <u>ペレット一時保管棚</u></p> <p>a. <u>設置場所</u> ペレット一時保管室</p> <p>b. <u>個数</u> 3台</p> <p>c. <u>貯蔵容量</u> 192 棚</p> <p>d. <u>主要な構成材</u> ステンレス鋼</p> <p style="text-align: right;">ニ.(ロ)(1)⑤b.</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*<!--2</td--> <td colspan="2">ペレット一時保管棚-1,-2,-3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)</td> </td></tr> <tr> <td colspan="2">種類*<!--3</td--> <td colspan="2">棚段貯蔵方式</td> </td></tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)**</td> <td>mm</td> <td>段方向300以上 行方向350以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床・ までの距離</td> <td>東西壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上**</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量**</td> <td>t・HM</td> <td>1.7 (192棚: 64×3台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法 *5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270**</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3765**</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850**11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料**</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">造 り 方 *8</td> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>20(23**)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5**)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td colspan="2">ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所 *9</td> <td colspan="2">設置注</td> <td colspan="2">ペレット一時保管室 T.M.S.L. 35. 00m**</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">-*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td colspan="2">-*10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *9: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *10: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。  *11: 貯蔵単位(統括ポート、ペレット保管容器)の配列(8段×8行)を横的に安全な 配置とする。</p>			変更前	変更後	名称* 2</td <td colspan="2">ペレット一時保管棚-1,-2,-3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)</td>		ペレット一時保管棚-1,-2,-3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)		種類* 3</td <td colspan="2">棚段貯蔵方式</td>		棚段貯蔵方式		臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向300以上 行方向350以上	設置する室 の壁・床・ までの距離	東西壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上**	容量**		t・HM	1.7 (192棚: 64×3台)	主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270**	横	mm	3765**	高さ	mm	3850**11	主要材料**		SUS304, SUS304TP		個数*7		3		造 り 方 *8	主要 寸法	厚さ	棚 上 部	内側	mm	20(23**)	外側	mm	4(5**)	主要材料	棚 上 部	内側	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)		外側	SUS304		系統名(ライン名)		-		取 付 箇 所 *9	設置注		ペレット一時保管室 T.M.S.L. 35. 00m**		溢水防護上の区画番号		-*10		溢水防護上の配慮が必要 な高さ		-*10		<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑤b.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑤b.具体的に記載しており整合している。</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																																																				
名称* 2</td <td colspan="2">ペレット一時保管棚-1,-2,-3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)</td>		ペレット一時保管棚-1,-2,-3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)																																																																																					
種類* 3</td <td colspan="2">棚段貯蔵方式</td>		棚段貯蔵方式																																																																																					
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向300以上 行方向350以上																																																																																				
	設置する室 の壁・床・ までの距離	東西壁	mm	1635以上																																																																																			
		床	mm	300以上																																																																																			
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上**																																																																																				
容量**		t・HM	1.7 (192棚: 64×3台)																																																																																				
主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270**																																																																																				
	横	mm	3765**																																																																																				
	高さ	mm	3850**11																																																																																				
主要材料**		SUS304, SUS304TP																																																																																					
個数*7		3																																																																																					
造 り 方 *8	主要 寸法	厚さ	棚 上 部	内側	mm	20(23**)																																																																																	
			外側	mm	4(5**)																																																																																		
	主要材料	棚 上 部	内側	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																			
			外側	SUS304																																																																																			
系統名(ライン名)		-																																																																																					
取 付 箇 所 *9	設置注		ペレット一時保管室 T.M.S.L. 35. 00m**																																																																																				
	溢水防護上の区画番号		-*10																																																																																				
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ		-*10																																																																																				



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																					
<p>ニ.(ロ)(1)⑤c.</p> <p>c. 焼結ボート入出庫装置</p> <p>(a) 設置場所 ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室</p> <p>(b) 個数 2台</p>	<p>③ 焼結ボート入出庫装置</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑤c.</p> <p>a. 設置場所 ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室</p> <p>b. 個数 2台</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑤c.(b)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>焼結ボート入出庫装置-L1-2 (PA0136-M-02101, -02102)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>-</td> <td>クレーン方式*4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量*5</td> <td>kg</td> <td>79</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>628*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">横</td> <td>mm</td> <td>2393*1*10</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>3643*1*10</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>5079*1*10</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5273*1*10</td> </tr> <tr> <td>主要材料*7</td> <td>-</td> <td>STKR400, SS400, SUS304TP*10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数*8</td> <td>-</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所*9</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「スタッカークレーン方式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		焼結ボート入出庫装置-L1-2 (PA0136-M-02101, -02102)		種類*3	-	クレーン方式*4		容量*5	kg	79		主要寸法*6	たて	mm	628*1*10	横	mm	2393*1*10	mm	3643*1*10	mm	5079*1*10	高さ	mm	5273*1*10	主要材料*7	-	STKR400, SS400, SUS304TP*10		個数*8	-	2		系統名(ライン名)	-	-		取付箇所*9	設置床	-	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑤c.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑤c.を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)⑤c.(b)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑤c.(b)を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																						
名称*2		焼結ボート入出庫装置-L1-2 (PA0136-M-02101, -02102)																																																							
種類*3	-	クレーン方式*4																																																							
容量*5	kg	79																																																							
主要寸法*6	たて	mm	628*1*10																																																						
	横	mm	2393*1*10																																																						
		mm	3643*1*10																																																						
		mm	5079*1*10																																																						
高さ	mm	5273*1*10																																																							
主要材料*7	-	STKR400, SS400, SUS304TP*10																																																							
個数*8	-	2																																																							
系統名(ライン名)	-	-																																																							
取付箇所*9	設置床	-	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10																																																						
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
<p>ニ. (ロ) (1) ⑤d.</p> <p>d. 焼結ボート受渡装置グローブボックス</p> <p>(a) 設置場所 ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室</p> <p>(b) 個数 ニ. (ロ) (1) ⑤d. (b) 4基</p> <p>(c) 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>(d) グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p>	<p>ニ. (ロ) (1) ⑤d.</p> <p>④ 焼結ボート受渡装置グローブボックス</p> <p>a. 設置場所 ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室</p> <p>b. 個数 4基</p> <p>c. 主要な構成材 缶体: ステンレス鋼 パネル: ポリカーボネート樹脂</p> <p>d. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>ニ. (ロ) (1) ⑤d. (b)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>焼結ボート受渡装置グローブボックス*</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*</td> <td>グローブボックス</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率**1)</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速**2)</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法**3)</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2635*4)</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4845*4)</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1) *10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料**5)</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>基板部</td> <td>-</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数**6)</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所**7)</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット一時保管室*8) ペレット加工第1室 T.M.S.L. 35.00m*10)</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配置が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>PA-1-19 PA-1-26 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。 *12: グローブ1個が破損した場合にグローブボートの開口部における風速を示す。 *13: 本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>			変更前	変更後	名称*		焼結ボート受渡装置グローブボックス*		種類*		グローブボックス	変更なし	漏れ率**1)		vol%/h	0.25以下	開口部風速**2)		m/s	0.5以上	主要寸法**3)	たて	mm	2635*4)	横	mm	4845*4)	高さ	mm	3850*1) *10)	主要材料**5)	本体	-	SUS304, SUS304TP	基板部	-	メタクリル樹脂	個数**6)		-	4	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所**7)	設置床	-	ペレット一時保管室*8) ペレット加工第1室 T.M.S.L. 35.00m*10)	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配置が必要な高さ	-	-			PA-1-19 PA-1-26 T.M.S.L. 35.00m以上	<p>設工認のニ. (ロ) (1) ⑤d.) は、事業変更許可申請書(本文)のニ. (ロ) (1) ⑤d.) を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のニ. (ロ) (1) ⑤d. (b) は、事業変更許可申請書(本文)のニ. (ロ) (1) ⑤d. (b) を詳細に記載しており整合している。 (1+2+1=4基)</p>	
		変更前	変更後																																																											
名称*		焼結ボート受渡装置グローブボックス*																																																												
種類*		グローブボックス	変更なし																																																											
漏れ率**1)		vol%/h	0.25以下																																																											
開口部風速**2)		m/s	0.5以上																																																											
主要寸法**3)	たて	mm	2635*4)																																																											
	横	mm	4845*4)																																																											
	高さ	mm	3850*1) *10)																																																											
主要材料**5)	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																											
	基板部	-	メタクリル樹脂																																																											
個数**6)		-	4																																																											
系統名(ライン名)		-	-																																																											
取付箇所**7)	設置床	-	ペレット一時保管室*8) ペレット加工第1室 T.M.S.L. 35.00m*10)																																																											
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																											
	溢水防護上の配置が必要な高さ	-	-																																																											
			PA-1-19 PA-1-26 T.M.S.L. 35.00m以上																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
	<div data-bbox="1261 363 1475 415" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ。(ロ)(1)⑤d.</div> <div data-bbox="1240 730 1475 783" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ。(ロ)(1)⑤d.(b)</div>	<table border="1" data-bbox="1516 321 2125 947"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">焼結ボート受渡装置グローブボックス-2,-3*13 (PA0136-B-03702, -03703)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1800*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2515*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ベレット一時保管室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所*9</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>PA-1-19</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1516 951 2125 1360">           注記 *1：公称値を示す。            *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。            *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブボート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。            *12：グローブ1個が破損した場合にグローブボートの開口部における風速を示す。            *13：本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。         </p>			変更前	変更後	名称*2		焼結ボート受渡装置グローブボックス-2,-3*13 (PA0136-B-03702, -03703)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1800*1	横	mm	2515*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	2	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ベレット一時保管室 T.M.S.L. 35.00m*10	取付箇所*9	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-19	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																								
名称*2		焼結ボート受渡装置グローブボックス-2,-3*13 (PA0136-B-03702, -03703)																																																									
種類*3	—	グローブボックス																																																									
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																									
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																									
主要寸法*6	たて	mm	1800*1																																																								
	横	mm	2515*1																																																								
	高さ	mm	3850*1*10																																																								
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																								
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																								
個数*8		—	2																																																								
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																								
	設置床	—	ベレット一時保管室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																								
取付箇所*9	溢水防護上の区画番号	—	PA-1-19																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 35.00m以上																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<div data-bbox="1261 373 1478 428" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">ニ. (ロ) (1) ⑤d.</div> <div data-bbox="1231 743 1478 798" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑤d. (b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</td> <td colspan="2">携航ポット受渡装置グローブボックス-4*13 (PA0136-B-03704)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td style="text-align: center;">vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td style="text-align: center;">m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1820*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">5450*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td style="text-align: center;">本体</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;"><u>SUS304, SUS304TP</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">窓板部</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">個数*8</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">_1_</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;"><u>ベレット加工第4室*10</u> <u>ベレット一時保管室</u> T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。            *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。            *13: 本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		携航ポット受渡装置グローブボックス-4*13 (PA0136-B-03704)		種類*3	-	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1820*1	横	mm	5450*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	-	<u>SUS304, SUS304TP</u>	窓板部	-	メタクリル樹脂		個数*8	-	_1_	取付箇所*9	系統名(ライン名)		-	設置床	-	<u>ベレット加工第4室*10</u> <u>ベレット一時保管室</u> T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		携航ポット受渡装置グローブボックス-4*13 (PA0136-B-03704)																																																								
種類*3	-	グローブボックス																																																								
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*6	たて	mm	1820*1																																																							
	横	mm	5450*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*10																																																							
主要材料*7	本体	-	<u>SUS304, SUS304TP</u>																																																							
	窓板部	-	メタクリル樹脂																																																							
	個数*8	-	_1_																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)		-																																																							
	設置床	-	<u>ベレット加工第4室*10</u> <u>ベレット一時保管室</u> T.M.S.L. 35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤e.</p> <p>e. 焼結ポルト受渡装置                      (a) 設置場所                          ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室                      (b) 個数                          8台                      (c) 主要な構成材                          鋼材</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑤e.</p> <p>⑤ 焼結ポルト受渡装置                      a. 設置場所                          ペレット一時保管室, ペレット加工第1室及びペレット加工第4室                      b. 個数                          8台                      c. 主要な構成材                          鋼材</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</td> <td>焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">種類*3</td> <td>—</td> <td>コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">容量*5</td> <td>焼結ポルト搬送コンベア -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8</td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>焼結ポルト取扱機 -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8</td> <td style="text-align: center;">kg</td> </tr> <tr> <td>昇降台-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">主要寸法*6</td> <td rowspan="3">焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7</td> <td>たて mm</td> <td style="text-align: center;">650*1</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td style="text-align: center;">700*1</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td style="text-align: center;">3760*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">焼結ポルト受渡装置-8</td> <td>たて mm</td> <td style="text-align: center;">650*1</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td style="text-align: center;">700*1</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td style="text-align: center;">2200*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400, SCM440H*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">個数*8</td> <td>—</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: left;">(続き)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式, クレーン方式」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *10: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。                      *11: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180)		種類*3		—	コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4	容量*5	焼結ポルト搬送コンベア -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8		35	焼結ポルト取扱機 -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8	kg	昇降台-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8		主要寸法*6	焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7	たて mm	650*1	横 mm	700*1	高さ mm	3760*1	焼結ポルト受渡装置-8	たて mm	650*1	横 mm	700*1	高さ mm	2200*1	主要材料*7		—	SS400, STKR400, SCM440H*10	個数*8		—	8	(続き)				取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑤e.は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑤e.を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																													
名称*2		焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180)																																																														
種類*3		—	コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4																																																													
容量*5	焼結ポルト搬送コンベア -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8		35																																																													
	焼結ポルト取扱機 -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8	kg																																																														
	昇降台-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8																																																															
主要寸法*6	焼結ポルト受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7	たて mm	650*1																																																													
		横 mm	700*1																																																													
		高さ mm	3760*1																																																													
	焼結ポルト受渡装置-8	たて mm	650*1																																																													
		横 mm	700*1																																																													
		高さ mm	2200*1																																																													
主要材料*7		—	SS400, STKR400, SCM440H*10																																																													
個数*8		—	8																																																													
(続き)																																																																
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																													
	設置床	—	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35.00m*10																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																										
<p>f. 収納パレット</p> <p>(a) 設置場所  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三.(ロ)(1)⑤f.(a)</span>パレット一時保管室</p> <p>(b) 個数            収納パレット-1 188基            収納パレット-2 4基</p>	<p>⑥ 収納パレット</p> <p>a. 設置場所            パレット一時保管室</p> <p>b. 個数            収納パレット-1 188基            収納パレット-2 4基</p>	<p>1.5□パレット一時保管設備            (1)□運搬・製品容器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td colspan="2">収納パレット-1, 収納パレット-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*3</sup></td> <td>-</td> <td colspan="2">パレット式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg</td> <td>32<sup>*4</sup></td> <td>33<sup>*4</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">大気圧<sup>*4</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60<sup>*4</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法<sup>*5</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">239<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">423.5<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高さ</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">10<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料<sup>*6</sup></td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数<sup>*7</sup></td> <td>-</td> <td>188</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">遮蔽体</td> <td rowspan="4">内側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5<sup>*4</sup>)</td> <td>6(7.5<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">50(52<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">20(22.5<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>底面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">20(22.5<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4(6<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">8(10<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4(6<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>底面</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4(6<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td colspan="2">ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>			変更前		変更後	名称 <sup>*2</sup>		収納パレット-1, 収納パレット-2			種類 <sup>*3</sup>	-	パレット式			容量	kg	32 <sup>*4</sup>	33 <sup>*4</sup>		最高使用圧力	Pa	大気圧 <sup>*4</sup>			最高使用温度	℃	60 <sup>*4</sup>			主要寸法 <sup>*5</sup>	たて	mm	239 <sup>*4</sup>		横	mm	423.5 <sup>*4</sup>		高さ	側面	mm	6 <sup>*4</sup>		前面	mm	10 <sup>*4</sup>		後面	mm	6 <sup>*4</sup>		主要材料 <sup>*6</sup>	-	SUS304		変更なし	個数 <sup>*7</sup>	-	188	4		遮蔽体	内側	側面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )	6(7.5 <sup>*4</sup> )	前面	mm	50(52 <sup>*4</sup> )		後面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )		底面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )		外側	側面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )		前面	mm	8(10 <sup>*4</sup> )		後面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )		底面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )		主要材料	内側	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)		外側	-	SUS304		<p>収納パレットはパレット一時保管棚で取り扱うことから、設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三.(ロ)(1)⑤f.(a)</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三.(ロ)(1)⑤f.(a)</span>と同義であり整合している。</p>	
		変更前		変更後																																																																																																										
名称 <sup>*2</sup>		収納パレット-1, 収納パレット-2																																																																																																												
種類 <sup>*3</sup>	-	パレット式																																																																																																												
容量	kg	32 <sup>*4</sup>	33 <sup>*4</sup>																																																																																																											
最高使用圧力	Pa	大気圧 <sup>*4</sup>																																																																																																												
最高使用温度	℃	60 <sup>*4</sup>																																																																																																												
主要寸法 <sup>*5</sup>	たて	mm	239 <sup>*4</sup>																																																																																																											
	横	mm	423.5 <sup>*4</sup>																																																																																																											
	高さ	側面	mm	6 <sup>*4</sup>																																																																																																										
		前面	mm	10 <sup>*4</sup>																																																																																																										
後面		mm	6 <sup>*4</sup>																																																																																																											
主要材料 <sup>*6</sup>	-	SUS304		変更なし																																																																																																										
個数 <sup>*7</sup>	-	188	4																																																																																																											
遮蔽体	内側	側面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )	6(7.5 <sup>*4</sup> )																																																																																																									
		前面	mm	50(52 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
		後面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
		底面	mm	20(22.5 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
	外側	側面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
		前面	mm	8(10 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
		後面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
		底面	mm	4(6 <sup>*4</sup> )																																																																																																										
主要材料	内側	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																											
	外側	-	SUS304																																																																																																											

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*11</td> <td>mm</td> <td>段方向300以上 行方向350以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床・ までの距離</td> <td>東西壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*4</td> <td>t・HM</td> <td>1.7 (192棚: 64×3台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法 *5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3765*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*6</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">造 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *8</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35. 00m*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*11	mm	段方向300以上 行方向350以上	設置する室 の壁・床・ までの距離	東西壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*9	容量*4		t・HM	1.7 (192棚: 64×3台)	主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270*1	横	mm	3765*1	高さ	mm	3850*1*9	主要材料*6		—	SUS304, SUS304TP	個数*7		—	3	造 蔽 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)	外側	mm	4(5*1)	主要材料	棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	取 付 箇 所 *8	系統名(ライン名)		—	—	設置床		—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35. 00m*9	溢水防護上の区画番号		—	—*10	溢水防護上の配慮が必要 な高さ		—	—*10	変更なし	
		変更前	変更後																																																																																			
名称*2		ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)																																																																																				
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																																			
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*11	mm	段方向300以上 行方向350以上																																																																																			
	設置する室 の壁・床・ までの距離	東西壁	mm	1635以上																																																																																		
		床	mm	300以上																																																																																		
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*9																																																																																			
容量*4		t・HM	1.7 (192棚: 64×3台)																																																																																			
主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270*1																																																																																			
	横	mm	3765*1																																																																																			
	高さ	mm	3850*1*9																																																																																			
主要材料*6		—	SUS304, SUS304TP																																																																																			
個数*7		—	3																																																																																			
造 蔽 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)																																																																																	
			外側	mm	4(5*1)																																																																																	
	主要材料	棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																	
			外側	—	SUS304																																																																																	
取 付 箇 所 *8	系統名(ライン名)		—	—																																																																																		
	設置床		—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35. 00m*9																																																																																		
	溢水防護上の区画番号		—	—*10																																																																																		
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ		—	—*10																																																																																		
		<p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *9: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *10: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。  *11: 貯蔵単位(焼結ボート、ペレット保管容器)の配列(8段×8行)を核的に安全な配置とする。</p>																																																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																														
<p>g. 容器 (焼結ボート, 先行試験焼結ボート, スクラップ焼結ボート及び規格外ペレット保管容器)</p> <p>(a) 個数 ニ.(ロ)(1)⑤g.(a) 1式</p>	<p>⑦ 容器 (焼結ボート, 先行試験焼結ボート, スクラップ焼結ボート及び規格外ペレット保管容器)</p> <p>a. 個数 1式</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑤g.(a)</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑤g.(a)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称<sup>#2</sup></th> <th colspan="3">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類<sup>#3</sup></th> <th colspan="3">容器(焼結ボート)</th> <th>容器(先行試験焼結ボート)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">臨界管理</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="3">190以下</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="3">285以下</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">105以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>kg・MOX</td> <td>8<sup>#4</sup></td> <td>1<sup>#4</sup></td> <td>8<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="3">大気圧<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="3">1780<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法<sup>#5</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>178<sup>#1</sup></td> <td>178<sup>#1</sup></td> <td>174<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>268<sup>#1</sup></td> <td>268<sup>#1</sup></td> <td>263<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>80.5<sup>#1</sup></td> <td>80.5<sup>#1</sup></td> <td>59.5<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>10<sup>#1#4</sup></td> <td>10<sup>#1#4</sup></td> <td>3<sup>#1#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>#6</sup></td> <td colspan="4">モリブデン鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>#7</sup></td> <td colspan="4">192, 3, 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称<sup>#2</sup></th> <th colspan="3">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類<sup>#3</sup></th> <th colspan="3">容器(規格外ペレット保管容器)</th> <th>容器(規格外ペレット保管容器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">臨界管理</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="3">260以下</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="3">270以下</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">105以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>kg・MOX</td> <td colspan="3">20<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="3">大気圧<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="3">60<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法<sup>#5</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="3">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="3">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>#6</sup></td> <td colspan="4">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>#7</sup></td> <td colspan="4">10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>	名称 <sup>#2</sup>		変更前			変更後	種類 <sup>#3</sup>		容器(焼結ボート)			容器(先行試験焼結ボート)	臨界管理	たて	mm	190以下			横	mm	285以下			高さ	mm	105以下			容量		kg・MOX	8 <sup>#4</sup>	1 <sup>#4</sup>	8 <sup>#4</sup>	最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>			最高使用温度		℃	1780 <sup>#4</sup>			主要寸法 <sup>#5</sup>	たて	mm	178 <sup>#1</sup>	178 <sup>#1</sup>	174 <sup>#1</sup>	横	mm	268 <sup>#1</sup>	268 <sup>#1</sup>	263 <sup>#1</sup>	高さ	mm	80.5 <sup>#1</sup>	80.5 <sup>#1</sup>	59.5 <sup>#1</sup>	厚さ	mm	10 <sup>#1#4</sup>	10 <sup>#1#4</sup>	3 <sup>#1#4</sup>	主要材料 <sup>#6</sup>		モリブデン鋼				個数 <sup>#7</sup>		192, 3, 6				名称 <sup>#2</sup>		変更前			変更後	種類 <sup>#3</sup>		容器(規格外ペレット保管容器)			容器(規格外ペレット保管容器)	臨界管理	たて	mm	260以下			横	mm	270以下			高さ	mm	105以下			容量		kg・MOX	20 <sup>#4</sup>			最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>			最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>			主要寸法 <sup>#5</sup>	たて	mm	[REDACTED]			横	mm	[REDACTED]			高さ	mm	[REDACTED]			厚さ	mm	[REDACTED]			主要材料 <sup>#6</sup>		ステンレス鋼				個数 <sup>#7</sup>		10				<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑤g.(a)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑤g.(a)を詳細に記載しており整合している。</p>	
名称 <sup>#2</sup>		変更前			変更後																																																																																																																																																													
種類 <sup>#3</sup>		容器(焼結ボート)			容器(先行試験焼結ボート)																																																																																																																																																													
臨界管理	たて	mm	190以下																																																																																																																																																															
	横	mm	285以下																																																																																																																																																															
	高さ	mm	105以下																																																																																																																																																															
容量		kg・MOX	8 <sup>#4</sup>	1 <sup>#4</sup>	8 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																													
最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																															
最高使用温度		℃	1780 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																															
主要寸法 <sup>#5</sup>	たて	mm	178 <sup>#1</sup>	178 <sup>#1</sup>	174 <sup>#1</sup>																																																																																																																																																													
	横	mm	268 <sup>#1</sup>	268 <sup>#1</sup>	263 <sup>#1</sup>																																																																																																																																																													
	高さ	mm	80.5 <sup>#1</sup>	80.5 <sup>#1</sup>	59.5 <sup>#1</sup>																																																																																																																																																													
	厚さ	mm	10 <sup>#1#4</sup>	10 <sup>#1#4</sup>	3 <sup>#1#4</sup>																																																																																																																																																													
主要材料 <sup>#6</sup>		モリブデン鋼																																																																																																																																																																
個数 <sup>#7</sup>		192, 3, 6																																																																																																																																																																
名称 <sup>#2</sup>		変更前			変更後																																																																																																																																																													
種類 <sup>#3</sup>		容器(規格外ペレット保管容器)			容器(規格外ペレット保管容器)																																																																																																																																																													
臨界管理	たて	mm	260以下																																																																																																																																																															
	横	mm	270以下																																																																																																																																																															
	高さ	mm	105以下																																																																																																																																																															
容量		kg・MOX	20 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																															
最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																															
最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>																																																																																																																																																															
主要寸法 <sup>#5</sup>	たて	mm	[REDACTED]																																																																																																																																																															
	横	mm	[REDACTED]																																																																																																																																																															
	高さ	mm	[REDACTED]																																																																																																																																																															
	厚さ	mm	[REDACTED]																																																																																																																																																															
主要材料 <sup>#6</sup>		ステンレス鋼																																																																																																																																																																
個数 <sup>#7</sup>		10																																																																																																																																																																



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
<p>⑥ スクラップ貯蔵設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a.</span>                      a. <u>スクラップ貯蔵棚グローブボックス</u>                      (a) <u>設置場所</u>                          ペレット・スクラップ貯蔵室                      (b) <u>個数</u>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a. (b) 5基</span>                       (c) <u>主要な構成材</u>                          <u>缶体：ステンレス鋼</u>                          <u>パネル：ポリカーボネート樹脂</u>                      (d) <u>グローブボックス内雰囲気</u>                          <u>窒素雰囲気</u></p>	<p>(6) スクラップ貯蔵設備</p> <p>① <u>スクラップ貯蔵棚グローブボックス</u>                      a. <u>設置場所</u>                          <u>ペレット・スクラップ貯蔵室</u>                      b. <u>個数</u>                          <u>5基</u>                       (c) <u>主要な構成材</u>                          <u>缶体：ステンレス鋼</u>                          <u>パネル：ポリカーボネート樹脂</u>                      d. <u>グローブボックス内雰囲気</u>                          <u>窒素雰囲気</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         ニ. (ロ) (1) ⑥a. (b)                     </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">名称*</td> <td></td> <td colspan="2">スクラップ貯蔵棚グローブボックス</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">タス-1**13 (PA0138-B-01701)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類**</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">漏れ率**4*11</td> <td style="text-align: center;">vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開口部風速**5*12</td> <td style="text-align: center;">m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要寸法**6</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1270*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3950*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要材料**7</td> <td style="text-align: center;">本体</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">底板部</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個数**8</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所**9</td> <td style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">                     注記 *1：公称値を示す。                      *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。                      *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。                      *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。                      *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。                      *13：本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。                 </p>			変更前	変更後	名称*		スクラップ貯蔵棚グローブボックス			タス-1**13 (PA0138-B-01701)		種類**	-	グローブボックス		漏れ率**4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速**5*12	m/s	0.5以上		主要寸法**6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料**7	本体	-	SUS304, SUS304TP	底板部	-	メタクリル樹脂	個数**8	-	-	1	取付箇所**9	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a.</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a.</span>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a. (b)</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑥a. (b)</span>を具体的に記載しており整合している。                      (1+3+1=5基)</p>	
		変更前	変更後																																																										
名称*		スクラップ貯蔵棚グローブボックス																																																											
		タス-1**13 (PA0138-B-01701)																																																											
種類**	-	グローブボックス																																																											
漏れ率**4*11	vol%/h	0.25以下																																																											
開口部風速**5*12	m/s	0.5以上																																																											
主要寸法**6	たて	mm	1270*1																																																										
	横	mm	3950*1																																																										
	高さ	mm	3850*1*10																																																										
主要材料**7	本体	-	SUS304, SUS304TP																																																										
	底板部	-	メタクリル樹脂																																																										
個数**8	-	-	1																																																										
取付箇所**9	系統名(ライン名)	-	-																																																										
	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10																																																										
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項				整合性	備考																																																														
	ニ.(ロ)(1)⑥a.	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>スクラップ貯蔵棚グローブボックス クス-2-3-4*13 (PA0138-B-01702, -01703, -01704)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>個数*8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ベレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1196 751 1489 804">ニ.(ロ)(1)⑥a.(b)</td> <td colspan="4"> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12:グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13:本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス クス-2-3-4*13 (PA0138-B-01702, -01703, -01704)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	取付箇所*9	個数*8	—	2	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—									ニ.(ロ)(1)⑥a.(b)	<p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12:グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13:本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>							
		変更前	変更後																																																																		
名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス クス-2-3-4*13 (PA0138-B-01702, -01703, -01704)																																																																			
種類*3	—	グローブボックス																																																																			
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																																			
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																																			
主要寸法*6	たて	mm	1270*1																																																																		
	横	mm	3950*1																																																																		
	高さ	mm	3850*1*10																																																																		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																																		
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																																		
取付箇所*9	個数*8	—	2																																																																		
	系統名(ライン名)	—	—																																																																		
	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10																																																																		
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																		
	ニ.(ロ)(1)⑥a.(b)	<p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12:グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13:本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<p>ニ.(ロ)(1)⑥a.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5*13 (PA0138-B-01705)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5*13 (PA0138-B-01705)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	1	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5*13 (PA0138-B-01705)																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																								
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*6	たて	mm	1270*1																																																							
	横	mm	3950*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*10																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*8		—	1																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							
	<p>ニ.(ロ)(1)⑥a.(b)</p>	<p>主記 *1:公称値を示す。                  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                  *4:記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。                  *5:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。                  *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                  *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                  *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                  *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                  *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                  *11:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。                  *12:グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。                  *13:本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。</p>																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																												
<p>ニ.(ロ)(1)⑥b.</p> <p>b. スクラップ貯蔵棚</p> <p>(a) 設置場所 ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>(b) 個数 5台</p> <p>(c) 貯蔵容量 210 棚</p> <p>(d) 主要な構成材 ステンレス鋼</p>	<p>② スクラップ貯蔵棚</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑥b.</p> <p>a. 設置場所 ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>b. 個数 5台</p> <p>c. 貯蔵容量 210 棚</p> <p>d. 主要な構成材 ステンレス鋼</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>スクラップ貯蔵棚-1,-2,-3,-4,-5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>棚段貯蔵方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)**</td> <td>mm</td> <td>段方向450以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>製品ペレット貯蔵設備との面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室の壁・床・までの距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>10 (210棚: 42×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)**</td> <td>mm</td> <td>段方向495*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>-</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>棚上部</td> <td>内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)</td> </tr> <tr> <td>棚上部</td> <td>内側 - ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上) 外側 - SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取付箇所**</th> <th>系統名(ライン名)</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「列方向」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *12: 貯蔵単位(9缶バスケット, ペレット保管容器)の配列(6段×7行)を核的に安全な配置とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ貯蔵棚-1,-2,-3,-4,-5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*3		棚段貯蔵方式		臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向450以上 列方向450以上	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10	容量*5		t・HM	10 (210棚: 42×5台)	主 要 寸 法	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		-	SUS304, SUS304TP	個数*8		-	5	遮 蔽 体	主要寸法	棚上部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)	棚上部	内側 - ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上) 外側 - SUS304	系統名(ライン名)		-	-	設置床		-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号		-	-*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-*11	取付箇所**	系統名(ライン名)	変更前	変更後		設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10		溢水防護上の区画番号	-	-*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑥b.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥b.を具体的に記載しており整合している。</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																																																													
名称*2		スクラップ貯蔵棚-1,-2,-3,-4,-5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																																														
種類*3		棚段貯蔵方式																																																																																														
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向450以上 列方向450以上																																																																																													
	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上																																																																																													
	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上																																																																																												
		床	mm	300以上																																																																																												
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10																																																																																													
容量*5		t・HM	10 (210棚: 42×5台)																																																																																													
主 要 寸 法	たて	mm	1270*1																																																																																													
	横	mm	3950*1																																																																																													
	高さ	mm	3850*1*10																																																																																													
	中心間距離(棚間隔)**	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10																																																																																													
主要材料*7		-	SUS304, SUS304TP																																																																																													
個数*8		-	5																																																																																													
遮 蔽 体	主要寸法	棚上部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)																																																																																													
		棚上部	内側 - ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上) 外側 - SUS304																																																																																													
	系統名(ライン名)		-	-																																																																																												
	設置床		-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																																																												
溢水防護上の区画番号		-	-*11																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-*11																																																																																													
取付箇所**	系統名(ライン名)	変更前	変更後																																																																																													
	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																																																													
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11																																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
<p>c. <u>スクラップ保管容器入出庫装置</u></p> <p>(a) <u>設置場所</u> <u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>(b) <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<p>③ <u>スクラップ保管容器入出庫装置</u></p> <p>a. <u>設置場所</u> <u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>b. <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<p>(3) <input type="checkbox"/> 搬送設備</p> <table border="1" data-bbox="1516 373 2119 890"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>#2</sup></td> <td>スクラップ保管容器入出庫装置 (PA0138-M-02101)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>#3</sup></td> <td>-</td> <td>クレーン方式<sup>#4</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量<sup>#5</sup></td> <td>kg</td> <td>163</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法<sup>#6</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>628<sup>#10</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2964<sup>#10</sup> 3564<sup>#10</sup> 3828<sup>#10</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3674<sup>#10</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>#7</sup></td> <td>-</td> <td>SKR400, SS400, SUS304TP<sup>#10</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>#8</sup></td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所<sup>#9</sup></td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L. 35.00m<sup>#10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>#11</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>#11</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□ *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「スタッカークレーン方式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>#2</sup>		スクラップ保管容器入出庫装置 (PA0138-M-02101)		種類 <sup>#3</sup>	-	クレーン方式 <sup>#4</sup>		容量 <sup>#5</sup>	kg	163		主要寸法 <sup>#6</sup>	たて	mm	628 <sup>#10</sup>	横	mm	2964 <sup>#10</sup> 3564 <sup>#10</sup> 3828 <sup>#10</sup>	高さ	mm	3674 <sup>#10</sup>	主要材料 <sup>#7</sup>		-	SKR400, SS400, SUS304TP <sup>#10</sup>	個数 <sup>#8</sup>		-	1	系統名(ライン名)		-	-	取付箇所 <sup>#9</sup>	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L. 35.00m <sup>#10</sup>	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>#11</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>#11</sup>		
		変更前	変更後																																																	
名称 <sup>#2</sup>		スクラップ保管容器入出庫装置 (PA0138-M-02101)																																																		
種類 <sup>#3</sup>	-	クレーン方式 <sup>#4</sup>																																																		
容量 <sup>#5</sup>	kg	163																																																		
主要寸法 <sup>#6</sup>	たて	mm	628 <sup>#10</sup>																																																	
	横	mm	2964 <sup>#10</sup> 3564 <sup>#10</sup> 3828 <sup>#10</sup>																																																	
	高さ	mm	3674 <sup>#10</sup>																																																	
主要材料 <sup>#7</sup>		-	SKR400, SS400, SUS304TP <sup>#10</sup>																																																	
個数 <sup>#8</sup>		-	1																																																	
系統名(ライン名)		-	-																																																	
取付箇所 <sup>#9</sup>	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L. 35.00m <sup>#10</sup>																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>#11</sup>																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>#11</sup>																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
<p>ニ.(ロ)(1)⑥d.</p> <p>d. スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス</p> <p>(a) 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>(b) 個数 ニ.(ロ)(1)⑥d.(b) 2基</p> <p>(c) 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>(d) グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p>	<p>④ スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス</p> <p>a. 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>b. 個数 2基</p> <p>c. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>d. グローブボックス内雰囲気 窒素雰囲気</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑥d.(b)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス**13</td> <td>(PA0138-B-03701)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類**</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法**6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1920*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3045*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850**10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料**7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数**8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所**9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第3室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。</p>			変更前	変更後	名称*		スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス**13	(PA0138-B-03701)	種類**		—	グローブボックス	漏れ率**11		vol%/h	0.25以下	開口部風速**12		m/s	0.5以上	主要寸法**6	たて	mm	1920*1	横	mm	3045*1	高さ	mm	3850**10	主要材料**7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数**8		—	2	取付箇所**9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第3室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑥d.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥d.を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)⑥d.(b)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥d.(b)を詳細に記載しており整合している。 (1基×2=2基)</p>	
		変更前	変更後																																																							
名称*		スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス**13	(PA0138-B-03701)																																																							
種類**		—	グローブボックス																																																							
漏れ率**11		vol%/h	0.25以下																																																							
開口部風速**12		m/s	0.5以上																																																							
主要寸法**6	たて	mm	1920*1																																																							
	横	mm	3045*1																																																							
	高さ	mm	3850**10																																																							
主要材料**7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数**8		—	2																																																							
取付箇所**9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	点検第3室 T.M.S.L.35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 100px;">ニ. (ロ) (1)⑥d.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 100px;">ニ. (ロ) (1)⑥d. (b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</td> <td colspan="2">スクラップ保管容器受取装置 グローブボックス*10 (PA0138-B-03702)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類*3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">漏れ率***11</td> <td style="text-align: center;">vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開口部風速*5*12</td> <td style="text-align: center;">m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要寸法*6</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1920*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3675*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3850*1*13</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要材料*7</td> <td style="text-align: center;">本体</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">窓板部</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">数量*8</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所*9</td> <td style="text-align: center;">系統名(ライン名)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">点検第4電 T. M. S. L. 35. 00m*10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配置が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">           注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。            *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。            *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。            *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の濃縮圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。            *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。            *13: 本グローブボックスは、<u>窒素雰囲気</u>とする。         </p>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ保管容器受取装置 グローブボックス*10 (PA0138-B-03702)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率***11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1920*1	横	mm	3675*1	高さ	mm	3850*1*13	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	数量*8		—	1	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第4電 T. M. S. L. 35. 00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配置が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		スクラップ保管容器受取装置 グローブボックス*10 (PA0138-B-03702)																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																								
漏れ率***11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*6	たて	mm	1920*1																																																							
	横	mm	3675*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*13																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
数量*8		—	1																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	点検第4電 T. M. S. L. 35. 00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配置が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																	
<p>e. スクラップ保管容器受渡装置</p> <p>(a) 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>(b) 個数 2台</p> <p>(c) 主要な構成材 鋼材 ニ.(ロ)(1)⑥e.(c)及びステンレス鋼</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ニ.(ロ)(1)⑥e.</p> <p>⑤ スクラップ保管容器受渡装置</p> <p>a. 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>b. 個数 2台</p> <p>c. 主要な構成材 鋼材 及びステンレス鋼</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ニ.(ロ)(1)⑥e.(c)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>*2</sup></td> <td>スクラップ保管容器受渡装置 -1,-2 (PA0138-M-03110, -03120)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>*3</sup></td> <td>-</td> <td>コンベア方式、クレーン方式、リフト方式<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量<sup>*5</sup></td> <td>保管容器搬送コンベア -1,-2</td> <td rowspan="3">kg</td> <td rowspan="3">91</td> </tr> <tr> <td>保管容器取扱機-1,-2</td> </tr> <tr> <td>昇降台-1,-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法<sup>*6</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>650<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>700<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2860<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>*7</sup></td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>*8</sup></td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所<sup>*9</sup></td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式、クレーン方式」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は「設計図書による」。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>*2</sup>		スクラップ保管容器受渡装置 -1,-2 (PA0138-M-03110, -03120)		種類 <sup>*3</sup>		-	コンベア方式、クレーン方式、リフト方式 <sup>*4</sup>	容量 <sup>*5</sup>	保管容器搬送コンベア -1,-2	kg	91	保管容器取扱機-1,-2	昇降台-1,-2	主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	650 <sup>*1</sup>	横	mm	700 <sup>*1</sup>	高さ	mm	2860 <sup>*1</sup>	主要材料 <sup>*7</sup>		-	SS400, STKR400 <sup>*10</sup>	個数 <sup>*8</sup>		-	2	取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*11</sup>	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑥e.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥e.を具体的に記載しており整合している。</p> <p>本機器の材料としてステンレス鋼を使用していることを設計図書にて確認したため、設工認のニ.(ロ)(1)⑥e.(c)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥e.(c)と整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																		
名称 <sup>*2</sup>		スクラップ保管容器受渡装置 -1,-2 (PA0138-M-03110, -03120)																																																			
種類 <sup>*3</sup>		-	コンベア方式、クレーン方式、リフト方式 <sup>*4</sup>																																																		
容量 <sup>*5</sup>	保管容器搬送コンベア -1,-2	kg	91																																																		
	保管容器取扱機-1,-2																																																				
	昇降台-1,-2																																																				
主要寸法 <sup>*6</sup>	たて	mm	650 <sup>*1</sup>																																																		
	横	mm	700 <sup>*1</sup>																																																		
	高さ	mm	2860 <sup>*1</sup>																																																		
主要材料 <sup>*7</sup>		-	SS400, STKR400 <sup>*10</sup>																																																		
個数 <sup>*8</sup>		-	2																																																		
取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名(ライン名)	-	-																																																		
	設置床	-	点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m <sup>*10</sup>																																																		
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- <sup>*11</sup>																																																		



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>f. 収納パレット</p> <p>(a) 設置場所  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑥f.(a)</span>ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>(b) 個数  <u>210基</u></p>	<p>⑥ 収納パレット</p> <p>a. 設置場所            ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>b. 個数  <u>210基</u></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称* <td colspan="2">収納パレット</td> </td></tr> <tr> <td>種類*</td> <td></td> <td colspan="2">パレット式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg</td> <td colspan="2">89**</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">大気圧**</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60**</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法*</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>389*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>425.5*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>370*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>6*1**</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>12*1**</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>6*1**</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*</td> <td></td> <td>210</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">遮蔽体</td> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="4">内側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5*1)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>50(52*1)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5*1)</td> </tr> <tr> <td>底面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>4(6*1)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>11(12*1)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>4(6*1)</td> </tr> <tr> <td>底面</td> <td>mm</td> <td>4(6*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>内側</td> <td></td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。            *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。            *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。            *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。            *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。            *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>			変更前	変更後	名称* <td colspan="2">収納パレット</td>		収納パレット		種類*		パレット式		容量	kg	89**		最高使用圧力	Pa	大気圧**		最高使用温度	℃	60**		主要寸法*	たて	mm	389*1	横	mm	425.5*1	高さ	mm	370*1	厚さ	側面	mm	6*1**	前面	mm	12*1**	後面	mm	6*1**	主要材料*			SUS304	個数*			210	遮蔽体	主要寸法	内側	側面	mm	20(22.5*1)	前面	mm	50(52*1)	後面	mm	20(22.5*1)	底面	mm	20(22.5*1)	外側	側面	mm	4(6*1)	前面	mm	11(12*1)	後面	mm	4(6*1)	底面	mm	4(6*1)	主要材料	内側		ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側		SUS304	<p>収納パレットはスクラップ貯蔵棚で取り扱うことから、設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑥f.(a)</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)⑥f.(a)</span>と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																								
名称* <td colspan="2">収納パレット</td>		収納パレット																																																																																									
種類*		パレット式																																																																																									
容量	kg	89**																																																																																									
最高使用圧力	Pa	大気圧**																																																																																									
最高使用温度	℃	60**																																																																																									
主要寸法*	たて	mm	389*1																																																																																								
	横	mm	425.5*1																																																																																								
	高さ	mm	370*1																																																																																								
	厚さ	側面	mm	6*1**																																																																																							
前面		mm	12*1**																																																																																								
後面		mm	6*1**																																																																																								
主要材料*			SUS304																																																																																								
個数*			210																																																																																								
遮蔽体	主要寸法	内側	側面	mm	20(22.5*1)																																																																																						
			前面	mm	50(52*1)																																																																																						
			後面	mm	20(22.5*1)																																																																																						
			底面	mm	20(22.5*1)																																																																																						
	外側	側面	mm	4(6*1)																																																																																							
		前面	mm	11(12*1)																																																																																							
		後面	mm	4(6*1)																																																																																							
		底面	mm	4(6*1)																																																																																							
主要材料	内側		ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																								
	外側		SUS304																																																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*4</td> <td>mm</td> <td>段方向450以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>製品ペレット貯蔵設備との面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室の壁・床・までの距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>10 (210棚: 42×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向495*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向450以上 列方向450以上	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10		容量*5		t・HM	10 (210棚: 42×5台)	主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP	個数*8		—	5	遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	内側	mm	20(23*1)	外側	mm	4(5*1)	主要材料	厚さ	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304		
		変更前	変更後																																																																									
名称*2		スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																										
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																									
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向450以上 列方向450以上																																																																									
	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上																																																																									
	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上																																																																								
		床	mm	300以上																																																																								
単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10																																																																										
容量*5		t・HM	10 (210棚: 42×5台)																																																																									
主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1																																																																									
	横	mm	3950*1																																																																									
	高さ	mm	3850*1*10																																																																									
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10																																																																									
主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP																																																																									
個数*8		—	5																																																																									
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	内側	mm	20(23*1)																																																																							
			外側	mm	4(5*1)																																																																							
	主要材料	厚さ	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																							
			外側	—	SUS304																																																																							
		<p>ニ. (ロ) (1) ⑥f. (a)</p>																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 貯蔵単位(9缶バスケット, ペレット保管容器)の配列(6段×7列)を核的に安全な配置とする。 *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																								
		変更前	変更後																																																																									
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																									
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m*10																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																										
<p>g. 容器 (ペレット保管容器, 9 缶バスケット, 規格外ペレット保管容器及びCS・RS保管ポット)</p> <p>(a) 個数 ニ.(ロ)(1)⑥g.(a) 1式</p>	<p>⑦ 容器 (ペレット保管容器, 9 缶バスケット, 規格外ペレット保管容器及びCS・RS保管ポット)</p> <p>a. 個数 1式</p>	<p>(6) スクラップ貯蔵設備                      &lt;中略&gt;                      スクラップ貯蔵設備は, 収納パレット及び容器 (ペレット保管容器, 9 缶バスケット, 規格外ペレット保管容器及びCS・RS保管ポット) を取り扱う設計とする。</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1516 512 2125 1010"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">容器(9缶バスケット)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td colspan="2">9缶積載式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨 界 管 理</td> <td>CS・RS保管ポット収納数</td> <td>9以下</td> <td rowspan="7">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg 70.2*4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa 大気圧*4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最高使用温度</td> <td>℃ 60*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*6</td> <td colspan="2">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td>210</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>			変更前	変更後	名称*2		容器(9缶バスケット)		種類*3		9缶積載式		臨 界 管 理	CS・RS保管ポット収納数	9以下	変更なし	容量	kg 70.2*4		最高使用圧力	Pa 大気圧*4		最高使用温度	℃ 60*4	主 要 寸 法 *5	たて	mm	[REDACTED]	横	mm	高さ	mm	厚さ	mm	主要材料*6		ステンレス鋼		個数*7		210	204	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑥g.(a)は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥g.(a)を詳細に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																											
名称*2		容器(9缶バスケット)																																												
種類*3		9缶積載式																																												
臨 界 管 理	CS・RS保管ポット収納数	9以下	変更なし																																											
	容量	kg 70.2*4																																												
	最高使用圧力	Pa 大気圧*4																																												
	最高使用温度	℃ 60*4																																												
主 要 寸 法 *5	たて	mm		[REDACTED]																																										
	横	mm																																												
	高さ	mm																																												
	厚さ	mm																																												
主要材料*6		ステンレス鋼																																												
個数*7		210	204																																											

ニ.(ロ)(1)⑥g.(a)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																				
		<table border="1" data-bbox="1507 285 2122 810"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">容器(規格外ペレット保管容器)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">トレイ式</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨 界 管 理</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>260以下</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>270以下</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>105以下</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg・MOX</td> <td colspan="2">20*4</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">大気圧*4</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料*6</td> <td>—</td> <td colspan="2">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個数*7</td> <td>—</td> <td colspan="2">_10_</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑥g.(a)以下の設備は核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備であり、スクラップ貯蔵設備として本設工認で兼用とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>容器(ペレット保管容器)</li> </ul> <p>ニ.(ロ)(1)⑥g.(a)以下の設備は核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備であり、スクラップ貯蔵設備として本設工認で兼用とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>容器(CS・RS保管ポット)</li> </ul>			変更前	変更後	名称*2		容器(規格外ペレット保管容器)		種類*3	—	トレイ式		臨 界 管 理	たて	mm	260以下	横	mm	270以下	高さ	mm	105以下	容量	kg・MOX	20*4		最高使用圧力	Pa	大気圧*4		最高使用温度	℃	60*4		主 要 寸 法 *5	たて	mm	[REDACTED]	横	mm	高さ	mm	厚さ	mm	主要材料*6	—	ステンレス鋼		個数*7	—	_10_			
		変更前	変更後																																																					
名称*2		容器(規格外ペレット保管容器)																																																						
種類*3	—	トレイ式																																																						
臨 界 管 理	たて	mm	260以下																																																					
	横	mm	270以下																																																					
	高さ	mm	105以下																																																					
容量	kg・MOX	20*4																																																						
最高使用圧力	Pa	大気圧*4																																																						
最高使用温度	℃	60*4																																																						
主 要 寸 法 *5	たて	mm	[REDACTED]																																																					
	横	mm																																																						
	高さ	mm																																																						
	厚さ	mm																																																						
主要材料*6	—	ステンレス鋼																																																						
個数*7	—	_10_																																																						
	<div data-bbox="1187 756 1478 810" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     ニ.(ロ)(1)⑥g.(a)                 </div>																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
<p>⑦ 製品ペレット貯蔵設備  <u>ニ.(ロ)(1)⑦a.</u>                      a. <u>製品ペレット貯蔵棚グローブボックス</u>                      (a) <u>設置場所</u>  <u>ペレット・スクラップ貯蔵室</u>                      (b) <u>個数</u>  <u>ニ.(ロ)(1)⑦a.(b)5基</u></p> <p>(c) 主要な構成材  <u>缶体：ステンレス鋼</u>  <u>パネル：ポリカーボネート樹脂</u>                      (d) <u>グローブボックス内雰囲気</u>  <u>空気雰囲気</u></p>	<p>ニ.(ロ)(1)⑦a.</p> <p>(7) 製品ペレット貯蔵設備                      ① <u>製品ペレット貯蔵棚グローブボックス</u>                      a. <u>設置場所</u>  <u>ペレット・スクラップ貯蔵室</u>                      b. <u>個数</u>  <u>5基</u></p> <p>ニ.(ロ)(1)⑦a.(b)</p> <p>c. 主要な構成材  <u>缶体：ステンレス鋼</u>  <u>パネル：ポリカーボネート樹脂</u>                      d. <u>グローブボックス内雰囲気</u>  <u>空気雰囲気</u></p>	<p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1516 352 2119 968"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1*13 (PA0137-B-01701)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。                      *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。                      *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。                      *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。                      *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                      *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉じた状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。                      *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。                      *13：本グローブボックスは、<u>空気雰囲気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1*13 (PA0137-B-01701)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	5	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>設工認の<u>ニ.(ロ)(1)⑦a.</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ニ.(ロ)(1)⑦a.</u>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ニ.(ロ)(1)⑦a.(b)</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ニ.(ロ)(1)⑦a.(b)</u>を詳細に記載しており整合している。                      (1+3+1=5基)</p>	
		変更前	変更後																																																							
名称*2		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1*13 (PA0137-B-01701)																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																								
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*6	たて	mm	1270*1																																																							
	横	mm	3950*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*10																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*8		—	5																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<div data-bbox="1190 394 1481 449" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">ニ.(ロ)(1)㉞a.</div> <div data-bbox="1190 779 1481 833" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ.(ロ)(1)㉞a.(b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</td> <td>製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-2,-3,-4*13 (PA0137-B-01702, -01703, -01704)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。  *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4:記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5:記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11:JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12:グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13:本グローブボックスは、<u>空気密閉気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-2,-3,-4*13 (PA0137-B-01702, -01703, -01704)		種類*3		—	グローブボックス	漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	主要寸法*6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	3	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-2,-3,-4*13 (PA0137-B-01702, -01703, -01704)																																																								
種類*3		—	グローブボックス																																																							
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下																																																							
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上																																																							
主要寸法*6	たて	mm	1270*1																																																							
	横	mm	3950*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*10																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*8		—	3																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
	<div data-bbox="1196 380 1486 432" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">ニ. (ロ) (1) ⑦a.</div> <div data-bbox="1196 758 1486 810" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑦a. (b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">製品ベレット貯蔵棚グローブボックス*13 (PA0137-B-01705)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">グローブボックス</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td colspan="2">0.25以下</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>空気密閉気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		製品ベレット貯蔵棚グローブボックス*13 (PA0137-B-01705)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	1	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		
		変更前	変更後																																																							
名称*2		製品ベレット貯蔵棚グローブボックス*13 (PA0137-B-01705)																																																								
種類*3	—	グローブボックス																																																								
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																								
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																								
主要寸法*6	たて	mm	1270*1																																																							
	横	mm	3950*1																																																							
	高さ	mm	3850*1*10																																																							
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																							
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																							
個数*8		—	1																																																							
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																							
	設置床	—	ベレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																							

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																		
<p>ニ.(ロ)(1)⑦b.</p> <p>b. 製品ペレット貯蔵棚</p> <p>(a) 設置場所 ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>(b) 個数 5台</p> <p>(c) 貯蔵容量 350 棚</p> <p>(d) 主要な構成材 ステンレス鋼</p>	<p>ニ.(ロ)(1)⑦b.</p> <p>② 製品ペレット貯蔵棚</p> <p>a. 設置場所 ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>b. 個数 5台</p> <p>c. 貯蔵容量 350 棚</p> <p>d. 主要な構成材 ステンレス鋼</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>製品ペレット貯蔵棚-1.1.2. -3.1.4.25 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*</td> <td>-</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*</td> <td>mm</td> <td>段方向250以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>スクラップ貯蔵設備との 面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床・ までの距離</td> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>2130以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>6.3 (350棚:70×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向284*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>-</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>-</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td>厚さ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚 上 部</td> <td>内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>棚 上 部</td> <td>内側 - ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上) 外側 - SUS304</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(続き)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4:貯蔵単位(ペレット保管容器)の配列(10段×7列)を核的に安全な配置とする。 *5:記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称*		製品ペレット貯蔵棚-1.1.2. -3.1.4.25 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*		-	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*	mm	段方向250以上 列方向450以上	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10	容量*5		t・HM	6.3 (350棚:70×5台)	主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		-	SUS304, SUS304TP	個数*8		-	5	遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ		棚 上 部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)	主要材料	棚 上 部	内側 - ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上) 外側 - SUS304	外側	-	(続き)				取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-*11	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	-	-*11	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑦b.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑦b.を具体的に記載しており整合している。</p>	<p></p>
		変更前	変更後																																																																																			
名称*		製品ペレット貯蔵棚-1.1.2. -3.1.4.25 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																																				
種類*		-	棚段貯蔵方式																																																																																			
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*	mm	段方向250以上 列方向450以上																																																																																			
	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上																																																																																			
	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上																																																																																		
		床	mm	300以上																																																																																		
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10																																																																																			
容量*5		t・HM	6.3 (350棚:70×5台)																																																																																			
主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1																																																																																			
	横	mm	3950*1																																																																																			
	高さ	mm	3850*1*10																																																																																			
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10																																																																																			
主要材料*7		-	SUS304, SUS304TP																																																																																			
個数*8		-	5																																																																																			
遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ																																																																																				
		棚 上 部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)																																																																																			
	主要材料	棚 上 部	内側 - ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上) 外側 - SUS304																																																																																			
		外側	-																																																																																			
(続き)																																																																																						
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	-	-																																																																																			
	設置床	-	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																																			
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	-	-*11																																																																																			



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
<p>c. <u>ペレット保管容器入出庫装置</u></p> <p>(a) <u>設置場所</u> <u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>(b) <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<p>③ <u>ペレット保管容器入出庫装置</u></p> <p>a. <u>設置場所</u> <u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>b. <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2"><u>ペレット保管容器入出庫装置</u> (PA0137-M-02101)</td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td colspan="2">クレーン方式*4</td> </tr> <tr> <td>容量*5</td> <td>kg</td> <td colspan="2">76</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>628*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">横</td> <td>mm</td> <td>2964*1*10 3564*1*10 3828*1*10</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3674*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>STKR400, SS400, SUS304TP*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td><u>1</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*9</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td><u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室</u> T. M. S. L. 35. 00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「スタッカークレーン方式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		<u>ペレット保管容器入出庫装置</u> (PA0137-M-02101)		種類*3	—	クレーン方式*4		容量*5	kg	76		主要寸法*6	たて	mm	628*1*10	横	mm	2964*1*10 3564*1*10 3828*1*10	高さ	mm	3674*1*10	主要材料*7		—	STKR400, SS400, SUS304TP*10	個数*8		—	<u>1</u>	系統名(ライン名)		—	—	取付箇所*9	設置床	—	<u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室</u> T. M. S. L. 35. 00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	変更なし	
		変更前	変更後																																																	
名称*2		<u>ペレット保管容器入出庫装置</u> (PA0137-M-02101)																																																		
種類*3	—	クレーン方式*4																																																		
容量*5	kg	76																																																		
主要寸法*6	たて	mm	628*1*10																																																	
	横	mm	2964*1*10 3564*1*10 3828*1*10																																																	
		高さ	mm	3674*1*10																																																
主要材料*7		—	STKR400, SS400, SUS304TP*10																																																	
個数*8		—	<u>1</u>																																																	
系統名(ライン名)		—	—																																																	
取付箇所*9	設置床	—	<u>ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室</u> T. M. S. L. 35. 00m*10																																																	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
<p>ニ.(ロ)(1)⑦d.</p> <p>d. <u>ペレット保管容器受渡装置グローブボックス</u></p> <p>(a) 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>(b) 個数 ニ.(ロ)(1)⑦d.(b) 2基</p> <p>(c) 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>(d) グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p>	<p>ニ.(ロ)(1)⑦d.</p> <p>④ <u>ペレット保管容器受渡装置グローブボックス</u></p> <p>a. 設置場所 点検第3室及び点検第4室</p> <p>b. 個数 2基</p> <p>ニ.(ロ)(1)⑦d.(b)</p> <p>c. 主要な構成材 缶体：ステンレス鋼 パネル：ポリカーボネート樹脂</p> <p>d. グローブボックス内雰囲気 空気雰囲気</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1*13 (PA0137-B-03701)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4*11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速*5*12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1875*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3045*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第3室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">注記</td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>PA-1-12 T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。 *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。 *13：本グローブボックスは、<u>空気雰囲気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1*13 (PA0137-B-03701)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1875*1	横	mm	3045*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂	個数*8		—	2	取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第3室 T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—	注記	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-12 T.M.S.L. 35.00m以上	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑦d.は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑦d.を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のニ.(ロ)(1)⑦d.(b)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑦d.(b)を詳細に記載しており整合している。 (1基×2=2基)</p>	
		変更前	変更後																																																								
名称*2		ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1*13 (PA0137-B-03701)																																																									
種類*3	—	グローブボックス																																																									
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下																																																									
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上																																																									
主要寸法*6	たて	mm	1875*1																																																								
	横	mm	3045*1																																																								
	高さ	mm	3850*1*10																																																								
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																								
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																								
個数*8		—	2																																																								
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																								
	設置床	—	点検第3室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																								
注記	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	PA-1-12 T.M.S.L. 35.00m以上																																																								

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																											
	<div data-bbox="1196 338 1486 390" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">ニ. (ロ) (1) ⑦d.</div> <div data-bbox="1196 709 1486 762" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニ. (ロ) (1) ⑦d. (b)</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>パレット保管容器受渡装置グローブボックス-2*23 (PA0137-B-03702)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>—</td> <td>グローブボックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏れ率**11</td> <td>vol%/h</td> <td>0.25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速**12</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1825*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3675*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*7</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>—</td> <td>メタクリル樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>個数*8</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>点検第4室 T.M.S.L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。  *12: グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。  *13: 本グローブボックスは、<u>空気密閉気</u>とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		パレット保管容器受渡装置グローブボックス-2*23 (PA0137-B-03702)		種類*3	—	グローブボックス		漏れ率**11	vol%/h	0.25以下		開口部風速**12	m/s	0.5以上		主要寸法*6	たて	mm	1825*1	横	mm	3675*1	高さ	mm	3850*1*10	主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	窓板部	—	メタクリル樹脂				ポリカーボネート樹脂	個数*8	—	1		取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	点検第4室 T.M.S.L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 35.00m以上		
		変更前	変更後																																																												
名称*2		パレット保管容器受渡装置グローブボックス-2*23 (PA0137-B-03702)																																																													
種類*3	—	グローブボックス																																																													
漏れ率**11	vol%/h	0.25以下																																																													
開口部風速**12	m/s	0.5以上																																																													
主要寸法*6	たて	mm	1825*1																																																												
	横	mm	3675*1																																																												
	高さ	mm	3850*1*10																																																												
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP																																																												
	窓板部	—	メタクリル樹脂																																																												
			ポリカーボネート樹脂																																																												
個数*8	—	1																																																													
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—																																																												
	設置床	—	点検第4室 T.M.S.L. 35.00m*10																																																												
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 35.00m以上																																																												

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																	
<p>ニ.(ロ)(1)⑦e.</p> <p>e. <u>ペレット保管容器受渡装置</u></p> <p>(a) 設置場所 <u>点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>(b) 個数 <u>2台</u></p> <p>(c) 主要な構成材 <u>鋼材</u> <u>ニ.(ロ)(1)⑦e.(c)及びステンレス鋼</u></p>	<p>ニ.(ロ)(1)⑦e.</p> <p>⑤ <u>ペレット保管容器受渡装置</u></p> <p>a. 設置場所 <u>点検第3室及び点検第4室</u></p> <p>b. 個数 <u>2台</u></p> <p>c. 主要な構成材 <u>鋼材</u> <u>及びステンレス鋼</u></p> <p>ニ.(ロ)(1)⑦e.(c)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">ペレット保管容器受渡装置-1,-2 (PA0137-M-03110, -03120)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td colspan="2">コンベア方式, クレーン方式, リフト方式*4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量*5</td> <td>保管容器搬送コンベア -1,-2</td> <td rowspan="3">kg</td> <td rowspan="3">35</td> </tr> <tr> <td>保管容器取扱機-1,-2</td> </tr> <tr> <td>昇降台-1,-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>700*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2110*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所*9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式, クレーン方式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。 *11: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		ペレット保管容器受渡装置-1,-2 (PA0137-M-03110, -03120)		種類*3		コンベア方式, クレーン方式, リフト方式*4		容量*5	保管容器搬送コンベア -1,-2	kg	35	保管容器取扱機-1,-2	昇降台-1,-2	主要寸法*6	たて	mm	650*1	横	mm	700*1	高さ	mm	2110*1	主要材料*7		-	SS400, STKR400*10	個数*8		-	2	取付箇所*9	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	-	-*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑦e.は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑦e.を具体的に記載しており整合している。</p> <p>本機器の材料としてステンレス鋼を使用していることを設計図書にて確認したため, 設工認のニ.(ロ)(1)⑥e.(c)は, 事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑥e.(c)と整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																		
名称*2		ペレット保管容器受渡装置-1,-2 (PA0137-M-03110, -03120)																																																			
種類*3		コンベア方式, クレーン方式, リフト方式*4																																																			
容量*5	保管容器搬送コンベア -1,-2	kg	35																																																		
	保管容器取扱機-1,-2																																																				
	昇降台-1,-2																																																				
主要寸法*6	たて	mm	650*1																																																		
	横	mm	700*1																																																		
	高さ	mm	2110*1																																																		
主要材料*7		-	SS400, STKR400*10																																																		
個数*8		-	2																																																		
取付箇所*9	系統名(ライン名)	-	-																																																		
	設置床	-	点検第3室, 点検第4室 T.M.S.L.35.00m*10																																																		
	溢水防護上の区画番号	-	-*11																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*11																																																		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																	
<p>f. 収納パレット</p> <p>(a) 設置場所 ニ.(ロ)(1)⑦f.(a)ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>(b) 個数 350基</p>	<p>⑥ 収納パレット</p> <p>a. 設置場所 ペレット・スクラップ貯蔵室</p> <p>b. 個数 350基</p>	<p>1.7 製品パレット貯蔵設備 (1) 運搬・製品容器</p> <table border="1" data-bbox="1516 365 2119 1163"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">収納パレット</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td colspan="2">パレット式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg</td> <td colspan="2">33</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">大気圧</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>375.5</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">厚さ</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td></td> <td>350</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">遮蔽体</td> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">内側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>50(52)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>20(22.5)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外側</td> <td>側面</td> <td>mm</td> <td>4(6)</td> </tr> <tr> <td>前面</td> <td>mm</td> <td>11(12)</td> </tr> <tr> <td>後面</td> <td>mm</td> <td>4(6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>内側</td> <td></td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>			変更前	変更後	名称		収納パレット		種類		パレット式		容量	kg	33		最高使用圧力	Pa	大気圧		最高使用温度	℃	60		主要寸法	たて	mm	389	横	mm	375.5	高さ	mm	157	厚さ	側面	mm	6	前面	mm	12	後面	mm	6	主要材料			SUS304	個数			350	遮蔽体	主要寸法	内側	側面	mm	20(22.5)	前面	mm	50(52)	後面	mm	20(22.5)	外側	側面	mm	4(6)	前面	mm	11(12)	後面	mm	4(6)	主要材料	内側		ポリエチレン (密度0.93×10kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側		SUS304	<p>収納パレットは製品パレット貯蔵棚で取り扱うことから、設工認のニ.(ロ)(1)⑦f.(a)は、事業変更許可申請書(本文)のニ.(ロ)(1)⑦f.(a)と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																		
名称		収納パレット																																																																																			
種類		パレット式																																																																																			
容量	kg	33																																																																																			
最高使用圧力	Pa	大気圧																																																																																			
最高使用温度	℃	60																																																																																			
主要寸法	たて	mm	389																																																																																		
	横	mm	375.5																																																																																		
	高さ	mm	157																																																																																		
	厚さ	側面	mm	6																																																																																	
前面		mm	12																																																																																		
後面		mm	6																																																																																		
主要材料			SUS304																																																																																		
個数			350																																																																																		
遮蔽体	主要寸法	内側	側面	mm	20(22.5)																																																																																
			前面	mm	50(52)																																																																																
			後面	mm	20(22.5)																																																																																
		外側	側面	mm	4(6)																																																																																
			前面	mm	11(12)																																																																																
			後面	mm	4(6)																																																																																
	主要材料	内側		ポリエチレン (密度0.93×10kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																	
		外側		SUS304																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*4</td> <td>mm</td> <td>段方向250以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>スクラップ貯蔵設備との 面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床・ までの距離</td> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>2130以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>6.3 (350棚:70×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向284*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要 寸法 厚さ</td> <td>棚 上 部 内側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>棚 上 部 内側</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4:貯蔵単位(ペレット保管容器)の配列(10段×7列)を核的に安全な配置とする。 *5:記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10:記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向250以上 列方向450以上	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10	容量*5		t・HM	6.3 (350棚:70×5台)	主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP	個数*8		—	5	遮 蔽 体	主要 寸法 厚さ	棚 上 部 内側	mm	20(23*1)	外側	mm	4(5*1)	主要材料	棚 上 部 内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																																																			
名称*2		製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																																				
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																																			
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向250以上 列方向450以上																																																																																			
	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上																																																																																			
	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上																																																																																		
		床	mm	300以上																																																																																		
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10																																																																																			
容量*5		t・HM	6.3 (350棚:70×5台)																																																																																			
主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1																																																																																			
	横	mm	3950*1																																																																																			
	高さ	mm	3850*1*10																																																																																			
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10																																																																																			
主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP																																																																																			
個数*8		—	5																																																																																			
遮 蔽 体	主要 寸法 厚さ	棚 上 部 内側	mm	20(23*1)																																																																																		
		外側	mm	4(5*1)																																																																																		
	主要材料	棚 上 部 内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																		
		外側	—	SUS304																																																																																		
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																																			
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																																			
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*11																																																																																			

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																
<p>g. 容器 (ペレット保管容器及びペレット保存 試料保管容器)</p> <p>(a) 個数 ニ.(ロ)(1)⑦g.(a) 1式</p>	<p>⑦ 容器 (ペレット保管容器及びペレット保存試 料保管容器)</p> <p>a. 個数 1式</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称<sup>#2</sup></td> <td>容器(ペレット 保管容器)</td> <td>容器(ペレット 保存試料保管容 器)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類<sup>#3</sup></td> <td colspan="3">トレイ式</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨 界 管 理</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">260以下</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">270以下</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">105以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>kg</td> <td>24<sup>#4</sup></td> <td>9.1<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">大気圧<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60<sup>#4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法<sup>#5</sup></td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2" rowspan="4">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料<sup>#6</sup></td> <td colspan="3">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数<sup>#7</sup></td> <td colspan="2">297</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1: 公称値を示す。</p> <p>*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。</p> <p>*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。</p> <p>*4: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。</p> <p>*6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>*7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。</p>			変更前		変更後	名称 <sup>#2</sup>		容器(ペレット 保管容器)	容器(ペレット 保存試料保管容 器)		種類 <sup>#3</sup>		トレイ式			臨 界 管 理	たて	mm	260以下		横	mm	270以下		高さ	mm	105以下		容量		kg	24 <sup>#4</sup>	9.1 <sup>#4</sup>	最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>		最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>		主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	たて	mm	[Redacted]		横	mm	高さ	mm	厚さ	mm	主要材料 <sup>#6</sup>		ステンレス鋼			個数 <sup>#7</sup>		297		53	<p>設工認のニ.(ロ)(1)⑦ g.(a)は事業変更許可 申請書(本文)の ニ.(ロ)(1)⑦g.(a)を 具体的に記載しており 整合している。</p>	<p>ニ.(ロ)(1)⑦g.(a)</p>
		変更前		変更後																																																																
名称 <sup>#2</sup>		容器(ペレット 保管容器)	容器(ペレット 保存試料保管容 器)																																																																	
種類 <sup>#3</sup>		トレイ式																																																																		
臨 界 管 理	たて	mm	260以下																																																																	
	横	mm	270以下																																																																	
	高さ	mm	105以下																																																																	
容量		kg	24 <sup>#4</sup>	9.1 <sup>#4</sup>																																																																
最高使用圧力		Pa	大気圧 <sup>#4</sup>																																																																	
最高使用温度		℃	60 <sup>#4</sup>																																																																	
主 要 寸 法 <sup>#5</sup>	たて	mm	[Redacted]																																																																	
	横	mm																																																																		
	高さ	mm																																																																		
	厚さ	mm																																																																		
主要材料 <sup>#6</sup>		ステンレス鋼																																																																		
個数 <sup>#7</sup>		297		53																																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																				
<p>⑧ 燃料棒貯蔵設備            二.(口)(1)⑧a.            a. 燃料棒貯蔵棚            (a) 設置場所                燃料棒貯蔵室            (b) 個数                2台            (c) 貯蔵容量                二.(口)(1)⑧a.(c)72棚</p>	<p>(8) 燃料棒貯蔵設備            二.(口)(1)⑧a.            ① 燃料棒貯蔵棚            a. 設置場所                燃料棒貯蔵室            b. 個数                2台            c. 貯蔵容量                72棚            二.(口)(1)⑧a.(c)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>燃料棒貯蔵棚-1,-2 (PA0148-M-10101, 10102)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨界 管理</td> <td>中心間距離</td> <td>mm</td> <td>段方向700以上 行方向750以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4</td> <td>東壁</td> <td>mm 4000</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm 460</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>mm 790</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置室の周囲の壁厚さ*12</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚),</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要 寸法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4793*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4815*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中心間距離</td> <td rowspan="2">棚間隔</td> <td>mm</td> <td>段方向750*1 行方向800*1</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12 燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.43.20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		燃料棒貯蔵棚-1,-2 (PA0148-M-10101, 10102)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨界 管理	中心間距離	mm	段方向700以上 行方向750以上	設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4	東壁	mm 4000	床	mm 460	天井	mm 790	設置室の周囲の壁厚さ*12		mm	305以上	容量*5		t・HM	60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚),	主要 寸法 *6	たて	mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1	横	mm	4793*1	高さ	mm	4815*1	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750*1 行方向800*1	mm		主要材料*7		—	SS400, STKR400	個数*8		—	2	取付 箇所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12 燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.43.20m	溢水防護上の区画番号	—	—*10	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10	<p>設工認の二.(口)(1)⑧a.(c)は事業変更許可申請書(本文)の二.(口)(1)⑧a.(c)を具体的に記載しており整合している。(40棚+32棚=72棚)</p>	
		変更前	変更後																																																																					
名称*2		燃料棒貯蔵棚-1,-2 (PA0148-M-10101, 10102)																																																																						
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																					
臨界 管理	中心間距離	mm	段方向700以上 行方向750以上																																																																					
	設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4	東壁	mm 4000																																																																					
		床	mm 460																																																																					
		天井	mm 790																																																																					
設置室の周囲の壁厚さ*12		mm	305以上																																																																					
容量*5		t・HM	60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚),																																																																					
主要 寸法 *6	たて	mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1																																																																					
	横	mm	4793*1																																																																					
	高さ	mm	4815*1																																																																					
	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750*1 行方向800*1																																																																				
			mm																																																																					
主要材料*7		—	SS400, STKR400																																																																					
個数*8		—	2																																																																					
取付 箇所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																					
	設置床	—	燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12 燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.43.20m																																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	—*10																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10																																																																					



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																													
b. 貯蔵マガジン入出庫装置 (a) 設置場所 燃料棒貯蔵室 (b) 個数 1台	② 貯蔵マガジン入出庫装置 a. 設置場所 燃料棒貯蔵室 b. 個数 1台	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称*2</td> <td>貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20101)</td> <td>貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20000)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">種類*3</td> <td>床上市行方式</td> <td>床上市行方式、コンベア方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">臨界管理</td> <td>核的制限値*11 貯蔵マガジン取扱段数</td> <td>段</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚 さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*12</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">容量*4</td> <td>貯蔵マガジン入出庫装置</td> <td>kg</td> <td>1600*9</td> </tr> <tr> <td>搬送用コンベア-1</td> <td>kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>搬送用コンベア-2</td> <td>kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>搬送用コンベア-3</td> <td>kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">主要寸法*5</td> <td rowspan="3">貯蔵マガジン入出庫装置</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4000*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4936*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4410*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">搬送用コンベア-1, -2, -3</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要材料*6</td> <td>貯蔵マガジン入出庫装置</td> <td>—</td> <td>SS400, STR400</td> </tr> <tr> <td>搬送用コンベア-1, -2, -3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">個数*7</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所*8</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置注</td> <td>—</td> <td>燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42.60m*12</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">                     注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。                      *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。                      *4: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。                      *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。                      *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。                      *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。                      *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。                      *9: 定格荷重を示す。                      *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。                      *11: 本装置に単一ユニット(貯蔵マガジン入出庫ユニット)を設定する。                      *12: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。                 </p>			変更前	変更後	名称*2		貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20101)	貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20000)	種類*3		床上市行方式	床上市行方式、コンベア方式	臨界管理	核的制限値*11 貯蔵マガジン取扱段数	段	1	単一ユニット相互間の壁厚 さ	mm	305以上*12	容量*4	貯蔵マガジン入出庫装置	kg	1600*9	搬送用コンベア-1	kg	—	搬送用コンベア-2	kg	—	搬送用コンベア-3	kg	—	主要寸法*5	貯蔵マガジン入出庫装置	たて	mm	4000*1	横	mm	4936*1	高さ	mm	4410*1	搬送用コンベア-1, -2, -3	たて	mm	—	横	mm	—	高さ	mm	—	主要材料*6	貯蔵マガジン入出庫装置	—	SS400, STR400	搬送用コンベア-1, -2, -3	—	—	個数*7		—	1	取付箇所*8	系統名(ライン名)	—	—	設置注	—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42.60m*12	溢水防護上の区画番号	—	—*10	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10		
		変更前	変更後																																																																														
名称*2		貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20101)	貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20000)																																																																														
種類*3		床上市行方式	床上市行方式、コンベア方式																																																																														
臨界管理	核的制限値*11 貯蔵マガジン取扱段数	段	1																																																																														
	単一ユニット相互間の壁厚 さ	mm	305以上*12																																																																														
容量*4	貯蔵マガジン入出庫装置	kg	1600*9																																																																														
	搬送用コンベア-1	kg	—																																																																														
	搬送用コンベア-2	kg	—																																																																														
	搬送用コンベア-3	kg	—																																																																														
主要寸法*5	貯蔵マガジン入出庫装置	たて	mm	4000*1																																																																													
		横	mm	4936*1																																																																													
		高さ	mm	4410*1																																																																													
	搬送用コンベア-1, -2, -3	たて	mm	—																																																																													
		横	mm	—																																																																													
		高さ	mm	—																																																																													
主要材料*6	貯蔵マガジン入出庫装置	—	SS400, STR400																																																																														
	搬送用コンベア-1, -2, -3	—	—																																																																														
個数*7		—	1																																																																														
取付箇所*8	系統名(ライン名)	—	—																																																																														
	設置注	—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42.60m*12																																																																														
	溢水防護上の区画番号	—	—*10																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10																																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																
<p>c. <u>ウラン燃料棒収容装置</u></p> <p>(a) <u>設置場所</u> <u>燃料棒受入室</u></p> <p>(b) <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<p>③ <u>ウラン燃料棒収容装置</u></p> <p>a. <u>設置場所</u> <u>燃料棒受入室</u></p> <p>b. <u>個数</u> <u>1台</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">ウラン燃料棒収容装置 (PA0148-M-30000)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">コンベア方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">臨界 管理</td> <td>核的制限値 *3</td> <td>ウラン燃料棒取扱本数</td> <td>本 540</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貯蔵マガジン取扱段数</td> <td>段 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm 305以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量</td> <td></td> <td>受渡機</td> <td>kg 1600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貯蔵マガジン取扱機</td> <td>kg 1600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入機</td> <td>kg 40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>移載機</td> <td>kg 400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>取出機</td> <td>kg 40</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管棒セット機</td> <td>kg 40</td> </tr> <tr> <td rowspan="18">主要 寸法</td> <td rowspan="3">受渡機</td> <td>たて</td> <td>mm 541*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 2370*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 752*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン取扱 機(昇降部)</td> <td>たて</td> <td>mm 1300*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4260*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1907*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貯蔵マガジン取扱 機(コンベア部)</td> <td>たて</td> <td>mm 920*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4470*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 752*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">定盤</td> <td>たて</td> <td>mm 485*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4425*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 546*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">挿入機</td> <td>たて</td> <td>mm 400*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 5250*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 935*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">移載機</td> <td>たて</td> <td>mm 1798*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4531*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 1080*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取出機</td> <td>たて</td> <td>mm 400*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 935*1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要 材料</td> <td>受渡機</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン取扱機(昇降部)</td> <td>-</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td>貯蔵マガジン取扱機(コンベア部)</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>定盤</td> <td>-</td> <td>STKR400</td> </tr> <tr> <td>挿入機</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>移載機</td> <td>-</td> <td>STKR400, SUJ2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>取出機</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>燃料棒受入室 T. M. S. L. 43. 20m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本装置は、溢水防護対象でないため「-」とする。 *3: 本装置に本数管理のウラン燃料棒収容ユニット(a)と形状寸法管理のウラン燃料棒収容ユニット(b)を設定する。</p>	名称		ウラン燃料棒収容装置 (PA0148-M-30000)		種類		コンベア方式		臨界 管理	核的制限値 *3	ウラン燃料棒取扱本数	本 540		貯蔵マガジン取扱段数	段 1		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm 305以上	容量		受渡機	kg 1600		貯蔵マガジン取扱機	kg 1600		挿入機	kg 40		移載機	kg 400		取出機	kg 40			管棒セット機	kg 40	主要 寸法	受渡機	たて	mm 541*1	横	mm 2370*1	高さ	mm 752*1	貯蔵マガジン取扱 機(昇降部)	たて	mm 1300*1	横	mm 4260*1	高さ	mm 1907*1	貯蔵マガジン取扱 機(コンベア部)	たて	mm 920*1	横	mm 4470*1	高さ	mm 752*1	定盤	たて	mm 485*1	横	mm 4425*1	高さ	mm 546*1	挿入機	たて	mm 400*1	横	mm 5250*1	高さ	mm 935*1	移載機	たて	mm 1798*1	横	mm 4531*1	高さ	mm 1080*1	取出機	たて	mm 400*1	横	mm 4600*1	高さ	mm 935*1	主要 材料	受渡機	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン取扱機(昇降部)	-	SS400, STKR400	貯蔵マガジン取扱機(コンベア部)	-	STKR400	定盤	-	STKR400	挿入機	-	SS400	移載機	-	STKR400, SUJ2		取出機	-	SS400		個数	-	1	取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	燃料棒受入室 T. M. S. L. 43. 20m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2		
名称		ウラン燃料棒収容装置 (PA0148-M-30000)																																																																																																																																		
種類		コンベア方式																																																																																																																																		
臨界 管理	核的制限値 *3	ウラン燃料棒取扱本数	本 540																																																																																																																																	
		貯蔵マガジン取扱段数	段 1																																																																																																																																	
		単一ユニット相互間の壁厚さ	mm 305以上																																																																																																																																	
容量		受渡機	kg 1600																																																																																																																																	
		貯蔵マガジン取扱機	kg 1600																																																																																																																																	
		挿入機	kg 40																																																																																																																																	
		移載機	kg 400																																																																																																																																	
		取出機	kg 40																																																																																																																																	
		管棒セット機	kg 40																																																																																																																																	
主要 寸法	受渡機	たて	mm 541*1																																																																																																																																	
		横	mm 2370*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 752*1																																																																																																																																	
	貯蔵マガジン取扱 機(昇降部)	たて	mm 1300*1																																																																																																																																	
		横	mm 4260*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 1907*1																																																																																																																																	
	貯蔵マガジン取扱 機(コンベア部)	たて	mm 920*1																																																																																																																																	
		横	mm 4470*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 752*1																																																																																																																																	
	定盤	たて	mm 485*1																																																																																																																																	
		横	mm 4425*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 546*1																																																																																																																																	
	挿入機	たて	mm 400*1																																																																																																																																	
		横	mm 5250*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 935*1																																																																																																																																	
	移載機	たて	mm 1798*1																																																																																																																																	
		横	mm 4531*1																																																																																																																																	
		高さ	mm 1080*1																																																																																																																																	
取出機	たて	mm 400*1																																																																																																																																		
	横	mm 4600*1																																																																																																																																		
	高さ	mm 935*1																																																																																																																																		
主要 材料	受渡機	-	SS400, STKR400																																																																																																																																	
	貯蔵マガジン取扱機(昇降部)	-	SS400, STKR400																																																																																																																																	
	貯蔵マガジン取扱機(コンベア部)	-	STKR400																																																																																																																																	
	定盤	-	STKR400																																																																																																																																	
	挿入機	-	SS400																																																																																																																																	
	移載機	-	STKR400, SUJ2																																																																																																																																	
	取出機	-	SS400																																																																																																																																	
	個数	-	1																																																																																																																																	
取付 箇所	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																																																	
	設置床	-	燃料棒受入室 T. M. S. L. 43. 20m																																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	-*2																																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2																																																																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																				
<p>⑨ 燃料集合体貯蔵設備</p> <p>a. 燃料集合体貯蔵チャンネル</p> <p>(a) 設置場所 燃料集合体貯蔵室</p> <p>(b) 個数 220 チャンネル<sup>(注1)</sup> (注1) 1チャンネル当たりBWR燃料集合体4体, PWR燃料集合体1体</p>	<p>(9) 燃料集合体貯蔵設備</p> <p>① 燃料集合体貯蔵チャンネル</p> <p>a. 設置場所 燃料集合体貯蔵室</p> <p>b. 個数 220 チャンネル<sup>(注1)</sup> (注1) 1チャンネル当たりBWR燃料集合体4体, PWR燃料集合体1体</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>—</td> <td>たて置角筒型</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">臨界管理</td> <td>中心間距離(チャンネル間隔)*1</td> <td>mm</td> <td>行方向750以上 列方向750以上</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>192~204</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>外管</td> <td>mm</td> <td>4.5以上</td> </tr> <tr> <td>ガイド管</td> <td>mm</td> <td>(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>375 以上</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>375 以上</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>t・HM</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>592*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>592*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5360*2</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(チャンネル間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向800*2 列方向800*2</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>198*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>外管</td> <td>mm</td> <td>5.0*2</td> </tr> <tr> <td>ガイド管</td> <td>mm</td> <td>(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>外管</td> <td></td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>ガイド管</td> <td>—</td> <td>(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>220*3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 貯蔵単位(BWR燃料集合体又はPWR燃料集合体)の配列(10行×8列×2, 10行×6列)を核的に安全な配置とする。 *2: 公称値を示す。 *3: 1チャンネル当たりBWR燃料集合体4体又はPWR燃料集合体1体を収納する。 *4: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)		種類		—	たて置角筒型	臨界管理	中心間距離(チャンネル間隔)*1	mm	行方向750以上 列方向750以上	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	192~204	厚さ	外管	mm	4.5以上	ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上	燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離	南壁	mm	375 以上	北壁	mm	375 以上	設置室の周囲の壁厚さ	mm		305以上	容量		t・HM	170	主要寸法	たて	mm	592*2	横	mm	592*2	高さ	mm	5360*2	中心間距離(チャンネル間隔)	mm	行方向800*2 列方向800*2	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	198*2	厚さ	外管	mm	5.0*2	ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2	主要材料	外管		SUS304TP	ガイド管	—	(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP	個数		—	220*3	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m	溢水防護上の区画番号	—	—*4	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4		
名称		燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)																																																																																						
種類		—	たて置角筒型																																																																																					
臨界管理	中心間距離(チャンネル間隔)*1	mm	行方向750以上 列方向750以上																																																																																					
	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	192~204																																																																																					
	厚さ	外管	mm	4.5以上																																																																																				
		ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上																																																																																				
	燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離	南壁	mm	375 以上																																																																																				
		北壁	mm	375 以上																																																																																				
設置室の周囲の壁厚さ	mm		305以上																																																																																					
容量		t・HM	170																																																																																					
主要寸法	たて	mm	592*2																																																																																					
	横	mm	592*2																																																																																					
	高さ	mm	5360*2																																																																																					
	中心間距離(チャンネル間隔)	mm	行方向800*2 列方向800*2																																																																																					
	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	198*2																																																																																					
	厚さ	外管	mm	5.0*2																																																																																				
ガイド管		mm	(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2																																																																																					
主要材料	外管		SUS304TP																																																																																					
	ガイド管	—	(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP																																																																																					
個数		—	220*3																																																																																					
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																					
	設置床	—	燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m																																																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	—*4																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4																																																																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>⑩ グローブボックス負圧・温度監視設備            a. 個数                1式</p> <p>⑪ ウラン貯蔵エリア            a. 設置場所                燃料集合体組立クレーン室</p> <p>⑫ 燃料棒受入一時保管エリア            a. 設置場所                荷卸室</p> <p>⑬ 燃料集合体輸送容器一時保管エリア            a. 設置場所                輸送容器保管室</p> <p>⑭ ウラン輸送容器一時保管エリア            a. 設置場所                ウラン貯蔵室, 燃料集合体組立クレーン室, 入出庫室, 輸送容器保管室及び固体廃棄物払出準備室</p> <p>ニ.(ロ)(1)-2-1 核燃料物質の貯蔵施設の配置図を第5図に示す。</p> <p>(ハ) 貯蔵する核燃料物質の種類及び最大貯蔵能力            (1) 核燃料物質の種類            ① MOX                プルトニウム富化度 18%以下 <u>ニ.(ハ)(1)①-2-1</u> (貯蔵容器一時保管設備, 原料MOX粉末一時保管設備及び粉末一時保管設備については, 60%以下とする。)                <u>プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率 17%以上</u>                <u>ウラン中のウラン-235 含有率 1.6%以下</u>            ② ウラン酸化物                <u>ウラン中のウラン-235 含有率 天然ウラン中の含有率以下</u>                <u>ウラン燃料棒として 5%以下</u></p>		<p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>1. 核燃料物質の臨界防止            1.1 安全機能を有する施設の臨界防止            1.1.1 核燃料物質の臨界防止に関する設計            (1) 臨界管理の対象とする核燃料物質                MOX 燃料加工施設で取り扱う核燃料物質は, <u>ニ.(ハ)(1)①-2-1</u> プルトニウム富化度 60%以下,                <u>プルトニウム中のプルトニウム-240 含有率 17%以上</u>                及びウラン中のウラン-235 含有率 1.6%以下の MOX,                ウラン中のウラン-235 含有率 5%以下の濃縮ウラン, 天然ウラン, 劣化ウラン並びに標準試料及び分析試料であり, このうちウラン・プルトニウム混合酸化物, 濃縮ウラン, 標準試料及び分析試料を取り扱う設備・機器に対して単一ユニット, 複数ユニットを設定し, 臨界管理を行う設計とする。                &lt;中略&gt;</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の <u>ニ.(ロ)(1)-2-1</u> は, 設工認の「V-2-4 配置図」に示しており整合している。</p> <p>設工認の <u>ニ.(ハ)(1)①-2-1</u> は事業変更許可申請書(本文)の <u>ニ.(ハ)(1)①-2-1</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																	
		<p>1.1.2 成形施設の臨界防止</p> <p>1.1.2.1 単一ユニットの臨界安全設計 &lt;中略&gt;</p> <p>ニ.(ハ)(1)①-2-1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム濃化度</th> <th>核分裂性プルトニウム濃化度*</th> <th>含水率**</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混合酸化物貯蔵容器</td> <td>原料MOX粉末</td> <td>60%以下</td> <td>—</td> <td>0.5%以下</td> <td>1体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-1</td> <td>60%以下</td> <td>—</td> <td>1.5%以下</td> <td>35.0kg-Pu**</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-2</td> <td>33%以下</td> <td>—</td> <td>2.5%以下</td> <td>45.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-3</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MOX粉末-4</td> <td>18%以下</td> <td>—</td> <td>0.5%以下</td> <td>83.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-1</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>3.5%以下</td> <td>29.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg-Pu*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペレット-3</td> <td>60%以下</td> <td>—</td> <td>3.5%以下</td> <td>7.50kg-Pu**</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1.1.3 被覆施設の臨界防止</p> <p>1.1.3.1 単一ユニットの臨界安全設計 &lt;中略&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム濃化度</th> <th>核分裂性プルトニウム濃化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ペレット-2</td> <td>18%以下</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> <td>36.0kg-Pu**</td> </tr> <tr> <td></td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="4">平板厚さ15.0cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貯蔵マガジン</td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td rowspan="4">1段</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>FWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)**</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 二重装荷を考慮する場合は2分の1とする。 *2: ウラン中のウラン-235含有率を示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1.1.4 組立施設の臨界防止</p> <p>1.1.4.1 単一ユニットの臨界安全設計 &lt;中略&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th rowspan="2">取扱単位</th> <th colspan="3">設定条件</th> <th rowspan="2">核的制限値</th> </tr> <tr> <th>プルトニウム濃化度</th> <th>核分裂性プルトニウム濃化度</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>BWR燃料棒</td> <td>17%以下</td> <td>9.4%以下</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="3">1段</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FWR燃料棒</td> <td>18%以下</td> <td>11.6%以下</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウラン燃料棒</td> <td>(5%以下)*1</td> <td>—</td> <td>0.1%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>BWR燃料集合体</td> <td>11%以下**</td> <td>6.1%以下**</td> <td>0.1%以下</td> <td rowspan="2">1体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FWR燃料集合体</td> <td>14%以下**</td> <td>9.1%以下**</td> <td>0.1%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: ウラン中のウラン-235含有率を示す。 *2: 燃料集合体平均(燃料集合体中のMOX燃料棒の平均)</p>	形態	取扱単位	設定条件			核的制限値	プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度*	含水率**	混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	—	0.5%以下	1体		MOX粉末-1	60%以下	—	1.5%以下	35.0kg-Pu**		MOX粉末-2	33%以下	—	2.5%以下	45.0kg-Pu*		MOX粉末-3	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*		MOX粉末-4	18%以下	—	0.5%以下	83.0kg-Pu*		ペレット-1	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*		ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg-Pu*		ペレット-3	60%以下	—	3.5%以下	7.50kg-Pu**	形態	取扱単位	設定条件			核的制限値	プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度	含水率		ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg-Pu**		BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm		FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下		ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	0.1%以下		貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	1段			FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下			ウラン燃料棒	(5%以下)**	0.1%以下			ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	形態	取扱単位	設定条件			核的制限値	プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度	含水率		BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段		FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下		ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下		BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段		FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下		ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下		BWR燃料集合体	11%以下**	6.1%以下**	0.1%以下	1体		FWR燃料集合体	14%以下**	9.1%以下**	0.1%以下		
形態	取扱単位	設定条件			核的制限値																																																																																																																																																																
		プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度*	含水率**																																																																																																																																																																	
混合酸化物貯蔵容器	原料MOX粉末	60%以下	—	0.5%以下	1体																																																																																																																																																																
	MOX粉末-1	60%以下	—	1.5%以下	35.0kg-Pu**																																																																																																																																																																
	MOX粉末-2	33%以下	—	2.5%以下	45.0kg-Pu*																																																																																																																																																																
	MOX粉末-3	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*																																																																																																																																																																
	MOX粉末-4	18%以下	—	0.5%以下	83.0kg-Pu*																																																																																																																																																																
	ペレット-1	18%以下	11.6%以下	3.5%以下	29.0kg-Pu*																																																																																																																																																																
	ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg-Pu*																																																																																																																																																																
	ペレット-3	60%以下	—	3.5%以下	7.50kg-Pu**																																																																																																																																																																
形態	取扱単位	設定条件			核的制限値																																																																																																																																																																
		プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度	含水率																																																																																																																																																																	
	ペレット-2	18%以下	—	0.1%以下	36.0kg-Pu**																																																																																																																																																																
	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	平板厚さ15.0cm																																																																																																																																																																
	FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	ウラン燃料棒	(5%以下)**	—	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	貯蔵マガジン	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下		1段																																																																																																																																																															
		FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下																																																																																																																																																																	
		ウラン燃料棒	(5%以下)**	0.1%以下																																																																																																																																																																	
		ウラン燃料棒	(5%以下)**	—																																																																																																																																																																	
形態	取扱単位	設定条件			核的制限値																																																																																																																																																																
		プルトニウム濃化度	核分裂性プルトニウム濃化度	含水率																																																																																																																																																																	
	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																																																																																																
	FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	BWR燃料棒	17%以下	9.4%以下	0.1%以下	1段																																																																																																																																																																
	FWR燃料棒	18%以下	11.6%以下	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	ウラン燃料棒	(5%以下)*1	—	0.1%以下																																																																																																																																																																	
	BWR燃料集合体	11%以下**	6.1%以下**	0.1%以下	1体																																																																																																																																																																
	FWR燃料集合体	14%以下**	9.1%以下**	0.1%以下																																																																																																																																																																	

事業変更許可申請書(本文)				事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																														
(2) 最大貯蔵能力																																																																																					
設置場所	貯蔵設備	貯蔵形態	最大貯蔵能力																																																																																		
貯蔵容器一時保管室	貯蔵容器一時保管設備	MOX粉末	1.2t・HM		<p style="text-align: center;">今回の申請の対象範囲外</p> <p>4. 核燃料物質の貯蔵施設</p> <p>4.1 主要な設備の系統構成</p> <p>(2) 原料 MOX 粉末缶一時保管設備</p> <p>原料 MOX 粉末缶一時保管設備は、原料 MOX 粉末を収納した容器(粉末缶)を次工程へ払い出すまで保管する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <p>1.2 原料MOX粉末缶一時保管設備</p> <p>(1) ラック/ビット/棚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td colspan="2">たて置きラック式</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離 (ビット間隔)*2</td> <td>mm</td> <td>行方向300以上 列方向260以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設置する室の壁・床・天井までの距離</td> <td>南壁</td> <td>mm 350以上</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm 350以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm 500以上</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>mm 500以上</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*4</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>t・HM</td> <td>0.3(24ビット)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1088*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4102*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>948*1</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向340*1 列方向305*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">遮 蔵 体</td> <td rowspan="6">厚 さ</td> <td rowspan="3">ビット</td> <td>内側</td> <td>mm 5(7*1)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm 70(71*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm 20(23*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">遮 蔽 蓋 1, 2</td> <td>内側</td> <td>mm 4(6*1)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm 125(126*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm 30(33*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">グ ロー プ ボ ッ ク ス 外</td> <td rowspan="2">内 側</td> <td>mm 30(30, 5*1)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm 200(201*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外 側</td> <td>mm 6(9*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 材 料</td> <td rowspan="3">ビ ッ ト</td> <td>内側</td> <td>mm SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm SUS304</td> </tr> </tbody> </table>	名称		原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)		種類		たて置きラック式		臨 界 管 理	中心間距離 (ビット間隔)*2	mm	行方向300以上 列方向260以上	設置する室の壁・床・天井までの距離	南壁	mm 350以上	北壁	mm 350以上	床	mm 500以上	天井	mm 500以上	設置室の周囲の壁厚さ	mm	305以上*4	容量	t・HM	0.3(24ビット)	主 要 寸 法	たて	mm	1088*1	横	mm	4102*1	高さ	mm	948*1	中心間距離(ビット間隔)	mm	行方向340*1 列方向305*1	主要材料		SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400		個数		1		遮 蔵 体	厚 さ	ビット	内側	mm 5(7*1)	中間	mm 70(71*1)	外側	mm 20(23*1)	遮 蔽 蓋 1, 2	内側	mm 4(6*1)	中間	mm 125(126*1)	外側	mm 30(33*1)	グ ロー プ ボ ッ ク ス 外	内 側	mm 30(30, 5*1)	中間	mm 200(201*1)	外 側	mm 6(9*1)	主 要 材 料	ビ ッ ト	内側	mm SUS304	中間	mm ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	mm SUS304	貯蔵容器一時保管設備, ウラン貯蔵エリア, ウラン輸送容器一時保管エリア, 燃料棒受入一時保管エリア及び燃料集合体輸送容器一時保管エリアについては、次回申請以降に整合性を示す。
名称		原料MOX粉末缶一時保管装置 (PA0122-M-01110)																																																																																			
種類		たて置きラック式																																																																																			
臨 界 管 理	中心間距離 (ビット間隔)*2	mm	行方向300以上 列方向260以上																																																																																		
	設置する室の壁・床・天井までの距離	南壁	mm 350以上																																																																																		
		北壁	mm 350以上																																																																																		
		床	mm 500以上																																																																																		
		天井	mm 500以上																																																																																		
	設置室の周囲の壁厚さ	mm	305以上*4																																																																																		
容量	t・HM	0.3(24ビット)																																																																																			
主 要 寸 法	たて	mm	1088*1																																																																																		
	横	mm	4102*1																																																																																		
	高さ	mm	948*1																																																																																		
	中心間距離(ビット間隔)	mm	行方向340*1 列方向305*1																																																																																		
主要材料		SUS304, SUS304TP, SS400, STKR400																																																																																			
個数		1																																																																																			
遮 蔵 体	厚 さ	ビット	内側	mm 5(7*1)																																																																																	
			中間	mm 70(71*1)																																																																																	
			外側	mm 20(23*1)																																																																																	
		遮 蔽 蓋 1, 2	内側	mm 4(6*1)																																																																																	
			中間	mm 125(126*1)																																																																																	
			外側	mm 30(33*1)																																																																																	
	グ ロー プ ボ ッ ク ス 外	内 側	mm 30(30, 5*1)																																																																																		
			中間	mm 200(201*1)																																																																																	
		外 側	mm 6(9*1)																																																																																		
			主 要 材 料	ビ ッ ト	内側	mm SUS304																																																																															
中間	mm ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																				
外側	mm SUS304																																																																																				
粉末調整第1室	原料MOX粉末缶一時保管設備	MOX粉末	0.3t・HM																																																																																		
ウラン貯蔵室	ウラン貯蔵設備	ウラン粉末 (注1)(注2)	60t・HM																																																																																		
燃料集合体組立クレーン室	— (ウラン貯蔵エリア)	ウラン粉末 (注1)(注2)	20t・HM																																																																																		
粉末一時保管室	粉末一時保管設備	MOX粉末, ウラン粉末, ペレット	6.1t・HM																																																																																		
ペレット一時保管室	ペレット一時保管設備	ペレット	1.7t・HM																																																																																		
ペレット・スクラップ貯蔵室	スクラップ貯蔵設備	MOX粉末, ペレット	10t・HM																																																																																		
ペレット・スクラップ貯蔵室	製品ペレット貯蔵設備	ペレット	6.3t・HM																																																																																		
燃料棒貯蔵室	燃料棒貯蔵設備	MOX燃料棒, ウラン燃料棒(注1)	60t・HM																																																																																		
燃料集合体貯蔵室	燃料集合体貯蔵設備	BWR燃料集合体(注1), PWR燃料集合体(注1)	170t・HM																																																																																		

事業変更許可申請書(本文)				事業変更許可申請書(添付書類五)		設工認申請書 該当事項		整合性	備考																																										
ウラン貯蔵室, 固体廃棄物払出準備室, 入出庫室, 輸送容器保管室, 燃料集合体組立クレーン室	— (ウラン輸送容器一時保管エリア)	原料ウラン粉末缶輸送容器 <sup>(注3)</sup>	80t・HM			(続き) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">遮蔽体</td> <td rowspan="3">主要材料</td> <td rowspan="3">遮蔽蓋 1, 2</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グローブボックス外</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>鉛 (密度11.0×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> </table>	遮蔽体	主要材料	遮蔽蓋 1, 2	内側	—	SUS304	中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	グローブボックス外	内側	—	鉛 (密度11.0×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304																							
遮蔽体	主要材料	遮蔽蓋 1, 2	内側	—	SUS304																																														
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																														
			外側	—	SUS304																																														
	グローブボックス外	内側	—	鉛 (密度11.0×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																															
		中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																															
		外側	—	SUS304																																															
荷卸室	— (燃料棒受入一時保管エリア)	ウラン燃料棒用輸送容器 <sup>(注3)</sup> , ウラン燃料棒用輸送容器の内容器	15t・HM																																																
輸送容器保管室	— (燃料集合体輸送容器一時保管エリア)	燃料集合体輸送容器 <sup>(注3)</sup>	65t・HM																																																
<p>(注1) 試験に用いたウランを必要に応じ貯蔵する。</p> <p>(注2) 粉末混合のための未使用のウラン合金ボール (ウラン中のウラン-235 含有率: 天然ウラン中の含有率以下)。</p> <p>(注3) 核燃料物質を, 「核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則」に定める技術基準に適合する核燃料輸送物として保管する。</p>						<p>取付箇所</p> <table border="1"> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>		系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																
系統名(ライン名)	—	—																																																	
設置床	—	粉末調整第1室 T. M. S. L. 35. 00m																																																	
溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																	
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																	
						<p>(3) ウラン貯蔵設備</p> <p>ウラン貯蔵設備は, 原料ウラン粉末又は粉末混合のための未使用のウラン合金ボールを次工程へ払い出すまで貯蔵する設計とする。また, 試験に用いたウランを貯蔵する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>【核燃料物質の貯蔵施設】(仕様表)</p> <p>1.3 ウラン貯蔵設備</p> <p>(1) ラック/ビット/棚</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>t・HM</td> <td colspan="2">60(676棚×4缶)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6100*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>20770*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5110*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">SS400, STKR400, STK400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ウラン貯蔵室 T. M. S. L. 50. 30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>		名称	ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)			種類	—	棚段貯蔵方式		容量	t・HM	60(676棚×4缶)		主要寸法	たて	mm	6100*1	横	mm	20770*1	高さ	mm	5110*1	主要材料	—	SS400, STKR400, STK400		個数	—	2		取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ウラン貯蔵室 T. M. S. L. 50. 30m	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
名称	ウラン貯蔵棚 (PA0114-M-02111, -02121)																																																		
種類	—	棚段貯蔵方式																																																	
容量	t・HM	60(676棚×4缶)																																																	
主要寸法	たて	mm	6100*1																																																
	横	mm	20770*1																																																
	高さ	mm	5110*1																																																
主要材料	—	SS400, STKR400, STK400																																																	
個数	—	2																																																	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																
	設置床	—	ウラン貯蔵室 T. M. S. L. 50. 30m																																																
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*</td> <td>粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*</td> <td>—</td> <td>たて置きラック式*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離 (ビット間隔)*12</td> <td>mm</td> <td>行方向650以上 列方向650以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室の壁・ 床までの距離</td> <td>東西壁</td> <td>mm</td> <td>1500以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>750以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>ト IM</td> <td>6.1(94ビット)</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主 要 寸 法 *6</td> <td rowspan="4">粉末一時保管装 置1, 12</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4390*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216*1</td> </tr> <tr> <td>中心間距離 (ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向762*1*10, 680*1*10 列方向762*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">粉末一時保管装 置2, 4, 11</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2948*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216*1</td> </tr> <tr> <td>中心間距離 (ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向680*1*10 列方向762*1*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">粉末一時保管装 置3, 7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1588*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216*1</td> </tr> <tr> <td>中心間距離 (ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向680*1*10 列方向762*1*10</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*		粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)		種類*		—	たて置きラック式*	臨 界 管 理	中心間距離 (ビット間隔)*12	mm	行方向650以上 列方向650以上	設置する室の壁・ 床までの距離	東西壁	mm	1500以上	床	mm	750以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10	容量*5		ト IM	6.1(94ビット)	主 要 寸 法 *6	粉末一時保管装 置1, 12	たて	mm	1670*1	横	mm	4390*1	高さ	mm	1216*1	中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向762*1*10, 680*1*10 列方向762*1*10	粉末一時保管装 置2, 4, 11	たて	mm	1670*1	横	mm	2948*1	高さ	mm	1216*1	中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10	粉末一時保管装 置3, 7	たて	mm	1670*1	横	mm	1588*1	高さ	mm	1216*1	中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10		
		変更前	変更後																																																																							
名称*		粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)																																																																								
種類*		—	たて置きラック式*																																																																							
臨 界 管 理	中心間距離 (ビット間隔)*12	mm	行方向650以上 列方向650以上																																																																							
	設置する室の壁・ 床までの距離	東西壁	mm	1500以上																																																																						
		床	mm	750以上																																																																						
	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10																																																																							
容量*5		ト IM	6.1(94ビット)																																																																							
主 要 寸 法 *6	粉末一時保管装 置1, 12	たて	mm	1670*1																																																																						
		横	mm	4390*1																																																																						
		高さ	mm	1216*1																																																																						
		中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向762*1*10, 680*1*10 列方向762*1*10																																																																						
	粉末一時保管装 置2, 4, 11	たて	mm	1670*1																																																																						
		横	mm	2948*1																																																																						
		高さ	mm	1216*1																																																																						
		中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10																																																																						
	粉末一時保管装 置3, 7	たて	mm	1670*1																																																																						
		横	mm	1588*1																																																																						
		高さ	mm	1216*1																																																																						
		中心間距離 (ビット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10																																																																						



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																												
		<p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="9">主要寸法*</td> <td rowspan="4">粉末一時保管装置5, 9, 10</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>*1</sup></td> <td rowspan="9">変更なし</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2268<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>中心間距離(ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向680<sup>*1*10</sup> 列方向762<sup>*1*10</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">粉末一時保管装置6, 8</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1670<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3628<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1216<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>中心間距離(ビット間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向680<sup>*1*10</sup> 列方向762<sup>*1*10</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料*</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>SUS304, SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数**</td> <td>-</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">遮蔽体</td> <td rowspan="9">主要厚さ</td> <td rowspan="3">ビット</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>10(12<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>150(152<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>32(36<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-1</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>200(202<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 南北</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>200(202<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>25(28<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-2</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>3(4<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>mm</td> <td>166(168<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>3(4<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td rowspan="3">ビット</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">遮蔽体</td> <td rowspan="6">主要材料</td> <td rowspan="3">区画壁 東西-1</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 南北</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">区画壁 東西-2</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>中間</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所**</td> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>粉末一時保管室, 点検第1室*10, 点検第2室*10 T. M. S. L. 35.00m*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*11</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認では「ビット方式」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。 *12: 貯蔵単位(J60, J85)の配列(47行×2列)を核的に安全な配置とする。</p>	主要寸法*	粉末一時保管装置5, 9, 10	たて	mm	1670 <sup>*1</sup>	変更なし	横	mm	2268 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1216 <sup>*1</sup>	中心間距離(ビット間隔)	mm	行方向680 <sup>*1*10</sup> 列方向762 <sup>*1*10</sup>	粉末一時保管装置6, 8	たて	mm	1670 <sup>*1</sup>	横	mm	3628 <sup>*1</sup>	高さ	mm	1216 <sup>*1</sup>	中心間距離(ビット間隔)	mm	行方向680 <sup>*1*10</sup> 列方向762 <sup>*1*10</sup>	主要材料*	本体	-	SUS304, SS400		個数**		-	12		遮蔽体	主要厚さ	ビット	内側	mm	10(12 <sup>*1</sup> )	中間	mm	150(152 <sup>*1</sup> )	外側	mm	32(36 <sup>*1</sup> )	区画壁 東西-1	内側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )	中間	mm	200(202 <sup>*1</sup> )	外側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )	区画壁 南北	内側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )	中間	mm	200(202 <sup>*1</sup> )	外側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )	区画壁 東西-2	内側	mm	3(4 <sup>*1</sup> )	中間	mm	166(168 <sup>*1</sup> )	外側	mm	3(4 <sup>*1</sup> )	主要材料	ビット	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SS400	遮蔽体	主要材料	区画壁 東西-1	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	区画壁 南北	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	区画壁 東西-2	内側	-	SUS304	中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取付箇所**	系統名(ライン名)		-	-	設置床		-	粉末一時保管室, 点検第1室*10, 点検第2室*10 T. M. S. L. 35.00m*10	溢水防護上の区画番号		-	-*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-*11		
主要寸法*	粉末一時保管装置5, 9, 10	たて			mm	1670 <sup>*1</sup>	変更なし																																																																																																																																									
		横			mm	2268 <sup>*1</sup>																																																																																																																																										
		高さ			mm	1216 <sup>*1</sup>																																																																																																																																										
		中心間距離(ビット間隔)		mm	行方向680 <sup>*1*10</sup> 列方向762 <sup>*1*10</sup>																																																																																																																																											
	粉末一時保管装置6, 8	たて		mm	1670 <sup>*1</sup>																																																																																																																																											
		横		mm	3628 <sup>*1</sup>																																																																																																																																											
		高さ		mm	1216 <sup>*1</sup>																																																																																																																																											
		中心間距離(ビット間隔)		mm	行方向680 <sup>*1*10</sup> 列方向762 <sup>*1*10</sup>																																																																																																																																											
	主要材料*	本体	-	SUS304, SS400																																																																																																																																												
個数**		-	12																																																																																																																																													
遮蔽体	主要厚さ	ビット	内側	mm	10(12 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			中間	mm	150(152 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			外側	mm	32(36 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
		区画壁 東西-1	内側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			中間	mm	200(202 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			外側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
		区画壁 南北	内側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			中間	mm	200(202 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
			外側	mm	25(28 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																											
	区画壁 東西-2	内側	mm	3(4 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																												
		中間	mm	166(168 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																												
		外側	mm	3(4 <sup>*1</sup> )																																																																																																																																												
	主要材料	ビット	内側	-	SUS304																																																																																																																																											
			中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																											
			外側	-	SS400																																																																																																																																											
遮蔽体	主要材料	区画壁 東西-1	内側	-	SUS304																																																																																																																																											
			中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																											
			外側	-	SUS304																																																																																																																																											
		区画壁 南北	内側	-	SUS304																																																																																																																																											
			中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																											
			外側	-	SUS304																																																																																																																																											
	区画壁 東西-2	内側	-	SUS304																																																																																																																																												
		中間	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																																																																												
		外側	-	SUS304																																																																																																																																												
	取付箇所**	系統名(ライン名)		-	-																																																																																																																																											
設置床		-	粉末一時保管室, 点検第1室*10, 点検第2室*10 T. M. S. L. 35.00m*10																																																																																																																																													
溢水防護上の区画番号		-	-*11																																																																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-*11																																																																																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td colspan="2">ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td colspan="2">棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*11</td> <td>mm</td> <td>段方向300以上 行方向350以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床ま での距離</td> <td>東西壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*4</td> <td>t・H</td> <td>1.7 (192棚:64×3台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3765*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*9</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向357*1*9 行方向445*1*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*6</td> <td colspan="2">SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>-</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">取 付 箇 所 *8</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>設置床</td> <td colspan="2">ペレット一時保管室 T.M.S.L.35.00m*9</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">-*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td colspan="2">-*10</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称*2		ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)		種類*3		棚段貯蔵方式		臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*11	mm	段方向300以上 行方向350以上	設置する室 の壁・床ま での距離	東西壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*9	容量*4		t・H	1.7 (192棚:64×3台)	主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270*1	横	mm	3765*1	高さ	mm	3850*1*9	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向357*1*9 行方向445*1*9	主要材料*6		SUS304, SUS304TP		個数*7		3		遮 蔽 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)	外側	mm	4(5*1)	主要材料	棚 上 部	内側	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	-	SUS304	取 付 箇 所 *8		系統名(ライン名)	-				設置床	ペレット一時保管室 T.M.S.L.35.00m*9				溢水防護上の区画番号	-*10				溢水防護上の配慮が必要 な高さ	-*10			
		変更前	変更後																																																																																									
名称*2		ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)																																																																																										
種類*3		棚段貯蔵方式																																																																																										
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*11	mm	段方向300以上 行方向350以上																																																																																									
	設置する室 の壁・床ま での距離	東西壁	mm	1635以上																																																																																								
		床	mm	300以上																																																																																								
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*9																																																																																									
容量*4		t・H	1.7 (192棚:64×3台)																																																																																									
主 要 寸 法 *5	たて	mm	1270*1																																																																																									
	横	mm	3765*1																																																																																									
	高さ	mm	3850*1*9																																																																																									
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向357*1*9 行方向445*1*9																																																																																									
主要材料*6		SUS304, SUS304TP																																																																																										
個数*7		3																																																																																										
遮 蔽 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)																																																																																							
			外側	mm	4(5*1)																																																																																							
	主要材料	棚 上 部	内側	-	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																							
			外側	-	SUS304																																																																																							
取 付 箇 所 *8		系統名(ライン名)	-																																																																																									
		設置床	ペレット一時保管室 T.M.S.L.35.00m*9																																																																																									
		溢水防護上の区画番号	-*10																																																																																									
		溢水防護上の配慮が必要 な高さ	-*10																																																																																									
		<p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *9: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *10: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。  *11: 貯蔵単位(焼結ポート、ペレット保管容器)の配列(8段×8行)を核的に安全な配置とする。</p>																																																																																										

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*4</td> <td>mm</td> <td>段方向450以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>製品ペレット貯蔵設備との面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室の壁・床・までの距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>1635以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>1.1111</td> <td>10 (210棚: 42×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向495*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔽 体</td> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>厚さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>棚上部</td> <td>内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>棚上部</td> <td>内側 — ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>— SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 貯蔵単位(9缶バスケット, ペレット保管容器)の配列(6段×7列)を核的に安全な配置とする。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。  *11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向450以上 列方向450以上	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10		容量*5		1.1111	10 (210棚: 42×5台)	主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP	個数*8		—	5	遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	—	棚上部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)	主要材料	棚上部	内側 — ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	— SUS304	取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																																																
名称*2		スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																																	
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																																
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向450以上 列方向450以上																																																																																
	製品ペレット貯蔵設備との面間距離	mm	2500以上																																																																																
	設置する室の壁・床・までの距離	南壁	mm	1635以上																																																																															
		床	mm	300以上																																																																															
単一ユニット相互間の壁厚さ	mm	305以上*10																																																																																	
容量*5		1.1111	10 (210棚: 42×5台)																																																																																
主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1																																																																																
	横	mm	3950*1																																																																																
	高さ	mm	3850*1*10																																																																																
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10																																																																																
主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP																																																																																
個数*8		—	5																																																																																
遮 蔽 体	主要寸法	厚さ	—																																																																																
		棚上部	内側 mm 20(23*1) 外側 mm 4(5*1)																																																																																
	主要材料	棚上部	内側 — ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																
		外側	— SUS304																																																																																
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																																
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																																
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11																																																																																

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨 界 管 理</td> <td>中心間距離(棚間隔)*4</td> <td>mm</td> <td>段方向250以上 列方向450以上</td> </tr> <tr> <td>スクラップ貯蔵設備との 面間距離</td> <td>mm</td> <td>2500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置する室 の壁・床・ までの距離</td> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>2130以上</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>単一ユニット相互間の壁 厚さ</td> <td>mm</td> <td>305以上*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>t・HM</td> <td>6.3 (350棚：70×5台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1270*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3850*1*10</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(棚間隔)</td> <td>mm</td> <td>段方向284*1*10 列方向535*1*10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SUS304, SUS304TP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">遮 蔵 体</td> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>mm</td> <td>20(23*1)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>mm</td> <td>4(5*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td rowspan="2">棚 上 部</td> <td>内側</td> <td>—</td> <td>ポリエチレン (密度0.93×10<sup>3</sup>kg/m<sup>3</sup>以上)</td> </tr> <tr> <td>外側</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要 な高さ</td> <td>—</td> <td>—*11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：貯蔵単位(ペレット保管容器)の配列(10段×7列)を核的に安全な配置とする。 *5：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称*2		製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向250以上 列方向450以上	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上	床	mm	300以上	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10	容量*5		t・HM	6.3 (350棚：70×5台)	主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1	横	mm	3950*1	高さ	mm	3850*1*10	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10	主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP	個数*8		—	5	遮 蔵 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)	外側	mm	4(5*1)	主要材料	棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)	外側	—	SUS304	取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10	溢水防護上の区画番号	—	—*11	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*11		
		変更前	変更後																																																																																					
名称*2		製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)																																																																																						
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																																					
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4	mm	段方向250以上 列方向450以上																																																																																					
	スクラップ貯蔵設備との 面間距離	mm	2500以上																																																																																					
	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁	mm	2130以上																																																																																				
		床	mm	300以上																																																																																				
	単一ユニット相互間の壁 厚さ	mm	305以上*10																																																																																					
容量*5		t・HM	6.3 (350棚：70×5台)																																																																																					
主 要 寸 法 *6	たて	mm	1270*1																																																																																					
	横	mm	3950*1																																																																																					
	高さ	mm	3850*1*10																																																																																					
	中心間距離(棚間隔)	mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10																																																																																					
主要材料*7		—	SUS304, SUS304TP																																																																																					
個数*8		—	5																																																																																					
遮 蔵 体	主要 寸法	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)																																																																																			
			外側	mm	4(5*1)																																																																																			
	主要材料	棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> 以上)																																																																																			
			外側	—	SUS304																																																																																			
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																																					
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T.M.S.L.35.00m*10																																																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	—*11																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*11																																																																																					

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																					
		<p>1.8. 燃料棒貯蔵設備 (1) ラック/ピット/棚</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>燃料棒貯蔵棚-1, -2 (PA0148-M-10101, 10102)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>—</td> <td>棚段貯蔵方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨界 管理</td> <td>中心間距離</td> <td>mm</td> <td>段方向700以上 行方向750以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4</td> <td>東壁</td> <td>mm</td> <td>4000</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>mm</td> <td>460</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>mm</td> <td>790</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁厚さ*12</td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量*5</td> <td>—</td> <td>60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要 寸法 *6</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4793*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4815*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中心間距離</td> <td rowspan="2">棚間隔</td> <td rowspan="2">mm</td> <td>段方向750*1</td> </tr> <tr> <td>行方向800*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*7</td> <td>—</td> <td>SS400, STKR400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*8</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付 箇所 *9</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。  *3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。  *4: 記載の適正化。既設工認では「注1 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。  *5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。  *6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位: mm)」と記載。  *7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。  *8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。  *9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。  *10: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。  *11: 貯蔵単位(貯蔵マガジン)の配列(4段×10行, 4段×8行)を核的に安全な配置とする。  *12: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称*2		燃料棒貯蔵棚-1, -2 (PA0148-M-10101, 10102)		種類*3		—	棚段貯蔵方式	臨界 管理	中心間距離	mm	段方向700以上 行方向750以上	設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4	東壁	mm	4000	床	mm	460	天井	mm	790	設置室の周囲の壁厚さ*12	mm	305以上	容量*5		—	60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)	主要 寸法 *6	たて	mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1	横	mm	4793*1	高さ	mm	4815*1	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750*1	行方向800*1	主要材料*7		—	SS400, STKR400	個数*8		—	2	取付 箇所 *9	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12	溢水防護上の区画番号	—	—*10	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10		
		変更前	変更後																																																																						
名称*2		燃料棒貯蔵棚-1, -2 (PA0148-M-10101, 10102)																																																																							
種類*3		—	棚段貯蔵方式																																																																						
臨界 管理	中心間距離	mm	段方向700以上 行方向750以上																																																																						
	設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4	東壁	mm	4000																																																																					
		床	mm	460																																																																					
		天井	mm	790																																																																					
	設置室の周囲の壁厚さ*12	mm	305以上																																																																						
容量*5		—	60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)																																																																						
主要 寸法 *6	たて	mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1																																																																						
	横	mm	4793*1																																																																						
	高さ	mm	4815*1																																																																						
	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750*1																																																																					
				行方向800*1																																																																					
主要材料*7		—	SS400, STKR400																																																																						
個数*8		—	2																																																																						
取付 箇所 *9	系統名(ライン名)	—	—																																																																						
	設置床	—	燃料棒貯蔵室 T.M.S.L.42.60m*12																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—	—*10																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10																																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																								
		<p>1.9 燃料集合体貯蔵設備</p> <p>(1) ラック/ピット/棚</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>—</td> <td>たて置角筒型</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中心間距離(チャンネル間隔)*1</td> <td></td> <td>mm</td> <td>行方向750以上 列方向750以上</td> </tr> <tr> <td>BWR 燃料集合体用ガイド管の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>192~204</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚さ</td> <td>外管</td> <td>mm</td> <td>4.5以上</td> </tr> <tr> <td>ガイド管</td> <td>mm</td> <td>(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離</td> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td>375 以上</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td>375 以上</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁厚さ</td> <td></td> <td>mm</td> <td>305以上</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>t・HM</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>592*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>592*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>5360*2</td> </tr> <tr> <td>中心間距離(チャンネル間隔)</td> <td>mm</td> <td>行方向800*2 列方向800*2</td> </tr> <tr> <td>BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>198*2</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>外管</td> <td>mm</td> <td>5.0*2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガイド管</td> <td>mm</td> <td>(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>外管</td> <td></td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>ガイド管</td> <td>—</td> <td>(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>—</td> <td>220*3</td> </tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 貯蔵単位(BWR 燃料集合体又はPWR 燃料集合体)の配列(10行×8列×2, 10行×6列)を核的に安全な配置とする。 *2: 公称値を示す。 *3: 1チャンネル当たり BWR 燃料集合体 4体又はPWR 燃料集合体 1体を取納する。 *4: 本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。</p>	名称		燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)		種類		—	たて置角筒型	中心間距離(チャンネル間隔)*1		mm	行方向750以上 列方向750以上	BWR 燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	192~204	厚さ	外管	mm	4.5以上	ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上	燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離	南壁	mm	375 以上	北壁	mm	375 以上	設置室の周囲の壁厚さ		mm	305以上	容量		t・HM	170	主要寸法	たて	mm	592*2	横	mm	592*2	高さ	mm	5360*2	中心間距離(チャンネル間隔)	mm	行方向800*2 列方向800*2	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	198*2	厚さ	外管	mm	5.0*2		ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2	主要材料	外管		SUS304TP	ガイド管	—	(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP	個数		—	220*3	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—		設置床	—	燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m		溢水防護上の区画番号	—	—*4		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4		
名称		燃料集合体貯蔵チャンネル (PA0155-M-10000)																																																																																										
種類		—	たて置角筒型																																																																																									
中心間距離(チャンネル間隔)*1		mm	行方向750以上 列方向750以上																																																																																									
	BWR 燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	192~204																																																																																									
厚さ	外管	mm	4.5以上																																																																																									
	ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)5.5以上 (PWR燃料集合体用)4.5以上																																																																																									
燃料集合体取扱 中心から設置す る室の壁までの 距離	南壁	mm	375 以上																																																																																									
	北壁	mm	375 以上																																																																																									
設置室の周囲の壁厚さ		mm	305以上																																																																																									
容量		t・HM	170																																																																																									
主要寸法	たて	mm	592*2																																																																																									
	横	mm	592*2																																																																																									
	高さ	mm	5360*2																																																																																									
	中心間距離(チャンネル間隔)	mm	行方向800*2 列方向800*2																																																																																									
	BWR燃料集合体用ガイド管の中心間距離	mm	198*2																																																																																									
	厚さ	外管	mm	5.0*2																																																																																								
	ガイド管	mm	(BWR燃料集合体用)6.0*2 (PWR燃料集合体用)5.0*2																																																																																									
主要材料	外管		SUS304TP																																																																																									
	ガイド管	—	(BWR燃料集合体用) SUS304TP, SUS304 (PWR燃料集合体用) SUS304TP																																																																																									
個数		—	220*3																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																									
	設置床	—	燃料集合体貯蔵室 T. M. S. L. 53. 40m																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—*4																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4																																																																																									

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(二) 主要な核的制限値</p> <p><u>貯蔵施設の臨界管理のために、単一ユニットである貯蔵単位の集合を複数ユニットとし、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように配置等を設定する。</u></p>		<p>1.1.5 核燃料物質の貯蔵施設の臨界防止</p> <p>1.1.5.1 複数ユニットの臨界安全設計</p> <p><u>貯蔵施設の臨界管理のために、単一ユニットである貯蔵単位の集合を複数ユニットとし、取り扱う核燃料物質の形態に応じ、裕度ある条件を設定し、十分信頼性のある計算コードを使用して、中性子実効増倍率が0.95以下となるように配置等を設定することにより、臨界を防止する設計とする。</u></p> <p>貯蔵施設の複数ユニットは、貯蔵容器一時保管設備、原料 MOX 粉末缶一時保管設備、粉末一時保管設備、ペレット一時保管設備、スクラップ貯蔵設備、製品ペレット貯蔵設備、燃料棒貯蔵設備のうち燃料棒貯蔵棚及び燃料集合体貯蔵設備とする。</p> <p>なお、燃料棒貯蔵設備のうち、貯蔵マガジン入出庫装置及びウラン燃料棒収容装置には、臨界管理のために単一ユニットを設定する。</p>		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備 (イ) 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>(1) 構造 ① 概要 a. 設計基準対処の施設 気体廃棄物の廃棄設備は、<u>建屋排気設備、 工程室排気設備、グローブボックス排気設 備、給気設備、窒素循環設備及び排気筒で構 成する。</u></p> <p><u>建屋排気設備、工程室排気設備、グローブ ボックス排気設備、給気設備及び窒素循環設 備は燃料加工建屋に収納する。</u></p> <p>燃料加工建屋の主要構造は「ハ.(ハ)成型施 設(1)施設の種類の」に示す。</p> <p><u>ホ.(イ)(1)①a.-2-①各排気設備は、高性 能エアフィルタ、排風機等を設ける。</u></p>	<p>ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備 (イ) 気体廃棄物の廃棄設備 (1) 構造</p> <p>③ 主要設備の仕様 気体廃棄物の廃棄設備は、<u>建屋排気設備、工 程室排気設備、グローブボックス排気設備、給 気設備、窒素循環設備及び排気筒で構成する。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>④ 系統構成及び主要設備 各排気設備は、<u>高性能エアフィルタ及び排風 機等を設ける。</u> &lt;中略&gt;</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 5. 放射性廃棄物の廃棄施設 5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針 5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備 5.1.1.1 設計基準対象の施設 &lt;中略&gt;</p> <p><u>気体廃棄物の廃棄設備は、建屋排気設 備、工程室排気設備、グローブボックス 排気設備、給気設備、窒素循環設備及び 排気筒で構成する。</u></p> <p><u>建屋排気設備、工程室排気設備、グロ ーブボックス排気設備、給気設備及び窒 素循環設備は燃料加工建屋に収納する設 計とする。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>(1) 建屋排気設備 &lt;中略&gt; <u>ホ.(イ)(1)①a.-2-①建屋排気設備 は、建屋排気ダクト、建屋排気フィルタ ユニット及び建屋排風機で構成する。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>(2) 工程室排気設備 &lt;中略&gt; <u>ホ.(イ)(1)①a.-2-①工程室排気設備 は、工程室排気ダクト、工程室排気フィ ルタユニット、工程室排風機及び工程室 排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設 備で兼用)で構成する。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>(3) グローブボックス排気設備 &lt;中略&gt; <u>ホ.(イ)(1)①a.-2-①グローブボック ス排気設備は、グローブボックス排気ダ クト、グローブボックス給気フィルタ、 グローブボックス排気フィルタ、グロー ブボックス排気フィルタユニット、グロ ーブボックス排風機及びグローブボック ス排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制 設備で兼用)で構成する。</u> &lt;中略&gt;</p>	<p>事業変更許可申請書(本 文)の「ハ.(ハ)成形施 設(1)施設の種類の」に 示す。</p> <p>設工認の<u>ホ.(イ)(1)① a.-2-①</u>は事業変更許 可申請書(本文)の <u>ホ.(イ)(1)①a.-2-①</u>を 詳細に記載しており整 合している。</p>	



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>気体廃棄物の廃棄設備は、放射性物質を閉じ込めるため、グローブボックス等ホ.(イ)(1)①a.-2-②及び管理区域を換気し、負圧を維持する。</p> <p>ホ.(イ)(1)①a.-①また、オープンポートボックス及びフードは排気により開口部を所定の風速以上に維持することで閉じ込めを維持する。</p> <p>ホ.(イ)(1)①a.-2-③また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する。</p> <p>気体廃棄物の廃棄設備は、ホ.(イ)(1)①a.-②、2-④排気中に含まれる放射性物質を高性能エアフィルタにより除去した後、放射性物質の濃度等を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</p>	<p>イ. 安全設計 (ロ) 安全機能を有する施設 &lt;中略&gt;</p> <p>(3) 閉じ込めの機能 &lt;中略&gt; グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。</p> <p>また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設 (イ) 気体廃棄物の廃棄設備 (1) 設計基準対象の施設 ① 概要 気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の濃度等を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>5.1.1.1 設計基準対象の施設 気体廃棄物の廃棄設備は、核燃料物質等を閉じ込めるため、グローブボックス等ホ.(イ)(1)①a.-2-②の負圧の維持、</p> <p>ホ.(イ)(1)①a.-①オープンポートボックス及びフードの開口部風速の維持等の核燃料物質等の漏えいの拡大の防止ができる設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>4. 閉じ込めの機能 4.1 閉じ込め (2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針 ホ.(イ)(1)①a.-2-②グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、</p> <p>ホ.(イ)(1)①a.-①オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。</p> <p>また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設 ホ.(イ)(1)①a.-2-③気体廃棄物の廃棄設備は、核燃料物質等を閉じ込めるため、グローブボックス等の負圧の維持、オープンポートボックス及びフードの開口部風速の維持等の核燃料物質等の漏えいの拡大の防止ができる設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>気体廃棄物の廃棄設備は、ホ.(イ)(1)①a.-②MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の濃度及び排気風量を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。</p> <p>ホ.(イ)(1)①a.-2-④放射性気体廃棄物の放出に当たっては、排気中の放射性物質の濃度の測定及び放射能レベルを監視することにより、排気口において排気中の放射性物質の濃度が線量告示に定める周辺監視区域外の空気中の濃度限度以下となる設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のホ.(イ)(1)①a.-2-②は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.-2-②と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①a.-①は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.-①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①a.-③は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.-③と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①a.-②は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.-②と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①a.-2-④は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.-2-④を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ホ.(イ)(1)①a.2-⑤燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くする。</p> <p>核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</p> <p>b. 重大事故等対処設備 (a) 外部放出抑制設備 核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断することで、火災の影響によりグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行したMOX粉末が、外部へ放出されることを可能な限り防止するために必要な核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-1を設置及び保管する。</p>	<p>② 設計方針 ＜中略＞</p> <p>b. 閉じ込め 燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くする。</p> <p>核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。</p> <p>(2) 重大事故等対処施設 ① 外部放出抑制設備 a. 概要 核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断することで、火災の影響によりグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行したMOX粉末が、外部へ放出されることを可能な限り防止するために必要な核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>b. 系統構成及び主要設備 重大事故の発生を仮定するグローブボックス内の火災の影響を受けたMOX粉末がグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行し、移行したMOX粉末がグローブボックス排気設備及び工程室排気設備を経由して外部へ放出されることを可能な限り防止するために必要な設備として、外部放出抑制設備を設ける。</p> <p>(a) 系統構成 核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合の重大事故等対処設備として、外部放出抑制設備及び所内電源設備の一部を使用する。</p>	<p>ホ.(イ)(1)①a.2-⑤気体廃棄物の廃棄設備は、核燃料物質等を閉じ込めるため、グローブボックス等の負圧の維持、オープンポートボックス及びフードの開口部風速の維持等の核燃料物質等の漏えいの拡大の防止ができる設計とする。</p> <p>＜中略＞</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設 ＜中略＞ 気体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、核燃料物質等の逆流により核燃料物質等を拡散しない設計とする。 なお、気体廃棄物の逆流防止に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に基づくものとする。 ＜中略＞</p> <p>第2章 個別項目 5. 放射性廃棄物の廃棄施設 5.1 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針 5.1.1 気体廃棄物の廃棄設備 5.1.1.2 重大事故等対処設備 (1) 外部放出抑制設備 核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断することで、火災の影響によりグローブボックス内及び工程室内の気相中に移行したMOX粉末が、外部へ放出されることを可能な限り防止するために必要な核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-1として、外部放出抑制設備を設ける設計とする。</p>	<p>設工認のホ.(イ)(1)①a.2-⑤は事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①a.2-⑤と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-1は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備のダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排気設備の工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット及び工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ、工程室排気閉止ダンパ並びに可搬型ダンパ出口風速計で構成する。</p> <p>所内電源設備の一部である受電開閉設備、高圧母線及び低圧母線（以下「受電開閉設備等」という。）を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-2また、設計基準対象の施設と兼用するグローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトの一部、グローブボックス給気フィルタの一部、グローブボックス排気フィルタの一部、グローブボックス排気フィルタユニット及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排気設備の工程室排気ダクトの一部、工程室排気フィルタユニット及び工程室排風機入口手動ダンパ並びに重大事故の発生を仮定するグローブボックス（第1表）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>所内電源設備については「ト.(イ)(3) 所内電源設備」に示す。</p> <p>外部放出抑制設備は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失した場合には、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排気閉止ダンパを中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の室素を当該ダンパに供給することで閉止できる設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備のダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排気設備の工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット及び工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ、工程室排気閉止ダンパ並びに可搬型ダンパ出口風速計で構成する。</p> <p>所内電源設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>また、設計基準対象の施設と兼用するグローブボックス排気設備のグローブボックス排気ダクトの一部、グローブボックス給気フィルタの一部、グローブボックス排気フィルタの一部、グローブボックス排気フィルタユニット及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排気設備の工程室排気ダクトの一部、工程室排気フィルタユニット及び工程室排風機入口手動ダンパ並びに重大事故の発生を仮定するグローブボックス（添5第31表(2)）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>所内電源設備については「ト.(イ)(3) ②d. 系統構成」に示す。</p> <p>(b) 主要設備 外部放出抑制設備は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失した場合には、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排気閉止ダンパを中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の室素を当該ダンパに供給することで閉止できる設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備のダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排気設備の工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット及び工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ、工程室排気閉止ダンパ並びに可搬型ダンパ出口風速計で構成する。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-2グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、グローブボックス排風機入口手動ダンパ及びグローブボックス排気閉止ダンパは、常設重大事故等対処設備と位置づけ、設計基準対象の施設のグローブボックス排気設備の一部と兼用する設計とする。</p> <p>工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット、工程室排風機入口手動ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、常設重大事故等対処設備と位置づけ、設計基準対象の施設の工程室排気設備の一部と兼用する設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>外部放出抑制設備は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係る設計基準対象の施設として機能を期待するグローブボックス温度監視装置の感知機能又はグローブボックス消火装置の消火機能が喪失した場合には、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排気閉止ダンパを中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の室素を当該ダンパに供給することで閉止できる設計とする。</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-2は、事業変更許可申請書（本文）のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-2と同義であり整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパが使用できない場合は、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排風機入口手動ダンパを地下1階の現場にて手動操作により閉止できる設計とする。</p> <p>上記のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-3対策が完了するまでの間、火災の影響を受けてグローブボックス内又は工程室内の気相中に飛散又は漏えいしたMOX粉末は、火災によって生ずる気流に押し流されて外部に放出されることから、これを抑制するため、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備に設置された高性能エアフィルタでMOX粉末を捕集できる設計とする。</p> <p>また、上記のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-4対策によりグローブボックス排気設備及び工程室排気設備からの外部への放出経路が遮断されたことを確認するため、</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-5ダンパ出口側のダクトに可搬型ダンパ出口風速計を接続し、ダクト内の風速を計測できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、所内電源設備の一部である受電開閉設備等の給電により中央監視室に設置する盤の手動操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型ダンパ出口風速計は、乾電池を使用する設計とする。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスは、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックスからの漏えいを一定程度抑制できる設計とする。</p>	<p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパが使用できない場合は、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排風機入口手動ダンパを地下1階の現場にて手動操作により閉止できる設計とする。</p> <p>上記の対策が完了するまでの間、火災の影響を受けてグローブボックス内又は工程室内の気相中に飛散又は漏えいしたMOX粉末は、火災によって生ずる気流に押し流されて外部に放出されることから、これを抑制するため、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備に設置された高性能エアフィルタでMOX粉末を捕集できる設計とする。</p> <p>また、上記の対策によりグローブボックス排気設備及び工程室排気設備からの外部への放出経路が遮断されたことを確認するため、</p> <p>ダンパ出口側のダクトに可搬型ダンパ出口風速計を接続し、ダクト内の風速を計測できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、所内電源設備の一部である受電開閉設備等の給電により中央監視室に設置する盤の手動操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型ダンパ出口風速計は、乾電池を使用する設計とする。</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスは、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックスからの漏えいを一定程度抑制できる設計とする。</p> <p>c. 設計方針 (a) 共通要因故障に対する考慮 基本方針については、「イ.(ハ)(1)① a. 共通要因故障に対する考慮」に示す。</p>	<p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパが使用できない場合は、放出経路となり得るグローブボックスからの排気系に設置するグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室からの排気系に設置する工程室排風機入口手動ダンパを地下1階の現場にて手動操作により閉止できる設計とする。</p> <p>上記のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-3ダンパの閉止が完了するまでの間、火災の影響を受けてグローブボックス内又は工程室内の気相中に飛散又は漏えいしたMOX粉末は、火災によって生ずる気流に押し流されて外部に放出されることから、これを抑制するため、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備に設置された高性能エアフィルタでMOX粉末を捕集できる設計とする。</p> <p>また、上記のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-4ダンパの閉止によりグローブボックス排気設備及び工程室排気設備からの外部への放出経路が遮断されたことを確認するため、</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-5グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの出口側のダクトに可搬型ダンパ出口風速計を接続し、ダクト内の風速を計測できる設計とする。</p> <p>グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、所内電源設備の一部である受電開閉設備等の給電により中央監視室に設置する盤の手動操作が可能な設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>重大事故の発生を仮定するグローブボックスは、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失が発生した場合において、グローブボックスからの漏えいを一定程度抑制できる設計とする。</p>	<p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-3は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-3を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-4は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-4を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-5は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-5を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>外部放出抑制設備のグローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断する手段については、中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の窒素を供給することで閉止するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパ並びに地下1階の現場にて手動操作により閉止できるグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパを設置することで、多重性を確保した設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、燃料加工建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、燃料加工建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、グローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の放出経路遮断後におけるダンパ出口のダクト内風速を確認するため、重大事故に想定される変動範囲を監視可能な0～50m/sの計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを3台の合計5</p>	<p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、燃料加工建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、燃料加工建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>外部放出抑制設備のグローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断する手段については、中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の窒素を供給することで閉止するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパ並びに地下1階の現場にて手動操作により閉止できるグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパを設置することで、多重性を確保する設計とする。</p> <p>(b) 悪影響防止 基本方針については、「イ.(ハ)(1)① b. 悪影響防止」に示す。 外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、グローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、グローブボックス排気設備及び工程室排気設備の放出経路遮断後におけるダンパ出口のダクト内風速を確認するため、重大事故に想定される変動範囲を監視可能な0～50m/sの計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを3台の合計5</p>	<p>外部放出抑制設備のグローブボックス排気設備及び工程室排気設備の流路を遮断する手段については、中央監視室に設置する盤の手動操作により駆動動力源の窒素を供給することで閉止するグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパ並びに地下1階の現場にて手動操作により閉止できるグローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパを設置することで、多重性を確保した設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、グローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパの操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>台以上を確保する。</p> <p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備、工程室排気設備に対して、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</p> <p>外部放出抑制設備は、耐熱性を有する又は火災による温度上昇の影響を受けない場所に設置することで、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災により上昇する温度の影響を考慮してもホ.(イ)(1)①b.(a)-2-6機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因とホ.(イ)(1)①b.(a)-2-7して発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備、</p> <p>可搬型ダンパ出口風速計は、</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-8「ロ.(ト)(2)②e. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋に設置し、風(台風)等によりホ.(イ)(1)①b.(a)-2-10機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所又は第2保管庫・貯水所に保管し、風(台風)等により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>台以上を確保する。</p> <p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備、工程室排気設備に対して、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</p> <p>(d) 環境条件等 基本方針については、「イ.(ハ)(1)③環境条件等」に示す。 外部放出抑制設備は、耐熱性を有する又は火災による温度上昇の影響を受けない場所に設置することで、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災により上昇する温度の影響を考慮しても機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、</p> <p>「イ.(ハ)(1)⑤ 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋に設置し、風(台風)等により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備は、グローブボックス排気設備、工程室排気設備に対して、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備は、耐熱性を有する又は火災による温度上昇の影響を受けない場所に設置することで、重大事故の発生を仮定するグローブボックス内における火災により上昇する温度の影響を考慮してもホ.(イ)(1)①b.(a)-2-6 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因とホ.(イ)(1)①b.(a)-2-7する重大事故等が発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-8第1章共通項目の「8.2 重大事故等対処設備」の「8.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋に設置し、風(台風)等により、ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-10重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-6は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-6を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-7は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-7を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-8は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-8と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-10は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-10を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備</p> <p>及び可搬型ダンパ出口風速計</p> <p>は、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの設置</p> <p>又は保管</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-11及び被水防護する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-12機能を損なわない設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、内部発生飛散物の影響を考慮し、燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所又は第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>内の事象を要因ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-13として発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備のグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、自然現象、人為事象、溢水、火災及び内部発生飛散物に対して代替設備による機能の確保、修理の対応により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備</p> <p>は、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの設置</p> <p>及び被水防護する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備のグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応により機能を維持する設計とする。また、上記機能が確保できない場合に備え、関連する工程を停止する等の手順を整備する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>は、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの設置</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-11。被水防護する設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-12重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>内の事象を要因ホ.(イ)(1)①b.(a)-2-13とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる外部放出抑制設備のグローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、自然現象、人為事象、溢水、火災及び内部発生飛散物に対して代替設備による機能の確保、修理の対応により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、重大事故等に対処するための機能が確保できない場合には、関連する工程を停止すること等を保安規定に定めて、管理する。</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-11は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-11と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-12は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-12を具体的に記載しており整合している。</p> <p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-13は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)①b.(a)-2-13と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画又は離れた場所から操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計とするとともに、高性能エアフィルタによりMOX粉末を捕集した後のダクトに接続口を設けることで接続操作時に汚染が拡大しないよう考慮することにより、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計と常設ダクトとの接続は、常設ダクトに測定口を設けて可搬型ダンパ出口風速計の検出部を挿入する接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、動作確認によりダンパの固着がないことの確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画又は離れた場所から操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計とするとともに、高性能エアフィルタによりMOX粉末を捕集した後のダクトに接続口を設けることで接続操作時に汚染が拡大しないよう考慮することにより、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p>(e) 操作性の確保 基本方針については、「イ.(ハ)(1)④ a. 操作性の確保」に示す。 <u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計と常設ダクトとの接続は、常設ダクトに測定口を設けて可搬型ダンパ出口風速計の検出部を挿入する接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u> ＜中略＞</p> <p><u>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、動作確認によりダンパの固着がないことの確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画又は離れた場所から操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計とするとともに、高性能エアフィルタによりMOX粉末を捕集した後のダクトに接続口を設けることで接続操作時に汚染が拡大しないよう考慮することにより、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計と常設ダクトとの接続は、常設ダクトに測定口を設けて可搬型ダンパ出口風速計の検出部を挿入する接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備の常設重大事故等対処設備は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</u></p> <p><u>外部放出抑制設備のグローブボックス排風機入口手動ダンパ、工程室排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、動作確認によりダンパの固着がないことの確認が可能な設計とする。</u></p>		



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>外部放出抑制設備のグローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及び工程室排気フィルタユニットは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、差圧の確認によりフィルタの目詰まりがないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>外部放出抑制設備の可搬型ダンパ出口風速計は、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、員数確認、模擬入力による機能、性能の確認及び校正等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、取替えが可能な設計とする。</p> <p>(c) 工程室放射線計測設備</p> <p>核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策のうち、代替消火設備、代替火災感知設備及び外部放出抑制設備を用いた一連の対策が完了した後、工程室内の気相中における放射性物質の濃度を計測することで、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認するために必要な核燃料物質等の回収に使用する重大事故等対処設備を保管する。</p> <p>工程室放射線計測設備は、可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータで構成する。</p> <p>工程室放射線計測設備は、核燃料物質等を閉じ込める機能の喪失の拡大防止対策のうち、代替消火設備、代替火災感知設備及び外部放出抑制設備を用いた一連の対策が完了し、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認した後、ウエス等の資機材によりMOX粉末を回収することから、当該作業の着手判断として、可搬型ダストサンプラにより、工程室内の気相中のMOX粉末を捕集し、アルファ・ベータ線用サーベイメータにより、放射性物質の濃度を計測することで、工程室内雰囲気安定した状態であることを確認できる設計とする。</p> <p>可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、充電池又は乾電池を使用する設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備のグローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及び工程室排気フィルタユニットは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、差圧の確認によりフィルタの目詰まりがないことの確認が可能な設計とする。</p>	<p>外部放出抑制設備のグローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット及び工程室排気フィルタユニットは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、差圧の確認によりフィルタの目詰まりがないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、故障時のバックアップを含めて必要な数量を燃料加工建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラは、工程室内の放射性物質濃度の測定に必要な容量の充電池又は乾電池を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</p> <p>工程室放射線計測設備のアルファ・ベータ線用サーベイメータは、工程室内の放射性物質濃度の測定に必要な容量の充電池又は乾電池を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、「ロ.(ト)(2)②e. 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、外部からの衝撃による損傷を防止できる燃料加工建屋、第1保管庫・貯水所又は第2保管庫・貯水所に保管し、風(台風)等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、溢水量を考慮し、影響を受けない高さへの保管及び被水防護する設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、内部発生飛散物の影響を考慮</p>		<p style="text-align: center;">今回の申請の対象範囲外</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>し、第1保管庫・貯水所又は第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、想定される重大事故等が発生した場合においても設置に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定として、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所で操作可能な設計により、当該設備の設置が可能な設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラ及びアルファ・ベータ線用サーベイメータは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、機能性能確認等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、取替え等が可能な設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンプラは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、動作確認が可能な設計とする。</p> <p>工程室放射線計測設備のアルファ・ベータ線用サーベイメータは、通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、外観点検、模擬入力による機能、性能の確認及び校正が可能な設計とする。</p> <p>② 主要な設備及び機器の種類及び個数  a. 設計基準対象の施設  (a) 建屋排気設備  i. 建屋排気ダクト  (i) 設置場所  ホ.(イ)(1)②a.(a)i.(i)  燃料加工建屋</p> <p>(ii) 個数  ホ.(イ)(1)②a.(a)i.(ii) 1式</p>	<p>⑦ 気体廃棄物の廃棄設備の主要な設備の仕様  a. 建屋排気設備 (設備能力 約 19 万 m<sup>3</sup>/h)  (a) 建屋排気ダクト  i. 設置場所  燃料加工建屋</p> <p>ii. 個数  1式</p>	<p>今回の申請の対象範囲外</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設  &lt;中略&gt;  ホ.(イ)(1)②a.(a)i.(i)建屋排気設備、工程室排気設備、グローブボックス排気設備、給気設備及び窒素循環設備は燃料加工建屋に収納する設計とする。  &lt;中略&gt;</p> <p>(1) 建屋排気設備  建屋排気設備は、建屋排気ダクト、建屋排気フィルタユニット及び建屋排風機ホ.(イ)(1)②a.(a)i.(ii)で構成する。  &lt;中略&gt;</p>	<p>次回申請以降に整合性を示す。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(a)i.(i)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(a)i.(i)と同義であり整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(a)i.(ii)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(a)i.(ii)と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性																																																																																																																																						
<p>ii. 建屋排気フィルタユニット</p> <p>(i) 設置場所 排気フィルタ第2室及び排気フィルタ第3室</p> <p>(ii) 個数 ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(ii) 1式</p> <p>(iii) フィルタ段数 ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(iii) 高性能エアフィルタ2段</p>	<p>(b) 建屋排気フィルタユニット</p> <p>i. 設置場所 排気フィルタ第2室及び排気フィルタ第3室</p> <p>ii. 個数 1式 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(iii)</span></p> <p>iii. フィルタ段数 高性能エアフィルタ2段</p> <p>iv. 高性能エアフィルタの捕集効率 99.97%以上 (0.15μmDOP粒子)</p> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(ii)</span></p>	<p>【放射性廃棄物の廃棄施設】(仕様表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">C1区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-124, -125, -126)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">密封交換型</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td colspan="2">5.25</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">35</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td colspan="2">5305</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効 率</td> <td>単 品</td> <td>%</td> <td>99.97以上(0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td>総 合</td> <td>%</td> <td>99.999(0.3μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>750*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2620*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>2652*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>C1区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C 建屋排気系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>排気フィルタ第2室 T.M.S.L.50.30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">C2区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-127, -128, -129, -130, -131, -132, -133, -134, -135, -136, -137, -138, -139, -140, -141, -142, -143, -144, -145, -146, -147, -148, -149)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">密封交換型</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td colspan="2">5.25</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">45</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td colspan="2">8515</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効 率</td> <td>単 品</td> <td>%</td> <td>99.97以上(0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td>総 合</td> <td>%</td> <td>99.999(0.3μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>650*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>750*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2620*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>2652*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>23</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>C2区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W 建屋排気系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>排気フィルタ第3室 T.M.S.L.50.30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>	名 称		C1区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-124, -125, -126)		種 類	—	密封交換型		最高使用圧力	kPa	5.25		最高使用温度	℃	35		容 量	m³/h/個	5305		効 率	単 品	%	99.97以上(0.15μmDOP粒子)	総 合	%	99.999(0.3μmDOP粒子)	主要寸法	吸込口径	mm	650*1	吐出口径	mm	650*1	た て	mm	750*1	横	mm	2620*1	高 さ	mm	2652*1	主要材料	ケーシング	—	SS400	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数	—	—	3	取付箇所	系統名(ライン名)	—	C1区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C 建屋排気系	設 置 床	—	排気フィルタ第2室 T.M.S.L.50.30m	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	名 称		C2区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-127, -128, -129, -130, -131, -132, -133, -134, -135, -136, -137, -138, -139, -140, -141, -142, -143, -144, -145, -146, -147, -148, -149)		種 類	—	密封交換型		最高使用圧力	kPa	5.25		最高使用温度	℃	45		容 量	m³/h/個	8515		効 率	単 品	%	99.97以上(0.15μmDOP粒子)	総 合	%	99.999(0.3μmDOP粒子)	主要寸法	吸込口径	mm	650*1	吐出口径	mm	650*1	た て	mm	750*1	横	mm	2620*1	高 さ	mm	2652*1	主要材料	ケーシング	—	SS400	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数	—	—	23	取付箇所	系統名(ライン名)	—	C2区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W 建屋排気系	設 置 床	—	排気フィルタ第3室 T.M.S.L.50.30m	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)i.(ii)</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(ii)</span>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(iii)</span>は、高性能エアフィルタ2段における総合の効率を示していることから、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(a)ii.(iii)</span>と同義であり整合している。</p>
名 称		C1区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-124, -125, -126)																																																																																																																																							
種 類	—	密封交換型																																																																																																																																							
最高使用圧力	kPa	5.25																																																																																																																																							
最高使用温度	℃	35																																																																																																																																							
容 量	m³/h/個	5305																																																																																																																																							
効 率	単 品	%	99.97以上(0.15μmDOP粒子)																																																																																																																																						
	総 合	%	99.999(0.3μmDOP粒子)																																																																																																																																						
主要寸法	吸込口径	mm	650*1																																																																																																																																						
	吐出口径	mm	650*1																																																																																																																																						
	た て	mm	750*1																																																																																																																																						
	横	mm	2620*1																																																																																																																																						
	高 さ	mm	2652*1																																																																																																																																						
主要材料	ケーシング	—	SS400																																																																																																																																						
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																																						
個 数	—	—	3																																																																																																																																						
取付箇所	系統名(ライン名)	—	C1区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C 建屋排気系																																																																																																																																						
	設 置 床	—	排気フィルタ第2室 T.M.S.L.50.30m																																																																																																																																						
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2																																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2																																																																																																																																						
名 称		C2区域用建屋排気フィルタユニット (PA0171-F-127, -128, -129, -130, -131, -132, -133, -134, -135, -136, -137, -138, -139, -140, -141, -142, -143, -144, -145, -146, -147, -148, -149)																																																																																																																																							
種 類	—	密封交換型																																																																																																																																							
最高使用圧力	kPa	5.25																																																																																																																																							
最高使用温度	℃	45																																																																																																																																							
容 量	m³/h/個	8515																																																																																																																																							
効 率	単 品	%	99.97以上(0.15μmDOP粒子)																																																																																																																																						
	総 合	%	99.999(0.3μmDOP粒子)																																																																																																																																						
主要寸法	吸込口径	mm	650*1																																																																																																																																						
	吐出口径	mm	650*1																																																																																																																																						
	た て	mm	750*1																																																																																																																																						
	横	mm	2620*1																																																																																																																																						
	高 さ	mm	2652*1																																																																																																																																						
主要材料	ケーシング	—	SS400																																																																																																																																						
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																																						
個 数	—	—	23																																																																																																																																						
取付箇所	系統名(ライン名)	—	C2区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W 建屋排気系																																																																																																																																						
	設 置 床	—	排気フィルタ第3室 T.M.S.L.50.30m																																																																																																																																						
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2																																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2																																																																																																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																										
<p>iii. 建屋排風機</p> <p>(i) 設置場所 排風機室</p> <p>(ii) 個数 3台(うち1台予備)</p>  <p>(b) 工程室排気設備</p> <p>i. 工程室排気ダクト</p> <p>(i) 設置場所 ホ.(イ)(1)②a.(b)i.(i)燃料加工建屋</p>  <p>(ii) 個数 ホ.(イ)(1)②a.(b)i.(ii)1式</p>	<p>(c) 建屋排風機</p> <p>i. 設置場所 排風機室</p> <p>ii. 個数 3台(うち1台予備)</p>  <p>b. 工程室排気設備(設備能力 約8万m<sup>3</sup>/h)</p> <p>(a) 工程室排気ダクト</p> <p>i. 設置場所 燃料加工建屋</p>  <p>ii. 個数 1式</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>名称</td><td colspan="3">建屋排風機(PA0171-K-111, -112, -113)</td></tr> <tr><td>種類</td><td colspan="3">遠心式</td></tr> <tr><td>容量</td><td colspan="3">m<sup>3</sup>/h/個 (320000以上*)</td></tr> <tr><td rowspan="5">主要寸法</td><td>吸込口径</td><td>mm</td><td>1438*1</td></tr> <tr><td>吐出口径</td><td>mm</td><td>1240*1×982*1</td></tr> <tr><td>たて</td><td>mm</td><td>2855*1</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>4510*1</td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm</td><td>3175*1</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>ケーシング</td><td colspan="2">SS400</td></tr> <tr><td>個数</td><td colspan="3">3(うち1台予備)</td></tr> <tr><td rowspan="4">取付箇所</td><td>系統名(ライン名)</td><td>建屋排風機A 建屋排気系</td><td>建屋排風機B 建屋排気系</td><td>建屋排風機C 建屋排気系</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>排風機室 T.M.S.L. 50.30m</td><td>排風機室 T.M.S.L. 50.30m</td><td>排風機室 T.M.S.L. 50.30m</td></tr> <tr><td>溢水防護上の 区画番号</td><td>-*4</td><td>-*4</td><td>-*4</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮 が必要な高さ</td><td>-*4</td><td>-*4</td><td>-*4</td></tr> <tr><td rowspan="4">原動機</td><td>種類</td><td colspan="3">三相誘導電動機</td></tr> <tr><td>出力</td><td colspan="3">kW/個 250</td></tr> <tr><td>個数</td><td colspan="3">3(うち1台予備)</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td colspan="3">排風機と同じ</td></tr> <tr><td>設計上の空気流入率</td><td>回/h</td><td colspan="2">-*3</td></tr> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:建屋排風機2台, 工程室排風機1台, グローブボックス排風機1台の排気量の合計を示す。 *3:本機器は, 空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため, 設計上の空気流入率は「-」とする。 *4:本機器は, 溢水防護対象ではないため「-」とする。</p> <p>5.1.1.1 設計基準対象の施設 ＜中略＞ 建屋排気設備, ホ.(イ)(1)② a.(b)i.(i)工程室排気設備, グローブボックス排気設備, 給気設備及び室素循環設備は燃料加工建屋に収納する設計とする。 ＜中略＞</p> <p>(2) 工程室排気設備 ＜中略＞ 工程室排気設備は, 工程室排気ダクト, 工程室排気フィルタユニット, 工程室排風機及び工程室排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設備で兼用)ホ.(イ)(1)②a.(b)i.(ii)で構成する。 ＜中略＞</p>	名称	建屋排風機(PA0171-K-111, -112, -113)			種類	遠心式			容量	m <sup>3</sup> /h/個 (320000以上*)			主要寸法	吸込口径	mm	1438*1	吐出口径	mm	1240*1×982*1	たて	mm	2855*1	横	mm	4510*1	高さ	mm	3175*1	主要材料	ケーシング	SS400		個数	3(うち1台予備)			取付箇所	系統名(ライン名)	建屋排風機A 建屋排気系	建屋排風機B 建屋排気系	建屋排風機C 建屋排気系	設置床	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	溢水防護上の 区画番号	-*4	-*4	-*4	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*4	-*4	-*4	原動機	種類	三相誘導電動機			出力	kW/個 250			個数	3(うち1台予備)			取付箇所	排風機と同じ			設計上の空気流入率	回/h	-*3		<p>設工認のホ.(イ)(1)② a.(b)i.(i)は, 事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)② a.(b)i.(i)と同義であり整合している。</p>  <p>設工認のホ.(イ)(1)② a.(b)i.(i)は, 事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)② a.(b)i.(i)と同義であり整合している。</p>	
名称	建屋排風機(PA0171-K-111, -112, -113)																																																																													
種類	遠心式																																																																													
容量	m <sup>3</sup> /h/個 (320000以上*)																																																																													
主要寸法	吸込口径	mm	1438*1																																																																											
	吐出口径	mm	1240*1×982*1																																																																											
	たて	mm	2855*1																																																																											
	横	mm	4510*1																																																																											
	高さ	mm	3175*1																																																																											
主要材料	ケーシング	SS400																																																																												
個数	3(うち1台予備)																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	建屋排風機A 建屋排気系	建屋排風機B 建屋排気系	建屋排風機C 建屋排気系																																																																										
	設置床	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m																																																																										
	溢水防護上の 区画番号	-*4	-*4	-*4																																																																										
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*4	-*4	-*4																																																																										
原動機	種類	三相誘導電動機																																																																												
	出力	kW/個 250																																																																												
	個数	3(うち1台予備)																																																																												
	取付箇所	排風機と同じ																																																																												
設計上の空気流入率	回/h	-*3																																																																												

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																											
<p>ii. <u>工程室排気フィルタユニット</u></p> <p>(i) 設置場所 <u>排気フィルタ第1室</u></p> <p>(ii) 個数 <u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(ii) 1式</u></p> <p>(iii) フィルタ段数 <u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(iii) 高性能エアフィルタ 2段</u></p> <p>iii. <u>工程室排風機</u></p> <p>(i) 設置場所 <u>排風機室</u></p> <p>(ii) 個数 <u>2台(うち1台予備)</u></p>	<p>(b) <u>工程室排気フィルタユニット</u></p> <p>i. 設置場所 <u>排気フィルタ第1室</u></p> <p>ii. 個数 <u>1式</u></p> <p><u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(iii)</u></p> <p>iii. フィルタ段数 <u>高性能エアフィルタ 2段</u></p> <p>iv. 高性能エアフィルタの捕集効率 <u>99.97%以上(0.15μmDOP粒子)</u></p> <p><u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(ii)</u></p> <p>(c) <u>工程室排風機</u></p> <p>i. 設置場所 <u>排風機室</u></p> <p>ii. 個数 <u>2台(うち1台予備)</u></p>	<p><b>【放射性廃棄物の廃棄施設】(仕様表)</b></p> <table border="1" data-bbox="1516 247 2119 756"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321, -322, -323, -324, -325, -326, -327, -328, -329, -330, -331)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>密封交換型</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td>6.75</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>26 40*2</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>8205</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効 率</td> <td>単 品</td> <td>% 99.97以上(0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td>総 合</td> <td>% 99.999(0.3μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm 650*1</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm 650*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 750*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 2620*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 2652*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>— SS400</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>— ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>11</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1516 787 2119 1018"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K 工程室排気系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>排気フィルタ第1室 T.M.S.L. 50.30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>PA-4-06</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 50.49m以上</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <table border="1" data-bbox="1516 1108 2119 1386"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">工程室排風機(PA0171-K-301, -302)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">遠心式</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td colspan="2">■■■■(320000以上*2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>1338*1</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>1108*1×882*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>2735*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4410*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>2995*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2(うち1台予備)</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1516 1396 2119 1606"> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>工程室排風機A 工程室排気系</td> <td>工程室排風機B 工程室排気系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>排風機室 T.M.S.L. 50.30m</td> <td>排風機室 T.M.S.L. 50.30m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> <td>—*4</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1516 1617 2119 1753"> <tr> <td rowspan="4">原動機</td> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>三相誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出 力</td> <td>kW/個</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2(うち1台予備)</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>—</td> <td>排風機と同じ</td> </tr> <tr> <td>設計上の空気流入率</td> <td>回/h</td> <td colspan="2">—*3</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 建屋排風機2台, 工程室排風機1台, グローブボックス排風機1台の排気量の合計を示す。 *3: 本機器は, 空気流入率が技術基準上の要求仕様とならないため, 設計上の空気流入率は「—」とする。 *4: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。</p>	名 称		工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321, -322, -323, -324, -325, -326, -327, -328, -329, -330, -331)	種 類	—	密封交換型	最高使用圧力	kPa	6.75	最高使用温度	℃	26 40*2	容 量	m³/h/個	8205	効 率	単 品	% 99.97以上(0.15μmDOP粒子)	総 合	% 99.999(0.3μmDOP粒子)	主要寸法	吸込口径	mm 650*1	吐出口径	mm 650*1	た て	mm 750*1	横	mm 2620*1	高 さ	mm 2652*1	主要材料	ケーシング	— SS400	ろ 材	— ガラス繊維	個 数	—	11	取付箇所	系統名(ライン名)	—	工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K 工程室排気系	設 置 床	—	排気フィルタ第1室 T.M.S.L. 50.30m	溢水防護上の 区 画 番 号	—	PA-4-06	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T.M.S.L. 50.49m以上	名 称		工程室排風機(PA0171-K-301, -302)		種 類	—	遠心式		容 量	m³/h/個	■■■■(320000以上*2)		主要寸法	吸込口径	mm	1338*1	吐出口径	mm	1108*1×882*1	た て	mm	2735*1	横	mm	4410*1	高 さ	mm	2995*1		主要材料	ケーシング	—	SS400	個 数	—	2(うち1台予備)		取付箇所	系統名(ライン名)	—	工程室排風機A 工程室排気系	工程室排風機B 工程室排気系	設 置 床	—	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—*4	—*4	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	—*4	—*4	原動機	種 類	—	三相誘導電動機	出 力	kW/個	250	個 数	—	2(うち1台予備)	取 付 箇 所	—	排風機と同じ	設計上の空気流入率	回/h	—*3		<p>設工認の<u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(ii)</u>は, 事業変更許可申請書(本文)の<u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(ii)</u>を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(iii)</u>は, 高性能エアフィルタ2段における総合の効率を示していることから, 事業変更許可申請書(本文)の<u>ホ.(イ)(1)②a.(b)ii.(iii)</u>と同義であり整合している。</p>	
名 称		工程室排気フィルタユニット (PA0171-F-321, -322, -323, -324, -325, -326, -327, -328, -329, -330, -331)																																																																																																																													
種 類	—	密封交換型																																																																																																																													
最高使用圧力	kPa	6.75																																																																																																																													
最高使用温度	℃	26 40*2																																																																																																																													
容 量	m³/h/個	8205																																																																																																																													
効 率	単 品	% 99.97以上(0.15μmDOP粒子)																																																																																																																													
	総 合	% 99.999(0.3μmDOP粒子)																																																																																																																													
主要寸法	吸込口径	mm 650*1																																																																																																																													
	吐出口径	mm 650*1																																																																																																																													
	た て	mm 750*1																																																																																																																													
	横	mm 2620*1																																																																																																																													
	高 さ	mm 2652*1																																																																																																																													
主要材料	ケーシング	— SS400																																																																																																																													
	ろ 材	— ガラス繊維																																																																																																																													
個 数	—	11																																																																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	—	工程室排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K 工程室排気系																																																																																																																												
	設 置 床	—	排気フィルタ第1室 T.M.S.L. 50.30m																																																																																																																												
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	PA-4-06																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	T.M.S.L. 50.49m以上																																																																																																																												
名 称		工程室排風機(PA0171-K-301, -302)																																																																																																																													
種 類	—	遠心式																																																																																																																													
容 量	m³/h/個	■■■■(320000以上*2)																																																																																																																													
主要寸法	吸込口径	mm	1338*1																																																																																																																												
	吐出口径	mm	1108*1×882*1																																																																																																																												
	た て	mm	2735*1																																																																																																																												
	横	mm	4410*1																																																																																																																												
高 さ	mm	2995*1																																																																																																																													
主要材料	ケーシング	—	SS400																																																																																																																												
個 数	—	2(うち1台予備)																																																																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	—	工程室排風機A 工程室排気系	工程室排風機B 工程室排気系																																																																																																																											
	設 置 床	—	排風機室 T.M.S.L. 50.30m	排風機室 T.M.S.L. 50.30m																																																																																																																											
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—*4	—*4																																																																																																																											
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	—*4	—*4																																																																																																																											
原動機	種 類	—	三相誘導電動機																																																																																																																												
	出 力	kW/個	250																																																																																																																												
	個 数	—	2(うち1台予備)																																																																																																																												
	取 付 箇 所	—	排風機と同じ																																																																																																																												
設計上の空気流入率	回/h	—*3																																																																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>iv. <u>工程室排風機入口手動ダンパ</u></p> <p>(i) 個数 2基</p> <p>(c) グローブボックス排気設備</p> <p>i. <u>グローブボックス排気ダクト</u></p> <p>(i) 設置場所 ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(i) 燃料加工建屋</p> <p>(ii) 個数 ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(ii) 1式</p>	<p>(d) <u>工程室排風機入口手動ダンパ</u></p> <p>i. 個数 2基</p> <p>c. グローブボックス排気設備 (設備能力 約 5万 m<sup>3</sup>/h)</p> <p>(a) <u>グローブボックス排気ダクト</u></p> <p>i. 設置場所 燃料加工建屋</p> <p>ii. 個数 1式</p>	<p>5.1.1.1 設計基準対象の施設</p> <p>(2) 工程室排気設備 &lt;中略&gt; 工程室排気設備は、工程室排気ダクト、工程室排気フィルタユニット、工程室排風機及び工程室排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設備で兼用)で構成する。工程室排気設備のうち、<u>工程室排風機入口手動ダンパを2基設置する設計とする。</u> &lt;中略&gt; 建屋排気設備、工程室排気設備、<u>ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(i) グローブボックス排気設備、給気設備及び室素循環設備は燃料加工建屋に収納する設計とする。</u> &lt;中略&gt;</p> <p>(3) グローブボックス排気設備 &lt;中略&gt; グローブボックス排気設備は、<u>グローブボックス排気ダクト、グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、グローブボックス排風機及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ(外部放出抑制設備で兼用)ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(ii)で構成する。</u> &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(i)</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(i)</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(ii)</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>ホ.(イ)(1)②a.(c) i.(ii)</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																										
<p>ii. グローブボックス給気フィルタ</p> <p>(i) 設置場所 ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i) 各グローブボックス給気口</p> <p>(ii) 個数 ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii) 1式</p>	<p>(b) グローブボックス給気フィルタ</p> <p>i. 設置場所 各グローブボックス給気口</p> <p>ii. 個数 1式</p> <p style="text-align: center;">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)</p> <p style="text-align: center;">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)</p>	<p>【放射性廃棄物の廃棄施設】(仕様表)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21802, F-22802, F-23802, F-24802, F-25801, F-31801, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, PA0164-F-20801, F-20803, F-72801, F-73801, F-75802, F-76801, PA0166-F-10801, F-20801)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td colspan="2">40</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>52.7*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>260*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>260*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は“—”とする。 *2: 公称値を示す。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802, F-26801, F-26802, PA0144-F-10801, F-10802, F-10805, F-10806, F-10807, F-10808, PA0145-F-20801, F-20802, PA0163-F-21801, F-22801, F-23801, F-24801, F-25802, F-26801, F-30801, F-81801, PA0164-F-20802, F-54801, F-55801, F-57801, F-70801, F-71802, F-74801, F-75801, PA0167-F-50801, F-50802, F-60801, F-60802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td colspan="2">132</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>78.1*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は“—”とする。 *2: 公称値を示す。</p>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21802, F-22802, F-23802, F-24802, F-25801, F-31801, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, PA0164-F-20801, F-20803, F-72801, F-73801, F-75802, F-76801, PA0166-F-10801, F-20801)		種 類	—	枠型		最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)		最 高 使 用 温 度	℃	50		容 量	m <sup>3</sup> /h/個	40		効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)		主要寸法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	52.7*2	た て	mm	260*2	横	mm	300*2	高 さ	mm	260*2	主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数		—	13	取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802, F-26801, F-26802, PA0144-F-10801, F-10802, F-10805, F-10806, F-10807, F-10808, PA0145-F-20801, F-20802, PA0163-F-21801, F-22801, F-23801, F-24801, F-25802, F-26801, F-30801, F-81801, PA0164-F-20802, F-54801, F-55801, F-57801, F-70801, F-71802, F-74801, F-75801, PA0167-F-50801, F-50802, F-60801, F-60802)		種 類	—	枠型		最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)		最 高 使 用 温 度	℃	50		容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132		効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)		主要寸法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	78.1*2	た て	mm	310*2	横	mm	300*2	高 さ	mm	310*2	主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数		—	33	取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	<p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)を詳細に記載しており整合している。</p>	
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-21802, F-22802, F-23802, F-24802, F-25801, F-31801, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, PA0164-F-20801, F-20803, F-72801, F-73801, F-75802, F-76801, PA0166-F-10801, F-20801)																																																																																																																												
種 類	—	枠型																																																																																																																												
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																												
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																												
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	40																																																																																																																												
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																												
主要寸法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																											
	吐 出 口 径	mm	52.7*2																																																																																																																											
	た て	mm	260*2																																																																																																																											
	横	mm	300*2																																																																																																																											
	高 さ	mm	260*2																																																																																																																											
主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																											
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																											
個 数		—	13																																																																																																																											
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																											
	設 置 床	—																																																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																												
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802, F-26801, F-26802, PA0144-F-10801, F-10802, F-10805, F-10806, F-10807, F-10808, PA0145-F-20801, F-20802, PA0163-F-21801, F-22801, F-23801, F-24801, F-25802, F-26801, F-30801, F-81801, PA0164-F-20802, F-54801, F-55801, F-57801, F-70801, F-71802, F-74801, F-75801, PA0167-F-50801, F-50802, F-60801, F-60802)																																																																																																																												
種 類	—	枠型																																																																																																																												
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																												
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																												
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132																																																																																																																												
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																												
主要寸法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																											
	吐 出 口 径	mm	78.1*2																																																																																																																											
	た て	mm	310*2																																																																																																																											
	横	mm	300*2																																																																																																																											
	高 さ	mm	310*2																																																																																																																											
主要材料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																											
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																											
個 数		—	33																																																																																																																											
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																											
	設 置 床	—																																																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																												



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																				
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330, PA0173-F-80401, F-80402)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>102.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>303*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>4*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。 *2: 公称値を示す。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804, F-20803, F-20804, PA0164-F-53801, F-71801)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>102.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>310*2</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>3*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — “とする。 *2: 公称値を示す。</p>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330, PA0173-F-80401, F-80402)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	102.3*2	た て	mm	310*2	横	mm	303*2	高 さ	mm	310*2	厚 さ	mm	4*2	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数		—	4	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804, F-20803, F-20804, PA0164-F-53801, F-71801)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	102.3*2	た て	mm	310*2	横	mm	300*2	高 さ	mm	310*2	厚 さ	mm	3*2	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数		—	5	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—		
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80329, F-80330, PA0173-F-80401, F-80402)																																																																																																																						
種 類	—	枠型																																																																																																																						
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																						
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																						
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360																																																																																																																						
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																						
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																					
	吐 出 口 径	mm	102.3*2																																																																																																																					
	た て	mm	310*2																																																																																																																					
	横	mm	303*2																																																																																																																					
	高 さ	mm	310*2																																																																																																																					
	厚 さ	mm	4*2																																																																																																																					
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																					
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																					
個 数		—	4																																																																																																																					
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																					
	設 置 床	—																																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—																																																																																																																						
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804, F-20803, F-20804, PA0164-F-53801, F-71801)																																																																																																																						
種 類	—	枠型																																																																																																																						
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																						
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																						
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132																																																																																																																						
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																						
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																					
	吐 出 口 径	mm	102.3*2																																																																																																																					
	た て	mm	310*2																																																																																																																					
	横	mm	300*2																																																																																																																					
	高 さ	mm	310*2																																																																																																																					
	厚 さ	mm	3*2																																																																																																																					
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																					
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																					
個 数		—	5																																																																																																																					
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																					
	設 置 床	—																																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—																																																																																																																						
	ホ. (イ) (1) ② a. (c) ii. (ii)	ホ. (イ) (1) ② a. (c) ii. (ii)																																																																																																																						

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219, F-80220)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</p>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219, F-80220)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	吐 出 口 径	mm	た て	mm	横	mm	高 さ	mm	厚 さ	mm	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304	ろ 材	ガラス繊維	個 数	—	2	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80219, F-80220)																																																		
種 類	—	枠型																																																		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																		
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360																																																		
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																		
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm																																																		
	吐 出 口 径	mm																																																		
	た て	mm																																																		
	横	mm																																																		
	高 さ	mm																																																		
	厚 さ	mm																																																		
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304																																																		
	ろ 材	ガラス繊維																																																		
個 数	—	2																																																		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																		
	設 置 床	—																																																		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																		
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801, F-52802, F-56801, F-58801, PA0167-F-30801, F-30802, F-40801, F-40802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</p>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801, F-52802, F-56801, F-58801, PA0167-F-30801, F-30802, F-40801, F-40802)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	吐 出 口 径	mm	た て	mm	横	mm	高 さ	mm	厚 さ	mm	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304	ろ 材	ガラス繊維	個 数	—	2	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-52801, F-52802, F-56801, F-58801, PA0167-F-30801, F-30802, F-40801, F-40802)																																																		
種 類	—	枠型																																																		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																		
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	360																																																		
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																		
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm																																																		
	吐 出 口 径	mm																																																		
	た て	mm																																																		
	横	mm																																																		
	高 さ	mm																																																		
	厚 さ	mm																																																		
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304																																																		
	ろ 材	ガラス繊維																																																		
個 数	—	2																																																		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																		
	設 置 床	—																																																		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																		

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																							
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217, F-80218, PA0130-F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313, F-80337, F-80338)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>203.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>303*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>203.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table></td></tr></table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217, F-80218, PA0130-F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313, F-80337, F-80338)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	203.3*2	た て	mm	530*2	横	mm	303*2	高 さ	mm	530*2	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数	—	10	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配管が 必要な高さ	—	注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。							<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>203.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	203.3*2	た て	mm	530*2	横	mm	300*2	高 さ	mm	530*2	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数	—	5	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配管が 必要な高さ	—	注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。				
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80217, F-80218, PA0130-F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313, F-80337, F-80338)																																																																																																																									
種 類	—	枠型																																																																																																																									
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																									
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																									
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720																																																																																																																									
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																									
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																								
	吐 出 口 径	mm	203.3*2																																																																																																																								
	た て	mm	530*2																																																																																																																								
	横	mm	303*2																																																																																																																								
	高 さ	mm	530*2																																																																																																																								
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																								
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																								
個 数	—	10																																																																																																																									
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																								
	設 置 床	—																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																									
	溢水防護上の配管が 必要な高さ	—																																																																																																																									
注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。																																																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>203.3*2</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>530*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が 必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)	種 類	—	枠型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	50	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720	効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1	吐 出 口 径	mm	203.3*2	た て	mm	530*2	横	mm	300*2	高 さ	mm	530*2	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	個 数	—	5	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配管が 必要な高さ	—	注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。																																																																		
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802, F-21801, F-21802, PA0145-F-10801, F-10802)																																																																																																																									
種 類	—	枠型																																																																																																																									
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(外圧)																																																																																																																									
最 高 使 用 温 度	℃	50																																																																																																																									
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	720																																																																																																																									
効 率	%	99.97以上 (0.15μmDOP粒子)																																																																																																																									
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	—*1																																																																																																																								
	吐 出 口 径	mm	203.3*2																																																																																																																								
	た て	mm	530*2																																																																																																																								
	横	mm	300*2																																																																																																																								
	高 さ	mm	530*2																																																																																																																								
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																								
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																								
個 数	—	5																																																																																																																									
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																								
	設 置 床	—																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																									
	溢水防護上の配管が 必要な高さ	—																																																																																																																									
注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。																																																																																																																											

  |  |

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名</td> <td colspan="2">グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使</td> <td>用</td> </tr> <tr> <td>圧</td> <td>力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使</td> <td>用</td> </tr> <tr> <td>温</td> <td>度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>1080</td> </tr> <tr> <td>効</td> <td>率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主</td> <td rowspan="6">要</td> <td rowspan="6">寸</td> <td rowspan="6">法</td> <td>吸</td> <td>込</td> <td>口</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐</td> <td>出</td> <td>口</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>203.3*2</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>mm</td> <td>610*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>610*2</td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>3*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主</td> <td rowspan="2">要</td> <td rowspan="2">材</td> <td>ケ</td> <td>ー</td> <td>シ</td> <td>ン</td> <td>グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ</td> <td>材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取</td> <td rowspan="4">付</td> <td rowspan="4">箇</td> <td rowspan="4">所</td> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>(</td> <td>ラ</td> <td>イ</td> <td>ン</td> <td>名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>区</td> <td>画</td> <td>番</td> <td>号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>配</td> <td>慮</td> <td>が</td> <td>必</td> <td>要</td> <td>な</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">名</td> <td colspan="2">グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322, F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>枠型</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使</td> <td>用</td> </tr> <tr> <td>圧</td> <td>力</td> <td>Pa</td> <td>980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使</td> <td>用</td> </tr> <tr> <td>温</td> <td>度</td> <td>℃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>効</td> <td>率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主</td> <td rowspan="6">要</td> <td rowspan="6">寸</td> <td rowspan="6">法</td> <td>吸</td> <td>込</td> <td>口</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>吐</td> <td>出</td> <td>口</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>339.6*2</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>mm</td> <td>720*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>474*2</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>720*2</td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>4*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主</td> <td rowspan="2">要</td> <td rowspan="2">材</td> <td>ケ</td> <td>ー</td> <td>シ</td> <td>ン</td> <td>グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ</td> <td>材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>1品</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取</td> <td rowspan="4">付</td> <td rowspan="4">箇</td> <td rowspan="4">所</td> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>(</td> <td>ラ</td> <td>イ</td> <td>ン</td> <td>名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>区</td> <td>画</td> <td>番</td> <td>号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>配</td> <td>慮</td> <td>が</td> <td>必</td> <td>要</td> <td>な</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 吸込側は開口部となっているため、吸込口径は” — ”とする。 *2: 公称値を示す。</p>	名		グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)		種	類	—	枠型	最	高	使	用	圧	力	Pa	980(外圧)	最	高	使	用	温	度	℃	50	容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1080	効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	主	要	寸	法	吸	込	口	径	mm	—*1	吐	出	口	径	mm	203.3*2	た	て	mm	610*2	横	mm	300*2	高	さ	mm	610*2	厚	さ	mm	3*2	主	要	材	ケ	ー	シ	ン	グ	—	SUS304	ろ	材	—	ガラス繊維	個	数	—	2	取	付	箇	所	系	統	名	(	ラ	イ	ン	名)	—	設	置	床	—	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—	名		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322, F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)		種	類	—	枠型	最	高	使	用	圧	力	Pa	980(外圧)	最	高	使	用	温	度	℃	50	容	量	m <sup>3</sup> /h/個	3000	効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	主	要	寸	法	吸	込	口	径	mm	—*1	吐	出	口	径	mm	339.6*2	た	て	mm	720*2	横	mm	474*2	高	さ	mm	720*2	厚	さ	mm	4*2	主	要	材	ケ	ー	シ	ン	グ	—	SUS304	ろ	材	—	ガラス繊維	個	数	—	1品	取	付	箇	所	系	統	名	(	ラ	イ	ン	名)	—	設	置	床	—	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—		
名		グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)																																																																																																																																																																																																																																																										
種	類	—	枠型																																																																																																																																																																																																																																																									
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																									
圧	力	Pa	980(外圧)																																																																																																																																																																																																																																																									
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																									
温	度	℃	50																																																																																																																																																																																																																																																									
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	1080																																																																																																																																																																																																																																																									
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)																																																																																																																																																																																																																																																									
主	要	寸	法	吸	込	口	径	mm	—*1																																																																																																																																																																																																																																																			
				吐	出	口	径	mm	203.3*2																																																																																																																																																																																																																																																			
				た	て	mm	610*2																																																																																																																																																																																																																																																					
				横	mm	300*2																																																																																																																																																																																																																																																						
				高	さ	mm	610*2																																																																																																																																																																																																																																																					
				厚	さ	mm	3*2																																																																																																																																																																																																																																																					
主	要	材	ケ	ー	シ	ン	グ	—	SUS304																																																																																																																																																																																																																																																			
			ろ	材	—	ガラス繊維																																																																																																																																																																																																																																																						
個	数	—	2																																																																																																																																																																																																																																																									
取	付	箇	所	系	統	名	(	ラ	イ	ン	名)	—																																																																																																																																																																																																																																																
				設	置	床	—																																																																																																																																																																																																																																																					
				溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—																																																																																																																																																																																																																																														
				溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—																																																																																																																																																																																																																																										
名		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322, F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336)																																																																																																																																																																																																																																																										
種	類	—	枠型																																																																																																																																																																																																																																																									
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																									
圧	力	Pa	980(外圧)																																																																																																																																																																																																																																																									
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																									
温	度	℃	50																																																																																																																																																																																																																																																									
容	量	m <sup>3</sup> /h/個	3000																																																																																																																																																																																																																																																									
効	率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)																																																																																																																																																																																																																																																									
主	要	寸	法	吸	込	口	径	mm	—*1																																																																																																																																																																																																																																																			
				吐	出	口	径	mm	339.6*2																																																																																																																																																																																																																																																			
				た	て	mm	720*2																																																																																																																																																																																																																																																					
				横	mm	474*2																																																																																																																																																																																																																																																						
				高	さ	mm	720*2																																																																																																																																																																																																																																																					
				厚	さ	mm	4*2																																																																																																																																																																																																																																																					
主	要	材	ケ	ー	シ	ン	グ	—	SUS304																																																																																																																																																																																																																																																			
			ろ	材	—	ガラス繊維																																																																																																																																																																																																																																																						
個	数	—	1品																																																																																																																																																																																																																																																									
取	付	箇	所	系	統	名	(	ラ	イ	ン	名)	—																																																																																																																																																																																																																																																
				設	置	床	—																																																																																																																																																																																																																																																					
				溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—																																																																																																																																																																																																																																														
				溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—																																																																																																																																																																																																																																										

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802, F-24801, F-24802, PA0144-F-20801, F-20802, PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-40801, F-40802, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, PA0164-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15µmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 102.3*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 102.3*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 203*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 254*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 203*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>— SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>— ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>— 24</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td colspan="2">注記 *1:公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802, F-24801, F-24802, PA0144-F-20801, F-20802, PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-40801, F-40802, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, PA0164-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	m³/h/個	132	効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 102.3*1	吐 出 口 径	mm 102.3*1	た て	mm 203*1	横	mm 254*1	高 さ	mm 203*1	厚 さ	mm ■■■■	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304	ろ 材	— ガラス繊維	個 数		— 24	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	注記 *1:公称値を示す。						
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802, F-24801, F-24802, PA0144-F-20801, F-20802, PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-40801, F-40802, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, PA0164-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802)																																																										
種 類	—	箱型																																																										
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																										
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																										
容 量	m³/h/個	132																																																										
効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)																																																										
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 102.3*1																																																										
	吐 出 口 径	mm 102.3*1																																																										
	た て	mm 203*1																																																										
	横	mm 254*1																																																										
	高 さ	mm 203*1																																																										
	厚 さ	mm ■■■■																																																										
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304																																																										
	ろ 材	— ガラス繊維																																																										
個 数		— 24																																																										
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																										
	設 置 床	—																																																										
	溢水防護上の区画番号	—																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																										
		グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																										
注記 *1:公称値を示す。																																																												
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327, F-80328, PA0164-F-80801, F-80802)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15µmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 151*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 151*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 305*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 305*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 305*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>— SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>— ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>— 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td colspan="2">注記 *1:公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327, F-80328, PA0164-F-80801, F-80802)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	m³/h/個	360	効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 151*1	吐 出 口 径	mm 151*1	た て	mm 305*1	横	mm 305*1	高 さ	mm 305*1	厚 さ	mm ■■■■	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304	ろ 材	— ガラス繊維	個 数		— 4	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	注記 *1:公称値を示す。						
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327, F-80328, PA0164-F-80801, F-80802)																																																										
種 類	—	箱型																																																										
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																										
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																										
容 量	m³/h/個	360																																																										
効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)																																																										
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 151*1																																																										
	吐 出 口 径	mm 151*1																																																										
	た て	mm 305*1																																																										
	横	mm 305*1																																																										
	高 さ	mm 305*1																																																										
	厚 さ	mm ■■■■																																																										
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304																																																										
	ろ 材	— ガラス繊維																																																										
個 数		— 4																																																										
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																										
	設 置 床	—																																																										
	溢水防護上の区画番号	—																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																										
		グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																										
注記 *1:公称値を示す。																																																												

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202, PA0130-F-80314)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>㎥/h/個</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 203.3*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 203.3*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 500*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 305*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 500*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>㎥/h/個</td> <td>1080</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 356*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202, PA0130-F-80314)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	㎥/h/個	720	効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 203.3*1	吐 出 口 径	mm 203.3*1	た て	mm 500*1	横	mm 305*1	高 さ	mm 500*1	厚 さ	mm ■■■■	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304	ろ 材	ガラス繊維	個 数	—	2	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	注記 *1: 公称値を示す。							<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>㎥/h/個</td> <td>1080</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 356*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	㎥/h/個	1080	効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 254.4*1	吐 出 口 径	mm 254.4*1	た て	mm 610*1	横	mm 356*1	高 さ	mm 610*1	厚 さ	mm ■■■■	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304	ろ 材	ガラス繊維	個 数	—	1	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	注記 *1: 公称値を示す。						
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202, PA0130-F-80314)																																																																																																															
種 類	—	箱型																																																																																																															
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																																																																															
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																																																																															
容 量	㎥/h/個	720																																																																																																															
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)																																																																																																															
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 203.3*1																																																																																																															
	吐 出 口 径	mm 203.3*1																																																																																																															
	た て	mm 500*1																																																																																																															
	横	mm 305*1																																																																																																															
	高 さ	mm 500*1																																																																																																															
	厚 さ	mm ■■■■																																																																																																															
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304																																																																																																															
	ろ 材	ガラス繊維																																																																																																															
個 数	—	2																																																																																																															
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																																																																															
	設 置 床	—																																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																															
注記 *1: 公称値を示す。																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>㎥/h/個</td> <td>1080</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 254.4*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 356*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm ■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注記 *1: 公称値を示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	㎥/h/個	1080	効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 254.4*1	吐 出 口 径	mm 254.4*1	た て	mm 610*1	横	mm 356*1	高 さ	mm 610*1	厚 さ	mm ■■■■	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304	ろ 材	ガラス繊維	個 数	—	1	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	注記 *1: 公称値を示す。																																																														
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)																																																																																																															
種 類	—	箱型																																																																																																															
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																																																																															
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																																																																															
容 量	㎥/h/個	1080																																																																																																															
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)																																																																																																															
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 254.4*1																																																																																																															
	吐 出 口 径	mm 254.4*1																																																																																																															
	た て	mm 610*1																																																																																																															
	横	mm 356*1																																																																																																															
	高 さ	mm 610*1																																																																																																															
	厚 さ	mm ■■■■																																																																																																															
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	SUS304																																																																																																															
	ろ 材	ガラス繊維																																																																																																															
個 数	—	1																																																																																																															
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																																																																															
	設 置 床	—																																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																															
注記 *1: 公称値を示す。																																																																																																																	

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304, F-80315, F-80316)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>1680</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15µmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 305.5*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 305.5*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 356*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>— SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>— ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201, F-80203, F-80206, F-80209, F-80210, F-80211, F-80212, F-80221, F-80222, PA0130-F-80301, F-80302, F-80306, F-80307, F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339, PA0142-F-13801)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td>99.97以上 (0.15µmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm 339.6*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm 339.6*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 508*1</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm 610*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>— SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>— ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p>	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304, F-80315, F-80316)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	m³/h/個	1680	効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 305.5*1	吐 出 口 径	mm 305.5*1	た て	mm 610*1	横	mm 356*1	高 さ	mm 610*1	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304	ろ 材	— ガラス繊維	個 数	—	4	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ	—			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201, F-80203, F-80206, F-80209, F-80210, F-80211, F-80212, F-80221, F-80222, PA0130-F-80301, F-80302, F-80306, F-80307, F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339, PA0142-F-13801)	種 類	—	箱型	最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60	容 量	m³/h/個	2400	効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 339.6*1	吐 出 口 径	mm 339.6*1	た て	mm 610*1	横	mm 508*1	高 さ	mm 610*1	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304	ろ 材	— ガラス繊維	個 数	—	19	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	設 置 床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ	—			グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す		
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304, F-80315, F-80316)																																																																																																				
種 類	—	箱型																																																																																																				
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																																																																				
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																																																																				
容 量	m³/h/個	1680																																																																																																				
効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)																																																																																																				
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 305.5*1																																																																																																				
	吐 出 口 径	mm 305.5*1																																																																																																				
	た て	mm 610*1																																																																																																				
	横	mm 356*1																																																																																																				
	高 さ	mm 610*1																																																																																																				
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304																																																																																																				
	ろ 材	— ガラス繊維																																																																																																				
個 数	—	4																																																																																																				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																																																																				
	設 置 床	—																																																																																																				
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																				
	溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ	—																																																																																																				
		グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																				
名 称		グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201, F-80203, F-80206, F-80209, F-80210, F-80211, F-80212, F-80221, F-80222, PA0130-F-80301, F-80302, F-80306, F-80307, F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339, PA0142-F-13801)																																																																																																				
種 類	—	箱型																																																																																																				
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																																																																				
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																																																																				
容 量	m³/h/個	2400																																																																																																				
効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)																																																																																																				
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm 339.6*1																																																																																																				
	吐 出 口 径	mm 339.6*1																																																																																																				
	た て	mm 610*1																																																																																																				
	横	mm 508*1																																																																																																				
	高 さ	mm 610*1																																																																																																				
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	— SUS304																																																																																																				
	ろ 材	— ガラス繊維																																																																																																				
個 数	—	19																																																																																																				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—																																																																																																				
	設 置 床	—																																																																																																				
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																				
	溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ	—																																																																																																				
		グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																				
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)																																																																																																				

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																										
		<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td colspan="3">グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td colspan="2">980(内圧)/980(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60*1, 100*2</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td colspan="2">2400</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">99.97以上 (0.15µmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>339.6*3</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>339.6*3</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>610*3</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>508*3</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>610*3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>—</td> <td>ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td rowspan="4">グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1:設計基準事故時における最高使用温度。 *2:重大事故時における最高使用温度。 *3:公称値を示す。</p> <p>グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上 の区画番号</th> <th>溢水防護 上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0120-F-80201</td> <td>グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80201, F-80202</td> <td>粉末調整 第1室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td>PA-1-08</td> <td rowspan="12">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80202</td> <td>グローブボックス 排気系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80211</td> <td>グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80211, F-80212, F-80213, F-80214</td> <td>粉末調整 第6室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td>PA-1-11</td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80212</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80213</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80214</td> <td>グローブボックス 排気系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80331</td> <td>グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336</td> <td>パレット・ スクラップ 貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td>PA-1-13</td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80332</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80333</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80334</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80335</td> <td>グローブボックス 排気系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0130-F-80336</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PA0120-F-80203</td> <td>グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80203 グローブボックス 排気系</td> <td>粉末調整 第2室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td>PA-1-15</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)			種 類	—	箱型		最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)		最 高 使 用 温 度	℃	60*1, 100*2		容 量	m³/h/個	2400		効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)		主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	339.6*3	吐 出 口 径	mm	339.6*3	た て	mm	610*3	横	mm	508*3	高 さ	mm	610*3	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304	ろ 材	—	ガラス繊維	取 付 箇 所	個 数	—	8	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す	設 置 床	—	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	PA0120-F-80201	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80201, F-80202	粉末調整 第1室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-08	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0120-F-80202	グローブボックス 排気系			PA0120-F-80211	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80211, F-80212, F-80213, F-80214	粉末調整 第6室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-11	PA0120-F-80212				PA0120-F-80213				PA0120-F-80214	グローブボックス 排気系			PA0130-F-80331	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336	パレット・ スクラップ 貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-13	PA0130-F-80332				PA0130-F-80333				PA0130-F-80334				PA0130-F-80335	グローブボックス 排気系			PA0130-F-80336				PA0120-F-80203	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80203 グローブボックス 排気系	粉末調整 第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-15		
名 称	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205, F-80207, F-80208, F-80213, F-80214, F-80215, F-80216)																																																																																																																													
種 類	—	箱型																																																																																																																												
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/980(外圧)																																																																																																																												
最 高 使 用 温 度	℃	60*1, 100*2																																																																																																																												
容 量	m³/h/個	2400																																																																																																																												
効 率	%	99.97以上 (0.15µmDOP粒子)																																																																																																																												
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	339.6*3																																																																																																																											
	吐 出 口 径	mm	339.6*3																																																																																																																											
	た て	mm	610*3																																																																																																																											
	横	mm	508*3																																																																																																																											
	高 さ	mm	610*3																																																																																																																											
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	SUS304																																																																																																																											
	ろ 材	—	ガラス繊維																																																																																																																											
取 付 箇 所	個 数	—	8																																																																																																																											
	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	グローブボックス給気フィルタ 取付箇所一覧表に示す																																																																																																																											
	設 置 床	—																																																																																																																												
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																																												
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																																													
名称	取付箇所																																																																																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																																																																																																																										
PA0120-F-80201	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80201, F-80202	粉末調整 第1室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-08	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																																																																										
PA0120-F-80202	グローブボックス 排気系																																																																																																																													
PA0120-F-80211	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80211, F-80212, F-80213, F-80214	粉末調整 第6室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-11																																																																																																																											
PA0120-F-80212																																																																																																																														
PA0120-F-80213																																																																																																																														
PA0120-F-80214	グローブボックス 排気系																																																																																																																													
PA0130-F-80331	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80331, F-80332, F-80333, F-80334, F-80335, F-80336	パレット・ スクラップ 貯蔵室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-13																																																																																																																											
PA0130-F-80332																																																																																																																														
PA0130-F-80333																																																																																																																														
PA0130-F-80334																																																																																																																														
PA0130-F-80335	グローブボックス 排気系																																																																																																																													
PA0130-F-80336																																																																																																																														
PA0120-F-80203	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80203 グローブボックス 排気系	粉末調整 第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-15																																																																																																																											
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(ii)																																																																																																																													
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)																																																																																																																													



事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																									
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)	<p>グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上 の区画番号</th> <th>溢水防護 上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0130-F-80323</td> <td rowspan="7">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80327, F-80328, F-80339 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="7">ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="7">PA-1-16</td> <td rowspan="7">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80324</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80325</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80326</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80327</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80328</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80339</td></tr> <tr> <td>PA0130-F-80329</td> <td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80329, F-80330 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="2">ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="2">-*1</td> <td rowspan="2">-*1</td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80330</td></tr> <tr> <td>PA0120-F-80204</td> <td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80204, F-80205 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="2">粉末調整 第3室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="2">PA-1-17</td> <td rowspan="2">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0120-F-80205</td></tr> <tr> <td>PA0130-F-80301</td> <td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80301, F-80302 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="2">粉末調整 第7室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="2">PA-1-18</td> <td rowspan="2">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80302</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p> <p>グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上 の区画番号</th> <th>溢水防護 上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0130-F-80314</td> <td rowspan="10">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80314, F-80315, F-80316, F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="10">ベレット, 加工第3室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="10">PA-1-20</td> <td rowspan="10">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80315</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80316</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80317</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80318</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80319</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80320</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80321</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80322</td></tr> <tr> <td>PA0120-F-80206</td> <td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80206 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="2">粉末調整 第4室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="2">PA-1-21</td> <td rowspan="2">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0120-F-80207</td></tr> <tr> <td>PA0120-F-80208</td> <td rowspan="3">グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80207, F-80208, F-80209, F-80210 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="3">粉末調整 第5室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="3">PA-1-25</td> <td rowspan="3">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0120-F-80209</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80210</td></tr> </tbody> </table>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	PA0130-F-80323	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80327, F-80328, F-80339 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-16	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0130-F-80324	PA0130-F-80325	PA0130-F-80326	PA0130-F-80327	PA0130-F-80328	PA0130-F-80339	PA0130-F-80329	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80329, F-80330 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m	-*1	-*1	PA0130-F-80330	PA0120-F-80204	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80204, F-80205 グローブボックス 排気系	粉末調整 第3室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-17	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0120-F-80205	PA0130-F-80301	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80301, F-80302 グローブボックス 排気系	粉末調整 第7室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-18	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0130-F-80302	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	PA0130-F-80314	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80314, F-80315, F-80316, F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第3室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-20	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0130-F-80315	PA0130-F-80316	PA0130-F-80317	PA0130-F-80318	PA0130-F-80319	PA0130-F-80320	PA0130-F-80321	PA0130-F-80322	PA0120-F-80206	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80206 グローブボックス 排気系	粉末調整 第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-21	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0120-F-80207	PA0120-F-80208	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80207, F-80208, F-80209, F-80210 グローブボックス 排気系	粉末調整 第5室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-25	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0120-F-80209	PA0120-F-80210		
名称	取付箇所																																																																												
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																																																																									
PA0130-F-80323	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80327, F-80328, F-80339 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-16	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																									
PA0130-F-80324																																																																													
PA0130-F-80325																																																																													
PA0130-F-80326																																																																													
PA0130-F-80327																																																																													
PA0130-F-80328																																																																													
PA0130-F-80339																																																																													
PA0130-F-80329	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80329, F-80330 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第4室 T.M.S.L. 35.00m	-*1	-*1																																																																									
PA0130-F-80330																																																																													
PA0120-F-80204	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80204, F-80205 グローブボックス 排気系	粉末調整 第3室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-17	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																									
PA0120-F-80205																																																																													
PA0130-F-80301	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80301, F-80302 グローブボックス 排気系	粉末調整 第7室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-18	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																									
PA0130-F-80302																																																																													
名称	取付箇所																																																																												
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																																																																									
PA0130-F-80314	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80314, F-80315, F-80316, F-80317, F-80318, F-80319, F-80320, F-80321, F-80322 グローブボックス 排気系	ベレット, 加工第3室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-20	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																									
PA0130-F-80315																																																																													
PA0130-F-80316																																																																													
PA0130-F-80317																																																																													
PA0130-F-80318																																																																													
PA0130-F-80319																																																																													
PA0130-F-80320																																																																													
PA0130-F-80321																																																																													
PA0130-F-80322																																																																													
PA0120-F-80206					グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80206 グローブボックス 排気系	粉末調整 第4室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-21	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																					
PA0120-F-80207																																																																													
PA0120-F-80208	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80207, F-80208, F-80209, F-80210 グローブボックス 排気系	粉末調整 第5室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-25	T.M.S.L. 35.00m以上																																																																									
PA0120-F-80209																																																																													
PA0120-F-80210																																																																													

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																														
	<div data-bbox="1181 300 1484 331" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)</div>	<p data-bbox="1516 216 1834 237">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1516 237 2122 934"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0120-F-80215</td> <td rowspan="4">グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80215, F-80216, F-80303, F-80304 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="4">ベレット 加工第1室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="4">PA-1-26</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr><td>PA0120-F-80216</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80303</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80304</td></tr> <tr> <td>PA0130-F-80305</td> <td rowspan="10">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80305, F-80306, F-80307, F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="10">ベレット 加工第2室 T.M.S.L. 35.00m</td> <td rowspan="10">PA-1-27</td> <td rowspan="10">T.M.S.L. 35.00m以上</td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80306</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80307</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80308</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80309</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80310</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80311</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80312</td></tr> <tr><td>PA0130-F-80313</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1516 951 1834 972">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1516 972 2122 1701"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0163-F-10801</td> <td rowspan="20">グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-21801, F-21802, F-22801, F-22802, F-23801, F-23802, F-24801, F-24802, F-25801, F-25802, F-26801, F-30801, F-31801 グローブボックス 排気系</td> <td rowspan="20">分析第1室 T.M.S.L. 43.20m</td> <td rowspan="20">-*</td> <td rowspan="20">-*</td> </tr> <tr><td>PA0163-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-20801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-20802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-20803</td></tr> <tr><td>PA0163-F-20804</td></tr> <tr><td>PA0163-F-21801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-21802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-22801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-22802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-23801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-23802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-24801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-24802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-25801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-25802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-26801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-30801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-31801</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1516 1707 1952 1728">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0120-F-80215	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80215, F-80216, F-80303, F-80304 グローブボックス 排気系	ベレット 加工第1室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-26		PA0120-F-80216	PA0130-F-80303	PA0130-F-80304	PA0130-F-80305	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80305, F-80306, F-80307, F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313 グローブボックス 排気系	ベレット 加工第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-27	T.M.S.L. 35.00m以上	PA0130-F-80306	PA0130-F-80307	PA0130-F-80308	PA0130-F-80309	PA0130-F-80310	PA0130-F-80311	PA0130-F-80312	PA0130-F-80313	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0163-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-21801, F-21802, F-22801, F-22802, F-23801, F-23802, F-24801, F-24802, F-25801, F-25802, F-26801, F-30801, F-31801 グローブボックス 排気系	分析第1室 T.M.S.L. 43.20m	-*	-*	PA0163-F-10802	PA0163-F-20801	PA0163-F-20802	PA0163-F-20803	PA0163-F-20804	PA0163-F-21801	PA0163-F-21802	PA0163-F-22801	PA0163-F-22802	PA0163-F-23801	PA0163-F-23802	PA0163-F-24801	PA0163-F-24802	PA0163-F-25801	PA0163-F-25802	PA0163-F-26801	PA0163-F-30801	PA0163-F-31801		
名称	取付箇所																																																																	
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																														
PA0120-F-80215	グローブボックス 給気フィルタ PA0120-F-80215, F-80216, F-80303, F-80304 グローブボックス 排気系	ベレット 加工第1室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-26																																																															
PA0120-F-80216																																																																		
PA0130-F-80303																																																																		
PA0130-F-80304																																																																		
PA0130-F-80305	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80305, F-80306, F-80307, F-80308, F-80309, F-80310, F-80311, F-80312, F-80313 グローブボックス 排気系	ベレット 加工第2室 T.M.S.L. 35.00m	PA-1-27	T.M.S.L. 35.00m以上																																																														
PA0130-F-80306																																																																		
PA0130-F-80307																																																																		
PA0130-F-80308																																																																		
PA0130-F-80309																																																																		
PA0130-F-80310																																																																		
PA0130-F-80311																																																																		
PA0130-F-80312																																																																		
PA0130-F-80313																																																																		
名称					取付箇所																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																														
PA0163-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-20804, F-21801, F-21802, F-22801, F-22802, F-23801, F-23802, F-24801, F-24802, F-25801, F-25802, F-26801, F-30801, F-31801 グローブボックス 排気系	分析第1室 T.M.S.L. 43.20m	-*	-*																																																														
PA0163-F-10802																																																																		
PA0163-F-20801																																																																		
PA0163-F-20802																																																																		
PA0163-F-20803																																																																		
PA0163-F-20804																																																																		
PA0163-F-21801																																																																		
PA0163-F-21802																																																																		
PA0163-F-22801																																																																		
PA0163-F-22802																																																																		
PA0163-F-23801																																																																		
PA0163-F-23802																																																																		
PA0163-F-24801																																																																		
PA0163-F-24802																																																																		
PA0163-F-25801																																																																		
PA0163-F-25802																																																																		
PA0163-F-26801																																																																		
PA0163-F-30801																																																																		
PA0163-F-31801																																																																		

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																											
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)	<p>グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上 の区画番号</th> <th>溢水防護 上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0163-F-40801</td> <td rowspan="14">グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-40801, F-40802, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, F-81801, PA0166-F-10801, F-20801</td> <td rowspan="14">分析棟1室 T.M.S.L. 43.20m</td> <td rowspan="14">-*1</td> <td rowspan="14">-*1</td> </tr> <tr><td>PA0163-F-40802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-42801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-43801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-44801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-45801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-47801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-47802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-80801</td></tr> <tr><td>PA0163-F-80802</td></tr> <tr><td>PA0163-F-81801</td></tr> <tr><td>PA0166-F-10801</td></tr> <tr><td>PA0166-F-20801</td></tr> <tr><td>PA0166-F-20801</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	PA0163-F-40801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-40801, F-40802, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, F-81801, PA0166-F-10801, F-20801	分析棟1室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1	PA0163-F-40802	PA0163-F-42801	PA0163-F-43801	PA0163-F-44801	PA0163-F-45801	PA0163-F-47801	PA0163-F-47802	PA0163-F-80801	PA0163-F-80802	PA0163-F-81801	PA0166-F-10801	PA0166-F-20801	PA0166-F-20801		
名称	取付箇所																														
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																											
PA0163-F-40801	グローブボックス 給気フィルタ PA0163-F-40801, F-40802, F-42801, F-43801, F-44801, F-45801, F-47801, F-47802, F-80801, F-80802, F-81801, PA0166-F-10801, F-20801	分析棟1室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1																											
PA0163-F-40802																															
PA0163-F-42801																															
PA0163-F-43801																															
PA0163-F-44801																															
PA0163-F-45801																															
PA0163-F-47801																															
PA0163-F-47802																															
PA0163-F-80801																															
PA0163-F-80802																															
PA0163-F-81801																															
PA0166-F-10801																															
PA0166-F-20801																															
PA0166-F-20801																															
	ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)	<p>グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上 の区画番号</th> <th>溢水防護 上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PA0130-F-80337</td> <td rowspan="4">グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80337, F-80338, PA0144-F-10801, F-10802</td> <td rowspan="4">ペレリット 立倉庫 T.M.S.L. 43.20m</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr><td>PA0130-F-80338</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10801</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10802</td></tr> <tr> <td>PA0144-F-10807</td> <td rowspan="6">グローブボックス 給気フィルタ PA0144-F-10807, F-10808, PA0145-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802</td> <td rowspan="6">燃料棟 舞体庫 T.M.S.L. 43.20m</td> <td rowspan="6">-*1</td> <td rowspan="6">-*1</td> </tr> <tr><td>PA0144-F-10808</td></tr> <tr><td>PA0145-F-10801</td></tr> <tr><td>PA0145-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0145-F-20801</td></tr> <tr><td>PA0145-F-20802</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ	PA0130-F-80337	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80337, F-80338, PA0144-F-10801, F-10802	ペレリット 立倉庫 T.M.S.L. 43.20m			PA0130-F-80338	PA0144-F-10801	PA0144-F-10802	PA0144-F-10807	グローブボックス 給気フィルタ PA0144-F-10807, F-10808, PA0145-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802	燃料棟 舞体庫 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1	PA0144-F-10808	PA0145-F-10801	PA0145-F-10802	PA0145-F-20801	PA0145-F-20802		
名称	取付箇所																														
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上 の区画番号	溢水防護 上の配慮が 必要な高さ																											
PA0130-F-80337	グローブボックス 給気フィルタ PA0130-F-80337, F-80338, PA0144-F-10801, F-10802	ペレリット 立倉庫 T.M.S.L. 43.20m																													
PA0130-F-80338																															
PA0144-F-10801																															
PA0144-F-10802																															
PA0144-F-10807	グローブボックス 給気フィルタ PA0144-F-10807, F-10808, PA0145-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802	燃料棟 舞体庫 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1																											
PA0144-F-10808																															
PA0145-F-10801																															
PA0145-F-10802																															
PA0145-F-20801																															
PA0145-F-20802																															

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)</div>	<p style="font-size: small;">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PA0164-F-10801</td><td rowspan="16">グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802, F-52801, F-52802, F-53801, F-54801, F-55801, F-56801, F-57801, F-58801</td><td rowspan="16">分析第2室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="16">-*1</td><td rowspan="16">-*1</td></tr> <tr><td>PA0164-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-20801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-20802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-20803</td></tr> <tr><td>PA0164-F-50801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-50802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-51801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-51802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-52801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-52802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-53801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-54801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-55801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-56801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-57801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-58801</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p> <p style="font-size: small;">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PA0164-F-70801</td><td rowspan="16">グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802</td><td rowspan="16">分析第2室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="16">-*1</td><td rowspan="16">-*1</td></tr> <tr><td>PA0164-F-71801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-71802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-72801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-73801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-74801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-75801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-75802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-76801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-80801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-80802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-50801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-50802</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0164-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802, F-52801, F-52802, F-53801, F-54801, F-55801, F-56801, F-57801, F-58801	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1	PA0164-F-10802	PA0164-F-20801	PA0164-F-20802	PA0164-F-20803	PA0164-F-50801	PA0164-F-50802	PA0164-F-51801	PA0164-F-51802	PA0164-F-52801	PA0164-F-52802	PA0164-F-53801	PA0164-F-54801	PA0164-F-55801	PA0164-F-56801	PA0164-F-57801	PA0164-F-58801	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0164-F-70801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1	PA0164-F-71801	PA0164-F-71802	PA0164-F-72801	PA0164-F-73801	PA0164-F-74801	PA0164-F-75801	PA0164-F-75802	PA0164-F-76801	PA0164-F-80801	PA0164-F-80802	PA0167-F-10801	PA0167-F-10802	PA0167-F-50801	PA0167-F-50802		
名称	取付箇所																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																										
PA0164-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-10801, F-10802, F-20801, F-20802, F-20803, F-50801, F-50802, F-51801, F-51802, F-52801, F-52802, F-53801, F-54801, F-55801, F-56801, F-57801, F-58801	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1																																																										
PA0164-F-10802																																																														
PA0164-F-20801																																																														
PA0164-F-20802																																																														
PA0164-F-20803																																																														
PA0164-F-50801																																																														
PA0164-F-50802																																																														
PA0164-F-51801																																																														
PA0164-F-51802																																																														
PA0164-F-52801																																																														
PA0164-F-52802																																																														
PA0164-F-53801																																																														
PA0164-F-54801																																																														
PA0164-F-55801																																																														
PA0164-F-56801																																																														
PA0164-F-57801																																																														
PA0164-F-58801																																																														
名称	取付箇所																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																										
PA0164-F-70801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1																																																										
PA0164-F-71801																																																														
PA0164-F-71802																																																														
PA0164-F-72801																																																														
PA0164-F-73801																																																														
PA0164-F-74801																																																														
PA0164-F-75801																																																														
PA0164-F-75802																																																														
PA0164-F-76801																																																														
PA0164-F-80801																																																														
PA0164-F-80802																																																														
PA0167-F-10801																																																														
PA0167-F-10802																																																														
PA0167-F-50801																																																														
PA0167-F-50802																																																														
					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)</div>	<p style="font-size: small;">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PA0164-F-70801</td><td rowspan="16">グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802</td><td rowspan="16">分析第2室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="16">-*1</td><td rowspan="16">-*1</td></tr> <tr><td>PA0164-F-71801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-71802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-72801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-73801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-74801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-75801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-75802</td></tr> <tr><td>PA0164-F-76801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-80801</td></tr> <tr><td>PA0164-F-80802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-50801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-50802</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0164-F-70801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1	PA0164-F-71801	PA0164-F-71802	PA0164-F-72801	PA0164-F-73801	PA0164-F-74801	PA0164-F-75801	PA0164-F-75802	PA0164-F-76801	PA0164-F-80801	PA0164-F-80802	PA0167-F-10801	PA0167-F-10802	PA0167-F-50801	PA0167-F-50802																												
名称	取付箇所																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																										
PA0164-F-70801	グローブボックス 給気フィルタ PA0164-F-70801, F-71801, F-71802, F-72801, F-73801, F-74801, F-75801, F-75802, F-76801, F-80801, F-80802, PA0167-F-10801, F-10802, F-50801, F-50802	分析第2室 T.M.S.L. 43.20m	-*1	-*1																																																										
PA0164-F-71801																																																														
PA0164-F-71802																																																														
PA0164-F-72801																																																														
PA0164-F-73801																																																														
PA0164-F-74801																																																														
PA0164-F-75801																																																														
PA0164-F-75802																																																														
PA0164-F-76801																																																														
PA0164-F-80801																																																														
PA0164-F-80802																																																														
PA0167-F-10801																																																														
PA0167-F-10802																																																														
PA0167-F-50801																																																														
PA0167-F-50802																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																										
	<p data-bbox="1181 321 1484 352">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)</p> <p data-bbox="1181 1073 1484 1104">ホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(i)</p>	<p data-bbox="1519 216 1828 235">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1519 237 2110 1010"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PA0142-F-11801</td><td rowspan="20">グローブボックス 給気フィルタ</td><td rowspan="20">燃料棟加工 第1室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="20">- *1</td><td rowspan="20">- *1</td></tr> <tr><td>PA0142-F-11802</td></tr> <tr><td>PA0142-F-13801</td></tr> <tr><td>PA0142-F-21801</td></tr> <tr><td>PA0142-F-21802</td></tr> <tr><td>PA0143-F-14801</td></tr> <tr><td>PA0143-F-14802</td></tr> <tr><td>PA0143-F-16801</td></tr> <tr><td>PA0143-F-16802</td></tr> <tr><td>PA0143-F-24801</td></tr> <tr><td>PA0143-F-24802</td></tr> <tr><td>PA0143-F-26801</td></tr> <tr><td>PA0143-F-26802</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10803</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10804</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10805</td></tr> <tr><td>PA0144-F-10806</td></tr> <tr><td>PA0144-F-20801</td></tr> <tr><td>PA0144-F-20802</td></tr> <tr><td>PA0144-F-20803</td></tr> <tr><td>PA0144-F-20804</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1519 1014 1941 1033">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p> <p data-bbox="1519 1037 1828 1056">グローブボックス給気フィルタ取付箇所一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1519 1058 2110 1894"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">取付箇所</th> </tr> <tr> <th>系統名 (ライン名)</th> <th>設置床</th> <th>溢水防護上の 区画番号</th> <th>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PA0120-F-80217</td><td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ</td><td rowspan="2">スクラップ 処理室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="2">PA-3-19</td><td rowspan="10">T.M.S.L. 43.20m 以上</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80218</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80219</td><td rowspan="4">グローブボックス 給気フィルタ</td><td rowspan="4">分析第3室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="4">PA-3-20</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80220</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80221</td></tr> <tr><td>PA0120-F-80222</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10801</td><td rowspan="8">グローブボックス 給気フィルタ</td><td rowspan="8">分析第3室 T.M.S.L. 43.20m</td><td rowspan="8">- *1</td><td rowspan="8">- *1</td></tr> <tr><td>PA0167-F-10802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-30801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-30802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-40801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-40802</td></tr> <tr><td>PA0167-F-60801</td></tr> <tr><td>PA0167-F-60802</td></tr> <tr><td>PA0173-F-80401</td><td rowspan="2">グローブボックス 給気フィルタ</td><td rowspan="2">選別作業室 T.M.S.L. 50.30m</td><td rowspan="2">- *1</td><td rowspan="2">- *1</td></tr> <tr><td>PA0173-F-80402</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1519 1898 1941 1917">注記 *1: 本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。</p>	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0142-F-11801	グローブボックス 給気フィルタ	燃料棟加工 第1室 T.M.S.L. 43.20m	- *1	- *1	PA0142-F-11802	PA0142-F-13801	PA0142-F-21801	PA0142-F-21802	PA0143-F-14801	PA0143-F-14802	PA0143-F-16801	PA0143-F-16802	PA0143-F-24801	PA0143-F-24802	PA0143-F-26801	PA0143-F-26802	PA0144-F-10803	PA0144-F-10804	PA0144-F-10805	PA0144-F-10806	PA0144-F-20801	PA0144-F-20802	PA0144-F-20803	PA0144-F-20804	名称	取付箇所				系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	PA0120-F-80217	グローブボックス 給気フィルタ	スクラップ 処理室 T.M.S.L. 43.20m	PA-3-19	T.M.S.L. 43.20m 以上	PA0120-F-80218	PA0120-F-80219	グローブボックス 給気フィルタ	分析第3室 T.M.S.L. 43.20m	PA-3-20	PA0120-F-80220	PA0120-F-80221	PA0120-F-80222	PA0167-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ	分析第3室 T.M.S.L. 43.20m	- *1	- *1	PA0167-F-10802	PA0167-F-30801	PA0167-F-30802	PA0167-F-40801	PA0167-F-40802	PA0167-F-60801	PA0167-F-60802	PA0173-F-80401	グローブボックス 給気フィルタ	選別作業室 T.M.S.L. 50.30m	- *1	- *1	PA0173-F-80402		
名称	取付箇所																																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																																										
PA0142-F-11801	グローブボックス 給気フィルタ	燃料棟加工 第1室 T.M.S.L. 43.20m	- *1	- *1																																																																										
PA0142-F-11802																																																																														
PA0142-F-13801																																																																														
PA0142-F-21801																																																																														
PA0142-F-21802																																																																														
PA0143-F-14801																																																																														
PA0143-F-14802																																																																														
PA0143-F-16801																																																																														
PA0143-F-16802																																																																														
PA0143-F-24801																																																																														
PA0143-F-24802																																																																														
PA0143-F-26801																																																																														
PA0143-F-26802																																																																														
PA0144-F-10803																																																																														
PA0144-F-10804																																																																														
PA0144-F-10805																																																																														
PA0144-F-10806																																																																														
PA0144-F-20801																																																																														
PA0144-F-20802																																																																														
PA0144-F-20803																																																																														
PA0144-F-20804																																																																														
名称	取付箇所																																																																													
	系統名 (ライン名)	設置床	溢水防護上の 区画番号	溢水防護上の配慮が 必要な高さ																																																																										
PA0120-F-80217	グローブボックス 給気フィルタ	スクラップ 処理室 T.M.S.L. 43.20m	PA-3-19	T.M.S.L. 43.20m 以上																																																																										
PA0120-F-80218																																																																														
PA0120-F-80219	グローブボックス 給気フィルタ	分析第3室 T.M.S.L. 43.20m	PA-3-20																																																																											
PA0120-F-80220																																																																														
PA0120-F-80221																																																																														
PA0120-F-80222																																																																														
PA0167-F-10801	グローブボックス 給気フィルタ	分析第3室 T.M.S.L. 43.20m	- *1		- *1																																																																									
PA0167-F-10802																																																																														
PA0167-F-30801																																																																														
PA0167-F-30802																																																																														
PA0167-F-40801																																																																														
PA0167-F-40802																																																																														
PA0167-F-60801																																																																														
PA0167-F-60802																																																																														
PA0173-F-80401	グローブボックス 給気フィルタ	選別作業室 T.M.S.L. 50.30m	- *1	- *1																																																																										
PA0173-F-80402																																																																														

事業変更許可申請書(本文)	事業変更許可申請書(添付書類五)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																
<p>iii. グローブボックス排気フィルタ</p> <p>(i) 設置場所 ホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(i) 工程室内</p> <p>(ii) 個数 ホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(ii) 1式</p> <p>(iii) フィルタ段数 ホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(iii) 高性能エアフィルタ 1段</p>	<p>(c) グローブボックス排気フィルタ</p> <p>i. 設置場所 工程室内</p> <p>ii. 個数 1式</p> <p>iii. フィルタ段数 高性能エアフィルタ 1段又は2段</p> <p>iv. 高性能エアフィルタの捕集効率 99.97%以上 (0.15 μmDOP粒子)</p> <p>ホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(iii)</p> <p>ホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(ii)</p>	<p>【放射性廃棄物の廃棄施設】(仕様表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">グローブボックス排気フィルタ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名</td> <td>(PA0143-F-14841, F-14842, F-24841, F-24842, PA0144-F-20841, F-20842, PA0163-F-80841, F-80842, PA0164-F-10841, F-10842, F-80841, F-80842)</td> <td>(PA0130-F-84359, F-84360, PA0144-F-20843, F-20844, PA0145-F-20841, F-20842, PA0163-F-30841, F-30842, F-31841, F-31842, F-42841, F-42842, F-43841, F-43842, F-44841, F-44842, F-45841, F-45842, F-81841, F-81842, PA0164-F-54841, F-54842, F-55841, F-55842, F-56841, F-56842, F-57841, F-57842, F-58841, F-58842, F-72841, F-72842, PA0167-F-60841, F-60842, PA0173-F-84401, F-84402)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="2">箱型</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>Pa</td> <td>980(内圧)/3000(外圧)</td> <td>3000(外圧)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td colspan="2">132</td> </tr> <tr> <td>効 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>102.3*1</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>102.3*1</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>203*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>254*1</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(続き)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 材 料</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>203*1</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>ろ 材</td> <td>-</td> <td colspan="2">ガラス繊維</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>-</td> <td>品</td> <td>添</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>-</td> <td colspan="2">グローブボックス排気フィルタ</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td colspan="2">取付箇所一覧表に示す</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p>			グローブボックス排気フィルタ		名		(PA0143-F-14841, F-14842, F-24841, F-24842, PA0144-F-20841, F-20842, PA0163-F-80841, F-80842, PA0164-F-10841, F-10842, F-80841, F-80842)	(PA0130-F-84359, F-84360, PA0144-F-20843, F-20844, PA0145-F-20841, F-20842, PA0163-F-30841, F-30842, F-31841, F-31842, F-42841, F-42842, F-43841, F-43842, F-44841, F-44842, F-45841, F-45842, F-81841, F-81842, PA0164-F-54841, F-54842, F-55841, F-55842, F-56841, F-56842, F-57841, F-57842, F-58841, F-58842, F-72841, F-72842, PA0167-F-60841, F-60842, PA0173-F-84401, F-84402)	種	類	箱型		最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)	最 高 使 用 温 度	℃	60		容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132		効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)		主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	102.3*1	吐 出 口 径	mm	102.3*1	た て	mm	203*1	横	mm	254*1	(続き)				主 要 材 料	高 さ	mm	203*1	厚 さ	mm	■	ケ ー シ ン グ	-	SUS304	ろ 材	-	ガラス繊維		個 数	-	品	添	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-			設 置 床	-	グローブボックス排気フィルタ		溢水防護上の区画番号	-	取付箇所一覧表に示す		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-			<p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(i)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(i)を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(ii)は、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(c)iii.(ii)を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設工認のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(iii)は、高性能エアフィルタ1段における効率を示していることから、事業変更許可申請書(本文)のホ.(イ)(1)②a.(c)ii.(iii)と同義であり整合している。</p>	
		グローブボックス排気フィルタ																																																																																		
名		(PA0143-F-14841, F-14842, F-24841, F-24842, PA0144-F-20841, F-20842, PA0163-F-80841, F-80842, PA0164-F-10841, F-10842, F-80841, F-80842)	(PA0130-F-84359, F-84360, PA0144-F-20843, F-20844, PA0145-F-20841, F-20842, PA0163-F-30841, F-30842, F-31841, F-31842, F-42841, F-42842, F-43841, F-43842, F-44841, F-44842, F-45841, F-45842, F-81841, F-81842, PA0164-F-54841, F-54842, F-55841, F-55842, F-56841, F-56842, F-57841, F-57842, F-58841, F-58842, F-72841, F-72842, PA0167-F-60841, F-60842, PA0173-F-84401, F-84402)																																																																																	
種	類	箱型																																																																																		
最 高 使 用 圧 力	Pa	980(内圧)/3000(外圧)	3000(外圧)																																																																																	
最 高 使 用 温 度	℃	60																																																																																		
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	132																																																																																		
効 率	%	99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)																																																																																		
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	102.3*1																																																																																	
	吐 出 口 径	mm	102.3*1																																																																																	
	た て	mm	203*1																																																																																	
	横	mm	254*1																																																																																	
(続き)																																																																																				
主 要 材 料	高 さ	mm	203*1																																																																																	
	厚 さ	mm	■																																																																																	
	ケ ー シ ン グ	-	SUS304																																																																																	
ろ 材	-	ガラス繊維																																																																																		
個 数	-	品	添																																																																																	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-																																																																																		
	設 置 床	-	グローブボックス排気フィルタ																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	取付箇所一覧表に示す																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-																																																																																		